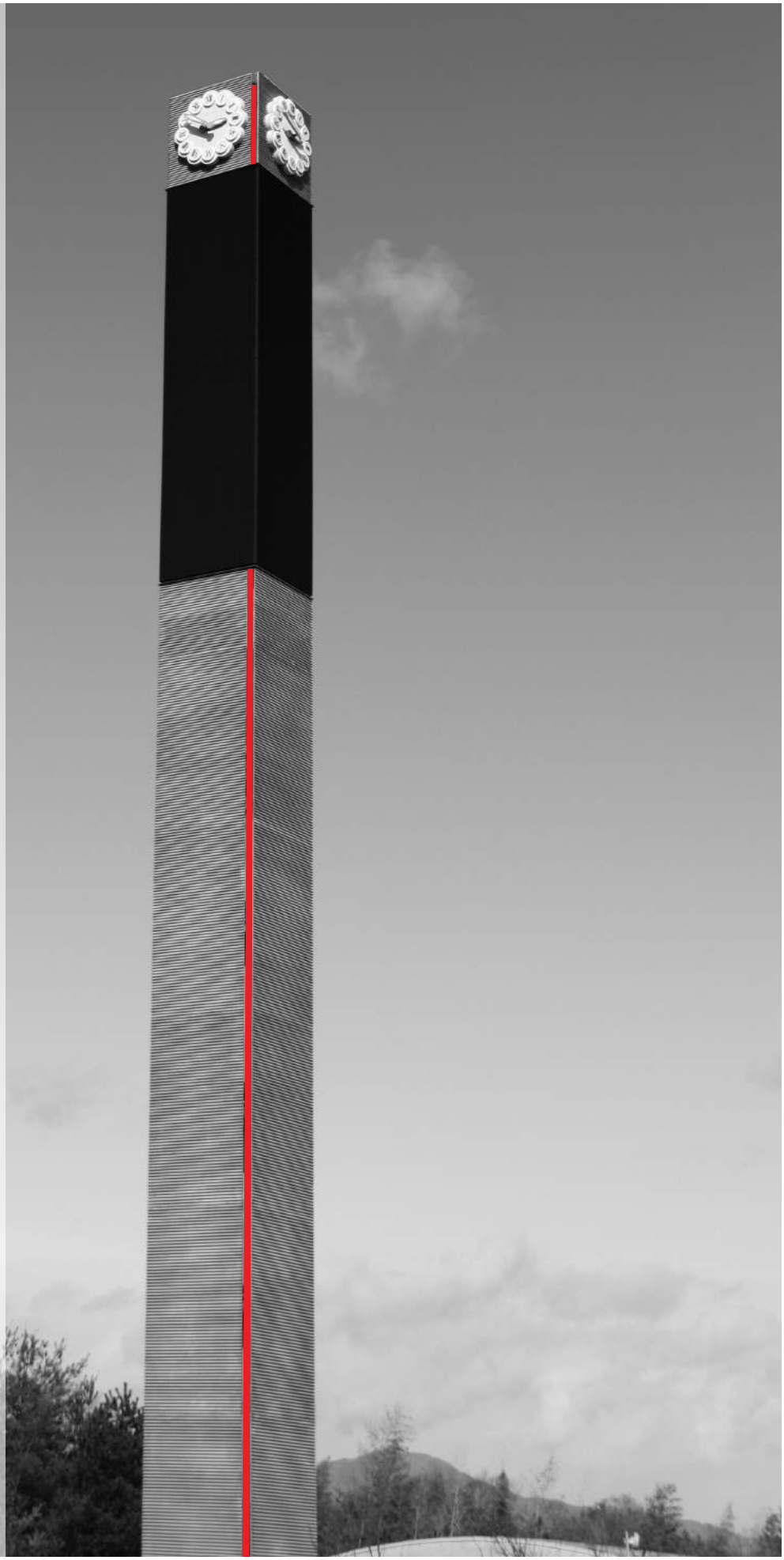
学術雑誌発表論文リスト

2013
-
2014



京都大学大学院工学研究科

Graduate School of Engineering Kyoto University

ま え が き

工学研究科長　伊藤紳三郎

大学の教員にとって「教育」と「研究」は最も重要な業務であり、教育については優れた人材を輩出し、研究についてはその成果を広く公開して社会に還元することがもとめられています。有難いことに、昨年実施された自己点検・評価において、工学研究科の教員の皆様の教育研究エフォートは 70%以上を維持しており、国立大学の法人化以降、増加する一方の業務の中で、皆様が大学教員の本務を理解し、努力していただいている様子が伺えます。しかしながら我が国の国立大学全体を見ますと大変厳しい状況にあります。2002 年に 70%あった教育研究エフォートが 2013 年には 62%に低下しているという調査結果や、2004 年に 37,000 件程度あった工学系論文数が 2012 年には約 31,000 件、つまり 20%も減少したということが国立大学協会や科学技術・学術政策研究所から報告されています。これらの現象にはもちろん社会的背景があり、国の財政状況や少子化を理由とした運営交付金の削減、定員削減等の政策による負のスパイラルに日本の大学が巻き込まれていると言えます。しかしながら、工学研究科がこれに巻き込まれるわけにはいきません。私共には「工学」というこれからの社会を支える学術があり、逆境を跳ね返す実力があります。その意味で上述のエフォートは大変有難いエビデンスであると申し上げました。

大学が社会に訴える妙策、奇策はありません。地道に研究の成果を社会に公開し、還元することで私共の価値、プレゼンスを高めることがもっとも重要な方策でしょう。その一つの手段として、工学研究科における研究成果を取り纏め、さまざまな媒体を用いて広報することには大変大きな意義があります。

以前は「工学研究」が毎年編集され、冊子体にて論文目録が発行されていましたが、やがて CD-ROM 化され、さらに WEB 上に掲載されるようになりました。2011 年には、工学研究科附属情報センターの尽力で「研究成果データベース」が開発されました。メタデータを含めた論文データが収集され、さまざまなキーワードによる検索、統計データの抽出や各研究室・個人別の業績リストの作成などの利用ができるようになりました。京都大学の教育研究活動データベースの基礎資料にもなっています。

工学研究科の「研究成果データベース」から、最近 2 年分のデータを抽出し、印刷したものが本冊子「学術雑誌論文発表リスト」です。今回は第 3 巻となり、2013 年から 2014 年の論文が収録されています。冊子体では、工学研究科の他の研究分野も含めて研究テーマや活動状況を概観することができ、興味深い研究が見つかればデータベースで詳細を知ることができます。また冊子体の編集過程でさまざまな追加や修正が行われ、電子データの欠点を補っています。

この冊子体の発行が、工学研究科の研究力を実績をもって内外にアピールするとともに、研究者の皆様にとっては、より高いレベルの国際的学術雑誌への掲載を目指す刺激になり、共同研究のきっかけや研究モチベーションの向上に役立つことを願っています。

2016 年 3 月

目 次

社会基盤工学専攻

空間情報学講座

[1] Susaki J., Kajimoto M., Kishimoto M., Urban density mapping of global megacities from polarimetric SAR images, *Remote Sensing of Environment*, 2014, Vol. 155, pp. 334-348.

[2] Mishra B., Susaki J., Sensitivity analysis for L-band polarimetric descriptors and fusion for urban land cover change detection, *IEEE Journal of Selected Topics in Applied Earth Observations and Remote Sensing*, 2014, Vol. 7, No. 10, pp. 4231-4242.

[3] Susaki J., Komiya Y., Takahashi K., Calculation of enclosure index for assessing urban landscapes using digital surface models, *IEEE Journal of Selected Topics in Applied Earth Observations and Remote Sensing*, 2014, Vol. 7, No. 10, pp. 4038-4045.

[4] 須崎 純一, 日照条件に頑健な交通流動画像からの四輪車の自動抽出手法の開発, 土木学会論文集 *D3(*土木計画学*)*, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. 211-226.

[5] Jin S., Tamura M., Susaki J., Isolated broad leaf tree effective leaf area index retrieving using terrestrial laser scanner, *ISPRS Annals of The Photogrammetry, Remote Sensing and Spatial Information Sciences*, 2014, Vol. II-7, pp. 23-30.

[6] Welikanna D., Tamura M., Susaki J., Incorporating uncertainty into Markov Random Field classification with the combine use of optical and SAR images and adaptive fuzzy mean vector, *ISPRS Annals of The Photogrammetry, Remote Sensing and Spatial Information Sciences*, 2014, Vol. II-7, pp. 89-96.

[7] Mishra B., Susaki J., Optical and SAR data integration for automatic change pattern detection, *ISPRS Annals of The Photogrammetry, Remote Sensing and Spatial Information Sciences*, 2014, Vol. II-7, pp. 39-46.

[8] M. Maki, K. Homma, Empirical Regression Models for Estimating Multiyear Leaf Area Index of Rice from Several Vegetation Indices at the Field Scale, *Remote Sensing*, 2014, Vol. 6, No. 6, pp. 4764-4779.

[9] 須崎 純一, 黒川 雄太, 建物モデルの属性データ生成における近接写真測量を用いた建物開口部の抽出, 土木学会論文集 *F3(*土木情報学*)*, 2014, Vol. 69, No. 2, pp. I_1-I_12.

[10] T. ElGharbawi, M. Tamura, Measuring deformations using SAR interferometry and GPS observables with geodetic accuracy: Application to Tokyo, Japan, *ISPRS Journal of Photogrammetry and Remote Sensing*, 2014, Vol. 88, pp. 156-165.

[11] K. Chureesampant, J. Susaki, Automatic GCP Extraction of Fully Polarimetric SAR Images, *IEEE Transactions on Geoscience and Remote Sensing*, 2014, Vol. 52, No. 1, pp. 137-148.

[12] B. Mishra, J. Susaki, Coupling of thresholding and region growing algorithm for change detection in SAR images, *Progress in Electromagnetics Research-PIER*, 2013, Vol. 143, pp. 519-544.

[13] J. Susaki, Knowledge-Based Modeling of Buildings in Dense Urban Areas by Combining Airborne LiDAR Data and Aerial Images, *Remote Sensing*, 2013, Vol. 5, No. 11, pp. 5944-5968.

[14] K. Miyaoka, M. Maki, J. Susaki, K. Homma, K. Noda, K. Oki, Rice-Planted Area Mapping Using Small Sets of Multi-Temporal SAR Data, *IEEE Geoscience and Remote Sensing Letters*, 2013, Vol. 10, No. 6, pp. 1507-1511.

[15] M. Kajimoto, J. Susaki, Urban Density Estimation From Polarimetric SAR Images Based on a POA Correction Method, *IEEE Journal of Selected Topics in Applied Earth Observations and Remote Sensing*, 2013, Vol. 6, No. 3, pp. 1418-1429.

[16] 小宮 佑登, 須崎 純一, 上田 ゆかり, 航空機 LiDAR を用いた囲繞度の推定手法の開発, 土木学会論文誌 *F3(*土木情報学*)*, 2013, Vol. 68, No. 2, pp. I_73-I_84.

[17] M. Kajimoto, J. Susaki, Urban-Area Extraction From Polarimetric SAR Images Using Polarization Orientation Angle, *IEEE Geoscience and Remote Sensing Letters*, 2013, Vol. 10, No. 2, pp. 337-341.

[18] C.D. Parape, C. Premachandra, M. Tamura, A. Bari, R. Disanayake, D. Welikanna, S. Jin, M. Sugiura, Building Damage and Business Continuity Management in the Event of Natural Hazards: Case Study of the 2004 Tsunami in Sri Lanka, *Sustainability*, 2013, Vol. 5, No. 2, pp. 456-477.

[19] カモンラット チュリーサンパン, 須崎 純一, マルチポラリメトリック SAR データを用いた教師なし変化検出性能の定量比較, 写真測量とリモートセンシング, 2013, Vol. 51, No. 6, pp. 342-357.

都市基盤設計学講座 景観設計学分野

[1] 山口 敬太, 西野 康弘, 神戸市河川沿緑地の形成とその構想の起源:古宇田實の水害復興構想とその戦災復興への影響, 都市計画論文集, 2014, Vol. 49, No. 1, pp. 128-139.

[2] 山口 敬太, 繁田 いづみ, 川崎 雅史, 奈良・山辺の道における景観保全の展開とその保全思想, ランドスケープ研究 *(Landscape Research Japan Online)*, 2014, Vol. 7, No. 0, pp. 1-8.

[3] 山口 敬太, 近代における奈良・山辺の道の形成とその背景, ランドスケープ研究 (オンライン論文集), 2013, Vol. 6, No. 0, pp. 25-32.

[4] 木村 優介, 山口 敬太, 久保田 善明, 川崎 雅史, 鉄道跡地の遊歩道利用におけるレールバンク制度の運用と有効性 -ハイラインにおける合意形成の制度的枠組み-, 土木学会論文集 *D1*, 2013, Vol. 69, No. 1, pp. 76-89.

[5] 山口 敬太, 土屋 峻, 久保田 善明, 川崎 雅史, 京都東山の地形景域の構造と名勝地の景観 -開度の概念に基づく地形的囲繞の評価-, 土木学会論文集 *D1*, 2013, Vol. 69, No. 1, pp. 64-75.

[6] 沢 一馬, 山口 敬太, 久保田 善明, 川崎 雅史, 水郷集落における文化的景観の持続性 -伊庭における水路網の復元と水利用の変容-, 土木学会論文集 *D1*, 2013, Vol. 69, No. 1, pp. 42-53.

都市基盤設計学講座 沿岸都市設計学分野

[1] A. Khayyer, H. Gotoh, N. Tsuruta, A New Surface Tension Model for Particle Methods with Enhanced Splash Computation, 土木学会論文集 *B2(*海岸工学*)*, 2014, Vol. 70, No. 2, pp. I_26-I_30.

[2] 原田 英治, 後藤 仁志, 振動流下シートフロー状粒子流の内部構造の画像解析, 土木学会論文集 *B2(*海岸工学*)*, 2014, Vol. 70, No. 2, pp. I_746-I_750.

[3] 後藤 仁志, 有川 太郎, KHAYYER A., 五十里 洋行, 下迫 健一郎, 荒木 和博, 上原 靖, 高精度 ISPH 法による直立壁面上の砕波の数値解析, 土木学会論文集 *B2(*海岸工学*)*, 2014, Vol. 70, No. 2, pp. I_21-I_25.

[4] 鶴田 修己, KHAYYER A., 後藤 仁志, 粒子法型の数値波動水槽のための高精度造波モデルの提案, 土木学会論文集 *B2(*海岸工学*)*, 2014, Vol. 70, No. 2, pp. I_31-I_35.

[5] 五十里 洋行, 後藤 仁志, 吉永 健二, 反保 朋也, MPS 法高次 Laplacian モデルの改良と鉛直噴流による洗掘過程の数値解析, 土木学会論文集 *B2(*海岸工学*)*, 2014, Vol. 70, No. 2, pp. I_36-I_40.

[6] S. Hwang, A. Khayyer, H. Gotoh, J. Park, Development of a fully Lagrangian MPS-based coupled method for simulation of fluid-structure interaction problems, *Journal of Fluids and Structures*, 2014, Vol. 50, pp. 497-511.

[7] 原田 英治, 後藤 仁志, 徐 詩涵, アンケート調査による進路変更モデルの開発, 交通工学研究発表会論文集, 2014, Vol. 34, pp. 127-131.

[8] H. Gotoh, A. Khayyer, H. Ikari, T. Arikawa, K. Shimosako, On enhancement of Incompressible SPH method for simulation of violent sloshing flows, *Applied Ocean Research*, 2014, Vol. 46, pp. 104-115.

[9] 後藤 仁志, KHAYYER A., 鶴田 修己, 山本 浩輔, SPS 乱流モデル付き高精度粒子法による砕波下の乱流場の数値解析, 土木学会論文集. *B2,* 海岸工学, 2013, Vol. 69, No. 2, pp. 16-20.

[10] 原田 英治, 後藤 仁志, 鶴田 修己, 粒子流 LES による振動流下シートフロー層の応力構造の検討, 土木学会論文集. *B2,* 海岸工学, 2013, Vol. 69, No. 2, pp. 556-560.

[11] 後藤 仁志, 五十里 洋行, 有川 太郎, 下迫健一郎, 野々田浩敏, 吉永健二, ケーソン防波堤の津波越流時における目地の影響評価に関する数値解析, 土木学会論文集. *B2,* 海岸工学, 2013, Vol. 69, No. 2, pp. 886-890.

[12] 後藤 仁志, 五十里 洋行, 原口 和靖, 中島寿, 殿最浩司, 石井倫生, 混成防波堤の越流破壊解析と対策工検討のための粒子法型数値波動水槽の開発, 土木学会論文集. *B2,* 海岸工学, 2013, Vol. 69, No. 2, pp. 881-885.

[13] 鶴田 修己, KHAYYER A., 後藤 仁志, 高精度 DEM-MPS 法のための計算安定スキームの提案, 土木学会論文集. *B2,* 海岸工学, 2013, Vol. 69, No. 2, pp. 1006-1010.

[14] 原田 英治, 後藤 仁志, 吉澤 友貴, 宮崎 智博, 群集行動シミュレータによる大阪駅改札付近の帰宅困難者分布予測 (第 33 回交通工学研究発表会論文集), 交通工学研究発表会論文集, 2013, Vol. 33, pp. 261-266.

[15] D. Liang, H. Gotoh, N. Scott, H. Tang, Experimental Study of Local Scour around Twin Piles in Oscillatory Flows, *Journal of Waterway Port Coastal and Ocean Engineering*, 2013, Vol. 139, No. 5, pp. 404-412.

[16] D. Liang, H. Gotoh, A. Khayyer, J.M. Chen, Boussinesq modelling of solitary wave and N-wave runup on coast, *Applied Ocean Research*, 2013, Vol. 42, pp. 144-154.

[17] N. Tsuruta, A. Khayyer, H. Gotoh, A short note on Dynamic Stabilization of Moving Particle Semi-implicit method, *Computers & Fluids*, 2013, Vol. 82, pp. 158-164.

[18] A. Khayyer, H. Gotoh, Enhancement of performance and stability of MPS mesh-free particle method for multiphase flows characterized by high density ratios, *Journal of Computational Physics*, 2013, Vol. 242, pp. 211-233.

[19] E. Harada, N. Tsuruta, H. Gotoh, Two-phase flow LES of the sedimentation process of a particle cloud, *Journal of Hydraulic Research*, 2013, Vol. 51, No. 2, pp. 186-194.

構造工学講座 構造ダイナミクス分野

[1] 金城佑紀, 野口恭平, 秦聡一朗, 姜詠, 白土博通, 八木知己, 服部洋, 数値解析による構造物表面への飛来塩分付着量の予測, 第 *23* 回風工学シンポジウム論文集, 2014, Vol. 23, pp. 511-516.

[2] 荒木伸哉, 八木知己, 小杉翼, 有間将司, Mohd R.M.Z., 白土博通, フラッター解析に基づいた並列円柱の空力振動現象に関する研究, 第 *23* 回風工学シンポジウム論文集, 2014, Vol. 23, pp. 205-210.

[3] 谷口優佑, 木原大樹, 太古一貴, 河田祐太郎, 白土博通, 八木知己, 車両横転事故防止を目的とした警戒システムの検討, 第 *23* 回風工学シンポジウム論文集, 2014, Vol. 23, pp. 217-222.

[4] 立花嵩, 和田光平, 白土博通, 服部洋, 八木知己, 乱流中の矩形断面に作用する自励空気力の抽出法及び空間相関に関する研究, 第 *23* 回風工学シンポジウム論文集, 2014, Vol. 23, pp. 343-348.

[5] 岡野 雅, 服部 洋, 松山 卓真, 別所謙, 白土博通, 八木知己, 振動応答による損傷推定と一般化に関する研究, 構造工学論文集. *A* 日本学術会議土木工学・建築学委員会 *[監修]*, 2014, Vol. 60, pp. 522-530.

[6] 野口恭平, 金城佑紀, 姜詠, 白土博通, 八木知己, 服部洋, 田中雄三, 海塩粒子の物理挙動と風況に基づく付着塩分量の評価, 構造工学論文集. *A* 日本学術会議

土木工学・建築学委員会 *[監修]*, 2014, Vol. 60, pp. 613-621.

[7] 党 紀, 袁 輝輝, 五十嵐 晃, 青木 徹彦, 鋼製橋脚の水平 2 方向地震応答解析のための曲線近似 MS モデル, 土木学会論文集 *A2*（応用力学）, 2013, Vol. 69, No. 2, pp. I_391-I_402.

[8] 五十嵐 晃, 松島 弘, 党 紀, 矩形廃タイヤゴムパッド免震材のせん断変形性能の載荷方向依存性, 土木学会論文集 *A2*（応用力学）, 2013, Vol. 69, No. 2, pp. I_425-I_434.

[9] J. Dang, T. Aoki, Bidirectional loading hybrid tests of square cross-sections of steel bridge piers, *Earthquake Engineering & Structural Dynamics*, 2013, Vol. 42, No. 8, pp. 1111-1130.

[10] A. IGARASHI, J. DANG, Y. MURAKOSHI, T. ITO, Loading tests and investigation of analytical models for bi-directional restoring force response of elastomeric bearings, *Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. A1 (Structural Engineering / Earthquake Engineering (SE/EE))*, 2013, Vol. 69, No. 4, pp. I_311-I_325.

[11] T. MATSUDA, A. IGARASHI, A. FURUKAWA, H. OUCHI, H. UNO, H. MATSUDA, Effect of inter-component phase difference in bi-directional seismic ground motion input to dynamic response of ICSS, *Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. A1 (Structural Engineering / Earthquake Engineering (SE/EE))*, 2013, Vol. 69, No. 4, pp. I_688-I_702.

[12] T. SATO, A. IGARASHI, T. MAZDA, Y. ADACHI, H. UNO, T. NIKI, H. SHIRAISI, T. TSUCHIDA, Evaluation of seismic performance of UPSS in terms of energy dissipation considering nonlinear pier response, *Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. A1 (Structural Engineering / Earthquake Engineering (SE/EE))*, 2013, Vol. 69, No. 4, pp. I_609-I_621.

[13] T. MAZDA, Y. ADACHI, H. UNO, T. SATO, A. IGARASHI, T. TSUCHIDA, Evaluation of the effect of statically indeterminate force to seismic dynamic behaviors of highway bridge using uplifting slide shoes, *Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. A1 (Structural Engineering / Earthquake Engineering (SE/EE))*, 2013, Vol. 69, No. 4, pp. I_571-I_582.

[14] A. IGARASHI, H. MATSUSHIMA, H.K. MISHRA, Investigation of material properties and shear deformation capacity of scrap tire rubber pad isolators, *Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. A1 (Structural Engineering / Earthquake Engineering (SE/EE))*, 2013, Vol. 69, No. 4, pp. I_958-I_964.

[15] A. Igarashi, H. Ouchi, T. Matsuda, H. Uno, H. Matsuda, M. Sakate, D. Tsushima, Design of a Super Multispan Continuous Girder Bridge Using Enhanced Seismic Response Modification Technologies, *Structural Engineering International*, 2013, Vol. 23, No. 2, pp. 198-203.

[16] H.K. Mishra, A. Igarashi, H. Matsushima, Finite element analysis and experimental verification of the scrap tire rubber pad isolator, *Bulletin of Earthquake Engineering*, 2013, Vol. 11, No. 2, pp. 687-707.

[17] 塩見 謙介, 五十嵐 晃, 山田 博, 可知 孝啓, 近藤 光由, 高田 友和, モーダルフィルタリングに基づく平板打撃振動のアクティブ制御におけるセンサ配置の決定法, 構造工学論文集, 2013, Vol. 59A, pp. 370-382.

[18] 服部 洋, 松山 卓真, 別所 謙, 岡野 雅, 白土 博通, 八木 知己, 振動応答モデルを用いた損傷規模検知手法に関する研究, 土木学会論文集 *A2*（応用力学）, 2013, Vol. 69, No. 2, pp. I_741-I_749.

[19] M.Y. Fakhouri, A. Igarashi, Multiple-slider surfaces bearing for seismic retrofitting of frame structures with soft first stories, *Earthquake Engineering & Structural Dynamics*, 2013, Vol. 42, No. 1, pp. 145-161.

構造工学講座 国際環境基盤マネジメント分野

[1] K. Chang, C. Kim, M. Kawatani, Feasibility investigation for a bridge damage identification method through moving vehicle laboratory experiment, *Structure and Infrastructure Engineering*, 2014, Vol. 10, No. 3, p. 328—345.

[2] C.W. Kim, K.C. Chang, S. Kitauchi, M. Kawatani, Vibration-based damage detection and damage-induced stress redistribution of a real steel truss bridge, *Bridge Maintenance, Safety, Management and Life Extension*, 2014, pp. 577-584.

[3] P.J. McGetrick, C.W. Kim, A wavelet based drive-by bridge inspection system, *Bridge Maintenance, Safety, Management and Life Extension*, 2014, pp. 613-621.

[4] 巻幡 憲俊, 狩野 正人, 金　哲佑, 無線センサノードの計測値に対するドリフト補正および異常値除去方法の適用, 第 *28* 回信頼性シンポジウム論文集, 2014, pp. 11-16.

[5] 五井　良直, 金　哲佑, 北内　壮太郎, AR 係数と確率分布間の距離を用いた鋼トラス橋の損傷検知, 第 *28* 回信頼性シンポジウム論文集, 2014, pp. 141-146.

[6] キムヨンス, 立川康人, 萬 和明, キムスンミン, 粒子フィルタと洪水追跡モデルを用いた水位流量曲線の作成および補正手法の開発, 河川技術論文集, 2014, Vol. 20, pp. 361-366.

[7] C. Kim, R. Isemoto, P.J. McGetrick, M. Kawatani, E.J. OBrien, Drive-by bridge inspection from three different approaches, *Smart Structures and Systems*, 2014, Vol. 13, No. 5, pp. 775-796.

[8] K. Chang, C. Kim, B. Sudanna, Variability in Bridge Frequency Induced by a Parked Vehicle, *Smart Structures and Systems*, 2014, Vol. 13, No. 5, pp. 755-773.

[9] X. He, M. Kawatani, T. Hayashikawa, C. Kim, F.N. Catbas, H. Furuta, A structural damage detection approach using train-bridge interaction analysis and soft computing methods, *Smart*

Structures and Systems, 2014, Vol. 13, No. 5, pp. 869-890.

[10] 金　哲佑, 北内 壮太郎, 張　凱淳, 大島 義信, 杉浦 邦征, 単径間鋼トラス橋における振動特性の同定とその変化に及ぼす損傷の影響, 構造工学論文集, 2014, Vol. 60A，pp. 184-193.

[11] S. Kim, E. Nakakita, Y. Tachikawa, M. Shiiba, M. Inoue, Statistical downscaling of precipitation with a formatted regression frame, *Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. B1 (Hydraulic Engineering)*, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. 901-906.

[12] 金 哲佑, 森田 知明, 杉浦 邦征, 温度および通行車両の影響を考慮した長期橋梁振動ヘルスモニタリングのためのベイズ的アプローチ, 土木学会論文集 *A2*（応用力学）, 2014, Vol. 70, No. 2, pp. I_73-I_80.

[13] 金 哲佑, 張 凱淳, 北内 壮太郎, 損傷前後の鋼単純トラス橋の振動特性同定と統計的分析による異常検知, 土木学会論文集 *A2*（応用力学）, 2014, Vol. 70, No. 2, pp. I_63-I_72.

[14] P.J. McGetrick, C. Kim, A.E. Gonzalez, Dynamic axle force and road profile identification using a moving vehicle, *International Journal of Architecture, Engineering and Construction*, 2013, Vol. 2, No. 1, pp. 1-16.

[15] C. Kim, R. Isemoto, K. Sugiura, M. Kawatani, Structural fault detection of bridges based on linear system parameter and MTS method, *Journal of JSCE*, 2013, Vol. 1, No. 1, pp. 32-43.

[16] S.J. Noh, Y. Tachikawa, M. Shiiba, S. Kim, Ensemble Kalman Filtering and Particle Filtering in a Lag-Time Window for Short-Term Streamflow Forecasting with a Distributed Hydrologic Model, *Journal of Hydrologic Engineering*, 2013, Vol. 18, No. 12, pp. 1684-1696.

[17] P.J. McGetrick, C.W. Kim, A Parametric Study of a Drive by Bridge Inspection System Based on the Morlet Wavelet, *Damage Assessment of Structures X, Pts 1 and 2*, 2013, Vol. 569-570, pp. 262-269.

[18] K.C. Chang, C.W. Kim, Identifying Dynamic Characteristics of a Short-span Viaduct from Vehicle-induced Vibrations Considering Different Pavement and Parapet Conditions, *Damage Assessment of Structures X, Pts 1 and 2*, 2013, Vol. 569-570，pp. 167-174.

[19] 山本 亨輔, 大島 義信, 金 哲佑, 杉浦 邦征, 車両応答データの特異値分解による橋梁損傷検知技術の提案と検討, 構造工学論文集, 2013, Vol. 59A，pp. 320-331.

[20] 小野 和行, 川谷 充郎, 金 哲佑, 延命 卓哉, 柏木 栄一, 岡重 嘉泰, 跨座型モノレール PC 桁高架橋の交通振動実測, 構造工学論文集, 2013, Vol. 59A，pp. 272-280.

[21] 金 哲佑, 北内 壮太郎, 杉浦 邦征, 川谷 充郎, 甲斐 正義, 多径間連続鋼トラス橋の交通振動を用いた損傷検知手法, 土木学会論文集 *A1*（構造・地震工学）, 2013, Vol. 69, No. 3, pp. 557-571.

[22] C. Kim, R. Isemoto, K. Sugiura, M. Kawatani, Linear system parameter as an indicator for structural diagnosis of short span bridges, *Smart Structures and Systems*, 2013, Vol. 11, No. 1, pp. 1-17.

構造工学講座 構造力学分野

[1] C. Kim, R. Isemoto, K. Sugiura, M. Kawatani, Structural fault detection of bridges based on linear system parameter and MTS method, *Journal of JSCE*, 2013, Vol. 1, No. 1, pp. 32-43.

構造工学講座 橋梁工学分野

[1] 金城佑紀, 野口恭平, 秦聡一朗, 姜詠, 白土博通, 八木知己, 服部洋, 数値解析による構造物表面への飛来塩分付着量の予測, 第 *23* 回風工学シンポジウム論文集, 2014, Vol. 23，pp. 511-516.

[2] 立花嵩, 和田光平, 白土博通, 服部洋, 八木知己, 乱流中の矩形断面に作用する自励空気力の抽出法及び空間相関に関する研究, 第 *23* 回風工学シンポジウム論文集, 2014, Vol. 23，pp. 343-348.

[3] 谷口優佑, 木原大樹, 太古一貴, 河田祐太郎, 白土博通, 八木知己, 車両横転事故防止を目的とした警戒システムの検討, 第 *23* 回風工学シンポジウム論文集, 2014, Vol. 23，pp. 217-222.

[4] 荒木伸哉，八木知己，小杉翼，有間将司，Mohd R.M.Z., 白土博通, フラッター解析に基づいた並列円柱の空力振動現象に関する研究, 第 *23* 回風工学シンポジウム論文集, 2014, Vol. 23，pp. 205-210.

[5] 酒井 久和, 澤田 純男, 高橋 良和, 五十嵐 晃, 真鍋 和将, 藤田 遼, 集合弾性耐震 RC 柱の正負交番載荷実験に対する数値シミュレーション, 土木学会論文集 *A1*（構造・地震工学）, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. I_101-I_108.

[6] 野口恭平, 金城佑紀, 姜詠, 白土博通, 八木知己, 服部洋, 田中雄三, 海塩粒子の物理挙動と風況に基づく付着塩分量の評価, 構造工学論文集. *A* 日本学術会議土木工学・建築学委員会 *[監修]*, 2014, Vol. 60，pp. 613-621.

[7] 岡野 雅, 服部 洋, 松山 卓真, 別所謙, 白土博通, 八木知己, 振動応答による損傷推定と一般化に関する研究, 構造工学論文集. *A* 日本学術会議土木工学・建築学委員会 *[監修]*, 2014, Vol. 60，pp. 522-530.

[8] 服部 洋, 松山 卓真, 別所 謙, 岡野 雅, 白土 博通, 八木 知己, 振動応答予測モデルを用いた損傷規模検知手法に関する研究, 土木学会論文集 *A2*, 2013, Vol. 69，pp. I_741-I-749.

[9] 服部洋, 松山卓真, 白土博通, 八木知己, 岡野雅, 振動応答予測モデルを用いた橋梁構造物の損傷検知手法に関する研究, 土木学会構造工学論文集, 2013, Vol. Vol.59A，pp. 673-681.

[10] 野口恭平, 姜詠, 奥田慧, 倉田直弥, 白土博通, 八木知己, 森下尊久, 田中雄三, 海塩粒子付着量の予測精度向上に関する基礎的研究, 土木学会構造工学論文集, 2013, Vol. Vol.59A，pp. 585-595.

[11] 八木 知己, 新庄 皓平, 成田 周平, 中瀬 友之, 白土博通, 矩形断面のギャロッピング不安定性と渦放出

の関係について, 構造工学論文集, 2013, Vol. 59A, pp. 552-561.

[12] 服部 洋, 松山 卓真, 別所 謙, 岡野 雅, 白土 博通, 八木 知己, 振動応答モデルを用いた損傷規模検知手法に関する研究, 土木学会論文集 *A2*（応用力学）, 2013, Vol. 69, No. 2, pp. I_741-I_749.

構造工学講座 構造材料学分野

[1] 高谷哲, 須藤裕司, 内藤智大, 江良和徳, 山本貴士, 宮川豊章, コンクリート中における亜硝酸イオンの腐食抑制メカニズムおよびその効果に関する基礎的研究, 材料, 2014, Vol. 63, No. 10, pp. 722-728 (J.

[2] 井関宏崇, 吉田隆浩, 高谷哲, 山本貴士, 宮川豊章, 断面修復後のマクロセル腐食が鉄筋の腐食速度に与える影響, コンクリート構造物の補修, 補強, アップグレード論文報告集, 2014, Vol. 14, pp. 519-526.

[3] 葛目和宏, 金海鉦, 松本茂, 山本貴士, 宮川豊章, 超音波トモグラフィによる ASR 劣化した PC 梁橋脚の内部性状の把握に関する検討, コンクリート構造物の補修, 補強, アップグレード論文報告集, 2014, Vol. 14, pp. 315-322.

[4] 吉田隆浩, 高谷哲, 山本貴士, 宮川豊章, 中性化と内的塩害により複合劣化した RC 部材における溶射方式流電陽極法の鉄筋腐食抑制効果の検討, コンクリート構造物の補修, 補強, アップグレード論文報告集, 2014, Vol. 14, pp. 25-32.

[5] 山下亮, 廣井幸夫, 荒添正棋, 山本貴士, 宮川豊章, 炭素繊維シート埋込み定着部のクリープ挙動に関する基礎的研究, コンクリート構造物の補修, 補強, アップグレード論文報告集, 2014, Vol. 14, pp. 417-424.

[6] 戸田圭彦, 佐藤知明, 山本貴士, 廣井幸夫, ASR を生じた PC 梁試験体の耐荷性能評価に用いる FEM 解析モデルの検討, プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム論文集, 2014, Vol. 23rd, pp. 95-100.

[7] 高谷哲, 須藤裕司, 山本貴士, 宮川豊章, コンクリート中における亜硝酸イオンの鋼材腐食抑制メカニズム, コンクリート工学年次論文集 *(CD-ROM)*, 2014, Vol. 36, p. ROMBUNNO.1205.

[8] 三島徹也, 山本貴士, 大下英吉, 金久保利之, 国枝稔, 佐藤靖彦, 秋山充良, 上原子晶久, 村上祐貴, 鉄筋腐食したコンクリート構造物の構造・耐久性能評価の体系化, コンクリート工学, 2014, Vol. 52, No. 3, pp. 243-250.

[9] 山田卓司, 佃洋一, 山本貴士, 国枝稔, 宮川豊章, 表面被覆工法の付着性能評価における促進劣化試験の適用に関する研究, 材料, 2013, Vol. 62, No. 8, pp. 524-530 (J.

[10] 中村繁貴, 高谷哲, 前田良文, 山本貴士, 宮川豊章, 赤外線サーモグラフィによるかぶりコンクリートはく落予測手法, 土木学会論文集 *E2(*材料・コンクリート構造*)(Web)*, 2013, Vol. 69, No. 4, pp. 450-461 (J.

[11] 高谷哲, 中村士郎, 山本貴士, 宮川豊章, コンクリート中の鉄筋の腐食生成物の違いがひび割れ発生腐食量に与える影響, 土木学会論文集 *E2(*材料・コンクリート構造*)(Web)*, 2013, Vol. 69, No. 2, pp. 154-165 (J.

[12] 戸田圭彦, 佐藤知明, 室田敬, 山本貴士, 宮川豊章, 曲げを受ける ASR 劣化した実物大 PC 梁試験体の力学的挙動に関する解析的研究, コンクリート構造物の補修, 補強, アップグレード論文報告集, 2013, Vol. 13, pp. 271-278.

[13] 山下亮, 廣井幸夫, 荒添正棋, 山本貴士, 宮川豊章, 炭素繊維シート埋込み定着部の破壊強度に関する基礎的研究, コンクリート構造物の補修, 補強, アップグレード論文報告集, 2013, Vol. 13, pp. 569-576.

[14] 葛目和宏, 真鍋英規, 小椋紀彦, 山本貴士, 宮川豊章, 超音波トモグラフィによる ASR 劣化したコンクリート内部性状の把握に関する検討, コンクリート構造物の補修, 補強, アップグレード論文報告集, 2013, Vol. 13, pp. 181-188.

[15] 東和田真之, 高谷哲, 安琳, 山本貴士, 宮川豊章, 腐食したシース - グラウト - より線系の付着特性, コンクリート構造物の補修, 補強, アップグレード論文報告集, 2013, Vol. 13, pp. 251-258.

[16] 廣井幸夫, 大久保孝, 桐川潔, 山本貴士, ASR 劣化した PC 大型試験体の載荷試験報告, プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム論文集, 2013, Vol. 22nd, pp. 195-198.

[17] 山本貴士, 我が国のコンクリートの研究史と技術の発展/4. 今日的な耐久性問題に対する先駆的研究 鋼材腐食を生じたコンクリート構造物の構造性能研究 —宮川豊章博士, 武若耕司博士らのアプローチ—, コンクリート工学, 2013, Vol. 51, No. 9, pp. 769-776.

[18] Yamamoto T., Takaya S., Miyagawa T., Effect of Distribution in Cross Sectional Area of Corroded Tensile Reinforcing Bars on Load Carrying Behavior of RC Beam, *Proceedings of 3rd International Conference on Sustainable Construction Materials and Technologies*, 2013, Vol. 3, No. 1, M3-7 4.

[19] Takaya S., Nakamura S., Maeda Y., Yamamoto T., Miyagawa T., Development of spalling crack prediction model with infrared thermography, *Proceedings of 3rd International Conference on Sustainable Construction Materials and Technologies*, 2013, Vol. 3, No. 1, M4-6 6.

[20] 岡野暢弥, 山下亮, 山本貴士, 宮川豊章, 接着剤を適用したコンクリート接合部の曲げ付着強度および破壊エネルギーに関する研究, コンクリート工学年次論文集 *(CD-ROM)*, 2013, Vol. 35, p. ROMBUNNO.2015.

[21] 三島徹也, 山本貴士, 大下英吉, 金久保利之, 国枝稔, 佐藤靖彦, 鉄筋腐食したコンクリート構造物の構造・耐久性能評価の体系化研究委員会, コンクリート工学年次論文集 *(CD-ROM)*, 2013, Vol. 35, p. ROMBUNNO.9002.

応用力学講座

[1] 西藤 潤, 春日井 健太, 小林 俊一, 節点ベース要素を用いた混合型剛塑性有限要素解析への アダプティブ法の適用, 計算数理工学論文集, 2014, No. 14, pp. 61-66.

[2] 西藤 潤, 島越 貴之, 変分法を用いた自由表面を含む非ニュートン流体の 三次元解析の基礎的研究, 計算数理工学論文集, 2014, Vol. 14, pp. 73-78.

[3] A. Khayyer, H. Gotoh, N. Tsuruta, A New Surface Tension Model for Particle Methods with Enhanced Splash Computation, 土木学会論文集 *B2(海岸工学)*, 2014, Vol. 70, No. 2, pp. I_26-I_30.

[4] 西藤 潤, ガンバット エンクタイファン, 小林 俊一, 節点ベース均一ひずみ要素を用いた剛塑性有限要素法の開発, 応用力学論文集, 2013, pp. 247-254.

[5] A. Khayyer, H. Gotoh, Enhancement of performance and stability of MPS mesh-free particle method for multiphase flows characterized by high density ratios, *Journal of Computational Physics*, 2013, Vol. 242, pp. 211-233.

水工学講座 水理環境ダイナミクス分野

[1] T. Okamoto, Y. Fujimoto, K. Toda, I. Nezu, Development of coherent structure and turbulence behind a finite-length emergent vegetation patch in open-channel flow, *River Flow 2014*, 2014, pp. 437-443.

[2] T. Okamoto, M. Sanjou, S. Aoki, K. Toda, I. Nezu, Diverging flow and 3-D flow structure at leading edge and in interior of submerged vegetation patch, *River Flow 2014*, 2014, pp. 393-399.

[3] M. Sanjou, T. Okamoto, Y. Tanaka, K. Toda, Surface velocity divergence in open-channel flows with strip roughness, *River Flow 2014*, 2014, pp. 71-79.

[4] 浅野 統弘, 尾﨑 平, 石垣 泰輔, 戸田 圭一, 南海トラフ巨大地震による津波来襲時の大規模地下空間の浸水予測, 土木学会論文集 *B1*（水工学）, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. I_1435-I_1440.

[5] 山上 路生, 禰津 家久, Secondary current properties generated by wind-induced water waves in experimental conditions, *Advances in Oceanography and Limnology*, 2014, Vol. 5, No. 1, pp. 1-17.

[6] 山上 路生, 池内 三津喜, 金子 泰洸ポール, 戸田 圭一, 開水路における長方形ワンド内の循環流構造に関する基礎的研究, 土木学会論文集 *B1*, 2014, Vol. 70, No. 1, pp. 1-10.

[7] 尾崎 平, 浅野 統弘, 石垣 泰輔, 戸田 圭一, 短時間集中豪雨に伴う内水氾濫による地下街浸水特性の考察, 土木学会論文集 *B1*（水工学）, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. I_1417-I_1422.

[8] 戸田 圭一, 石垣 泰輔, 岡本 香奈, 地下駐車場の浸水や地下調節池での雨水貯留を表現できる模型による水防災教育, 地下空間シンポジウム論文・報告集, 2014, Vol. 19, pp. 117-120.

[9] 岡本 隆明, 藤本 雄大, 青木 成太, 樹木群落背後の乱流構造の遷移・減衰過程と Steady Wake Region に関する研究, 水工学論文集 土木学会水工学委員会 編, 2014, Vol. 58, pp. 685-690.

[10] 岡本 隆明, 藤本 雄大, 青木 成太, 戸田 圭一, 山上 路生, 樹木群落背後の乱流構造の遷移・減衰過程と Steady Wake Region に関する研究, 土木学会論文集 *B1*（水工学）, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. I_685-I_690.

[11] 山上 路生, 金子 泰洸ポール, 崎谷 健太, 藤本 雄大, 戸田 圭一, 開水路サイドキャビティ領域における堆積高が乱流構造に与える影響, 土木学会論文集 *B1*（水工学）, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. I_649-I_654.

[12] 山上 路生, 金子 泰洸ポール, 崎谷 健太, 開水路サイドキャビティ領域における堆積高が乱流構造に与える影響, 水工学論文集 土木学会水工学委員会 編, 2014, Vol. 58, pp. 649-654.

[13] H. Takebayashi, K. Toda, H. Nakagawa, H. Zhang, Field and Interview Surveys of the Flood of 2011, Thailand, *Journal of Disaster Research*, 2013, Vol. 8, No. 3, pp. 386-396.

[14] T. Okamoto, I. Nezu, Spatial evolution of coherent motions in finite-length vegetation patch flow, *Environmental Fluid Mechanics*, 2013, Vol. 13, No. 5, pp. 417-434.

[15] 高橋 祐樹, 石垣 泰輔, 馬場 康之, 戸田 圭一, 浸水した大規模地下駐車場からの避難に関する検討, 土木学会論文集 *F2*（地下空間研究）, 2013, Vol. 69, No. 1, pp. 1-10.

[16] S. Michio, I. Nezu, Hydrodynamic characteristics and related mass transfer properties in open-channel flows within a rectangular shaped embayment zone, *Environmental Fluid Mechanics*, 2013, Vol. 13, pp. 1-29.

[17] 岡本隆明, 前川卓耶, 山上路生, 平坦河床から植生群落に遷移する過程で発生する Diverging Flow に関する研究, 土木学会論文集 *B1(水工学)*, 2013, Vol. 69, No. 4, pp. 871-876.

[18] 浅野 統弘 , 尾崎 平, 石垣 泰輔, 戸田 圭一, 密集市街地における内水氾濫時の歩行避難および車両移動の危険度評価, 土木学会論文集 *B* 1（水工学）, 2013, Vol. 69, No. 4, pp. I_1561-I_1566.

[19] 山上 路生, 岡本 隆明, 禰津 家久, 河道樹木群による水流エネルギー減衰に関する基礎的研究, 水工学論文集 土木学会水工学委員会 編, 2013, Vol. 57, pp. 1_865-870.

[20] 岡本 隆明, 前川 卓耶, 山上 路生, 平坦河床から植生群落に遷移する過程で発生する Diverging Flow に関する研究, *Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. B1 (Hydraulic Engineering)*, 2013, Vol. 69, No. 4, pp. I_871-I_876.

[21] 山上 路生, 禰津 家久, Hydrodynamic characteristics and related mass transfer properties in open-channel flows within a rectangular shaped embayment zone, *Environmental Fluid Mechanics*, 2013, Vol. 13, pp. 527-555.

[22] 崎谷 健太, 山上 路生, 連続水制を伴う開水路乱流における自由水面のガス輸送に関する基礎的研究, *Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. B1 (Hydraulic Engineering)*, 2013, Vol. 69, No. 4, pp. I_889-I_894.

[23] 小松 峻也, 山上 路生, 禰津 家久, 風波流れの発達過程と 3 次元構造に関する実験的研究, *Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. B1 (Hydraulic Engineering)*, 2013, Vol. 69, No. 4, pp. I_1483-I_1488.

[24] 山上 路生, 岡本 隆明, 禰津 家久, 河道樹木群による水流エネルギー減衰に関する基礎的研究, *Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. B1*

(Hydraulic Engineering), 2013, Vol. 69, No. 4, pp. I_865-I_870.

[25] 岡本 隆明, 前川 卓耶, 山上 路生, 平坦河床から植生群落に遷移する過程で発生する Diverging Flow に関する研究, 水工学論文集 土木学会水工学委員会 編, 2013, Vol. 57, pp. 1_871-876.

[26] 崎谷 健太, 山上 路生, 連続水制を伴う開水路乱流における自由水面のガス輸送に関する基礎的研究, 水工学論文集 土木学会水工学委員会 編, 2013, Vol. 57, pp. 1_889-894.

[27] 小松 峻也, 山上 路生, 禰津 家久, 風波流れの発達過程と 3 次元構造に関する実験的研究, 水工学論文集 土木学会水工学委員会 編, 2013, Vol. 57, pp. 1_1483-1488.

[28] 戸田 圭一, 山本 大介, 避難からみた小規模地下空間の浸水時の危険性, 地下空間シンポジウム論文・報告集, 2013, Vol. 18, pp. 47-50.

[29] K. Toda, T. Ishigaki, Y. Baba, Educational activities for urban flood damage reduction using unique facilities, *Floods: From Risk To Opportunity(IAHS Publ.)*, 2013, Vol. 357, pp. 135-142.

水工学講座 水文・水資源工学分野

[1] キムヨンス, 立川康人, 萬 和明, キムスンミン, 粒子フィルタと洪水追跡モデルを用いた水位流量曲線の作成および補正手法の開発, 河川技術論文集, 2014, Vol. 20, pp. 361-366.

[2] D.T. Duong, Y. Tachikawa, K. Yorozu, Changes in river discharge in the Indochina Peninsula region projected using MRI-AGCM and MIROC5 datasets, *Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. B1 (Hydraulic Engineering)*, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. I_115-I_120.

[3] S. Kim, E. Nakakita, Y. Tachikawa, M. Shiiba, M. Inoue, Statistical downscaling of precipitation with a formatted regression frame, *Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. B1 (Hydraulic Engineering)*, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. 901-906.

[4] 萬 和明, 松原 拓也, 立川 康人, 椎葉 充晴, 陸面過程モデルへの 2 種類の作物成長モデルの結合と灌漑要求水量の将来変化推定, 土木学会論文集 *B1*（水工学）, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. I_571-I_576.

[5] D.T. Duong, Y. Tachikawa, M. Shiiba, K. Yorozu, Statistical analysis of river discharge projected using the MRI-AGCM3.2S dataset in Indochina Peninsula, *Hydrology in A Changing World: Environmental and Human Dimensions*, 2014, Vol. 363, pp. 165-170.

[6] S. Wichakul, Y. Tachikawa, M. Shiiba, K. Yorozu, Prediction of water resources in the Chao Phraya River Basin, Thailand, *IAHS Publication*, 2014, Vol. 363, pp. 151-157.

[7] 北野 利一, 高橋 倫也, 田中 茂信, 椎葉 充晴, 立川 康人, 「総合確率法の数学的解釈」への討議・回答, *Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. B1 (Hydraulic Engineering)*, 2014, Vol. 70, No. 2, pp. 32-36.

[8] 田中 智大, 立川 康人, 萬 和明, 分布型流出モデルをネスティングする流出・氾濫一体型モデルの構築, 土木学会論文集 *B1*（水工学）, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. I_1495-I_1500.

[9] 田中 智大, 立川 康人, 萬 和明, 分布型流出モデルをネスティングする流出・氾濫一体型モデルの構築, 水工学論文集 土木学会水工学委員会 編, 2014, Vol. 58, pp. 1495-1500.

[10] S.J. Noh, Y. Tachikawa, M. Shiiba, K. Yorozu, S. Kim, Development of a hydrological modeling framework for data assimilation with particle filters, *Journal of Japan Society of Civil Engineers*, 2013, Vol. 1, No. 1, pp. 69-81.

[11] S. Wichakul, Y. Tachikawa, M. Shiiba, Developing a regional distributed hydrological model for water resources assessment and its application to the Chao Phraya River basin, *Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. B1 (Hydraulic Engineering)*, 2013, Vol. 69, No. 4, pp. I_43-I_48.

[12] D.T. Duong, Y. Tachikawa, M. Shiiba, K. Yorozu, River discharge projection in Indochina Peninsula under a changing climate using the MRI-AGCM3.2s dataset, *Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. B1 (Hydraulic Engineering)*, 2013, Vol. 69, No. 4, pp. I_37-I_42.

[13] 立川 康人, 藤田 勇樹, 椎葉 充晴, 萬 和明, キム スンミン, 気候変化によるタイ国パサック川流域の水資源変化の予測, 土木学会論文集, *B1(*水工学*)*, 2013, Vol. 69, No. 4, pp. I_445-I_450.

[14] Y. Kim, Y. Tachikawa, S. Kim, M. Shiiba, S.J. Noh, Estimating the 2011 largest flood discharge at the Kumano River using a 2D dynamic wave model and particle filters, *Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. B1 (Hydraulic Engineering)*, 2013, Vol. 69, No. 4, pp. I_163-I_168.

[15] 田中 智大, 立川 康人, 椎葉 充晴, 萬 和明, キム スンミン, 福島県口太川流域における放射性物質の移行のモデル化と再現について, 土木学会論文集, *B1(*水工学*)*, 2013, Vol. 69, No. 4, pp. I_487-I_492.

[16] S.J. Noh, Y. Tachikawa, M. Shiiba, S. Kim, Sequential data assimilation for streamflow forecasting using a distributed hydrologic model: particle filtering and ensemble Kalman filtering, *Floods: From Risk To Opportunity*, 2013, Vol. 357, pp. 341-349.

[17] S.J. Noh, Y. Tachikawa, M. Shiiba, S. Kim, Ensemble Kalman Filtering and Particle Filtering in a Lag-Time Window for Short-Term Streamflow Forecasting with a Distributed Hydrologic Model, *Journal of Hydrologic Engineering*, 2013, Vol. 18, No. 12, pp. 1684-1696.

[18] 椎葉充晴, 立川康人, 総合確率法の数学的解釈, 土木学会論文集, 2013, Vol. 69, No. 2, pp. 101-104.

[19] 椎葉 充晴, 立川 康人, 総合確率法の数学的解釈, 土木学会論文集 *B1(*水工学*)*, 2013, Vol. 69, No. 2, pp. 101-104.

[20] Y. Kim, Y. Tachikawa, M. Shiiba, S. Kim, K. Yorozu, S.J. Noh, Simultaneous estimation of in-

flow and channel roughness using 2D hydraulic model and particle filters, *Journal of Flood Risk Management*, 2013, Vol. 6, No. 2, pp. 112-123.

[21] G. Mouri, V. Golosov, S. Chalov, S. Takizawa, K. Oguma, K. Yoshimura, M. Shiiba, T. Hori, T. Oki, Assessment of potential suspended sediment yield in Japan in the 21st century with reference to the general circulation model climate change scenarios, *Global and Planetary Change*, 2013, Vol. 102, pp. 1-9.

[22] 田中 智大, 立川 康人, 椎葉 充晴, 福島県口太川流域における放射性物質の移行のモデル化と再現について, 水工学論文集 土木学会水工学委員会 編, 2013, Vol. 57, pp. 1_487-492.

[23] 立川 康人, 藤田 勇樹, 椎葉 充晴, 気候変化によるタイ国パサック川流域の水資源変化の予測, 水工学論文集 土木学会水工学委員会 編, 2013, Vol. 57, pp. 1_445-450.

地盤力学講座 地盤力学分野

[1] 木元 小百合, 由井 洋和, 松岡 浩志, 岡 二三生, 南海トラフ巨大地震を想定した大阪市域における液状化解析, *Geokansai Geo-Symposium 2014*, 地下水盤環境・防災計測技術に関するシンポジウム, 平成 *26* 年 *11* 月, 2014, p. CD-ROM.

[2] S. Kimoto, T. Akaki, T. Kitano, H. Iwai, F. Oka, Dynamic behavior of hydrate-bearing sediments during earthquakes, *Proc. of The 14th Int. Conf. of International Association For Computer Methods and Recent Advances in Geomechanics*, 2014, pp. 1669-1674.

[3] T. Takyu, S. Kimoto, F. Oka, Numerical simulation of landslide due to excavation of soft rock using an elasto-viscoplastic water-soil coupled FEM, *Proc. of The 14th Int. Conf. of International Association For Computer Methods and Recent Advances in Geomechanics, Kyoto, Japan, 22-25 September*, 2014, pp. 1095-1100.

[4] N. Takada, K. Shimono, F. Oka, S. Kimoto, Y. Higo, Numerical evaluation of the deformation of earth retaining wall reinforced by soil buttress method during the excavation in soft soil, *Proc. of The 14th Int. Conf. of International Association For Computer Methods and Recent Advances in Geomechanics, Kyoto, Japan, 22-25 September*, 2014, pp. 1037-1042.

[5] R. Kato, F. Oka, S. Kimoto, A numerical simulation of seismic behavior of highway embankments considering seepage flow, *Proc. of The 14th Int. Conf. of International Association For Computer Methods and Recent Advances in Geomechanics, Kyoto, Japan, 22-25 September*, 2014, pp. 755-760.

[6] H. Iwai, S. Kimoto, T. Akaki, F. Oka, analysis and numerical simulation of the dissociation process of methane hydrate bearing soil, *Proc. of The 14th Int. Conf. of International Association For Computer Methods and Recent Advances in Geomechanics, Kyoto, Japan, 22-25 September*, 2014, pp. 421-426.

[7] H. Sadeghi, S. Kimoto, F. Oka, Dynamic analysis of river embankments during earthquakes using a finite deformation FE analysis method, *Proc. of The 14th Int. Conf. of International Association For Computer Methods and Recent Advances in Geomechanics, Kyoto, Japan, 22-25 September*, 2014, pp. 637-642.

[8] B.S. Khan, M. Mirjalili, S. Kimoto, F. Oka, Dynamic analysis of strain localization in water-saturated clay using a cyclic elasto-viscoplastic model, *International Journal for Numerical and Analytical Methods in Geomechanics*, 2014, Vol. 38, No. 8, pp. 771-793.

[9] K. Isobe, M. Kimura, S. Ohtsuka, Design approach to a method for reinforcing existing caisson foundations using steel pipe sheet piles, *Soils and Foundations*, 2014, Vol. 54, No. 2, pp. 141-154.

[10] 澤村 康生, 荒居 旅人, 岸田 潔, 木村 亮, 壁面工を有する盛土内に設置されたアーチカルバートにおける縦断方向の地震時挙動に関する遠心模型実験, 地盤工学ジャーナル, 2014, Vol. 9, No. 3, pp. 41-57.

[11] Y. Fukubayashi, M. Kimura, Improvement of rural access roads in developing countries with initiative for self-reliance of communities, *Soils and Foundations*, 2014, Vol. 54, No. 1, pp. 23-35.

[12] 木村 亮, 富山 英範, 巻頭インタビュー 道路分野のインフラ輸出に求められるものとは 品質と創意工夫は日本の持ち味 「付加価値」見える化, 伝える努力を, 道路 *: road engineering & management review*, 2014, No. 876, pp. 4-9.

[13] 寺本 俊太郎, 尾方 武文, 木村 亮, デジタル写真測量技術を用いた補強土壁の長期計測, 地盤工学ジャーナル, 2014, Vol. 9, No. 2, pp. 287-298.

[14] Y. Higo, F. Oka, R. Morishita, Y. Matsuhima, T. Yoshida, Trinarization of lX-ray CT images of partially saturated sand at different water-retention states using a region growing method, *Nuclear Instruments and Methods in Physics Research B*, 2014, Vol. 324, No. 1, pp. 63-69.

[15] 寺本 俊太郎, 木村 亮, 西崎 丈能, 新村 知也, 井上 昭生, 阿久津 富弘, 既設の LNG タンク基礎を用いた 63 本群杭基礎の水平載荷試験に基づく群杭の挙動に対する考察, 土木学会論文集C（地圏工学）, 2014, Vol. 70, No. 2, pp. 275-289.

[16] 杉山 和久, 臼田 利之, 木村 亮, 8. トラブルサム地盤に対するリスクマネージメント (地下建設工事においてトラブルが発生しやすい地盤の特性と対応技術), 地盤工学会誌, 2014, Vol. 62, No. 9, pp. 41-48.

[17] 杉山 和久, 臼田 利之, 木村 亮, 地下建設工事においてトラブルが発生しやすい地盤の特性と対応技術 (8) トラブルサム地盤に対するリスクマネージメント, 地盤工学会誌：土と基礎, 2014, Vol. 62, No. 9, pp. 41-48.

[18] 木村 亮, 土木でノーベル平和賞!?, 土木技術, 2014, Vol. 69, No. 2, pp. 69-77.

[19] M.R. Karim, F. Oka, K. Krabbenhoft, S. Leroueil, S. Kimoto, Simulation of long-term con-

solidation behavior of soft sensitive clay using an elasto-viscoplastic constitutive model, *International Journal for Numerical and Analytical Methods in Geomechanics*, 2013, Vol. 37, No. 16, pp. 2801-2824.

[20] S.B. Tamrakar, T. Mitachi, G.T.C. Kung, Tensile strength and suction of naturally available saturated clays with modified tensile testing apparatus and their relationships with unconfined compressive strength, *Disaster Advances*, 2013, Vol. 6, No. 10, pp. 96-109.

[21] 山田　茂治, 岡　二三生, 木元　小百合, 河川堤防における電磁波・電磁法による内部構造探査事例, 基礎工, 2013, Vol. 41, No. 9, pp. 48-50.

[22] Y. Sawamura, K. Kishida, M. Kimura, Centrifuge Model Test and FEM Analysis of Dynamic Interactive Behavior between Embankments and Installed Culverts in Multiarch Culvert Embankments, *International Journal of Geomechanics*, 2013, Vol. 15, No. 3, pp. 04014050-1-04014050-12.

[23] Y. Higo, F. Oka, T. Sato, Y. Matushima, S. Kimoto, Investigation of localized deformation in partially saturated sand under triaxial compression by microfocus X-ray CT with digital image correlation, *Soils and Foundations*, 2013, Vol. 53, No. 2, pp. 181-198.

[24] Y. Higo, F. Oka, T. Sato, Y. Matsushima, S. Kimoto, Investigation of localized deformation in partially saturated sand under triaxial compression using microfocus X-ray CT with digital image correlation, *Soils and Foundations*, 2013, Vol. 53, No. 2, pp. 181-198.

[25] 木村 亮, 重要文化財 (永代橋 (えいたいばし) と清洲橋 (きよすばし)) の耐震補強に携わって (特集 巨大地震に備える) – (防災計画), 橋梁と基礎, 2013, Vol. 47, No. 8, pp. 44-47.

[26] 木村 亮, 毒饅頭による高度な人材育成：京都大学の歴史を塗り替える教育プロジェクト, 土木學會誌, 2013, Vol. 98, No. 8, pp. 30-31.

[27] 篠原 聖二, 金治 英貞, 鬼木 浩二, 木村 亮, 杭基礎一体型鋼管集成橋脚の構造提案と地震時応答解析, 土木学会論文集C（地圏工学）, 2013, Vol. 69, No. 3, pp. 312-325.

[28] 木村 亮, 若者を現場に連れ出し土木技術の伝承を図ろう, 土木學會誌, 2013, Vol. 98, No. 6, p. 55.

[29] 木村 亮, 世界一の国際土木ＮＰＯをつくる, 土木學會誌, 2013, Vol. 98, No. 1, pp. 36-37.

[30] 今 広人, 吉田 映, 細田 光美, 木村 亮, プレボーリング杭工法の根固め部におけるソイルセメントの室内配合試験による強度特性, 地盤工学ジャーナル, 2013, Vol. 8, No. 4, pp. 567-578.

地盤力学講座 社会基盤創造工学分野

[1] 岸田　潔, 立田安礼, 澤村康生, 木村　亮, 軟弱地盤上に設置する多ユニットアーチカルバートの挙動と地盤改良効果に関する検討, 土木学会論文集 *C*（地圏工学）, 2013, Vol. 69, No. 1, pp. 20-30.

資源工学講座 応用地球物理学分野

[1] Y. Ozaki, H. Mikada, T. Goto, J. Takekawa, Self-potential Inversion for the Estimation of Permeability Structure, *Journal of Environmental and Engineering Geophysics*, 2014, Vol. 19, No. 3, 193.

[2] J. Takekawa, H. Mikada, T. Goto, A Hamiltonian Particle Method with a Staggered Particle Technique for Simulating Seismic Wave Propagation, *Pure and Applied Geophysics*, 2014, Vol. 171, No. 8, 1747.

[3] J. Takekawa, H. Mikada, T. Goto, An accuracy analysis of a Hamiltonian particle method with the staggered particles for seismic-wave modeling including surface topography, *Geophysics*, 2014, Vol. 79, No. 4, T189.

[4] J. Takekawa, H. Mikada, T. Goto, Numerical simulation using a Hamiltonian particle method for effective elastic properties in cracked media, *Exploration Geophysics*, 2014, Vol. 45, No. 2, 116.

[5] H. Mikada, Sections/associated societies focus, *Leading Edge*, 2014, Vol. 33, No. 2, pp. 210-211.

[6] 武川順一, 三ケ田均, 後藤忠徳, 表面波伝播シミュレーションにおける粒子法の精度評価, 物理探査, 2013, Vol. 66, pp. 85-96.

[7] E.J. Hondori, H. Mikada, T. Goto, J. Takekawa, A random layer-stripping method for seismic reflectivity inversion, *Exploration Geophysics*, 2013, Vol. 44, No. 2, 70.

[8] J. Takekawa, H. Mikada, T. Goto, Y. Sanada, Y. Ashida, Coupled Simulation of Seismic Wave Propagation and Failure Phenomena by Use of an MPS Method, *Pure Appl. Geophys.*, 2013, Vol. 170, No. 4, 561.

[9] N. Seama, N. Tada, T. Goto, M. Shimoizumi, A continuously towed vertical bipole source for marine magnetometric resistivity surveying, *Earth Planets Space*, 2013, Vol. 65, No. 8, 883.

[10] K. Okamoto, H. Mikada, T. Goto, J. Takekawa, Numerical analysis of the relationship between time-variant coda-Q and the variation in crustal stress, *Geophys. J. Int.*, 2013, Vol. 195, No. 1, 575.

[11] J. Takekawa, H. Mikada, T. Goto, Effect of heterogeneities on evaluating earthquake triggering of volcanic eruptions, *Nat. Hazards Earth Syst. Sci.*, 2013, Vol. 13, No. 2, 231.

[12] 筒井 智樹, 八木 直史, 井口 正人, 為栗 健, 三ヶ田 均, 尾西 恭亮, 宮町 宏樹, 西村 太志, 森田 裕一, 渡邊 篤志, 桜島火山北東部の地震反射構造, 火山, 2013, Vol. 58, No. 1, pp. 239-250.

[13] 武川 順一, 三ケ田 均, 後藤 忠徳, 表面波伝播シミュレーションにおける粒子法の精度評価, 物理探査, 2013, Vol. 66, No. 2, pp. 85-95.

[14] 筒井 智樹, 八木 直史, 井口 正人, 為栗 健, 三ヶ田 均, 尾西 恭亮, 宮町 宏樹, 西村 太志, 森田 裕一, 渡邊 篤志, 桜島火山北東部の地震反射構造 (< 特集> 桜島火山), 火山, 2013, Vol. 58, No. 1, pp. 239-250.

資源工学講座 地殻開発工学分野

[1] T. Ishida, T. Kanagawa, Y. Uchita, Acoustic emission induced by progressive excavation of an underground powerhouse, *International Journal of Rock Mechanics and Mining Sciences*, 2014, Vol. 71, pp. 362-368.

[2] Y. Nara, R. Nakabayashi, M. Maruyama, N. Hiroyoshi, T. Yoneda, K. Kaneko, Influences of electrolyte concentration on subcritical crack growth in sandstone in water, *Engineering Geology*, 2014, Vol. 179, pp. 41-49.

[3] 奈良 禎太, 大江 悠真, 村田 澄彦, 石田 毅, 金子 勝比古, 周辺環境の変化を考慮した岩石のサブクリティカルき裂進展に基づく長期強度の評価, 材料, 2014, Vol. 63, No. 3, pp. 212-218.

[4] M. Naoi, M. Nakatani, S. Horiuchi, Y. Yabe, J. Philipp, T. Kgarume, G. Morema, S. Khambule, T. Masakale, L. Ribeiro, K. Miyakawa, A. Watanabe, K. Otsuki, H. Moriya, O. Murakami, H. Kawakata, N. Yoshimitsu, A. Ward, R. Durrheim, H. Ogasawara, Frequency-Magnitude Distribution of $-3.7 \leq Mw \leq 1$ Mining-Induced Earthquakes around a Mining Front and b-Value Invariance with Post-Blast Time, *Pure Appl. Geophys*, 2013, Vol. 171, pp. 2665-2684.

[5] D. Fukuda, Y. Nara, D. Hayashi, H. Ogawa, K. Kaneko, Influence of Fracture Width on Sealability in High-Strength and Ultra-Low-Permeability Concrete in Seawater, *Materials*, 2013, Vol. 6, No. 7, pp. 2578-2594.

[6] Y. Nara, H. Yamanaka, Y. Oe, K. Kaneko, Influence of temperature and water on subcritical crack growth parameters and long-term strength for igneous rocks, *Geophysical Journal International*, 2013, Vol. 193, No. 1, pp. 47-60.

[7] 青柳 和平, 石田 毅, 村田 澄彦, 山本 晃司, 関根 孝太郎, 伊藤 高敏, 陳 渠, ボアホールブレイクアウトに対する中間主応力の影響の実験的検討, *Journal of MMIJ(*資源・素材学会誌*)*, 2013, Vol. 129, No. 4, pp. 107-115.

[8] 奈良 禎太, 加藤 春實, 金子 勝比古, 松木 浩二, 佐藤 隆司, 塚本 斉, 花崗岩の P 波速度分布と DSCA 法から求めたクラックパラメータの関係, *Journal of MMIJ : Journal of The Mining and Materials Processing Institute of Japan*, 2013, Vol. 129, No. 7, pp. 447-454.

[9] 芦田 彬久, 村田 澄彦, 高橋 悟, 岡部 博, 「不均質性を考慮した掃攻率改善のための効果的貯留層内ブロッキングの検討」に対する質問への回答, 石油技術協会誌, 2013, Vol. 78, No. 3, pp. 278-281.

[10] 當麻 玄大, 村田 澄彦, 三小田 昌史, 発破低周波音振動低減のための最適起爆秒時差, *Journal of MMIJ : Journal of the Mining and Materials Processing Institute of Japan*, 2013, Vol. 129, No. 10, pp. 626-634.

[11] 村田 澄彦, 芦田 彬久, 高橋 悟, 講演 貯留層内ブロッキングによる掃攻率改善効果の検討 (開発・生産部門シンポジウム 生産性・回収率向上に向けた産学の挑戦), 石油技術協会誌, 2013, Vol. 78, No. 6, pp. 445-454.

資源工学講座 計測評価工学分野

[1] 保田 尚俊, 塚田 和彦, 朝倉 俊弘, 3 次元弾性波動論に基づいた山岳トンネルの地震被害メカニズムに関する考察, 土木学会論文集 *F1*（トンネル工学）, 2014, Vol. 70, No. 1, pp. 1-14.

[2] 保田 尚俊, 塚田 和彦, 朝倉 俊弘, 円筒地中構造物に生じる地震時軸方向変形の応答変位法を用いた評価に関する波動論的考察, 土木学会論文集A 1（構造・地震工学）, 2014, Vol. 70, No. 2, pp. 306-318.

[3] 嶋本 敬介, 野城 一栄, 鈴木 尊, 朝倉 俊弘, 供用中の山岳トンネルで発生する路盤隆起現象とその対策工の効果, トンネルと地下, 2013, Vol. 44, No. 5, pp. 371-379.

[4] 嶋本 敬介, 野城 一栄, 小島 芳之, 中西 祐介, 塚田 和彦, 朝倉 俊弘, 地山の塑性化に伴う山岳トンネルの路盤隆起現象とその対策工に関する研究, 土木学会論文集 *F1(*トンネル工学*)* 特集号, 2013, Vol. 69, No. 1, pp. 54-72.

[5] 嶋本 敬介, 野城 一栄, 小島 芳之, インバート半径が路盤隆起に与える影響に関する数値解析的検討, トンネル工学報告集, 2013, Vol. 23, pp. 239-246.

[6] 竹内 照造, 朝倉 俊弘, 関 雅樹, 山岳トンネル覆工裏込め注入工法に関する研究, トンネル工学報告集, 2013, Vol. 23, pp. 261-268.

[7] 嶋本 敬介, 野城 一栄, 小島 芳之, 塚田 和彦, 朝倉 俊弘, 建設時の影響を考慮した山岳トンネルの路盤隆起現象とその対策工に関する研究, 土木学会論文集 *F1*（トンネル工学）, 2013, Vol. 69, No. 2, pp. 105-120.

[8] 嶋本 敬介, 野城 一栄, 小島 芳之, 中西 祐介, 塚田 和彦, 朝倉 俊弘, 地山の塑性化に伴う山岳トンネルの路盤隆起現象とその対策工に関する研究, 土木学会論文集 *F1*（トンネル工学）, 2013, Vol. 69, No. 1, pp. 54-72.

[9] 岡野 法之, 仲山 貴司, 津野 究, 小島 芳之, 西藤 潤, 朝倉 俊弘, れんが積み覆工トンネルの耐力評価に関する研究, 土木学会論文集 *F1*（トンネル工学）, 2013, Vol. 69, No. 1, pp. 29-38.

計算工学講座

[1] M.R. Soliman, S. Ushijima, S. Kantouch, Density current propagation in a tidal river, *River Flow 2014*, 2014, pp. 197-204.

[2] 丸山 紀尚, 青木 一真, 牛島 省, 流体中の物体群運動に対する動的負荷分散を考慮した並列計算手法, 土木学会論文集 *A2*（応用力学）, 2014, Vol. 70, No. 2, pp. I_185-I_194.

[3] 鳥生 大祐, 牛島 省, 青木 一真, 圧縮性流体と固体の熱連成場における流体解析手法, 土木学会論文集 *A2*（応用力学）, 2014, Vol. 70, No. 2, pp. I_165-I_172.

[4] 青木 一真, 牛島 省, 宮木 伸, 鳥生 大祐, 高低マッハ数に適用可能な 3 次元圧縮性流体の数値解析手法, 土木学会論文集 *A2*（応用力学）, 2014, Vol. 70, No. 2, pp. I_289-I_296.

[5] 丸山 紀尚, 牛島 省, 動的負荷分散を考慮した流体中の任意形状物体運動群の並列計算法, 土木学会論文集 *B1*（水工学）, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. I_835-I_840.

[6] 鳥生 大祐, 牛島 省, ２相流体と複雑形状固体との熱的連成を考慮した３次元数値計算法, 土木学会論文集 *B1*（水工学）, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. I_817-I_822.

[7] 吉田 圭介, 牛島 省, 田中 龍二, 宮木 伸, 前野 詩朗, 開水路に置かれた自然石に作用する流体力の数値計算, 土木学会論文集 *A2*（応用力学）, 2014, Vol. 70, No. 2, pp. I_701-I_708.

[8] M.R. Soliman, S. Ushijima, I. El-Shinawy, Re-originate Burullus coastal lake's ecosystem using salinity dynamics as a management tool, *Ocean & Coastal Management*, 2013, Vol. 85, pp. 7-18.

[9] 青木 一真, 牛島 省, 鳥生 大祐, 圧縮性流体に対する保存型陰的計算アルゴリズムの提案, 土木学会論文集 *A2*（応用力学）, 2013, Vol. 69, No. 2, pp. I_51-I_58.

[10] 鳥生 大祐, 牛島 省, 熱伝導性を有する多孔質体中の自然対流現象に対する多相場モデルの適用性, 土木学会論文集 *A2*（応用力学）, 2013, Vol. 69, No. 2, pp. I_71-I_78.

[11] 鳥生 大祐, 牛島 省, 多相場モデルを用いた多孔質体内の自然対流の３次元計算, 土木学会論文集 *B1*（水工学）, 2013, Vol. 69, No. 4, pp. I_613-I_618.

[12] M.R. SOLIMAN, S. USHIJIMA, Climate change impact on El-Burullus lake salinizaton process, *Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. B1 (Hydraulic Engineering)*, 2013, Vol. 69, No. 4, pp. I_253-I_258.

[13] M.R. SOLIMAN, S. USHIJIMA, Equilibrium and Non-equilibrium Sediment Transport Modeling Based On Parallel MACS Algorithm, *Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. A2 (Applied Mechanics (AM))*, 2013, Vol. 69, No. 2, pp. I_79-I_86.

防災工学講座 水文気象工学分野

[1] K. Suzuki, M. Matsuo, E. Nakano, S. Shigeto, K. Yamaguchi, E. Nakakita, Graupel in the different developing stages of Baiu monsoon clouds observed by videosondes, *Atmospheric Research*, 2014, Vol. 142, pp. 100-110.

[2] S. Kim, E. Nakakita, Y. Tachikawa, M. Shiiba, M. Inoue, Statistical downscaling of precipitation with a formatted regression frame, *Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. B1 (Hydraulic Engineering)*, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. 901-906.

[3] 増田 有俊, 中北 英一, Xバンド偏波レーダを用いた降水セルのライフステージ判別手法の開発, 土木学会論文集 *B1*（水工学）, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. I_493-I_498.

[4] 城戸 由能, 北側 有輝, 中北 英一, GCM 空間解像度を考慮した地下水環境への気候変動影響の統計確率的評価手法に関する研究, 土木学会論文集 *B1*（水工学）, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. I_1135-I_1140.

[5] 小林 健一郎, 奥 勇一郎, 中北 英一, 中野 満寿男, 寶馨, 伊勢湾台風擬似温暖化実験による淀川流域における洪水規模の変化予測, 土木学会論文集 *B1*（水工学）, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. I_391-I_396.

[6] W. YU, 中北 英一, S. KIM, 山口 弘誠, ACCURACY IMPROVEMENT OF FLOOD FORECASTING USING PRE-PROCESSING OF ENSEMBLE NUMERICAL WEATHER PREDICTION RAINFALL FIELDS, 土木学会論文集 *B1*（水工学）, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. I_151-I_156.

[7] 中島 秀明, 田中 耕司, 中北 英一, 竹之内 健介, 矢守 克也, 養老 伸介, 羽生 雅則, 中小河川群における内外氾濫過程を踏まえた地区別の避難判断・行動に関する研究, 河川技術論文集, 2014, Vol. 20, pp. 425-430.

[8] 高田 望, 田中 祐介, 池淵周一, 中北 英一, 降雨スケールの分離に基づいた短時間降雨予測手法の予測誤差推定手法に関する研究, 河川技術論文集, 2014, Vol. 20, pp. 331-336.

[9] 高田 望, 田中 裕介, 池淵 周一, 中北 英一, 実時間の予測誤差分散と予測バイアスを利用した降雨予測モデル出力値合成手法の開発, 土木学会論文集 *B1*（水工学）, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. I_895-I_900.

[10] 中北 英一, 西脇 隆太, 山口 弘誠, ゲリラ豪雨の早期探知・予報システムの開発, 河川技術論文集, 2014, Vol. 20, pp. 355-360.

[11] 竹之内 健介, 中島 秀明, 田中 耕司, 中北 英一, 矢守 克也, 養老 伸介, 羽生 雅則, 中小河川群の氾濫解析と気象情報を利用した地域防災計画が想定する災害イメージの事前構築, 土木学会論文集 *F6*（安全問題）, 2014, Vol. 70, No. 2, pp. I_37-I_44.

[12] Yoon S., Eiichi N., The development of rain-based urban flood forecasting method for river management practice using X-MP radar observation, *Advances in River Engineering*, 2013, Vol. 19, pp. 223-228.

[13] 相馬一義, 田中賢治, 末次忠司, 坪木和久, 篠田太郎, 榊原篤志, 長谷川晃一, 茂木耕作, 中北 英一, 現実的な地表面状態量初期値が 2008 年に東京都で発生した局地的大雨へ与える影響, 土木学会論文集 *B1(*水工学*)*, 2013, Vol. 57, pp. 343-348.

[14] Sato Y., Toshiharu K., Yuri M., Yasushi S., Nakakita E., Assessment of climate change impacts on river discharge in Japan using the super-high-resolution MRI-AGCM, *Hydrological Processes*, 2013, p. DOI:10.1002/hyp.9828.

[15] 松原隆之, 笠原 覚, 嶋田善多, 中北 英一, 土田和稔, 高田 望, 台風情報と全球数値予報モデル（GSM）によるダム運用の改善に関する基礎検討, 土木学会論文集 *B1(*水工学*)*, 2013, Vol. 57, pp. 367-372.

[16] Yu W., Eiichi N., Kosei Y., Assessment of probabilistic flood forecasting using ensemble NWP rainfall with 30hr forecast time during typhoon events, *Advances in River Engineering*, 2013, Vol. 19, pp. 235-240.

[17] 中北英一, 西脇隆太, 山邊洋之, 山口弘誠, ドップラー風速を用いたゲリラ豪雨のタマゴの危険性予知に関する研究, 土木学会論文集 *B1(*水工学*)*, 2013, Vol. 57, pp. 325-330.

[18] 山口弘誠, 中北 英一, 野中理伸, 9m2 巨大雨量計の開発による地上雨量計の捕捉率の評価, 土木学会論文集 *B1(*水工学*)*, 2013, Vol. 57, pp. 307-312.

[19] 鈴木博人, 中北 英一, 高橋日出男, 離散的に配置された雨量計の大雨の捕捉性能に関する解析, 土木学会論文集 *B1(*水工学*)*, 2013, Vol. 57, pp. 295-300.

防災工学講座 海岸防災工学分野

[1] S. Kim, Y. Matsumi, T. Yasuda, H. Mase, Storm surges along the Tottori coasts following a typhoon, *Ocean Engineering*, 2014, Vol. 91, pp. 133-145.

[2] K. Goda, P.M. Mai, T. Yasuda, N. Mori, Sensitivity of tsunami wave profiles and inundation simulations to earthquake slip and fault geometry for the 2011 Tohoku earthquake, *Earth Planets and Space*, 2014, Vol. 66, No. 1, p. 105.

[3] N. Mori, M. Kato, S. Kim, H. Mase, Y. Shibutani, T. Takemi, K. Tsuboki, T. Yasuda, Local amplification of storm surge by Super Typhoon Haiyan in Leyte Gulf, *Geophysical Research Letters*, 2014, Vol. 41, No. 14, pp. 5106-5113.

[4] S. Nakajo, N. Mori, T. Yasuda, H. Mase, Global Stochastic Tropical Cyclone Model Based on Principal Component Analysis and Cluster Analysis, *Journal of Applied Meteorology and Climatology*, 2014, Vol. 53, No. 6, pp. 1547-1577.

[5] Y. Kimura, H. Mase, Numerical Simulation of a Rising Seawall for Coastal Flood Protection, *Journal of Waterway Port Coastal and Ocean Engineering*, 2014, Vol. 140, No. 3, p. 04014002.

[6] Y. Kimura, H. Mase, K. Nakayasu, T. Morii, Experimental Study on Real-Time Tsunami Protection Structures, *Journal of Waterway Port Coastal and Ocean Engineering*, 2014, Vol. 140, No. 3, p. 04014003.

[7] Y. Tajima, T. Yasuda, B.M. Pacheco, E.C. Cruz, K. Kawasaki, H. Nobuoka, M. Miyamoto, Y. Asano, T. Arikawa, N.M. Ortigas, R. Aquino, W. Mata, J. Valdez, F. Briones, INITIAL REPORT OF JSCE-PICE JOINT SURVEY ON THE STORM SURGE DISASTER CAUSED BY TYPHOON HAIYAN, *Coastal Engineering Journal*, 2014, Vol. 56, No. 1, p. 1450006.

[8] T. Yasuda, S. Nakajo, S. Kim, H. Mase, N. Mori, K. Horsburgh, Evaluation of future storm surge risk in East Asia based on state-of-the-art climate change projection, *Coastal Engineering*, 2014, Vol. 83, pp. 65-71.

[9] 溝端 祐哉, 安田 誠宏, 奥村 与志弘, 森 信人, 間瀬 肇, 島田 広昭, 漸増津波氾濫解析を用いた地域の耐津波ポテンシャル評価, 土木学会論文集 *B2(*海岸工学*)*, 2014, Vol. 70, No. 2, pp. I_1326-I_1330.

[10] 内山 雄介, 松川 大佑, 神吉 亮佑, 馬場 康之, 森 信人, 水谷 英朗, 渡部 靖憲, 大塚 淳一, 山田 朋人, 猿渡 亜由未, 二宮 順一, 紀伊半島田辺湾湾口部における海水交換特性に関する研究, 土木学会論文集 *B2(*海岸工学*)*, 2014, Vol. 70, No. 2, pp. I_446-I_450.

[11] 安田 誠宏, 谷口 翔太, 奥村 与志弘, 溝端 祐哉, 島田 広昭, 森 信人, 間瀬 肇, 避難所生活者の収容可能人数からみた災害対応の転換を要する津波規模の推定, 土木学会論文集 *B2*（海岸工学）, 2013, Vol. 69, No. 2, pp. I_1341-I_1345.

[12] 安田 誠宏, 谷口 翔太, 奥村 与志弘, 避難所生活者の収容可能人数からみた災害対応の転換を要する津波規模の推定, 土木学会論文集. *B2,* 海岸工学, 2013, Vol. 69, No. 2, pp. 1341-1345.

防災工学講座 防災技術政策分野

[1] W. Duan, B. He, K. Takara, P. Luo, M. Hu, N.E. Alias, M. Ishihara, Y. Wang, Climate Change Impacts on Wave Characteristics along the Coast of Japan from 1986 to 2012, *Journal of Coastal Research*, 2014, Vol. 68, pp. 97-104.

[2] E.M. Akpabio, K. Takara, Understanding and confronting cultural complexities characterizing water, sanitation and hygiene in Sub-Saharan Africa, *Water International*, 2014, Vol. 39, No. 7, pp. 921-932.

[3] K. Sassa, K. Dang, B. He, K. Takara, K. Inoue, O. Nagai, A new high-stress undrained ring-shear apparatus and its application to the 1792 Unzen-Mayuyama megaslide in Japan, *Landslides*, 2014, Vol. 11, No. 5, pp. 827-842.

[4] K. Himoto, T. Nakamura, An Analysis of the Post-earthquake Fire Safety of Historic Buildings in Kyoto, Japan, *Fire Technology*, 2014, Vol. 50, No. 5, pp. 1107-1125.

[5] W. Duan, B. He, K. Takara, P. Luo, D. Nover, Y. Yamashiki, W. Huang, Anomalous atmospheric events leading to Kyushu's flash floods, July 11-14, 2012, *Natural Hazards*, 2014, Vol. 73, No. 3, pp. 1255-1267.

[6] K. Tatsumi, T. Oizumi, Y. Yamashiki, Assessment of future precipitation indices in the Shikoku region using a statistical downscaling model, *Stochastic Environmental Research and Risk Assessment*, 2014, Vol. 28, No. 6, pp. 1447-1464.

[7] P. Luo, K. Takara, Apip, B. He, D. Nover, Palaeoflood simulation of the Kamo River basin using a grid- cell distributed rainfall run- off model, *Journal of Flood Risk Management*, 2014, Vol. 7, No. 2, pp. 182-192.

[8] N. Sahu, S.K. Behera, J.V. Ratnam, R.V. Da Silva, P. Parhi, W. Duan, K. Takara, R.B. Singh, T. Yamagata, El Nino Modoki connection to extremely-low streamflow of the Paranaiba River in Brazil, *Climate Dynamics*, 2014, Vol. 42, No. 5-6, pp. 1509-1516.

[9] P. Luo, K. Takara, Apip, B. He, D. Nover, Reconstruction assessment of historical land use: A case study in the Kamo River basin, Kyoto, Japan, *Computers & Geosciences*, 2014, Vol. 63, pp. 106-115.

[10] O. Bonacci, I. Andric, Y. Yamashiki, Hydrology of Blue Lake in the Dinaric karst, *Hydrological Processes*, 2014, Vol. 28, No. 4, pp. 1890-1898.

[11] 小林 健一郎, 奥 勇一郎, 中北 英一, 中野 満寿男, 寶 馨, 伊勢湾台風擬似温暖化実験による淀川流域における洪水規模の変化予測, 土木学会論文集 *B1*（水工学）, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. I_391-I_396.

[12] Y. Yamashiki, Y. Onda, H.G. Smith, W.H. Blake, T. Wakahara, Y. Igarashi, Y. Matsuura, K. Yoshimura, Initial flux of sediment-associated radiocesium to the ocean from the largest river impacted by Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant, *Scientific Reports*, 2014, Vol. 4, p. 3714.

[13] K. Tatsumi, T. Oizumi, Y. Yamashiki, Analysis of future precipitation change in Shikoku region using statistical downscaling, *Journal of Agricultural Meteorology*, 2013, Vol. 69, No. 3, pp. 159-172.

[14] P. Luo, B. He, P.L. Borges Chaffe, D. Nover, K. Takara, M.A.Z.M.R. Rozainy, Statistical analysis and estimation of annual suspended sediments of major rivers in Japan, *Environmental Science-Processes & Impacts*, 2013, Vol. 15, No. 5, pp. 1052-1061.

[15] P.L.B. Chaffe, K. Takara, Y. Yamashiki, Apip, P. Luo, R.V. Silva, E. Nakakita, Mapping of Japanese areas susceptible to snow cover change, *Hydrological Sciences Journal-Journal Des Sciences Hydrologiques*, 2013, Vol. 58, No. 8, pp. 1718-1728.

[16] S. Murakami, M. Tsujimura, Y. Yamashiki, Preface to the Japanese Special Issue Volume 13; Regional projections applied to natural disasters, *Hydrological Processes*, 2013, Vol. 27, No. 23, pp. 3263-3263.

[17] W. Duan, B. He, K. Takara, P. Luo, D. Nover, N. Sahu, Y. Yamashiki, Spatiotemporal evaluation of water quality incidents in Japan between 1996 and 2007, *Chemosphere*, 2013, Vol. 93, No. 6, pp. 946-953.

[18] W. Duan, K. Takara, B. He, P. Luo, D. Nover, Y. Yamashiki, Spatial and temporal trends in estimates of nutrient and suspended sediment loads in the Ishikari River, Japan, 1985 to 2010, *Science of The Total Environment*, 2013, Vol. 461, pp. 499-508.

[19] K. Himoto, K. Mukaibo, Y. Akimoto, R. Kuroda, A. Hokugo, T. Tanaka, A Physics-Based Model for Post-Earthquake Fire Spread Considering Damage to Building Components Caused by Seismic Motion and Heating by Fire, *Earthquake Spectra*, 2013, Vol. 29, No. 3, pp. 793-816.

[20] S.L. Manzello, T. Yamada, A. Jeffers, Y. Ohmiya, K. Himoto, A.C. Fernandez-Pello, Summary of workshop for fire structure interaction and urban and wildland-urban interface (WUI) Fires-operation Tomodachi-fire research, *Fire Safety Journal*, 2013, Vol. 59, pp. 122-131.

[21] K. Kobayashi, K. Takara, Development of a distributed rainfall-run-off/flood-inundation simulation and economic risk assessment model, *Journal of Flood Risk Management*, 2013, Vol. 6, No. 2, pp. 85-98.

[22] 小林 健一郎, 大塚 成徳, 寶 馨, 折口 征二, 斉藤 和雄, 中小河川流域における豪雨・洪水のアンサンブル予測, *Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. B1 (Hydraulic Engineering)*, 2013, Vol. 69, No. 4, pp. I_1597-I_1602.

[23] N.E. Alias, 羅 平平, 寶 馨, PROBABLE MAXIMUM PRECIPITATION USING STATISTICAL METHOD FOR THE YODO RIVER BASIN, 水工学論文集 土木学会水工学委員会 編, 2013, Vol. 69, No. 4, pp. I_157-I_162.

[24] 荒川 英誠, 寶 馨, 可能最大降水量の推定と 2011 年紀伊半島水害, *Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. B1 (Hydraulic Engineering)*, 2013, Vol. 69, No. 4, pp. I_277-I_282.

[25] 荒川 英誠, 寶 馨, 可能最大降水量の推定と 2011 年紀伊半島水害, 水工学論文集 土木学会水工学委員会 編, 2013, Vol. 57, pp. 1_277-282.

[26] 小林 健一郎, 大塚 成徳, 寶 馨, 中小河川流域における豪雨・洪水のアンサンブル予測, 水工学論文集 土木学会水工学委員会 編, 2013, Vol. 57, pp. 1_1597-1602.

[27] 山敷 庸亮, 佐山 敬洋, 木村 直子, クロアチア土砂・洪水災害軽減基本計画構築における洪水災害対策, 水利科学, 2013, Vol. 57, No. 5, pp. 148-163.

[28] 樋本 圭佑, 山田 真澄, 西野 智研, 平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震後の出火状況アンケート調査：その 5 世帯あたり出火件数といくつかの地震動指標の関係, 火災, 2013, Vol. 63, No. 2, pp. 13-18.

[29] 樋本 圭佑, 山田 真澄, 西野 智研, 平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震後の出火状況アンケート調査 (その 5) 世帯あたり出火件数といくつかの地震動指標の関係 (特集 アンケートから見る東日本大震災の被害 (2)), 火災：日本火災学会誌, 2013, Vol. 63, No. 2, pp. 13-18.

[30] 木全 淳平, 樋本 圭佑, 西野 智研, 全国的に整備される統計資料を利用した都市圏内就業者の時刻別空間分布の推定：京阪神大都市圏を対象としたケーススタディ, 日本建築学会計画系論文集, 2013, Vol. 78, No. 686, pp. 891-898.

[31] 丸井 英明, 佐々 恭二, 山敷 庸亮, クロアチアの土砂・洪水災害軽減のための共同研究 (1), 水利科学, 2013, Vol. 57, No. 1, pp. 1-18.

[32] 辰己 賢一, 澁澤 栄, 小平 正和, 山敷 庸亮, 圃場における将来気候変動が水稲の収量と灌漑水量に与える影響に関する研究, 地球環境研究論文集：地球環境シンポジウム, 2013, Vol. 69, No. 5, pp. I_171-I_176.

[33] 木全 淳平, 樋本 圭佑, 西野 智研, 田中 哮義, 全国的に整備される統計資料を利用した都市圏内就業者の時刻別空間分布の推定:－京阪神大都市圏を対象としたケーススタディ－, 日本建築学会計画系論文集, 2013, Vol. 78, No. 686, pp. 891-898.

防災工学講座 砂防工学分野

[1] 堤大三, 藤田正治, 竹門康弘, 角哲也, 泉山寛明, 木津川流域の土砂生産ポテンシャルの推定, 砂防学会誌, 2014, Vol. 66, pp. 13-22.

[2] 竹門康弘, 小林草平, 崔　美景, 寺田匡徳, 竹林洋史, 角哲也, 河川の横断測量データに基づく水面比高分布

を用いた生息場評価法, 河川技術論文集, 2013, Vol. 19, pp. 519-524.

[3] 小林草平, 竹門康弘, 角哲也, 冨阪和秀, 山崎友也, 米田格, 堤大三, ハイドロフォンによるダム流入土砂量把握の高度化に関する研究, 河川技術論文集, 2013, Vol. 19, pp. 147-152.

防災工学講座 防災水工学分野

[1] R.K. Regmi, K. Jung, H. Nakagawa, J. Kang, Study on mechanism of retrogressive slope failure using artificial rainfall, *CATENA*, 2014, Vol. 122, pp. 27-41.

[2] P. Bazin, H. Nakagawa, K. Kawaike, A. Paquier, E. Mignot, Modeling Flow Exchanges between a Street and an Underground Drainage Pipe during Urban Floods, *Journal of Hydraulic Engineering*, 2014, Vol. 140, No. 10, p. 4014051.

[3] D. Ko, H. Nakagawa, K. Kawaike, H. Zhang, Study on Estimation of Inflow Discharge to Underground Storage System for Mitigation of Urban Inundation Damage, *Journal of Japan Society for Natural Disaster Science*, 2014, Vol. 33, No. Special Issue, pp. 177-184.

[4] P.K. Bhattarai, H. Nakagawa, K. Kawaike, H. Zhang, Experimental Study on River Dyke Breach Characteristics due to Overtopping, *Journal of Japan Society for Natural Disaster Science*, 2014, Vol. 33, No. Special Issue, pp. 65-74.

[5] N. Kim, H. Nakagawa, K. Kawaike, H. Zhang, A Study on Debris Flow Outflow Discharge at a Series of Sabo Dams, *Journal of Japan Society for Natural Disaster Science*, 2014, Vol. 33, No. Special Issue, pp. 43-52.

[6] 與田敏昭, 中川　一, 水谷英朗, 川池健司, 張　浩, 堤体飽和度に着目した堤防の越流侵食のメカニズムに関する研究, 自然災害科学, 2014, Vol. 33, No. 1, pp. 29-41.

[7] R.K. Regmi, K.D. Jung, H. Nakagawa, J.W. Kang, G.H. Lee, Sediment Erosion and Transport Experiments in Laboratory using Artificial Rainfall Simulator, *Journal of the Korean Geo-Environmental Society*, 2014, Vol. 15, No. 4, pp. 13-27.

[8] B.B. Shrestha, H. Nakagawa, Assessment of potential outburst floods from the Tsho Rolpa glacial lake in Nepal, *Natural Hazards*, 2014, Vol. 71, No. 1, pp. 913-936.

[9] S.S. Lee, H. Nakagawa, K. Kawaike, H. Zhang, Study on development of swer pipe analysis model considering manhole head losses, *Annual Journal of Hydraulic Engineering*, 2014, Vol. 58, pp. I-97-I-102.

[10] M. Arai, H. Nakagawa, Study on multi-stages landslide due to rainfall, *Proc. of The 12th Inter. Symp. on River Sedimentation (Advances in River Sediment Research)*, 2013, pp. 553-558.

[11] M. Amir Reza, H. Nakagawa, K. Kawaike, H. Zhang, Investigation of the formation of scour hole around groynes with different head shapes, *Proc. of The 12th Inter. Symp. on River Sedimentation (Advances in River Sediment Research)*, 2013, pp. 891-896.

[12] H. Nakagawa, H. Mizutani, K. Kawaike, H. Zhang, T. Yoden, Numerical modeling of erosion of unsaturated river embankment due to overtopping flow, *Proc. of The 12th Inter. Symp. on River Sedimentation (Advances in River Sediment Research)*, 2013, pp. 1117-1125.

[13] H. Mizutani, H. Nakagawa, K. Kawaike, H. Zhang, Q. Lejeune, Local scour and sediment sorting around an impermeable spur-dike with different orientations, *Proc. of The 12th Inter. Symp. on River Sedimentation (Advances in River Sediment Research)*, 2013, pp. 879-890.

[14] H. Zhang, H. Nakagawa, K. Kawaike, Y. Saito, Y. Baba, Flow structure and bed deformation around a group of spur dykes in a curved channel, *Proc. of The 12th Inter. Symp. on River Sedimentation (Advances in River Sediment Research)*, 2013, pp. 1735-1745.

[15] Kim Y., H. Nakagawa, K. Kawaike, H. Zhang, Study on the function of a closed-type Sabo dam with a flap for debris flow, *Proc. of The 12th Inter. Symp. on River Sedimentation (Advances in River Sediment Research)*, 2013, pp. 1945-1954.

[16] X.H. Zhang, W.L. Xu, P.Z. Lin, H. Zhang, H. Nakagawa, A field survey on the bathymetry and bed sediment in a multi-spur-dyke field, *Proc. of The 12th Inter. Symp. on River Sedimentation (Advances in River Sediment Research)*, 2013, pp. 743-746.

[17] R.K. Regmi, K. Jung, H. Nakagawa, Study on multi-stages landslide due to rainfall, *Proc. of The 12th Inter. Symp. on River Sedimentation (Advances in River Sediment Research)*, 2013, pp. 99-108.

[18] B.B. Shrestha, H. Nakagawa, K. Kawaike, Y. Baba, H. Zhang, Glacial hazards in the Rolwaling valley of Nepal and numerical approach to predict potential outburst flood from glacial lake, *Landslides*, 2013, Vol. 10, No. 3, pp. 299-313.

[19] 新井 宗之, 安田 孝志, 中川　一, 山地河道における浅水流に関する波動方程式の導出とその解析解の検討, 水工学論文集, 2013, Vol. 57, pp. I-961.

[20] Lee　Seungsoo, H. Nakagawa, K. Kawaike, H. Zhang, Experimental varidation of interaction model at storm drain for development of integrated urban inundation model, *Annual Journal of Hydraulic Engineering, JSCE*, 2013, Vol. 57, pp. I-109.

[21] N. Kim, H. Nakagawa, K. Kawaike, H. Zhang, A study on debris flow deposition by the arrangement of sabo dam, *Annual Journal of Hydraulic Engineering, JSCE*, 2013, Vol. 57, pp. I-97.

[22] H. Nakagawa, H. Zhang, Y. Baba, K. Kawaike, H. Teraguchi, Hydraulic characteristics of typical bank protection works along the Brahma-

putra/Jamuna River, Bangladesh, *J. Flood Risk Management*, 2013, p. Article first published online.

[23] 新井 宗之, 安田 孝志, 中川 一, 山地河道における浅水流に関する波動方程式の導出とその解析解の検討, 水工学論文集 土木学会水工学委員会 編, 2013, Vol. 57, pp. 1_961-966.

[24] S. LEE, 中川 一, 川池 健司, H. ZHANG, EXPERIMENTAL VALIDATION OF INTERACTION MODEL AT STORM DRAIN FOR DEVELOPMENT OF INTEGRATED URBAN INUNDATION MODEL, 土木学会論文集 *B1*（水工学）, 2013, Vol. 69, No. 4, pp. I_109-I_114.

[25] 新井 宗之, 安田 孝志, 中川 一, 山地河道における浅水流に関する波動方程式の導出とその解析解の検討, 土木学会論文集 *B1*（水工学）, 2013, Vol. 69, No. 4, pp. I_961-I_966.

防災工学講座 地盤防災工学分野

[1] 上田 恭平, 井澤 淳, 室野 剛隆, 井合 進, 余震の発生が地盤の液状化挙動に及ぼす影響に関する解析的検討, 土木学会論文集 *A1*（構造・地震工学）, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. I_578-I_585.

[2] 井澤 淳, 上田 恭平, 室野 剛隆, 低加速度・長継続時間地震動による地盤の液状化に関する解析的検討, 土木学会論文集 *A1*（構造・地震工学）, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. I_513-I_519.

[3] G.-. Kang, T. Tobita, S. Iai, Seismic simulation of liquefaction-induced uplift behavior of a hollow cylinder structure buried in shallow ground, *Soil Dynamics and Earthquake Engineering*, 2014, Vol. 64, pp. 85-94.

[4] 北出圭介, 一井康二, 高町茉莉, 松野隆志, 井合進, 飛田哲男, 不同沈下する粘性土地盤上の砂質地盤の N 値の変化に関する実験的研究, 土木学会論文集 *A1*（構造・地震工学）, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. I_751-I_760.

[5] 中原知洋, 井合進, 飛田哲男, 三藤正明, 佐々木広輝, 井瀬肇, 傾斜式護岸の溶液型薬液改良による耐震対策の最適化および靭性評価に関する研究, 土木学会論文集 *A1*（構造・地震工学）, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. I_44-I_65.

[6] M.N. Hussien, T. Tobita, S. Iai, On the influence of vertical loads on the lateral response of pile foundation, *Computers and Geotechnics*, 2014, Vol. 55, No. 1, pp. 392-403.

[7] T. Tobita, S. Escoffier, J.L. Chazelas, S. Iai, Verification of the generalized scaling law for flat layered sand deposit, *Geotechnical Engineering Journal of the South Asian Geotechnical Society*, 2014, Vol. 45, No. 3, pp. 32-39.

[8] S. Iai, T. Tobita, O. Ozutsumi, Evolution of induced fabric in a strain space multiple mechanism model for granular materials, *International Journal for Numerical and Analytical Methods in Geomechanics*, 2013, Vol. 37, No. 10, pp. 1326-1336.

[9] S. Iai, K. Ueda, T. Tobita, O. Ozutsumi, Finite strain formulation of a strain space multiple mechanism model for granular materials, *International Journal for Numerical and Analytical Methods in Geomechanics*, 2013, Vol. 37, No. 9, pp. 1189-1212.

[10] 上田 恭平, 井合 進, 飛田 哲男, 小堤 治, 大変形（有限ひずみ）理論によるケーソン式混成防波堤の地震応答解析, 土木学会論文集 *A1*（構造・地震工学）, 2013, Vol. 69, No. 4, pp. I_385-I_395.

[11] G. Kang, T. Tobita, S. Iai, L. Ge, Centrifuge Modeling and Mitigation of Manhole Uplift due to Liquefaction Read More: http://ascelibrary.org/doi/abs/10.1061/%28ASCE%29GT.1943-5606.0000769, *Journal of Geotechnical and Geoenvironmental Engineering*, 2013, Vol. 139, No. 3, pp. 458-469.

[12] S. Iai, T. Tobita, O. Ozutsumi, Induced fabric under cyclic and rotational loads in a strain space multiple mechanism model for granular materials, *International Journal for Numerical and Analytical Methods in Geomechanics*, 2013, Vol. 37, No. 2, pp. 150-180.

防災工学講座 水際地盤学分野

[1] 與田敏昭, 中川 一, 水谷英朗, 川池健司, 張 浩, 堤体飽和度に着目した堤防の越流侵食のメカニズムに関する研究, 自然災害科学, 2014, Vol. 33, No. 1, pp. 29-41.

[2] 内山 雄介, 松川 大佑, 神吉 亮佑, 馬場 康之, 森 信人, 水谷 英朗, 渡部 靖憲, 大塚 淳一, 山田 朋人, 猿渡 亜由未, 二宮 順一, 紀伊半島田辺湾湾口部における海水交換特性に関する研究, 土木学会論文集 *B2(海岸工学)*, 2014, Vol. 70, No. 2, pp. I_446-I_450.

[3] H. Mizutani, H. Nakagawa, T. Yoden, K. Kawaike, H. Zhang, Numerical modelling of river embankment failure due to overtopping flow considering infiltration effects, *Journal of Hydraulic Research*, 2013, Vol. 51, No. 6, pp. 681-695.

[4] 高橋 祐樹, 石垣 泰輔, 馬場 康之, 戸田 圭一, 浸水した大規模地下駐車場からの避難に関する検討, 土木学会論文集 *F2*（地下空間研究）, 2013, Vol. 69, No. 1, pp. 1-10.

[5] Y. Takeyama, T. Ohsawa, T. Yamashita, K. Kozai, Y. Muto, Y. Baba, K. Kawaguchi, Estimation of Offshore Wind Resources in Coastal Waters off Shirahama Using ENVISAT ASAR Images, *Remote Sensing*, 2013, Vol. 5, No. 6, pp. 2883-2897.

[6] 東 良慶, 平石 哲也, 関口 秀雄, 河口海岸域における砂浜地形の形成過程を読み解く試み, *Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. B1 (Hydraulic Engineering)*, 2013, Vol. 69, No. 4, pp. I_1477-I_1482.

[7] 平石 哲也, 黒田 美里, 土橋 和敬, 網式消波材の開発と高波・津波対策としての効果, 水工学論文集 土木学会水工学委員会 編, 2013, Vol. 57, pp. 1_1465-1470.

[8] 平石 哲也, 黒田 美里, 土橋 和敬, 網式消波材の開発と高波・津波対策としての効果, *Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. B1 (Hydraulic Engineering)*, 2013, Vol. 69, No. 4, pp. I_1465-I_1470.

[9] 関口 秀雄, 山崎 秀夫, 中川 亮太, 石田 真展, 東 良慶, 原口 強, 細山田 得三, 河口砂浜海岸の堆積環境変遷における洪水土砂流出の重要性, 土木学会論文集. *B2,* 海岸工学, 2013, Vol. 69, No. 2, pp. I_691-I_695.

[10] 内山 雄介, 西井 達也, 森 信人, 馬場 康之, 紀伊半島沿岸域における台風通過に伴う海水温低下と海洋構造変化について, *Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. B2 (Coastal Engineering)*, 2013, Vol. 69, No. 2, pp. I_481-I_485.

[11] 東 良慶, 平石 哲也, 関口 秀雄, 河口海岸域における砂浜地形の形成過程を読み解く試み, 水工学論文集 土木学会水工学委員会 編, 2013, Vol. 57, pp. 1_1477-1482.

[12] K. Toda, T. Ishigaki, Y. Baba, Educational activities for urban flood damage reduction using unique facilities, *Floods: From Risk To Opportunity(IAHS Publ.)*, 2013, Vol. 357, pp. 135-142.

都市社会工学専攻

構造物マネジメント工学講座

[1] T. Ishikawa, T. Nagao, A. Kobayashi, M. Shimizu, A. Hattori, H. Kawano, Reduction of Thermal Stress Induced in a Steel Plate Strengthened by Bonded Aluminum-CFRP Composite, *Advances in Structural Engineering*, 2014, Vol. 17, No. 12, pp. 1771-1783.

[2] 松本 理佐, 石川 敏之, 服部 篤史, 河野 広隆, 山田 健太郎, き裂閉口によるストップホールの疲労強度の向上効果，鋼構造論文集, 鋼構造論文集, 2014, Vol. 21, No. 83, pp. 83_53-83_61.

[3] 古賀 裕久, 渡辺 博志, 河野 広隆, 片平 博, 使用材料の異なるコンクリートの耐久性能と吸水性状の関係, セメント・コンクリート論文集, 2014, Vol. 67, No. 1, pp. 456-463.

[4] 清水 優, 石川 敏之, 服部 篤史, 河野 広隆, 軸力を受ける当て板接着鋼板のはく離によるエネルギー解放率, 土木学会論文集 *A2*（応用力学）, 2014, Vol. 70, No. 2, pp. I_899-I_908.

[5] 松本 理佐, 石川 敏之, 服部 篤史, 河野 広隆, 山田 健太郎, き裂閉口によるストップホールの疲労強度の向上効果, 鋼構造年次論文報告集, 2014, Vol. 21, pp. 53-61.

[6] M. Shimizu, T. Ishikawa, A. Hattori, H. Kawano, Failure Criteria for Debonding of Patch Plate Bonded onto Steel Members Subjected to Bending, *Journal of JSCE*, 2014, Vol. 2, pp. 310-322.

[7] 清水 優, 石川 敏之, 服部 篤史, 河野 広隆, 鋼管－コンクリート界面に設けたずれ止めがコンクリート充填二重鋼管部材の曲げ特性に与える影響, コンクリート工学, 2014, Vol. 25, No. 25, pp. 45-55.

[8] 河野 広隆, 早川 光敬, 真野 孝次, 鹿毛 忠継, JIS A 1158（試験に用いる骨材の縮分方法）制定の概要, コンクリート工学, 2014, Vol. 52, No. 4, pp. 297-302.

[9] 松本 理佐, 石川 敏之, 服部 篤史, 河野広隆, 山田 健太郎, 過荷重がき裂部を閉口したストップホールの疲労強度に与える影響, 鋼構造年次論文報告集, 2014, Vol. 22, pp. 801-808.

[10] 鈴木辰彦, 寺澤広基, 廣瀬誠, 服部篤史, 河野広隆, FEM 解析による磁気法片面診断の隅角部複数本鉄筋の破断検出への適用性評価, コンクリート構造物の補修，補強，アップグレードシンポジウム 論文報告集, 2013, Vol. 13, pp. 189-196.

[11] 寺澤広基, 廣瀬誠, 井上丈揮, 服部篤史, 河野広隆, 磁気法片面診断の診断プロセスの改良に関する研究, コンクリート構造物の補修，補強，アップグレードシンポジウム 論文報告集, 2013, Vol. 13, pp. 477-482.

[12] ヘン　サルピソット, 石川敏之, 河野広隆, 服部篤史, 鉄筋コンクリート壁式防護柵のスリットが鋼桁に生じる応力に与える影響, コンクリート工学論文集, 2013, Vol. 24, No. 3, pp. 113-121.

[13] 石川敏之, 清水　優, 服部篤史, 河野広隆, 断面欠損した鋼板の当て板補修効果, 土木学会論文集 *A2*（応用力学）, 2013, Vol. 69, No. 2, pp. I_595-I_604.

[14] 清水　優, 大倉慎也, 石川敏之, 服部篤史, 河野広隆, 鋼部材に接着された当て板のはく離によるエネルギー解放率, 土木学会論文集 *A2*（応用力学）, 2013, Vol. 69, No. 2, pp. I_701-I_710.

[15] 石川敏之, 宮下剛, Laszlo G.V., 一軸引張を受けるCFRP 板接着鋼板に生じる応力の高精度解法, 土木学会論文集 *A1(*構造・地震工学*)*, 2013, Vol. 69, No. 1, pp. 89-100.

[16] 柿市拓巳, 石川敏之, 山田健太郎, すみ肉溶接継手の溶接止端に発生した疲労き裂の ICR 処理による補修・補強, 構造工学論文集, 2013, Vol. 59A, pp. 665-672.

[17] 坂野亮太, 青木康素, 石川敏之, 河野広隆, 足立幸郎, 養生時に高温を受けた当て板接着鋼板のはく離強度, 構造工学論文集, 2013, Vol. 59A, pp. 657-664.

[18] 青木康素, 坂野亮太, 石川敏之, 河野広隆, 足立幸郎, 片面当て板接着補修された断面欠損を有する鋼部材の曲げ応力性状, 構造工学論文集, 2013, Vol. 59A, pp. 647-656.

[19] 松本理佐, 石川敏之, 服部篤史, 河野広隆, 当て板接着補修されたき裂を有する鋼板の応力拡大係数, 構造工学論文集, 2013, Vol. 59A, pp. 798-807.

[20] 坂野 亮太, 青木 康素, 石川 敏之, 河野 広隆, 足立 幸郎, 養生時に高温を受けた当て板接着鋼板のはく離強度，構造工学論文集, 構造工学論文集, 2013, No. 59A, pp. 657-664.

[21] 宮下剛, 石川敏之, 多層の CFRP 板が積層された曲げを受ける鋼部材の応力解析, 土木学会論文集 *A1(*構造・地震工学*)*, 2013, Vol. 69, No. 1, pp. 26-39.

[22] ヘン　サルピソット, 石川 敏之, 服部 篤史, 河野広隆, 鉄筋コンクリート壁式防護柵のスリットが鋼桁に生じる応力に与える影響, コンクリート工学, 2013, Vol. 24, No. 24, pp. 113-121.

[23] 青木 康素, 坂野 亮太, 石川 敏之, 河野 広隆, 足立 幸郎, 片面当て板接着補修された断面欠損を有する鋼部材の曲げ応力性状, 構造工学論文集. *A* 日本学術会議土木工学・建築学委員会 *[監修]*, 2013, No. 59, pp. 647-656.

[24] 石川 敏之, 松本 理佐, 服部 篤史, 河野 広隆, 山田 健太郎, き裂表面閉口によるストップホール縁の応力集中の低減, 材料, 2013, Vol. 62, No. 1, pp. 33-38.

[25] 松本 理佐, 石川 敏之, 服部 篤史, 河野 広隆, 当て板接着補修されたき裂を有する鋼板の応力拡大係数, 構造工学論文集. *A* 日本学術会議土木工学・建築学委員会 *[監修]*, 2013, No. 59, pp. 798-807.

[26] 石川 敏之, 清水 優, 服部 篤史, 河野 広隆, 断面欠損した鋼板の当て板補修効果, 土木学会論文集 *A2*（応用力学）, 2013, Vol. 69, No. 69, pp. pp.I_595-604.

[27] 清水 優, 大倉 慎也, 石川 敏之, 服部 篤史, 河野 広隆, 鋼部材に接着された当て板のはく離によるエネルギー解放率, 土木学会論文集 *A2*（応用力学）, 2013, Vol. 69, No. 69, pp. pp.I_701-I_710.

[28] S. Heng, 大島 義信, 河野 広隆, 打撃音および打撃力に基づくアスファルト舗装の構造評価に関する基礎

的研究, 土木学会論文集. *E1,* 舗装工学 = *J.JSCE.* 土木学会舗装工学委員会 編, 2013, Vol. 69, No. 3, pp. I_159-I_166.

[29] 大島 義信, 堀 壮大, 河野 広隆, 繊維補強発泡ウレタン材により格子補強したコンクリート平板のせん断耐荷特性 (土木学会論文集 F1(トンネル工学) 特集号), 土木学会論文集. *F1,* トンネル工学, 2013, Vol. 69, No. 3, pp. I_21-30.

[30] M. Shimizu, F. Tatsumi, T. Ishikawa, A. Hattori, H. Kawano, Experimental Study on Ultimate Strength of Concrete Filled Double Tubular Steel with Shear Connector, *International Journal of Steel Structures*, 2013, Vol. 13, No. 1, pp. 49-54.

[31] 石川敏之, 松本理佐, 服部篤史, 河野広隆, 山田健太郎, き裂表面閉口によるストップホール縁の応力集中の低減, 材料, 2013, Vol. 62, No. 1, pp. 33-38.

[32] 清水 優, 石川 敏之, 服部 篤史, 河野 広隆, 堀井 久一, 鋼板に接着された当て板の寸法がはく離荷重に与える影響, 鋼構造年次論文報告集, 2013, Vol. 21, pp. 208-215.

[33] 大島 義信, 堀 壮大, 河野 広隆, 繊維補強発泡ウレタン材により格子補強したコンクリート平板のせん断耐荷特性, 土木学会論文集 *F1*（トンネル工学）, 2013, Vol. 69, No. 3, pp. I_21-I_30.

[34] 石川 敏之, 宮下 剛, L.G. VIGH, 一軸引張を受けるCFRP 板接着鋼板に生じる応力の高精度解法, 土木学会論文集 *A1*（構造・地震工学）, 2013, Vol. 69, No. 1, pp. 89-100.

[35] 宮下 剛, 石川 敏之, 多層の CFRP 板が積層された曲げを受ける鋼部材の応力解析, 土木学会論文集 *A1*（構造・地震工学）, 2013, Vol. 69, No. 1, pp. 26-39.

[36] T. Ishikawa, M. Shimizu, H. Tomo, H. Kawano, K. Yamada, Effect of Compression Overload on Fatigue Strength Improved by ICR Treatment, *International Journal of Steel Structures*, 2013, Vol. 13, No. 1, pp. 175-181.

[37] 坂野 亮太, 青木 康素, 石川 敏之, 河野 広隆, 足立 幸郎, 養生時に高温を受けた当て板接着鋼板のはく離強, 構造工学論文集. *A* 日本学術会議土木工学・建築学委員会 *[監修]*, 2013, No. 59, pp. 665-672.

[38] 柿市 拓巳, 石川 敏之, 山田 健太郎, すみ肉溶接継手の溶接止端に発生した疲労き裂の ICR 処理による補修・補強, 構造工学論文集. *A* 日本学術会議土木工学・建築学委員会 *[監修]*, 2013, No. 59, pp. 665-672.

地殻環境工学講座

[1] B. Tian, K. Koike, Mapping spatial variability of geothermal resource in Hokkaido Japan by combination of thermal remote sensing and borehole data, *2014 IEEE International Geoscience and Remote Sensing Symposium (IGARSS)*, 2014, pp. 879-882.

[2] K. Kashiwaya, T. Hasegawa, K. Nakata, Y. Tomioka, T. Mizuno, Multiple tracer study in Horonobe, northern Hokkaido, Japan: 1. Residence time estimation based on multiple environmental tracers and lumped parameter models, *Journal of Hydrology*, 2014, Vol. 519, pp. 532-548.

[3] J.K. Yamamoto, K. Koike, A.T. Kikuda, G.A. da Cruz Campanha, A. Endlen, Post-processing for uncertainty reduction in computed 3D geological models, *Tectonophysics*, 2014, Vol. 633, pp. 232-245.

[4] 麻植 久史, 多田隈 直幸, 小池 克明, 地下水資源の保全を目的とした水理地質構造把握への GIS の適用, 情報地質, 2014, Vol. 25, No. 3, pp. 159-168.

[5] A. Andrew Ako, E. Gloria Eneke Takem, S. Jun, K. Katsuaki, H. Takahiro, I. Kimpei, R. Akoachere, T. Beatrice Ketchemen, N. George Elambo, R. Ntankouo Njila, Nitrate contamination of groundwater in two areas of the Cameroon Volcanic Line (Banana Plain and Mount Cameroon area), *Applied Water Science*, 2014, Vol. 4, No. 2, pp. 99-113.

[6] K. Koike, T. Yoshinaga, T. Ueyama, H. Asaue, Increased radon-222 in soil gas because of cumulative seismicity at active faults, *Earth Planets and Space*, 2014, Vol. 66, No. 1, p. 57.

[7] K. Koike, T. Yoshinaga, H. Asaue, Characterizing long-term radon concentration changes in a geothermal area for correlation with volcanic earthquakes and reservoir temperatures: A case study from Mt. Aso, southwestern Japan, *Journal of Volcanology and Geothermal Research*, 2014, Vol. 275, pp. 85-102.

[8] M. Parvin, N. Tadakuma, H. Asaue, K. Koike, Delineation and interpretation of spatial coseismic response of groundwater levels in shallow and deep parts of an alluvial plain to different earthquakes: A case study of the Kumamoto City area, southwest Japan, *Journal of Asian Earth Sciences*, 2014, Vol. 83, pp. 35-47.

[9] Nguyen T.T.H., K. Koike, Mai T.N., Improved accuracy of chlorophyll-a concentration estimates from MODIS imagery using a two-band ratio algorithm and geostatistics: As applied to the monitoring of eutrophication processes over Tien Yen Bay (Northern Vietnam), *Remote Sensing*, 2014, Vol. 6, No. 1, pp. 421-442.

[10] T. Misonou, H. Asaue, T. Yoshinaga, Y. Matsukuma, K. Koike, J. Shimada, Hydrogeologic-structure and groundwater-movement imaging in tideland using electrical sounding resistivity: a case study on the Ariake Sea coast, southwest Japan, *Hydrogeology Journal*, 2013, Vol. 21, No. 7, pp. 1593-1603.

[11] J.A. Moukana, H. Asaue, K. Koike, Co-kriging for modeling shallow groundwater level changes in consideration of land use/land cover pattern, *Environmental Earth Sciences*, 2013, Vol. 70, No. 4, pp. 1495-1506.

[12] Nguyen T.N., K. Koike, Nguyen T.T., Correlating mass physical properties with ALOS reflectance spectra for intertidal sediments from the Ba Lat Estuary (northern Vietnam): An exploratory lab-

oratory study, *Geo-Marine Letters*, 2013, Vol. 33, No. 4, pp. 273-284.

[13] L. Wang, B. Tian, A. Masoud, K. Koike, Relationship between remotely sensed vegetation change and fracture zones induced by the 2008 Wenchuan Earthquake, China, *Journal of Earth Science*, 2013, Vol. 24, No. 2, pp. 282-296.

[14] A.A. Masoud, G. Christidis, K. Koike, Characterization of E1-Tih kaolin quality using mineralogical, geochemical and geostatistical analyses, *Clay Minerals*, 2013, Vol. 48, No. 1, pp. 1-20.

[15] 久保 大樹, 小池 克明, 劉 春学, 地球統計学的手法による亀裂性花崗岩体の 3 次元透水係数モデリングと広域地下水流動解析への応用 (特集号 地下の遅い流体挙動 (Part 2) フィールドと室内実験からみる), 地学雑誌, 2013, Vol. 122, No. 1, pp. 139-158.

[16] 鶴田 忠彦, 田上 雅彦, 天野 健治, 松岡 稔幸, 栗原 新, 山田 泰広, 小池 克明, 瑞浪超深地層研究所における深部地質環境のモデル化を目指した地質学的調査, 地質学雑誌, 2013, Vol. 119, No. 2, pp. 59-74.

[17] 長谷川 琢磨, 中田 弘太郎, 近藤 浩文, 五嶋 慶一郎, 村元 茂則, 富岡 祐一, 後藤 和幸, 柏谷 公希, 沿岸域における地下水の流動性の年代測定による評価 : 三浦半島西部沿岸域でのボーリング調査 (特集号 地下の遅い流体挙動 (Part 2) フィールドと室内実験からみる), 地学雑誌, 2013, Vol. 122, No. 1, pp. 116-138.

都市社会計画学講座 計画マネジメント論分野

[1] K. Kobayashi, M. Onishi, H. Jeong, Entrepreneur urban policies and regional learning governance, *Agglomeration, Clusters and Entrepreneurship: Studies in Regional Economic Development*, 2014, pp. 103-131.

[2] D. Han, K. Kaito, K. Kobayashi, Application of Bayesian Estimation Method with Markov Hazard Model to Improve Deterioration Forecasts for Infrastructure Asset Management, *KSCE Journal of Civil Engineering*, 2014, Vol. 18, No. 7, pp. 2107-2119.

[3] 阿部 真育, 小林 潔司, 口蹄疫の最適伝染リスク抑止モデル, 土木学会論文集Ｄ３（土木計画学）, 2014, Vol. 70, No. 3, pp. 161-178.

[4] 小林 潔司, 貝戸 清之, 松岡 弘大, 坂井 康人, 時系列モニタリングデータ活用のための長期劣化進行モデリング, 土木学会論文集 *F4*（建設マネジメント）, 2014, Vol. 70, No. 3, pp. 91-108.

[5] 瀬木 俊輔, 小林 潔司, インフラの動学的投資政策と長寿命化便益, 土木学会論文集Ｄ３（土木計画学）, 2014, Vol. 70, No. 3, pp. 179-197.

[6] 貝戸 清之, 小林 潔司, ビッグデータによるインフラマネジメント：アセットメトリクスにむけて, 土木学会論文集. *D3*, 土木計画学, 2014, Vol. 70, No. 5, pp. I_21-30.

[7] 瀬木 俊輔, 小林 潔司, 田上 貴士, 維持補修費用を考慮した次善高速道路料金, 土木学会論文集Ｄ３（土木計画学）, 2014, Vol. 70, No. 3, pp. 145-160.

[8] 小濱 健吾, 貝戸 清之, 小林 潔司, 古野 幸夫, 苦情発生を考慮した道路巡回政策, 土木学会論文集 *F4*（建設マネジメント）, 2014, Vol. 70, No. 1, pp. 25-37.

[9] 水谷 大二郎, 貝戸 清之, 小林 潔司, 平川 恵士, 気象状況を考慮したポットホールの管理重点化ルール, 土木学会論文集 *F4*（建設マネジメント）, 2014, Vol. 70, No. 3, pp. 63-80.

[10] 中野 秀俊, 大西 正光, 小林 潔司, イスラーム契約におけるリスク分担のシャリーア適合性, 土木学会論文集 *D3*（土木計画学）, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. 227-244.

[11] 大井 明, 宮崎 文平, 小濱 健吾, 貝戸 清之, 小林 潔司, 山口 清人, 定期的な FWD 調査データを用いた高速道路舗装の劣化予測, 土木学会論文集 *E1*（舗装工学）, 2014, Vol. 70, No. 2, pp. 11-25.

[12] 松島 格也, 小林 潔司, 福井 浩, データ内生性を考慮した交通機関選択モデル, 土木学会論文集 *D3*（土木計画学）, 2013, Vol. 69, No. 5, pp. I_511-I_521.

[13] D. Han, K. Kobayashi, Criteria for the development and improvement of PMS models, *KSCE Journal of Civil Engineering*, 2013, Vol. 17, No. 6, pp. 1302-1316.

[14] K. Kobayashi, K. Takara, Development of a distributed rainfall-run-off/flood-inundation simulation and economic risk assessment model, *Journal of Flood Risk Management*, 2013, Vol. 6, No. 2, pp. 85-98.

[15] D. Han, K. Kobayashi, M. Do, Section-based multifunctional calibration method for pavement deterioration forecasting model, *KSCE Journal of Civil Engineering*, 2013, Vol. 17, No. 2, pp. 386-394.

[16] 坂井 康人, 塚本 成昭, 水谷 大二郎, 松岡 弘大, 貝戸 清之, 小林 潔司, アドホック無線通信モニタリングシステムの開発と高速道路ジョイント部材への適用, *Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. A2 (Applied Mechanics (AM))*, 2013, Vol. 69, No. 2, pp. I_605-I_614.

[17] 羽鳥 剛史, 小林 潔司, 鄭 蝦榮, 討議理論と公的討論の規範的評価, 土木学会論文集Ｄ３（土木計画学）, 2013, Vol. 69, No. 2, pp. 101-120.

[18] 小濱 健吾, 貝戸 清之, 小林 潔司, 福田 泰樹, 板垣 勝則, CLAIM GENERATION PROCESSES ON ROAD OBSTACLE SUBJECTS, *Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. F4 (Construction and Management)*, 2013, Vol. 69, No. 1, pp. 32-46.

[19] 小濱 健吾, 貝戸 清之, 小林 潔司, 混合ポアソン劣化モデル: コンクリートの剥離・剥落発生事象への適用, *Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. F4 (Construction and Management)*, 2013, Vol. 69, No. 4, pp. I_27-I_37.

[20] 籾山 嵩, 松島 格也, 小林 潔司, 鄭 蝦榮, 社会的包摂の実現のためのコミュニティビジネスの役割に関する定量的評価, 都市計画論文集, 2013, Vol. 48, No. 3, pp. 597-602.

[21] 小濱 健吾, 貝戸 清之, 小林 潔司, 混合ポアソン劣化モデル：コンクリートの剥離・剥落発生事象への適

用, 土木学会論文集. *F4, (*建設マネジメント*)* 特集号 土木学会建設マネジメント委員会 編, 2013, Vol. 69, No. 4, pp. 27-37.

[22] 籾山 嵩, 松島 格也, 小林 潔司, 社会的包摂の実現のためのコミュニティビジネスの役割に関する定量的評価, 都市計画論文集, 2013, No. 48, pp. 597-602.

[23] 水谷 大二郎, 貝戸 清之, 小林 潔司, 階層ベイズ法による補修効果の事後評価, 土木学会論文集 *F4*（建設マネジメント）, 2013, Vol. 69, No. 3, pp. 204-221.

[24] 瀬木 俊輔, 小林 潔司, 人口減少・高齢化社会における人口構成の不変想定がもたらす計画論的バイアス, 土木学会論文集 *D3*（土木計画学）, 2013, Vol. 69, No. 5, pp. I_205-I_216.

[25] 小林 潔司, 想定外リスクと計画理念, 土木学会論文集 *D3*（土木計画学）, 2013, Vol. 69, No. 5, pp. I_1-I_14.

都市社会計画学講座 都市地域計画分野

[1] 大庭 哲治, 松中 亮治, 中川 大, 北村 将之, 現地調査に基づく商店街の賑わいと土地利用及び業種構成の関連分析, 土木学会論文集 *D3*（土木計画学）, 2014, Vol. 70, No. 5, pp. 405-414.

[2] 松中 亮治, 大庭 哲治, 中川 大, 森 健矢, 都市内交通シミュレーションモデルによるバイクシェアリングシステム導入施策のシナリオ分析, 土木学会論文集 *D3*（土木計画学）, 2014, Vol. 70, No. 5, pp. 869-878.

[3] S. Abe, D. Nakagawa, R. Matsunaka, T. Oba, Study on The Factors to Transform Underused Land Focusing on The Influence of Railway Stations in Central Areas of Japanese Local Cities, *Land Use Policy*, 2014, Vol. 41, pp. 344-356.

[4] 松中 亮治, 大庭 哲治, 中川 大, 小林 和志, 都市内交通シミュレーションによる既存公共交通の再編を考慮した交通施策の評価, 都市計画論文集, 2014, Vol. 49, No. 2, pp. 168-175.

[5] 大庭 哲治, 中川 大, 松中 亮治, 原田 容輔, 松原 光也, 鉄道路線網における最適なパルスタイムテーブルの探索, 都市計画論文集, 都市計画論文集, 2014, Vol. 49, No. 3, pp. 423-428.

[6] 大庭 哲治, 松中 亮治, 中川 大, 北村 将之, 現地調査に基づく商店街の賑わいと土地利用及び業種構成の関連分析, 土木学会論文集 *D3*（土木計画学）, 2014, Vol. 70, No. 5, pp. I_405-I_414.

[7] 松中 亮治, 大庭 哲治, 中川 大, 小林 和志, 都市内交通シミュレーションによる既存交通の再編を考慮した交通施策の評価, 都市計画論文集, 2014, Vol. 49, No. 2, pp. 168-175.

[8] 大庭 哲治, 中川 大, 松中 亮治, 原田 容輔, 松原 光也, 鉄道路線網における最適なパルスタイムテーブルの探索, 都市計画論文集, 2014, Vol. 49, No. 3, pp. 423-428.

[9] 松中 亮治, 大庭 哲治, 中川 大, 森 健矢, 都市内交通シミュレーションモデルによるバイクシェアリングシステム導入施策のシナリオ分析, 土木学会論文集 *D3*（土木計画学）, 2014, Vol. 70, No. 5, pp. I_869-I_878.

[10] 阿部 正太朗, 中川 大, 松中 亮治, 大庭 哲治, 地方都市中心部における業務用地の低未利用地への転換に関する研究, 土木学会論文集 *D3(*土木計画学*)*, 2013, Vol. 69, No. 5, pp. 253-263.

[11] R. Matsunaka, T. Oba, D. Nakagawa, M. Nagao, J. Nawrocki, International comparison of the relationship between urban structure and the service level of urban public transportation-A comprehensive analysis in local cities in Japan, France and Germany, *Transport Policy*, 2013, Vol. 30, pp. 26-39.

[12] 松中 亮治, 大庭 哲治, 中川 大, 井上 和晃, 都市内の小地域特性を考慮した交通身体活動量の経年変化とその要因分析, 土木学会論文集Ｄ３（土木計画学）, 2013, Vol. 69, No. 3, pp. 216-226.

[13] H. Choi, D. Nakagawa, R. Matsunaka, T. Oba, J. Yoon, Research on the causal relationship between urban density and travel behaviors, and transportation energy consumption by economic level, *International Journal of Urban Sciences*, 2013, Vol. 17, pp. 362-384.

[14] H. Choi, D. Nakagawa, R. Matsunaka, T. Oba, J. Yoon, Estimating the Efficiency of Transportation Energy Consumption based on Railway Infrastructure and Travel behavior Characteristics, *International Journal of Railway*, 2013, Vol. 6, No. 2, pp. 33-44.

[15] 大庭 哲治, 松中 亮治, 中川 大, 井上 和晃, 交通行動データを用いた都市特性と交通身体活動量の関連分析, 都市計画論文集, 2013, Vol. 48, No. 48, pp. 73-81.

[16] 小林 寛, 松中 亮治, 田村 亨, 地域モビリティ確保に関する取組推進に向けた合意形成プロセスマップ作成の提案, 計画行政, 2013, Vol. 36, No. 2, pp. 65-75.

[17] 阿部 正太朗, 中川 大, 松中 亮治, 大庭 哲治, 地方都市中心部における業務用地の低未利用地への転換に関する研究, 土木学会論文集. *D3*, 土木計画学, 2013, Vol. 69, No. 5, pp. I_253-263.

ロジスティクスシステム工学講座

[1] Z. Febri, T. Yamada, E. Taniguchi, DESIGNING COCOA TRANSPORT NETWORKS USING A SUPPLY CHAIN NETWORK EQUILIBRIUM MODEL WITH THE BEHAVIOUR OF FREIGHT CARRIERS, 土木学会論文集 *D3*（土木計画学）, 2014, Vol. 70, No. 5, pp. I_709-I_722.

[2] J. Holguín-Veras, E. Taniguchi, F. Ferreira, M. Jaller, F. Aros, R.G. Thompson, The Tohoku Disasters: Chief Findings Concerning the Post Disaster Humanitarian Logistics Response and Policy Implications, *Transportation Research Part A*, 2014, Vol. 69, pp. 86-104.

[3] A.G. Qureshi, E. Taniguchi, R.G. Thompson, J.S.E. Teo, Application of exact route optimization for the evaluation of a city logistics truck ban scheme, *International Journal of Urban Sciences*, 2014, Vol. 18, No. 2, pp. 117-132.

[4] R. Pradhananga, E. Taniguchi, T. Yamada, A.G. Qureshi, Risk of Traffic Incident Delay in Routing

and Scheduling of Hazardous Materials, *International Journal of Intelligent Transport Systems Research*, 2014, pp. 1-14.

[5] A. Pramudita, E. Taniguchi, Model of debris collection operation after disasters and its application in urban area, *International Journal of Urban Sciences*, 2014, Vol. 18, No. 2, pp. 218-243.

[6] R. Pradhananga, E. Taniguchi, T. Yamada, A.G. Qureshi, Bi-objective decision support system for routing and scheduling of hazardous materials, *Socio-Economic Planning Sciences*, 2014, Vol. 48, No. 2, pp. 135-148.

[7] J.S.E. Teo, E. Taniguchi, A.G. Qureshi, Multi-agent systems modelling approach to evaluate urban motorways for city logistics, *International Journal of Urban Sciences*, 2014, Vol. 18, No. 2, pp. 154-165.

[8] N. Bhusiri, A.G. Qureshi, E. Taniguchi, The trade-off between fixed vehicle costs and time-dependent arrival penalties in a routing problem, *Trasportation Research Part E-Logistics and Transportation Review*, 2014, Vol. 62, pp. 1-22.

[9] Bhusuri N., Qureshi A.G., Taniguchi E., Vehicle routing and scheduling problems for convenience store industry considering soft time windows, *Journal of The Eastern Asia Society for Transportation Studies*, 2013, Vol. 10, pp. 934-953.

[10] Z. Febri, T. Yamada, E. Taniguchi, Designing freight transport network using cooperative particle swarm optimisation in supply chain-transport supernetworks, *Proceedings of The 10th International Conference of Eastern Asia Society For Transport Studies*, 2013, p. CD-ROM.

[11] E. Taniguchi, Y. Imanishi, R. Barber, J. James, W. Debauche, Public sector governance to implement freight vehicle transport management, *City Logistics VIII*, 2013, pp. 407-420.

[12] M. Okude, E. Taniguchi, Hierarchical traffic network for heuristic approximation method of vehicle routing problems, *City Logistics VIII*, 2013, pp. 294-305.

[13] R. Pradhananga, E. Taniguchi, T. Yamada, A.G. Qureshi, Environmental analysis of pareto optimal routes in hazardous material transportation, *City Logistics VIII*, 2013, pp. 624-635.

[14] D. Dizian, E. Taniguchi, L. Dablanc, Urban logistics by rail and waterways in France and Japan, *City Logistics VIII*, 2013, pp. 165-178.

[15] A. Pramudita, E. Taniguchi, A.G. Qureshi, Location and routing problem of debris collection operation after disasters with realistic case study, *City Logistics VIII*, 2013, pp. 585-599.

[16] O. Wangpisit, E. Taniguchi, J.S.E. Teo, A.G. Qureshi, Multi-agent systems modelling approach for evaluating the joint delivery systems, *City Logistics VIII*, 2013, pp. 610-623.

[17] J.S.E. Teo, E. Taniguchi, A.G. Qureshi, Evaluation of load factor control and urban freight road pricing joint schemes with multi-agent systems learning models, *City Logistics VIII*, 2013, pp. 69-82.

[18] A.G. Qureshi, E. Taniguchi, T. Yamada, R. Pradhanaga, N. Bhusiri, A relief distribution model under limited resources and decaying resilience of the affected population, *City Logistics VIII*, 2013, pp. 577-584.

[19] E. Taniguchi, R.G. Thompson, T. Yamada, Recent trends and innovations in modelling city logistics, *City Logistics VIII*, 2013, pp. 1-13.

[20] N. Bhusiri, A.G. Qureshi, E. Taniguchi, Application of just-in-time concept in urban freight transport, *City Logistics VIII*, 2013, pp. 179-193.

[21] N. Uchiyama, E. Taniguchi, Analysis of impact on dispatcher's route choice behaviour by road improvements on trial and error learning model, *City Logistics VIII*, 2013, pp. 344-358.

[22] J. Holguin-Veras, M. Jaller, E. Taniguchi, F. Aros-Vera, The lessons from catastrophic events for post-disaster humanitarian logistic efforts: The Port au Prince earthquake and the Tohoku disasters, *Proceedings of The 92nd Annual Meeting of Transportation Research Board*, 2013, p. CD-Rom.

[23] R. Pradhananga, E. Taniguchi, T. Yamada, A.G. Qureshi, A risk base vehicle routing and scheduling with time windows in hazardous material transportation, *Proceedings of The 92nd Annual Meeting of Transportation Research Board*, 2013, p. CD-ROM.

[24] A.G. Qureshi, E. Taniguchi, T. Yamada, Evaluation of truck ban scheme using exact optimization for the VRPSTW, *Proceedings of The 92nd Annual Meeting of Transportation Research Board*, 2013, p. CD-ROM.

交通マネジメント工学講座 交通情報工学分野

[1] P.F. Belgiawan, J. Schmoecker, M. Abou-Zeid, J. Walker, T.-. Lee, D. Ettema, S. Fujii, Car Ownership Motivations among Undergraduate Students in China, Indonesia, Japan, Lebanon, Netherlands, Taiwan, and U.S.A., *Transportation, 41*, 2014, pp. 1227-1241.

[2] F. Kurauchi, J. Schmoecker, H. Shimamoto, S.M. Hassan, Variability of Commuters' Bus Line Choice: An Analysis of Oystercard Data., *Public Transport 6*, 2014, pp. 21-34.

[3] A. Fonzone, J. Schmoecker, Effects of Transit Real-Time Information Usage Strategies, *Transportation Research Record*, 2014, Vol. 2417, No. 2417, pp. 121-129.

[4] J. Kim, J. Schmoecker, C.J. Bergstad, S. Fujii, T. Garling, The influence of personality on acceptability of sustainable transport policies, *Transportation*, 2014, Vol. 41, No. 4, pp. 855-872.

[5] M. Babaei, J. Schmoecker, A. Shariat-Mohaymany, The impact of irregular headways on seat availability, *Transportmetrica A-Transport Science*, 2014, Vol. 10, No. 6, pp. 483-501.

[6] M. Tanaka, N. Uno, Y. Shiomi, Y. Ahn, Experimental Study of Effects of Travel Time Distribution Information on Dynamic Route Choice Behavior, *Journal of Intelligent Transportation Systems*, 2014, Vol. 18, No. 2, pp. 215-226.

[7] J. Kim, F. Kurauchi, N. Uno, T. Hagihara, T. Daito, Using Electronic Toll Collection Data to Understand Traffic Demand, *Journal of Intelligent Transportation Systems*, 2014, Vol. 18, No. 2, pp. 190-203.

[8] J. Schmoecker, T. Hatori, D. Watling, Dynamic process model of mass effects on travel demand, *Transportation*, 2014, Vol. 41, No. 2, pp. 279-304.

[9] 藤井 大地, 塩見 康博, 宇野 伸宏, 嶋本 寛, 中村 俊之, フィードバック型交通状態推定手法の事故発生状況分析への適用可能性, 土木学会論文集 *D3*（土木計画学）, 2014, Vol. 70, No. 5, pp. I_1067-I_1076.

[10] 山村 啓一, 中村 俊之, 宇野 伸宏, 柳原 正実, 河本 一郎, 玉川 大, 都市高速道路における年齢層に着目した合流支援情報提供時の行動分析, 土木学会論文集 *D3*（土木計画学）, 2014, Vol. 70, No. 5, pp. I_1051-I_1058.

[11] 嶋本 寛, 北脇 徹, 宇野 伸宏, IC カード利用履歴データを用いた公共交通需要変動分析, 土木学会論文集. *D3,* 土木計画学, 2014, Vol. 70, No. 5, pp. I_605-610.

[12] 飛ヶ谷 明人, 宇野 伸宏, 嶋本 寛, 中村 俊之, 山崎 浩気, 交通障害発生を考慮した都市高速道路における渋滞損失時間推定に関する研究, 土木学会論文集 *D3*（土木計画学）, 2014, Vol. 70, No. 5, pp. I_943-I_950.

[13] 嶋本 寛, 北脇 徹, 宇野 伸宏, 中村 俊之, IC カード利用履歴データを用いた公共交通需要変動分析, 土木学会論文集 *D3*（土木計画学）, 2014, Vol. 70, No. 5, pp. I_605-I_610.

[14] 山村 啓一, 中村 俊之, 宇野 伸宏, 都市高速道路における年齢層に着目した合流支援情報提供時の行動分析, 土木学会論文集. *D3,* 土木計画学, 2014, Vol. 70, No. 5, pp. I_1051-1058.

[15] 清水 明彦, 中村 俊之, シュマッカー ヤン-ディャク, 宇野 伸宏, 山崎 浩気, ネガティブな経験に着目した交通手段利用特性に関する研究, 都市計画論文集, 2014, Vol. 49, No. 3, pp. 435-440.

[16] J. Schmoecker, H. Shimamoto, F. Kurauchi, Generation and calibration of transit hyperpaths, *Transportation Research Part C-Emerging Technologies*, 2013, Vol. 36, pp. 406-418.

[17] 塩見 康博, 谷口 知己, 宇野 伸宏, 個別車両データを用いた単路部ボトルネックにおける速度変動予測と車線変更誘導による渋滞抑止効果の検証, 高速道路と自動車, 2013, Vol. 56, No. 3, pp. 30-40.

[18] 飛ヶ谷 明人, 宇野 伸宏, 嶋本 寛, 阪神高速道路における交通障害発生時の交通量変動に関する研究 (第33 回交通工学研究発表会論文集), 交通工学研究発表会論文集, 2013, Vol. 33, pp. 287-294.

[19] P.F. Belgiawan, Jan-Dirk S., Satoshi F., Effects of peer influence, satisfaction and regret on Car Purchase Desire,Procedia Environmental Sciences, *Procedia Environmental Sciences Journal*, 2013, Vol. 17, pp. 485-493.

[20] Junghwa K., Jan-Dirk S., Satoshi F., Robert B.N., Attitudes towards Road Pricing and Environmental Taxation among US and UK Students., *Policy and Practice*, 2013, Vol. 48, No. 1, pp. 50-62.

交通マネジメント工学講座 交通行動システム分野

[1] 前岡 健一郎, 神田 佑亮, 中野 剛志, 久米 功一, 藤井 聡, 国民経済の強靭性と産業，財政金融政策の関連性についての実証研究, 土木学会論文集 *D3*（土木計画学）, 2014, Vol. 70, No. 5, pp. I_353-I_369.

[2] 田中 皓介, 神田 佑亮, 公共事業を巡る各種言葉のイメージ変化要因に関するパネル分析, 土木学会論文集 *F4*（建設マネジメント）, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. I_13-I_25.

[3] J. Kim, J. Schmoecker, S. Fujii, Exploring the Relationship Between Undergraduate Education and Sustainable Transport Attitudes, *International Journal of Sustainable Transportation*, 2014, 961108.

[4] H.T. Vana, K. Choocharukulb, S. Fujii, The effect of attitudes toward cars and public transportation on behavioral intention in commuting mode choice—A comparison across six Asian countries, *Transportation Research Part A: Policy and Practice*, 2014, Vol. 69, pp. 16-44.

[5] F.B. Prawira, J. Schmöcker, M. Abou-Zeid, J. Walker, T. Lee, D.F. Ettema, S. Fujii, Car ownership motivations among undergraduate students in China, Indonesia, Japan, Lebanon, Netherlands, Taiwan, and USA, *Transportation*, 2014, Vol. 41, No. 6, pp. 1227-1244.

[6] F. Prawira, J. Schmoecker, S. Fujii, Understanding Car Ownership Motivations Among Indonesian Students, *International Journal of Sustainable Transportation*, 2014, 921846.

[7] Y. Li, J. Schmoecker, S. Fujii, Demand adaptation towards new transport modes: the case of high-speed rail in Taiwan, *Transportmetrica B: Transport Dynamics*, 2014, Vol. 3, No. 1, pp. 27-43.

[8] J. Kim, J. Schmoecker, C.J. Bergstad, S. Fujii, T. Garling, The influence of personality on acceptability of sustainable transport policies, *Transportation*, 2014, Vol. 41, No. 4, pp. 855-872.

[9] 福井 公四郎, 藤井 聡, 震災復興の予算調達における「国債と増税」の選択に関する政治心理学研究, 人間環境学研究, 2014, Vol. 12, No. 1, pp. 57-64.

[10] 遠藤 皓亮, 藤井 聡, 中野 剛志, 情報提供が財政に対する態度に及ぼす影響に関する分析, 人間環境学研究, 2014, Vol. 12, No. 1, pp. 41-49.

[11] 川端 祐一郎, 藤井 聡, コミュニケーション形式としての物語に関する研究の系譜と公共政策におけるその活用可能性, 土木学会論文集 *D3*（土木計画学）, 2014, Vol. 70, No. 5, pp. I_123-I_142.

[12] 沼尻 了俊, 神田 佑亮, 藤井 聡, モビリティ・マネジメントの継続要因に関する地域横断的考察～全国の継続展開地域における実践事例から～, 土木学会論文集Ｆ５（土木技術者実践）, 2014, Vol. 70, No. 2, pp. 26-45.

[13] 遠藤 皓亮, 藤井 聡, 中野 剛志, 市場取引の関与と財政への意識の関連性と財政破綻の可能性に対する考察, 科学・技術研究, 2014, Vol. 3, No. 1, pp. 61-68.

[14] 梶原 大督, 菊池 輝, 藤井 聡, 「利己主義人間観」が政府に対する否定的態度に及ぼす影響に関する研究, 土木学会論文集Ｄ３（土木計画学）, 2014, Vol. 70, No. 1, pp. 1-8.

[15] 水山 光春, 宮川 愛由, 京都市における学校 MM 教育 (特集 子どもを育む交通), 交通工学, 2014, Vol. 49, No. 1, pp. 40-43.

[16] 夏山 英樹, 神田 佑亮, 藤井 聡, 東日本大震災における地方整備局の復旧活動についての物語描写研究～TEC-FORCE の役割～, 土木学会論文集Ｆ６（安全問題）, 2014, Vol. 70, No. 1, pp. 14-32.

[17] 田中皓介, 中野剛志, 藤井 聡, 公共政策に関する大手新聞社説の論調についての定量的物語分析, 土木学会論文集, 2013, Vol. D3, No. 69, pp. 353-361.

[18] 尾花 恭介, 広瀬 幸雄, 藤井 聡, 精緻化見込みモデルから考察した NIMBY 型事業の受容に及ぼす手続き的公正さの影響, 土木学会論文集, 2013, Vol. D3, No. 69, pp. 267-275.

[19] 夏山 英樹, 神田 佑亮, 藤井 聡, 東日本大震災「くしの歯作戦」についての物語描写研究～啓開・復興における地元建設業者の役割～, 土木学会論文集, 2013, Vol. F5, No. 69, pp. 14-26.

[20] 藤井 聡, デフレーション下での中央政府による公共事業の事業効果分析, 科学・技術研究, 2013, Vol. 2, No. 1, pp. 57-64.

[21] Haruna S., Satoshi F., Tommy G., Lars E.O., Margareta F., Rules for aggregated satisfaction with work commutes, *Transportation*, 2013, pp. 00-00.

[22] 田中 皓介, 神田 佑亮, 公共事業を巡る言葉に関するイメージとその変遷に関する研究, 土木学会論文集 *F4*（建設マネジメント）, 2013, Vol. 69, No. 4, pp. I_1-I_7.

[23] 羽鳥 剛史, 藤井 聡, 住永 哲史, 地域コミュニティ保守行動の規定要因に関する実証的研究:— ”地域カリスマ”による超利他的動機の個人的要因と地域的要因—, 行動計量学, 2013, Vol. 40, No. 1, pp. 43-61.

[24] 根津 佳樹, 神田 佑亮, 小池 淳司, 白水 靖郎, 藤井 聡, 西日本における国土強靱化インフラ整備による総合的マクロ効果予測研究, 土木学会論文集 *F4*（建設マネジメント）, 2013, Vol. 69, No. 4, pp. I_57-I_68.

[25] 長谷川 大貴, 中野 剛志, 藤井 聡, プランニング組織における物語の役割, 人間環境学研究, 2013, Vol. 11, No. 2, pp. 75-82.

[26] Junghwa K., Satoshi F., Backjin L., Strategies to Promote Sustainable Transportation Policy Incorporating Heterogeneity, *International Journal of Sustainable Transportation*, 2013, Vol. 7, No. 2, pp. 107-124.

[27] P.F. Belgiawan, Jan-Dirk S., Satoshi F., Effects of peer influence, satisfaction and regret on Car Purchase Desire,Procedia Environmental Sciences, *Procedia Environmental Sciences Journal*, 2013, Vol. 17, pp. 485-493.

[28] Junghwa K., Jan-Dirk S., Satoshi F., Robert B.N., Attitudes towards Road Pricing and Environmental Taxation among US and UK Students., *Policy and Practice*, 2013, Vol. 48, No. 1, pp. 50-62.

[29] 羽鳥 剛史, 藤井 聡, 住永 哲史, 地域コミュニティ保守行動の規定要因に関する実証的研究, 行動計量学, 2013, Vol. 40, No. 1, pp. 43-61.

[30] 田中 皓介, 中野 剛志, 藤井 聡, 公共政策に関する大手新聞社説の論調についての定量的物語分析, 土木学会論文集 *D3*（土木計画学）, 2013, Vol. 69, No. 5, pp. I_353-I_361.

[31] 尾高 慎二, 神田 佑亮, 西ノ原 真志, 飯野 公央, 谷口 守, 地方都市圏におけるモビリティ・マネジメント施策の継続効果の分析, 土木学会論文集 *D3*（土木計画学）, 2013, Vol. 69, No. 5, pp. I_753-I_760.

[32] 田中 皓介, 神田 佑亮, 藤井 聡, 公共政策に関する大手新聞社報道についての時系列分析, 土木学会論文集 *D3*（土木計画学）, 2013, Vol. 69, No. 5, pp. I_373-I_379.

地震ライフライン工学講座

[1] A. Furukawa, K. Kojima, J. Kiyono, K. Toki, F. Miura, Fundamental study on structural damage detection method for plate structures based on the time reversal technique, *EURODYN 2014: Ix International Conference on Structural Dynamics*, 2014, pp. 2563-2569.

[2] F. Miura, A. Ohta, J. Kiyono, K. Toki, Application of overlaying mesh method to pile-soil-interaction analyses using beam and solid elements, *EURODYN 2014: Ix International Conference on Structural Dynamics*, 2014, pp. 1899-1904.

[3] J. Kiyono, K. Toki, F. Miura, A. Furukawa, Seismic effects of layered ground with irregular interfaces on buckling failure of buried pipeline, *EURODYN 2014: Ix International Conference on Structural Dynamics*, 2014, pp. 407-412.

[4] B. Charatpangoon, J. Kiyono, A. Furukawa, C. Hansapinyo, Dynamic analysis of earth dam damaged by the 2011 Off the Pacific Coast of Tohoku Earthquake, *Soil Dynamics and Earthquake Engineering*, 2014, Vol. 64, pp. 50-62.

[5] 土肥 裕史, 奥村 与志弘, 小山 真紀, 湯浅 亮, 清野 純史, コミュニティにおける津波避難初期過程のシミュレーションモデルの開発, 土木学会論文集 *B2(*海岸工学*)*, 2014, Vol. 70, No. 2, pp. I_1356-I_1360.

[6] 溝端 祐哉, 安田 誠宏, 奥村 与志弘, 森 信人, 間瀬 肇, 島田 広昭, 漸増津波氾濫解析を用いた地域の耐津波ポテンシャル評価, 土木学会論文集 *B2(*海岸工学*)*, 2014, Vol. 70, No. 2, pp. I_1326-I_1330.

[7] 古川 愛子, 木村 翔太, 清野 純史, 個別要素法を用いた構造物の動的解析における減衰のモデル化に関する基礎的検討, 土木学会論文集 *A1*（構造・地震工学）, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. I_89-I_100.

[8] 佐伯 琢磨, 清野 純史, 東日本大震災におけるガソリン供給問題に関する検討と システムダイナミクス・モデルの適用, 日本地震工学会論文集, 2014, Vol. 14, No. 1, pp. 1_34-1_43.

[9] 畑 明仁, 志波 由紀夫, 坂下 克之, 清野 純史, ランダム位相を持つ模擬地震動が地盤の非線形応答に与える影響の検討, 土木学会論文集 *A1*（構造・地震工学）, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. I_487-I_505.

[10] 奥村 与志弘, 手代木 啓佑, 清野 純史, 内陸盛土を利用した津波多重防御に関する一考察, 土木学会論文集 *A1*（構造・地震工学）, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. I_916-I_920.

[11] 秦 吉弥, 野口 竜也, 古川 愛子, 香川 敬生, 大規模地震を対象とした強震動評価におけるサイト増幅特性の評価の重要性 (<特集>巨大地震と地盤工学), 地盤工学会誌, 2014, Vol. 62, No. 1, pp. 12-15.

[12] 古川 愛子, 堀川 理佐, 清野 純史, 個別要素法によるまくら木及びバラストの諸元がバラスト軌道の挙動に及ぼす影響の検討, 土木構造・材料論文集 九州橋梁・構造工学研究会論文集編集委員会 編, 2014, No. 30, pp. 91-98.

[13] 古川 愛子, 真辺 寛人, 清野 純史, 水平で堅固な基礎地盤上に築かれた均質な盛土構造物の地震時滑動量の簡易評価手法に関する研究, 土木学会論文集 *A2*（応用力学）, 2014, Vol. 70, No. 2, pp. I_659-I_669.

[14] 古川 愛子, 児島 啓太, 清野 純史, 空間及び波数領域情報を利用した平板構造物の損傷検出手法に関する研究, 土木学会論文集 *A2*（応用力学）, 2014, Vol. 70, No. 2, pp. I_125-I_133.

[15] 川西 智浩, 清野 純史, 井澤 淳, 開削トンネルの破壊箇所と耐力の関係把握のための静的載荷実験, 土木学会論文集 *A1*（構造・地震工学）, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. I_734-I_741.

[16] 奥村 与志弘, 佐藤 祐子, 清野 純史, 女川町における RC 構造物の 2011 年東北津波による被災メカニズムに関する研究 - 杭が破断し転倒・流出した RC 構造物の事例 -, 土木学会論文集 *B2(*海岸工学*)*, 2014, Vol. 70, No. 2, pp. I_1006-I_1010.

[17] 藤森 崇浩, 小山 真紀, 清野 純史, 災害報道からの個人属性別の状況の抽出：東日本大震災後の全国紙と地方紙のテキストマイニングから, 地域安全学会論文集, 2014, No. 22, pp. 55-64.

[18] 安田 誠宏, 谷口 翔太, 奥村 与志弘, 溝端 祐哉, 島田 広昭, 森 信人, 間瀬 肇, 避難所生活者の収容可能人数からみた災害対応の転換を要する津波規模の推定, 土木学会論文集 *B2*（海岸工学）, 2013, Vol. 69, No. 2, pp. I_1341-I_1345.

[19] T. MATSUDA, A. IGARASHI, A. FURUKAWA, H. OUCHI, H. UNO, H. MATSUDA, Effect of inter-component phase difference in bi-directional seismic ground motion input to dynamic response of ICSS, *Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. A1 (Structural Engineering / Earthquake Engineering (SE/EE))*, 2013, Vol. 69, No. 4, pp. I_688-I_702.

[20] 奥村　与志弘, 後藤　浩之, 海溝型地震の分岐断層破壊シナリオで発生する津波の特徴に関する一考察, 土木学会論文集 *A1*（構造・地震工学）, 2013, Vol. 69, No. 4（地震工学論文集第 32 巻）, pp. I_750-I_757.

[21] 古川 愛子, 水上 輝, 清野 純史, 道路盛土構造物の地震時安全性簡易評価手法に関する基礎的研究, 土木学会論文集 *A2*（応用力学）, 2013, Vol. 69, No. 2, pp. I_457-I_468.

[22] 古川 愛子, 清野 純史, 谷口 仁士, 鈴木 祥之, 土岐 憲三, 辰巳 雅俊, H.R. PARAJULI, ネパール・カトマンズにおける歴史的組積造建造物群の構造分類と地震リスク評価, 歴史都市防災論文集, 2013, Vol. 7, pp. 145-152.

[23] 川西 智浩, 清野 純史, 井澤 淳, 静的載荷試験による開削トンネル側壁破壊時の耐力に関する検討, トンネルと地下：日本トンネル技術協会誌, 2013, Vol. 44, No. 7, pp. 527-533.

[24] 古川 愛子, 三輪 滋, 大塚 久哲, 墓石縮小模型を用いた振動台実験による動的挙動特性及び転倒・落下限界の把握, 土木構造・材料論文集 九州橋梁・構造工学研究会論文集編集委員会 編, 2013, No. 29, pp. 59-66.

[25] 安田 誠宏, 谷口 翔太, 奥村 与志弘, 避難所生活者の収容可能人数からみた災害対応の転換を要する津波規模の推定, 土木学会論文集. *B2,* 海岸工学, 2013, Vol. 69, No. 2, pp. 1341-1345.

[26] 常井 友也, 清野 純史, F.D.C., 小口径下水道管路における新工法の耐震対策の安全性照査に関する研究, 土木学会論文集 *A1*（構造・地震工学）, 2013, Vol. 69, No. 4, pp. I_889-I_902.

[27] 川西 智浩, 清野 純史, 井澤 淳, 側壁の損傷に着目した開削トンネルの地震時耐力把握のための実験的研究, 土木学会論文集 *A1*（構造・地震工学）, 2013, Vol. 69, No. 4, pp. I_509-I_516.

[28] 小山 真紀, 石井 儀光, 古川 愛子, 清野 純史, 吉村 晶子, 東北地方太平洋沖地震における浸水状況を考慮した市町村別・年齢階級別死者発生状況, 土木学会論文集 *A1*（構造・地震工学）, 2013, Vol. 69, No. 4, pp. I_161-I_170.

[29] 奥村 与志弘, 中道 尚宏, 清野 純史, 想定を超える津波からの避難の特徴と対策 -宮城県志津川地区の事例分析-, 土木学会論文集 *B2(*海岸工学*)*, 2013, Vol. 69, No. 2, pp. I_1366-I_1370.

ライフライン工学講座 都市供給システム分野

ジオマネジメント工学講座 ジオフロントシステム工学分野

[1] Y. Sugiyama, S. Nomura, K. Kawai, M. Mimura, Numerical evaluation for performance of a capillary barrier system, *Unsaturated Soils: Research & Applications, Vols 1 and 2*, 2014, pp. 651-658.

[2] Y. Higo, F. Oka, R. Morishita, Y. Matsushima, T. Yoshida, Trinarization of mu X-ray CT images of partially saturated sand at different water-retention states using a region growing method, *Nuclear Instruments & Methods in Physics Research Section B-Beam Interactions With Materials and Atoms*, 2014, Vol. 324, pp. 63-69.

[3] 桐山 貴俊, 肥後 陽介, MPM を用いた地盤材料の連成解析と大変形解析 (<特集>地盤の変形に関する新しい数値解析), 地盤工学会誌, 2014, Vol. 62, No. 11, pp. 10-13.

[4] Y. Higo, F. Oka, R. Morishita, Y. Matsuhima, T. Yoshida, Trinarization of lX-ray CT images of partially saturated sand at different water-retention states using a region growing method, *Nuclear Instruments and Methods in Physics Research B*, 2014, Vol. 324, No. 1, pp. 63-69.

[5] 三村 衛, 電気探査と統合型コーンによる高速道路谷埋め盛土区間の耐震性調査手法の開発 (公益信託 NEXCO 関係会社高速道路防災対策等に関する支援基金 平成 25 年度研究助成の概要 (その 2)), 高速道路と自動車, 2014, Vol. 57, No. 10, pp. 62-64.

[6] 三村 衛, 北田 奈緒子, 7. トラブルの発生しやすい地盤の特徴と特性について (地下建設工事においてトラブルが発生しやすい地盤の特性と対応技術), 地盤工学会誌, 2014, Vol. 62, No. 8, pp. 53-60.

[7] 肥後 陽介, μX 線 CT を用いた不飽和砂の微視構造評価 (<特集>不飽和土への挑戦), 地盤工学会誌, 2014, Vol. 62, No. 5, pp. 24-27.

[8] 三村 衛, 北田 奈緒子, 地下建設工事においてトラブルが発生しやすい地盤の特性と対応技術 (7) トラブルの発生しやすい地盤の特徴と特性について, 地盤工学会誌 : 土と基礎, 2014, Vol. 62, No. 8, pp. 53-60.

[9] 小森 省吾, 鍵山 恒臣, 高倉 伸一, 大沢 信二, 三村 衛, 茂木 透, A3-03 熱水変質が母岩の表面伝導度に与える影響の定量的検討 : 低温熱水系と (やや) 高温熱水系との比較研究 (噴煙・熱水、桜島火山, 口頭発表), 日本火山学会講演予稿集, 2013, Vol. 2013, p. 41.

[10] 三村 衛, 吉村 貢, 6. 原位置試験による液状化評価 (室内試験・原位置試験結果の設計への反映), 地盤工学会誌, 2013, Vol. 61, No. 8, pp. 65-72.

[11] 三村 衛, 社会基盤としての地盤情報データベース (<特集>地盤情報データベースの利活用), 地盤工学会誌, 2013, Vol. 61, No. 6, pp. 1-3.

[12] 三村 衛, 社会基盤としての地盤情報データベース, 地盤工学会誌, 2013, Vol. 61, No. 6, pp. 1-3.

[13] 岡 二三生, 肥後 陽介, X 線 CT による地盤材料の構造の可視化:2. μX 線 CT による土要素レベルの構造の可視化に関する研究, 材料, 2013, Vol. 62, No. 11, pp. 717-723.

ジオマネジメント工学講座 環境資源システム工学分野

[1] K. Ishitsuka, M. Tamura, T. Matsuoka, ESTIMATION OF SURFACE DISPLACEMENT USING POLARIMETRIC SAR INTERFEROGRAMS BASED ON ANALYSIS OF PERSISTENT SCATTERERS, *2014 IEEE International Geoscience and Remote Sensing Symposium (IGARSS)*, 2014, pp. 2221-2224.

[2] C. Mao, Y. Yamada, T. Matsuoka, A preliminary assessment of geological CO2 storage in Cambodia, *International Journal of Greenhouse Gas Control*, 2014, Vol. 30, pp. 19-33.

[3] K. Kobayashi, Y. Liang, T. Matsuoka, Molecular Dynamics Study of Aqueous NaCl Solutions: Flash Crystallization Caused by Solution Phase Change, *Journal of Solution Chemistry*, 2014, Vol. 43, No. 42257, pp. 1799-1809.

[4] M.Y.N. Khakim, T. Tsuji, T. Matsuoka, Lithology-controlled subsidence and seasonal aquifer response in the Bandung basin, Indonesia, observed by synthetic aperture radar interferometry, *International Journal of Applied Earth Observation and Geoinformation*, 2014, Vol. 32, pp. 199-207.

[5] K. Ishitsuka, M. Tamura, T. Matsuoka, Equivalent Stacking of Polarimetric Synthetic Aperture Radar Interferograms Based on Analysis of Persistent and Distributed Scatterers, *IEEE Geoscience and Remote Sensing Letters*, 2014, Vol. 11, No. 8, pp. 1360-1364.

[6] A. Miyakawa, S. Saito, Y. Yamada, H. Tomaru, M. Kinoshita, T. Tsuji, Gas hydrate saturation at Site C0002, IODP Expeditions 314 and 315, in the Kumano Basin, Nankai trough, *Island ARC*, 2014, Vol. 23, No. 2, pp. 142-156.

[7] K. Kobayashi, Y. Liang, T. Sakka, T. Matsuoka, Molecular dynamics study of salt-solution interface: Solubility and surface charge of salt in water, *Journal of Chemical Physics*, 2014, Vol. 140, No. 14, p. 144705.

[8] Y. Yamada, K. Baba, A. Miyakawa, T. Matsuoka, Granular experiments of thrust wedges: Insights relevant to methane hydrate exploration at the Nankai accretionary prism, *Marine and Petroleum Geology*, 2014, Vol. 51, pp. 34-48.

[9] 松岡 俊文, 本田 博巳, 講演 石油鉱業史とその将来展望における物理探査 (地質・探鉱部門シンポジウム 課題は果たされたのか? : 物理探査技術の現況と将来), 石油技術協会誌, 2014, Vol. 79, No. 1, pp. 4-16.

[10] 滋井 康人, 辻 健, 松岡 俊文, 池田 倫治, 西坂 直樹, 石川 慶彦, 地震探査データから計算された Q 値から推定される中央構造線周辺の岩相分布, 材料, 2014, Vol. 63, No. 3, pp. 250-257.

[11] 小林 和弥, Y. LIANG, I.C. BOURG, 松岡 俊文, セメント内微結晶の力学的特性に関する分子動力学法による検討, 土木学会論文集 *A2* (応用力学) , 2014, Vol. 70, No. 2, pp. I_409-I_418.

[12] 松岡 俊文, 本田 博巳, 非在来型化石燃料の将来性 (特集 非在来型化石燃料を取り巻く状況), エネルギー・資源, 2014, Vol. 35, No. 4, pp. 193-201.

[13] 稲垣 史生, 高野 修, 山田 泰広, 「海底下の炭化水素資源・炭素循環と地球生命工学」シンポジウム開催報告 : 生態系と調和した循環型カーボンマネッジメ

ントの重要性, 石油技術協会誌, 2014, Vol. 79, No. 3, pp. 190-192.

[14] 松岡 俊文, 講演 シェールガス貯留層内に存在するナノポアにおけるガスの振る舞い (開発・生産部門シンポジウム「非在来型」資源開発への取り組み：回収率向上に向けた挑戦と環境・施設に係る課題), 石油技術協会誌, 2014, Vol. 79, No. 6, pp. 424-427.

[15] M.Y.N. Khakim, T. Tsuji, T. Matsuoka, Detection of Localized Surface Uplift by Differential SAR Interferometry at the Hangingstone Oil Sand Field, Alberta, Canada, *IEEE Journal of Selected Topics in Applied Earth Observations and Remote Sensing*, 2013, Vol. 6, No. 6, pp. 2344-2354.

[16] T. Ikeda, T. Tsuji, T. Matsuoka, Window-controlled CMP crosscorrelation analysis for surface waves in laterally heterogeneous media, *Geophysics*, 2013, Vol. 78, No. 6, pp. EN95-EN105.

[17] J. Kim, M.J. Nam, T. Matsuoka, Estimation of CO2 saturation during both CO2 drainage and imbibition processes based on both seismic velocity and electrical resistivity measurements, *Geophysical Journal International*, 2013, Vol. 195, No. 1, pp. 292-300.

[18] Y. Yamada, R. Masui, T. Tsuji, Characteristics of a tsunamigenic megasplay fault in the Nankai Trough, *Geophysical Research Letters*, 2013, Vol. 40, No. 17, pp. 4594-4598.

[19] Seung-Youl Y., Yoshihiro K., Yoshitada M., Toshifumi M., Masami N., Akiko O., Kazutoshi S., Akira U., A geochemical clogging model with carbonate precipitation rates under hydrothermal conditions, *Applied Geochemistry*, 2013, Vol. 30, pp. 67 -74.

[20] 鶴田 忠彦, 田上 雅彦, 天野 健治, 松岡 稔幸, 栗原 新, 山田 泰広, 小池 克明, 瑞浪超深地層研究所における深部地質環境のモデル化を目指した地質学的調査, 地質学雑誌, 2013, Vol. 119, No. 2, pp. 59-74.

[21] 松岡 俊文, 社会システムマネージメントへの物理探査の貢献 (特集 創立 65 周年記念), 物理探査, 2013, Vol. 66, No. 4, pp. 221-242.

[22] 本田 博巳, 中山 一夫, 星 一良, 徳永 朋祥, 古宇田 亮一, 松岡 俊文, 眞柄欽次博士：実践的石油地質学者かつ実践的国際事業活動評論家, 地学雑誌, 2013, Vol. 122, No. 1, pp. 214-225.

[23] 山田 泰広, 柴沼 潤, 松岡 俊文, 坑壁破壊から見た応力場変動と石油鉱業への応用, 石油技術協会誌, 2013, Vol. 78, No. 1, pp. 28-35.

[24] 石塚 師也, 辻 健, 松岡 俊文, SAR データの相関度を用いた液状化地域の特定手法の開発：2011 年東北地方太平洋沖地震及び 2011 年クライストチャーチ地震への適用 (特集 液状化と物理探査), 物理探査, 2013, Vol. 66, No. 1, pp. 25-35.

[25] 松岡 俊文, 地中貯留技術の現状と課題 (特集 温室効果ガス分離回収貯留技術 (CCS 特集)), 化学工学, 2013, Vol. 77, No. 5, pp. 320-322.

[26] 松岡 俊文, 最近の物理探査手法 歴史を振り返って現在と将来を考える (特集 最近の地盤探査とその応用), 基礎工, 2013, Vol. 41, No. 9, pp. 2-7.

[27] 徳永 朋祥, 佐野 修, 星 一良, 本田 博巳, 稲崎 富士, 徂徠 正夫, 松岡 俊文, 安原 正也, 小出 仁, 地下の遅い流体挙動 (Part 2) フィールドと室内実験からみる：イントロダクション (特集号 地下の遅い流体挙動 (Part 2) フィールドと室内実験からみる), 地学雑誌, 2013, Vol. 122, No. 1, pp. 8-15.

[28] 松岡 俊文, 地中貯留技術の現状と課題, 化学工学, 2013, Vol. 77, No. 5, pp. 320-322.

[29] 石塚 師也, 辻 健, 松岡 俊文, SAR データの相関度を用いた液状化地域の特定手法の開発：2011 年東北地方太平洋沖地震及び 2011 年クライストチャーチ地震への適用, 物理探査, 2013, Vol. 66, No. 1, pp. 25-35.

[30] 村田 澄彦, 芦田 彬久, 高橋 悟, 岡部 博, 貯留層内ブロッキングによる掃攻率改善効果の検討, 石油技術協会誌, 2013, Vol. 78, No. 6, pp. 445-454.

ジオマネジメント工学講座 国際都市開発分野

[1] R. Pradhananga, E. Taniguchi, T. Yamada, A.G. Qureshi, Bi-objective decision support system for routing and scheduling of hazardous materials, *Socio-Economic Planning Sciences*, 2014, Vol. 48, No. 2, pp. 135-148.

[2] A.G. Qureshi, E. Taniguchi, R.G. Thompson, J.S.E. Teo, Application of exact route optimization for the evaluation of a city logistics truck ban scheme, *International Journal of Urban Sciences*, 2014, Vol. 18, No. 2, pp. 117-132.

[3] J.S.E. Teo, E. Taniguchi, A.G. Qureshi, Multi-agent systems modelling approach to evaluate urban motorways for city logistics, *International Journal of Urban Sciences*, 2014, Vol. 18, No. 2, pp. 154-165.

[4] R. Pradhananga, E. Taniguchi, T. Yamada, A.G. Qureshi, Risk of Traffic Incident Delay in Routing and Scheduling of Hazardous Materials, *International Journal of Intelligent Transport Systems Research*, 2014, pp. 1-14.

ジオマネジメント工学講座 土木施工システム工学分野

[1] 大津 宏康, 地盤構造物における性能低下のモデル化手法 (<特集>地盤構造物の長寿命化に関する技術), 地盤工学会誌, 2014, Vol. 62, No. 7, pp. 6-9.

[2] 大津 宏康, 地盤構造物における性能低下のモデル化手法 (特集 地盤構造物の長寿命化に関する技術), 地盤工学会誌 : 土と基礎, 2014, Vol. 62, No. 7, pp. 6-9.

[3] 大津 宏康, 高橋 良和, 土木学会を知ろう：委員会の紹介 (第 19 回) 土木学会 論文集編集委員会, 土木学会誌, 2014, Vol. 99, No. 6, pp. 54-57.

[4] 大津 宏康, 前田 良刀, 益田 浩, 短期間集中豪雨に起因する斜面崩壊機構に関する研究 (特集 岩石力学), 材料, 2014, Vol. 63, No. 3, pp. 271-278.

[5] 稲積 真哉, 川端 秀雄, 大津 宏康, 廃棄物処分場における遮水工としての膨潤性止水材の耐久性評価 (特集 地盤改良), 材料, 2014, Vol. 63, No. 1, pp. 67-72.

[6] 大津 宏康, 小林 拓, 長谷川 信介, ニューラルネットワークを用いた山岳トンネル事前調査段階地山評価, 土木学会論文集 *F4*（建設マネジメント）, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. I_83-I_94.

[7] 古賀 博久, 堀田 洋平, 大津 宏康, 前田 良刀, 高橋 健二, 矢部 満, 熱帯性豪雨に伴う斜面表層部における水収支に関する検討, 地盤工学ジャーナル, 2014, Vol. 9, No. 3, pp. 341-358.

[8] 稲積 真哉, 川端 秀雄, 大津 宏康, 磯田 隆行, 廃棄物処分場における遮水工としての膨潤性止水材の耐久性評価, 材料, 2014, Vol. 63, No. 1, pp. 67-72.

[9] 大津 宏康, 松塚 直也, 長谷川 信介, 太田 康貴, 山岳トンネルにおけるコア評価点を用いたジオリスク評価手法に関する研究, 材料, 2014, Vol. 63, No. 3, pp. 258-264.

[10] 大津 宏康, 前田 良刀, 益田 浩, 高橋 健二, 矢部 満, 短期間集中豪雨に起因する斜面崩壊機構に関する研究, 材料, 2014, Vol. 63, No. 3, pp. 271-278.

[11] 北岡 貴文, 楠見 晴重, 寺田 道直, 中村 真, 増田 徳兵衛, 京都市伏見区域における現場計測による地下水性状の把握と 3 次元浸透流解析, 応用地質, 2013, Vol. 54, No. 1, pp. 16-24.

[12] 稲積 真哉, 大津 宏康, 熊本 紗也華, 廃棄物処分場における遮水シート工の劣化予測に基づく維持補修計画の提案, 土木学会論文集. *F4, (*建設マネジメント*)* 特集号 土木学会建設マネジメント委員会 編, 2013, Vol. 69, No. 4, pp. 9-18.

[13] 稲積 真哉, 大津 宏康, 熊本 紗也華, 廃棄物処分場における遮水シート工の劣化予測に基づく維持補修計画の提案, 土木学会論文集 *F4*（建設マネジメント）, 2013, Vol. 69, No. 4, pp. I_9-I_18.

[14] 稲積 真哉, 大津 宏康, 奥野 直紀, 宍戸 賢一, 津波堆積物の処理における時間を考慮した環境影響評価, 地盤工学ジャーナル, 2013, Vol. 8, No. 4, pp. 533-542.

[15] 北岡 貴文, 楠見 晴重, 中村 慎, 地下水を利用した環境共生型蓄熱システムの構築に関する浸透，圧密，熱移動のシミュレーション解析, 地盤工学ジャーナル, 2013, Vol. 8, No. 2, pp. 361-368.

河川流域マネジメント工学講座

[1] S. Onda, T. Hosoda, N. Jacimovic, I. Kimura, Numerical simulation of dike erosion process due to overtopping flow, *Journal of JSCE*, 2014, Vol. 2, pp. 168-175.

[2] 白井 秀和, 細田 尚, 金澤 直矢, 動的平衡過程としての転波列の発達過程と平衡状態の特性, 土木学会論文集 *A2*（応用力学）, 2014, Vol. 70, No. 2, pp. I_819-I_830.

[3] 野々村 政一, 井浦 智実, 岸田 潔, 小土かぶり未固結地山トンネルにおける事前地山改良による地山安定性の評価, トンネルと地下：日本トンネル技術協会誌, 2014, Vol. 45, No. 8, pp. 623-634.

[4] 澤村 康生, 荒居 旅人, 岸田 潔, 木村 亮, 壁面工を有する盛土内に設置されたアーチカルバートにおける縦断方向の地震時挙動に関する遠心模型実験, 地盤工学ジャーナル, 2014, Vol. 9, No. 3, pp. 41-57.

[5] H.T. Puay, 細田 尚, 岸田 潔, A STUDY OF INJECTION OF FLUIDABLE MATERIAL INTO A HORIZONTAL SLOT, 土木学会論文集 *B1*（水工学）, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. I_769-I_774.

[6] 木村 一郎, 細田 尚, 岩田 通明, 音田 慎一郎, せん断不安定のパラメータ依存性を考慮した平面二次元ＲＡＮＳモデルの構築, 土木学会論文集 *B1*（水工学）, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. I_799-I_804.

[7] 白井 秀和, 細田 尚, 防潮堤を越流後の津波遡上過程に関する基本特性, 土木学会論文集 *B1*（水工学）, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. I_751-I_756.

[8] 細田 尚, H. Bashiri Atrabi, 多田 彰秀, 満水の管路への空気泡の浸入過程へのブシネスク方程式の適用性, 土木学会論文集 *B1*（水工学）, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. I_763-I_768.

[9] T. Hosoda, F. Malembeka, Applicability of mean field approximation to numerical experiments of thermal convection during the cooling period of Lake Biwa, *Journal of Energy and Power Engineering*, 2013, Vol. 7, No. 12, pp. 2220-2226.

[10] Y. Sawamura, K. Kishida, M. Kimura, Centrifuge Model Test and FEM Analysis of Dynamic Interactive Behavior between Embankments and Installed Culverts in Multiarch Culvert Embankments, *International Journal of Geomechanics*, 2013, Vol. 15, No. 3, pp. 04014050-1-04014050-12.

[11] 白井 秀和, 細田 尚, 小林 大輝, 相似解法に基づく津波遡上過程の基本特性に関するいくつかの検討, 土木学会論文集 *A2*（応用力学）, 2013, Vol. 69, No. 2, pp. I_563-I_572.

[12] 野々村 政一, 井浦 智実, 崔 瑛, 岸田 潔, 木村 亮, 小土被り未固結地山における事前地山改良工による地山安定性の評価に関する一考察, 地盤工学ジャーナル, 2013, Vol. 8, No. 2, pp. 165-177.

[13] M. Langhi, T. Hosoda, S. Dey, Velocity Deformation Model for Unsteady Open-Channel Flows over Smooth and Rough Beds, *Journal of Hydraulic Engineering-ASCE*, 2013, Vol. 139, No. 4, pp. 433-443.

[14] 安原 英明, 長谷川 大貴, 中島 伸一郎, 矢野 隆夫, 岸田 潔, 拘束圧・温度に依存する花崗岩不連続面の不可逆透水特性に関する実験的評価, 地盤工学ジャーナル, 2013, Vol. 8, No. 1, pp. 71-79.

[15] K. TSUNO, Y. KOJIMA, K. KISHIDA, Estimation Method of Falling Concrete Piece from Tunnel Lining, *Quarterly Report of RTRI*, 2013, Vol. 54, No. 1, pp. 12-17.

[16] 細田 尚, M. Langhi, 簡易な水深積分モデルによる跳水部の水面形の再現解析について, 土木学会論文集 *B1(*水工学*)*, 2013, Vol. 69, No. 4, pp. I_883-I_888.

[17] 音田 慎一郎, 細田 尚, N. Jacimovic, 木村 一郎, 正面越流による堤防侵食過程の数値シミュレーション, 土木学会論文集 *B1(*水工学*)*, 2013, Vol. 69, No. 4, pp. I_1207-1212.

[18] M. Langhi, T. Hosoda, S. Dey, AN ANALYTICAL SOLUTION OF k-e MODEL FOR UNIFORM AND NON-UNIFORM FLOWS, *Journal*

of Japan Society of Civil Engineers, Ser.B1 (Hydraulic Engineering), 2013, Vol. 69, No. 4, pp. I_67-I_72.

[19] K. Kishida, A. Sawada, H. Yasuhara, T. Hosoda, Estimation of fracture flow considering the inhomogeneous structure of single rock fractures, *Soils and Foundations*, 2013, Vol. 53, No. 1, pp. 105-116.

[20] 岸田　潔, 立田　安礼, 澤村　康生, 木村 亮, 軟弱地盤上に設置する多ユニットアーチカルバート盛土の挙動と地盤改良効果に関する検討, 土木学会論文集 *C*（地圏工学）, 2013, Vol. 69, No. 1, pp. 20-30.

都市国土管理工学講座 水文循環工学分野

[1] D. Nohara, T. Hori, Impact analysis of stochastic inflow prediction with reliability and discrimination indices on long-term reservoir operation, *Journal of Hydroinformatics*, 2014, Vol. 16, No. 2, pp. 487-501.

[2] 花島 健吾, 和田 洋介, 堀 智晴, 自動車の行動特性を考慮した水害避難行動モデル, 水工学論文集 土木学会水工学委員会 編, 2014, Vol. 58,　pp. 1525-1530.

[3] K. Hanajima, M. Nakashima, T. Hori, D. Nohara, Multi-agent based flood evacuation simulation models considering the effect of congestion and obstructions on the pathway, *Floods: From Risk To Opportunity*, 2013, Vol. 357,　pp. 181-189.

[4] D. Nohara, H. Miki, T. Hori, Impact analysis of long-term stochastic inflow prediction and its uncertainty on reservoir operation during drought situations, *Considering Hydrological Change in Reservoir Planning and Management*, 2013, Vol. 362,　pp. 83-90.

[5] 天井 洋平, 野原 大督, 堀 智晴, 予測流入量情報を用いたダム事前放流操作の影響分析手法に関する基礎的検討, 水工学論文集 土木学会水工学委員会 編, 2013, Vol. 57,　pp. 1_1627-1632.

[6] 野原 大督, 角 哲也, 海外事情 ローヌ川ダム群による 2012 年フラッシング連携排砂, ダム技術, 2013, No. 322, pp. 26-37.

[7] 花島 健吾, 堀 智晴, 野原 大督, 道路上の信号制御を考慮した水害避難行動モデル, 水工学論文集 土木学会水工学委員会 編, 2013, Vol. 57,　pp. 1_1573-1578.

都市国土管理工学講座 自然・社会環境防災計画学分野

[1] 兵藤誠, 竹門康弘, 角哲也, 天竜川におけるアユ産卵床の河床地形特性と変動履歴の関係, 河川技術論文集, 2014, Vol. 20,　pp. 67-72.

[2] 兵藤誠, 竹門康弘, 角哲也, 粟津陽介, 朝暉, 洪水時の地形の浸食堆積履歴が河川生息場の好適性に及ぼす影響, 土木学会論文集 *B1(*水工学*)*, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. 1345-1350.

[3] 竹門康弘, 小林草平, 崔　美景, 寺田匡徳, 竹林洋史, 角哲也, 河川の横断測量データに基づく水面比高分布を用いた生息場評価法, 河川技術論文集, 2013, Vol. 19,　pp. 519-524.

[4] 小林草平, 竹門康弘, 角哲也, 冨阪和秀, 山崎友也, 米田格, 堤大三, ハイドロフォンによるダム流入土砂量把握の高度化に関する研究, 河川技術論文集, 2013, Vol. 19,　pp. 147-152.

都市国土管理工学講座 耐震基礎分野

[1] H. Goto, Series expansion of complex ground amplifications with a sequence of simple transfer functions, *Earthquake Engineering & Structural Dynamics*, 2014, Vol. 43, No. 13, pp. 1975-1997.

[2] Y. Shingaki, H. Goto, S. Sawada, Numerical study on wave propagation in a low-rigidity elastic medium considering the effects of gravity, *Wave Motion*, 2014, Vol. 51, No. 5, pp. 729-742.

[3] 酒井 久和, 澤田 純男, 高橋 良和, 五十嵐 晃, 真鍋 和将, 藤田 遼, 集合弾性耐震 RC 柱の正負交番載荷実験に対する数値シミュレーション, 土木学会論文集 *A1*（構造・地震工学）, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. I_101-I_108.

[4] 後藤 浩之, 澤田 純男, 吉田 望, 羽田 浩二, 2011 年東北地方太平洋沖地震の地震動による福島県浪江町建築被害の悉皆調査, 土木学会論文集Ａ１（構造・地震工学）, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. I_1061-I_1070.

[5] 大津 宏康, 高橋 良和, 土木学会を知ろう : 委員会の紹介 (第 19 回) 土木学会 論文集編集委員会, 土木学会誌, 2014, Vol. 99, No. 6, pp. 54-57.

[6] 佐々木 義志, 高橋 良和, 澤田 純男, 遠心場擬動的実験による動的相互作用評価と課題, 土木学会論文集Ａ１（構造・地震工学）, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. I_761-I_774.

[7] 秦 吉弥, 高橋 良和, 秋山 充良, 後藤 浩之, 野津 厚, 経験的サイト増幅・位相特性を考慮した強震動評価手法に基づく 2003 年三陸南地震における東北新幹線愛宕・稗田高架橋での強震動の推定, 土木学会論文集Ａ１（構造・地震工学）, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. I_560-I_577.

[8] H. Goto, Y. Kawamura, S. Sawada, T. Akazawa, Direct estimation of near-surface damping based on normalized energy density, *Geophysical Journal International*, 2013, Vol. 194, No. 1, pp. 488-498.

[9] 奥村　与志弘, 後藤　浩之, 海溝型地震の分岐断層破壊シナリオで発生する津波の特徴に関する一考察, 土木学会論文集 *A1*（構造・地震工学）, 2013, Vol. 69, No. 4（地震工学論文集第 32 巻）, pp. I_750-I_757.

[10] 秦 吉弥, 高橋 良和, 後藤 浩之, 野津 厚, 余震観測記録に基づく 2011 年東北地方太平洋沖地震におけるゴム系支承の被災橋梁での地震動の評価, 日本地震工学会論文集, 2013, Vol. 13, No. 3, pp. 3_30-3_56.

[11] 酒井 久和, 奥村 誠, 塩飽 拓司, 香川 敬生, 長谷川 浩一, 澤田 純男, 多々納 裕一, 地震時における斜面の簡易信頼性評価法に関する基礎的研究, 土木学会論文集Ａ１（構造・地震工学）, 2013, Vol. 69, No. 4, pp. I_142-I_147.

[12] 奥村 与志弘, 後藤 浩之, 海溝型地震の分岐断層破壊シナリオで発生する津波の特徴に関する一考察, 土木学会論文集Ａ１（構造・地震工学）, 2013, Vol. 69, No. 4, pp. I_750-I_757.

[13] 赤澤 隆士, 荒木 正之, 鷹野 澄, 澤田 純男, 林 康裕, 堀家 正則, 近畿地方における高精度リアルタイム連続強震観測網の構築, 日本地震工学会論文集, 2013, Vol. 13, No. 4, pp. 4_55-4_67.

都市国土管理工学講座 地域水環境システム分野

[1] B.B. Shrestha, T. Okazumi, M. Miyamoto, S. Nabesaka, S. Tanaka, A. Sugiura, Fundamental Analysis for Flood Risk Management in the Selected River Basins of Southeast Asia, *JDR*, 2014, Vol. 9, No. 5, pp. 858-869.

[2] P.E.D. Perera, A. Hiroe, D. Shrestha, K. Fukami, D.B. Basnyat, S. Gautam, A. Hasegawa, T. Uenoyama, S. Tanaka, Community-based flood damage assessment approach for lower West Rapti River basin in Nepal under the impact of climate change, *Natural Hazards*, 2014, No. 75, pp. 669-699.

[3] 北野 利一, 高橋 倫也, 田中 茂信, 極値統計解析による降水量の上限の推定可能性, 水工学論文集 土木学会水工学委員会 編, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. I_451-I_456.

[4] 北野 利一, 高橋 倫也, 田中 茂信, 椎葉 充晴, 立川 康人, 「総合確率法の数学的解釈」への討議・回答, *Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. B1 (Hydraulic Engineering)*, 2014, Vol. 70, No. 2, pp. 32-36.

[5] 小槻 峻司, 田中 賢治, 衛星観測植生指標を利用した全球農事暦プロダクトの高精度化, 水工学論文集 土木学会水工学委員会 編, 2014, Vol. 58, pp. 259-264.

[6] K. Souma, K. Tanaka, T. Suetsugi, K. Sunada, K. Tsuboki, T. Shinoda, Y. Wang, A. Sakakibara, K. Hasegawa, Q. Moteki, E. Nakakita, A comparison between the effects of artificial land cover and anthropogenic heat on a localized heavy rain event in 2008 in Zoshigaya, Tokyo, Japan, *Journal of Geophysical Research-Atmospheres*, 2013, Vol. 118, No. 20, pp. 11,600-11,610.

[7] A. SRIARIYAWA, K. PAKOKSUNG, T. SAYAMA, S. TANAKA, S. KOONTANAKULVONG, Approach to Estimate the Flood Damage in Sukhothai Province Using Flood Simulation, *J Disaster Res*, 2013, Vol. 8, No. 3, pp. 406-414.

[8] A. Putthividhya, K. Tanaka, Optimal Rain Gauge Network Design and Spatial Precipitation Mapping Based on Geostatistical Analysis from Colocated Elevation and Humidity Data, *Chiang Mai Journal of Science*, 2013, Vol. 40, No. 2, pp. 187-197.

[9] 小槻 峻司, 田中 賢治, 小尻 利治, シンポジウム論文多様な作物分布を考慮した全球農業水需要量推定, 環境科学会誌, 2013, Vol. 26, No. 2, pp. 158-166.

[10] 峠 嘉哉, 田中 賢治, 小尻 利治, シンポジウム論文集水域の灌漑地拡大の影響を考慮した水熱収支解析によるアラル海の経年的縮小の再現, 環境科学会誌, 2013, Vol. 26, No. 2, pp. 180-190.

[11] 小槻 峻司, 田中 賢治, 陸面過程モデルと大気水収支法による灌漑農地からの水蒸気供給量推定, 水工学論文集 土木学会水工学委員会 編, 2013, Vol. 57, pp. 1_1801-1806.

[12] 小槻 峻司, 田中 賢治, 小尻 利治, 気候変動が日本の水資源に与える影響推計 (II)：水需給・米生産変化と適応策, 水文・水資源学会誌, 2013, Vol. 26, No. 3, pp. 143-152.

[13] 相馬 一義, 田中 賢治, 末次 忠司, 坪木 和久, 篠田 太郎, 榊原 篤志, 長谷川 晃一, 茂木 耕作, 中北 英一, 現実的な地表面状態量初期値が 2008 年に東京都で発生した局地的大雨へ与える影響, *Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. B1 (Hydraulic Engineering)*, 2013, Vol. 69, No. 4, pp. I_343-I_348.

[14] 小槻 峻司, 田中 賢治, 小尻 利治, 気候変動が日本の水資源に与える影響推計 (I)：日本全域水資源モデルの開発, 水文・水資源学会誌, 2013, Vol. 26, No. 3, pp. 133-142.

都市国土管理工学講座 災害リスクマネジメント分野

[1] Y. Kajitani, A.M. Cruz, H. Tatano, K. Nakano, J. Choi, N. Yasuda, conomic Impacts Caused by the Failure of Maritime Global Critical Infrastructure — A Case Study of Chemical Facility Explosions in the Straits of Malacca and Singapore, *Journal of Transportation Security*, 2013, Vol. 6, No. 4, pp. 289-313.

[2] E. Krausmann, A.M. Cruz, Impact of the 11 March, 2011, Great East Japan earthquake and tsunami on the chemical industry, *Natural Hazards*, 2013, Vol. 67, No. 2, pp. 811-828.

都市国土管理工学講座 都市耐水分野

[1] A. Igarashi, Logic circuit design for high-speed computing of dynamic response in real-time hybrid simulation using FPGA-based system , *Smart Structures & Systems*, 2014, Vol. 14, No. 6, pp. 1131-1150.

[2] J. Dang, H. Yuan, A. Igarashi, T. Aoki, Curve-Approximated Hysteresis Model for Steel Bridge Columns, *Journal of Structural Engineering*, 2014, Vol. 140, No. 9, 04014058.

[3] 林 訓裕, 足立 幸郎, 甲元 克明, 八ツ元 仁, 五十嵐 晃, 党 紀, 東出 知大, 経年劣化した鉛プラグ入り積層ゴム支承の残存性能に関する実験的検証, 土木学会論文集 *A1*（構造・地震工学）, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. I_1032-I_1042.

[4] 酒井 久和, 澤田 純男, 高橋 良和, 五十嵐 晃, 真鍋 和将, 藤田 遼, 集合弾性耐震 RC 柱の正負交番載荷実験に対する数値シミュレーション, 土木学会論文集 *A1*（構造・地震工学）, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. I_101-I_108.

[5] 宇野 裕惠, 佐藤 知明, 五十嵐 晃, 松田 泰治, 足立 幸郎, 北 聖大, 反重力すべり支承を用いた振動系の周期特性の評価, 土木学会論文集 *A1*（構造・地震工学）, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. I_419-I_432.

[6] 谷口 惺, 五十嵐 晃, 木田 秀人, 漸増動的解析 (IDA) に基づく長大橋の耐震性能評価, 土木学会論文集 *A1*（構造・地震工学）, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. I_323-I_333.

[7] H.K. Mishra, A. Igarashi, J. Dang, H. Matsushima, Pseudo-dynamic testing for seismic performance assessment of buildings with seismic isolation system using scrap tire rubber pad isolators, *Journal of Civil Engineering and Architecture*, 2014, Vol. 8, No. 1, pp. 73-88.

[8] 菅野 悠介, 米山 望, 海洋インバースダムの津波減災効果に関する数値解析, 土木学会論文集 *A2*（応用力学）, 2014, Vol. 70, No. 2, pp. I_555-I_563.

[9] 中西 陽一, 鍬田 泰子, 直田 梓, 米山 望, 津波浸水時の道路橋背後にある水管橋への作用力評価, 土木学会論文集Ａ１（構造・地震工学）, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. I_71-I_79.

[10] H.K. Mishra, A. Igarashi, Lateral deformation capacity and stability of layer-bonded scrap tire rubber pad isolators under combined compressive and shear loading, *Structural Engineering and Mechanics*, 2013, Vol. 48, No. 4, pp. 479-500.

[11] 米山 望, 田中 豊, 船舶の三次元挙動解析手法の開発と係留索張力による基礎的検証, *Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. B2 (Coastal Engineering)*, 2013, Vol. 69, No. 2, pp. I_331-I_335.

[12] W. PRINGLE, 米山 望, 2011 年東北地方太平洋沖地震津波に関する二次元・三次元ハイブリッドモデルの適用, *Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. B2 (Coastal Engineering)*, 2013, Vol. 69, No. 2, pp. I_306-I_310.

[13] 米山 望, 田中 豊, 船舶の三次元挙動解析手法の開発と係留索張力による基礎的検証, 土木学会論文集. *B2,* 海岸工学, 2013, Vol. 69, No. 2, pp. 331-335.

[14] W. Pringle, 米山 望, 2011 年東北地方太平洋沖地震津波に関する二次元・三次元ハイブリッドモデルの適用, 土木学会論文集. *B2,* 海岸工学, 2013, Vol. 69, No. 2, pp. 306-310.

[15] 直田 梓, 米山 望, 鍬田 泰子, 東北地方太平洋沖地震津波による矢の浦水管橋の被害に関する数値解析, 土木学会論文集 *B3*（海洋開発）, 2013, Vol. 69, No. 2, pp. I_353-I_358.

都市環境工学専攻

ジオフロント環境工学講座

[1] N. Takada, K. Shimono, F. Oka, S. Kimoto, Y. Higo, Numerical evaluation of the deformation of earth retaining wall reinforced by soil buttress method during the excavation in soft soil, *Proc. of The 14th Int. Conf. of International Association For Computer Methods and Recent Advances in Geomechanics, Kyoto, Japan, 22-25 September*, 2014, pp. 1037-1042.

[2] Y. Higo, F. Oka, T. Sato, Y. Matushima, S. Kimoto, Investigation of localized deformation in partially saturated sand under triaxial compression by microfocus X-ray CT with digital image correlation, *Soils and Foundations*, 2013, Vol. 53, No. 2, pp. 181-198.

環境デザイン工学講座

[1] F. Nishimura, N. Kurita, Y. Takabe, T. Mizuno, T. Hidaka, S. Itoh, Behavior of trace organic contaminants in soil aquifer treatment (SAT) process for reuse of secondary sewage effluent, *Progress in Slow Sand and Alternative Biofiltration Processes: Further Developments and Applications*, 2014, pp. 553-562.

[2] 西村 文武, 村角 浩平, 楠田 育成, 高部 祐剛, 水野 忠雄, 亜硝酸型硝化－ ANAMMOX プロセスにおける亜酸化窒素の排出特性に関する基礎的研究, 土木学会論文集 *G*（環境）, 2014, Vol. 70, No. 7, pp. III_243-III_249.

[3] T. Fujimori, Y. Nishimoto, K. Shiota, M. Takaoka, Contrasting Effects of Sulfur Dioxide on Cupric Oxide and Chloride during Thermochemical Formation of Chlorinated Aromatics, *Environmental Science & Technology*, 2014, Vol. 48, No. 23, pp. 13644-13651.

[4] K. Oshita, T. Okumura, M. Takaoka, T. Fujimori, L. Appels, R. Dewil, Methane and nitrous oxide emissions following anaerobic digestion of sludge in Japanese sewage treatment facilities, *Bioresource Technology*, 2014, Vol. 171, pp. 175-181.

[5] N. Fukuda, M. Takaoka, K. Oshita, T. Mizuno, Stabilizing conditions of metal mercury in mercury sulfurization using a planetary ball mill, *Journal of Hazardous Materials*, 2014, Vol. 276, pp. 433-441.

[6] T. Fujimori, K. Nishimura, K. Oshita, N. Takeda, M. Takaoka, Influence of the Properties of Macromolecular Carbon on de Novo Synthesis of PCDDs, PCDFs, PCBs, and Chlorobenzenes, *Aerosol and Air Quality Research*, 2014, Vol. 14, No. 4, pp. 1131-1141.

[7] K. Oshita, K. Omori, M. Takaoka, T. Mizuno, Removal of siloxanes in sewage sludge by thermal treatment with gas stripping, *Energy Conversion and Management*, 2014, Vol. 81, pp. 290-297.

[8] N. Takeda, M. Takaoka, K. Oshita, S. Eguchi, PCDD/DF and co-planar PCB emissions from crematories in Japan, *Chemosphere*, 2014, Vol. 98, pp. 91-98.

[9] A. Funatsuki, M. Takaoka, K. Shiota, D. Kokubu, Y. Suzuki, Forensic Identification of Automobile Window Glass Manufacturers Based on Cerium Chemical States, *Chemistry Letters*, 2014, Vol. 43, No. 3, pp. 357-359.

[10] M. Takaoka, K. Oshita, T. Iwamoto, T. Mizuno, Effect of co-managing organic waste using municipal wastewater and solid waste treatment systems in megacities, *Water Science and Technology*, 2014, Vol. 69, No. 6, pp. 1159-1166.

[11] T. Fujimori, H. Takigami, Pollution distribution of heavy metals in surface soil at an informal electronic-waste recycling site, *Environmental Geochemistry and Health*, 2014, Vol. 36, No. 1, pp. 159-168.

[12] T. Fujimori, Y. Tanino, M. Takaoka, Coexistence of Cu, Fe, Pb, and Zn Oxides and Chlorides as a Determinant of Chlorinated Aromatics Generation in Municipal Solid Waste Incinerator Fly Ash, *Environmental Science & Technology*, 2014, Vol. 48, No. 1, pp. 85-92.

[13] 大下 和徹, 奥村 拓也, 高岡 昌輝, 嫌気性消化後の汚泥処理におけるメタン放散に関する研究 (下水道協会誌論文集), 下水道協会誌, 2014, Vol. 51, No. 619, pp. 111-119.

[14] J. JEONG, 高岡 昌輝, 藤森 崇, 塩田 憲司, 大下 和徹, Changes in the Chemical Form of Heavy Metals During Acid Extraction of Melting Fly Ash (第 26 回環境システム計測制御学会 (EICA) 研究発表会) – (汚泥処理・廃棄物), *EICA : Journal of EICA :* 環境システム計測制御学会誌, 2014, Vol. 19, No. 2, pp. 61-70.

[15] 村角 浩平, 萬 泰一, 西村 文武, 高部 祐剛, 楠田 育成, 水野 忠雄, 松田 知成, 硝化反応器における処理水質と菌叢に及ぼす SRT の影響, 土木学会論文集 *G*（環境）, 2014, Vol. 70, No. 7, pp. III_257-III_265.

[16] Y. Zhou, M. Takaoka, W. Wang, X. Liu, K. Oshita, Effect of thermal hydrolysis pre-treatment on anaerobic digestion of municipal biowaste: A pilot scale study in China, *Journal of Bioscience and Bioengineering*, 2013, Vol. 116, No. 1, pp. 101-105.

[17] N. Takeda, M. Takaoka, An assessment of dioxin contamination from the intermittent operation of a municipal waste incinerator in Japan and associated remediation, *Environmental Science and Pollution Research*, 2013, Vol. 20, No. 4, pp. 2070-2080.

[18] X. Li, M. Takaoka, F. Zhu, J. Wang, K. Oshita, T. Mizuno, Environmental and economic assessment of municipal sewage sludge management - a case study in Beijing, China, *Water Science and Technology*, 2013, Vol. 67, No. 7, pp. 1465-1473.

[19] T. Fujimori, Y. Tanino, M. Takaoka, Thermochemical Behavior of Lead Adjusting Formation of Chlorinated Aromatics in MSW Fly Ash, *Environmental Science & Technology*, 2013, Vol. 47, No. 5, pp. 2169-2176.

[20] 大下 和徹, 高岡 昌輝, 江口 正司, 火葬炉からの酸性ガス, 水銀および微小粒子の排出挙動 (第 2 報) (第 25 回環境システム計測制御学会 (EICA) 研究発表会), *EICA : Journal of EICA :* 環境システム計測制御学会誌, 2013, Vol. 18, No. 2, pp. 32-41.

[21] 大下 和徹, 高岡 昌輝, 江口 正司, 塩田 憲司, 火葬炉からの酸性ガス, 水銀および微小粒子の排出挙動 (第 2 報), *EICA*, 2013, Vol. 18, No. 2, pp. 31-41.

環境衛生学講座

[1] Yoshida M., Honda A., Watanabe C., Satoh M., Yasutake A., Neurobehavioral changes in response to alterations in gene expression profiles in the brains of mice exposed to low and high levels of mercury vapor during postnatal development., *J Toxicol Sci.*, 2014, Vol. 39, No. 4, pp. 561-570.

[2] Honda A., Matsuda Y., Murayama R., Tsuji K., Nishikawa M., Koike E., Yoshida S., Ichinose T., Takano H., Effects of Asian sand dust particles on the respiratory and immune system, *Journal of Applied Toxicology*, 2014, Vol. 34, pp. 250-257.

[3] Nakamura S., Shimazawa M., Inoue Y., Takata S., Ito Y., Tsuruma K., Ikeda T., Honda A., Satoh M., Hara H., Role of metallothioneins 1 and 2 in ocular neovascularization., *Invest Ophthalmol Vis Sci.*, 2014, Vol. 55, pp. 6851-6860.

[4] Honda A., Murayama R., Matsuda Y., Tsuji K., Sawahara T., Fukushima W., Hayashi T., Shimada A., Takano H., Effects of hydrogen peroxide on mucociliary transport in human airway epithelial cells, *Toxicology Mechanisms and Methods*, 2014, Vol. 24, pp. 191-195.

[5] Imai S., Tokumoto M., Fujiwara Y., Honda A., Hasegawa T., Seko Y., Lee J., Nagase H., Satoh M., Gene expression differences in the duodenum of 129/Sv and DBA/2 mice compared with that of C57BL/6J mice., *J Toxicol Sci*, 2014, Vol. 39, pp. 173-177.

[6] Fukushima W., Honda A., Murayama R., Matsuda Y., Tsuji K., Hayashi T., Sawahara T., Ozawa S., Okamoto Y., Takano H., Effects of cedar pollen extract on the immune system in vitro, *Allergologia Et Immunopathologia in Press*, 2014, pp. ?-?.

[7] E. Koike, R. Yanagisawa, H. Takano, Toxicological effects of polycyclic aromatic hydrocarbons and their derivatives on respiratory cells, *Atmospheric Environment*, 2014, Vol. 97, pp. 529-536.

[8] Y. Ren, T. Ichinose, M. He, K. Arashidani, Y. Yoshida, S. Yoshida, M. Nishikawa, H. Takano, G. Sun, T. Shibamoto, Aggravation of ovalbumin-induced murine asthma by co-exposure to desert-dust and organic chemicals: an animal model study, *Environmental Health*, 2014, Vol. 13, No. 1, p. 83.

[9] K. Sadakane, T. Ichinose, H. Takano, R. Yanagisawa, E. Koike, K. Inoue, The alkylphenols 4-nonylphenol, 4-tert-octylphenol and 4-tert-butylphenol aggravate atopic dermatitis-like skin lesions in NC/Nga mice, *Journal of Applied Toxicology*, 2014, Vol. 34, No. 8, pp. 893-902.

[10] R. Yanagisawa, E. Koike, T. Ichinose, H. Takano, Obese mice are resistant to eosinophilic airway inflammation induced by diesel exhaust particles, *Journal of Applied Toxicology*, 2014, Vol. 34, No. 6, pp. 688-694.

[11] K. Inoue, M. Tanaka, H. Takano, DEP-induced T(H)17 response in asthmatic subjects, *Journal of Allergy and Clinical Immunology*, 2014, Vol. 133, No. 5, pp. 1495-U459.

[12] K.H. Aung, T. Win-Shwe, M. Kanaya, H. Takano, S. Tsukahara, Involvement of hemeoxygenase-1 in di(2-ethylhexyl) phthalate (DEHP)-induced apoptosis of Neuro-2a cells, *Journal of Toxicological Sciences*, 2014, Vol. 39, No. 2, pp. 217-229.

[13] E. Koike, R. Yanagisawa, H. Takigami, H. Takano, Penta- and octa-bromodiphenyl ethers promote proinflammatory protein expression in human bronchial epithelial cells in vitro, *Toxicology in Vitro*, 2014, Vol. 28, No. 2, pp. 327-333.

[14] B. Liu, T. Ichinose, M. He, F. Kobayashi, T. Maki, S. Yoshida, Y. Yoshida, K. Arashidani, H. Takano, M. Nishikawa, G. Sun, T. Shibamoto, Lung inflammation by fungus, Bjerkandera adusta isolated from Asian sand dust (ASD) aerosol and enhancement of ovalbumin-induced lung eosinophilia by ASD and the fungus in mice, *Allergy Asthma and Clinical Immunology*, 2014, Vol. 10, No. 1, p. 10.

[15] K. Sadakane, T. Ichinose, H. Takano, R. Yanagisawa, E. Koike, Effects of oral administration of di-(2-ethylhexyl) and diisononyl phthalates on atopic dermatitis in NC/Nga mice, *Immunopharmacology and Immunotoxicology*, 2014, Vol. 36, No. 1, pp. 61-69.

[16] 本田 晶子, 上田 佳代, 高野 裕久, 環境汚染物質とアレルギー, 日本予防医学会雑誌, 2014, Vol. 9, No. 2, pp. 61-66.

[17] 田中 満崇, 井上 健一郎, 高野 裕久, 専門医のためのアレルギー学講座 . 環境因子とアレルギー (5) 粒子状物質とアレルギーに関する研究の進展, アレルギー, 2014, Vol. 63, No. 10, pp. 1289-1297.

[18] 本田 晶子, 小池 英子, 柳澤 利枝, 専門医のためのアレルギー学講座 . 環境因子とアレルギー (4) 環境化学物質とアレルギーに関する研究の進展, アレルギー, 2014, Vol. 63, No. 9, pp. 1205-1215.

[19] 五藤 大輔, 中島 映至, 上田 佳代, C. Ng, 村田 諒, SALSA p.T., C461 都市における大気汚染物質シミュレーションとその健康影響評価 (都市における気候変動適応研究の最先端, 専門分科会), 大会講演予講集, 2014, Vol. 105, p. 431.

[20] K. Sadakane, T. Ichinose, H. Takano, R. Yanagisawa, K. Inoue, H. Kawazato, A. Yasuda, K. Hayakawa, Organic Chemicals in Diesel Exhaust Particles Enhance Picryl Chloride-Induced Atopic Dermatitis in NC/Nga Mice, *International Archives of Allergy and Immunology*, 2013, Vol. 162, No. 1, pp. 7-15.

[21] K. Azuma, I. Uchiyama, H. Takano, M. Tanigawa, M. Azuma, I. Bamba, T. Yoshikawa, Changes in Cerebral Blood Flow during Olfactory Stimulation in Patients with Multiple Chemical Sensitivity: A Multi-Channel Near-Infrared Spectroscopic Study, *PLOS ONE*, 2013, Vol. 8, No. 11, p. e80567.

[22] M. Tanaka, H. Takano, Y. Fujitani, S. Hirano, T. Ichinose, A. Shimada, K. Inoue, Effects of exposure to nanoparticle-rich diesel exhaust on 8-OHdG synthesis in the mouse asthmatic lung, *Experimental and Therapeutic Medicine*, 2013, Vol. 6, No. 3, pp. 703-706.

[23] M. He, K. Inoue, S. Yoshida, M. Tanaka, H. Takano, G. Sun, T. Ichinose, Effects of airway exposure to di-(2-ethylhexyl) phthalate on allergic rhinitis, *Immunopharmacology and Immunotoxicology*, 2013, Vol. 35, No. 3, pp. 390-395.

[24] K. Inoue, H. Takano, Sepsis definitions, *Lancet*, 2013, Vol. 381, No. 9885, pp. 2249-2250.

[25] T. Tsuji, Y. Naito, T. Takagi, M. Kugai, H. Yoriki, R. Horie, A. Fukui, K. Mizushima, Y. Hirai, K. Katada, K. Kamada, K. Uchiyama, O. Handa, H. Konishi, N. Yagi, H. Ichikawa, R. Yanagisawa, J.S. Suzuki, H. Takano, M. Satoh, T. Yoshikawa, Role of metallothionein in murine experimental colitis, *International Journal of Molecular Medicine*, 2013, Vol. 31, No. 5, pp. 1037-1046.

[26] K. Inoue, H. Takano, Metallothionein as a Negative Regulator of Pulmonary Inflammation, *Current Pharmaceutical Biotechnology*, 2013, Vol. 14, No. 4, pp. 414-419.

[27] K. Inoue, H. Takano, Gabapentin for refractory chronic cough, *Lancet*, 2013, Vol. 381, No. 9867, pp. 623-623.

[28] M. Tanaka, K. Inoue, T. Momoi, H. Takano, In vivo immunoamplifying effects of di-(2-ethylhexyl) phthalate on cytokine response, *Immunopharmacology and Immunotoxicology*, 2013, Vol. 35, No. 1, pp. 147-150.

[29] A. Honda, R. Murayama, K. Tsuji, Y. Matsuda, E. Koike, Y. Okamoto, N. Shirasawa, H. Takano, Streamer discharge reduces pollen-induced inflammatory responses and injury in human airway epithelial cells, *Experimental Biology and Medicine*, 2013, Vol. 238, No. 2, pp. 187-192.

[30] M. Naota, S. Shiotsu, A. Shimada, Y. Kohara, T. Morita, K. Inoue, H. Takano, Pathological Study of Chronic Pulmonary Toxicity Induced by Intratracheally Instilled Asian Sand Dust (Kosa), *Toxicologic Pathology*, 2013, Vol. 41, No. 1, pp. 48-62.

[31] M. He, T. Ichinose, S. Yoshida, H. Takano, M. Nishikawa, G. Sun, Effects of Asian Sand Dust on Lung Allergeic Inflammation in Mice Immunized Beforehand by Ovalbumin, *International Journal of Toxicology*, 2013, Vol. 32, No. 1, pp. 77-78.

環境システム工学講座 都市衛生工学分野

[1] F. Nishimura, N. Kurita, Y. Takabe, T. Mizuno, T. Hidaka, S. Itoh, Behavior of trace organic contaminants in soil aquifer treatment (SAT) process for reuse of secondary sewage effluent, *Progress in Slow Sand and Alternative Biofiltration Processes: Further Developments and Applications*, 2014, pp. 553-562.

[2] 安川　太希, 浅田　安廣, 國本　啓太, 大河内　由美子, 伊藤　禎彦, Campylobacter jejuni 存在実態を踏まえた再生水飲用による障害調整生存年数の定量化, 土木学会論文集 *G*（環境）, 2014, Vol. 70, No. 7, pp. 285-294.

[3] Y. Takabe, I. Kameda, R. Suzuki, F. Nishimura, S. Itoh, Changes of microbial substrate metabolic patterns through a wastewater reuse process, including WWTP and SAT concerning depth, *Water Research*, 2014, Vol. 60, pp. 105-117.

[4] D. Quan, R. Okashita, Y. Yanagibashi, S. Echigo, Y. Ohkouchi, S. Itoh, H. Jinno, Exposure to haloacetic acids via typical components of the Japanese diet and their allocations of drinking water ingestion to total exposure, *Journal of Water Supply Research and Technology-Aqua*, 2013, Vol. 62, No. 4, pp. 224-233.

[5] Y. Ohkouchi, Bich T.L., S. Ishikawa, Y. Kawano, S. Itoh, Determination of an acceptable assimilable organic carbon (AOC) level for biological stability in water distribution systems with minimized chlorine residual, *Environmental Monitoring and Assessment*, 2013, Vol. 185, No. 2, pp. 1427-1436.

環境システム工学講座 水環境工学分野

[1] F. Nishimura, N. Kurita, Y. Takabe, T. Mizuno, T. Hidaka, S. Itoh, Behavior of trace organic contaminants in soil aquifer treatment (SAT) process for reuse of secondary sewage effluent, *Progress in Slow Sand and Alternative Biofiltration Processes: Further Developments and Applications*, 2014, pp. 553-562.

[2] 西村 文武, 村角 浩平, 楠田 育成, 高部 祐剛, 水野 忠雄, 亜硝酸型硝化－ ANAMMOX プロセスにおける亜酸化窒素の排出特性に関する基礎的研究, 土木学会論文集 *G*（環境）, 2014, Vol. 70, No. 7, pp. III_243-III_249.

[3] Y. Takabe, I. Kameda, R. Suzuki, F. Nishimura, S. Itoh, Changes of microbial substrate metabolic patterns through a wastewater reuse process, including WWTP and SAT concerning depth, *Water Research*, 2014, Vol. 60, pp. 105-117.

[4] P. Sui, F. Nishimura, H. Tsuno, Nitrogen behavior during sludge ozonation: a long-term observation by pilot experiments, *Water Science & Technology*, 2014, Vol. 70, No. 2, p. 289.

[5] Y. TAKABE, K. YAMASE, K. WATANABE, Y. KUSUDA, T. MIZUNO, F. NISHIMURA, Effects of Crush Process on Methane Conversion Efficiency in Thermophilic Anaerobic Digestion with Coffee Grounds, *Journal of Water and Environment Technology*, 2014, Vol. 12, No. 3, pp. 245-257.

[6] Michiko M., Fumitake N., SEASONAL VARIATION OF THE ALIEN PLANTS INVASION INTO RIVER ECOSYSTEM, *Int. J. of Geomate*, 2014, Vol. 8, No. 2, pp. 1263-1270.

[7] 西村 文武, 島田 高伸, 増田 理子, 渡邊 政広, 重信川流域における栄養塩流出特性に関する調査研究, 土木学会論文集 *B1*（水工学）, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. I_1225-I_1230.

[8] Michiko M., Rina S., Nao S., Fumitake N., IMPACT OF FLOOD DISTURBANCE EVALUATION ON THE STRUCTURES OF GROUND-BEETLE ASSEMBLAGE AT BIOTOPES, *Int. J. of Geomate*, 2013, Vol. 5, No. 1, pp. 627-632.

[9] 西村 文武, 門脇 一則, 三馬 大幸, 松村 千里, 竹峰 秀祐, 林 佳史, 津野 洋, パルス放電処理による有機フッ素化合物含有廃水の処理特性に関する基礎的研究, 土木学会論文集 *G*（環境）, 2013, Vol. 69, No. 7, pp. III_411-III_417.

[10] 高部 祐剛, 津野 洋, 西村 文武, 日高 平, 丸野 紘史, 谷井 信夫, 鶴川 正寛, 松村 千里, 二枚貝におけるPOPs 濃縮のモデル化, 土木学会論文集 *G*（環境）, 2013, Vol. 69, No. 3, pp. 137-156.

[11] J. Yokoe, H. Tsuchida, K. Nishimura, R. Murakoshi, S. Mori, M. Naitoh, T. Majima, A. Itoh, Charge-state distributions of fast diatomic carbon ions and dissociated fragments passing through microcapillaries, *Journal of Physics B-Atomic Molecular and Optical Physics*, 2013, Vol. 46, No. 11, p. 115201.

[12] 高部 祐剛, 津野 洋, 西村 文武, 丸野 紘史, 谷井 信夫, 八十島 誠, 鶴川 正寛, 松村 千里, 水中 OCPs 濃度の変化に対するシジミ中 OCPs 濃縮の応答に関する研究, 土木学会論文集 *G*（環境）, 2013, Vol. 69, No. 2, pp. 46-54.

環境システム工学講座 環境リスク工学分野

[1] M. Ikegami, M. Yoneda, T. Tsuji, O. Bannai, S. Morisawa, Effect of Particle Size on Risk Assessment of Direct Soil Ingestion and Metals Adhered to Children's Hands at Playgrounds, *Risk Analysis*, 2014, Vol. 34, No. 9, pp. 1677-1687.

[2] A. Fujinaga, M. Yoneda, M. Ikegami, Risk Assessment of the Intake of Foods and Soil With the Radionuclides and the Air Radiation Dose After the Fukushima Nuclear Disaster, *Journal of Engineering For Gas Turbines and Power-Transactions of The ASME*, 2014, Vol. 136, No. 8, p. 82901.

[3] 小山 陽介, 松井 康人, 塩賀 淳平, 被災地の一般廃棄物焼却施設における作業者の放射線被ばく量評価 (第 26 回環境システム計測制御学会 (EICA) 研究発表会) – (広領域), *EICA : Journal of EICA :* 環境システム計測制御学会誌, 2014, Vol. 19, No. 2, pp. 176-181.

[4] 小山 陽介, 松井 康人, 塩賀 淳平, 電子式線量計を用いた焼却施設における作業者の外部被曝評価法の検討, 環境放射能除染学会誌, 2014, Vol. 2, No. 1, pp. 39-43.

[5] 中村 謙吾, 米田 稔, 製鋼スラグからの成分溶出に対する粒径および pH の影響, 廃棄物資源循環学会論文誌, 2014, Vol. 25, No. 0, pp. 25-35.

[6] 横山 裕樹, 小山 陽介, 島田 洋子, 米田 稔, 松井 康人, ナノチタンを使用したスプレーに対するチャンバー内での吸入曝露評価手法の開発, 土木学会論文集 *G*（環境）, 2014, Vol. 70, No. 7, pp. III_373-III_380.

[7] 島田 洋子, 長江 卓也, 颯田 尚哉, 渡邊 篤, S. KANG, 米田 稔, 松井 康人, 森林土壌中 Cs および Sr の浸透モデルに関する検討, 土木学会論文集 *G*（環境）, 2014, Vol. 70, No. 7, pp. III_193-III_202.

[8] 池上 麻衣子, 高瀬 雄平, 米谷 達成, 米田 稔, 島田 洋子, 松井 康人, 福谷 哲, 土壌の熱処理による Cs, Sr の溶出特性の変化, 土木学会論文集 *G*（環境）, 2014, Vol. 70, No. 7, pp. III_203-III_208.

[9] 島田洋子, 芦田貴志, Seongjoo K., 米田　稔, 松井康人, 颯田　尚哉, 藤田　泰崇, 森林内 137Cs 動態モデルによる福島原発事故後の森林土壌汚染の将来予測と除染効果の確定 , 土木学会論文集 *G(*環境）, 2013, Vol. 69, No. 7, pp. _167-_173.

[10] 西岡　和久, 松井　康人, 木村　寛之, 佐治　英郎, 米田　稔, ナノ粒子表面修飾, 表面電位による肺胞上皮細胞への取り込み, 地球環境研究論文集, 2013, Vol. 69, No. 5, pp. I.67-I.72.

[11] Nguyen T.T., Minoru Y., Yasuto M., Does embankment improve quality of a river? A case study in To Lich river inner city Hanoi, with special reference to heavy metals, *Journal of Environmental Protection*, 2013,　p. Published Online.

[12] 島田 洋子, 森澤 眞輔, 2010 年までの放射性フォールアウト 90Sr による食品汚染と健康リスク評価, 保健物理, 2013, Vol. 48, No. 1, pp. 35-47.

[13] 藤長 愛一郎, 米田 稔, 池上 麻衣子, 食品と土壌の摂取による内部被曝および外部被爆による総合的な発がんリスク評価, *Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. G (Environmental Research)*, 2013, Vol. 69, No. 3, pp. 105-114.

[14] 西岡 和久, 松井 康人, 木村 寛之, 佐治 英郎, 米田 稔, ナノ粒子表面修飾, 表面電位による肺胞上皮細胞への取り込み, *Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. G (Environmental Research)*, 2013, Vol. 69, No. 5, pp. I_67-I_72.

[15] 西岡 和久, 松井 康人, 木村 寛之, ナノ粒子表面修飾、表面電位による肺胞上皮細胞への取り込み, 地球環境研究論文集 : 地球環境シンポジウム, 2013, Vol. 21, pp. 67-72.

[16] 島田 洋子, 森澤 眞輔, 2010 年までの放射性フォールアウト <90>Sr による食品汚染と健康リスク評価, 保健物理, 2013, Vol. 48, No. 1, pp. 35-47.

[17] 島田 洋子, 芦田 貴志, S. KANG, 米田 稔, 松井 康人, 颯田 尚哉, 藤田 泰崇, 森林内 137Cs 動態モデルによる福島原発事故後の森林土壌汚染の将来予測と除染効果の推定, 土木学会論文集 *G*（環境）, 2013, Vol. 69, No. 7, pp. III_167-III_173.

[18] 米田 稔, 佐藤 昌哉, 松井 康人, 島田 洋子, 放射性セシウム汚染市街地土壌に起因する空間線量の経年変化に関する検討, 土木学会論文集 *G*（環境）, 2013, Vol. 69, No. 3, pp. 126-136.

[19] 中村 謙吾, 米田 稔, リスク評価シナリオの違いを考慮した製鋼スラグ中フッ素基準値の検討, 土木学会論文集 *G*（環境）, 2013, Vol. 69, No. 2, pp. 55-66.

環境システム工学講座 大気・熱環境工学分野

[1] 郭 敏娜, 倉田 学児, 中国での家庭部門のエネルギー消費量と燃料使用に伴う室内 PM2.5 曝露量推計, *EICA*, 2014, Vol. 19, No. 2/3, pp. 166-175.

[2] 長谷川 知子, 大沢 遼平, 五味 馨, 松岡 譲, インドネシア温室効果ガス排出削減目標の達成可能性に関する検討：農業・土地利用変化部門, 土木学会論文集 *G(*環境*)(*地球環境研究論文集第 *22* 巻*)*, 2014, Vol. 70, No. 5, pp. I_189-I_199.

[3] S. Fujimori, T. Mosui, Y. Matsuoka, Development of a global computable general equilibrium model coupled with detailed energy end-use technology, *Applied Energy*, 2014, Vol. 128, pp. 296-306.

[4] 河瀬 玲奈, 松岡 譲, 2050 年における世界の鉄鋼部門からの CO2 排出量削減ポテンシャルの推計, 土木学会論文集 *G(*環境*)(*環境システム研究論文集第 *42* 巻*)*, 2014, Vol. 70, No. 6, pp. II_239-II_247.

[5] T.H. Nguyen, T. Hasegawa, Y. Matsuoka, Climate change mitigation strategies in agriculture, forestry and other land use sectors in Vietnam, *Mitigation and Adaptation Strategies for Global Change*, 2014, Vol. 19, No. 1, pp. 15-32.

[6] S. Sujeetha, L. Bundit, T. Masui, T. Hanaoka, Y. Matsuoka, Low carbon society scenario 2050 in Thai industrial sector, *Energy Conversion and Management*, 2014, Vol. 85, pp. 663-674.

[7] P. Kamphol, W. Pornphimol, L. Bundit, T. Masui, T. Hanaoka, Y. Matsuoka, CO2 mitigation potential and marginal abatement costs in Thai residential and building sectors, *Energy and Buildings*, 2014, Vol. 80, pp. 631-639.

[8] Puttipong C., Kamphol P., Pornphimol W., Bundit L., T. Masui, T. Hanaoka, Y. Matsuoka, Quantitative Analysis of CO2 Mitigation in Thai Low Carbon Power Sector towards 2050, *Energy Procedia*, 2014, Vol. 52, pp. 77-84.

[9] S. Sujeetha, Bundi L., T. Masui, T. Hanaoka, Y. Matsuoka, An explorative analysis of CO2 emissions in Thai Industry sector under Low Carbon Scenario towards 2050, *Energy Procedia*, 2014, Vol. 52, pp. 260-270.

[10] P. Lalitaporn, G. Kurata, Y. Matsuoka, N. Thongboonchoo, V. Surapipith, Long-term analysis of NO2, CO, and AOD seasonal variability using satellite observations over Asia and intercomparison with emission inventories and model, *Air Quality Atmosphere and Health*, 2013, Vol. 6, No. 4, pp. 655-672.

[11] R. Kawase, Y. Matsuoka, Reduction targets under three burden-sharing schemes for 50% global GHG reduction toward 2050, *Energy Policy*, 2013, Vol. 63, pp. 1126-1138.

[12] 五味 馨, 林 優里, 松岡 譲, 低炭素社会の実現に向けた様々な取組が温室効果ガス排出量削減に及ぼす定量的寄与量の推計, 土木学会論文集 *G(*環境*)(*環境システム研究論文集第 *41* 巻*)*, 2013, Vol. 69, No. 6, pp. II_1-II_12.

[13] 生津 路子, 藤森 真一郎, 松岡 譲, 応用一般均衡モデルを用いたアジア地域における温室効果ガス排出量削減策の分析, 土木学会論文集 *G(*環境*)(*環境システム研究論文集第 *41* 巻*)*, 2013, Vol. 69, No. 6, pp. II_359-II_371.

[14] J. Simson, C.S. Ho, Y. Matsuoka, K. Gomi, Planning Strategic Sustainable Development in Malaysia by Incorporating the Concept of Low Carbon Society, *Journal of Civil Engineering and Architecture*, 2013, Vol. 7, No. 9, pp. 1164-1176.

[15] M. Namazu, S. Fujimori, P.R. Shuka, Y. Matsuoka, Two Low-Carbon Development Pathways in India, *Global Environmental Research*, 2013, Vol. 17, No. 1, pp. 119-128.

[16] G. Kei, D. Aashish, K. Manmohan, Aligning Low-Carbon Society Scenario with City Development Goals in Bhopal, *Global Environmental Research*, 2013, Vol. 17, No. 1, pp. 129-138.

[17] M. Namazu, S. Fujimori, K. Jang, Y. Matsuoka, Feasibility of Low-Carbon Development in China, *Global Environmental Research*, 2013, Vol. 17, No. 1, pp. 109-118.

[18] S. Fujimori, T. Masui, Y. Matsuoka, Global Low-Carbon Society Scenario Analysis based on Two Representative Socioeconomic Scenario, *Global Environmental Research*, 2013, Vol. 17, No. 1, pp. 79-87.

[19] R. Kawase, Y. Matsuoka, Global GHG 50% Reduction and Its Feasibility in Asia, *Global Environmental Research*, 2013, Vol. 17, No. 1, pp. 11-18.

[20] Y. Matsuoka, M. Kainuma, S. Fujimori, E. Tomoki, How to Approach Asian Low-Carbon Societies?, *Global Environmental Research*, 2013, Vol. 17, No. 1, pp. 3-10.

[21] 河瀬 玲奈, 松岡 譲, 世界の財に含まれる鉄の蓄積量について, 土木学会論文集 *G(*環境*)(*地球環境研究論文集第 *21* 巻*)*, 2013, Vol. 69, No. 5, pp. I_19-I_26.

[22] 藤森 真一郎, 増井 利彦, 松岡 譲, エネルギー機器情報を用いた応用一般均衡モデルの開発と緩和策の分析, 土木学会論文集 *G(*環境*)(*地球環境研究論文集第 *21* 巻*)*, 2013, Vol. 69, No. 5, pp. I_227-I_238.

[23] 生津 路子, 藤森 真一郎, 松岡 譲, 世界温室効果ガス排出量半減に向けて－東南アジアにおける排出量削減策の分析－, 土木学会論文集 *G(*環境*)(*地球環境研究論文集第 *21* 巻*)*, 2013, Vol. 69, No. 5, pp. I_85-I_95.

[24] C.S. Ho, Y. Matsuoka, J. Simson, K. Gomi, Low carbon urban development strategy in Malaysia -

The case of Iskandar Malaysia development corridor, *Habitat International*, 2013, Vol. 37, pp. 43-51.

環境防災工学講座 水文循環工学分野

環境防災工学講座 洪水災害工学分野

環境防災工学講座 自然・社会環境防災分野

[1] 兵藤誠, 竹門康弘, 角哲也, 天竜川におけるアユ産卵床の河床地形特性と変動履歴の関係, 河川技術論文集, 2014, Vol. 20, pp. 67-72.

[2] 兵藤誠, 竹門康弘, 角哲也, 粟津陽介, 朝暉, 洪水時の地形の浸食堆積履歴が河川生息場の好適性に及ぼす影響, 土木学会論文集 *B1(*水工学*)*, 2014, Vol. 70, No. 4, pp. 1345-1350.

[3] 堤大三, 藤田正治, 竹門康弘, 角哲也, 泉山寛明, 木津川流域の土砂生産ポテンシャルの推定, 砂防学会誌, 2014, Vol. 66, pp. 13-22.

[4] G. Ock, Y. Takemon, Effect of reservoir-derived plankton released from dams on particulate organic matter composition in a tailwater river (Uji River, Japan): source partitioning using stable isotopes of carbon and nitrogen, *Ecohydrology*, 2013, pp. 1172-1186.

[5] G. Ock, Y. Takemon, T. Sumi, Sediment replenishment to downstream reaches below dams: implementation perspectives, *Hydrological Research Letters*, 2013, Vol. 7, No. 3, pp. 54-59.

[6] M. Hyodo, Y. Takemon, T. Sumi, Need for analyzing spatiotemporal patterns of river-corridor habitat structure in sediment management, *Advances in River Sediment Research*, 2013, Vol. 2014, pp. 1557-1567.

[7] 竹門康弘, 小林草平, 崔　美景, 寺田匡徳, 竹林洋史, 角哲也, 河川の横断測量データに基づく水面比高分布を用いた生息場評価法, 河川技術論文集, 2013, Vol. 19, pp. 519-524.

[8] 新井 涼允, 糠澤 桂, 風間 聡, 竹門康弘, 水温が源流域の水生昆虫に与える影響 , 水工学論文集, 2013, Vol. 57, No. 1, pp. 1279-1284.

[9] 小林草平, 竹門康弘, 角哲也, 冨阪和秀, 山崎友也, 米田格, 堤大三, ハイドロフォンによるダム流入土砂量把握の高度化に関する研究, 河川技術論文集, 2013, Vol. 19, pp. 147-152.

物質環境工学講座 環境質管理分野

[1] K. Shinmura, M. Goto, H. Tao, H. Kato, R. Suzuki, S. Nakamura, T. Matsuda, G. Yin, M. Morita, S. Kono, H. Sugimura, Impaired 8-Hydroxyguanine Repair Activity of MUTYH Variant p.Arg109Trp Found in a Japanese Patient with Early-Onset Colorectal Cancer, *Oxidative Medicine and Cellular Longevity*, 2014, Vol. 2014, pp. 617351-12.

[2] P. Kemacheevakul, S. Chuangchote, S. Otani, T. Matsuda, Y. Shimizu, Phosphorus recovery: minimization of amount of pharmaceuticals and improvement of purity in struvite recovered from hydrolysed urine, *Environmental Technology*, 2014, Vol. 35, No. 23, pp. 3011-3019.

[3] 近藤 崇, 清水 芳久, 坂井 伸光, マレーシア・セランゴール川流域における微生物汚染状況の検出と評価 (京都大学環境衛生工学研究会 第 36 回シンポジウム講演論文集), 環境衛生工学研究 : 京都大学環境衛生工学研究会機関誌, 2014, Vol. 28, No. 3, pp. 119-126.

[4] 村角 浩平, 萬 泰一, 西村 文武, 高部 祐剛, 楠田 育成, 水野 忠雄, 松田 知成, 硝化反応器における処理水質と菌叢に及ぼす SRT の影響, 土木学会論文集 *G*（環境）, 2014, Vol. 70, No. 7, pp. III_257-III_265.

[5] 矢澤 大志, 清水 芳久, マレーシア・ジョホール川流域における降雨強度の変化に伴う流出量の変動解析 (第 26 回環境システム計測制御学会 (EICA) 研究発表会) – (流域管理), *EICA : Journal of EICA :* 環境システム計測制御学会誌, 2014, Vol. 19, No. 2, pp. 92-100.

[6] 原田 英典, 小林 広英, 藤枝 絢子, 日下部 武敏, 清水 芳久, 災害対応型し尿分離トイレの開発, 環境技術, 2013, Vol. 42, No. 2, pp. 83-87.

[7] 福沢 正伸, 土井 知之, 和田 直也, 日下部 武敏, 清水 芳久, 高速移床式脱窒ろ過器における有機物注入制御とその効果, *EICA*, 2013, Vol. 18, No. 2, pp. 54-57.

物質環境工学講座 環境質予見分野

[1] S. Yoon, H. Tanaka, Optimum conditions for testing N-nitrosamine formation potential (FP) through ozonation in wastewater samples, *Journal of Industrial and Engineering Chemistry*, 2014, Vol. 20, No. 5, pp. 2914-2920.

[2] T. Azuma, N. Nakada, N. Yamashita, H. Tanaka, Optimisation of the analysis of anti-influenza drugs in wastewater and surface water, *International Journal of Environmental Analytical Chemistry*, 2014, Vol. 94, No. 9, pp. 853-862.

[3] G. Ito, T. Furukawa, H. Tanuma, J. Matsumoto, H. Shiromaru, T. Majima, M. Goto, T. Azuma, K. Hansen, Cooling Dynamics of Photoexcited C-6(-) and C6H-, *Physical Review Letters*, 2014, Vol. 112, No. 18, p. 183001.

[4] S. Yoon, H. Tanaka, Formation of N-nitrosamines by chloramination or ozonation of amines listed in Pollutant Release and Transfer Registers (PRTRs), *Chemosphere*, 2014, Vol. 95, pp. 88-95.

[5] S. Hanamoto, N. Nakada, N. Yamashita, H. Tanaka, Modeling the Photochemical Attenuation of Down-the-Drain Chemicals during River Transport by Stochastic Methods and Field Measurements of Pharmaceuticals and Personal Care Products, *Environmental Science & Technology*, 2013, Vol. 47, No. 23, pp. 13571-13577.

[6] S. Yoon, N. Nakada, H. Tanaka, Occurrence and fate of N-nitrosamines and their formation potential in three wastewater treatment plants in Japan, *Water Science and Technology*, 2013, Vol. 68, No. 10, pp. 2118-2126.

[7] T. Azuma, N. Nakada, N. Yamashita, H. Tanaka, Mass balance of anti-influenza drugs discharged into the Yodo River system, Japan, under an influenza outbreak, *Chemosphere*, 2013, Vol. 93, No. 9, pp. 1672-1677.

[8] M. Narumiya, N. Nakada, N. Yamashita, H. Tanaka, Phase distribution and removal of pharmaceuticals and personal care products during anaerobic sludge digestion, *Journal of Hazardous Materials*, 2013, Vol. 260, pp. 305-312.

[9] Y. Yang, N. Nakada, H. Tanaka, Adsorption of fullerene nC(60) on activated sludge: Kinetics, equilibrium and influencing factors, *Chemical Engineering Journal*, 2013, Vol. 225, pp. 365-371.

[10] Y. Yang, N. Nakada, R. Nakajima, M. Yasojima, C. Wang, H. Tanaka, pH, ionic strength and dissolved organic matter alter aggregation of fullerene C-60 nanoparticles suspensions in wastewater, *Journal of Hazardous Materials*, 2013, Vol. 244, pp. 582-587.

[11] 真野 浩行, 村山 康樹, 鈴木 穣, 中田 典秀, 南山 瑞彦, PRTR 情報等を活用した下水処理水中に含まれる化学物質の環境リスク初期評価, 下水道協会誌. 論文集, 2013, Vol. 50, No. 612, pp. 85-93.

物質環境工学講座 環境保全工学分野

[1] G. Suzuki, N.M. Tue, S. Takahashi, S. Tanabe, S. Sakai, H. Takigami, Effect-based Hazard Identification of House Dust by In Vitro Assays Detecting Dioxin-like Compounds, Thyroid and Reproductive Toxicants, *Current Organic Chemistry*, 2014, Vol. 18, No. 17, pp. 2231-2239.

[2] H. Kuramochi, H. Takigami, M. Scheringer, S. Sakai, Estimation of physicochemical properties of 52 non-PBDE brominated flame retardants and evaluation of their overall persistence and long-range transport potential, *Science of The Total Environment*, 2014, Vol. 491, pp. 108-117.

[3] J. Yano, Y. Hirai, S. Sakai, J. Tsubota, Greenhouse gas emissions from the treatment of household plastic containers and packaging: Replacement with biomass-based materials, *Waste Management & Research*, 2014, Vol. 32, No. 4, pp. 304-316.

[4] J. Yano, Y. Hirai, K. Okamoto, S. Sakai, Dynamic flow analysis of current and future end-of-life vehicles generation and lead content in automobile shredder residue, *Journal of Material Cycles and Waste Management*, 2014, Vol. 16, No. 1, pp. 52-61.

[5] T. Yamamoto, A. Kida, Y. Noma, A. Terazono, S. Sakai, Development of a testing method for asbestos fibers in treated materials of asbestos containing wastes by transmission electron microscopy, *Waste Management*, 2014, Vol. 34, No. 2, pp. 536-541.

[6] S. Sakai, H. Yoshida, J. Hiratsuka, C. Vandecasteele, R. Kohlmeyer, V.S. Rotter, F. Passarini, A. Santini, M. Peeler, J. Li, G. Oh, Ngo K.C., L. Bastian, S. Moore, N. Kajiwara, H. Takigami, T. Itai, S. Takahashi, S. Tanabe, K. Tomoda, T. Hirakawa, Y. Hirai, M. Asari, J. Yano, An international comparative study of end-of-life vehicle (ELV) recycling systems, *Journal of Material Cycles and Waste Management*, 2014, Vol. 16, No. 1, pp. 1-20.

[7] H. Kuramochi, H. Takigami, M. Scheringer, S. Sakai, Measurement of Vapor Pressures of Selected PBDEs, Hexabromobenzene, and 1,2-Bis(2,4,6-tribromophenoxy)ethane at Elevated Temperatures, *Journal of Chemical and Engineering Data*, 2014, Vol. 59, No. 1, pp. 8-15.

[8] Nguyen M.T., S. Takahashi, A. Subramanian, S. Sakai, S. Tanabe, Environmental contamination and human exposure to dioxin-related compounds in e-waste recycling sites of developing countries, *Environmental Science-Processes & Impacts*, 2013, Vol. 15, No. 7, pp. 1326-1331.

[9] G. Suzuki, H. Takigami, Y. Takeuchi, T. Yamamoto, T. Tanosaki, A. Kida, S. Sakai, M. Osako, Intra- and Inter-laboratory Comparison on Radiocesium in Radiation-contaminated Waste Samples: Results for Surface Soils, Fly Ash, Bottom Ash, and Molten Slag, *Bunseki Kagaku*, 2013, Vol. 62, No. 6, pp. 485-497.

[10] L. Bastian, J. Yano, Y. Hirai, S. Sakai, Behavior of PCDD/Fs during open burning of municipal solid waste in open dumping sites, *Journal of Material Cycles and Waste Management*, 2013, Vol. 15, No. 2, pp. 229-241.

[11] G. Suzuki, Nguyen M.T., G. Malarvannan, A. Sudaryanto, S. Takahashi, S. Tanabe, S. Sakai, A. Brouwer, N. Uramaru, S. Kitamura, H. Taldgami, Similarities in the Endocrine-Disrupting Potencies of Indoor Dust and Flame Retardants by Using Human Osteosarcoma (U2OS) Cell-Based Reporter Gene Assays, *Environmental Science & Technology*, 2013, Vol. 47, No. 6, pp. 2898-2908.

[12] L. Bastian, J. Yano, Y. Hirai, S. Sakai, Greenhouse gas emissions from biogenic waste treatment: options and uncertainty, *Journal of Material Cycles and Waste Management*, 2013, Vol. 15, No. 1, pp. 49-60.

[13] M. Osada, K. Takamiya, K. Manako, M. Noguchi, S. Sakai, Demonstration study of high temperature melting for asbestos-containing waste (ACW), *Journal of Material Cycles and Waste Management*, 2013, Vol. 15, No. 1, pp. 25-36.

[14] 鈴木 剛, 滝上 英孝, 渡部 真文, 酒井 伸一, 臭素系難燃剤に含まれる不純物としての 2,4,6-トリブロモフェノールの同定, 環境化学, 2013, Vol. 23, No. 3, pp. 123-127.

[15] 鈴木 剛, 滝上 英孝, 竹内 幸生, 山本 貴士, 田野崎 隆雄, 貴田 晶子, 酒井 伸一, 大迫 政浩, 廃棄物関連

試料の放射性セシウム分析に係る試験所間比較：土壌, 飛灰, 主灰及び溶融スラグを対象として, 分析化学, 2013, Vol. 62, No. 6, pp. 485-497.

[16] 田崎 智宏, 浅利 美鈴, 欧州における使用済み小形電池の回収・リサイクル制度の調査と国内制度への示唆:――デンマーク，スイスの制度を対象に――, 廃棄物資源循環学会論文誌, 2013, Vol. 24, No. 6, pp. 113-124.

物質環境工学講座 放射能環境動態工学分野

物質環境工学講座 放射性廃棄物管理分野

[1] 青木 洋志, 大下 和徹, 福谷 哲, 廃棄物焼却時のセシウムおよびストロンチウムの挙動に関する研究 (京都大学環境衛生工学研究会 第 36 回シンポジウム講演論文集), 環境衛生工学研究：京都大学環境衛生工学研究会機関誌, 2014, Vol. 28, No. 3, pp. 135-138.

[2] 大瀧 慈, 大谷 敬子, 今中 哲二, 東京電力福島第一原子力発電所近隣地域における空間放射線量率と直下土壌の放射能汚染度との関連について (特集 環境リスクと統計解析：データ基盤構築と解析), 統計数理, 2013, Vol. 61, No. 2, pp. 247-256.

[3] 藤長 愛一郎, 米田 稔, 池上 麻衣子, 食品と土壌の摂取による内部被曝および外部被爆による総合的な発がんリスク評価, *Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. G (Environmental Research)*, 2013, Vol. 69, No. 3, pp. 105-114.

[4] 池上 麻衣子, 福谷 哲, 小山 昭夫, 吸着材による海水中セシウムの吸着特性評価 (京都大学環境衛生工学研究会 第 35 回シンポジウム講演論文集) – (一般講演), 環境衛生工学研究：京都大学環境衛生工学研究会機関誌, 2013, Vol. 27, No. 3, pp. 180-183.

建築学専攻

環境材料学講座

[1] H. Ko, S. Matthys, A. Palmieri, Y. Sato, Development of a simplified bond stress-slip model for bonded FRP-concrete interfaces, *Construction and Building Materials*, 2014, Vol. 68, pp. 142-157.

[2] Sato Y., Naganuma K., Discrete-Like Crack Simulation of Reinforced Concrete Incorporated with Analytical Solution of Cyclic Bond Model, *Journal of Structural Engineering*, 2014, Vol. 140, No. 3, pp. 1-12.

[3] Y. Sato, T. Kanakubo, H. Shima, Double-Counting Problem of FEA with Simultaneous Use of Bond Link Elements and Tension-Stiffening Model, *Journal of Advanced Concrete Technology*, 2013, Vol. 11, No. 8, pp. 206-214.

[4] Sunhee H., Shinya K., 佐藤 裕一, 金子 佳生, Experimental study on drying shrinkage cracking characteristics of steel chip reinforced cementitious composite, コンクリート工学年次論文集, 2013, Vol. 35, No. 2, pp. 601-606.

[5] 森浩二, 松下和也, 佐藤 裕一, 金子 佳生, モルタルを用いた繊維補強セメント系複合材料およびスチールチップ補強セメント系複合材料の引抜き付着実験, コンクリート工学年次論文集, 2013, Vol. 35, No. 2, pp. 532-528.

[6] 佐藤 裕一, 長沼 一洋, 有限要素法による鉄筋コンクリートのひび割れ幅評価手法の改良, 計算工学講演会論文集, 2013, Vol. 18, p. 4p.

居住空間学講座

[1] 高井宏之, 新井信幸, 小杉学, 鈴木雅之, 田中友章, 前田昌弘, 山口健太郎, 東日本大震災の復興公営住宅の建築計画像に関する研究, 日本建築学会住宅系研究報告会論文集, 2014, No. 9, pp. 13-22.

[2] 森重幸子, 高田光雄, 前田昌弘, 大森聡子, 京都市都心部の幹線道路沿いの細街路と高層建築物の関係, 日本建築学会住宅系研究報告会論文集, 2014, No. 9, pp. 91-100.

[3] 金海梨, 高田光雄, 韓国現代文学作品に見るチェとマダンの関係に関する一考察 －小説『庭の深い家』に描かれた生活の様子を通じて－, 日本建築学会住宅系研究報告会論文集, 2014, No. 9, pp. 7-12.

[4] 趙賢株, 高田光雄, 既存住宅購入者の住情報入手行動と入手住情報及び利用情報源に対する評価 -大阪府の既存住宅購入者を対象にした調査結果を通じて, 日本建築学会計画系論文集, 2014, No. 700, pp. 1391-1399.

[5] 山脇博紀, 高田光雄, 医療型障害児入所施設における重度障がい児のポスチュアと施設空間要素に関する考察, 日本建築学会計画系論文集, 2014, No. 698, pp. 891-900.

[6] 山田雅之, 山口健太郎, 高田光雄, 高齢者向け住宅への入居経緯と入居前後における生活の変化に関する研究, 日本建築学会計画系論文集, 2014, No. 695, pp. 11-20.

[7] 土井脩史, 高田光雄, 近本智行, 生川慶一郎, 酒向真考, 部分断熱改修における断熱建具によるフレキシビリティの有効性, 日本建築学会住宅系研究報告会論文集, 2013, No. 8, pp. 69-76.

[8] 前田昌弘, 高田光雄, 仮設住宅居住者への住環境改善支援における主体間の信頼に関する研究－東日本大震災における暑さ・寒さ対策支援の実践を通じて－, 日本建築学会住宅系研究報告会論文集, 2013, No. 8, pp. 85-91.

[9] 前田昌弘, 高田光雄, 石田洋輝, 市街地型住宅団地再生におけるまちづくり会社の導入に関する研究－堀川団地を対象として－, 都市住宅学, 2013, No. 83, pp. 107-112.

[10] 趙賢株, 高田光雄, 住宅購入者の住宅需要特性と既存住宅流通の阻害要因に関する研究－大阪府の住宅購入者を対象とした調査結果を通じて－, 日本建築学会計画系論文集, 2013, No. 690, pp. 1817-1825.

[11] 土井脩史, 田嶋圭一, 矢谷百代, 生川慶一郎, 近本智行, 高田光雄, 既存賃貸集合住宅における部分断熱改修実験, 日本建築学会技術報告集, 2013, No. 42, pp. 677-682.

[12] 境野健太郎, 友清貴和, 高田光雄, 「らい予防法」下のハンセン病療養所における施設計画の変遷に関する研究, 日本建築学会計画系論文集, 2013, No. 683, pp. 45-53.

[13] 土井脩史, 高田光雄, 安枝英俊, 加茂みどり, 可変インフィルの設置・変更における固定インフィルの役割に関する研究 －実験集合住宅 NEXT21「インフィル・ラボ Glass Cube」における実験を通じて－, 日本建築学会計画系論文集, 2013, No. 683, pp. 11-18.

都市空間工学講座

[1] 吉田 悟郎, 上谷 芳昭, ベネシャンブラインドの分光透過指向特性の算出方法, 日本建築学会環境系論文集, 2014, Vol. 79, No. 705, pp. 937-945.

[2] Y. Shintani, T. Nagaoka, Y. Deguchi, K. Harada, Simple Method to Predict Downward Heat Flux from Flame to Floor, *Fire Science and Technology*, 2014, Vol. 33, No. 1, pp. 17-34.

[3] 八塚 秀樹, 上谷 芳昭, 主成分分析を用いた天空要素の分光放射輝度の推定法, 日本建築学会環境系論文集, 2014, Vol. 79, No. 697, pp. 227-232.

[4] 吉田 悟郎, 上谷 芳昭, 分光相互反射計算による昼光・人工光併用照明の演色性評価, 日本建築学会環境系論文集, 2013, Vol. 78, No. 691, pp. 697-702.

[5] 八塚 秀樹, 上谷 芳昭, 魚眼レンズ付デジタルカメラによる全天空分光放射輝度分布の測定法, 日本建築学会環境系論文集, 2013, Vol. 78, No. 690, pp. 623-629.

[6] S. Lee, K. Harada, A Simplified formula for Occurrence of Flashover and Corresponding Heat

Release Rate, *Procedia Engineering*, 2013, Vol. 62, pp. 292-300.

[7] Y. Akizuki, N. Hara, K. Harada, C. Lin, Scattering Intensity of Floor Illuminance and Surface Luminance of Smoldering Smoke Layer, *Procedia Engineering*, 2013, Vol. 62, pp. 554-563.

[8] Y. Kwon, D. Kim, S. Kang, B. Kim, B. Han, J. Lee, K. Harada, Fire resistance performance analysis of reinforced concrete members using Galerkin finite element method, *Procedia Engineering*, 2013, Vol. 62, pp. 725-735.

[9] J. Lee, K. Harada, S. Kang, Y. Kwon, M. Yamazaki, Entire and partial heating tests of high strength concrete small columns, *Procedia Engineering*, 2013, Vol. 62, pp. 804-812.

[10] J. Ji, K. Ido, K. Harada, Y. Ohmiya, M. Noaki, An Experimental Study on Fire Spread over Polyurethane Block Receiving Heat Feedback from Adjacent Walls, *Procedia Engineering*, 2013, Vol. 62, pp. 283-291.

[11] 新谷祐介, 長岡勉, 出口嘉一, 原田和典, 外部放射を受けるウレタンブロックの燃焼性状に関する研究, 日本建築学会環境系論文集, 2013, Vol. 78, No. 685, pp. 241-247.

環境構成学講座 音環境学分野

[1] 長洲 慶典, 中山 昇, 伊東 一典, 大谷 真, 江口 穫正, 低周波音響信号利用による微細穴検査技術:—検査に使用する周波数と検査分解能の関係—, 精密工学会誌, 2014, Vol. 80, No. 11, pp. 1023-1030.

[2] S. Sato, D. Takahashi, Distribution of image sources caused by periodic-type diffusers, *Acoustical Science and Technology*, 2014, Vol. 35, No. 1, pp. 66-69.

[3] 清水 貴史, 河井 康人, 高橋 大弐, 薄板隙間部からの透過音低減手法の数値解析, 日本音響学会誌, 2014, Vol. 70, No. 9, pp. 486-492.

[4] M. Toyoda, D. Takahashi, Reduction of rain noise from Ethylene/Tetra Fluoro Ethylene membrane structures, *Applied Acoustics*, 2013, Vol. 74, No. 12, pp. 1309-1314.

[5] T. Shimizu, M. Toyoda, D. Takahashi, K. Kawai, Numerical analysis of the influence of acoustic resonance in air cavities between windowpanes on sound transmission loss, *Applied Acoustics*, 2013, Vol. 74, No. 8, pp. 1010-1017.

環境構成学講座 地盤環境工学分野

[1] K. Fujita, M. Kasagi, Z. Lang, Guo P., I. Takewaki, Optimal placement and design of nonlinear dampers for building structures in the frequency domain, *Earthquakes and Structures*, 2014, Vol. 7, No. 6, pp. 1025-1044.

[2] K. Fujita, M. Kasagi, I. Takewaki, Optimal placement and design of nonlinear dampers for building structures in the frequency domain, *Earthquakes and Structures*, 2014, Vol. 7, No. 6, pp. 1025-1044.

[3] A. Ikeda, K. Fujita, I. Takewaki, Story-wise system identification of actual shear building using ambient vibration data and ARX model, *Earthquakes and Structures*, 2014, Vol. 7, No. 6, pp. 1093-1118.

[4] 辻 聖晃, 辻 千佳, 片岡 奈々美, 複数の免震層を有する多段免震構造の地震応答特性, 日本建築学会構造系論文集, 2014, Vol. 79, No. 705, pp. 1613-1623.

[5] A. Ikeda, Y. Minami, K. Fujita, I. Takewaki, Smart system identification of super high-rise buildings using limited vibration data during the 2011 Tohoku earthquake, *International Journal of High-Rise Buildings*, 2014, Vol. 3, No. 4, pp. 255-271.

[6] R. Enokida, I. Takewaki, D. Stoten, The nonlinear signal-based control method and its application to input identification for nonlinear SIMO problems, *Journal of Sound and Vibration*, 2014, Vol. 333, No. 24, pp. 6607-6622.

[7] K. Kojima, K. Fujita, I. Takewaki, Unified analysis of kinematic and inertial earthquake pile responses via the single-input response spectrum method, *Soil Dynamics and Earthquake Engineering*, 2014, Vol. 63, pp. 36-55.

[8] K. Kojima, S. Kamagata, I. Takewaki, A new interpretation of large amplitude earthquake acceleration from non-linear local soil-structure interaction, *Nuclear Engineering and Design*, 2014, Vol. 273, pp. 271-287.

[9] 村瀬 充, 藤田皓平, 辻 聖晃, 竹脇 出, 幅広いタイプの地震動にも頑強な免震と連結制振のハイブリッド構造, 構造工学論文集, 2014, Vol. 60, No. B, pp. 413-422.

[10] 坂口和大, 満田衛資, 辻 聖晃, 竹脇 出, 連結制振建物のダンパー量摂動展開による地震時応答特性, 構造工学論文集, 2014, Vol. 60, No. B, pp. 423-431.

[11] K. Fujita, A. Ikeda, I. Takewaki, Application of story-wise shear building identification method to actual ambient vibration, *Frontiers in Built Environment*, 2014, Vol. 1, No. 2, p. 1.

[12] 満田 衛資, 大渕 充紀, 辻 聖晃, 竹脇 出, 連結制振構法を用いた建物の固有振動および減衰に関する基本特性, 日本建築学会構造系論文集, 2014, Vol. 79, No. 696, pp. 227-236.

[13] K. Kojima, K. Fujita, I. Takewaki, Simplified analysis of the effect of soil liquefaction on the earthquake pile response, *Journal of Civil Engineering and Architecture*, 2014, Vol. 8, No. 3, pp. 289-301.

[14] K. Kojima, K. Fujita, I. Takewaki, Building earthquake resilience in sustainable cities in terms of input energy, *Sustainable Cities and Society*, 2014, Vol. 12, pp. 46-62.

[15] 吉富 信太, 辻 聖晃, 竹脇 出, 伝達特性の差の補償機能を有する自由度縮約モデルを用いた時刻歴応答評価法, 日本建築学会構造系論文集, 2014, Vol. 79, No. 702, pp. 1117-1126.

[16] K. Nakanishi, I. Takewaki, Optimum pile arrangement in piled raft foundation by using simplified settlement analysis and adaptive step-length algorithm, *Geomechanics and Engineering*, 2013, Vol. 5, No. 6, pp. 519-540.

[17] Y. Minami, S. Yoshitomi, I. Takewaki, System identification of super high-rise buildings using limited vibration data during the 2011 Tohoku (Japan) earthquake, *Structural Control & Health Monitoring*, 2013, Vol. 20, No. 11, pp. 1317-1338.

[18] M. Kurata, X. Li, K. Fujita, M. Yamaguchi, Piezoelectric dynamic strain monitoring for detecting local seismic damage in steel buildings, *Smart Materials and Structures*, 2013, Vol. 22, No. 11, p. 115002.

[19] F. Adachi, K. Fujita, M. Tsuji, I. Takewaki, Importance of interstory velocity on optimal along-height allocation of viscous oil dampers in super high-rise buildings, *Engineering Structures*, 2013, Vol. 56, pp. 489-500.

[20] S. Kamagata, I. Takewaki, New insights into seismic behavior of building and surrounding soil at Hamaoka nuclear power station during Suruga Bay earthquake in 2009, *Soil Dynamics and Earthquake Engineering*, 2013, Vol. 53, pp. 73-91.

[21] I. Takewaki, M. Kanamori, S. Yoshitomi, M. Tsuji, New experimental system for base-isolated structures with various dampers and limit aspect ratio, *Earthquakes and Structures*, 2013, Vol. 5, No. 4, pp. 461-475.

[22] Y. Murakami, K. Noshi, K. Fujita, M. Tsuji, I. Takewaki, Simultaneous optimal damper placement using oil, hysteretic and inertial mass dampers, *Earthquakes and Structures*, 2013, Vol. 5, No. 3, pp. 261-276.

[23] I. Takewaki, Discussion on "Optimum placement and characteristics of velocity dependent dampers under seismic excitation" by Seyed Amin Mousavi and Amir K. Ghorbani-Tanha, *Earthquake Engineering and Engineering Vibration*, 2013, Vol. 12, No. 3, pp. 501-501.

[24] Z.Q. Lang, P.F. Guo, I. Takewaki, Output frequency response function based design of additional nonlinear viscous dampers for vibration control of multi-degree-of-freedom systems, *Journal of Sound and Vibration*, 2013, Vol. 332, No. 19, pp. 4461-4481.

[25] I. Takewaki, Toward greater building earthquake resilience using concept of critical excitation: a review, *Sustainable Cities and Society*, 2013, Vol. 9, pp. 39-53.

[26] 南 良忠, 城野 みなみ, 藤田 皓平, 竹脇 出, 建物内部に未知の振動源を有する高層建物の曲げせん断型モデルと ARX モデルを用いた剛性同定法, 日本建築学会構造系論文集, 2013, Vol. 78, No. 690, pp. 1405-1412.

[27] M. Murase, M. Tsuji, I. Takewaki, Smart passive control of buildings with higher redundancy and robustness using base-isolation and interconnection, *Earthquakes and Structures*, 2013, Vol. 4, No. 6, pp. 649-670.

[28] M. Kuwabara, S. Yoshitomi, I. Takewaki, A new approach to system identification and damage detection of high-rise buildings, *Structural Control & Health Monitoring*, 2013, Vol. 20, No. 5, pp. 703-727.

[29] I. Takewaki, Towards Narrowing Unexpected Issues in Future Earthquakes: A Review, *Advances in Structural Engineering*, 2013, Vol. 16, No. 5, pp. 931-946.

[30] S. Kamagata, I. Takewaki, Occurrence mechanism of recent large earthquake ground motions at nuclear power plant sites in Japan under soil-structure interaction, *Earthquakes and Structures*, 2013, Vol. 4, No. 5, pp. 557-585.

[31] 慰斗 克哉, 吉富 信太, 辻 聖晃, 竹脇 出, 制振高層建物におけるオイルダンパーの地震動に対する最適リリーフ荷重・減衰係数決定法, 構造工学論文集. *B*, 2013, Vol. 59, pp. 299-307.

[32] I. Takewaki, K. Fujita, S. Yoshitomi, Uncertainties in long-period ground motion and its impact on building structural design: Case study of the 2011 Tohoku (Japan) earthquake, *Engineering Structures*, 2013, Vol. 49, pp. 119-134.

[33] S. Kamagata, I. Takewaki, Role of records during the 2011 off the Pacific coast of Tohoku earthquake in seismic resistant design of nuclear power station, *International Journal of Earthquake Engineering and Hazard Mitigation*, 2013, Vol. 1, No. 1, pp. 9-21.

[34] F. Adachi, S. Yoshitomi, M. Tsuji, I. Takewaki, Nonlinear optimal oil damper design in seismically controlled multi-story building frame, *Soil Dynamics and Earthquake Engineering*, 2013, Vol. 44, pp. 1-13.

[35] 李 小華, 倉田 真宏, 藤田 皓平, 無線 PVDF センシングを用いた鋼構造ラーメン骨組の局部損傷の検出, 鋼構造年次論文報告集, 2013, Vol. 21, pp. 259-264.

建築保全再生学講座

[1] 岡沢 理映, 焦 鍵, 木村 友香, 小林 素直, 多幾山 法子, 渡辺 千明, 林 康裕, 伝統的木造家屋の防災対策および維持管理:ー災害危険度の異なる 7 地域の比較ー, 日本建築学会技術報告集, 2014, Vol. 20, No. 46, pp. 1151-1156.

[2] 多幾山 法子, 南部 恭広, 渡辺 千明, 林 康裕, 斜め貫接合部を有する木造軸組架構の力学特性と耐震性評価, 日本建築学会構造系論文集, 2014, Vol. 79, No. 701, pp. 961-968.

[3] 杉野 未奈, 中西 統也, 守屋 友貴, 多幾山 法子, 林 康裕, パルス性地震動に対する 2 階建伝統木造軸組架構の地震時挙動の把握と簡略応答評価, 日本建築学会構造系論文集, 2014, Vol. 79, No. 700, pp. 801-809.

[4] 安本 宏, 岡沢 理映, 多幾山 法子, 大西 良広, 林 康裕, パルス性地震動に対する免震建物の擁壁衝突時

の最大応答評価, 日本建築学会構造系論文集, 2014, Vol. 79, No. 697, pp. 385-392.

[5] 木村 友香, 杉野 未奈, 林 康裕, パルス性地震動に対する木造建物の被害率曲線の提案, 地域安全学会論文集, 2013, Vol. 21, pp. 45-50.

[6] 南部 恭広, 横部 達也, 多幾山 法子, 渡辺 千明, 林 康裕, 和歌山県湯浅町における伝統木造家屋の耐震性評価, 日本建築学会技術報告集, 2013, Vol. 19, No. 43, pp. 909-912.

[7] 赤澤 隆士, 荒木 正之, 鷹野 澄, 澤田 純男, 林 康裕, 堀家 正則, 近畿地方における高精度リアルタイム連続強震観測網の構築, 日本地震工学会論文集, 2013, Vol. 13, No. 4, pp. 55-67.

[8] 中川 貴文, 佐藤 弘美, 多幾山 法子, 腰原 幹雄, 林 康裕, 2007 年能登半島地震における木造住宅の被害の再現, 日本建築学会構造系論文集, 2013, Vol. 78, No. 688, pp. 1113-1122.

[9] 浪江 和隆, 焦 鍵, 杉野 未奈, 多幾山 法子, 林 康裕, 応力波伝播法に基づく木材の完全非破壊型ヤング係数推定法の提案, 日本建築学会構造系論文集, 2013, Vol. 78, No. 686, pp. 833-838.

[10] 南 博之, 林 康裕, パルス波地動を受けるせん断弾性棒の応答特性評価, 日本建築学会構造系論文集, 2013, pp. 453-460.

[11] 南部 恭広, 焦 鍵, 多幾山 法子, 渡辺 千明, 林 康裕, 伝統木造住宅における構造的特徴の地域性, 日本建築学会構造工学論文集, 2013, pp. 585-592.

[12] 中川 敦嗣, 多幾山 法子, 林 康裕, 2 階建京町家を想定した実大平面架構の大変形静的加力実験, 日本建築学会構造系論文集, 2013, pp. 513-520.

[13] 岡本 佳久, 赤澤 隆士, 山田 真澄, 大西 良広, 林 康裕, 連続地震観測記録に基づく超高層建物の振動特性評価, 日本建築学会技術報告集, 2013, pp. 59-64.

[14] 南部 恭広, 多幾山 法子, 林 康裕, 歴史的煉瓦造建築物の耐震補強前後における煉瓦壁の面外方向振動特性変化, 日本建築学会技術報告集, 2013, pp. 165-168.

[15] 大西 良広, 小巻 潤平, 多幾山 法子, 林 康裕, 免震建物の擁壁衝突挙動分析のための設計事例調査, 日本建築学会技術報告集, 2013, Vol. 19, No. 41, pp. 43-46.

建築設計学講座

[1] 杉山 真魚, ウイリアム・モリスの書物論の構造 : アーツ・アンド・クラフツ運動における生命論の一源流として, 日本建築学会計画系論文集, 2014, Vol. 79, No. 699, pp. 1239-1247.

建築設計学講座 生活空間設計学分野

建築環境計画学講座

[1] 吉田 哲, 京都中心市街地商店街の個店における高齢の来街者向けベンチの設置意向, 都市計画論文集, 2014, Vol. 49, No. 3, pp. 795-800.

[2] 吉田 哲, 水野 聖也, 安 俊相, 京都市中心市街地における高齢者向け歩行休憩用のベンチ設置場所の選択, 日本建築学会計画系論文集, 2014, Vol. 79, No. 701, pp. 1583-1591.

[3] Joonsang A., Tetsu Yoshida, Use of Omnidirectional Images to Analyze Elderly People's Feelings of Insecurity about Snatch Occurrences on Roads, *Journal of Asian Architecture and Building Engineering*, 2013, Vol. 12, No. 2, pp. 301-308.

建築環境計画学講座 生活空間環境制御学分野

[1] N.H.A. Majid, N. Takagi, S. Hokoi, S.N.N. Ekasiwi, T. Uno, Field survey of air conditioner temperature settings in a hot, dry climate (Oman), *HVAC&R Research*, 2014, Vol. 20, No. 7, pp. 751-759.

[2] C. Lai, S. Hokoi, C.J. Ho, Thermal performance of an innovative curtain-wall-integrated solar heater, *Energy and Buildings*, 2014, Vol. 77, pp. 416-424.

[3] Y. Li, D. Ogura, S. Hokoi, J. Wang, T. Ishizaki, Predicting Hygrothermal Behavior of an Underground Stone Chamber with 3-D Modeling to Restrain Water-Related Damage to Mural Paintings, *Journal of Asian Architecture and Building Engineering*, 2014, Vol. 13, No. 2, pp. 499-506.

[4] C. Lai, S. Hokoi, Thermal performance of an aluminum honeycomb wallboardincorporating microencapsulated PCM, *Energy and Buildings*, 2014, Vol. 73, pp. 34-47.

[5] 羽原 宏美, 小椋 大輔, 安福 勝, 三浦 尚志, 関西地域を対象とした WEB アンケート調査に基づく住宅における通風・冷房行為の選択に対する諸要因の影響に関する分析, 日本建築学会環境系論文集, 2014, Vol. 79, No. 706, pp. 1071-1081.

[6] 松岡 大介, 鉾井 修一, 齋藤 宏昭, 槌本 敬大, 軒裏換気方式における冬期の小屋裏温湿度性状に関する実験的研究:温暖地における木造住宅の小屋裏温湿度形成に関する研究 その 1 , 日本建築学会環境系論文集, 2014, Vol. 79, No. 704, pp. 849-856.

[7] 安福 勝, 小椋 大輔, 鉾井 修一, 塩を含む ALC の平衡含水率の測定とモデリング, 日本建築学会環境系論文集, 2014, Vol. 79, No. 700, pp. 499-506.

[8] 佐々木 淑美, 吉田 直人, 小椋 大輔, ハギア・ソフィア大聖堂をはじめとした歴史的建築物の内壁の劣化と材料に関する調査, 保存科学, 2014, No. 54, pp. 215-226.

[9] Noor H.A.M., S. Hokoi, N. Takagi, Cultural and Climatic Analysis: Basis of formulating compatible living environments in Oman, *Asian Journal of Environment-Behaviour Studies*, 2013, Vol. 4, No. 13, pp. 63-79.

[10] S. Onmura, S. Hokoi, D. Ogura, Relationship between tile exfoliation and moisture content, *Frontiers of Architectural Research*, 2013, Vol. 2, No. 3, p. 301—309.

[11] S. Hokoi, D. Ogura, X. Fu, Y. Rao, Field survey on energy consumption due to hot water supply and cooking in Nanjing and Hefei, China, *Fron-*

tiers of Architectural Research, 2013, Vol. 2, No. 2, pp. 134-146.

[12] N.N. Ekasiwi, N.H.A. Majid, S. Hokoi, D. Oka, N. Takagi, T. Uno, Field Survey of Air Conditioner Temperature Settings in Hot, Humid Climates, Part 1: Questionnaire Results on Use of Air Conditioners in Houses During Sleep, *Journal of Asian Architecture and Building Engineering*, 2013, Vol. 12, No. 1, pp. 141-148.

[13] T. Mochidome, S. Hokoi, D. Ogura, M. Takamura, J. Suzuki, Improvement of thermal environment and reduction of energy consumption for cooling and heating by retrofitting windows, *Frontiers of Architectural Research*, 2013, Vol. 2, No. 1, pp. 1-10.

[14] 梅野 徹也, 鉾井 修一, 齋藤 宏昭, 本間 義規, 壁体内通気層における防露性能の実態に関する研究:実験住宅における通気量の実態把握, 日本建築学会環境系論文集, 2013, Vol. 78, No. 694, pp. 909-916.

[15] 吉田 有里, 鉾井 修一, 小椋 大輔, スコータイ遺跡におけるレンガ造大仏の劣化に関する研究, 日本建築学会環境系論文集, 2013, Vol. 78, No. 689, pp. 561-567.

[16] 佐々木 淑美, 小椋 大輔, 吉田 直人, アヤ・イリニ聖堂の保存環境に関する調査報告, 保存科学, 2013, No. 53, pp. 177-194.

建築構造学講座 建築力学分野

[1] B. Gencturk, Y. Araki, T. Kusama, T. Omori, R. Kainuma, F. Medina, Loading rate and temperature dependency of superelastic Cu-Al-Mn alloys, *Construction and Building Materials*, 2014, Vol. 53, pp. 555-560.

[2] Y. Araki, T. Asai, K. Kimura, K. Maezawa, T. Masui, Nonlinear vibration isolator with adjustable restoring force, *Journal of Sound and Vibration*, 2013, Vol. 332, No. 23, pp. 6063-6077.

[3] K.C. Shrestha, S. Pareek, Y. Suzuki, Y. Araki, Pinning retrofit technique in masonry with application of polymer-cement pastes as bonding agents, *Earthquakes and Structures*, 2013, Vol. 5, No. 4, pp. 477-497.

[4] T. Omori, T. Kusama, S. Kawata, I. Ohnuma, Y. Sutou, Y. Araki, K. Ishida, R. Kainuma, Abnormal Grain Growth Induced by Cyclic Heat Treatment, *Science*, 2013, Vol. 341, No. 6153, pp. 1500-1502.

[5] W. Chang, S. Murakami, K. Komatsu, Y. Araki, K. Shrestha, T. Omori, R. Kainuma, TECHNICAL NOTE: POTENTIAL TO USE SHAPE MEMORY ALLOY IN TIMBER DOWEL-TYPE CONNECTIONS, *Wood and Fiber Science*, 2013, Vol. 45, No. 3, pp. 330-334.

[6] K.C. Shrestha, Y. Araki, T. Nagae, T. Omori, Y. Sutou, R. Kainuma, K. Ishida, Effectiveness of superelastic bars for seismic rehabilitation of clay-unit masonry walls, *Earthquake Engineering & Structural Dynamics*, 2013, Vol. 42, No. 5, pp. 725-741.

[7] 荒木 慶一, 金 紋廷, 西本 篤史, 長周期地震動を受ける座屈拘束ブレース付超高層鋼構造骨組における下層部変形集中現象, 日本建築学会構造系論文集, 2013, Vol. 78, No. 686, pp. 743-752.

[8] 鈴木 裕介, 藤倉 裕介, 木村 健一, 李 有震, パリーク サンジェイ, 荒木 慶一, 放射性セシウム汚染土体積線源を用いた円筒コンクリート容器の γ 線遮蔽性能評価, コンクリート工学論文集, 2013, Vol. 24, No. 2, pp. 43-52.

建築生産工学講座 建築社会システム工学分野

[1] Y. Higashikawa, M.J. Golin, N. Katoh, Minimax Regret Sink Location Problem in Dynamic Tree Networks with Uniform Capacity, *Algorithms and Computation, WALCOM 2014*, 2014, Vol. 8344, pp. 125-137.

[2] 和田 祐考, 古阪 秀三, 建築プロジェクトにおける発注者支援のための業務委託書項目に関する研究, 日本建築学会計画系論文集, 2014, Vol. 79, No. 703, pp. 2003-2011.

[3] Y. Higashikawa, N. Katoh, S. Langerman, S. Tanigawa, Online graph exploration algorithms for cycles and trees by multiple searchers, *Journal of Combinatorial Optimization*, 2014, Vol. 28, No. 2, pp. 480-495.

[4] 川島智生, 古阪 秀三, 杉村佳愛, 明治大正昭和戦前期における京都府・京都市の営繕組織の設計体制について, 第 *30* 回建築生産シンポジウム（東京）論文集, 2014, pp. 15-22.

[5] 平野 吉信, 浦江真人, 古阪 秀三, 西野佐弥香, 西野加奈子, 多様化した建築方式における設計責任の位置づけに関する一考察, *30* 回建築生産シンポジウム（東京）論文集, 2014, pp. 171-178.

[6] 西野 佐弥香, 伊丹絵美子, 古阪 秀三, 米国の建築設計職能の変遷 －ある設計事務所の成長過程から見た考察－, 第 *30* 回建築生産シンポジウム（東京）論文集, 2014, pp. 179-184.

[7] 趙宰庸, 古阪 秀三, シンガポールの建築プロジェクトにおける Nominated Subcontractor の指定実態に関する研究, 第 *30* 回建築生産シンポジウム（東京）論文集, 2014, pp. 69-76.

[8] 片田匡貴, 藤井寛明, 古阪 秀三, 建築生産プロセスにおける躯体図の役割 －シンガポールでの建築プロジェクトを対象に－, 第 *30* 回建築生産シンポジウム（東京）論文集, 2014, pp. 77-84.

[9] 古阪 秀三, 安藤正雄, 平野 吉信, 浦江真人, 西野佐弥香, 鵜川敦史, 建築プロジェクトの発注・契約方式によって建築主責任はいかに変化するか －建築主責任の構造化－, 第 *30* 回建築生産シンポジウム（東京）論文集, 2014, pp. 157-164.

[10] 趙宰庸, 古阪 秀三, 海外建築プロジェクトにおける指定下請制度に関する比較研究 シンガポールの標準契約約款を中心に, 日本建築学会計画系論文集, 2014, Vol. 79, No. 701, pp. 1623-1630.

[11] 杉村佳愛, 古阪 秀三, 明治後期における民間建築工事の設計と施工の体制, 第 *30* 回建築生産シンポジウム（東京）論文集, 2014, pp. 23-30.

[12] 齋藤隆司, 古阪 秀三, 平野 吉信, 郵政建築における発注者としての役割に関する研究, 第 *30* 回建築生産シンポジウム（東京）論文集, 2014, pp. 141-148.

[13] 金 貞坤, 古阪 秀三, 鉄骨工事における設計変更対応業務の実態, 日本建築学会計画系論文集, 2014, Vol. 79, No. 699, pp. 1179-1187.

[14] J. Kim, N. Chi, S. Furusaka, Investigation of Production Progress Monitoring to Respond to Change Orders in Steel Fabrication Projects, *Journal of Asian Architecture and Building Engineering*, 2014, Vol. 13, No. 2, pp. 349-356.

[15] 吾川 正明, 古阪 秀三, 中堅建設業の現場における品質確保のための意思伝達方法とその変容, 日本建築学会技術報告集, 2014, Vol. 20, No. 44, pp. 333-338.

[16] 韓 甜, 古阪 秀三, 李ヨウ, 中国の建設事故からみる品質確保のしくみの変遷と実態, 日本建築学会計画系論文集, 2014, Vol. 79, No. 695, pp. 173-182.

[17] 和田 祐考, 古阪 秀三, 建築プロジェクトにおけるマネジメント業務に対する発注者ニーズに関する研究:－発注者特性の違いに着目して－, 日本建築学会計画系論文集, 2014, Vol. 79, No. 699, pp. 1189-1196.

[18] 趙 宰庸, 古阪 秀三, 海外建築プロジェクトにおける指定下請制度に関する比較研究：シンガポールの標準契約約款を中心に, 日本建築学会計画系論文集, 2014, Vol. 79, No. 701, pp. 1623-1630.

[19] 和田 祐考, 古阪 秀三, 建築プロジェクトにおけるマネジメント業務に対する発注者ニーズに関する研究 －プロジェクト特性の違いに着目して－, 日本建築学会計画系論文集, 2013, Vol. 78, No. 693, pp. 2347-2354.

[20] P. Eades, S. Hong, N. Katoh, G. Liotta, P. Schweitzer, Y. Suzuki, A linear time algorithm for testing maximal 1-planarity of graphs with a rotation system, *Theoretical Computer Science*, 2013, Vol. 513, pp. 65-76.

[21] 趙 宰庸, 古阪 秀三, 吾川 正明, 建設プロジェクトにおける指定下請制度に関する国際比較研究, 日本建築学会 第 *29* 回建築生産シンポジウム（東京）論文集, 2013, pp. 149-156.

[22] 古阪 秀三, 藤井 寛明, 片田 匡貴, 西野 佐弥香, 国際建設市場における建築プロジェクト組織の編成方法に関する国際比較－シンガポール，U.A.E. の市場を対象として－, 日本建築学会 第 *29* 回建築生産シンポジウム（東京）論文集, 2013, pp. 141-148.

[23] 平野 吉信, 浦江 真人, 古阪 秀三, 西野 佐弥香, 設計施工分離方式と Design&Build 方式の中間的建築生産方式の展開に関する研究 ～シンガポールにおける事例を中心に～, 日本建築学会 第 *29* 回建築生産シンポジウム（東京）論文集, 2013, pp. 133-140.

[24] 鵜川 敦史, 片田 匡貴, 西野 佐弥香, 齋藤 隆司, 浦江 真人, 平野 吉信, 古阪 秀三, 建設プロジェクトにおける発注・契約方式の 30 年間の変遷－日中韓英米星の比較－, 日本建築学会 第 *29* 回建築生産シンポジウム（東京）論文集, 2013, pp. 157-164.

[25] 池田 諭, 平野 吉信, 古阪 秀三, 浦江 真人, 建築プロジェクトにおける施工者の役割・責任の時代的変化に関する一考察, 日本建築学会 第 *29* 回建築生産シンポジウム（東京）論文集, 2013, pp. 119-126.

[26] 吾川 正明, 古阪 秀三, 中堅ゼネコンの現場における品質確保のための意思伝達方法とその変容, 日本建築学会 第 *29* 回建築生産シンポジウム（東京）論文集, 2013, pp. 111-118.

[27] 斎藤 隆司, 古阪 秀三, 平野 吉信, 郵政建築のプロジェクトマネジメントの変遷に関する研究, 日本建築学会 第 *29* 回建築生産シンポジウム（東京）論文集, 2013, pp. 103-110.

[28] 川島 智生, 古阪 秀三, 杉村 佳愛, 近代日本における設計と施工の体制について－外国人建築家の手法－, 日本建築学会 第 *29* 回建築生産シンポジウム（東京）論文集, 2013, pp. 9-14.

[29] 伊丹絵美子, 西野 佐弥香, 古阪 秀三, 住宅のリフォーム工事の進め方と社会環境の日米比較, 日本建築学会 第 *29* 回建築生産シンポジウム（東京）論文集, 2013, pp. 193-198.

[30] Andras F., Satoru F., Naoyuki K., Naoki K., Independent Arborescences in Directed Graphs, *Discrete Mathematics*, 2013, Vol. 313, No. 4, pp. 453-459.

[31] 滝澤重志, 加藤直樹, 線形混合モデルによる東京都内の賃貸事務所ビルに入居するテナントの 消費エネルギー原単位の分析, 日本建築学会環境系論文集, 2013, Vol. 78, No. 686, pp. 375-384.

[32] Y. Higashikawa, N. Katoh, Online Vertex Exploration Problems in a Simple Polygon, *IEICE Transactions on Information and Systems*, 2013, Vol. E96D, No. 3, pp. 489-497.

[33] Shin-ichi T., Naoki K., Rooted-tree Decompositions with Matroid Constraints and the Infinitesimal Rigidity of Frameworks with Boundaries, *SIAM Journal on Discrete Mathematics*, 2013, Vol. 27, No. 1, pp. 155-185.

[34] Yuya H., Naoki K., Online Vertex Exploration Problems in a Simple Polygon, *IEICE Transactions on Fundamentals of Electronics Communications and Computer Sciences*, 2013, Vol. 96-D, No. 3, pp. 489-497.

[35] A. Frank, S. Fujishige, N. Kamiyama, N. Katoh, Independent arborescences in directed graphs, *Discrete Mathematics*, 2013, Vol. 313, No. 4, pp. 453-459.

[36] Seok-Hee H., Peter E., Naoki K., Giuseppe L., Pascal S., Yusuke S., A Linear Time Algorithm for Testing Maximal 1-planarity of Graphs with a Rotation System, *Theoretical Computer Science*, 2013, Vol. 513, pp. 65-76.

[37] N. Katoh, S. Tanigawa, ROOTED-TREE DECOMPOSITIONS WITH MATROID CONSTRAINTS AND THE INFINITESIMAL RIGIDITY OF FRAMEWORKS WITH BOUNDARIES, *SIAM Journal on Discrete Mathematics*, 2013, Vol. 27, No. 1, pp. 155-185.

[38] 和田 祐考, 古阪 秀三, 建築プロジェクトにおけるマネジメント業務に対する発注者ニーズに関する研

究:－プロジェクト特性の違いに着目して－, 日本建築学会計画系論文集, 2013, Vol. 78, No. 693, pp. 2347-2354.

建築生産工学講座 空間構造開発工学分野

[1] 木下 智裕, 金城 陽介, 聲高 裕治, 吹田 啓一郎, 宮川 和明, 座屈拘束材端部の局所変形を考慮したピン接合形式二重鋼管ブレースの全体座屈防止条件:－片側摺動形式の場合－, 日本建築学会構造系論文集, 2014, Vol. 79, No. 706, pp. 1973-1982.

[2] 魚住 奈緒美, 田中 剛, 吹田 啓一郎, 朝倉 直毅, 高塚 康平, 梁端溶接接合部の歪振幅と変形能力, 鋼構造年次論文報告集, 2014, Vol. 22, pp. 765-772.

[3] Y. Araki, N. Maekawa, K.C. Shrestha, M. Yamakawa, Y. Koetaka, T. Omori, R. Kainuma, Feasibility of tension braces using Cu-Al-Mn superelastic alloy bars, *Structural Control and Health Monitoring*, 2014, Vol. 21, No. 10, pp. 1304-1315.

[4] 平野 倫子, 聲高 裕治, 吹田 啓一郎, 1層弾性骨組における水平構面の面内応答予測法, 日本建築学会構造系論文集, 2014, Vol. 79, No. 702, pp. 1127-1135.

[5] 高塚康平, 吹田啓一郎, 田中剛, 海溝型長周期地震動の応答による柱梁接合部の接合詳細や梁断面寸法の違いを考慮した損傷度評価, , 構造工学論文集, 2014, No. Vol.60B, pp. pp.249-256.

[6] 高塚 康平, 吹田 啓一郎, 田中 剛, 梅田 敏弘, 梁断面寸法と接合詳細が変形能力に及ぼす影響:－塑性歪履歴を受ける鋼構造柱梁溶接接合部の変形能力 その 4 －, 日本建築学会構造系論文集, 2014, Vol. 79, No. 696, pp. 315-321.

[7] 聲高 裕治, 荒木 慶一, 大森 俊洋, 貝沼 亮介, Cu-Al-Mn 超弾性合金を用いた残留変形抑制型ターンバックル筋かいの開発, 日本建築学会構造系論文集, 2014, Vol. 79, No. 695, pp. 163-172.

[8] 聲高 裕治, 矢野 康, 松本 圭太, 制振床を適用した1層鋼構造骨組の弾性地震応答, 日本建築学会構造系論文集, 2014, Vol. 79, No. 703, pp. 1259-1269.

[9] 吹田 啓一郎, 平郡 竜志, 高 宏周, 聲高 裕治, 狗飼 正敏, 佐々木 哲也, ロッキング方式 PCa カーテンウォールの構面方向変位追従限界と限界後の挙動, 日本建築学会構造系論文集, 2013, Vol. 78, No. 693, pp. 1841-1850.

[10] 山本 源人, 吹田 啓一郎, 高強度鋼溶接組立 H 形鋼の隅肉溶接で決まる耐力評価, 鋼構造年次論文報告集, 2013, Vol. 21, pp. 524-531.

[11] 伊賀 はるな, 聲高 裕治, 伊山 潤, 長谷川 隆, 合成梁のねじり剛性に及ぼす頭付きスタッドの拘束効果確認実験, 鋼構造年次論文報告集, 2013, Vol. 21, pp. 414-421.

[12] 若月雄大, 吹田啓一郎, 聲高裕治, 魚骨形骨組を用いた地震応答解析による倒壊時の下層部変形集中現象, 日本建築学会技術報告集, 2013, Vol. 19, No. 43, pp. 945-950.

[13] 松岡祐一, 吹田 啓一郎, 中島 正愛, 非構造部材が鉄骨造建物の全体挙動に及ぼす影響 外装材と間仕切り壁の力学特性を表す履歴モデルの提案, 構造工学論文集, 2013, Vol. 59, pp. 191-199.

[14] K.C. Shrestha, Y. Araki, T. Nagae, Y. Koetaka, Y. Suzuki, T. Omori, Y. Sutou, R. Kainuma, K. Ishida, Feasibility of Cu-Al-Mn superelastic alloy bars as reinforcement elements in concrete beams, *Smart Materials and Structures*, 2013, Vol. 22, No. 2, p. 025025.

[15] 椎葉 弘明, 聲高 裕治, 佐藤 由悟, 厚肉箱形断面部材を用いたノンダイアフラム形式柱梁接合部の弾塑性挙動, 鋼構造論文集, 2013, Vol. 20, No. 80, pp. 57-72.

[16] 聲高 裕治, 長谷川 隆, 柱に STKR 材を用いた既存不適格鋼構造骨組の補強設計法（根巻き補強）, 鋼構造論文集, 2013, Vol. 20, No. 80, pp. 33-45.

[17] 聲高 裕治, 長谷川 隆, 柱に STKR 材を用いた既存不適格鋼構造骨組の補強設計法（鋼板と PC 鋼棒による補強）, 鋼構造論文集, 2013, Vol. 20, No. 79, pp. 123-133.

人間生活環境学講座

[1] 持永 愛美, 石田 泰一郎, 縮尺模型実験による夜間街路の光環境に対する明るさ感と活動性印象の評価指標の検討, 日本建築学会環境系論文集, 2014, Vol. 79, No. 706, pp. 1017-1027.

[2] 神吉 紀世子, Siwaporn K., URBAN SPRAWL CLASSIFICATION AND COMPOSITION ANALYSIS OF LAND USE INCLUDING GATED HOUSING DEVELOPMENT IN BANGKOK METROPOLITAN REGION, THAILAND -Background Study of Gated Housing Development in Sprawl Area-, 日本建築学会計画系論文集, 2013, Vol. 78, No. 694, pp. 2537-2546.

[3] 神吉 紀世子, 本塚 智貴, 全域的に地震の被害を受けた都市における自主設置型仮設災害対応拠点群の運営に関する研究－ 2009 年西スマトラ地震被災地 Padang 市の POSKO を事例として－, 日本都市計画学会都市計画論文集, 2013, Vol. 48, pp. 685-690.

[4] 神吉 紀世子, 田中 由乃, 社会主義時代に開発された住宅地のプラハ市行政による再生施策の特色－プラハ市行政とプラハ 11、13 区行政の関係性の考察を通じて－, 日本都市計画学会都市計画論文集, 2013, Vol. 48, pp. 151-156.

[5] 神吉 紀世子, Siwaporn K., Neighborhood assessment between inside and outside Gated Housing Projects in Sprawl Area of Bangkok Metropolitan Region - The Case of Pathumthani Province where the different Gated Housing Projects and Former villages are located adjacently-, 日本都市計画学会都市計画論文集, 2013, Vol. 48, pp. 121-126.

[6] 穂苅耕介, 神吉紀世子, 旧市街地における地域建設業者のまちづくり参加の効果と課題, 日本建築学会計画系論文集, 日本建築学会計画系論文集, 2013, No. No.684, pp. 403-410.

[7] 穂苅 耕介, 神吉 紀世子, 旧市街地における地域建設業者のまちづくり参加の効果と課題, 日本建築学

会計画系論文集, 日本建築学会計画系論文集, 2013, No. No.684, pp. 403-410.

[8] 神吉 紀世子, 穂苅　耕介, 旧市街地における地域建設業者のまちづくり参加の効果と課題, 日本建築学会計画系論文集, 2013, Vol. 78, No. 684, pp. 403-412.

[9] 穂苅 耕介, 神吉 紀世子, 旧市街地における地域建設業者のまちづくり参加の効果と課題, 日本建築学会計画系論文集, 2013, Vol. 78, No. 684, pp. 403-412.

[10] 本塚 智貴, 神吉 紀世子, 全域的に地震の被害を受けた都市における自主設置型仮設災害対応拠点群の運営に関する研究：2009 年西スマトラ地震被災地 Padang 市の POSKO を事例として, 都市計画論文集, 2013, No. 48, pp. 843-848.

[11] 穂苅 耕介, 神吉 紀世子, 旧市街地における地域建設業者のまちづくり参加の効果と課題：千葉県市川市行徳地区を事例として, 日本建築学会計画系論文集, 2013, Vol. 78, No. 684, pp. 403-412.

[12] S. KLINMALAI, 神吉 紀世子, タイ, バンコク大都市圏におけるアーバンスプロールの類型化とゲーテッド・ハウジング・プロジェクトを含む土地利用構成の分析：スプロールエリアにおけるゲーテッド・ハウジング・プロジェクトの背景研究, 日本建築学会計画系論文集, 2013, Vol. 78, No. 694, pp. 2537-2546.

[13] 田中 由乃, 神吉 紀世子, 社会主義時代に開発された住宅地のプラハ市行政による再生施策の特色：プラハ市行政とプラハ 11、13 区行政の関係性の考察を通じて, 都市計画論文集, 2013, No. 48, pp. 309-314.

[14] S. Klinmalai, 神吉 紀世子, タイバンコク大都市圏のスプロールエリアにおけるゲーテッド・コミュニティの内外に対する近隣居住者の評価：異なるゲーテッド・コミュニティと旧集落が隣接集積するパトゥンタニ県の事例, 都市計画論文集, 2013, No. 48, pp. 279-284.

[15] クリンマライ シワポーン, 神吉 紀世子, タイ・バンコク大都市圏のスプロールエリアにおけるゲーテッド・コミュニティの内外に対する近隣居住者の評価: 異なるゲーテッド・コミュニティと旧集落が隣接集積するパトゥンタニ県の事例, 都市計画論文集, 2013, Vol. 48, No. 3, pp. 279-284.

[16] クリンマライ シワポーン, 神吉 紀世子, タイ、バンコク大都市圏におけるアーバンスプロールの類型化とゲーテッド・ハウジング・プロジェクトを含む土地利用構成の分析:スプロールエリアにおけるゲーテッド・ハウジング・プロジェクトの背景研究, 日本建築学会計画系論文集, 2013, Vol. 78, No. 694, pp. 2537-2546.

[17] 穂苅 耕介, 神吉 紀世子, 旧市街地における地域建設業者のまちづくり参加の効果と課題:－千葉県市川市行徳地区を事例として－, 日本建築学会計画系論文集, 2013, Vol. 78, No. 684, pp. 403-412.

建築史学講座

[1] 満田 さおり, 平安時代における朝儀の場の変遷に関する研究――平安宮内裏殿舎における庇の用法の拡大と御簾, 建築史学, 2013, No. 61, pp. 2-35.

建築構法学講座

[1] J. Lee, M. Nishiyama, S. Kono, M. Sakashita, Shear Resistance Mechanism of Posttensioned Precast Concrete Members, *Journal of Structural Engineering*, 2013, Vol. 139, No. 12, p. 04013007.

[2] Rafik T., Susumu K., Masanobu S., NONLINEAR FINITE ELEMENT ANALYSIS OF RC CANTILIVER STRUCTURAL WALLS UNDER LATERAL LOADING, コンクリート工学年次論文報告集, 2013, Vol. 35, No. 2, pp. 61-66.

[3] 富永 暖子, 西山 峰広, 坂下 雅信, 高温におけるコンクリートと鉄筋の付着－すべり関係に関する研究, コンクリート工学年次論文報告集, 2013, Vol. 35, No. 1, pp. 1159-1164.

[4] 尹 亨在, 坂下 雅信, 西山 峰広, 鋼繊維補強コンクリートの低サイクル圧縮疲労特性, コンクリート工学年次論文報告集, 2013, Vol. 35, No. 1, pp. 265-270.

[5] 坂下 雅信, 河野 進, 西山 峰広, 田中 仁史, 渡邉 史夫, 杭基礎で支持された曲げ降伏型連層耐震壁の地震時抵抗機構:その 2　FEM 解析による実験試験体のパラメトリックスタディ, 日本建築学会構造系論文集, 2013, Vol. 78, No. 683, pp. 147-156.

[6] 坂下 雅信, 河野 進, 西山 峰広, 田中 仁史, 渡邉 史夫, 杭基礎で支持された曲げ降伏型連層耐震壁の地震時抵抗機構　その 2：FEM 解析による実験試験体のパラメトリックスタディ, 日本建築学会構造系論文集, 2013, Vol. 78, No. 683, pp. 147-156.

[7] 壁谷澤 寿一, 福山 洋, 加藤 博人, 諏訪田 晴彦, 田尻 清太郎, 谷 昌典, 東日本大震災における公共建築物の震動被害の検証, 構造工学論文集. *B*, 2013, Vol. 59, pp. 21-26.

[8] 坂下 雅信, 河野 進, 西山 峰広, 田中 仁史, 渡邉 史夫, 杭基礎で支持された曲げ降伏型連層耐震壁の地震時抵抗機構 その 2 FEM 解析による実験試験体のパラメトリックスタディ, 日本建築学会構造系論文集, 2013, Vol. 78, No. 683, pp. 147-156.

[9] 谷 昌典, 福山 洋, 坂下 雅信, 河野 進, RC 造耐力壁の実験データベースを用いた部材種別の判定基準に関する検討, 日本建築学会技術報告集, 2013, Vol. 19, No. 43, pp. 927-932.

[10] 松原 聡平, 真田 靖士, 谷 昌典, 高橋 之, 市之瀬 敏勝, 福山 洋, 曲げ圧縮破壊する耐震壁の曲げ変形性能に対する拘束域の影響因子, 日本建築学会構造系論文集, 2013, Vol. 78, No. 691, pp. 1593-1602.

建築防災工学講座 建築耐震工学分野

[1] 東郷拓真, 和留生, 倉田真宏, 林和宏, 中島正愛, 健全性判定機能を有する履歴ダンパーの性能向上, 鋼構造年次論文報告集, 2014, Vol. 22, Article ID.

[2] K. HAYASHI, R. NISHI, R. ENOMOTO, M. KURATA, M. NAKASHIMA, 超高強度鋼 H-SA700 を用いた中空 CFT 柱部材の曲げ圧縮性能, *Journal of Structural and Construction Engineering (Transactions of AIJ)*, 2014, Vol. 79, No. 705, pp. 1699-1707.

[3] Y. Shi, M. Kurata, M. Nakashima, Disorder and damage of base-isolated medical facilities when subjected to near-fault and long-period ground motions, *Earthquake Engineering & Structural Dynamics*, 2014, Vol. 43, No. 11, pp. 1683-1701.

[4] 倉田 真宏, 峰岸 楓, 唐 貞云, 中島正愛, 合成梁を有する鋼構造柱梁接合部の繰返し載荷による振動特性の変化 : 実大試験体を用いた振動試験, 日本建築学会構造系論文集, 2014, Vol. 79, No. 703, pp. 1271-1278.

[5] 倉田真宏, 峰岸楓, 唐貞云, 中島正愛, 合成梁を有する鋼構造柱梁接合部の繰返し載荷による振動特性の変化－実大試験体を用いた振動試験－, 日本建築学会構造系論文集, 2014, Vol. 703, pp. 1271-1278.

[6] P. Hsiao, Kazuhiro H., Nishi R., X. Lin, Masayoshi N., Investigation of Concrete-Filled Double-Skin Steel Tubular Columns with Ultrahigh-Strength Steel, *Journal of Structural Engineering*, 2014, Vol. 140, 1.

[7] M. Nakashima, O. Lavan, M. Kurata, Y. Luo, Earthquake engineering research needs in light of lessons learned from the 2011 Tohoku earthquake, *Earthquake Engineering and Engineering Vibration*, 2014, Vol. 13, No. S1, pp. 141-149.

[8] Y. Shi, T.C. Becker, S. Furukawa, E. Sato, M. Nakashima, LQR control with frequency-dependent scheduled gain for a semi-active floor isolation system, *Earthquake Engineering and Structural Dynamics*, 2014, Vol. 43, No. 9, pp. 1265-1284.

[9] 林和宏, 岡崎太一郎, 林旭川, 中島正愛, H-SA700 鋼と高力ボルトを用いた組立柱の柱梁接合部, 鋼構造論文集, 2014, Vol. 21, No. 82, pp. 39-50.

[10] 日下 彰宏, 岡野 創, 中島 正愛, 震災後の安全確認に用いる鋼構造梁端部破壊確率のベイズ更新, 日本建築学会構造系論文集, 2014, Vol. 79, No. 700, pp. 839-846.

[11] 吉澤 睦晴, 長江 拓也, 梶原 浩一, 中島 正愛, 地震を受けた低層 RC 建物の非構造部材・建築設備の損傷と建物機能回復に至る過程の分析, 構造工学論文集, 2014, No. 60 B, pp. 521-528.

[12] 加登美喜子, T. Wang, 中島正愛, 鉄骨筋かい構造の構造特性係数の再考と代替構造特性係数の提案, 構造工学論文集, 2014, No. 60 B, pp. 265-272.

[13] 伊藤麻衣, 谷口雄大, 林和宏, 倉田真宏, 中島正愛, 木パネル補剛鋼板耐震壁におけるパネル補剛力特性, 構造工学論文集, 2014, No. 60 B, pp. 339-405.

[14] T. Okazaki, T. Matsumiya, T. Nagae, K. Fukuyama, T. Inoue, M. Nakashima, E-defense tests on the seismic performance of beam-to-column moment frame connections in high-rise steel buildings, *Journal of Structural and Construction Engineering*, 2013, Vol. 78, No. 685, pp. 569-578.

[15] M. Kurata, X. Li, K. Fujita, M. Yamaguchi, Piezoelectric dynamic strain monitoring for detecting local seismic damage in steel buildings, *Smart Materials and Structures*, 2013, Vol. 22, No. 11, p. 115002.

[16] T. Hikino, T. Okazaki, K. Kajiwara, M. Nakashima, Out-of-plane stability of buckling-restrained braces placed in chevron arrangement, *Journal of Structural Engineering (United States)*, 2013, Vol. 139, No. 11, pp. 1812-1822.

[17] 和留生, M. Kurata, 吹原慧, 林和宏, M. Nakashima, Dual functional steel slit shear wall with X-shaped links, 鋼構造年次論文報告集, 2013, Vol. 21, p. Article ID.

[18] 峰岸楓, 唐貞云, 倉田真宏, 野澤貴, 中島正愛, 鋼構造柱梁接合部の地震損傷に伴う振動特性の変化, 鋼構造年次論文報告集, 2013, Vol. 21, Article ID.

[19] 李小華, 倉田真宏, 藤田皓平, 山口真矢子, 中島正愛, 無線 PVDF センシングを用いた鋼構造ラーメン骨組の局部損傷の検出, 鋼構造年次論文報告集, 2013, Vol. 21, Article ID.

[20] 羅 雲標, 林和宏, 保木和明, 倉田真宏, 中島正愛, SFRCC を用いたスラブ付鉄骨柱梁接合部補修の解析及び設計法, 鋼構造年次論文報告集, 2013, Vol. 21, p. Article ID.

[21] S. Furukawa, E. Sato, Y. Shi, T. Becker, M. Nakashima, Full-scale shaking table test of a base-isolated medical facility subjected to vertical motions, *Earthquake Engineering and Structural Dynamics*, 2013, Vol. 42, No. 13, pp. 1931-1949.

[22] T. Wang, M. Nakashima, Flexible substructure online hybrid test system using conventional testing devices, *Earthquake Engineering and Engineering Vibration*, 2013, Vol. 12, No. 3, pp. 341-350.

[23] Y. Shi, T. Backer, M. Kurata, M. Nakashima, H-infinity Control in the Frequency Domain for a Semi-Active Floor Isolation System, *Fronteer of Civil Engineering*, 2013, Vol. 7, No. 3, pp. 264-275.

[24] Y. Shi, T. Becvker, M. Kurata, M. Nakashima, H ∞ control in the frequency domain for a semi-active floor isolation system, *Frontiers of Structural and Civil Engineering*, 2013, Vol. 7, No. 3, pp. 264-275.

[25] Y. Cui, Y. Luo, M. Nakashima, Development of steel beam-to-column connections using SFRCC slabs, *Engineering Structures*, 2013, Vol. 52, No. 7, pp. 545-557.

[26] M. ITO, K. HAYASHI, Y. TANIGUCHI, M. KURATA, M. NAKASHIMA, スリット入り鋼板耐震壁のパネル補剛設計式, 日本建築学会構造系論文集, 2013, Vol. 78, No. 687, pp. 987-995.

[27] R. Enokida, T. Nagae, M. Ikenaga, M. Inami, M. Nakashima, 黒鉛潤滑を応用した直置き型鋼構造建物柱脚の摩擦低減, *Journal of Structural and Construction Engineering*, 2013, Vol. 78, No. 685, pp. 435-444.

[28] X. Lin, T. Okazaki, Y.-. Chung, M. Nakashima, Flexural performance of bolted built-up columns constructed of H-SA700 steel, *Journal of Constructional Steel Research*, 2013, Vol. 82, pp. 48-58.

[29] 松岡祐一, 吹田 啓一郎, 中島 正愛, 非構造部材が鉄骨造建物の全体挙動に及ぼす影響 外装材と間仕切り壁の力学特性を表す履歴モデルの提案, 構造工学論文集, 2013, Vol. 59, pp. 191-199.

[30] X. Ji, T. Hikino, K. Kasai, M. Nakashima, Damping identification of a full-scale passively controlled five-story steel building structure, *Earthquake Engineering and Structural Dynamics*, 2013, Vol. 42, No. 2, pp. 277-295.

[31] 李 小華, 倉田 真宏, 藤田 皓平, 無線 PVDF センシングを用いた鋼構造ラーメン骨組の局部損傷の検出, 鋼構造年次論文報告集, 2013, Vol. 21, pp. 259-264.

[32] D.G. Lignos, T. Hikino, Y. Matsuoka, M. Nakashima, Collapse assessment of steel moment frames based on E-defense full-scale shake table collapse tests, *Journal of Structural Engineering (United States)*, 2013, Vol. 139, No. 1, pp. 120-132.

建築防災工学講座 建築安全制御学分野

[1] F. Nagashima, S. Matsushima, H. Kawase, Sánchez‐Sesma F.J., T. Hayakawa, T. Satoh, M. Oshima, Application of Horizontal-to-Vertical Spectral Ratios of Earthquake Ground Motions to Identify Subsurface Structures at and around the K-NET Site in Tohoku, Japan, *Bulletin of The Seismological Society of America*, 2014, Vol. 104, No. 5, pp. 2288-2302.

[2] 畠山直己, 松島信一, 川瀬博, 観測記録に基づく実大鉄骨架構の物理パラメタの同定に関する研究, 日本建築学会構造系論文集, 2014, Vol. 79, No. 701, pp. 905-912.

[3] V. Salinas, F. Luzón, Garcia‐Jerez A., Sánchez‐Sesma F.J., H. Kawase, S. Matsushima, M. Suarez, A. Cuellar, M. Campillo, Using Diffuse Field Theory to Interpret the H/V Spectral Ratio from Earthquake Records in Cibeles Seismic Station, Mexico City, *Bulletin of The Seismological Society of America*, 2014, Vol. 104, No. 2, pp. 995-1001.

[4] T. Satoh, T. Hayakawa, M. Oshima, H. Kawase, S. Matsushima, F. Nagashima, K. Tobita, Site Effects on Large Ground Motions at KiK‐net Iwase Station IBRH11 during the 2011 Tohoku Earthquake, *Bulletin of The Seismological Society of America*, 2014, Vol. 104, No. 2, pp. 653-668.

[5] S. Matsushima, T. Hirokawa, F. De Martin, H. Kawase, F.J. Sanchez-Sesma, The Effect of Lateral Heterogeneity on Horizontal-to-Vertical Spectral Ratio of Microtremors Inferred from Observation and Synthetics, *Bulletin of The Seismological Society of America*, 2014, Vol. 104, No. 1, pp. 381-393.

[6] 飛田 幸樹, 川瀬 博, 松島 信一, 常時微動を用いた大阪平野南部における地盤構造の推定, 日本地震工学会論文集, 2014, Vol. 14, No. 2, pp. 2_104-2_123.

[7] 畠山 直己, 松島 信一, 川瀬 博, 観測記録に基づく実大鉄骨架構の物理パラメタの同定に関する研究, 日本建築学会構造系論文集, 2014, Vol. 79, No. 701, pp. 905-912.

[8] 仲野 健一, 川瀬 博, 松島 信一, スペクトルインバージョン手法に基づく強震動特性の統計的性質に関する研究:その１ フーリエスペクトル・応答スペクトルから分離した平均特性, 日本地震工学会論文集, 2014, Vol. 14, No. 2, pp. 2_67-2_83.

[9] F. De Martin, S. Matsushima, H. Kawase, Impact of Geometric Effects on Near-Surface Green's Functions, *Bulletin of The Seismological Society of America*, 2013, Vol. 103, No. 6, pp. 3289-3304.

[10] J.G. Anderson, H. Kawase, G.P. Biasi, J.N. Brune, S. Aoi, Ground Motions in the Fukushima Hamadori, Japan, Normal-Faulting Earthquake, *Bulletin of The Seismological Society of America*, 2013, Vol. 103, No. 3, pp. 1935-1951.

[11] A. Ducellier, H. Kawase, S. Matsushima, Validation of a New Velocity Structure Inversion Method Based on Horizontal-to-Vertical (H/V) Spectral Ratios of Earthquake Motions in the Tohoku Area, Japan, *Bulletin of The Seismological Society of America*, 2013, Vol. 103, No. 2A, pp. 958-970.

[12] 吉村 智昭, 永野 正行, 久田 嘉章, 青井 真, 岩城 麻子, 早川 崇, C. Seckin Ozgur, 松島 信一, 川辺 秀憲, 強震動予測手法に関するベンチマークテスト：数値解析手法の場合（その 3）, 日本建築学会技術報告集, 2013, Vol. 19, No. 41, pp. 65-70.

建築防災工学講座 風環境工学分野

[1] 丸山 敬, 河井宏允, 奥田泰雄, 中村修, 数値計算による竜巻中の飛散物の速度推定, 第 *23* 回風工学シンポジウム論文集, 2014, pp. 487-492.

[2] Keiichi A., Takahiro T., Takashi M., Nobutaka K., Atsushi H., Yuko I., Hiroyoshi W., . Tomoshige Wakayama, Takero A., Masachika H., Hiroshi M., Kanji U., Shinya O., Ryushi T., Toshinori T., Etsuro Y., Toshio I., Masaki H., Toru A., Yoshikazu I., Hirosuke K., Koh N., A mathematical model to predict protein wash out kinetics during whole-lung lavage in autoimmune pulmonary alveolar proteinosis, *Am J Physiol Lung Cell Mol Physiol*, 2014, No. 308, pp. L105-L117.

[3] S. Zhang, K. Nishijima, T. Maruyama, Climate model-based probabilistic assessment of wind risk for residential buildings under projected future climate, *Civil Engineering and Environmental Systems*, 2014, Vol. 31, No. 2, pp. 98-110.

[4] S. Zhang, K. Nishijima, T. Maruyama, Reliability-based modeling of typhoon induced wind vulnerability for residential buildings in Japan, *Journal of Wind Engineering and Industrial Aerodynamics*, 2014, Vol. 124, pp. 68-81.

[5] 丸山 敬, 河井 宏允, 西村 宏昭, 花谷 真由子, 種々の加撃体を用いた合わせガラスの耐衝撃試験と標準加撃体の提案, 日本風工学会論文集, 2014, Vol. 39, No. 1, pp. 1-12.

[6] 今野 尚子, 小野 梓, 持田 灯, 丸山 敬, 萩島 理, 谷本 潤, 都市空間に散在する微小物体群により形成される Canopy Flow のモデリング:一様物体群のアスペクト比と密度が異なる場合に対する Canopy モデル係数設定法の提案, 日本建築学会環境系論文集, 2014, Vol. 79, No. 702, pp. 699-707.

[7] 内田 孝紀, 丸山 敬, 西嶋 一欽, 技術および最新情報 複雑地形上の風車サイトを対象にした風況の品質管理と風車の運転制御, 風力エネルギー, 2014, Vol. 38, No. 3, pp. 344-349.

[8] 丸山 敬, 河井 宏允, 西村 宏昭, 種々の加撃体を用いた合わせガラスの耐衝撃試験と標準加撃体の提案(日本風工学会論文集), *JWE : Wind Engineering, JAWE*, 2014, Vol. 39, No. 1, pp. 1-12.

空間安全工学講座 地震環境工学分野

[1] 坂下 雅信, 河野 進, 西山 峰広, 田中 仁史, 渡邉 史夫, 杭基礎で支持された曲げ降伏型連層耐震壁の地震時抵抗機構　その 2：FEM 解析による実験試験体のパラメトリックスタディ, 日本建築学会構造系論文集, 2013, Vol. 78, No. 683, pp. 147-156.

空間安全工学講座 都市防災計画学分野

[1] H. Chen, N. Maki, H. Hayashi, Disaster resilience and population ageing: the 1995 Kobe and 2004 Chuetsu earthquakes in Japan, *Disasters*, 2014, Vol. 38, No. 2, pp. 291-309.

[2] フダ ハイルル, 山本 直彦, 田中 麻里, 牧 紀男, 2004 年インド洋大津波後にインドネシア・バンダアチェ市とその近郊に建設された再定住地の居住者履歴と生活再建:パンテリー地区慈済再定住地とヌーフン地区中国再定住地の比較から, 日本建築学会計画系論文集, 2014, Vol. 79, No. 697, pp. 597-606.

[3] 村上 滋希, 林 春男, 牧 紀男, 罹災証明発給業務の効率化手法に関する分析 : 2012 年京都府南部豪雨を事例として, 地域安全学会論文集, 2014,　No. 22, pp. 1-10.

[4] 牧 紀男, 林 春男, 2012 年京都府南部豪雨災害時の宇治市の災害対応 : 地域防災計画に求められる内容と災害対策本部業務への示唆, 地域安全学会論文集, 2014,　No. 22, pp. 51-58.

[5] N. Maki, Disaster Response to the 2011 Tohoku-Oki Earthquake: National Coordination, a Common Operational Picture, and Command and Control in Local Governments, *Earthquake Spectra*, 2013, Vol. 29, No. S1, pp. S369-S385.

[6] 讃岐 亮, 佐藤 栄治, 鈴木 達也, 吉川 徹, 牧 紀男, 避難場所としての商業施設の立地ポテンシャル評価: 紀伊半島の食料を供する施設を対象として, 日本建築学会計画系論文集, 2013, Vol. 78, No. 692, pp. 2127-2134.

機械理工学専攻

機械システム創成学講座

[1] Y. Horiguchi, T. Suzuki, T. Sawaragi, H. Nakanishi, T. Nakamura, M. Muneshige, Nishimoto H., T. Takimoto, Extracting Train Driver's Perception Strategies Using Interpretive Structural Modeling, *Proceedings of Joint 7th International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems and 15th International Symposium on Advanced Intelligent Systems*, 2014, pp. 1158-1163.

[2] A. Sato, H. Nakanishi, Observation and Measurement in Disaster Areas using Industrial Use Unmanned Helicopters, *Proceedings of Symposium on Safety Security and Rescue Robotics 2014*, 2014, 14869546.

[3] T. Aziz, Y. Horiguchi, T. Sawaragi, Towards understanding the development of driver's mental model of a Lane Departure Warning system while driving, *Journal of Advanced Mechanical Design, Systems, and Manufacturing*, 2014, Vol. 8, No. 3, JAMDSM0032.

[4] Y. Horiguchi, T. Sawaragi, H. Nakanishi, T. Nakamura, T. Takimoto, Nishimoto H., Analysis of Train Drivers' Eye-Gaze Movement Patterns Using Sequence Alignment, *Proceedings of SICE Annual Conference 2014*, 2014, pp. 2037-2040.

[5] Y. Horiguchi, S. An, T. Sawaragi, H. Nakanishi, Menu Hierarchy Generation Based on Syntactic Dependency Structures in Item Descriptions, *Human Interface and The Management of Information: Information and Knowledge Design and Evaluation*, 2014, Vol. 8521, pp. 157-166.

[6] 堀口 由貴男, 下條 亘, 中西 弘明, 椹木 哲夫, 機能の型に基づく階層型メニューの設計, ヒューマンインタフェース学会論文誌, 2013, Vol. 15, No. 1, pp. 73-84.

生産システム工学講座

[1] K. Yaji, T. Yamada, M. Yoshino, T. Matsumoto, K. Izui, S. Nishiwaki, Topology optimization using the lattice Boltzmann method incorporating level set boundary expressions, *Journal of Computational Physics*, 2014, Vol. 274, pp. 158-181.

[2] M. Ohkado, T. Nomura, S. Yamasaki, A. Kawamoto, S. Nishiwaki, A level set-based topology optimization incorporating arbitrary Lagrangian Eulerian method for wavelength filter using extraordinary optical transmission, *Structural and Multidisciplinary Optimization*, 2014, Vol. 50, No. 3, pp. 465-474.

[3] T. Matsuki, T. Yamada, K. Izui, S. Nishiwaki, Topology optimization for locally resonant sonic materials, *Applied Physics Letters*, 2014, Vol. 104, No. 19, p. 191905.

[4] J.S. Choi, T. Yamada, K. Izui, S. Nishiwaki, H. Lim, J. Yoo, Optimal shape design of flux barriers in IPM synchronous motors using the phase field method, *Compel-The International Journal For Computation and Mathematics in Electrical and Electronic Engineering*, 2014, Vol. 33, No. 3, pp. 998-1016.

[5] M. Otomori, T. Yamada, K. Izui, S. Nishiwaki, N. Kogiso, Level Set-Based Topology Optimization for the Design of Light-Trapping Structures, *IEEE Transactions on Magnetics*, 2014, Vol. 50, No. 2, pp. 7018004-732.

[6] 矢地 謙太郎, 山田 崇恭, 吉野 正人, 流体問題を対象としたトポロジー最適化における離散ボルツマン方程式に基づく感度解析手法, 計算数理工学論文集, 2014, Vol. 14, pp. 67-72.

[7] 矢地 謙太郎, 北村 優太, 松島 徹, 山田 崇恭, 泉井 一浩, 西脇 眞二, ブレーキディスクの構造最適化:—冷却性能向上とブレーキ鳴き低減を同時に考慮したトポロジー最適化—, 精密工学会誌, 2014, Vol. 80, No. 8, pp. 763-770.

[8] 堀尾 仁志, 小木曽 望, 乙守 正樹, 山田 崇恭, 西脇 眞二, 面外変形を考慮した薄板構造の剛性最大化を目的としたレベルセット法に基づくトポロジー最適設計, 日本機械学会論文集, 2014, Vol. 80, No. 811, pp. DSM0054-DSM0054.

[9] 山本 崇史, 山田 崇恭, 泉井 一浩, 西脇 眞二, トポロジー最適化による薄板上の非拘束制振材の配置最適化, 日本機械学会論文集, 2014, Vol. 80, No. 809, pp. DR0016-DR0016.

[10] 久保 世志, 矢地 謙太郎, 山田 崇恭, 泉井 一浩, 西脇 眞二, 内部流れを対象とした流出流量比を考慮可能なレベルセット法に基づくトポロジー最適化, 日本機械学会論文集, 2014, Vol. 80, No. 815, pp. DSM0213-DSM0213.

[11] T.H. Nguyen, H. Morishita, Y. Koyanagi, K. Izui, S. Nishiwaki, A Multi-Level Optimization Method Using PSO for the Optimal Design of an L-Shaped Folded Monopole Antenna Array, *IEEE Transactions on Antennas and Propagation*, 2014, Vol. 62, No. 1, pp. 206-215.

[12] 佐藤 勇気, 泉井 一浩, 山田 崇恭, 西脇 眞二, 距離制約を考慮した局所探索に基づく二目的最適化法, 日本機械学会論文集, 2014, Vol. 80, No. 820, pp. DSM0389-DSM0389.

[13] 山田 崇恭, 飯盛 浩司, 松本 敏郎, 泉井 一浩, 西脇 眞二, 弾性体の周波数応答問題に対するトポロジー導関数とレベルセット法に基づくトポロジー最適化(応用,<特集>数理設計研究部会), 日本応用数理学会論文誌, 2014, Vol. 24, No. 2, pp. 139-156.

[14] T. Yamada, M. Manabe, K. Izui, S. Nishiwaki, A Topology Optimization Method for Geometrically Nonlinear Problems Incorporating Level Set Boundary Expressions and a Particle Method, *Journal of Advanced Mechanical Design Systems and Manufacturing*, 2013, Vol. 7, No. 4, pp. 630-643.

[15] L. Lu, T. Yamamoto, M. Otornori, T. Yamada, K. Izui, S. Nishiwaki, Topology optimization of an

acoustic metamaterial with negative bulk modulus using local resonance, *Finite Elements in Analysis and Design*, 2013, Vol. 72, pp. 1-12.

[16] G. Fujii, H. Watanabe, T. Yamada, T. Ueta, M. Mizuno, Level set based topology optimization for optical cloaks, *Applied Physics Letters*, 2013, Vol. 102, No. 25, p. 251106.

[17] M. Otomori, T. Yamada, J. Andkjaer, K. Izui, S. Nishiwaki, N. Kogiso, Level Set-Based Topology Optimization for the Design of an Electromagnetic Cloak With Ferrite Material, *IEEE Transactions on Magnetics*, 2013, Vol. 49, No. 5, pp. 2081-2084.

[18] T. Yamada, H. Watanabe, G. Fujii, T. Matsumoto, Topology Optimization for a Dielectric Optical Cloak Based on an Exact Level Set Approach, *IEEE Transactions on Magnetics*, 2013, Vol. 49, No. 5, pp. 2073-2076.

[19] S. Yamasaki, T. Yamada, T. Matsumoto, An immersed boundary element method for level-set based topology optimization, *International Journal For Numerical Methods in Engineering*, 2013, Vol. 93, No. 9, pp. 960-988.

[20] A. Kawamoto, T. Matsumori, T. Nomura, T. Kondoh, S. Yamasaki, S. Nishiwaki, Topology optimization by a time-dependent diffusion equation, *International Journal For Numerical Methods in Engineering*, 2013, Vol. 93, No. 8, pp. 795-817.

[21] 小谷 高代, 山田 崇恭, 泉井 一浩, レベルセット法に基づくトポロジー最適化を用いた機械式レゾネーターの最適設計法, 計算数理工学論文集, 2013, Vol. 13, pp. 115-120.

[22] 矢地 謙太郎, 山田 崇恭, 吉野 正人, 格子運動論スキームを用いたレベルセット法に基づくトポロジー最適化, 計算数理工学論文集, 2013, Vol. 13, pp. 85-90.

[23] 大門 真, 塚本 翔太, 乙守 正樹, 泉井 一浩, 西脇 眞二, 表面インピダーンス法を用いた金属パッチアンテナの構造最適化, 日本機械学会論文集 *C* 編, 2013, Vol. 79, No. 807, pp. 4084-4094.

[24] 小木曽 望, 堀尾 仁志, 乙守 正樹, 山田 崇恭, 西脇 眞二, レベルセット法に基づくロバストトポロジー最適設計のパラメータがロバスト最適形態におよぼす影響について, 日本機械学会論文集 *C* 編, 2013, Vol. 79, No. 802, pp. 2233-2237.

[25] 三品 雅宏, 加藤 峰教, 永井 学志, 山田 崇恭, 西脇 眞二, レベルセット法とフェーズフィールド法の考え方に基づく磁歪アクチュエータ問題のトポロジー最適化, 日本機械学会論文集 *A* 編, 2013, Vol. 79, No. 798, pp. 164-176.

機械材料力学講座 適応材料力学分野

[1] M. Arai, J. Hirokawa, Y. Hanamura, H. Ito, M. Hojo, M. Quaresimin, Characteristic of mode I fatigue crack propagation of CFRP laminates toughened with CNF interlayer, *Composites Part B*, 2014, Vol. 65, pp. 26-33.

[2] J. Ying, N. Masaaki, M. Hojo, Relationship between annealing and shape memory effect of shape memory polyurethane, *Advanced Materials Research*, 2014, Vol. 936, pp. 140-144.

[3] N. Sato, M. Hojo, M. Nishikawa, Novel test method for accurate characterization of intralaminar fracture toughness in CFRP laminates, *Composites Part B-Engineering*, 2014, Vol. 65, pp. 89-98.

[4] 金崎真人, 内城千翔, 田中基嗣, 斉藤博嗣, 西川 雅章, 北條 正樹, 金原勲, 熱可塑性を利用した CF/PA6 積層板の衝撃損傷修復と残留圧縮強度の実験的評価, 日本複合材料学会誌, 2014, Vol. 40, No. 3, pp. 106-117.

[5] 津村 祐介, 新玉重貴, 西川 雅章, 北條 正樹, CFRP のトランスバースひずみ分布計測を目的とした繊維位置探索による画像解析手法の開発, 日本複合材料学会誌, 2014, Vol. 40, No. 2, pp. 71-80.

[6] H. Matsuda, G. Matsubara, A. Kuraishi, Y. Hirose, M. Hojo, Effect of crack arrester on fatigue crack growth in foam core sandwich panel under mode I type loading, *Composites Part A-Applied Science and Manufacturing*, 2014, Vol. 56, pp. 36-43.

[7] S. Kanou, M. Nishikawa, H. Soyama, Analysis of the formation of plastic deformation layer on the surface of polycrystalline metals subjected to a micro-size high-rate shot impact, *International Journal of Mechanical Sciences*, 2013, Vol. 75, pp. 316-323.

[8] T. Sasayama, T. Okabe, Y. Aoyagi, M. Nishikawa, Prediction of failure properties of injection-molded short glass fiber-reinforced polyamide 6,6, *Composites Part A-Applied Science and Manufacturing*, 2013, Vol. 52, pp. 45-54.

[9] T. Okabe, T. Takehara, K. Inose, N. Hirano, M. Nishikawa, T. Uehara, Curing reaction of epoxy resin composed of mixed base resin and curing agent: Experiments and molecular simulation, *Polymer*, 2013, Vol. 54, No. 17, pp. 4660-4668.

[10] Y. Hirose, H. Matsuda, G. Matsubara, M. Hojo, K. Yoshida, F. Inamura, Experimental evaluation of splice-type crack arrester with a filler under mode-I type loading, *Composite Structures*, 2013, Vol. 100, pp. 300-306.

[11] Y. Hirose, H. Matsuda, G. Matsubara, M. Hojo, K. Yoshida, F. Inamura, Numerical analysis of splice-type crack arrester with a filler under mode-I type loading, *Composite Structures*, 2013, Vol. 100, pp. 127-134.

[12] 金崎 真人, 斉藤 博嗣, 田中 基嗣, 北條 正樹, 金原 勲, 薄層化による CFRTP 積層板の CAI 強度向上とそのメカニズム, 日本複合材料学会誌, 2013, Vol. 39, No. 3, pp. 89-98.

機械材料力学講座 固体力学分野

[1] S. Aomatsu, R. Matsumoto, Digital Image Correlation Measurement of Localized Deformation in

Carbon Steel in the Presence of Hydrogen, *ISIJ International*, 2014, Vol. 54, No. 10, pp. 2411-2415.

[2] S. Aomatsu, R. Matsumoto, Effect of Hydrogen on Deformation Behavior of Carbon Steel S25C-Measurement of Time Evolution of Strain Distribution until Crack Initiation Using Digital Image Correlation Method-, *ISIJ International*, 2014, Vol. 54, No. 8, pp. 1965-1970.

[3] R. Matsumoto, S. Seki, S. Taketomi, N. Miyazaki, Hydrogen-related phenomena due to decreases in lattice defect energies-Molecular dynamics simulations using the embedded atom method potential with pseudo-hydrogen effects, *Computational Materials Science*, 2014, Vol. 92, pp. 362-371.

[4] R. Matsumoto, M. Sera, N. Miyazaki, Hydrogen concentration estimation in metals at finite temperature using first-principles calculations and vibrational analysis, *Computational Materials Science*, 2014, Vol. 91, pp. 211-222.

[5] M. Uranagase, R. Matsumoto, Thermal activation analysis of enthalpic and entropic contributions to the activation free energy of basal and prismatic slips in Mg, *Physical Review B*, 2014, Vol. 89, No. 22, p. 224103.

[6] 浦長瀬 正幸, 神垣 沙奈, 松本 龍介, マグネシウム単結晶中での転位ループ生成の解析 —原子シミュレーションによるアプローチ—, 材料, 2014, Vol. 63, No. 2, pp. 194-199.

[7] 松本 龍介, 西口 直, 武富 紳也, 宮崎 則幸, 水素が α 鉄中の空孔の生成と拡散挙動に及ぼす影響の第一原理計算：水素助長ひずみ誘起空孔機構に関する考察, 材料, 2014, Vol. 63, No. 2, pp. 182-187.

[8] M. Uranagase, S. Kamigaki, R. Matsumoto, N. Miyazaki, Activation free energy of nucleation of a dislocation pair in magnesium, *Materials Transactions*, 2013, Vol. 54, No. 5, pp. 680-685.

[9] R. Matsumoto, M. Uranagase, N. Miyazaki, Molecular dynamics analyses of deformation behavior of long-period- stacking-ordered structures, *Materials Transaction*, 2013, Vol. 54, No. 5, pp. 686-692.

[10] M. Kubota, R. Matsumoto, N. Miyazaki, Development of Deformation Measurement System Consisting of High-Speed Camera and Digital Image Correlation, and its Application to the Measurement of Large Inhomogeneous Deformations around the Crack Tip, *Experimental Techniques*, 2013, pp. n/a-n/a.

[11] M. Nagai, T. Ikeda, N. Miyazaki, Stress intensity factor analyses of three-dimensional interface cracks using tetrahedral finite elements, *Computational Mechanics*, 2013, Vol. 51, No. 5, pp. 603-615.

[12] T. Ikeda, T. Kanno, N. Shishido, N. Miyazaki, H. Tanaka, T. Hatao, Non-linear analyses of strain in flip chip packages improved by the measurement using the digital image correlation method, *Microelectronics Reliability*, 2013, Vol. 53, No. 1, pp. 145-153.

機械材料力学講座 熱材料力学分野

[1] K. Tatsumi, K. Haizumi, K. Sugimoto, K. Nakabe, Analysis of lymphocytes deformation in microchannel flows using compound drop model, *XXI Fluid Mechanics Conference*, 2014, Vol. 530, p. UNSP 012012.

[2] K. Tatsumi, Y. Komori, T. Arakawa, K. Nishitani, K. Nakabe, Development of a numerical model for single red blood cell motions in stationary fluid in the presence of uniform magnetic field, *Progress in Computational Fluid Dynamics*, 2013, Vol. 13, No. 3-4, pp. 224-237.

[3] 巽 和也, 永坂 亘, 中島 理, C.L. Heong, 中部 主敬, 蛇行流路内における粘弾性流体の流動および伝熱特性, *Transactions of The Japan Society of Mechanical Engineers Series B*, 2013, Vol. 79, No. 797, pp. 93-103.

[4] Y. Rai, H. Kogame, K. Tatsumi, K. Nakabe, Reaction Characteristics of Methanol Noncatalytic Partial Oxidation Stabilized by Ceramic Honeycomb, *Combustion Science and Technology*, 2013, Vol. 185, No. 1, pp. 1-16.

流体理工学講座 環境熱流体工学分野

[1] Y. Deguchi, T. Kamimoto, Z.Z. Wang, J.J. Yan, J.P. Liu, H. Watanabe, R. Kurose, Applications of laser diagnostics to thermal power plants and engines, *Applied Thermal Engineering*, 2014, Vol. 73, No. 2, pp. 1453-1464.

[2] 渡邊 裕章, 上杉太亮, 武藤 昌也, 乱流混合層中の粒子挙動に及ぼす代表粒子モデルの影響, 粉体工学会誌, 2014, Vol. 51, No. 12, pp. 846-855.

[3] T. Kitano, J. Nishio, R. Kurose, S. Komori, Evaporation and combustion of multicomponent fuel droplets, *Fuel*, 2014, Vol. 136, No. 15, pp. 219-225.

[4] K. Matsuda, R. Onishi, M. Hirahara, R. Kurose, K. Takahashi, S. Komori, Influence of Microscale Turbulent Droplet Clustering on Radar Cloud Observations, *Journal of The Atmospheric Sciences*, 2014, Vol. 71, No. 10, pp. 3569-3582.

[5] N. Takagaki, R. Kurose, Y. Baba, Y. Nakajima, S. Komori, Relationship between momentum of an impinging drop and intensities of vortex rings generated below free surface, *International Journal of Multiphase Flow*, 2014, Vol. 65, pp. 1-10.

[6] N. Suzuki, Y. Toba, S. Komori, N. Takagaki, Y. Baba, T. Kubo, K. Shintaku, M. Yamamoto, Variation of the Drag Coefficient Investigated by Using Tower-based Long Period Measurements-Condition of High Wind Speed with Following and Cross Swell, *International Journal of Offshore and Polar Engineering*, 2014, Vol. 24, No. 3, pp. 168-173.

[7] H. Watanabe, R. Kurose, M. Hayashi, T. Kitano, S. Komori, Effects of ambient pressure and pre-

cursors on soot formation in spray flames, *Advanced Powder Technology*, 2014, Vol. 25, No. 4, pp. 1376-1387.

[8] N. Takagaki, S. Komori, Air-water mass transfer mechanism due to the impingement of a single liquid drop on the air-water interface, *International Journal of Multiphase Flow*, 2014, Vol. 60, pp. 30-39.

[9] T. Kitano, J. Nishio, R. Kurose, S. Komori, Effects of ambient pressure, gas temperature and combustion reaction on droplet evaporation, *Combustion and Flame*, 2014, Vol. 161, No. 2, pp. 551-564.

[10] K. Tanno, R. Kurose, T. Michioka, S. Komori, S. Komori, Direct numerical simulation of flow and surface reaction in de-NOx catalyst, *Advanced Powder Technology*, 2014, Vol. 25, No. 1, pp. 476-476.

[11] T. Kitano, R. Kurose, S. Komori, Effects of Internal Pressure and Inlet Velocity Disturbances of Air and Fuel Droplets on Spray Combustion Field, *Journal of Thermal Science and Technology*, 2013, Vol. 8, No. 1, pp. 269-280.

[12] K. Iwano, N. Takagaki, R. Kurose, S. Komori, Mass transfer velocity across the breaking air-water interface at extremely high wind speeds, *Tellus Series B-Chemical and Physical Meteorology*, 2013, Vol. 65, No. 0, p. 21341.

[13] 丹野 賢二, 野田 直希, 山本 融, 黒瀬 良一, 道岡 武信, 牧野 尚夫, 長期使用ハニカム型脱硝触媒の特性評価, 粉体工学会誌, 2013, Vol. 50, No. 10, pp. 733-740.

[14] Z.Z. Wang, Y. Deguchi, M. Kuwahara, T. Taira, X.B. Zhang, J.J. Yan, J.P. Liu, H. Watanabe, R. Kurose, Quantitative elemental detection of size-segregated particles using laser-induced breakdown spectroscopy, *Spectrochimica Acta Part B-Atomic Spectroscopy*, 2013, Vol. 87, pp. 130-138.

[15] 武藤 昌也, 上杉太亮, 渡邊裕章, 牧野尚夫, 分散二相乱流混合層における流れ場の乱れおよびスカラ輸送に及ぼす代表粒子モデルの影響 (第 50 回粉体に関する討論会特集), 粉体工学会誌, 2013, Vol. 50, No. 9, pp. 646-655.

[16] H. Moriai, R. Kurose, H. Watanabe, Y. Yano, F. Akamatsu, S. Komori, Large-Eddy Simulation of Turbulent Spray Combustion in a Subscale Aircraft Jet Engine Combustor-Predictions of NO and Soot Concentrations, *Journal of Engineering For Gas Turbines and Power-Transactions of The ASME*, 2013, Vol. 135, No. 9, p. 091503.

[17] 丹野 賢二, 黒瀬 良一, 道岡 武信, 牧野 尚夫, 小森 悟, ハニカム型触媒壁面での粉体の衝突・反発挙動が付着特性に及ぼす影響 (第 48 回夏期シンポジウム特集 固体炭素資源の高度・グリーン利用に貢献する粉体工学：低炭素社会のエネルギー供給を支える石炭・バイオマスの利用技術), 粉体工学会誌, 2013, Vol. 50, No. 3, pp. 204-211.

[18] T. Kitano, T. Nakatani, R. Kurose, S. Komori, Two-dimensional direct numerical simulation of spray flames - Part 2: Effects of ambient pressure and lift, and validity of flamelet model, *Fuel*, 2013, Vol. 104, pp. 526-535.

[19] A. Fujita, H. Watanabe, R. Kurose, S. Komori, Two-dimensional direct numerical simulation of spray flames - Part 1: Effects of equivalence ratio, fuel droplet size and radiation, and validity of flamelet model, *Fuel*, 2013, Vol. 104, pp. 515-525.

流体理工学講座 流体物理学分野

流体理工学講座 分子流体力学分野

[1] T. Tsuji, K. Aoki, Gas motion in a microgap between a stationary plate and a plate oscillating in its normal direction, *Microfluidics and Nanofluidics*, 2014, Vol. 16, No. 6, pp. 1033-1045.

[2] K. Aoki, S. Takata, T. Tomota, A force acting on an oblate spheroid with discontinuous surface temperature in a slightly rarefied gas, *Journal of Fluid Mechanics*, 2014, Vol. 748, pp. 712-730.

[3] T. Tsuji, K. Aoki, Decay of a linear pendulum in a collisional gas: Spatially one-dimensional case, *Physical Review E*, 2014, Vol. 89, No. 5, p. 052129.

[4] T. Tsuji, K. Aoki, Moving boundary problems for a rarefied gas: Spatially one-dimensional case, *Journal of Computational Physics*, 2013, Vol. 250, pp. 574-600.

[5] S. Takata, H. Funagane, Singular behaviour of a rarefied gas on a planar boundary, *Journal of Fluid Mechanics*, 2013, Vol. 717, pp. 30-47.

物性工学講座 光工学分野

[1] T. Shikama, S. Ogane, H. Ishii, Y. Iida, M. Hasuo, Measurements of helium 2^3S metastable atom density in low-pressure glow discharge plasmas by self-absorption spectroscopy of HeI 2^3S-2^3P transition, *Japanese Journal of Applied Physics*, 2014, Vol. 53, No. 8, p. 086101.

[2] T. Shikama, H. Kitaoka, M. Hasuo, Detection of electron energy distribution function anisotropy in a magnetized electron cyclotron resonance plasma by using a directional Langmuir probe, *Physics of Plasmas*, 2014, Vol. 21, No. 7, p. 073510.

[3] K. Fujii, S. Atsumi, S. Watanabe, T. Shikama, M. Goto, S. Morita, M. Hasuo, Development of a high dynamic range spectroscopic system for observation of neutral hydrogen atom density distribution in Large Helical Device core plasma, *Review of Scientific Instruments*, 2014, Vol. 85, No. 2, p. 023502.

[4] O. Kaneko, H. Yamada, S. Inagaki, M. Jakubowski, S. Kajita, S. Kitajima, Kobayashi, K. Koga, T. Morisaki, S. Morita, T. Mutoh, S. Sakakibara, Y. Suzuki, H. Takahashi, K. Tanaka, K. Toi, Y. Yoshimura, T. Akiyama, Y. Asahi, N.

Ashikawa, H. Chikaraishi, A. Cooper, D.S. Darrow, E. Drapiko, P. Drewelow, X. Du, A. Ejiri, M. Emoto, T. Evans, N. Ezumi, K. Fujii, T. Fukuda, H. Funaba, M. Furukawa, D.A. Gates, M. Goto, T. Goto, W. Guttenfelder, S. Hamaguchi, M. Hasuo, T. Hino, Y. Hirooka, K. Ichiguchi, K. Ida, H. Idei, T. Ido, H. Igami, K. Ikeda, S. Imagawa, T. Imai, M. Isobe, M. Itagaki, T. Ito, K. Itoh, S. Itoh, A. Iwamoto, K. Kamiya, T. Kariya, H. Kasahara, N. Kasuya, D. Kato, T. Kato, K. Kawahata, F. Koike, S. Kubo, R. Kumazawa, D. Kuwahara, S. Lazerson, H. Lee, S. Masuzaki, S. Matsuoka, H. Matsuura, A. Matsuyama, C. Michael, D. Mikkelsen, O. Mitarai, T. Mito, J. Miyazawa, G. Motojima, K. Mukai, A. Murakami, I. Murakami, S. Murakami, T. Muroga, S. Muto, K. Nagaoka, K. Nagasaki, Y. Nagayama, N. Nakajima, H. Nakamura, Y. Nakamura, H. Nakanishi, H. Nakano, T. Nakano, K. Narihara, Y. Narushima, K. Nishimura, S. Nishimura, M. Nishiura, Y.M. Nunami, Extension of operation regimes and investigation of three-dimensional currentless plasmas in the Large Helical Device, *Nuclear Fusion*, 2013, Vol. 53, No. 10, p. 104015.

[5] S. Morita, C.F. Dong, M. Kobayashi, M. Goto, X.L. Huang, I. Murakami, T. Oishi, E.H. Wang, N. Ashikawa, K. Fujii, M. Hasuo, H. Kasahara, D. Kato, F. Koike, S. Masuzaki, H.A. Sakaue, T. Shikama, N. Yamaguchi, Effective screening of iron impurities in the ergodic layer of the Large Helical Device with a metallic first wall, *Nuclear Fusion*, 2013, Vol. 53, No. 9, p. 093017.

[6] T. Nishioka, T. Shikama, S. Nagamizo, K. Fujii, H. Zushi, M. Uchida, A. Iwamae, H. Tanaka, T. Maekawa, M. Hasuo, Development of a compact thermal lithium atom beam source for measurements of electron velocity distribution function anisotropy in electron cyclotron resonance plasmas, *Review of Scientific Instruments*, 2013, Vol. 84, No. 7, p. 073509.

[7] S. Morita, C.F. Dong, M. Goto, D. Kato, I. Murakami, H.A. Sakaue, M. Hasuo, F. Koike, N. Nakamura, T. Oishi, A. Sasaki, E.H. Wang, A study of tungsten spectra using large helical device and compact electron beam ion trap in NIFS, *AIP Conference Proceedings*, 2013, pp. 143-152.

[8] T. Shikama, P.M. Bellan, Development of a polarization resolved spectroscopic diagnostic for measurements of the vector magnetic field in the Caltech coaxial magnetized plasma jet experiment, *Review of Scientific Instruments*, 2013, Vol. 84, No. 2, p. 023507.

[9] K. Fujii, T. Shikama, M. Goto, S. Morita, M. Hasuo, Hydrogen transport diagnostics by atomic and molecular emission line profiles simultaneously measured for large helical device, *Physics of Plasmas*, 2013, Vol. 20, No. 1, p. 012514.

物性工学講座 材料物性学分野

[1] Y. Zhang, M. Liu, J. Wang, T. Shimada, T. Kitamura, Strain tunable ferroelectric and dielectric properties of BaZrO3, *Journal of Applied Physics*, 2014, Vol. 115, No. 22, p. 224107.

[2] J. Wang, T. Shimada, G. Wang, T. Kitamura, Effects of chirality and surface stresses on the bending and buckling of chiral nanowires, *Journal of Physics D: Applied Physics*, 2014, Vol. 47, No. 1, p. 015302.

[3] Wang X., T. Shimada, T. Kitamura, First-principles calculation on ferroelectricity and its coupling behavior with mechanical deformation of ultrathin PbTiO3 nanotube, *Journal of Inorganic Materials*, 2014, Vol. 29, No. 3, pp. 309-314.

[4] T. Shimada, T. Kitamura, Multi-physics properties in ferroelectric nanostructure, *Mechanical Engineering Reviews*, 2014, Vol. 1, No. 2, p. SMM0009.

[5] Q. Rong, Y. Cui, T. Shimada, J. Wang, T. Kitamura, Self-shaping of bioinspired chiral composites, *Acta Mechanica Sinica*, 2014, Vol. 30, No. 4, pp. 533-539.

[6] T. Shimada, K. Arisue, J. Wang, T. Kitamura, Ab initio study of multiferroic BiFeO3 (110) surfaces, *Physical Review B*, 2014, Vol. 89, No. 24, p. 245437.

[7] J. Wang, M. Liu, Y. Zhang, T. Shimada, S. Shi, T. Kitamura, Large electrocaloric effect induced by the multi-domain to mono-domain transition in ferroelectrics, *Journal of Applied Physics*, 2014, Vol. 115, No. 16, p. 164102.

[8] G. Li, J. Wang, T. Shimada, H. Fang, T. Kitamura, Strain-induced polarity switching of magnetic vortex in Fe1 − xGax alloys with different compositions, *Journal of Applied Physics*, 2014, Vol. 115, No. 20, p. 203911.

[9] J. Wang, Y. Cui, T. Shimada, H. Wu, T. Kitamura, Unusual winding of helices under tension, *Applied Physics Letters*, 2014, Vol. 105, No. 4, p. 043702.

[10] J. Wang, T. Xu, T. Shimada, Wang X., T. Zhang, T. Kitamura, Chiral selectivity of improper ferroelectricity in single-wall PbTiO3 nanotubes, *Physical Review B*, 2014, Vol. 89, No. 14, p. 144102.

[11] H. Fang, R. Shiohara, T. Sumigawa, T. Kitamura, Size dependence of fatigue damage in submicrometer single crystal gold, *Materials Science and Engineering A-Structural Materials Properties Microstructure and Processing*, 2014, Vol. 618, pp. 416-423.

[12] Y. Zhang, G. Li, T. Shimada, J. Wang, T. Kitamura, Disappearance of ferroelectric critical thickness in epitaxial ultrathin BaZrO3 films, *Physical Review B*, 2014, Vol. 90, No. 18, p. 184107.

[13] J. Wang, K. Nagano, T. Shimada, T. Kitamura, Strain-mediated multilevel ferroelectric random access memory operating through a magnetic field, *RSC Advances*, 2014, Vol. 4, No. 85, pp. 45382-45388.

[14] H. Yu, T. Sumigawa, T. Kitamura, A domain-

independent interaction integral for linear elastic fracture analysis of micropolar materials, *Mechanics of Materials*, 2014, Vol. 74, pp. 1-13.

[15] T. Sumigawa, K. Matsumoto, H. Fang, T. Kitamura, Formation of slip bands in poly-crystalline nano-copper under high-cycle fatigue of fully-reversed loading, *Materials Science and Engineering A-Structural Materials Properties Microstructure and Processing*, 2014, Vol. 608, pp. 221-228.

[16] E. Kawai, K. Sanada, T. Sumigawa, T. Kitamura, Delamination crack initiation from copper/silicon nitride interface edge with nanoscale singular stress field, *Engineering Fracture Mechanics*, 2014, Vol. 120, pp. 60-66.

[17] T. Sumigawa, K. Matsumoto, T. Kitamura, Effect of Microscopic Structure on High-cycle Fatigue Behavior in Nano-components, *11th International Fatigue Congress, Pts 1 and 2*, 2014, Vol. 891-892, pp. 1705-1710.

[18] H. Wu, G. Chai, T. Zhou, Z. Zhang, T. Kitamura, H. Zhou, Adjustable magnetoelectric effect of self-assembled vertical multiferroic nanocomposite films by the in-plane misfit strain and ferromagnetic volume fraction, *Journal of Applied Physics*, 2014, Vol. 115, No. 11, p. 114105.

[19] Y. Yan, T. Sumigawa, L. Guo, T. Kitamura, Strength evaluation of a selected interface in multi-layered nano-material, *Engineering Fracture Mechanics*, 2014, Vol. 116, pp. 204-212.

[20] 有末 紘, 嶋田 隆広, 北村 隆行, マルチフェロイクス BiFeO の強誘電性-強磁性間相互作用に関する第一原理解析 (特集 分子動力学), 材料, 2014, Vol. 63, No. 2, pp. 168-173.

[21] 有末 紘, 嶋田 隆広, 北村 隆行, =T("マルチフェロイクス BiFeO3の強誘電性ー強磁性間相互作用に関する第一原理解析"), 材料, 2014, Vol. 63, No. 2, pp. 168-173.

[22] 有末 紘, 嶋田 隆広, 北村 隆行, マルチフェロイクス $BiFeO_3$ 強誘電性-強磁性間相互作用に関する第一原理解析 (特集 分子動力学), 材料, 2014, Vol. 63, No. 2, pp. 168-173.

[23] T. Abe, Characteristic Polynomials, eta-Complexes, and Freeness of Tame Arrangements, *Michigan Mathematical Journal*, 2013, Vol. 62, No. 1, pp. 117-130.

[24] J. Wang, G. Li, T. Shimada, H. Fang, T. Kitamura, Control of the polarity of magnetization vortex by torsion, *Applied Physics Letters*, 2013, Vol. 103, No. 24, p. 242413.

[25] J. Wang, Z. Chen, T. Shimada, T. Kitamura, Unusual domain evolution in semiconducting ferroelectrics: A phase field study, *Physics Letters A*, 2013, Vol. 377, No. 25-26, pp. 1643-1648.

[26] T. Xu, J. Wang, T. Shimada, T. Kitamura, Direct approach for flexoelectricity from first-principles calculations: cases for SrTiO3 and BaTiO3, *Journal of Physics-Condensed Matter*, 2013, Vol. 25, No. 41, p. 415901.

[27] J. Wang, W. Shu, T. Shimada, T. Kitamura, T.-. Zhang, Role of grain orientation distribution in the ferroelectric and ferroelastic domain switching of ferroelectric polycrystals, *Acta Materialia*, 2013, Vol. 61, No. 16, pp. 6037-6049.

[28] T. Abe, Chambers of 2-affine arrangements and freeness of 3-arrangements, *Journal of Algebraic Combinatorics*, 2013, Vol. 38, No. 1, pp. 65-78.

[29] J. Wang, J. Zhang, T. Shimada, T. Kitamura, Effect of strain on the evolution of magnetic multivortices in ferromagnetic nano-platelets, *Journal of Physics-Condensed Matter*, 2013, Vol. 25, No. 22, p. 226002.

[30] T. Shimada, X. Wang, T. Kitamura, Multiphysics analysis of nano-structured ferroelectrics by first-principles simulations, *Acta Mechanica*, 2013, Vol. 224, No. 6, pp. 1261-1270.

[31] T. Shimada, J. Okuno, T. Kitamura, Chiral Selectivity of Unusual Helimagnetic Transition in Iron Nanotubes: Chirality Makes Quantum Helimagnets, *Nano Letters*, 2013, Vol. 13, No. 6, pp. 2792-2797.

[32] T. Shimada, T. Ueda, J. Wang, T. Kitamura, Hybrid Hartree-Fock density functional study of charged point defects in ferroelectric PbTiO3, *Physical Review B*, 2013, Vol. 87, No. 17, p. 174111.

[33] T. Sumigawa, R. Shiohara, K. Matsumoto, T. Kitamura, Characteristic features of slip bands in submicron single-crystal gold component produced by fatigue, *Acta Materialia*, 2013, Vol. 61, No. 7, pp. 2692-2700.

[34] T. Sumigawa, T. Nakano, T. Kitamura, Effect of microscopic structure on deformation in nano-sized copper and Cu/Si interfacial cracking, *Thin Solid Films*, 2013, Vol. 531, pp. 362-372.

[35] X. Wang, S. Tomoda, T. Shimada, T. Kitamura, Ferroelectricity at a junction structure of a 180 degrees domain wall and a (001) surface in PbTiO3: A density functional theory study, *Physica B-Condensed Matter*, 2013, Vol. 410, pp. 22-27.

[36] 澄川 貴志, Y. Yabin, 中野 拓哉, 北村 隆行, ナノロッドの引張試験手法の開発, 材料, 2013, Vol. 62, No. 11, pp. 695-701.

[37] 杵渕 雅男, 北村 隆行, 熱延高張力鋼板におけるシャー切断面の疲労強度に関する研究, 材料, 2013, Vol. 62, No. 12, pp. 764-769.

[38] 杵渕 雅男, 北村 隆行, 熱延高張力鋼板におけるシャー切断面の疲労強度に関する研究（その２ シェービング加工による疲労強度の改善効果）, 日本機械学会論文集A編, 2013, Vol. 79, No. 808, pp. 1832-1839.

[39] 嶋田 隆広, (7) 原子・電子シミュレーションによるナノ強誘電体のマルチフィジックス特性の研究 (研究奨励, 日本機械学会賞〔2012 年度 (平成 24 年度) 審査経過報告〕), 日本機械学會誌, 2013, Vol. 116, No. 1134, p. 304.

物性工学講座 熱物理工学分野

[1] M. Ide, M. Matsumoto, Tribology of polymer brush: microscale modelling and simulation, *Molecular Simulation*, 2014, Vol. 41, No. 10-12, pp. 942-947.

[2] I. Ikeda, M. Matsumoto, Charged colloidal system: Small ion distribution and effective interaction, *Colloids and Surfaces A-Physicochemical and Engineering Aspects*, 2014, Vol. 440, pp. 34-41.

[3] 若林 英信, 牧野 俊郎, 生活空間を構成する表面の垂直入射吸収率スペクトルの測定, 熱物性, 2014, Vol. 25, No. 1, pp. 8-14.

[4] 若林 英信, 畑 斉樹, 牧野 俊郎, 高吸放湿性・高熱伝導性の大鋸屑室内付設壁板の熱・ふく射・物質輸送性質, 熱物性, 2014, Vol. 27, No. 3, pp. 106-114.

[5] 若林 英信, 畑 斉樹, 牧野 俊郎, 高吸放湿性・高熱伝導性の大鋸屑室内付設壁板の熱・ふく射・物質輸送性質, 熱物性, 2013, Vol. 27, No. 3, pp. 106-114.

機械力学講座 振動工学分野

[1] H. Tsuchida, T. Majima, S. Tomita, K. Sasa, K. Narumi, Y. Saitoh, A. Chiba, K. Yamada, K. Hirata, H. Shibata, A. Itoh, Transmission properties of C-60 ions through micro- and nano-capillaries, *Nuclear Instruments & Methods in Physics Research Section B-Beam Interactions With Materials and Atoms*, 2013, Vol. 315, pp. 336-340.

機械力学講座 メカトロニクス分野

[1] Kazuya Y., Hiroaki F., Kazuyuki K., Fumitoshi M., Control of a Group of Mobile Robots Based on Formation Abstraction and Decentralized Locational Optimization, *IEEE Transactions on Robotics*, 2014, Vol. 30, No. 3, pp. 550-565.

[2] Motoyasu T., Fumitoshi M., Modeling and Control of Head Raising Snake Robots by Using Kinematic Redundancy, *Journal of Intelligent and Robotic Systems*, 2014, Vol. 75, No. 1, pp. 53-69.

[3] R. Ariizumi, M. Tesch, H. Choset, F. Matsuno, Expensive Multiobjective Optimization for Robotics with Consideration of Heteroscedastic Noise, *2014 IEEE/RSJ International Conference on Intelligent Robots and Systems (IROS 2014)*, 2014, pp. 2230-2235.

[4] 田中基康, 星野恵一, 福島宏明, 松野文俊, ヘビ型ロボットの接地部反力を考慮した跳躍制御, 日本ロボット学会誌, 2014, Vol. 32, No. 4, pp. 386-394.

[5] 梅本和希, 池田拓也, 松野文俊, スライディングモード制御によるマ ルチロータ型 UAV のロバスト追従制御, 計測自動制御 学会論文集, 2014, Vol. 50, No. 2, pp. 170-176.

[6] 五十嵐広希, 木村哲也, 松野文俊, 移動ロボットの屋外公共空間を用いた実証実験におけるリスクマネジメント手法 ―「つくばチャレンジ」における事例分析―, 日本ロボット学会誌, 2014, Vol. 32, No. 5, pp. 473-480.

[7] Yueqian L., Yingmin J., Junping D., Fumitoshi M., Cooperative Bicircular Target Tracking Using Multiple Unmanned Aerial Vehicles, *Proc. IEEE Conference on Decision and Control*, 2014, pp. 982-987.

[8] Sromona C., Timo N., Florentin W., Minija T., Poramate M., Yoshihide E., Ryo A., Fumitoshi M., Reinforcement Learning Approach to Generate Goal-directed Locomotion of a Snake-Like Robot with Screw-Drive Units, *International Conference on Robitics in Alpe-Adria-Danube Region, (RAAD2014)*, 2014, 14841387.

[9] Ryosuke M., Sira S., Hisashi M., Kazuyuki K., Fumitoshi M., Teleoperation System using Past Image Records for Mobile Manipulator, *Proc. IEEE/RSJ International Conference on Intelligent Robots and Systems (IROS2014)*, 2014, pp. 4340-4345.

[10] Hongji M., Yingmin J., Junping D., Fumitoshi M., Stochastic Bounded Real Lemma for Switched Stochastic Systems with Average Dwell Time, *Proc. IEEE Conference on Decision and Control*, 2014, pp. 4216-4221.

[11] R. Fujisawa, S. Dobata, K. Sugawara, F. Matsuno, Designing pheromone communication in swarm robotics: Group foraging behavior mediated by chemical substance, *Swarm Intelligence*, 2014, Vol. 8, No. 3, pp. 227-246.

[12] X. Chen, Y. Jia, F. Matsuno, Tracking Control for Differential-Drive Mobile Robots With Diamond-Shaped Input Constraints, *IEEE Transactions on Control Systems Technology*, 2014, Vol. 22, No. 5, pp. 1999-2006.

[13] M. Tanaka, F. Matsuno, Modeling and Control of Head Raising Snake Robots by Using Kinematic Redundancy, *Journal of Intelligent & Robotic Systems*, 2014, Vol. 75, No. 1, pp. 53-69.

[14] B. Zhang, Y. Jia, F. Matsuno, Finite-time observers for multi-agent systems without velocity measurements and with input saturations, *Systems & Control Letters*, 2014, Vol. 68, pp. 86-94.

[15] K. Yoshida, H. Fukushima, K. Kon, F. Matsuno, Control of a Group of Mobile Robots Based on Formation Abstraction and Decentralized Locational Optimization, *IEEE Transactions on Robotics*, 2014, Vol. 30, No. 3, pp. 550-565.

[16] T. Endo, F. Matsuno, H. Kawasaki, Force control and exponential stabilisation of one-link flexible arm, *International Journal of Control*, 2014, Vol. 87, No. 9, pp. 1794-1807.

[17] M. Tanaka, F. Matsuno, Control of snake robots with switching constraints: trajectory tracking with moving obstacle, *Advanced Robotics*, 2014, Vol. 28, No. 6, pp. 415-429.

[18] S. Toyoshima, M. Tanaka, F. Matsuno, A Study on Sinus-Lifting Motion of a Snake Robot With Sequential Optimization of a Hybrid System, *IEEE Transactions on Automation Science and Engineering*, 2014, Vol. 11, No. 1, pp. 139-144.

[19] 田中 基康, 星野 恵一, 福島 宏明, 松野 文俊, ヘビ型ロボットの接地部反力を考慮した跳躍制御, 日本ロボット学会誌, 2014, Vol. 32, No. 4, pp. 386-394.

[20] 梅本 和希, 池田 拓也, 松野 文俊, スライディングモード制御によるマルチロータ型 UAV のロバスト追従制御, 計測自動制御学会論文集, 2014, Vol. 50, No. 2, pp. 170-176.

[21] 五十嵐 広希, 木村 哲也, 松野 文俊, 移動ロボットの屋外公共空間を用いた実証実験におけるリスクマネジメント手法：「つくばチャレンジ」における事例分析, 日本ロボット学会誌, 2014, Vol. 32, No. 5, pp. 473-480.

[22] 五十嵐 広希, 木村 哲也, 松野 文俊, 移動ロボットの屋外公共空間を用いた実証実験におけるリスクマネジメント手法:—「つくばチャレンジ」における事例分析—, 日本ロボット学会誌, 2014, Vol. 32, No. 5, pp. 473-480.

[23] 有泉 亮, テッシュ マシュー, チョセット ハウィー, 松野 文俊, 入力依存ノイズを考慮した応答曲面法に基づく多目的最適化, 計測自動制御学会論文集, 2014, Vol. 50, No. 11, pp. 792-800.

[24] 遠藤 孝浩, 松野 文俊, 分布定数系で表現される 1 次元柔軟機械構造物と制御 (分布定数系の世界への誘い 特集号), システム/制御/情報：システム制御情報学会誌, 2014, Vol. 58, No. 9, pp. 371-377.

[25] R. Ariizumi, F. Matsuno, Dynamical Analysis of Sidewinding Locomotion by a Snake-Like Robot, *2013 IEEE International Conference on Robotics and Automation (ICRA)*, 2013, pp. 5149-5154.

[26] Y. Ambe, T. Nachstedt, P. Manoonpong, F. Woergoetter, S. Aoi, F. Matsuno, Stability Analysis of a Hexapod Robot Driven by Distributed Nonlinear Oscillators with a Phase Modulation Mechanism, *2013 IEEE/RSJ International Conference on Intelligent Robots and Systems (IROS)*, 2013, pp. 5087-5092.

[27] R. Yamasaki, Y. Ambe, S. Aoi, F. Matsuno, Quadrupedal Bounding with Spring-damper Body Joint, *2013 IEEE/RSJ International Conference on Intelligent Robots and Systems (IROS)*, 2013, pp. 2345-2350.

[28] J. Ma, Y. Zhang, Y. Nam, A. Cichocki, F. Matsuno, EOG/ERP Hybrid Human-Machine Interface for Robot Control, *2013 IEEE/RSJ International Conference on Intelligent Robots and Systems (IROS)*, 2013, pp. 859-864.

[29] H. Fukushima, K. Kon, F. Matsuno, Model Predictive Formation Control Using Branch-and-Bound Compatible With Collision Avoidance Problems, *IEEE Transactions on Robotics*, 2013, Vol. 29, No. 5, pp. 1308-1317.

[30] 坂井 大斗, 福島 宏明, 松野 文俊, 近傍のロボットと障害物の識別を必要としない移動ロボット群の制御アルゴリズム，計測自動制御学会論文集, 計測自動制御学会誌, 2013, Vol. 49, No. 8, pp. 787-794.

[31] H. Fukushima, M. Kakue, K. Kon, F. Matsuno, Transformation Control to an Inverted Pendulum for a Mobile Robot With Wheel-Arms Using Partial Linearization and Polytopic Model Set, *IEEE Transactions on Robotics*, 2013, Vol. 29, No. 3, pp. 774-783.

[32] 坂井 大斗, 福島 宏明, 松野 文俊, 近傍のロボットと障害物の識別を必要としない移動ロボット群の制御アルゴリズム, 計測自動制御学会論文集, 2013, Vol. 49, No. 8, pp. 787-794.

機械力学講座 機械機能要素工学分野

[1] S. Fang, X. Zhu, P. Yang, Q. Cai, M. Komori, A. Kubo, Affect of interference fringe width for processing accuracy and its recognition in measuring form deviation of tooth flank with laser interferometry, *Optics Communications*, 2014, Vol. 328, pp. 49-56.

[2] S. Fang, X. Zhu, P. Yang, Q. Cai, M. Komori, A. Kubo, Analysis and compensation method for installation error in measuring gear tooth flank with laser interferometry, *Optical Engineering*, 2014, Vol. 53, No. 8, p. 084111.

[3] R. Takeda, M. Komori, T. Nishino, Y. Kimura, T. Nishino, K. Okuda, S. Yamamoto, Performance analysis of generated hypoid gear based on measured tooth flank form data, *Mechanism and Machine Theory*, 2014, Vol. 72, pp. 1-16.

[4] 森川 邦彦, 永原 幹雄, 熊谷 幸司, 小森 雅晴, 松本 將, コニカルギヤのかみ合い効率解析, 日本機械学会論文集, 2014, Vol. 80, No. 815, pp. DSM0211-DSM0211.

[5] 熊谷 幸司, 森川 邦彦, 永原 幹雄, 小森 雅晴, 遊星歯車機構の伝達誤差に及ぼすミスアライメントの時間変化の影響, 日本機械学会論文集, 2014, Vol. 80, No. 814, pp. DSM0175-DSM0175.

[6] J. Kang, M. Komori, Uninterrupted Transmission System for Realizing High Flexibility in Design of Angular Velocity Ratio, *Journal of Advanced Mechanical Design Systems and Manufacturing*, 2013, Vol. 7, No. 2, pp. 140-155.

[7] P. Yang, S. Fang, X. Zhu, M. Komori, A. Kubo, Autofocusing algorithm of interferogram based on object image and registration technology, *Applied Optics*, 2013, Vol. 52, No. 36, p. 8723.

[8] P. Yang, S. Fang, L. Meng, X. Zhu, M. Komori, A. Kubo, Shield analysis and non-rigid match in positioning the actual interferogram on the tooth flank based on oblique incidence interferometry, *Optik - International Journal for Light and Electron Optics*, 2013, Vol. 124, No. 20, pp. 4307-4312.

[9] 森川 邦彦, 熊谷 幸司, 永田 真範, 上田 泉, 小森 雅晴, コニカルギヤの歯面強度解析, 日本機械学会論文集C編, 2013, Vol. 79, No. 804, pp. 2952-2959.

バイオエンジニアリング講座 先端イメージング工学分野

[1] Y. Murayama, J.A. Toque, P. Zhang, A. Ide-Ektessabi, Bayesian estimation of device spectral sensitivities and its application for improvement

of color accuracy using color balancing filter, *Proceedings of SPIE-IS&T Electronic Imaging*, 2013, Vol. 8660, p. 86600Q.

[2] Y. Murayama, P. Zhang, A. Ide-Ektessabi, Bayesian Estimation of Camera Characteristics including Spectral Sensitivities from a Color Chart Image without Manual Parameter Tuning, *VISAPP 2013 - Proceedings of The International Conference on Computer Vision Theory and Applications*, 2013, Vol. 1, pp. 15-22.

[3] Y. Murayama, A. Ide-Ektessabi, Experimental Evaluation of Bayesian Image Reconstruction Combined with Spatial-Superresolution and Spectral Reflectance Recovery, *VISAPP 2013 - Proceedings of The International Conference on Computer Vision Theory and Applications*, 2013, Vol. 1, pp. 139-142.

バイオエンジニアリング講座 医療工学分野

[1] A. Otaka, K. Takahashi, Y.S. Takeda, Y. Kambe, Y. Kuwana, Y. Tamada, N. Tomita, Quantification of Cell Co-Migration Occurrences During Cell Aggregation on Fibroin Substrates, *Tissue Engineering Part C-Methods*, 2014, Vol. 20, No. 8, pp. 671-680.

[2] S. Xu, H. Okano, M. Nakajima, N. Hatano, N. Tomita, Y. Ikada, Static Magnetic Field Effects on Impaired Peripheral Vasomotion in Conscious Rats, *Evidence-Based Complementary and Alternative Medicine*, 2013, Vol. 2013, pp. 746968-6.

[3] K. Oe, S. Jingushi, H. Iida, N. Tomita, Evaluation of the clinical performance of ultrahigh molecular weight polyethylene fiber cable using a dog osteosynthesis model, *Bio-Medical Materials and Engineering*, 2013, Vol. 23, No. 5, pp. 329-338.

[4] Y. Harada, K. Kadono, T. Terao, M. Suzuki, Y. Ikada, N. Tomita, Helical Conformation Endows Poly-L-Lactic Acid Fibers with a Piezoelectric Charge under Tensile Stress, *Journal of Veterinary Medical Science*, 2013, Vol. 75, No. 9, pp. 1187-1192.

[5] A. Otaka, N.D. Kachi, N. Hatano, Y. Kuwana, Y. Tamada, N. Tomita, Observation and Quantification of Chondrocyte Aggregation Behavior on Fibroin Surfaces Using Voronoi Partition, *Tissue Engineering Part C-Methods*, 2013, Vol. 19, No. 5, pp. 396-404.

[6] C.L. Bladen, S. Teramura, S.L. Russell, K. Fujiwara, J. Fisher, E. Ingham, N. Tomita, J.L. Tipper, Analysis of wear, wear particles, and reduced inflammatory potential of vitamin E ultrahigh-molecular-weight polyethylene for use in total joint replacement, *Journal of Biomedical Materials Research Part B-Applied Biomaterials*, 2013, Vol. 101B, No. 3, pp. 458-466.

[7] T. Hashimoto, K. Kojima, A. Otaka, Y.S. Takeda, N. Tomita, Y. Tamada, Quantitative Evaluation of Fibroblast Migration on a Silk Fibroin Surface and TGFBI Gene Expression, *Journal of Biomaterials Science-Polymer Edition*, 2013, Vol. 24, No. 2, pp. 158-169.

粒子線物性工学講座 粒子線材料工学分野

[1] A.Z.M.S. Rahman, Z. Li, X. Cao, B. Wang, L. Wei, Q. Xu, K. Atobe, Positron annihilation study of vacancy-type defects in fast-neutron-irradiated MgO center dot nAl(2)O(3), *Nuclear Instruments & Methods in Physics Research Section B-Beam Interactions With Materials and Atoms*, 2014, Vol. 335, pp. 70-73.

[2] A. Kinomura, T. Yoshiie, A. Chayahara, Y. Mokuno, N. Tsubouchi, Y. Horino, Q. Xu, K. Sato, K. Yasuda, R. Ishigami, Neutron-enhanced annealing of ion-implantation induced damage in silicon heated by nuclear reactions, *Nuclear Instruments & Methods in Physics Research Section B-Beam Interactions With Materials and Atoms*, 2014, Vol. 334, pp. 48-51.

[3] Q. Xu, Y. Sugiura, X.Q. Pan, K. Sato, T. Yoshiie, Effects of dislocation-trapped helium on mechanical properties of Fe, *Materials Science and Engineering A-Structural Materials Properties Microstructure and Processing*, 2014, Vol. 612, pp. 41-45.

[4] K. Sato, S. Kawamoto, K. Ikemura, V. Krsjak, C. Vieh, R. Brun, Q. Xu, T. Yoshiie, Y. Dai, Positron annihilation spectroscopy of ferritic/martensitic steels F82H and T91 irradiated with protons and neutrons at PSI, *Journal of Nuclear Materials*, 2014, Vol. 450, No. 1-3, pp. 59-63.

[5] T. Yoshiie, K. Fukumoto, Y. Ishi, D. Ito, Y. Kuriyama, T. Misawa, Y. Mori, T. Nagasaka, K. Nakajima, Y. Oki, C.H. Pyeon, Y. Saito, K. Sato, X. Shen, S. Shibata, T. Uesugi, Q. Xu, Studies on ADS as a neutron source at the Kyoto University Research Reactor Institute, *Journal of Nuclear Materials*, 2014, Vol. 450, No. 1-3, pp. 16-26.

[6] A.Z.M.S. Rahman, L. Wei, T. Yang, Q. Xu, K. Atobe, Anomalous temperature dependence of near-infrared photoluminescence band in neutron-irradiated alpha-Al2O3, *Physica Status Solidi A-Applications and Materials Science*, 2014, Vol. 211, No. 7, pp. 1535-1538.

[7] S.S. Huang, X.Q. Pan, K. Sato, Q. Xu, T. Yoshiie, Early stage irradiation effects in F82H model alloys, *Journal of Nuclear Materials*, 2014, Vol. 449, No. 1-3, pp. 248-251.

[8] Y. Ohkubo, A. Taniguchi, Q. Xu, M. Tanigaki, K. Sato, Studies of interaction between He and elements with mass number 140 in Fe by time-differential perturbed-angular-correlation measurements, *Philosophical Magazine Letters*, 2014, Vol. 94, No. 8, pp. 470-477.

[9] Q. Xu, K. Sato, T. Yoshiie, T. Sano, H. Kawabe, Y. Nagai, K. Nagumo, K. Inoue, T. Toyama, N. Oshima, A. Kinomura, Y. Shirai, Positron beam facility at Kyoto University Research Reactor, *13th International Workshop on Slow Positron Beam Techniques and Applications (SLOPOS13)*, 2014, Vol. 505, p. 012030.

[10] K. Sato, Q. Xu, X.Z. Cao, P. Zhang, B.Y. Wang, H. Tsuchida, Formation of Cu precipitates in

a high-energy-particle-irradiated and thermally aged Fe-0.6% Cu alloy, *13th International Workshop on Slow Positron Beam Techniques and Applications (SLOPOS13)*, 2014, Vol. 505, p. 012011.

[11] A.Z.M.S. Rahman, X. Cao, L. Wei, B. Wang, H. Ji, T. Yang, Q. Xu, K. Atobe, Neutron-irradiation-induced near-infrared emission in alpha-Al2O3, *Philosophical Magazine Letters*, 2014, Vol. 94, No. 4, pp. 211-216.

[12] N. Liu, J. Huang, K. Sato, Q. Xu, L.Q. Shi, Y.X. Wang, Hydrogen trapping under the effect of W-C mixed layers, *Nuclear Fusion*, 2014, Vol. 54, No. 3, p. 033013.

[13] T. Yoshiie, K. Sato, Q. Xu, Y. Ishi, T. Uesugi, Y. Kuriyama, Y. Mori, Comparison between In-Situ and Post-Irradiation Cyclic Deformation Structures in Ni by 150 MeV Proton Irradiation, *Materials Transactions*, 2014, Vol. 55, No. 3, pp. 434-437.

[14] Q. Xu, H. Yamasaki, Y. Sugiura, K. Sato, T. Yoshiie, Effects of interactions between dislocations and/or vacancies and He atoms on mechanical property changes in Ni, *Materials Science and Engineering A-Structural Materials Properties Microstructure and Processing*, 2013, Vol. 586, pp. 231-235.

[15] Q. Xu, K. Sato, X.Z. Cao, P. Zhang, B.Y. Wang, T. Yoshiie, H. Watanabe, N. Yoshida, Interaction of deuterium with vacancies induced by ion irradiation in W, *Nuclear Instruments & Methods in Physics Research Section B-Beam Interactions With Materials and Atoms*, 2013, Vol. 315, pp. 146-148.

[16] K. Fukumoto, M. Iwasaki, Q. Xu, Recovery process of neutron-irradiated vanadium alloys in post-irradiation annealing treatment, *Journal of Nuclear Materials*, 2013, Vol. 442, No. 1-3, pp. S360-S363.

[17] M. Horiki, T. Yoshiie, S.S. Huang, K. Sato, X.Z. Cao, Q. Xu, T.D. Troev, Effects of alloying elements on defect structures in the incubation period for void swelling in austenitic stainless steels, *Journal of Nuclear Materials*, 2013, Vol. 442, No. 1-3, pp. S813-S816.

[18] Y. Satoh, Y. Matsuda, T. Yoshiie, M. Kawai, H. Matsumura, H. Iwase, H. Abe, S.W. Kim, T. Matsunaga, Defect clusters formed from large collision cascades in fcc metals irradiated with spallation neutrons, *Journal of Nuclear Materials*, 2013, Vol. 442, No. 1-3, pp. S768-S772.

[19] K. Sato, X.Z. Cao, T. Yoshiie, Q. Xu, C. Kutsukake, C. Konno, Microstructure of Ni fatigued under neutron irradiation, *Journal of Nuclear Materials*, 2013, Vol. 442, No. 1-3, pp. S805-S808.

[20] K. Sato, Q. Xu, T. Yoshiie, Effects of Sn on defect structures in high-speed deformed Ni-Sn alloy, *Philosophical Magazine Letters*, 2013, Vol. 93, No. 10, pp. 567-574.

[21] Q. Xu, K. Sato, T. Yoshiie, Investigation of the interaction of He and D in FeBSi alloy, *Philosophical Magazine Letters*, 2013, Vol. 93, No. 9, pp. 560-565.

[22] S.S. Huang, T. Yoshiie, Q. Xu, K. Sato, T.D. Troev, Positron annihilation studies of electron-irradiated F82H model alloys, *Journal of Nuclear Materials*, 2013, Vol. 440, No. 1-3, pp. 617-621.

[23] G.T. Dang, T. Kawaharamura, N. Nitta, T. Hirao, T. Yoshiie, M. Taniwaki, Reflectance, transmittance, and absorbance of ZnO implanted with 60 keV Sn+ ions, *Surface & Coatings Technology*, 2013, Vol. 229, pp. 125-129.

[24] N. Nitta, T. Hasegawa, H. Yasuda, K. Sato, Q. Xu, T. Yoshiie, M. Taniwaki, A. Hatta, Beam flux dependence of ion-irradiation-induced porous structures in III-V compound semiconductors, *Radiation Effects and Defects in Solids*, 2013, Vol. 168, No. 4, pp. 247-252.

[25] 波多野 雄治, 大矢 恭久, 原 正憲, 小田 卓司, 大塚 哲平, 佐藤 紘一, 張 鯤, 4.1 照射・トリチウム複合効果 (4. 照射複合効果に関する研究, 日米科学技術協力事業 TITAN プロジェクト), プラズマ・核融合学会誌, 2013, Vol. 89, No. 11, pp. 725-730.

[26] 義家 敏正, 二川 正敏, 直江 崇, 小松 正雄, 佐藤 紘一, 徐 虬, 川合 將義, MIMTM を用いた水銀キャビテーションによる金属の壊食損傷構造, まてりあ : 日本金属学会会報, 2013, Vol. 52, No. 8, pp. 390-394.

粒子線物性工学講座 中性子物理工学分野

[1] D.S. Adipranoto, T. Ishigaki, A. Hoshikawa, K. Iwase, M. Yonemura, K. Mori, T. Kamiyama, Y. Morii, M. Hayashi, Neutron diffraction studies on structural effect for Ni-doping in LiCo1-xNixO2, *Solid State Ionics*, 2014, Vol. 262, pp. 92-97.

[2] Y. Onodera, T. Usuki, T. Nasu, S. Kohara, Structure of silver bromide doped chalcogenide glasses, *Solid State Ionics*, 2014, Vol. 262, pp. 469-471.

[3] K. Iwase, N. Terashita, K. Mori, S. Tashiro, H. Yokota, T. Suzuki, Effects of Mg substitution on crystal structure and hydrogenation properties of Pr1-xMgxNi3, *International Journal of Hydrogen Energy*, 2014, Vol. 39, No. 24, pp. 12773-12777.

[4] K. Sato, Q. Xu, X.Z. Cao, P. Zhang, B.Y. Wang, H. Tsuchida, Formation of Cu precipitates in a high-energy-particle-irradiated and thermally aged Fe-0.6% Cu alloy, *13th International Workshop on Slow Positron Beam Techniques and Applications (SLOPOS13)*, 2014, Vol. 505, p. 012011.

[5] 福永 俊晴, 受賞記事 中性子を用いたアモルファス・ナノ結晶材料の構造学的研究, 波紋 : *Neutron network news*, 2014, Vol. 24, No. 2, pp. 94-99.

[6] K. Mori, K. Iwase, Y. Nishikawa, M. Sugiyama, Y. Oba, T. Fukunaga, Small-angle neutron scattering observation of the surface structure of Ti0.31Cr0.33V0.36 alloy in hydrogenation, *Journal of Alloys and Compounds*, 2013, Vol. 580, pp. S18-S20.

[7] K. Mori, T. Ichida, K. Iwase, T. Otomo, S. Kohara, H. Arai, Y. Uchimoto, Z. Ogumi, Y. Onodera, T. Fukunaga, Visualization of conduction pathways in lithium superionic conductors: Li2S-P2S5 glasses and Li7P3S11 glass-ceramic, *Chemical Physics Letters*, 2013, Vol. 584, pp. 113-118.

[8] 小野寺 陽平, 受賞記事 中性子散乱による超イオン伝導体の構造に関する研究, 波紋, 2013, Vol. 23, No. 3, pp. 197-203.

[9] 福永 俊晴, 小野寺 陽平, 森 一広, リチウム系超イオン伝導体の構造, 溶融塩および高温化学, 2013, Vol. 56, No. 1, pp. 27-32.

[10] 荒井 創, 森 一広, 小野寺 陽平, 福永 俊晴, 米村 雅雄, 神山 崇, 長尾 美紀, 石川 喜久, 鳥居 周輝, 世界初の蓄電池専用中性子ビームライン BL09/SPICA を用いた解析への期待, 自動車技術, 2013, Vol. 67, No. 7, pp. 108-109.

マイクロエンジニアリング専攻

構造材料強度学講座

ナノシステム創成工学講座 ナノメトリックス工学分野

[1] H. Shintaku, J.W. Palko, G.M. Sanders, J.G. Santiago, Increasing Hybridization Rate and Sensitivity of Bead-Based Assays Using Isotachophoresis, *Angewandte Chemie International Edition*, 2014, Vol. 53, No. 50, pp. 13813-13816.

[2] T. Matsumura, K. Tatsumi, Y. Noda, N. Nakanishi, A. Okonogi, K. Hirano, L. Li, T. Osumi, T. Tada, H. Kotera, Single-cell cloning and expansion of human induced pluripotent stem cells by a microfluidic culture device, *Biochemical and Biophysical Research Communications*, 2014, Vol. 453, No. 1, pp. 131-137.

[3] J. Ikuta, K.N. Kamisetty, H. Shintaku, H. Kotera, T. Kon, R. Yokokawa, Tug-of-War of Microtubule Filaments at the Boundary of a Kinesin- and Dynein-Patterned Surface, *Sci. Rep.*, 2014, Vol. 4, p. 5281.

[4] H. Shintaku, H. Nishikii, L.A. Marshall, H. Kotera, J.G. Santiago, On-Chip Separation and Analysis of RNA and DNA from Single Cells, *Analytical Chemistry*, 2014, Vol. 86, No. 4, pp. 1953-1957.

[5] K. Terao, M. Gel, A. Okonogi, A. Fuke, T. Okitsu, T. Tada, T. Suzuki, S. Nagamatsu, M. Washizu, H. Kotera, Subcellular glucose exposure biases the spatial distribution of insulin granules in single pancreatic beta cells, *Scientific Report*, 2014, Vol. 4, No. 4, p. 4123.

[6] H. Shintaku, K. Hakamada, H. Fujimoto, T. Nagata, J. Miyake, a.S. Kawano, Measurement of Local Electric Field in Microdevices for Low-Voltage Electroporation of Adherent Cells, *Microsystem Technologies*, 2014, Vol. 20, No. 2, pp. 303-313.

[7] C.M. Tarhan, Y. Orazov, R. Yokokawa, L.S. Karsten, H. Fujita, Biosensing Maps as "Roadblocks": Kinesin-Based Functional Analysis of Tau Protein Isoforms and Mutants Using Suspended Microtubules (Smts), *Lab Chip*, 2013, Vol. 13, No. 16, pp. 3217-3224.

[8] J.S. Kim, R. Yokokawa, S. Takayama, Microfluidic Oscillators with Widely Tunable Periods, *Lab Chip*, 2013, Vol. 13, No. 8, pp. 1644-1648.

[9] N.K. Kamisetty, J. Ikuta, H. Kotera, R. Yokokawa, Microtubule Motility Powered by Dual Motor Protein System and Their Electrical Docking, *Asian Journal of Chemistry*, 2013, Vol. 25, pp. S308-S310.

[10] C.M. Tarhan, Y. Orazov, R. Yokokawa, L.S. Karsten, H. Fujita, Suspended Microtubules Demonstrate High Sensitivity and Low Experimental Variability in Kinesin Bead Assay, *The Analyst*, 2013, Vol. 138, No. 6, pp. 1653-1656.

[11] T. Tateno, J. Nishikawa, N. Tsuchioka, H. Shintaku, a.S. Kawano, Hardware Model of the Auditory Periphery to Transduce Acoustic Signals into Neural Activity, *Frontiers 2 in Neuroengineering*, 2013, Vol. 6, p. doi: 103389/fneng.1013.00012.

[12] H. Shintaku, T. Kobayashi, K. Zusho, H. Kotera, a.S. Kawano, Wide-Range Frequency Selectivity in Acoustic Sensor Fabricated Using Microbeam Array with Non-uniform Thickness, *Journal of Miromechanics and Microengineering*, 2013, Vol. 23, pp. 115014-1.

[13] H. Shintaku, T. Inaoka, T. Nakagawa, S. Kawano, J. Ito, Electrically evoked auditory brainstem response by using bionic auditory membrane in guinea Pigs, *Journal of Biomechanical Science and Engineering*, 2013, Vol. 8, No. 3, pp. 198-208.

[14] C.M. Tarhan, R. Yokokawa, O.F. Morin, H. Fujita, Specific Transport of Target Molecules by Motor Proteins in Microfluidic Channels, *ChemPhysChem : A European Journal of Chemical Physics and Physical Chemistry*, 2013, Vol. 14, No. 8, pp. 1618-1625.

[15] N. Yukimoto, M. Tsutsui, Y. He, H. Shintaku, S. Tanaka, S. Kawano, T. Kawai, a.M. Taniguchi, Tracking single-particle dynamics via combined optical and electrical sensing, *Scientific Reports*, 2013, Vol. 3, pp. 1855-1.

[16] K. Hakamada, H. Shintaku, T. Nagata, H. Fujimoto, S. Kawano, J. Miyake, Development of a microfabricated device for low-voltage electropermeabilization of adherent cells, *Journal of Bioscience and Bioengineering*, 2013, Vol. 115, No. 3, pp. 314-319.

[17] 鈴木 孝明, 寺尾 京平, 鈴木 博之, 新田 祐幹, 高尾 英邦, 下川 房男, 大平 文和, 平丸 大介, 小寺 秀俊, MEMS 技術を利用した高速 DNA ファイバ解析デバイスの開発, 電気学会論文誌. *E*, センサ・マイクロマシン準部門誌, 2013, Vol. 133, No. 5, pp. 139-146.

[18] Fujimoto, K. ., Kitamura, M. ., Yokokawa, M. ., Kanno, I. ., Kotera, H. ., Yokokawa, R. ., Colocalization of Quantum Dots by Reactive Molecules Carried by Motor Proteins on Polarized Microtubule Arrays, *ACS Nano*, 2013, Vol. 7, No. 1, pp. 447-455.

[19] Y. Han, H. Yokota, M. Ariyoshi, Y. Tsunaka, T. Iwasa, R. Yokokawa, R. Hiramatsu, D. Chiba, T. Ono, Y. Harada, Characterization of SRA-Methylated DNA Complexes Dynamics Related to Chromatin Structure Regulation, *Biophysical Journal*, 2013, Vol. 104, No. 2, pp. 255A-255A.

ナノシステム創成工学講座 ナノ・マイクロシステム工学分野

[1] M. Gamil, H. Nageh, I. Bkrey, S. Sayed, A.M.R.P. El-Bab, K. Nakamura, O. Tabata, A. Abd El-Moneim, Graphene-Based Strain Gauge on a

Flexible Substrate, *Sensors and Materials*, 2014, Vol. 26, No. 9, pp. 699-709.

[2] T. Ikehara, T. Tsuchiya, Effects of etching surface roughness on the fatigue characteristics of single-crystal silicon, *IEEJ Transactions on Sensors and Micromachines*, 2014, Vol. 134-E, No. 2, pp. 32-37.

[3] M. Gamil, O. Tabata, K. Nakamura, A.M.R.P. El-Bab, A.A. El-Moneim, Investigation of a New High Sensitive Micro-Electromechanical Strain Gauge Sensor Based on Graphene Piezoresistivity, *Key Engineering Materials*, 2014, Vol. 605, pp. 207-210.

[4] S.T. Praveen, K. Sugano, T. Tsuchiya, O. Tabata, Study on Vibration-coupling Control of Out-of-plane Coupled Resonator for Anti-shock Tuning Fork Gyroscopes, 電気学会論文誌 *E*, 2014, Vol. 134-E, pp. 392-399.

[5] M.E. Mitwally, T. Tsuchiya, O. Tabata, S. Sedky, Improvement of tensile strength of freestanding single crystal silicon microstructures using localized harsh laser treatment, *Japanese Journal of Applied Physics*, 2014, Vol. 53, No. 6, p. 06JM03.

[6] K. Tsujimoto, Y. Hirai, K. Sugano, T. Tsuchiya, O. Tabata, Analytical investigation of the feasibility of sacrificial microchannel sealing for Chip-Scale Atomic Magnetometers, *Microsystem Technologies-Micro-And Nanosystems-Information Storage and Processing Systems*, 2014, Vol. 20, No. 3, pp. 357-365.

[7] P.S. Thakur, K. Sugano, T. Tsuchiya, O. Tabata, Experimental verification of frequency decoupling effect on acceleration sensitivity in tuning fork gyroscopes using in-plane coupled resonators, *Microsystem Technologies-Micro-And Nanosystems-Information Storage and Processing Systems*, 2014, Vol. 20, No. 3, pp. 403-411.

[8] M. Gamil, K. Nakamura, A.M.R.P. El-Bab, O. Tabata, A.A. El- Moneim, Simulation of graphene piesoresistivity based on density functional calculations, *Modeling and Numerical Simulation of Material Science*, 2013, Vol. 3, pp. 117-123.

[9] K. Tsujimoto, K. Ban, Y. Hirai, K. Sugano, T. Tsuchiya, N. Mizutani, O. Tabata, On-chip fabrication of alkali-metal vapor cells utilizing an alkali-metal source tablet, *Journal of Micromechanics and Microengineering*, 2013, Vol. 23, No. 11, p. 115003.

[10] L. Li, X. Tian, Z. Dong, L. Liu, O. Tabata, W.J. Li, Manipulation of DNA origami nanotubes in liquid using programmable tapping-mode atomic force microscopy, *Micro & Nano Letters*, 2013, Vol. 8, No. 10, pp. 641-645.

[11] K. Kamei, Y. Hirai, O. Tabata, Body on a Chip: Re-Creation of a Living System In Vitro, *IEEE Nanotechnology Magazine*, 2013, Vol. 7, No. 3, pp. 6-14.

[12] 平井 義和, 柳生 裕聖, 牧野 圭秀, 上杉 晃生, 菅野 公二, 土屋 智由, 田畑 修, MEMS ネガレジストの粗視化分子動力学シミュレーション, 電気学会論文誌. *E*, センサ・マイクロマシン部門誌, 2013, Vol. 133, No. 8, pp. 320-329.

[13] K. Tsujimoto, Y. Hirai, K. Sugano, T. Tsuchiya, O. Tabata, Sacricial microchannel sealing by glass-frit reow for chip scale atomic magnetometer, *Electronics and Communications in Japan*, 2013, Vol. 96, No. 5, pp. 58-66.

[14] T. Tanemura, S. Yamashita, H. Wado, Y. Takeuchi, T. Tsuchiya, O. Tabata, Fatigue characteristics of polycrystalline silicon thin-film membrane and its dependence on humidity, *Journal of Micromechanics and Microengineering*, 2013, Vol. 23, No. 3, p. 035032.

[15] K. Kamei, Y. Hirai, M. Yoshioka, Y. Makino, Q. Yuan, M. Nakajima, Y. Chen, O. Tabata, Phenotypic and Transcriptional Modulation of Human Pluripotent Stem Cells Induced by Nano/Microfabrication Materials, *Advanced Healthcare Materials*, 2013, Vol. 2, No. 2, pp. 287-291.

ナノサイエンス講座 ナノ物性工学分野

[1] Y. Fujii, K. Nakajima, M. Suzuki, K. Kimura, Surface and interface roughness estimations by X-ray reflectivity and RBS measurements, *Surface and Interface Analysis*, 2014, Vol. 46, No. 12-13, pp. 1208-1211.

[2] K. Nakajima, J. Lienemann, P. Eberlein, K. Kimura, K. Maass, H. Winter, Emission of secondary ions after grazing impact of keV ions on solid surfaces, *Nuclear Instruments & Methods in Physics Research Section B-Beam Interactions With Materials and Atoms*, 2014, Vol. 340, pp. 67-71.

[3] K. Nakajima, M. Miyashita, M. Suzuki, K. Kimura, Surface sensitivity of secondary ion mass spectroscopy in the electronic sputtering regime, *Nuclear Instruments & Methods in Physics Research Section B-Beam Interactions With Materials and Atoms*, 2014, Vol. 332, pp. 373-376.

[4] K. Nakajima, Y. Morita, T. Kitayama, M. Suzuki, K. Narumi, Y. Saitoh, M. Tsujimoto, S. Isoda, Y. Fujii, K. Kimura, Sputtering of SiN films by 540 keV C-60(2+) ions observed using high-resolution Rutherford backscattering spectroscopy, *Nuclear Instruments & Methods in Physics Research Section B-Beam Interactions With Materials and Atoms*, 2014, Vol. 332, pp. 117-121.

[5] K. Namura, K. Nakajima, K. Kimura, M. Suzuki, Enhancement of photoacoustic emission from self-supported plasmonic multilayers, *Journal of Applied Physics*, 2014, Vol. 116, No. 2, p. 024310.

[6] K. Nakajima, K. Nagano, M. Suzuki, K. Narumi, Y. Saitoh, K. Hirata, K. Kimura, Transmission secondary ion mass spectrometry using 5MeV C60+ ions, *Applied Physics Letters*, 2014, Vol. 104, No. 11, p. 114103.

[7] K. Nakajima, M. Miyashita, M. Suzuki, K. Kimura, Surface structures of binary mix-

tures of imidazolium-based ionic liquids using high-resolution Rutherford backscattering spectroscopy and time of flight secondary ion mass spectroscopy, *Journal of Chemical Physics*, 2013, Vol. 139, No. 22, p. 224701.

[8] M. Suzuki, Y. Kaneko, K. Nakajima, K. Kimura, Fabrication of periodic arrays of silicide nanopillars by using self-assembled polystyrene nanosphere template and oblique deposition technique, *Physica Status Solidi C: Current Topics in Solid State Physics*, 2013, Vol. 10, No. 12, pp. 1866-1869.

[9] Y. Morita, K. Nakajima, M. Suzuki, K. Narumi, Y. Saitoh, N. Ishikawa, K. Hojou, M. Tsujimoto, S. Isoda, K. Kimura, Surface effect on ion track formation in amorphous Si3N4 films, *Nuclear Instruments and Methods in Physics Research Section B: Beam Interactions With Materials and Atoms*, 2013, Vol. 315, pp. 142-145.

[10] M. Suzuki, H. Minamitake, R. Kita, K. Hamachi, H. Hara, K. Nakajima, K. Kimura, C. Hsu, L. Chou, Growth of Nanowires by High-Temperature Glancing Angle Deposition, *Japanese Journal of Applied Physics*, 2013, Vol. 52, No. 11, p. 110116.

[11] K. Namura, M. Suzuki, K. Nakajima, K. Kimura, Highly localized photothermal conversion in two-dimensional Au nanoparticle arrays, *Journal of Applied Physics*, 2013, Vol. 114, No. 7, p. 074308.

[12] S. Li, K. Namura, M. Suzuki, G.A. Niklasson, C.G. Granqvist, Thermochromic VO2 nanorods made by sputter deposition: Growth conditions and optical modeling, *Journal of Applied Physics*, 2013, Vol. 114, No. 3, p. 033516.

[13] K. Namura, M. Suzuki, K. Nakajima, K. Kimura, Photoacoustic emission from Au nanoparticles arrayed on thermal insulation layer, *Optics Express*, 2013, Vol. 21, No. 7, pp. 8689-8700.

[14] M. Suzuki, Practical applications of thin films nanostructured by shadowing growth, *Journal of Nanophotonics*, 2013, Vol. 7, No. 1, p. 073598.

ナノサイエンス講座 量子物性学分野

[1] K. Ichikawa, M. Fukuda, A. Tachibana, Study of simulation method of time evolution of atomic and molecular systems by quantum electrodynamics, *International Journal of Quantum Chemistry*, 2014, Vol. 114, No. 23, pp. 1567-1580.

[2] A. Tachibana, Electronic stress tensor of chemical bond, *Indian Journal of Chemistry Section A-Inorganic Bio-Inorganic Physical Theoretical & Analytical Chemistry*, 2014, Vol. 53, No. 8-9, pp. 1031-1035.

[3] M. Senami, S. Takada, A. Tachibana, Description of Photon Field in Dynamics Simulation of Bound States Based on Quantum Field Theory, *JPS Conference Proceedings*, 2014, Vol. 1, p. 016014.

[4] A. Tachibana, Stress Tensor of Electron as Energy Density with Spin Vorticity, *Journal of Computer Chemistry, Japan*, 2014, Vol. 13, No. 1, pp. 18-31.

[5] Y. Ikeda, M. Senami, A. Tachibana, Analysis of Local Electric Conductive Property for Si Nanowire Models, *ECS Transactions*, 2013, Vol. 50, No. 9, pp. 399-412.

[6] M. Senami, A. Tachibana, Local Quantity Analysis of Nanosize Electronics and Spintronics Material, *ECS Transactions*, 2013, Vol. 50, No. 9, pp. 843-849.

[7] K. Ichikawa, M. Fukuda, A. Tachibana, Study of simulation method of time evolution in rigged QED, *International Journal of Quantum Chemistry*, 2013, Vol. 113, No. 3, pp. 190-202.

[8] M. Senami, Y. Ogiso, T. Miyazato, F. Yoshino, Y. Ikeda, A. Tachibana, Rigged QED Analysis of Local Dielectric Response, *Transactions of The Materials Research Society of Japan*, 2013, Vol. 38, No. 4, pp. 535-544.

[9] Y. Ikeda, M. Senami, A. Tachibana, A Non-Hermitian Coupled Perturbed Hartree-Fock Method for Complex Potentials and Calculations of Electronic Structures with Electric Currents, *Transactions of The Materials Research Society of Japan*, 2013, Vol. 38, No. 3, pp. 397-404.

マイクロシステム創成講座 マイクロ加工システム分野

[1] G. Recio-Sanchez, K. Namura, M. Suzuki, R.J. Martin-Palma, Nanostructured copper/porous silicon hybrid systems as efficient sound-emitting devices, *Nanoscale Research Letters*, 2014, Vol. 9, No. 1, p. 487.

[2] K. Nakajima, Y. Morita, T. Kitayama, M. Suzuki, K. Narumi, Y. Saitoh, M. Tsujimoto, S. Isoda, Y. Fujii, K. Kimura, Sputtering of SiN films by 540 keV C-60(2+) ions observed using high-resolution Rutherford backscattering spectroscopy, *Nuclear Instruments & Methods in Physics Research Section B-Beam Interactions With Materials and Atoms*, 2014, Vol. 332, pp. 117-121.

[3] N. Koike, K. Sasaki, T. Yamada, N. Hanashima, A. Takada, M. Suzuki, Optical properties and microstructures of inorganic wave plates prepared by serial bideposition, *Journal of Nanophotonics*, 2014, Vol. 8, No. 1, p. 083991.

[4] K. Nakajima, K. Nagano, M. Suzuki, K. Narumi, Y. Saitoh, K. Hirata, K. Kimura, Transmission secondary ion mass spectrometry using 5 MeV C-60(+) ions, *Applied Physics Letters*, 2014, Vol. 104, No. 11, p. 114103.

[5] K. Nakajima, K. Nagano, M. Suzuki, K. Narumi, Y. Saitoh, K. Hirata, K. Kimura, Transmission secondary ion mass spectrometry using 5MeV C60+ ions, *Applied Physics Letters*, 2014, Vol. 104, No. 11, p. 114103.

[6] H. Saito, K. Namura, M. Suzuki, H. Kurata, Dispersion relations for coupled surface plasmon-

polariton modes excited in multilayer structures, *Microscopy*, 2014, Vol. 63, No. 1, pp. 85-93.

[7] 鈴木 基史, 成膜の基礎, *Journal of The Vacuum Society of Japan*, 2014, Vol. 57, No. 8, pp. 303-307.

[8] Y. Morita, K. Nakajima, M. Suzuki, K. Narumi, Y. Saitoh, N. Ishikawa, K. Hojou, M. Tsujimoto, S. Isoda, K. Kimura, Surface effect on ion track formation in amorphous Si3N4 films, *Nuclear Instruments and Methods in Physics Research Section B: Beam Interactions With Materials and Atoms*, 2013, Vol. 315, pp. 142-145.

マイクロシステム創成講座 精密計測加工学分野

[1] Y. Nagai, S. Ibaraki, S. Nishikawa, Error calibration of five-axis machine tools by on-machine measurement system using a laser displacement sensor, *Journal of Advanced Mechanical Design Systems and Manufacturing*, 2014, Vol. 8, No. 4, pp. 14-00115.

[2] A. Matsubara, R. Sawamura, K. Asano, T. Muraki, Non-contact measurement of dynamic stiffness of rotating spindle, *6th Cirp International Conference on High Performance Cutting (HPC2014)*, 2014, Vol. 14, pp. 484-487.

[3] S. Ibaraki, Y. Ota, A machining test to evaluate geometric errors of five-axis machine tools with its application to thermal deformation test, *6th Cirp International Conference on High Performance Cutting (HPC2014)*, 2014, Vol. 14, pp. 323-328.

[4] S. Ibaraki, Y. Ota, A machining test to calibrate rotary axis error motions of five-axis machine tools and its application to thermal deformation test, *International Journal of Machine Tools & Manufacture*, 2014, Vol. 86, pp. 81-88.

[5] S. Ibaraki, K. Nagae, G. Sato, Proposal of "open-loop" tracking interferometer for machine tool volumetric error measurement, *CIRP Annals-Manufacturing Technology*, 2014, Vol. 63, No. 1, pp. 501-504.

[6] A. Matsubara, M. Maeda, I. Yamaji, Vibration suppression of boring bar by piezoelectric actuators and LR circuit, *CIRP Annals-Manufacturing Technology*, 2014, Vol. 63, No. 1, pp. 373-376.

[7] S. Ibaraki, G. Sato, K. Takeuchi, 'Open-loop' tracking interferometer for machine tool volumetric error measurement-Two-dimensional case, *Precision Engineering-Journal of The International Societies For Precision Engineering and Nanotechnology*, 2014, Vol. 38, No. 3, pp. 666-672.

[8] 太田 圭一, 松原 厚, 水山 元, 工作機械の組立における生産現場の適応メカニズムの解析, 精密工学会誌, 2014, Vol. 80, No. 9, pp. 856-861.

[9] A. Matsubara, T. Yamazaki, S. Ikenaga, Non-contact measurement of spindle stiffness by using magnetic loading device, *International Journal of Machine Tools & Manufacture*, 2013, Vol. 71, pp. 20-25.

[10] Y. Koike, A. Matsubara, I. Yamaji, Design method of material removal process for minimizing workpiece displacement at cutting point, *CIRP Annals-Manufacturing Technology*, 2013, Vol. 62, No. 1, pp. 419-422.

[11] D. Kono, T. Inagaki, A. Matsubara, I. Yamaji, Stiffness model of machine tool supports using contact stiffness, *Precision Engineering-Journal of The International Societies For Precision Engineering and Nanotechnology*, 2013, Vol. 37, No. 3, pp. 650-657.

[12] S. Ibaraki, T. Iritani, T. Matsushita, Error map construction for rotary axes on five-axis machine tools by on-the-machine measurement using a touch-trigger probe, *International Journal of Machine Tools & Manufacture*, 2013, Vol. 68, pp. 21-29.

[13] 佐藤 剛, 茨木 創一, 竹内 国貴, 三辺測量の原理に基づく工作機械の空間誤差の測定法:2 次元空間における測定, 精密工学会学術講演会講演論文集, 2013, Vol. 2013, pp. 705-706.

[14] 甲斐 義章, 福田 将彦, 松原 厚, 河野 大輔, 超精密加工機の動特性評価（衝撃加振試験による案内機構の剛性評価）, 日本機械学会論文集C編, 2013, Vol. 79, No. 808, pp. 4624-4633.

[15] 茨木 創一, NC 工作機械の空間精度の評価と制御・補正, 計測と制御, 2013, Vol. 52, No. 1, pp. 23-28.

[16] C. Hong, S. Ibaraki, Non-contact R-test with laser displacement sensors for error calibration of five-axis machine tools, *Precision Engineering-Journal of The International Societies For Precision Engineering and Nanotechnology*, 2013, Vol. 37, No. 1, pp. 159-171.

[17] 茨木 創一, 5 軸制御工作機械のための工作精度試験と熱変形の影響（キーノートスピーチ）, 精密工学会学術講演会講演論文集, 2013, Vol. 2013, pp. 699-700.

[18] 太田 祐輔, 茨木 創一, 5 軸制御工作機械の運動精度評価を目的とした工作試験法, 精密工学会学術講演会講演論文集, 2013, Vol. 2013, pp. 65-66.

[19] 難波 義治, A. Beaucamp, 次世代X線望遠鏡用非球面金型の加工, 精密工学会学術講演会講演論文集, 2013, Vol. 2013, pp. 239-240.

[20] 西尾 修也, 河野 大輔, 松原 厚, 山路 伊和夫, 構造振動を考慮した工作機械の支持点配置に関する研究, 精密工学会学術講演会講演論文集, 2013, Vol. 2013, pp. 19-20.

[21] 今安 森也, 河野 大輔, 松原 厚, 山路 伊和夫, 工作機械の支持剛性を変化させる方法に関する研究, 精密工学会学術講演会講演論文集, 2013, Vol. 2013, pp. 17-18.

[22] 杉浦 拓, 河野 大輔, 山路 伊和夫, 松原 厚, シェーパ加工による動的比切削抵抗の同定, 精密工学会学術講演会講演論文集, 2013, Vol. 2013, pp. 1-2.

ナノバイオメカニクス講座 バイオメカニクス分野

[1] H. Miyoshi, T. Adachi, Topography Design Concept of a Tissue Engineering Scaffold for Control-

ling Cell Function and Fate Through Actin Cytoskeletal Modulation, *Tissue Engineering Part B-Reviews*, 2014, Vol. 20, No. 6, pp. 609-627.

[2] S. Tanaka, T. Adachi, T. Kuroda, T. Nakamura, M. Shiraki, T. Sugimoto, Y. Takeuchi, M. Saito, J.P. Bilezikian, New simulation model for bone formation markers in osteoporosis patients treated with once-weekly teriparatide, *Bone Research*, 2014, Vol. 2, p. 14043.

[3] S. Han, K. Morita, T. Adachi, Evaluation of Actin Curvature Dependent Actin-Arp2/3 Interaction Change Using AFM and Graphene Oxide Sheets, *Science of Advanced Materials*, 2014, Vol. 6, No. 11, pp. 2453-2458.

[4] Y. Kameo, T. Adachi, Modeling trabecular bone adaptation to local bending load regulated by mechanosensing osteocytes, *Acta Mechanica*, 2014, Vol. 225, No. 10, pp. 2833-2840.

[5] Y. Kameo, T. Adachi, Interstitial fluid flow in canaliculi as a mechanical stimulus for cancellous bone remodeling: in silico validation, *Biomechanics and Modeling in Mechanobiology*, 2014, Vol. 13, No. 4, pp. 851-860.

[6] S. Han, K. Morita, P. Simona, T. Kihara, J. Miyake, M. Banu, T. Adachi, Probing Actin Filament and Binding Protein Interaction Using an Atomic Force Microscopy, *Journal of Nanoscience and Nanotechnology*, 2014, Vol. 14, No. 8, pp. 5654-5657.

[7] N. Kida, T. Adachi, Numerical Analysis of Arterial Contraction Regulated by Smooth Muscle Stretch and Intracellular Calcium Ion Concentration, *Journal of Biomechanical Science and Engineering*, 2014, Vol. 9, No. 1, p. JBSE0002.

[8] S. Han, C. Nakamura, J. Miyake, S. Chang, T. Adachi, Single-Cell Manipulation and DNA Delivery Technology Using Atomic Force Microscopy and Nanoneedle, *Journal of Nanoscience and Nanotechnology*, 2014, Vol. 14, No. 1, pp. 57-70.

[9] M. Okamoto, T. Namba, T. Shinoda, T. Kondo, T. Watanabe, Y. Inoue, K. Takeuchi, Y. Enomoto, K. Ota, K. Oda, Y. Wada, K. Sagou, K. Saito, A. Sakakibara, A. Kawaguchi, K. Nakajima, T. Adachi, T. Fujimori, M. Ueda, S. Hayashi, K. Kaibuchi, T. Miyata, TAG-1—assisted Progenitor Elongation Streamlines Nuclear Migration to Optimize Subapical Crowding, *Nature Neuroscience*, 2013, Vol. 16, No. 11, pp. 1556-1566.

[10] R. Hiramatsu, T. Matsuoka, C. Kimura-Yoshida, S. Han, K. Mochida, T. Adachi, S. Takayama, I. Matsuo, External Mechanical Cues Trigger the Establishment of the Anterior-Posterior Axis in Early Mouse Embryos, *Developmental Cell*, 2013, Vol. 27, No. 2, pp. 131-144.

[11] S. Okuda, Y. Inoue, M. Eiraku, Y. Sasai, T. Adachi, Modeling Cell Proliferation for Simulating Three-dimensional Tissue Morphogenesis Based on a Reversible Network Reconnection Framework, *Biomechanics and Modeling in Mechanobiology*, 2013, pp. 987-996.

[12] H. Miyoshi, K. Tsubota, T. Hoyano, T. Adachi, H. Liu, Three-dimensional modulation of cortical plasticity during pseudopodial protrusion of mouse leukocytes, *Biochemical and Biophysical Research Communications*, 2013, Vol. 438, No. 4, pp. 594-599.

[13] S. Okuda, Y. Inoue, M. Eiraku, Y. Sasai, T. Adachi, Reversible network reconnection model for simulating large deformation in dynamic tissue morphogenesis, *Biomechanics and Modeling in Mechanobiology*, 2013, Vol. 12, No. 4, pp. 627-644.

[14] S. Okuda, Y. Inoue, M. Eiraku, Y. Sasai, T. Adachi, Apical contractility in growing epithelium supports robust maintenance of smooth curvatures against cell-division-induced mechanical disturbance, *Journal of Biomechanics*, 2013, Vol. 46, No. 10, pp. 1705-1713.

[15] Y. Inoue, T. Adachi, Role of the Actin-Myosin Catch Bond on Actomyosin Aggregate Formation, *Cellular and Molecular Bioengineering*, 2013, Vol. 6, No. 1, pp. 3-12.

[16] S. Han, P. Simona, M. Banu, T. Adachi, Real-Time Monitoring of Changes in Microtubule Mechanical Properties in Response to. Microtubule-Destabilizing Drug Treatment, *Journal of Nanoscience and Nanotechnology*, 2013, Vol. 13, No. 3, pp. 2087-2090.

[17] 大多尾 義弘, 川端 亮平, 亀尾 佳貴, 石原 正行, 平板の形状制御を目的とした圧電配置の設計, 日本機械学会論文集 *A* 編, 2013, Vol. 79, No. 802, pp. 813-826.

ナノバイオメカニクス講座 生体機械工学分野

ナノバイオメカニクス講座 シミュレーション医工学分野

ナノバイオメカニクス講座 ナノバイオプロセス分野

[1] A. Kusumi, T.A. Tsunoyama, K.M. Hirosawa, R.S. Kasai, T.K. Fujiwara, Tracking single molecules at work in living cells, *Nature Chemical Biology*, 2014, Vol. 10, No. 7, pp. 524-532.

[2] Z. Kalay, T.K. Fujiwara, A. Otaka, A. Kusumi, Lateral diffusion in a discrete fluid membrane with immobile particles, *Physical Review E*, 2014, Vol. 89, No. 2, p. 022724.

[3] K.G.N. Suzuki, R.S. Kasai, T.K. Fujiwara, A. Kusumi, Single-Molecule Imaging of Receptor-Receptor Interactions, *Receptor-Receptor Interactions*, 2013, Vol. 117, pp. 373-390.

[4] A. Kusumi, Cell's first steps to raft formation and function as revealed by single-molecule imaging and tracking, *Journal of Pharmacological Sciences*, 2013, Vol. 121, pp. 24P-24P.

[5] N. Yoshikawa, H. Hirori, H. Watanabe, T. Aoki, T. Ihara, R. Kusuda, C. Wolpert, T.K. Fujiwara, A. Kusumi, Y. Kanemitsu, K. Tanaka, Biexciton state causes photoluminescence fluctuations in CdSe/ZnS core/shell quantum dots at high photoexcitation densities, *Physical Review B*, 2013, Vol. 88, No. 15, p. 155440.

[6] H. Nishimura, K. Ritchie, R.S. Kasai, N. Morone, H. Sugimura, K. Tanaka, I. Sase, A. Yoshimura, Y. Nakano, T.K. Fujiwara, A. Kusumi, Biocompatible fluorescent silicon nanocrystals for single-molecule tracking and fluorescence imaging, *Journal of Cell Biology*, 2013, Vol. 202, No. 6, pp. 967-983.

[7] A.C.E. Shibata, L.H. Chen, R. Nagai, F. Ishidate, R. Chadda, Y. Miwa, K. Naruse, Y.M. Shirai, T.K. Fujiwara, A. Kusumi, Rac1 recruitment to the archipelago structure of the focal adhesion through the fluid membrane as revealed by single-molecule analysis, *Cytoskeleton*, 2013, Vol. 70, No. 3, pp. 161-177.

[8] K.O. Nagata, C. Nakada, R.S. Kasai, A. Kusumi, K. Ueda, ABCA1 dimer-monomer interconversion during HDL generation revealed by single-molecule imaging, *Proceedings of The National Academy of Sciences of The United States of America*, 2013, Vol. 110, No. 13, pp. 5034-5039.

[9] R. Chadda, T.K. Fujiwara, Z. Kalay, S. Shibutani, K.G.N. Suzuki, A. Kusumi, Molecular Dynamics and Concentration in Raft and Boundary Domains in Actin-Depleted Plasma Membrane Vesicles as Revealed by Single-Molecule Imaging, *Biophysical Journal*, 2013, Vol. 104, No. 2, pp. 191A-191A.

航空宇宙工学専攻

航空宇宙力学講座

[1] K. Senda, Y. Tani, Autonomous Robust Skill Generation Using Reinforcement Learning with Plant Variation, *Advances in Mechanical Engineering*, 2014, Vol. 2014, pp. 276264-12.

[2] K. Senda, S. Hattori, T. Hishinuma, T. Kohda, Acceleration of Reinforcement Learning by Policy Evaluation Using Nonstationary Iterative Method, *IEEE Transactions on Cybernetics*, 2014, Vol. 44, No. 12, pp. 2696-2705.

[3] N. Yokoyama, M. Takaoka, Single-wave-number representation of nonlinear energy spectrum in elastic-wave turbulence of the Föppl—von Kármán equation: Energy decomposition analysis and energy budget, *Physical Review E*, 2014, Vol. 90, No. 6, 063004.

[4] J. Mizushima, K. Abe, N. Yokoyama, Bathtub vortex induced by instability, *Physical Review E*, 2014, Vol. 90, No. 4, 041002.

[5] K. Higuchi, Y. Miyazaki, K. Ishimura, H. Furuya, H. Tsunoda, K. Senda, A. Watanabe, N. Kawabata, T. Kuratomi, P.T. SIMPLE, Initial Operation and Deployment Experiment of Inflatable Extension Mast in SIMPLE on JEM Exposure Platform in ISS, *Transactions of Japan Society for Aeronautical and Space Sciences, Aerospace Technology Japan*, 2014, Vol. 12, No. ists29, pp. Pc_1-Pc_7.

[6] 安 , 石川 雄己, 舩戸 徹郎, 青井 伸也, 岡 敬之, 山川 博司, 山下 淳, 淺間 一, 座面高と速度の異なるヒト起立動作における筋シナジー解析, 計測自動制御学会論文集, 2014, Vol. 50, No. 8, pp. 560-568.

[7] S. Fujiki, S. Aoi, T. Yamashita, T. Funato, N. Tomita, K. Senda, K. Tsuchiya, Adaptive split-belt treadmill walking of a biped robot using nonlinear oscillators with phase resetting, *Autonomous Robots*, 2013, Vol. 35, No. 1, pp. 15-26.

[8] S. Fujiki, S. Aoi, T. Funato, N. Tomita, K. Senda, K. Tsuchiya, Hysteresis in the metachronal-tripod gait transition of insects: A modeling study, *Physical Review E*, 2013, Vol. 88, No. 1, p. 012717.

[9] 泉田 啓, 服部 俊, 幸田 武久, 強化学習における方策評価の効率化による学習の加速, 計測自動制御学会論文集, 2013, Vol. 49, No. 7, pp. 696-702.

[10] M. Tanaka, N. Yokoyama, Numerical verification of the random-phase-and-amplitude formalism of weak turbulence, *Physical Review E*, 2013, Vol. 87, No. 6, p. 062922.

[11] S. Aoi, T. Kondo, N. Hayashi, D. Yanagihara, S. Aoki, H. Yamaura, N. Ogihara, T. Funato, N. Tomita, K. Senda, K. Tsuchiya, Contributions of phase resetting and interlimb coordination to the adaptive control of hindlimb obstacle avoidance during locomotion in rats: a simulation study, *Biological Cybernetics*, 2013, Vol. 107, No. 2, pp. 201-216.

[12] S. Aoi, D. Katayama, S. Fujiki, N. Tomita, T. Funato, T. Yamashita, K. Senda, K. Tsuchiya, A stability-based mechanism for hysteresis in the walk-trot transition in quadruped locomotion, *Journal of The Royal Society Interface*, 2013, Vol. 10, No. 81, pp. 20120908-20120908.

[13] N. Yokoyama, M. Takaoka, Weak and Strong Wave Turbulence Spectra for Elastic Thin Plate, *Physical Review Letters*, 2013, Vol. 110, No. 10, p. 105501.

[14] N. Yokoyama, K. Senda, M. Iima, N. Hirai, Aerodynamic forces and vortical structures in flapping butterfly's forward flight, *Physics of Fluids*, 2013, Vol. 25, No. 2, p. 021902.

[15] S. Aoi, Y. Egi, K. Tsuchiya, Instability-based mechanism for body undulations in centipede locomotion, *Physical Review E*, 2013, Vol. 87, No. 1, p. 012717.

[16] M. Iima, N. Yokoyama, N. Hirai, K. Senda, Controlling Flow Structures by Wing Motion in a Flapping-flight Model, *Advances in Science and Technology, Mining Smartness from Nature*, 2013, Vol. 84, pp. 59-65.

[17] 舩戸 徹郎, 青井 伸也, 冨田 望, 土屋 和雄, 運動学シナジーに基づくヒトの歩行制御構造の構成論的理解, 日本ロボット学会誌, 2013, Vol. 31, No. 8, pp. 739-746.

航空宇宙基礎工学講座 流体力学分野

[1] K. Suzuki, T. Inamuro, An improved lattice kinetic scheme for incompressible viscous fluid flows, *International Journal of Modern Physics C*, 2014, Vol. 25, No. 1, p. 1340017.

[2] Y. Kimura, K. Suzuki, T. Inamuro, Flight simulations of a two-dimensional flapping wing by the IB-LBM, *International Journal of Modern Physics C*, 2014, Vol. 25, No. 1, p. 1340020.

[3] T. Ohwada, R. Adachi, K. Xu, J. Luo, On the remedy against shock anomalies in kinetic schemes, *Journal of Computational Physics*, 2013, Vol. 255, pp. 106-129.

[4] T. Nishiyama, T. Inamuro, S. Yasuda, Numerical simulation of the dispersion of aggregated Brownian particles under shear flows, *Computers & Fluids*, 2013, Vol. 86, pp. 395-404.

[5] K. Suzuki, T. Inamuro, A higher-order immersed boundary-lattice,Boltzmann method using a smooth velocity field near boundaries, *Computers & Fluids*, 2013, Vol. 76, pp. 105-115.

航空宇宙基礎工学講座 推進工学分野

[1] Y. Takao, H. Koizumi, K. Komurasaki, K. Eriguchi, K. Ono, Three-dimensional particle-in-

cell simulation of a miniature plasma source for a microwave discharge ion thruster, *Plasma Sources Science & Technology*, 2014, Vol. 23, No. 6, p. 064004.

[2] N. Nakazaki, H. Tsuda, Y. Takao, K. Eriguchi, K. Ono, Two modes of surface roughening during plasma etching of silicon: Role of ionized etch products, *Journal of Applied Physics*, 2014, Vol. 116, No. 22, p. 223302.

[3] N. Nakazaki, Y. Takao, K. Eriguchi, K. Ono, Molecular dynamics simulations of silicon chloride ion incidence during Si etching in Cl-based plasmas, *Japanese Journal of Applied Physics*, 2014, Vol. 53, No. 5, p. 056201.

[4] H. Tsuda, N. Nakazaki, Y. Takao, K. Eriguchi, K. Ono, Surface roughening and rippling during plasma etching of silicon: Numerical investigations and a comparison with experiments, *Journal of Vacuum Science & Technology B*, 2014, Vol. 32, No. 3, p. 031212.

[5] M. Kamei, Y. Takao, K. Eriguchi, K. Ono, Effects of plasma-induced charging damage on random telegraph noise in metal-oxide-semiconductor field-effect transistors with SiO2 and high-k gate dielectrics, *Japanese Journal of Applied Physics*, 2014, Vol. 53, No. 3, p. 03DF02.

[6] M. Noma, K. Eriguchi, Y. Takao, N. Terayama, K. Ono, Structural, mechanical, and electrical properties of cubic boron nitride thin films deposited by magnetically enhanced plasma ion plating method, *Japanese Journal of Applied Physics*, 2014, Vol. 53, No. 3, p. 03DB02.

[7] T. Okumura, K. Eriguchi, M. Saitoh, H. Kawaura, Annealing performance improvement of elongated inductively coupled plasma torch and its application to recovery of plasma-induced Si substrate damage, *Japanese Journal of Applied Physics*, 2014, Vol. 53, No. 3, p. 03DG01.

[8] K. Eriguchi, A. Matsuda, Y. Takao, K. Ono, Effects of straggling of incident ions on plasma-induced damage creation in "fin"-type field-effect transistors, *Japanese Journal of Applied Physics*, 2014, Vol. 53, No. 3, p. 03DE02.

[9] A. Matsuda, Y. Nakakubo, Y. Takao, K. Eriguchi, K. Ono, Micro-photoreflectance spectroscopy for microscale monitoring of plasma-induced physical damage on Si substrate, *Japanese Journal of Applied Physics*, 2014, Vol. 53, No. 3, p. 03DF01.

航空宇宙基礎工学講座 流体数理学分野

[1] K. Aoki, S. Takata, T. Tomota, A force acting on an oblate spheroid with discontinuous surface temperature in a slightly rarefied gas, *Journal of Fluid Mechanics*, 2014, Vol. 748, pp. 712-730.

[2] . I-Kun Chen, Tai-Ping L., S. Takata, Boundary Singularity for Thermal Transpiration Problem of the Linearized Boltzmann Equation, *Arch. Rational Mech. Anal.*, 2014, Vol. 212, pp. 575-595.

[3] D.P. Wall, M. Nagata, Three-dimensional exact coherent states in rotating channel flow, *Journal of Fluid Mechanics*, 2013, Vol. 727, pp. 533-581.

[4] M. Nagata, A note on the mirror-symmetric coherent structure in plane Couette flow, *Journal of Fluid Mechanics*, 2013, Vol. 727, p. UNSP R1.

[5] S. Takata, H. Funagane, Singular behaviour of a rarefied gas on a planar boundary, *Journal of Fluid Mechanics*, 2013, Vol. 717, pp. 30-47.

航空宇宙システム工学講座 制御工学分野

[1] K. Senda, S. Hattori, T. Hishinuma, T. Kohda, Acceleration of Reinforcement Learning by Policy Evaluation Using Nonstationary Iterative Method, *IEEE Transactions on Cybernetics*, 2014, Vol. 44, No. 12, pp. 2696-2705.

[2] S. Satoh, K. Fujimoto, S. Hyon, Gait generation via unified learning optimal control of Hamiltonian systems, *Robotica*, 2013, Vol. 31, No. 05, pp. 717-732.

[3] 泉田 啓, 服部 俊, 幸田 武久, 強化学習における方策評価の効率化による学習の加速, 計測自動制御学会論文集, 2013, Vol. 49, No. 7, pp. 696-702.

[4] J.F. Sihite, T. Kohda, Components Importance Analysis Fault Tree of Power Transformer of GI Simangkuk Switchyard in Indonesia, *Manufacturing Process and Equipment, Pts 1-4*, 2013, Vol. 694-697, pp. 907-910.

[5] Z. Hao, K. Fujimoto, Y. Hayakawa, Optimal Trajectory Generation for Linear Systems Based on Double Generating Functions, *SICE Journal of Control, Measurement and System Integration*, 2013, Vol. 6, No. 3, pp. 194-201.

[6] S. Satoh, K. Fujimoto, Passivity Based Control of Stochastic Port-Hamiltonian Systems, *IEEE Transactions on Automatic Control*, 2013, Vol. 58, No. 5, pp. 1139-1153.

[7] J.F. Sihite, T. Kohda, Assessing the Reliability of Power Transformer by Quantitative Fault Tree Analysis, *Manufacturing Process and Equipment, Pts 1-4*, 2013, Vol. 694-697, pp. 901-906.

[8] 藤本 健治, 渡邉 敏章, 橋本 芳宏, 時変の確立最適制御を用いた板厚制御におけるばらつき抑制 (鉄と鋼), ふぇらむ, 2013, Vol. 18, No. 1, pp. 12-19.

[9] 田中 和博, 幸田 武久, 油圧シリンダ内部の温度予測 (特集 フレッシュメンに贈る音と流れの工学 (2)), 油空圧技術, 2013, Vol. 52, No. 5, pp. 40-46.

[10] 佐藤 訓志, 藤本 健治, 佐伯 正美, 学習最適制御に基づく軌道学習と身体パラメータ調整による最適歩容生成, 計測自動制御学会論文集, 2013, Vol. 49, No. 9, pp. 846-854.

[11] K. Fujimoto, T. Watanabe, Y. Hashimoto, Y. Nishida, Variance Suppression for Gauge Control via Time-varying Stochastic Optimal Control, *Tetsu To Hagane-Journal of The Iron and Steel Institute of Japan*, 2013, Vol. 99, No. 1, pp. 12-19.

航空宇宙システム工学講座 機能構造力学分野

[1] T. Hayashi, D. Inoue, Calculation of leaky Lamb waves with a semi-analytical finite element method, *Ultrasonics*, 2014, Vol. 54, No. 6, pp. 1460-1469.

[2] Y. Ishii, S. Biwa, Evaluation of interlayer interfacial stiffness and layer wave velocity of multilayered structures by ultrasonic spectroscopy, *Journal of The Acoustical Society of America*, 2014, Vol. 136, No. 1, pp. 183-191.

[3] T. Hayashi, M. Murase, N. Ogura, T. Kitayama, Imaging Defects in a Plate with Full Non-Contact Scanning Laser Source Technique, *Materials Transactions*, 2014, Vol. 55, No. 7, pp. 1045-1050.

[4] 杉山 文子, 野島 武敏, 球状膜を半径方向に収縮させながら軸方向に折り畳む方法の開発, 日本機械学会論文集, 2014, Vol. 80, No. 814, DR0170.

[5] N. Matsuda, S. Biwa, Frequency Dependence of Second-Harmonic Generation in Lamb Waves, *Journal of Nondestructive Evaluation*, 2014, Vol. 33, No. 2, pp. 169-177.

[6] 村瀬 守正, 林 高弘, 北山 綱次, 接触界面における高調波発生現象の可視化, 非破壊検査, 2014, Vol. 63, No. 6, pp. 310-315.

[7] C. Inserra, S. Biwa, Y. Chen, Influence of thermal damage on linear and nonlinear acoustic properties of granite, *International Journal of Rock Mechanics and Mining Sciences*, 2013, Vol. 62, pp. 96-104.

[8] T. Hayashi, S. Biwa, Subharmonic wave generation at interfaces of a thin layer between metal blocks, *Japanese Journal of Applied Physics*, 2013, Vol. 52, No. 7, p. 07HC02.

[9] K. Makino, S. Biwa, H. Sakamoto, Variation of flaw echo height at wheel seat of hollow railway axle in cyclic rotating bending, *Journal of Mechanical Systems for Transportation and Logistics*, 2013, Vol. 61, No. 1, pp. 41-53.

[10] T. Sumiya, S. Biwa, G. Haiat, Computational multiple scattering analysis of elastic waves in unidirectional composites, *Wave Motion*, 2013, Vol. 50, No. 2, pp. 253-270.

[11] N. Mori, S. Biwa, T. Hayashi, Reflection and transmission of Lamb waves at an imperfect joint of plates, *Journal of Applied Physics*, 2013, Vol. 113, No. 7, p. 074901.

[12] K. Makino, S. Biwa, Influence of axle-wheel interface on ultrasonic testing of fatigue cracks in wheelset, *Ultrasonics*, 2013, Vol. 53, No. 1, pp. 239-248.

航空宇宙システム工学講座 熱工学分野

[1] K. Miyawaki, M. Kishimoto, H. Iwai, M. Saito, H. Yoshida, Comprehensive understanding of the active thickness in solid oxide fuel cell anodes using experimental, numerical and semi-analytical approach, *Journal of Power Sources*, 2014, Vol. 267, pp. 503-514.

[2] G. Brus, K. Miyawaki, H. Iwai, M. Saito, H. Yoshida, Tortuosity of an SOFC anode estimated from saturation currents and a mass transport model in comparison with a real micro-structure, *Solid State Ionics*, 2014, Vol. 265, pp. 13-21.

[3] 佐藤 理, 岩井 裕, 吉田 英生, 航空機の空調システム設計（第 1 報：システム作動における高圧除湿系統の機器能力の影響）, 日本機械学会論文集, 2014, Vol. 80, No. 820, pp. TEP0360-TEP0360.

[4] K.K. Lin, M. Saito, J. Kojima, S. Kuratsu, H. Iwai, H. Yoshida, Comprehensive Method for Evaluating Reaction Rates of Steam Methane Reforming on Catalyst-Coated Channel Surface with Consideration of Limiting Steps, *Journal of Thermal Science and Technology*, 2013, Vol. 8, No. 1, pp. 165-177.

[5] H. Iwai, H. Ohmori, K. Itakura, M. Saito, H. Yoshida, Numerical Prediction of System Efficiency of Solid Oxide Redox Flow Battery During Charge/Discharge Process, *Solid Oxide Fuel Cells 13 (SOFC-Xiii)*, 2013, Vol. 57, No. 1, pp. 2661-2670.

[6] M. Kishimoto, H. Iwai, M. Saito, H. Yoshida, Characteristic Length of Oxide-Ion Conduction for Prediction of Active Thickness in SOFC Anode, *Solid Oxide Fuel Cells 13 (SOFC-Xiii)*, 2013, Vol. 57, No. 1, pp. 2515-2525.

[7] M. Kishimoto, K. Miyawaki, H. Iwai, M. Saito, H. Yoshida, Effect of Composition Ratio of Ni-YSZ Anode on Distribution of Effective Three Phase Boundary and Power Generation Performance, *Fuel Cells*, 2013, Vol. 13, No. 4, pp. 476-486.

[8] M. Kishimoto, H. Iwai, K. Miyawaki, M. Saito, H. Yoshida, Improvement of the sub-grid-scale model designed for 3D numerical simulation of solid oxide fuel cell electrodes using an adaptive power index, *Journal of Power Sources*, 2013, Vol. 223, pp. 268-276.

[9] S. Wongchanapai, H. Iwai, M. Saito, H. Yoshida, Performance evaluation of a direct-biogas solid oxide fuel cell-micro gas turbine (SOFC-MGT) hybrid combined heat and power (CHP) system, *Journal of Power Sources*, 2013, Vol. 223, pp. 9-17.

原子核工学専攻

核エネルギー工学講座 核材料工学分野

[1] Y. Furuta, I. Takagi, S. Kawamura, K. Yamamichi, M. Akiyoshi, T. Sasaki, T. Kobayashi, In situ deuterium observation in deuterium-implanted tungsten, *Nuclear Instruments & Methods in Physics Research Section B-Beam Interactions With Materials and Atoms*, 2013, Vol. 315, pp. 121-125.

[2] A. Rueanngoen, K. Kanazawa, M. Akiyoshi, M. Imai, K. Yoshida, T. Yano, Effects of neutron irradiation on polymorphs of silicon nitride and SiAlON ceramics, *Journal of Nuclear Materials*, 2013, Vol. 442, No. 1-3, pp. S394-S398.

[3] I. Takagi, T. Komura, M. Akiyoshi, K. Moritani, T. Sasaki, H. Moriyama, Hydrogen traps in ion-irradiated F82H steel observed by NRA, *Journal of Nuclear Materials*, 2013, Vol. 442, No. 1-3, pp. S33-S37.

[4] I. Takagi, K. Yamamichi, Y. Furuta, M. Akiyoshi, T. Sasaki, H. Tsuchida, Y. Hatano, In situ observation of deuterium trapping in self-ion irradiated tungsten, *Journal of Nuclear Materials*, 2013, Vol. 442, No. 1-3, pp. S246-S250.

[5] I. Takagi, K. Matsuoka, T. Tanaka, M. Akiyoshi, T. Sasaki, Hydrogen trapping in He-3-irradiated Fe, *Nuclear Instruments & Methods in Physics Research Section B-Beam Interactions With Materials and Atoms*, 2013, Vol. 314, pp. 117-121.

[6] V.K. Alimov, Y. Hatano, B. Tyburska-Pueschel, K. Sugiyama, I. Takagi, Y. Furuta, J. Dorner, M. Fusseder, K. Isobe, T. Yamanishi, M. Matsuyama, Deuterium retention in tungsten damaged with W ions to various damage levels, *Journal of Nuclear Materials*, 2013, Vol. 441, No. 1-3, pp. 280-285.

[7] K. Une, K. Sakamoto, I. Takagi, K. Sawada, H. Watanabe, M. Aomi, Deuterium diffusion in oxide layers of Zr-2.5Nb alloy, *Journal of Nuclear Materials*, 2013, Vol. 439, No. 1-3, pp. 84-92.

[8] Y. Hatano, M. Shimada, V.K. Alimov, J. Shi, M. Hara, T. Nozaki, Y. Oya, M. Kobayashi, K. Okuno, T. Oda, G. Cao, N. Yoshida, N. Futagami, K. Sugiyama, J. Roth, B. Tyburska-Pueschel, J. Dorner, I. Takagi, M. Hatakeyama, H. Kurishita, M.A. Sokolov, Trapping of hydrogen isotopes in radiation defects formed in tungsten by neutron and ion irradiations, *Journal of Nuclear Materials*, 2013, Vol. 438, pp. S114-S119.

[9] 長尾 誠也, 新堀 雄一, 田中 忠夫, 佐々木 隆之, 斉藤 拓巳, 桐島 陽, 吉川 英樹, 飯島 和毅, 濱 克宏, 岩月 輝希, 高橋 嘉夫, 足立 泰久, 鈴木 庸平, 渡部 芳夫, 放射性廃棄物の地層処分における国内の地下水コロイド研究の現状と今後の展開, 原子力バックエンド研究, 2013, Vol. 20, No. 1, pp. 3-14.

量子物質工学講座 量子物理学分野

[1] T. Heinosaari, T. Miyadera, D. Reitzner, Strongly Incompatible Quantum Devices, *Foundations of Physics*, 2014, Vol. 44, No. 1, pp. 34-57.

[2] T. Heinosaari, T. Miyadera, Qualitative noise-disturbance relation for quantum measurements, *Physical Review A*, 2013, Vol. 88, No. 4, p. 042117.

核エネルギー工学講座 核エネルギー変換工学分野

[1] Y. Yonemoto, T. Kunugi, Theoretical Model of Droplet Wettability on a Low-Surface-Energy Solid under the Influence of Gravity, *Scientific World Journal*, 2014, Vol. 2014, pp. 647694-5.

[2] T. Kunugi, Y. Ose, Direct Numerical Simulation and Visualization of Subcooled Pool Boiling, *Science and Technology of Nuclear Installations*, 2014, Vol. 2014, pp. 120604-11.

[3] Hongna Z., Haomin S., T. Yokomine, T. Kunugi, Void fraction effect on bubble deformation of turbulent bubbly flow in a large square duct, *Thermal Science & Engineering*, 2014, Vol. 22, No. 4, pp. 73-84.

[4] Y. Imaizumi, T. Kunugi, T. Yokomine, Z. Kawara, Viscoelastic fluid behaviors around a rising bubble via a new method of mesh deformation tracking, *Chemical Engineering Science*, 2014, Vol. 120, No. 6, pp. 167-173.

[5] T. Sakabe, T. Yokomine, T. Kunugi, Z. Kawara, Y. Ueki, T. Tanaka, Gas absorption and discharge behaviors of lead-lithium, *Fusion Engineering and Design*, 2014, Vol. 89, No. 7-8, pp. 1417-1420.

[6] K. Ito, T. Kunugi, S. Ohno, H. Kamide, H. Ohshima, A high-precision calculation method for interface normal and curvature on an unstructured grid, *Journal of Computational Physics*, 2014, Vol. 273, pp. 38-53.

[7] Hongna Z., Haomin S., T. Yokomine, T. Kunugi, Liquid Velocity Profile of Turbulent Bubbly Flow in a Large Square Duct Part-II: Flow Characteristics in Two Layers, 日本混相流学会誌, 2014, Vol. 28, No. 2, pp. 220-2014.

[8] Hongna Z., Haomin S., T. Yokomine, T. Kunugi, Liquid Velocity Profile of Turbulent Bubbly Flow in a Large Square Duct Part-I: Formation of the Typical M-shaped Profile and Two Layers, 日本混相流学会誌, 2014, Vol. 28, No. 2, pp. 212-219.

[9] Y. Yonemoto, T. Kunugi, Experimental investigation on variations in geometric variables of a droplet on a low-surface-energy solid, *International Journal of Heat and Mass Transfer*, 2014, Vol. 73, pp. 810-818.

[10] Y. Yonemoto, T. Kunugi, Electrically charged interfacial interaction based on thermodynamic jump condition, *International Journal of Engineering Science*, 2014, Vol. 77, pp. 35-44.

[11] H. Sun, T. Kunugi, X. Shen, D. Wu, H. Nakamura, Upward air-water bubbly flow characteristics in a vertical square duct, *Journal of Nuclear Science and Technology*, 2014, Vol. 51, No. 3, pp. 267-281.

[12] S.H. Pham, Z. Kawara, T. Yokomine, T. Kunugi, Detailed observations of wavy interface behaviors of annular two-phase flow on rod bundle geometry, *International Journal of Multiphase Flow*, 2014, Vol. 59, pp. 135-144.

[13] Y. Ueki, M. Hirabayashi, T. Kunugi, K. Nagai, K. Ara, Oxygen influence on ultrasonic Doppler velocimetry of lead-lithium flow using titanium transducer, *Fusion Engineering and Design*, 2014, Vol. 89, No. 1, pp. 77-81.

[14] K. Ito, T. Kunugi, H. Ohshima, T. Kawamura, A volume-conservative PLIC algorithm on three-dimensional fully unstructured meshes, *Computers & Fluids*, 2013, Vol. 88, pp. 250-261.

[15] M. Yamamoto, F. Arbeiter, T. Yokomine, E. Wakai, J. Theile, A. Garcia, D. Rapisarda, N. Casal, A. Mas, P. Gouat, W. Leysen, Current status of the engineering design of the test modules for the IFMIF, *Fusion Engineering and Design*, 2013, Vol. 88, No. 6-8, pp. 746-750.

[16] T. Yokomine, Heat transfer between pebbles by taking self-heating of each pebble into consideration, *Fusion Engineering and Design*, 2013, Vol. 88, No. 9-10, pp. 2280-2283.

[17] 功刀 資彰, 横峯 健彦, 植木 祥高, 結城 和久, 佐竹 信一, 江原 真司, 橋爪 秀利, 3.3 熱流動制御とモデリング (3. 第一壁・ブランケットの物質熱輸送に関する研究, 日米科学技術協力事業 TITAN プロジェクト), プラズマ・核融合学会誌, 2013, Vol. 89, No. 11, pp. 719-724.

核エネルギー工学講座 原子炉システム安全工学分野

量子ビーム科学講座

[1] B. Tsuchiya, K. Morita, S. Nagata, T. Kato, Y. Iriyama, H. Tsuchida, T. Majima, Dynamic measurements of Li depth profiles in a Li-ion battery system under charging condition by means of ERD and RBS techniques, *Surface and Interface Analysis*, 2014, Vol. 46, No. 12-13, pp. 1187-1191.

[2] T. Majima, T. Murai, T. Kishimoto, Y. Adachi, S.O. Yoshida, H. Tsuchida, A. Itoh, Correlation between multiple ionization and fragmentation of C2H6 in charge-changing collisions with 580-keV C+, *Physical Review A*, 2014, Vol. 90, No. 6, p. 062711.

[3] G. Ito, T. Furukawa, H. Tanuma, J. Matsumoto, H. Shiromaru, T. Majima, M. Goto, T. Azuma, K. Hansen, Cooling Dynamics of Photoexcited C-6(-) and C6H-, *Physical Review Letters*, 2014, Vol. 112, No. 18, p. 183001.

[4] K. Sato, Q. Xu, X.Z. Cao, P. Zhang, B.Y. Wang, H. Tsuchida, Formation of Cu precipitates in a high-energy-particle-irradiated and thermally aged Fe-0.6% Cu alloy, *13th International Workshop on Slow Positron Beam Techniques and Applications (SLOPOS13)*, 2014, Vol. 505, p. 012011.

[5] H. Tsuchida, T. Majima, S. Tomita, K. Sasa, K. Narumi, Y. Saitoh, A. Chiba, K. Yamada, K. Hirata, H. Shibata, A. Itoh, Transmission properties of C-60 ions through micro- and nano-capillaries, *Nuclear Instruments & Methods in Physics Research Section B-Beam Interactions With Materials and Atoms*, 2013, Vol. 315, pp. 336-340.

[6] B. Tsuchiya, K. Morita, Y. Iriyama, T. Majima, H. Tsuchida, ERD measurement of depth profiles of H and Li in Pt-coated Li CoO2 thin films, *Nuclear Instruments & Methods in Physics Research Section B-Beam Interactions With Materials and Atoms*, 2013, Vol. 315, pp. 341-344.

[7] A. Itoh, Y. Iriki, M. Imai, C. Champion, R.D. Rivarola, Cross sections for ionization of uracil by MeV-energy-proton impact, *Physical Review A*, 2013, Vol. 88, No. 5, p. 052711.

[8] C. Champion, M.E. Galassi, P.F. Weck, S. Incerti, R.D. Rivarola, O. Fojon, J. Hanssen, Y. Iriki, A. Itoh, Proton-induced ionization of isolated uracil molecules: A theory/experiment confrontation, *Nuclear Instruments & Methods in Physics Research Section B-Beam Interactions With Materials and Atoms*, 2013, Vol. 314, pp. 66-70.

[9] I. Takagi, K. Yamamichi, Y. Furuta, M. Akiyoshi, T. Sasaki, H. Tsuchida, Y. Hatano, In situ observation of deuterium trapping in self-ion irradiated tungsten, *Journal of Nuclear Materials*, 2013, Vol. 442, No. 1-3, pp. S246-S250.

[10] H. Tsuchida, T. Iwai, M. Awano, N. Oshima, R. Suzuki, K. Yasuda, C. Batchuluun, A. Itoh, Radiation damage in nanocrystalline Ni under irradiation studied using positron annihilation spectroscopy, *Journal of Nuclear Materials*, 2013, Vol. 442, No. 1-3, pp. S856-S860.

[11] J. Yokoe, H. Tsuchida, K. Nishimura, R. Murakoshi, S. Mori, M. Naitoh, T. Majima, A. Itoh, Charge-state distributions of fast diatomic carbon ions and dissociated fragments passing through microcapillaries, *Journal of Physics B-Atomic Molecular and Optical Physics*, 2013, Vol. 46, No. 11, p. 115201.

[12] M. Imai, Y. Iriki, A. Itoh, TARGET DEPENDENCE OF SINGLE-ELECTRON-CAPTURE CROSS SECTIONS FOR SLOW Be, B, C, Fe, Ni, AND W IONS COLLIDING WITH ATOMIC AND MOLECULAR TARGETS, *Fusion Science and Technology*, 2013, Vol. 63, No. 3, pp. 392-399.

[13] M. Goto, J. Matsumoto, H. Shiromaru, Y. Achiba, T. Majima, H. Tanuma, T. Azuma, Laser-induced thermal detachment of hot, large molecular ions under multiphoton-absorption conditions, *Physical Review A*, 2013, Vol. 87, No. 3, 033406.

量子物質工学講座 中性子工学分野

[1] Y. Yamashita, M. Kimura, M. Kitahara, T. Hamaguchi, I. Kanno, M. Ohtaka, M. Hashimoto, K. Ara, H. Onabe, Measurement of effective atomic numbers using energy-resolved computed tomography, *Journal of Nuclear Science and Technology*, 2014, Vol. 51, No. 10, pp. 1256-1263.

[2] I. Kanno, R. Imamura, Y. Yamashita, M. Ohtaka, M. Hashimoto, K. Ara, H. Onabe, Using energy-resolved X-ray computed tomography with a current mode detector to distinguish materials, *Japanese Journal of Applied Physics*, 2014, Vol. 53, No. 5, p. 056601.

[3] Y. Sato, Y. Morita, I. Kanno, Performance estimation of InSb compound semiconductor detectors as a function of active area using alpha particles, *Nuclear Instruments & Methods in Physics Research Section A-Accelerators Spectrometers Detectors and Associated Equipment*, 2014, Vol. 737, pp. 1-4.

[4] Y. Abe, T. Tsuboi, S. Tasaki, Evaluation of the neutron scattering cross-section for light water by molecular dynamics, *Nuclear Instruments & Methods in Physics Research Section A-Accelerators Spectrometers Detectors and Associated Equipment*, 2014, Vol. 735, pp. 568-573.

[5] Y. Yamashita, K. Shima, I. Kanno, M. Ohtaka, M. Hashimoto, K. Ara, H. Onabe, Low-dose exposure energy-resolved X-ray computed tomography using a contrast agent with a high-energy K-edge, *Journal of Nuclear Science and Technology*, 2014, Vol. 51, No. 1, pp. 91-97.

[6] I. Kanno, K. Shima, H. Shimazaki, Y. Yamashita, K. Watanabe, M. Ohtaka, M. Hashimoto, K. Ara, H. Onabe, Computed tomography reconstruction from two transmission measurements for iodine-marked cancer detection, *Journal of Nuclear Science and Technology*, 2013, Vol. 50, No. 10, pp. 1020-1033.

[7] Y. Yamashita, H. Shimazaki, K. Shima, I. Kanno, M. Ohtaka, M. Hashimoto, K. Ara, H. Onabe, Energy-resolved computed tomography measurements of iron solution and adipose as a simulation for estimating the iron concentration in the human liver, *Journal of Nuclear Science and Technology*, 2013, Vol. 50, No. 4, pp. 376-380.

[8] 神野 郁夫, transXend 検出器の開発と低被曝 CT への応用 (第 105 回日本医学物理学会 学術大会関連特集号), 医学物理, 2013, Vol. 33, No. 3, pp. 127-136.

[9] 神野 郁夫, transXend 検出器の開発と低被曝 CT への応用, 医学物理, 2013, Vol. 33, No. 3, pp. 127-136.

核エネルギー工学講座 量子制御工学分野

[1] M. Osakabe, H. Takahashi, K. Nagaoka, S. Murakami, I. Yamada, M. Yoshinuma, K. Ida, M. Yokoyama, R. Seki, H. Lee, Y. Nakamura, N. Tamura, S. Sudo, K. Tanaka, T. Seki, Y. Takeiri, O. Kaneko, H. Yamada, Impact of carbon impurities on the confinement of high-ion-temperature discharges in the Large Helical Device, *Plasma Physics and Controlled Fusion*, 2014, Vol. 56, No. 9, p. 095011.

[2] K. Nakamura, H. Fujita, X.L. Liu, E.B. Xue, F. Xia, O. Mitarai, K. Kurihara, Y. Kawamata, M. Sueoka, M. Hasegawa, K. Tokunaga, H. Zushi, K. Hanada, A. Fujisawa, K. Matsuoka, H. Idei, Y. Nagashima, S. Kawasaki, H. Nakashima, A. Higashijima, K. Araki, A. Fukuyama, Shape Reconstruction of RF-Driven Divertor Plasma on QUEST, *IEEE Transactions on Plasma Science*, 2014, Vol. 42, No. 9, pp. 2309-2312.

[3] T. Takizuka, S. Azuma, A. Fukuyama, K. Shimizu, Simple and Fast Poisson Solver with Arbitrary Boundary Shape and Condition for PIC Simulation, *Contributions To Plasma Physics*, 2014, Vol. 54, No. 4-6, pp. 388-393.

[4] H. Takahashi, T. Shimozuma, S. Kubo, Y. Yoshimura, H. Igami, S. Ito, S. Kobayashi, Y. Mizuno, K. Okada, T. Mutoh, K. Nagaoka, S. Murakami, M. Osakabe, I. Yamada, H. Nakano, M. Yokoyama, T. Ido, A. Shimizu, R. Seki, K. Ida, M. Yoshinuma, T. Kariya, R. Minami, T. Imai, N.B. Marushchenko, Y. Turkin, Extension of high T-e regime with upgraded electron cyclotron resonance heating system in the Large Helical Device, *Physics of Plasmas*, 2014, Vol. 21, No. 6, p. 061506.

[5] J. Miyazawa, Y. Suzuki, S. Satake, R. Seki, Y. Masaoka, S. Murakami, M. Yokoyama, Y. Narushima, M. Nunami, T. Goto, C. Suzuki, I. Yamada, R. Sakamoto, H. Yamada, A. Sagara, Physics analyses on the core plasma properties in the helical fusion DEMO reactor FFHR-d1, *Nuclear Fusion*, 2014, Vol. 54, No. 4, p. 043010.

[6] H.S. Bosch, R.C. Wolf, T. Andreeva, J. Baldzuhn, D. Birus, T. Bluhm, T. Braeuer, H. Braune, V. Bykov, A. Cardella, F. Durodie, M. Endler, V. Erckmann, G. Gantenbein, D. Hartmann, D. Hathiramani, P. Heimann, B. Heinemann, C. Hennig, M. Hirsch, D. Holtum, J. Jagielski, J. Jelonnek, W. Kasparek, T. Klinger, R. Koenig, P. Kornejew, H. Kroiss, J.G. Krom, G. Kuehner, H. Laqua, H.P. Laqua, C. Lechte, M. Lewerentz, J. Maier, P. McNeely, A. Messiaen, G. Michel, J. Ongena, A. Peacock, T.S. Pedersen, R. Riedl, H. Riemann, P. Rong, N. Rust, J. Schacht, F. Schauer, R. Schroeder, B. Schweer, A. Spring, A. Staebler, M. Thumm, Y. Turkin, L. Wegener, A. Werner, D. Zhang, M. Zilker, T. Akijama, R. Alzbutas, E. Ascasibar, M. Balden, M. Banduch, C. Baylard, W. Behr, C. Beidler, A. Benndorf, T. Bergmann, C. Biedermann, B. Bieg, W. Biel, M. Borchardt, G. Borowitz, V. Borsuk, S. Bozhenkov, R. Brakel, H. Brand, T. Brown, B. Brucker, R. Burhenn, K.-. Buscher, C. Caldwell-Nichols, A. Cappa, A. Cardella, A. Carls, P. Carvalho, L. Ciupinski, M. Cole, J. Collienne, A. Czarnecka, G. Czymek, G. Dammertz, C.P. Dhard, V.I. Davydenko, A. Dinklage, M. Drevlak, S. Drotziger, A. Dudek, P. Dumortier, G. Dundulis, P. von Eeten, Technical challenges in the construction of the steady-state stellarator Wendelstein 7-X, *Nuclear Fusion*, 2013, Vol. 53, No. 12, p. 126001.

[7] O. Kaneko, H. Yamada, S. Inagaki, M. Jakubowski, S. Kajita, S. Kitajima, Kobayashi, K. Koga, T. Morisaki, S. Morita, T. Mutoh, S. Sakakibara, Y. Suzuki, H. Takahashi, K. Tanaka, K. Toi, Y. Yoshimura, T. Akiyama, Y. Asahi, N. Ashikawa, H. Chikaraishi, A. Cooper, D.S. Darrow, E. Drapiko, P. Drewelow, X. Du, A. Ejiri, M. Emoto, T. Evans, N. Ezumi, K. Fujii, T. Fukuda, H. Funaba, M. Furukawa, D.A. Gates, M. Goto, T. Goto, W. Guttenfelder, S. Hamaguchi, M. Hasuo, T. Hino, Y. Hirooka, K. Ichiguchi, K. Ida, H. Idei, T. Ido, H. Igami, K. Ikeda, S. Imagawa, T. Imai, M. Isobe, M. Itagaki, T. Ito, K. Itoh, S. Itoh, A. Iwamoto, K. Kamiya, T. Kariya, H. Kasahara, N. Kasuya, D. Kato, T. Kato, K. Kawahata, F. Koike, S. Kubo, R. Kumazawa, D. Kuwahara, S. Lazerson, H. Lee, S. Masuzaki, S. Matsuoka, H. Matsuura, A. Matsuyama, C. Michael, D. Mikkelsen, O. Mitarai, T. Mito, J. Miyazawa, G. Motojima, K. Mukai, A. Murakami, I. Murakami, S. Murakami, T. Muroga, S. Muto, K. Nagaoka, K. Nagasaki, Y. Nagayama, N. Nakajima, H. Nakamura, Y. Nakamura, H. Nakanishi, H. Nakano, T. Nakano, K. Narihara, Y. Narushima, K. Nishimura, S. Nishimura, M. Nishiura, Y.M. Nunami, Extension of operation regimes and investigation of three-dimensional currentless plasmas in the Large Helical Device, *Nuclear Fusion*, 2013, Vol. 53, No. 10, p. 104015.

[8] Y. Masaoka, S. Murakami, Study of alpha-particle confinement in an LHD-type heliotron reactor, *Nuclear Fusion*, 2013, Vol. 53, No. 9, p. 093030.

[9] H. Takahashi, M. Osakabe, K. Nagaoka, S. Murakami, I. Yamada, Y. Takeiri, M. Yokoyama, H. Lee, K. Ida, R. Seki, C. Suzuki, M. Yoshinuma, T. Ido, A. Shimizu, M. Goto, S. Morita, T. Shimozuma, S. Kubo, S. Satake, S. Matsuoka, N. Tamura, H. Tsuchiya, K. Tanaka, M. Nunami, A. Wakasa, K. Tsumori, K. Ikeda, H. Nakano, M. Kisaki, Y. Yoshimura, M. Nishiura, H. Igami, T. Seki, H. Kasahara, K. Saito, R. Kumazawa, S. Muto, K. Narihara, T. Mutoh, O. Kaneko, H. Yamada, Extension of the operational regime in high-temperature plasmas and the dynamic-transport characteristics in the LHD, *Nuclear Fusion*, 2013, Vol. 53, No. 7, p. 073034.

[10] A. Dinklage, M. Yokoyama, K. Tanaka, J.L. Velasco, D. Lopez-Bruna, C.D. Beidler, S. Satake, E. Ascasibar, J. Arevalo, J. Baldzuhn, Y. Feng, D. Gates, J. Geiger, K. Ida, M. Isaev, M. Jakubowski, A. Lopez-Fraguas, H. Maassberg, J. Miyazawa, T. Morisaki, S. Murakami, N. Pablant, S. Kobayashi, R. Seki, C. Suzuki, Y. Suzuki, Y. Turkin, A. Wakasa, R. Wolf, H. Yamada, M. Yoshinuma, Inter-machine validation study of neoclassical transport modelling in medium- to high-density stellarator-heliotron plasmas, *Nuclear Fusion*, 2013, Vol. 53, No. 6, p. 63022.

[11] T. Yokoyama, M. Ichimura, Y. Ugajin, Y. Saito, A. Fukuyama, Y. Yamaguchi, M. Hirata, R. Ikezoe, T. Sato, T. Iimura, Y. Annaka, A. Shiratani, T. Imai, ICRF ANTENNA LOADING IN THE MINIMUM-B ANCHOR CONFIGURATION ON GAMMA 10, *Fusion Science and Technology*, 2013, Vol. 63, No. 1T, pp. 262-264.

[12] K. Nagaoka, K. Ida, M. Yoshinuma, Y. Suzuki, K. Kamiya, S. Satake, K. Tanaka, M. Yokoyama, S. Murakami, M. Osakabe, H. Takahashi, R. Seki, C. Suzuki, Y. Narushima, H. Nakano, M. Kisaki, K. Ikeda, K. Tsumori, Y. Takeiri, O. Kaneko, H. Yamada, 3-D effects on viscosity and generation of toroidal and poloidal flows in LHD, *Physics of Plasmas*, 2013, Vol. 20, No. 5, p. 56116.

[13] H. Lee, S. Kobayashi, M. Yokoyama, T. Mizuuchi, T. Minami, T. Harada, K. Nagasaki, H. Okada, T. Minami, S. Yamamoto, S. Murakami, Y. Nakamura, S. Konoshima, S. Ohshima, L. Zang, F. Sano, Effect of magnetic field configuration on parallel plasma flow during neutral beam injection in Heliotron J, *Plasma Physics and Controlled Fusion*, 2013, Vol. 55, No. 3, p. 35012.

量子理工学講座

[1] M. Fujii, S. Nakagawa, T. Seki, T. Aoki, J. Matsuo, Quantitative analysis of lipids with argon gas cluster ion beam secondary ion mass spectrometry, *Surface and Interface Analysis*, 2014, Vol. 46, No. 12-13, pp. 1129-1132.

[2] M. Suzuki, M. Nojima, M. Fujii, T. Seki, J. Matsuo, Mass analysis by Ar-GCIB-dynamic SIMS for organic materials, *Surface and Interface Analysis*, 2014, Vol. 46, No. 12-13, pp. 1212-1214.

[3] T. Seki, M. Fujii, M. Kusakari, S. Nakagawa, T. Aoki, J. Matsuo, Analysis of liquid materials in low vacuum with Wet-SIMS, *Surface and Interface Analysis*, 2014, Vol. 46, No. 12-13, pp. 1133-1136.

[4] M. Nojima, M. Suzuki, M. Fujii, T. Seki, J. Matsuo, Development of organic SIMS system with Ar-GCIB and IMS-4f, *Surface and Interface Analysis*, 2014, Vol. 46, No. S1, pp. 368-371.

[5] M. Fujii, M. Kusakari, K. Matsuda, N. Man, T. Seki, T. Aoki, J. Matsuo, Lipid compounds analysis with MeV-SIMS apparatus for biological applications, *Surface and Interface Analysis*, 2014, Vol. 46, No. S1, pp. 353-356.

[6] T. Tadic, I.B. Radovic, Z. Siketic, D.D. Cosic, N. Skukan, M. Jaksic, J. Matsuo, Development of a TOF SIMS setup at the Zagreb heavy ion microbeam facility, *Nuclear Instruments & Methods in Physics Research Section B-Beam Interactions With Materials and Atoms*, 2014, Vol. 332, pp. 234-237.

[7] T. Seki, Y. Wakamatsu, S. Nakagawa, T. Aoki, A. Ishihara, J. Matsuo, Biomaterial imaging with MeV-energy heavy ion beams, *Nuclear Instruments & Methods in Physics Research Section B-Beam Interactions With Materials and Atoms*, 2014, Vol. 332, pp. 326-329.

[8] M. Hada, D. Zhang, K. Pichugin, J. Hirscht, M.A. Kochman, S.A. Hayes, S. Manz, R.Y.N. Gengler, D.A. Wann, T. Seki, G. Moriena, C.A. Morrison,

J. Matsuo, G. Sciaini, R.J.D. Miller, Cold ablation driven by localized forces in alkali halides, *Nature Communications*, 2014, Vol. 5, p. 3863.

[9] J. Matsuo, S. Torii, K. Yamauchi, K. Wakamoto, M. Kusakari, S. Nakagawa, M. Fujii, T. Aoki, T. Seki, Novel SIMS system with focused massive cluster ion source for mass imaging spectrometry with high lateral resolution, *Applied Physics Express*, 2014, Vol. 7, No. 5, p. 056602.

[10] M. Fujii, S. Nakagawa, K. Matsuda, N. Man, T. Seki, T. Aoki, J. Matsuo, Study on the detection limits of a new argon gas cluster ion beam secondary ion mass spectrometry apparatus using lipid compound samples, *Rapid Communications in Mass Spectrometry*, 2014, Vol. 28, No. 8, pp. 917-920.

[11] H. Gnaser, M. Fujii, S. Nakagawa, T. Seki, T. Aoki, J. Matsuo, Prolific cluster emission in sputtering of phenylalanine by argon-cluster ion bombardment, *International Journal of Mass Spectrometry*, 2014, Vol. 360, No. 1, pp. 54-57.

[12] Y. Goto, Y. Angata, M. Yamamoto, T. Seki, J. Matsuo, H. Horibe, Removal of Ion implanted Poly vinyl phenol using Wet Ozone, *Journal of Photopolymer Science and Technology*, 2013, Vol. 26, No. 4, pp. 467-472.

[13] T. Seki, S. Shitomoto, S. Nakagawa, T. Aoki, J. Matsuo, An electrostatic quadrupole doublet focusing system for MeV heavy ions in MeV-SIMS, *Nuclear Instruments & Methods in Physics Research Section B-Beam Interactions With Materials and Atoms*, 2013, Vol. 315, pp. 356-359.

[14] K. Dobashi, K. Inai, M. Saito, T. Seki, T. Aoki, J. Matsuo, Ultrafine Particle Removal Using Gas Cluster Ion Beam Technology, *IEEE Transactions on Semiconductor Manufacturing*, 2013, Vol. 26, No. 3, pp. 328-334.

[15] H. Gnaser, M. Fujii, S. Nakagawa, T. Seki, T. Aoki, J. Matsuo, Peptide dissociation patterns in secondary ion mass spectrometry under large argon cluster ion bombardment, *Rapid Communications in Mass Spectrometry*, 2013, Vol. 27, No. 13, pp. 1490-1496.

[16] T. Aoki, T. Seki, J. Matsuo, Molecular dynamics simulation study of damage formation and sputtering with huge fluorine cluster impact on silicon, *Nuclear Instruments & Methods in Physics Research Section B-Beam Interactions With Materials and Atoms*, 2013, Vol. 303, pp. 170-173.

[17] K. Ichiki, J. Tamura, T. Seki, T. Aoki, J. Matsuo, Development of gas cluster ion beam irradiation system with an orthogonal acceleration TOF instrument, *Surface and Interface Analysis*, 2013, Vol. 45, No. 1, pp. 522-524.

[18] Y. Yamamoto, K. Ichiki, T. Seki, T. Aoki, J. Matsuo, Ion-induced damage evaluation with Ar cluster ion beams, *Surface and Interface Analysis*, 2013, Vol. 45, No. 1, pp. 167-170.

[19] H. Gnaser, K. Ichiki, J. Matsuo, Sputtered ion emission under size-selected Ar-n(+) cluster ion bombardment, *Surface and Interface Analysis*, 2013, Vol. 45, No. 1, pp. 138-142.

核システム工学講座 中性子源工学分野

[1] T. Katabuchi, T. Matsuhashi, K. Terada, T. Arai, K. Furutaka, K.Y. Hara, H. Harada, K. Hirose, J. Hori, M. Igashira, T. Kamiyama, A. Kimura, K. Kino, F. Kitatani, Y. Kiyanagi, M. Koizumi, M. Mizumoto, S. Nakamura, M. Oshima, Y. Toh, Pulse-width analysis for neutron capture cross-section measurement using an NaI(Tl) detector, *Nuclear Instruments & Methods in Physics Research Section A-Accelerators Spectrometers Detectors and Associated Equipment*, 2014, Vol. 764, pp. 369-377.

[2] Y. Shirakabe, Y. Mori, M. Muto, T. Sakai, C. Yamazaki, T. Yoshino, Study of Transient Ripple in Synchrotron, *IEEE Transactions on Nuclear Science*, 2014, Vol. 61, No. 5, pp. 2579-2587.

[3] T. Yamamoto, H. Sakamoto, A new concept of Monte Carlo kinetics parameter calculation using complex-valued perturbation, *Annals of Nuclear Energy*, 2014, Vol. 71, pp. 480-488.

[4] T. Yoshiie, K. Fukumoto, Y. Ishi, D. Ito, Y. Kuriyama, T. Misawa, Y. Mori, T. Nagasaka, K. Nakajima, Y. Oki, C.H. Pyeon, Y. Saito, K. Sato, X. Shen, S. Shibata, T. Uesugi, Q. Xu, Studies on ADS as a neutron source at the Kyoto University Research Reactor Institute, *Journal of Nuclear Materials*, 2014, Vol. 450, No. 1-3, pp. 16-26.

[5] T. Katabuchi, T. Matsuhashi, K. Terada, M. Mizumoto, K. Hirose, A. Kimura, K. Furutaka, K.Y. Hara, H. Harada, J. Hori, M. Igashira, T. Kamiyama, F. Kitatani, K. Kino, Y. Kiyanagi, M. Koizumi, S. Nakamura, M. Oshima, Y. Toh, A New Signal Processing Technique for Neutron Capture Cross Section Measurement Based on Pulse Width Analysis, *Nuclear Data Sheets*, 2014, Vol. 119, pp. 398-400.

[6] J. Hori, H. Yashima, S. Nakamura, K. Furutaka, K.Y. Hara, H. Harada, K. Hirose, A. Kimura, F. Kitatani, M. Koizumi, M. Oshima, Y. Toh, M. Igashira, T. Katabuchi, M. Mizumoto, T. Kamiyama, K. Kino, Y. Kiyanagi, Measurements of Capture Gamma Rays from the Neutron Resonances of Se-74 and Se-77 at the J-PARC/MLF/ANNRI, *Nuclear Data Sheets*, 2014, Vol. 119, pp. 128-131.

[7] H. Harada, M. Ohta, A. Kimura, K. Furutaka, K. Hirose, K.Y. Hara, T. Kin, F. Kitatani, M. Koizumi, S. Nakamura, M. Oshima, Y. Toh, M. Igashira, T. Katabuchi, M. Mizumoto, K. Kino, Y. Kiyanagi, T. Fujii, S. Fukutani, J. Hori, K. Takamiya, Capture Cross-section Measurement of Am-241(n,gamma) at J-PARC/MLF/ANNRI, *Nuclear Data Sheets*, 2014, Vol. 119, pp. 61-64.

[8] Q. Xu, K. Sato, T. Yoshiie, T. Sano, H. Kawabe, Y. Nagai, K. Nagumo, K. Inoue, T. Toyama, N. Oshima, A. Kinomura, Y. Shirai, Positron beam facility at Kyoto University Research Reactor,

13th International Workshop on Slow Positron Beam Techniques and Applications (SLOPOS13), 2014, Vol. 505, p. 012030.

[9] T. Yamamoto, Higher order mode analyses of power spectral density and Feynman-alpha method in accelerator driven system with periodically pulsed spallation neutron source, *Annals of Nuclear Energy*, 2014, Vol. 66, pp. 63-73.

[10] M. Igashira, T. Katabuchi, H. Harada, S. Nakamura, A. Kimura, N. Iwamoto, J. Hori, Y. Kiyanagi, A Nuclear Data Project on Neutron Capture Cross Sections of Long-Lived Fission Products and Minor Actinides, *Nuclear Data Sheets*, 2014, Vol. 118, pp. 72-77.

[11] T. Yoshiie, K. Sato, Q. Xu, Y. Ishi, T. Uesugi, Y. Kuriyama, Y. Mori, Comparison between In-Situ and Post-Irradiation Cyclic Deformation Structures in Ni by 150 MeV Proton Irradiation, *Materials Transactions*, 2014, Vol. 55, No. 3, pp. 434-437.

[12] K. Kino, M. Furusaka, F. Hiraga, T. Kamiyama, Y. Kiyanagi, K. Furutaka, S. Goko, K.Y. Hara, H. Harada, M. Harada, K. Hirose, T. Kai, A. Kimura, T. Kin, F. Kitatani, M. Koizumi, F. Maekawa, S. Meigo, S. Nakamura, M. Ooi, M. Ohta, M. Oshima, Y. Toh, M. Igashira, T. Katabuchi, M. Mizumoto, J. Hori, Energy resolution of pulsed neutron beam provided by the ANNRI beamline at the J-PARC/MLF, *Nuclear Instruments & Methods in Physics Research Section A-Accelerators Spectrometers Detectors and Associated Equipment*, 2014, Vol. 736, pp. 66-74.

[13] T. Yamamoto, Frequency domain Monte Carlo simulation method for cross power spectral density driven by periodically pulsed spallation neutron source using complex-valued weight Monte Carlo, *Annals of Nuclear Energy*, 2014, Vol. 63, pp. 711-720.

[14] A. Sakon, K. Hashimoto, M.A. Bin Maarof, M. Kawasaki, W. Sugiyama, C.H. Pyeon, T. Sano, T. Yagi, T. Ohsawa, Measurement of large negative reactivity of an accelerator-driven system in the Kyoto University Critical Assembly, *Journal of Nuclear Science and Technology*, 2014, Vol. 51, No. 1, pp. 116-126.

[15] N. Sei, T. Takahashi, Verification of terahertz-wave spectrophotometry by Compton backscattering of coherent synchrotron radiation, *Physics Letters A*, 2014, Vol. 378, No. 3, pp. 303-307.

[16] K. Shimada, Y. Azuma, M. Kawase, T. Takahashi, S.W. Schaffer, K. Takahashi, Taurine as a Marker for the Identification of Natural Calculus Bovis and Its Substitutes, *Taurine 8, Vol 2: Nutrition and Metabolism, Protective Role, and Role in Reproduction, Development, and Differentiation*, 2013, Vol. 776, pp. 141-149.

[17] X. Shen, K. Nakajima, H. Unesaki, K. Mishima, Reactivity insertion transient analysis for KUR low-enriched uranium silicide fuel core, *Annals of Nuclear Energy*, 2013, Vol. 62, pp. 195-207.

[18] K.Y. Hara, H. Harada, Y. Toh, J. Hori, gamma-Flash suppression using a gated photomultiplier assembled with an LaBr3(Ce) detector to measure fast neutron capture reactions, *Nuclear Instruments & Methods in Physics Research Section A-Accelerators Spectrometers Detectors and Associated Equipment*, 2013, Vol. 723, pp. 121-127.

[19] T. Yamamoto, Monte Carlo method with complex-valued weights for frequency domain analyses of neutron noise, *Annals of Nuclear Energy*, 2013, Vol. 58, pp. 72-79.

[20] T. Yamamoto, Energy-higher order mode analyses in Feynman-alpha method, *Annals of Nuclear Energy*, 2013, Vol. 57, pp. 84-91.

[21] N. Amemiya, K. Goda, H. Otake, T. Nakamura, T. Ogitsu, K. Koyanagi, T. Kurusu, Y. Mori, Y. Iwata, K. Noda, M. Yoshimoto, Progress of research and development of fundamental technologies for accelerator magnets using coated conductors, *IEEE Transactions on Applied Superconductivity*, 2013, Vol. 23, No. 3, p. 4601905.

[22] K. Hirose, K. Furutaka, K.Y. Hara, H. Harada, A. Kimura, T. Kin, F. Kitatani, M. Koizumi, S. Nakamura, M. Oshima, Y. Toh, M. Igashira, T. Katabuchi, M. Mizumoto, T. Kamiyama, K. Kino, Y. Kiyanagi, J. Hori, Cross-section measurement of Np-237 (n, gamma) from 10 meV to 1 keV at Japan Proton Accelerator Research Complex, *Journal of Nuclear Science and Technology*, 2013, Vol. 50, No. 2, pp. 188-200.

[23] 川辺 秀憲, 釜江 克宏, 2011 年東北地方太平洋沖地震の震源のモデル化, 日本地震工学会論文集, 2013, Vol. 13, No. 2, pp. 2_75-2_87.

[24] 吉村 智昭, 永野 正行, 久田 嘉章, 青井 真, 岩城 麻子, 早川 崇, C. Seckin Ozgur, 松島 信一, 川辺 秀憲, 強震動予測手法に関するベンチマークテスト：数値解析手法の場合（その 3）, 日本建築学会技術報告集, 2013, Vol. 19, No. 41, pp. 65-70.

核システム工学講座 中性子応用光学分野

[1] T. Yoshiie, K. Fukumoto, Y. Ishi, D. Ito, Y. Kuriyama, T. Misawa, Y. Mori, T. Nagasaka, K. Nakajima, Y. Oki, C.H. Pyeon, Y. Saito, K. Sato, X. Shen, S. Shibata, T. Uesugi, Q. Xu, Studies on ADS as a neutron source at the Kyoto University Research Reactor Institute, *Journal of Nuclear Materials*, 2014, Vol. 450, No. 1-3, pp. 16-26.

[2] 有吉 玄, 浅井 勇吾, 伊藤 大介, 小型電磁流速計を用いた液体金属二相流の乱流計測 (混相流研究の進展), 混相流, 2014, Vol. 27, No. 5, pp. 615-622.

[3] 武田 全康, 山﨑 大, 日野 正裕, 中性子実験装置 定常炉編 (8) 反射率計 中性子反射率計, 波紋 : *Neutron network news*, 2014, Vol. 24, No. 3, pp. 200-205.

[4] 伊藤 大介, 西 大樹, 齊藤 泰司, 紫外線及び放射線が表面濡れ性へ与える影響, 混相流, 2014, Vol. 27, No. 5, pp. 555-561.

[5] 有吉 玄, 浅井 勇吾, 伊藤 大介, 齊藤 泰司, 三島 嘉

一郎, 小型電磁流速計を用いた液体金属二相流の乱流計測, 混相流, 2014, Vol. 27, No. 5, pp. 615-622.

[6] 伊藤 大介, 西 大樹, 齊藤 泰司, 紫外線及び放射線が表面濡れ性へ与える影響 (混相流研究の進展), 混相流, 2014, Vol. 27, No. 5, pp. 555-561.

[7] S. Sekimoto, Y. Saito, D. Ito, Y. Homura, M. Ebihara, Y. Kawabata, Attempts for simultaneous observation of image and elemental component in a pottery sample using neutrons, *Physics Procedia*, 2013, Vol. 43, pp. 352-359.

核システム工学講座 量子リサイクル工学分野

[1] T. Fujii, F. Moynier, J. Blichert-Toft, F. Albarede, Density functional theory estimation of isotope fractionation of Fe, Ni, Cu, and Zn among species relevant to geochemical and biological environments, *Geochimica Et Cosmochimica Acta*, 2014, Vol. 140, pp. 553-576.

[2] T. Fujii, A. Uehara, Y. Kitatsuji, H. Yamana, Raman spectroscopic study on NpO2 (+)-Ca2+ interaction in highly concentrated calcium chloride, *Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry*, 2014, Vol. 301, No. 1, pp. 293-296.

[3] Y. Shibahara, T. Kubota, T. Fujii, S. Fukutani, T. Ohta, K. Takamiya, R. Okumura, S. Mizuno, H. Yamana, Analysis of cesium isotope compositions in environmental samples by thermal ionization mass spectrometry-1. A preliminary study for source analysis of radioactive contamination in Fukushima prefecture, *Journal of Nuclear Science and Technology*, 2014, Vol. 51, No. 5, pp. 575-579.

[4] H. Harada, M. Ohta, A. Kimura, K. Furutaka, K. Hirose, K.Y. Hara, T. Kin, F. Kitatani, M. Koizumi, S. Nakamura, M. Oshima, Y. Toh, M. Igashira, T. Katabuchi, M. Mizumoto, K. Kino, Y. Kiyanagi, T. Fujii, S. Fukutani, J. Hori, K. Takamiya, Capture Cross-section Measurement of Am-241(n,gamma) at J-PARC/MLF/ANNRI, *Nuclear Data Sheets*, 2014, Vol. 119, pp. 61-64.

[5] A. Uehara, T. Hashimoto, R.A.W. Dryfe, Au Electrodeposition at the Liquid-Liquid Interface: mechanistic aspects, *Electrochimica Acta*, 2014, Vol. 118, pp. 26-32.

[6] F. Moynier, T. Fujii, A.S. Shaw, M. Le Borgne, Heterogeneous distribution of natural zinc isotopes in mice, *Metallomics*, 2013, Vol. 5, No. 6, pp. 693-699.

[7] K. Toda, M. Kobayashi, T. Fujishima, H. Uchimura, R. Miura, T. Fujii, H. Yamana, Y. Oya, K. Okuno, Correlation between release of deuterium and annihilation of irradiation defects produced by gamma-ray in Li2TiO3, *Fusion Engineering and Design*, 2013, Vol. 88, No. 9-10, pp. 2369-2372.

[8] M. Tanigaki, R. Okumura, K. Takamiya, N. Sato, H. Yoshino, H. Yamana, Development of a carborne gamma-ray survey system, KURAMA, *Nuclear Instruments & Methods in Physics Research Section A-Accelerators Spectrometers Detectors and Associated Equipment*, 2013, Vol. 726, pp. 162-168.

[9] T. Fujii, T. Uda, Y. Iwadate, T. Nagai, A. Uehara, H. Yamana, Raman spectroscopic study of uranyl complex in alkali chloride melts, *Journal of Nuclear Materials*, 2013, Vol. 440, No. 1-3, pp. 575-579.

[10] T. Nagai, A. Uehara, T. Fujii, H. Yamana, Reduction behavior of UO22+ in molten LiCl-RbCl and LiCl-KCl eutectics by using tungsten, *Journal of Nuclear Materials*, 2013, Vol. 439, No. 1-3, pp. 1-6.

[11] A. Uehara, T. Nagai, T. Fujii, O. Shirai, H. Yamana, Spectrophotometric and electrochemical study of neptunium ions in molten NaCl-CsCl eutectic, *Journal of Nuclear Materials*, 2013, Vol. 437, No. 1-3, pp. 166-170.

[12] M. Murakami, T. Matsutani, M. Sekiguchi, K. Matsui, M. Kitano, M. Namiki, K. Ohmura, Y. Imura, T. Fujii, T. Kuroiwa, H. Nakahara, S. Higa, K. Maeda, Y. Nozaki, M. Funauchi, K. Murakami, T. Ikawa, S. Irimajiri, A. Nampei, T. Azuma, T. Sasaki, A. Yokota, S. Morita, Y. Kawahito, T. Mimori, H. Sano, N. Nishimoto, CHANGES IN CYTOKINE PROFILES IN RHEUMATOID ARTHRITIS PATIENTS DURING ABATACEPT TREATMENT, *Annals of The Rheumatic Diseases*, 2013, Vol. 72, pp. 622-622.

[13] T. Fujii, F. Moynier, M. Abe, K. Nemoto, F. Albarede, Copper isotope fractionation between aqueous compounds relevant to low temperature geochemistry and biology, *Geochimica Et Cosmochimica Acta*, 2013, Vol. 110, pp. 29-44.

[14] M.-. Pons, T. Fujii, M. Rosing, G. Quitte, P. Telouk, F. Albarede, A Zn isotope perspective on the rise of continents, *Geobiology*, 2013, Vol. 11, No. 3, pp. 201-214.

[15] F. Moynier, T. Fujii, K. Wang, J. Foriel, Ab initio calculations of the Fe(II) and Fe(III) isotopic effects in citrates, nicotianamine, and phytosiderophore, and new Fe isotopic measurements in higher plants, *Comptes Rendus Geoscience*, 2013, Vol. 345, No. 5-6, pp. 230-240.

[16] T. Fujii, T. Uda, K. Fukasawa, A. Uehara, N. Sato, T. Nagai, K. Kinoshita, T. Koyama, H. Yamana, Quantitative analysis of trivalent uranium and lanthanides in a molten chloride by absorption spectrophotometry, *Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry*, 2013, Vol. 296, No. 1, pp. 255-259.

[17] T. Fujii, F. Moynier, A. Agranier, E. Ponzevera, M. Abe, A. Uehara, H. Yamana, Nuclear field shift effect in isotope fractionation of thallium, *Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry*, 2013, Vol. 296, No. 1, pp. 261-265.

[18] T. Uda, T. Fujii, Y. Iwadate, A. Uehara, H. Yamana, Raman Spectroscopic Study of Rare Earth

Chlorides in Alkali Chloride Eutectic Melts, *Zeitschrift Fur Anorganische Und Allgemeine Chemie*, 2013, Vol. 639, No. 5, pp. 765-769.

[19] T. Fujii, S. Egusa, A. Uehara, H. Yamana, Y. Morita, Quantitative analysis of neodymium, uranium, and palladium in nitric acid solution by reflection absorption spectrophotometry, *Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry*, 2013, Vol. 295, No. 3, pp. 2059-2062.

[20] F. Moynier, T. Fujii, G.A. Brennecka, S.G. Nielsen, Nuclear field shift in natural environments, *Comptes Rendus Geoscience*, 2013, Vol. 345, No. 3, pp. 150-159.

[21] T. Nagai, N. Sato, S. Kitawaki, A. Uehara, T. Fujii, H. Yamana, M. Myochin, Synthesis and investigation of uranyl molybdate UO2MoO4, *Journal of Nuclear Materials*, 2013, Vol. 433, No. 1-3, pp. 397-403.

核システム工学講座 放射線医学物理学分野

[1] S. Masunaga, Y. Sanada, T. Moriwaki, K. Tano, Y. Sakurai, H. Tanaka, M. Suzuki, N. Kondo, M. Narabayashi, T. Watanabe, Y. Nakagawa, A. Maruhashi, K. Ono, Significance of fractionated administration of thalidomide combined with γ-ray irradiation in terms of local tumor response and lung metastasis, *World Journal of Oncology*, 2014, Vol. 5, pp. 155-165.

[2] H. Tanaka, Y. Sakurai, M. Suzuki, S. Masunaga, T. Mitsumoto, Y. Kinashi, N. Kondo, M. Narabayashi, Y. Nakagawa, T. Watanabe, N. Fujimoto, A. Maruhashi, K. Ono, B. Hales, T. Katabuchi, N. Hayashizaki, K. Terada, M. Igashira, T. Kobayashi, Evaluation of thermal neutron irradiation field using a cyclotron-based neutron source for alpha autoradiography, *Applied Radiation and Isotopes*, 2014, Vol. 88, pp. 153-156.

[3] 川端 信司, 平松 亮, 古瀬 元雅, 松下 葉子, 二村 元, 大西 宏之, 黒岩 敏彦, 近藤 夏子, 鈴木 実, 櫻井 良憲, 田中 浩基, 小野 公二, 宮武 伸一, 悪性神経膠腫の放射線治療後再発例に対するホウ素中性子捕捉療法の成績, 定位的放射線治療, 2014, Vol. 18, pp. 43-49.

[4] S. Masunaga, Y. Sakurai, H. Tanaka, K. Tano, M. Suzuki, N. Kondo, M. Narabayashi, Y. Nakagawa, T. Watanabe, A. Maruhashi, K. Ono, The dependency of compound biological effectiveness factors on the type and the concentration of administered neutron capture agents in boron neutron capture therapy, *Springer Plus*, 2014, Vol. 3, pp. 128(1-11).

[5] Y. Sakurai, H. Tanaka, M. Suzuki, S. Masunaga, Y. Kinashi, N. Kondo, K. Ono, A. Maruhashi, Dose estimation for internal organs during boron neutron capture therapy for body-trunk tumors, *Applied Radiation and Isotopes*, 2014, Vol. 88, pp. 43-45.

[6] S. Masunaga, Y. Sakurai, K. Tano, H. Tanaka, M. Suzuki, N. Kondo, M. Narabayashi, T. Watanabe, Y. Nakagawa, A. Maruhashi, K. Ono, Effect of bevacizumab combined with boron neutron capture therapy on local tumor response and lung metastasis, *Experimental and Therapeutic Medicine*, 2014, Vol. 8, No. 1, pp. 291-301.

[7] T. Kobayashi, K. Miura, N. Hayashizaki, M. Aritomi, Development of liquid-lithium film jet-flow for the target of Li-7(p,n)Be-7 reactions for BNCT, *Applied Radiation and Isotopes*, 2014, Vol. 88, pp. 198-202.

[8] T. Kobayashi, N. Hayashizaki, T. Katabuchi, K. Tanaka, G. Bengua, N. Nakao, K. Kosako, Near-threshold Li-7(p,n)Be-7 neutrons on the practical conditions using thick Li-target and Gaussian proton energies for BNCT, *Applied Radiation and Isotopes*, 2014, Vol. 88, pp. 221-224.

[9] K. Tanaka, Y. Sakurai, S. Endo, J. Takada, Study on detecting spatial distribution of neutrons and gamma rays using a multi-imaging plate system, *Applied Radiation and Isotopes*, 2014, Vol. 88, pp. 143-146.

[10] T. Katabuchi, B. Hales, N. Hayashizaki, M. Igashira, Z. Khan, T. Kobayashi, T. Matsuhashi, K. Miyazaki, K. Ogawa, K. Terada, Feasibility study on pinhole camera system for online dosimetry in boron neutron capture therapy, *Applied Radiation and Isotopes*, 2014, Vol. 88, pp. 139-142.

[11] T. Andoh, T. Fujimoto, T. Sudo, M. Suzuki, Y. Sakurai, T. Sakuma, H. Moritake, T. Sugimoto, T. Takeuchi, H. Sonobe, A.L. Epstein, Y. Fukumori, K. Ono, H. Ichikawa, Boron neutron capture therapy as new treatment for clear cell sarcoma: Trial on different animal model, *Applied Radiation and Isotopes*, 2014, Vol. 88, pp. 59-63.

[12] H. Yanagie, S. Higashi, K. Seguchi, I. Ikushima, M. Fujihara, Y. Nonaka, K. Oyama, S. Maruyama, R. Hatae, M. Suzuki, S. Masunaga, T. Kinashi, Y. Sakurai, H. Tanaka, N. Kondo, M. Narabayashi, T. Kajiyama, A. Maruhashi, K. Ono, J. Nakajima, M. Ono, H. Takahashi, M. Eriguchi, Pilot clinical study of boron neutron capture therapy for recurrent hepatic cancer involving the intra-arterial injection of a (BSH)-B-10-containing WOW emulsion, *Applied Radiation and Isotopes*, 2014, Vol. 88, pp. 32-37.

[13] B. Hales, T. Katabuchi, N. Hayashizaki, K. Terada, M. Igashira, T. Kobayashi, Feasibility study of SPECT system for online dosimetry imaging in boron neutron capture therapy, *Applied Radiation and Isotopes*, 2014, Vol. 88, pp. 167-170.

[14] H. Ichikawa, T. Uneme, T. Andoh, Y. Arita, T. Fujimoto, M. Suzuki, Y. Sakurai, H. Shinto, T. Fukasawa, F. Fujii, Y. Fukumori, Gadolinium-loaded chitosan nanoparticles for neutron-capture therapy: Influence of micrometric properties of the nanoparticles on tumor-killing effect, *Applied Radiation and Isotopes*, 2014, Vol. 88, pp. 109-113.

[15] H. Michiue, Y. Sakurai, N. Kondo, M. Kitamatsu, F. Bin, K. Nakajima, Y. Hirota, S. Kawabata, T. Nishiki, I. Ohmori, K. Tomizawa, S. Miyatake, K. Ono, H. Matsui, The acceleration of boron

neutron capture therapy using multi-linked mercaptoundecahydrododecaborate (BSH) fused cell-penetrating peptide, *Biomaterials*, 2014, Vol. 35, No. 10, pp. 3396-3405.

[16] H. Tanaka, Y. Sakurai, M. Suzuki, S. Masunaga, K. Takamiya, A. Maruhashi, K. Ono, Development of a simple and rapid method of precisely identifying the position of B-10 atoms in tissue: an improvement in standard alpha autoradiography, *Journal of Radiation Research*, 2014, Vol. 55, No. 2, pp. 373-380.

[17] M. Suzuki, I. Kato, T. Aihara, J. Hiratsuka, K. Yoshimura, M. Niimi, Y. Kimura, Y. Ariyoshi, S. Haginomori, Y. Sakurai, Y. Kinashi, S. Masunaga, M. Fukushima, K. Ono, A. Maruhashi, Boron neutron capture therapy outcomes for advanced or recurrent head and neck cancer, *Journal of Radiation Research*, 2014, Vol. 55, No. 1, pp. 146-153.

[18] 古林 徹, 林崎 規託, 片渕 竜也, 山本 哲哉, 三浦 邦明, 有冨 正憲, 液体リチウムターゲット加速器 BNCT 照射システムの将来性:—7Li(p,n)7Be しきい値近傍反応中性子の利用—, 電気学会論文誌C（電子・情報・システム部門誌）, 2014, Vol. 134, No. 9, pp. 1406-1413.

[19] 前田 拓海, 高田 卓志, 佐藤 平, 長時間オートクレーブ養生が高強度モルタルの強度発現性と微細構造に及ぼす影響, *Journal of The Society of Inorganic Materials, Japan :* セッコウ・石灰・セメント・地球環境の科学, 2014, Vol. 21, No. 368, pp. 15-21.

[20] 中川 順達, 高橋 実, 有冨 正憲, 古林 徹, ホウ素中性子捕捉療法 (BNCT) 中性子源用高速リチウム液幕噴流の安定性, 日本機械学会論文集, 2014, Vol. 80, No. 819, pp. FE0316-FE0316.

[21] S. Masunaga, Y. Sakurai, H. Tanaka, M. Suzuki, N. Kondo, M. Narabayashi, K. Tano, A. Maruhashi, K. Ono, Effect of tirapazamine and mild temperature hyperthermia on the recovery from radiation-Induced damage in pimonidazole-unlabeled quiescent tumor cell population, *Journal of Cancer Therapy*, 2013, Vol. 4, pp. 521-528.

[22] 川端 信司, 平松 亮, 宮田 至朗, 松下 葉子, 宮武 伸一, 黒岩 敏彦, 切畑 光統, 丸橋 晃, 櫻井 良憲, 小野 公二, ホウ素中性子捕捉療法による悪性髄膜腫の治療成績, 定位的放射線治療, 2013, Vol. 17, pp. 75-81.

[23] N. Yamatomo, T. Iwagami, I. Kato, S. Masunaga, Y. Sakurai, S. Iwai, M. Nakazawa, K. Ono, Y. Yura, Sonoporation as an enhancing method for boron neutron capture therapy for squamous cell carcinomas, *Radiation Oncology*, 2013, Vol. 8, No. 1, p. 280.

[24] K. Fujiwara, Y. Kinashi, T. Takahashi, H. Yashima, K. Kurihara, Y. Sakurai, H. Tanaka, K. Ono, S. Takahashi, Induced radioactivity in the blood of cancer patients following Boron Neutron Capture Therapy, *Journal of Radiation Research*, 2013, Vol. 54, No. 4, pp. 769-774.

[25] Y. Liu, M. Suzuki, S. Masunaga, Y. Chen, G. Kashino, H. Tanaka, Y. Sakurai, M. Kirihata, K. Ono, Effect of bevacizumab treatment on p-boronophenylalanine distribution in murine tumor, *Journal of Radiation Research*, 2013, Vol. 54, No. 2, pp. 260-267.

[26] T. Fujimoto, T. Andoh, T. Sudo, I. Fujita, H. Moritake, T. Sugimoto, T. Sakuma, T. Akisue, S. Kawabata, M. Kirihata, M. Suzuki, Y. Sakurai, K. Ono, Y. Fukumori, M. Kurosaka, H. Ichikawa, Boron neutron capture therapy (BNCT) selectively destroys human clear cell sarcoma in mouse model, *Applied Radiation and Isotopes*, 2013, Vol. 73, pp. 96-100.

[27] S. Masunaga, Y. Sakurai, H. Tanaka, M. Suzuki, N. Kondo, M. Narabayashi, A. Maruhashi, K. Ono, Wortmannin efficiently suppresses the recovery from radiation-induced damage in pimonidazole-unlabeled quiescent tumor cell population, *Journal of Radiation Research*, 2013, Vol. 54, No. 2, pp. 221-229.

材料工学専攻

材料設計工学講座

[1] S. Yagi, T. Ichitsubo, Y. Shirai, S. Yanai, T. Doi, K. Murase, E. Matsubara, A concept of dual-salt polyvalent-metal storage battery, *Journal of Materials Chemistry A*, 2014, Vol. 2, No. 4, pp. 1144-1149.

[2] M. Oishi, T. Iichitsubo, S. Okamoto, S. Toyoda, E. Matsubara, T. Nohira, R. Hagiwara, Electrochemical Behavior of Magnesium Alloys in Alkali Metal-TFSA Ionic Liquid for Magnesium-Battery Negative Electrode, *Journal of The Electrochemical Society*, 2014, Vol. 161, No. 6, pp. A943-A947.

[3] S. Yagi, M. Fukuda, R. Makiura, T. Ichitsubo, E. Matsubara, EQCM analysis of redox behavior of Prussian blue in a lithium battery electrolyte, *Journal of Materials Chemistry A*, 2014, Vol. 2, No. 21, pp. 8041-8047.

[4] M. Kawamori, S. Yagi, E. Matsubara, Iron Alloying Effect on Formation of Cobalt Nanoparticles and Nanowires via Electroless Deposition under a Magnetic Field, *Journal of The Electrochemical Society*, 2014, Vol. 161, No. 1, pp. D59-D66.

[5] T. Kawaguchi, K. Fukuda, K. Tokuda, K. Shimada, T. Ichitsubo, M. Oishi, J. Mizuki, E. Matsubara, Revisit to diffraction anomalous fine structure, *Journal of Synchrotron Radiation*, 2014, Vol. 21, No. 6, pp. 1247-1251.

[6] T. Ichitsubo, S. Yagi, R. Nakamura, Y. Ichikawa, S. Okamoto, K. Sugimura, T. Kawaguchi, A. Kitada, M. Oishi, T. Doi, E. Matsubara, A new aspect of Chevrel compounds as positive electrodes for magnesium batteries, *Journal of Materials Chemistry A*, 2014, Vol. 2, No. 36, pp. 14858-14866.

[7] H. Murayama, K. Kitada, K. Fukuda, A. Mitsui, K. Ohara, H. Arai, Y. Uchimoto, Z. Ogumi, E. Matsubara, Spectroscopic X-ray Diffraction for Microfocus Inspection of Li-Ion Batteries, *Journal of Physical Chemistry C*, 2014, Vol. 118, No. 36, pp. 20750-20755.

[8] K. Tokuda, T. Kawaguchi, K. Fukuda, T. Ichitsubo, E. Matsubara, Research Update: Retardation and acceleration of phase separation evaluated from observation of imbalance between structure and valence in LiFePO4/FePO4 electrode, *Apl Materials*, 2014, Vol. 2, No. 7, p. 070701.

[9] I. Takahashi, H. Murayama, K. Sato, T. Naka, K. Kitada, K. Fukuda, Y. Koyama, H. Arai, E. Matsubara, Y. Uchimoto, Z. Ogumi, Kinetically asymmetric charge and discharge behavior of LiNi0.5Mn1.5O4 at low temperature observed by in situ X-ray diffraction, *Journal of Materials Chemistry A*, 2014, Vol. 2, No. 37, pp. 15414-15419.

[10] K. Shigematsu, A. Chikamatsu, T. Fukumura, S. Toyoda, E. Ikenaga, T. Hasegawa, Sr2MgMoO6-delta thin films fabricated using pulsed-laser deposition with high concentrations of oxygen vacancies, *Applied Physics Letters*, 2014, Vol. 104, No. 26, p. 261901.

[11] T. Mihara, R. Kojima, A. Tsuchino, S. Sato, K. Hisada, S. Furumiya, N. Yamada, Crystallization properties of Ge2Bi2Te5 and Ge10Sb90 amorphous nanoparticles subjected to pulsed laser irradiation, *Applied Physics Express*, 2014, Vol. 7, No. 5, p. 055001.

[12] M.C. Newton, M. Sao, Y. Fujisawa, R. Onitsuka, T. Kawaguchi, K. Tokuda, T. Sato, T. Togashi, M. Yabashi, T. Ishikawa, T. Ichitsubo, E. Matsubara, Y. Tanaka, Y. Nishino, Time-Resolved Coherent Diffraction of Ultrafast Structural Dynamics in a Single Nanowire, *Nano Letters*, 2014, Vol. 14, No. 5, pp. 2413-2418.

[13] M. Kawamori, T. Asai, Y. Shirai, S. Yagi, M. Oishi, T. Ichitsubo, E. Matsubara, Three-Dimensional Nanoelectrode by Metal Nanowire Nonwoven Clothes, *Nano Letters*, 2014, Vol. 14, No. 4, pp. 1932-1937.

[14] S. Yagi, A. Tanaka, Y. Ichikawa, T. Ichitsubo, E. Matsubara, Effects of water content on magnesium deposition from a Grignard reagent-based tetrahydrofuran electrolyte, *Research on Chemical Intermediates*, 2014, Vol. 40, No. 1, pp. 3-9.

[15] 松原 英一郎, 徳田 一弥, 河口 智也, 超短パルス粉末 X 線回折による光励起ピコ秒構造相転移計測技術の開発 (特集 新時代の結晶学 : X 線自由電子レーザー), 日本結晶学会誌, 2014, Vol. 56, No. 1, pp. 15-21.

[16] 松原 英一郎, 徳田 一弥, 河口 智也, 山田 昇, 超短パルス粉末 X 線回折による光励起ピコ秒構造相転移計測技術の開発, 日本結晶学会誌, 2014, Vol. 56, No. 1, pp. 15-21.

[17] 田中 義人, 西野 吉則, 松原 英一郎, 時間分解 X 線回折法によるレーザ超音波発生過程の研究 : X 線自由電子レーザを用いたブラッグコヒーレント X 線回折法の開発とその展望 (特集 LU2013(2) レーザ超音波とその応用), 非破壊検査, 2014, Vol. 63, No. 4, pp. 170-177.

[18] 八木 俊介, 市坪 哲, 松原 英一郎, 多価金属蓄電池の開発に向けて (特集 次世代蓄電技術開発の展望), 化學工業, 2014, Vol. 65, No. 10, pp. 737-743.

[19] 和田 武, 市坪 哲, 湯蓋 邦夫, リチウムイオン蓄電池負極用大比表面積オープンセル型ポーラスシリコン粉末の開発 (特集 次世代蓄電技術開発の展望), 化學工業, 2014, Vol. 65, No. 10, pp. 761-768.

[20] H. Tanida, K. Fukuda, H. Murayama, Y. Orikasa, H. Arai, Y. Uchimoto, E. Matsubara, T. Uruga, K. Takeshita, S. Takahashi, M. Sano, H. Aoyagi, A. Watanabe, N. Nariyama, H. Ohashi, H. Yumoto, T. Koyama, Y. Senba, T. Takeuchi, Y. Furukawa, T. Ohata, T. Matsushita, Y. Ishizawa, T. Kudo, H. Kimura, H. Yamazaki, T. Tanaka, T. Bizen, T. Seike, S. Goto, H. Ohno, M. Takata, H.

Kitamura, T. Ishikawa, T. Ohta, Z. Ogumi, RISING beamline (BL28XU) for rechargeable battery analysis, *Journal of Synchrotron Radiation*, 2014, Vol. 21, No. 1, pp. 268-272.

[21] T. Ichitsubo, K. Tokuda, S. Yagi, M. Kawamori, T. Kawaguchi, T. Doi, M. Oishi, E. Matsubara, Elastically constrained phase-separation dynamics competing with the charge process in the LiFePO4/FePO4 system, *Journal of Materials Chemistry A*, 2013, Vol. 1.0, No. 7.0, pp. 2567-2577.

[22] Y. Tanaka, K. Ito, T. Nakatani, R. Onitsuka, M. Newton, T. Sato, T. Togashi, M. Yabashi, T. Kawaguchi, K. Shimada, K. Tokuda, I. Takahashi, T. Ichitsubo, E. Matsubara, Y. Nishino, Time-resolved Bragg coherent X-ray diffraction revealing ultrafast lattice dynamics in nanothickness crystal layer using X-ray free electron laser, *Journal of The Ceramic Society of Japan*, 2013, Vol. 121.0, No. 1411.0, pp. 283-286.

[23] T. Ichitsubo, T. Doi, K. Tokuda, E. Matsubara, T. Kida, T. Kawaguchi, S. Yagi, S. Okada, J. Yamaki, What determines the critical size for phase separation in LiFePO4 in lithium ion batteries?, *Journal of Materials Chemistry A*, 2013, Vol. 1, No. 46, pp. 14532-14537.

[24] N. Yamada, R. Kojima, K. Hisada, T. Mihara, A. Tsuchino, N. Fujinoki, M. Birukawa, T. Matsunaga, N. Yasuda, Y. Fukuyama, K. Ito, Y. Tanaka, S. Kimura, M. Takata, Phase-Change Nanodot Material for an Optical Memory, *Advanced Optical Materials*, 2013, Vol. 1, No. 11, pp. 820-826.

[25] K. Kifune, T. Fujita, T. Tachizawa, Y. Kubota, N. Yamada, T. Matsunaga, Crystal structures of X-phase in the Sb-Te binary alloy system, *Crystal Research and Technology*, 2013, Vol. 48, No. 11, pp. 1011-1021.

[26] S. Yagi, K. Kuwabara, Y. Fukuta, K. Kubota, E. Matsubara, Formation of self-repairing anodized film on ACM522 magnesium alloy by plasma electrolytic oxidation, *Corrosion Science*, 2013, Vol. 73.0, pp. 188-195.

[27] N. Yasuda, Y. Fukuyama, S. Kimura, K. Ito, Y. Tanaka, H. Osawa, T. Matsunaga, R. Kojima, K. Hisada, A. Tsuchino, M. Birukawa, N. Yamada, K. Sekiguchi, K. Fujiie, O. Kawakubo, M. Takata, System of laser pump and synchrotron radiation probe microdiffraction to investigate optical recording process, *Review of Scientific Instruments*, 2013, Vol. 84, No. 6, p. 063902.

[28] Y. Orikasa, T. Maeda, Y. Koyama, H. Murayama, K. Fukuda, H. Tanida, H. Arai, E. Matsubara, Y. Uchimoto, Z. Ogumi, Transient Phase Change in Two Phase Reaction between LiFePO4 and FePO4 under Battery Operation, *Chemistry of Materials*, 2013, Vol. 25.0, No. 7.0, pp. 1032-1039.

[29] Y. Orikasa, T. Maeda, Y. Koyama, H. Murayama, K. Fukuda, H. Tanida, H. Arai, E. Matsubara, Y. Uchimoto, Z. Ogumi, Direct Observation of a Metastable Crystal Phase of LixFePO4 under Electrochemical Phase Transition, *Journal of The American Chemical Society*, 2013, Vol. 135.0, No. 15.0, pp. 5497-5500.

[30] Y. Orikasa, T. Maeda, Y. Koyama, T. Minato, H. Murayama, K. Fukuda, H. Tanida, H. Arai, E. Matsubara, Y. Uchimoto, Z. Ogumi, Phase Transition Analysis between LiFePO4 and FePO4 by In-Situ Time-Resolved X-ray Absorption and X-ray Diffraction, *Journal of The Electrochemical Society*, 2013, Vol. 160.0, No. 5.0, pp. A3061-A3065.

[31] S. Yagi, A. Tanaka, Y. Ichikawa, T. Ichitsubo, E. Matsubara, Electrochemical Stability of Magnesium Battery Current Collectors in a Grignard Reagent-Based Electrolyte, *Journal of The Electrochemical Society*, 2013, Vol. 160.0, No. 3.0, pp. C83-C88.

[32] S. Yagi, Y. Ichikawa, I. Yamada, T. Doi, T. Ichitsubo, E. Matsubara, Synthesis of Binary Magnesium-Transition Metal Oxides via Inverse Coprecipitation, *Japanese Journal of Applied Physics*, 2013, Vol. 52.0, No. 2.0, p. 25501.

材料プロセス工学講座 表面処理工学分野

[1] N. Hatada, K. Toyoura, T. Onishi, Y. Adachi, T. Uda, Fast and Anisotropic Proton Conduction in a Crystalline Polyphosphate, *Journal of Physical Chemistry C*, 2014, Vol. 118, No. 51, pp. 29629-29635.

[2] D. Hashimoto, D. Han, T. Uda, Dependence of lattice constant of Ba, Co-contained perovskite oxides on atmosphere, and measurements of water content, *Solid State Ionics*, 2014, Vol. 262, pp. 687-690.

[3] D. Han, K. Kojima, M. Majima, T. Uda, Synthesis and Conductivity Measurement of Lanthanum Zirconate Doped with Rare Earth Dopants, *Journal of The Electrochemical Society*, 2014, Vol. 161, No. 10, pp. F977-F982.

[4] D. Han, K. Kishida, Inui H., T. Uda, Substantial Appearance of Origin of Conductivity Decrease in Y-Doped BaZrO3 due to Ba-deficiency, *RSC Advances*, 2014, Vol. 4, No. 60, pp. 31589-31593.

[5] D. Han, K. Shinoda, S. Tsukimoto, H. Takeuchi, C. Hiraiwa, M. Majima, T. Uda, Origins of structural and electrochemical influence on Y-doped BaZrO3 heat-treated with NiO additive, *Journal of Materials Chemistry A*, 2014, Vol. 2, No. 31, pp. 12552-12560.

[6] K.T. Jacob, P. Gupta, D. Han, T. Uda, Phase equilibria in the system Sm-Rh-O and thermodynamic and thermal studies on SmRhO3, *Journal of Materials Science*, 2014, Vol. 49, No. 8, pp. 3135-3145.

[7] D. Han, K. Shinoda, T. Uda, Dopant Site Occupancy and Chemical Expansion in Rare Earth-Doped Barium Zirconate, *Journal of The American Ceramic Society*, 2014, Vol. 97, No. 2, pp. 643-650.

[8] S. Maruyama, Y. Kado, T. Uda, Phase Diagram Investigations of the Bi-Ti System, *Journal of Phase Equilibria and Diffusion*, 2013, Vol. 34, No. 4, pp. 289-296.

[9] N. Hatada, K. Toyoura, Y. Nose, T. Uda, Vapour pressure measurements on lanthanum polyphosphate and ultraphosphate by the transpiration method, *Journal of Chemical Thermodynamics*, 2013, Vol. 61, pp. 147-153.

[10] N. Hatada, T. Nagai, Y. Nose, T. Uda, Reinvestigation of the Phase Equilibria in the La2O3-P2O5 System, *Journal of Phase Equilibria and Diffusion*, 2013, Vol. 34, No. 3, pp. 196-201.

[11] C. Hiraiwa, D. Han, A. Kuramitsu, A. Kuwabara, H. Takeuchi, M. Majima, T. Uda, Chemical Expansion and Change in Lattice Constant of Y-Doped BaZrO3 by Hydration/Dehydration Reaction and Final Heat-Treating Temperature, *Journal of The American Ceramic Society*, 2013, Vol. 96, No. 3, pp. 879-884.

材料プロセス工学講座 物質情報工学分野

[1] Y. Koretaka, First-principles-based optimization of electronic structures for bimetallic nanoparticles, *Calphad*, 2014, Vol. 47, pp. 144-147.

[2] Y. Toshihiro, K. Yuichiro, Y. Koretaka, C. Akihiko, H. Koji, N. Takayoshi, K. Kyosuke, I. Haruyuki, Mechanisms of Cr segregation to C11b/C40 lamellar interface in (Mo,Nb)Si2 duplex silicide: A phase-field study to bridge experimental and first-principles investigations, *Intermetallics*, 2014, Vol. 54, pp. 232-241.

[3] Y. Toshihiro, K. Yuichiro, C. Akihiko, H. Koji, N. Takayoshi, Y. Koretaka, K. Kyosuke, I. Haruyuki, Interface Migration with Segregation in MoSi2-Based Lamellar Alloy Simulated by Phase-Field Method, *Adv. Mater. Res.*, 2014, Vol. 922, pp. 832-837.

[4] K. Yuge, First-principles-based optimization of electronic structures for bimetallic nanoparticles, *Calphad*, 2014, Vol. 47, pp. 144-147.

[5] Y. Koretaka, K. Yukinori, K. Akihide, Isao T., Surface design of alloy protection against CO-poisoning from first-principles, *J. Phys.: Condens. Matter*, 2014, Vol. 26, pp. 355006-1.

[6] K. Yuge, Y. Koyama, A. Kuwabara, I. Tanaka, Surface design of alloy protection against CO-poisoning from first principles, *Journal of Physics-Condensed Matter*, 2014, Vol. 26, No. 35, p. 355006.

[7] Y. Liu, S. Imashuku, N. Sasaki, L. Ze, J. Kawai, S. Takano, Y. Sohrin, H. Seki, H. Miyauchi, Portable total reflection x-ray fluorescence analysis in the identification of unknown laboratory hazards, *Journal of Vacuum Science & Technology A*, 2014, Vol. 32, No. 3, p. 031401.

[8] J. Kawai, I. Ohtani, A. Imanishi, S. Imashuku, Palm-top size X-ray microanalyzer using a pyroelectric focused electron beam with 100-micrometer diameter, *22nd International Congress on X-Ray Optics and Microanalysis*, 2014, Vol. 499, p. 012011.

[9] 今宿 晋, 大谷 一誓, 河合 潤, 焦電結晶を用いた小型元素分析装置, ふぇらむ, 2014, Vol. 100, No. 7, pp. 905-910.

[10] T. Onishi, S. Imashuku, K. Yuge, J. Kawai, Portable X-ray Reflectometer Using a Low Power Polychromatic X-ray Tube, *Adv. X- Ray. Chem. Anal., Japan*, 2014, Vol. 45, pp. 211-215.

[11] 大平 健悟, 今宿 晋, 河合 潤, 焦電結晶による X 線発生における放電現象と X 線強度のエネルギー依存性, *X* 線分析の進歩, 2014, No. 45, pp. 181-190.

[12] K. Yuge, Microstructure and mechanical properties of the NbSi2/MoSi2 crystal with lamellar structure, *Materials Science Forum*, 2014, Vol. 783-786, pp. 1123-1128.

[13] 劉 穎, 今宿 晋, 河合 潤, ハンディーサイズ全反射蛍光 X 線分析装置によるひじき浸出水中の微量元素分析, *X* 線分析の進歩, 2014, No. 45, pp. 203-209.

[14] K. Yuge, R. Okawa, Cluster expansion approach for modeling strain effects on alloy phase stability, *Intermetallics*, 2014, Vol. 44, pp. 60-63.

[15] 辻 拓哉, 岩崎 寛之, 河合 潤, NaCl のカラーセンター着色, *X* 線分析の進歩, 2014, No. 45, pp. 233-240.

[16] 大西 庸礼, 今宿 晋, 弓削 是貴, 小型白色 X 線管を用いた X 線反射率測定装置, *X* 線分析の進歩, 2014, No. 45, pp. 211-215.

[17] 横井 健, 松岡 駿介, 今宿 晋, 氷砂糖とイオン結晶の破壊における X 線と可視光の発生, *X* 線分析の進歩, 2014, No. 45, pp. 227-232.

[18] 河合 潤, 月例卓話 和歌山カレーヒ素事件鑑定の問題点, 海洋化学研究, 2014, Vol. 27, No. 2, p. 111123.

[19] 東 康弘, 中江 保一, 河合 潤, ポータブル X 線装置による屋外通信設備材料の評価の検討, *X* 線分析の進歩, 2014, No. 45, pp. 61-70.

[20] 河合 潤, 和歌山カレーヒ素事件における卓上型蛍光 X 線分析の役割, *X* 線分析の進歩, 2014, No. 45, pp. 71-85.

[21] 杜 祖健, 河合 潤, 和歌山カレーヒ素事件鑑定における赤外吸収分光の役割, *X* 線分析の進歩, 2014, No. 45, pp. 87-98.

[22] 田中 亮平, 弓削 是貴, 27aAL-2 クラスター展開法に基づく Potential Energy Surface のモデリング (27aAL 格子欠陥・ナノ繕造 (シミュレーション), 領域 10(誘電体, 格子欠陥,X 線・粒子線, フォノン)), 日本物理学会講演概要集, 2014, Vol. 69, No. 1, p. 910.

[23] 深田 航平, 竹内 一仁, 弓削 是貴, 27aAL-1 「構造積分」に基づく合金の自由エネルギー計算 (27aAL 格子欠陥・ナノ繕造 (シミュレーション), 領域 10(誘電体, 格子欠陥,X 線・粒子線, フォノン)), 日本物理学会講演概要集, 2014, Vol. 69, No. 1, p. 910.

[24] 大谷 一誓, 今宿 晋, 河合 潤, 焦電結晶を用いた小型EPMA による軽元素の分析, *X* 線分析の進歩, 2014, No. 45, pp. 191-195.

[25] S. Imashuku, A. Imanishi, J. Kawai, Application of Pyroelectric Crystal and Ionic Liquid to the Production of Metal Compounds, *Application of Accelerators in Research and Industry*, 2013, Vol. 1525, pp. 305-308.

[26] T. Yamamoto, T. Kudo, T. Yamamoto, J. Kawai, Analysis of coordination environment of aluminum species in zeolites and amorphous silica-alumina by X-ray absorption and emission spectroscopy, *Microporous and Mesoporous Materials*, 2013, Vol. 182, pp. 239-243.

[27] S. Imashuku, N. Fuyuno, K. Hanasaki, J. Kawai, Note: Portable rare-earth element analyzer using pyroelectric crystal, *Review of Scientific Instruments*, 2013, Vol. 84, No. 12, p. 126105.

[28] Z. Liu, T. Waki, Y. Tabata, K. Yuge, H. Nakamura, I. Watanabe, Magnetic ground state of the Mn+1AX n-phase nitride Cr2GaN, *Physical Review B*, 2013, Vol. 88, No. 13, p. 134401.

[29] L. Lu, T. Yamamoto, M. Otornori, T. Yamada, K. Izui, S. Nishiwaki, Topology optimization of an acoustic metamaterial with negative bulk modulus using local resonance, *Finite Elements in Analysis and Design*, 2013, Vol. 72, pp. 1-12.

[30] Y. Liu, S. Imashuku, J. Kawai, Multi-Element Analysis by Portable Total Reflection X-ray Fluorescence Spectrometer, *Analytical Sciences*, 2013, Vol. 29, No. 8, pp. 793-797.

[31] S. Imashuku, S. Sakatoku, J. Kawai, Effect of electrical charging on scanning electron microscopy-energy dispersive X-ray spectroscopy analysis of insulating materials, *Spectrochimica Acta Part B-Atomic Spectroscopy*, 2013, Vol. 86, pp. 94-98.

[32] R. Sueyoshi, K. Yuge, First-Principles-Based Modeling of Energetic Stability for Alloy Nanoparticles with Multiple Shapes, *Journal of The Japan Institute of Metals*, 2013, Vol. 77, No. 7, pp. 276-280.

[33] S. Imashuku, A. Imanishi, J. Kawai, Focused electron beam in pyroelectric electron probe microanalyzer, *Review of Scientific Instruments*, 2013, Vol. 84, No. 7, p. 073111.

[34] K. Hagihara, Y. Hama, K. Yuge, T. Nakano, Misfit strain affecting the lamellar microstructure in NbSi2/MoSi2 duplex crystals, *Acta Materialia*, 2013, Vol. 61, No. 9, pp. 3432-3444.

[35] S. Kunimura, J. Kawai, Trace elemental determination by portable total reflection X-ray fluorescence spectrometer with low wattage X-ray tube, *X-Ray Spectrometry*, 2013, Vol. 42, No. 3, pp. 171-173.

[36] K. Yuge, Complete representation of strain effects in alloy configurational energetics, *Transactions of The Materials Research Society of Japan*, 2013, Vol. 38, pp. 171-175.

[37] L. Ze, S. Imashuku, J. Kawai, SEM-EDX Analysis of Insulator Specimen by Using Garment Antistatic Spray, *Bunseki Kagaku*, 2013, Vol. 62, No. 2, pp. 155-158.

[38] 澤 龍, 今宿 晋, 河合 潤, 絶縁性試料の SEM-EDX 分析, *X* 線分析の進歩, 2013, No. 44, pp. 7-20.

[39] 岩田 明彦, 河合 潤, 鉛 L 線とヒ素 K 線の重なり (2) 鉛の L 線強度比の変化, *X* 線分析の進歩, 2013, No. 44, pp. 137-143.

[40] 岩田 明彦, 河合 潤, 鉛 L 線とヒ素 K 線の重なり (1) ヒ素の K 線強度の変化, *X* 線分析の進歩, 2013, No. 44, pp. 131-136.

[41] 大平 健悟, 今宿 晋, 河合 潤, デジタル・オシロスコープによる焦電結晶の X 線発生時間変化測定, *X* 線分析の進歩, 2013, No. 44, pp. 145-153.

[42] 澤 龍, 今宿 晋, 河合 潤, エレガード【 ○!R】を用いた絶縁性試料の SEM-EDX 分析, 分析化学, 2013, Vol. 62, No. 2, pp. 155-158.

[43] 今西 朗, 今宿 晋, 河合 潤, 焦電結晶を用いた小型EPMA の製作, *X* 線分析の進歩, 2013, No. 44, pp. 155-164.

[44] 河合 潤, 和歌山カレーヒ素事件鑑定資料の軽元素組成の解析, *X* 線分析の進歩, 2013, No. 44, pp. 165-184.

[45] s. Kunimura, J. Kawai, Trace Elemental Determination by Portable Total Reflection X-Ray Fluorescence Spectrometer with Low Wattage X-Ray Tube, *X-ray Spectrometry*, 2013, Vol. 42, pp. 171-173.

[46] 澤 龍, 今宿 晋, 河合 潤, エレガード®を用いた絶縁性試料の SEM-EDX 分析, *Bunseki Kagaku*, 2013, Vol. 62, No. 2, pp. 155-158.

[47] A. Iwata, K. Yuge, J. Kawai, Intensity correction of WD-XRF spectra from 2 theta to energy, *X-Ray Spectrometry*, 2013, Vol. 42, No. 1, pp. 16-18.

[48] K. Yuge, R. Saito, J. Kawai, Formalism to model stacking fault effects on surface phase stability in alloys, *Physical Review B*, 2013, Vol. 87, No. 2, p. 024105.

[49] 劉 鐘昇, 和氣 剛, 田畑 吉計, 弓削 是貴, 渡邊 功雄, 中村 裕之, 28pXW-7 層状化合物 Cr_2GaN の SDW 転移 (28pXW 遍歴磁性・化合物磁性, 領域 3(磁性, 磁気共鳴)), 日本物理学会講演概要集, 2013, Vol. 68, No. 1, p. 551.

[50] 弓削 是貴, 第一原理統計熱力学計算に基づく合金の構造・相安定性と物性の予測, まてりあ : 日本金属学会会報, 2013, Vol. 52, No. 6, pp. 278-282.

[51] 末吉 亮太, 弓削 是貴, 第一原理計算に基づく合金ナノ粒子の安定構造の予測手法の開発, 日本金屬學會誌, 2013, Vol. 77, No. 7, pp. 276-280.

[52] 河合 潤, 分析化学倫理, ぶんせき, 2013, No. 460, p. 185.

材料プロセス工学講座 ナノ構造学分野

[1] Y. Kumagai, M. Choi, Y. Nose, F. Oba, First-principles study of point defects in chalcopyrite ZnSnP2, *Physical Review B*, 2014, Vol. 90, No. 12, p. 125202.

[2] K. Ito, K. Hamasaka, K. Kohama, Y. Shirai, M. Murakami, Low-Temperature Synthesis of High-Adhesion Cu(Mg) Alloy Films on Glass Substrates, *Journal of Electronic Materials*, 2014, Vol. 43, No. 7, pp. 2540-2547.

[3] A. Nagaoka, K. Yoshino, K. Aoyagi, T. Minemoto, Y. Nose, T. Taniyama, K. Kakimoto, H. Miyake, Thermo-physical properties of Cu2ZnSnS4 single crystal, *Journal of Crystal Growth*, 2014, Vol. 393, pp. 167-170.

[4] A. Nagaoka, H. Miyake, T. Taniyama, K. Kakimoto, Y. Nose, M.A. Scarpulla, K. Yoshino, Effects of sodium on electrical properties in Cu2ZnSnS4 single crystal, *Applied Physics Letters*, 2014, Vol. 104, No. 15, p. 152101.

[5] Q. Xu, K. Sato, T. Yoshiie, T. Sano, H. Kawabe, Y. Nagai, K. Nagumo, K. Inoue, T. Toyama, N. Oshima, A. Kinomura, Y. Shirai, Positron beam facility at Kyoto University Research Reactor, *13th International Workshop on Slow Positron Beam Techniques and Applications (SLOPOS13)*, 2014, Vol. 505, p. 012030.

[6] K. Nakama, S. Tatsutani, K. Sugita, Y. Shirai, Strengthening of Fe-36mass%Ni Low Thermal Expansion Alloy by Additions of C, V, Ti, and Cr and the Effect of Reducing Ni on Thermal Expansion, *Journal of The Japan Institute of Metals*, 2014, Vol. 78, No. 1, pp. 37-44.

[7] 中間 一夫, 龍谿 翔, 杉田 一樹, C,V,Ti,Cr 添加による Fe-36mass%Ni 系低熱膨張合金の高強度化および Ni 低減による熱膨張への影響, 日本金属学会誌, 2014, Vol. 78, No. 1, pp. 37-44.

[8] M. Mizuno, H. Araki, Y. Shirai, Structure of La2Ni7 hydride from first-principles calculations, *Journal of Alloys and Compounds*, 2013, Vol. 580, pp. S76-S80.

[9] Y. Hinuma, F. Oba, Y. Nose, I. Tanaka, First-principles study of valence band offsets at ZnSnP2/CdS, ZnSnP2/ZnS, and related chalcopyrite/zincblende heterointerfaces, *Journal of Applied Physics*, 2013, Vol. 114, No. 4, p. 043718.

[10] T. Onishi, M. Mizuno, T. Yoshikawa, J. Munemasa, M. Mizuno, T. Kihara, H. Araki, Y. Shirai, Highly-enhanced reflow characteristics of sputter deposited Cu interconnections of large scale integrated devices by optimizing sputtering conditions, *Journal of Applied Physics*, 2013, Vol. 114, No. 4, p. 044312.

[11] T. Yokoyama, F. Oba, A. Seko, H. Hayashi, Y. Nose, I. Tanaka, Theoretical Photovoltaic Conversion Efficiencies of $ZnSnP_2$, $CdSnP_2$, and $Zn_{1-x}Cd_xSnP_2$ Alloys, *Applied Physics Express*, 2013, Vol. 6, No. 6, p. 061201.

[12] K. Nakama, S. Furuya, K. Sugita, K. Inoue, Y. Shirai, Lattice Defects of Cold-drawn and Aged Fe-36wt%Ni Alloys and Effects of Additions of C and V on Hardness and Thermal Expansion, *Tetsu To Hagane-Journal of The Iron and Steel Institute of Japan*, 2013, Vol. 99, No. 5, pp. 380-389.

[13] A. Yabuuchi, T. Kihara, D. Kubo, M. Mizuno, H. Araki, T. Onishi, Y. Shirai, Effect of Hydrogen on Vacancy Formation in Sputtered Cu Films Studied by Positron Annihilation Spectroscopy, *Japanese Journal of Applied Physics*, 2013, Vol. 52, No. 4, p. 046501.

[14] 中間 一夫, 龍谿 翔, 杉田 一樹, 白井 泰治, Fe-36 mass%Ni 合金の熱膨張に及ぼす冷間引抜および焼鈍条件の影響, 日本金属学会誌, 2013, Vol. 77, No. 11, pp. 537-542.

材料物性学講座 量子材料学分野

[1] J.A. Dawson, H. Chen, I. Tanaka, Protonic defects in yttria stabilized zirconia: incorporation, trapping and migration, *Physical Chemistry Chemical Physics*, 2014, Vol. 16, No. 10, pp. 4814-4822.

[2] J.A. Dawson, I. Tanaka, Proton incorporation and trapping in ZrO2 grain boundaries, *Journal of Materials Chemistry A*, 2014, Vol. 2, No. 5, pp. 1400-1408.

[3] Y. Koyama, H. Arai, I. Tanaka, Y. Uchimoto, Z. Ogumi, First principles study of dopant solubility and defect chemistry in LiCoO2, *Journal of Materials Chemistry A*, 2014, Vol. 2, No. 29, pp. 11235-11245.

[4] Y. Kumagai, M. Choi, Y. Nose, F. Oba, First-principles study of point defects in chalcopyrite ZnSnP2, *Physical Review B*, 2014, Vol. 90, No. 12, p. 125202.

[5] J.A. Dawson, I. Tanaka, Significant Reduction in Hydration Energy for Yttria Stabilized Zirconia Grain Boundaries and the Consequences for Proton Conduction, *Langmuir*, 2014, Vol. 30, No. 34, pp. 10456-10464.

[6] K. Yuge, Y. Koyama, A. Kuwabara, I. Tanaka, Surface design of alloy protection against CO-poisoning from first principles, *Journal of Physics-Condensed Matter*, 2014, Vol. 26, No. 35, p. 355006.

[7] M. Nishijima, T. Ootani, Y. Kamimura, T. Sueki, S. Esaki, S. Murai, K. Fujita, K. Tanaka, K. Ohira, Y. Koyama, I. Tanaka, Accelerated discovery of cathode materials with prolonged cycle life for lithium-ion battery, *Nature Communications*, 2014, Vol. 5, 4553.

[8] J.A. Dawson, H. Chen, I. Tanaka, Combined Ab Initio and Interatomic Potentials Based Assessment of the Defect Structure of Mn-Doped SrTiO3, *Journal of Physical Chemistry C*, 2014, Vol. 118, No. 26, pp. 14485-14494.

[9] A. Seko, A. Takahashi, I. Tanaka, Sparse representation for a potential energy surface, *Physical Review B*, 2014, Vol. 90, No. 2, p. 024101.

[10] S. Ootsuki, H. Ikeno, Y. Umeda, Y. Yonezawa, H. Moriwake, A. Kuwabara, O. Kido, S. Ueda, I. Tanaka, Y. Fujikawa, T. Mizoguchi, Impact of local strain on Ti-L-2,L-3 electron energy-loss near-edge structures of BaTiO3: a first-principles multiplet study, *Microscopy*, 2014, Vol. 63, No. 3, pp. 249-253.

[11] J.M. Skelton, S.C. Parker, A. Togo, I. Tanaka, A. Walsh, Thermal physics of the lead chalcogenides PbS, PbSe, and PbTe from first principles, *Physical Review B*, 2014, Vol. 89, No. 20, p. 205203.

[12] H. Akamatsu, K. Fujita, T. Kuge, A. Sen Gupta, A. Togo, S. Lei, F. Xue, G. Stone, J.M. Rondinelli, L. Chen, I. Tanaka, V. Gopalan, K. Tanaka, Inversion symmetry breaking by oxygen octahedral rotations in the Ruddlesden-Popper NaRTiO₄ family, *Physical Review Letters*, 2014, Vol. 112, No. 18, 187602.

[13] Y. Kumagai, F. Oba, Electrostatics-based finite-size corrections for first-principles point defect calculations, *Physical Review B*, 2014, Vol. 89, No. 19, p. 195205.

[14] K. Edalati, T. Daio, M. Arita, S. Lee, Z. Horita, A. Togo, I. Tanaka, High-pressure torsion of titanium at cryogenic and room temperatures: Grain size effect on allotropic phase transformations, *Acta Materialia*, 2014, Vol. 68, No. 15, pp. 207-213.

[15] H. Hojo, K. Fujita, H. Ikeno, T. Matoba, T. Mizoguchi, I. Tanaka, T. Nakamura, Y. Takeda, T. Okane, K. Tanaka, Magnetic structures of FeTiO₃-Fe₂O₃ solid solution thin films studied by soft X-ray magnetic circular dichroism and ab initio multiplet calculations, *Applied Physics Letters*, 2014, Vol. 104, No. 11, 112408.

[16] A. Grüneis, G. Kresse, Y. Hinuma, F. Oba, Ionization Potentials of Solids: The Importance of Vertex Corrections, *Physical Review Letters*, 2014, Vol. 112, No. 9, p. 096401.

[17] A. Seko, I. Tanaka, Cluster expansion of multicomponent ionic systems with controlled accuracy: importance of long-range interactions in heterovalent ionic systems, *Journal of Physics-Condensed Matter*, 2014, Vol. 26, No. 11, p. 15403.

[18] K. Kubobuchi, M. Mogi, H. Ikeno, I. Tanaka, H. Imai, T. Mizoguchi, Mn L-2,L-3-edge X-ray absorption spectroscopic studies on charge-discharge mechanism of Li2MnO3, *Applied Physics Letters*, 2014, Vol. 104, No. 5, p. 053906.

[19] A. Seko, T. Maekawa, K. Tsuda, I. Tanaka, Machine learning with systematic density-functional theory calculations: Application to melting temperatures of single- and binary-component solids, *Physical Review B*, 2014, Vol. 89, No. 5, p. 054303.

[20] 石川 亮, 柴田 直哉, 大場 史康, 希土類添加 cBN 結晶中に形成された複合点欠陥の局所構造解析 (夢の技術特集), *New Diamond*, 2014, Vol. 30, No. 1, pp. 13-15.

[21] C. Patzig, T. Hoeche, Y. Hu, H. Ikeno, M. Krause, M. Dittmer, A. Gawronski, C. Ruessel, I. Tanaka, G.S. Henderson, Zr coordination change during crystallization of MgO-Al2O3-SiO2-ZrO2 glass ceramics, *Journal of Non-Crystalline Solids*, 2014, Vol. 384, pp. 47-54.

[22] R. Ishikawa, A.R. Lupini, F. Oba, S.D. Findlay, N. Shibata, T. Taniguchi, K. Watanabe, H. Hayashi, T. Sakai, I. Tanaka, Y. Ikuhara, S.J. Pennycook, Atomic Structure of Luminescent Centers in High-Efficiency Ce-doped w-AlN Single Crystal, *Scientific Reports*, 2014, Vol. 4, p. 3778.

[23] 東後 篤史, 田中 功, 29pAB-5 第一原理からのフォノン計算の最近の進歩 (29pAB 領域 10 シンポジウム:局所構造と物性 その評価と応用, 領域 10(誘電体, 格子欠陥,X 線・粒子線, フォノン)), 日本物理学会講演概要集, 2014, Vol. 69, No. 1, p. 935.

[24] H. Maeshima, H. Moriwake, A. Kuwabara, C.A.J. Fisher, I. Tanaka, An Improved Method for Quantitatively Predicting the Electrochemical Stabilities of Organic Liquid Electrolytes Using Ab Initio Calculations, *Journal of The Electrochemical Society*, 2014, Vol. 161, No. 3, pp. G7-G14.

[25] H. Murata, T. Taniguchi, S. Hishita, T. Yamamoto, F. Oba, I. Tanaka, Local environment of silicon in cubic boron nitride, *Journal of Applied Physics*, 2013, Vol. 114, No. 23, p. 233502.

[26] Y. Koyama, H. Arai, I. Tanaka, Y. Uchimoto, Z. Ogumi, High temperature defect chemistry in layered lithium transition-metal oxides based on first-principles calculations, *Journal of Power Sources*, 2013, Vol. 244, pp. 592-596.

[27] M. Mori, K. Matsunaga, T. Kubota, A. Goto, K. Toyoura, A. Nakamura, I. Tanaka, Theoretical Calculations of Segregation Behavior of Zinc and Magnesium at Hydroxyapatite Surface in Contact with Water, *Materials Transactions*, 2013, Vol. 54, No. 8, pp. 1262-1267.

[28] Y. Hinuma, F. Oba, I. Tanaka, Valence band offsets at zinc-blende heterointerfaces with misfit dislocations: A first-principles study, *Physical Review B*, 2013, Vol. 88, No. 7, p. 075319.

[29] W. Olovsson, L. Weinhardt, O. Fuchs, I. Tanaka, P. Puschnig, E. Umbach, C. Heske, C. Draxl, The Be K-edge in beryllium oxide and chalcogenides: soft x-ray absorption spectra from first-principles theory and experiment, *Journal of Physics-Condensed Matter*, 2013, Vol. 25, No. 31, p. 315501.

[30] K. Fujimura, A. Seko, Y. Koyama, A. Kuwabara, I. Kishida, K. Shitara, C.A.J. Fisher, H. Moriwake, I. Tanaka, Accelerated Materials Design of

Lithium Superionic Conductors Based on First-Principles Calculations and Machine Learning Algorithms, *Advanced Energy Materials*, 2013, Vol. 3, No. 8, pp. 980-985.

[31] S. Nishida, S. Kobayashi, A. Kumamoto, H. Ikeno, T. Mizoguchi, I. Tanaka, Y. Ikuhara, T. Yamamoto, Effect of local coordination of Mn on Mn-L-2,L-3 edge electron energy loss spectrum, *Journal of Applied Physics*, 2013, Vol. 114, No. 5, p. 054906.

[32] Y. Hinuma, F. Oba, Y. Nose, I. Tanaka, First-principles study of valence band offsets at Zn-SnP2/CdS, ZnSnP2/ZnS, and related chalcopyrite/zincblende heterointerfaces, *Journal of Applied Physics*, 2013, Vol. 114, No. 4, p. 043718.

[33] Y. Hinuma, F. Oba, Y. Kumagai, I. Tanaka, Band offsets of $CuInSe_2$/CdS and $CuInSe_2$/ZnS (110) interfaces: A hybrid density functional theory study, *Physical Review B*, 2013, Vol. 88, No. 3, p. 035305.

[34] T. Yokoyama, F. Oba, A. Seko, H. Hayashi, Y. Nose, I. Tanaka, Theoretical Photovoltaic Conversion Efficiencies of $ZnSnP_2$, $CdSnP_2$, and $Zn_{1-x}Cd_xSnP_2$ Alloys, *Applied Physics Express*, 2013, Vol. 6, No. 6, p. 061201.

[35] A. Togo, I. Tanaka, Evolution of crystal structures in metallic elements, *Physical Review B*, 2013, Vol. 87, No. 18, p. 184104.

[36] H. Ikeno, M. Krause, T. Hoeche, C. Patzig, Y. Hu, A. Gawronski, I. Tanaka, C. Ruessel, Variation of Zr-L-2,L-3 XANES in tetravalent zirconium oxides, *Journal of Physics-Condensed Matter*, 2013, Vol. 25, No. 16, p. 165505.

[37] T. Hoeche, H. Ikeno, M. Maeder, G.S. Henderson, R.I.R. Blyth, B.C. Sales, I. Tanaka, Vanadium L-2,L-3 XANES experiments and first-principles multielectron calculations: Impact of second-nearest neighboring cations on vanadium-bearing fresnoites, *American Mineralogist*, 2013, Vol. 98, No. 4, pp. 665-670.

[38] H. Akamatsu, Y. Kumagai, F. Oba, K. Fujita, K. Tanaka, I. Tanaka, Strong spin-lattice coupling through oxygen octahedral rotation in divalent europium perovskites, *Advanced Functional Materials*, 2013, Vol. 23, No. 15, pp. 1864-1872.

[39] R. Ishikawa, N. Shibata, F. Oba, T. Taniguchi, S.D. Findlay, I. Tanaka, Y. Ikuhara, Functional Complex Point-Defect Structure in a Huge-Size-Mismatch System, *Physical Review Letters*, 2013, Vol. 110, No. 6, p. 065504.

[40] 大場 史康, 酸化物・窒化物半導体における点欠陥の電子構造と機能：第一原理計算による新しい理解, まてりあ：日本金属学会会報, 2013, Vol. 52, No. 7, pp. 350-356.

[41] M. Choi, F. Oba, Y. Kumagai, I. Tanaka, Anti-ferrodistortive-Like Oxygen-Octahedron Rotation Induced by the Oxygen Vacancy in Cubic SrTiO , *Advanced Materials*, 2013, Vol. 25, No. 1, pp. 86-90.

材料物性学講座 結晶物性工学分野

[1] N.L. Okamoto, A. Yasuhara, H. Inui, Order-disorder structure of the delta(1k) phase in the Fe-Zn system determined by scanning transmission electron microscopy, *Acta Materialia*, 2014, Vol. 81, pp. 345-357.

[2] T. Yamazaki, Y. Koizumi, K. Yuge, A. Chiba, K. Hagihara, T. Nakano, K. Kishida, H. Inui, Mechanisms of Cr segregation to C11(b)/C40 lamellar interface in (Mo,Nb)Si-2 duplex silicide: A phase-field study to bridge experimental and first-principles investigations, *Intermetallics*, 2014, Vol. 54, pp. 232-241.

[3] K. Kishida, A. Inoue, H. Yokobayashi, H. Inui, Deformation twinning in a Mg-Al-Gd ternary alloy containing precipitates with a long-period stacking-ordered (LPSO) structure, *Scripta Materialia*, 2014, Vol. 89, pp. 25-28.

[4] K. Fujiwara, H. Matsunoshita, Y. Sasai, K. Kishida, H. Inui, Effects of ternary additions on the microstructure and thermal stability of directionally-solidified MoSi2/Mo5Si3 eutectic composites, *Intermetallics*, 2014, Vol. 52, pp. 72-85.

[5] D. Han, K. Kishida, Inui H., T. Uda, Substantial Appearance of Origin of Conductivity Decrease in Y-Doped BaZrO3 due to Ba-deficiency, *RSC Advances*, 2014, Vol. 4, No. 60, pp. 31589-31593.

[6] T. Murakami, H. Inui, Friction and wear properties of alpha-AlB12- and SiB6-based ceramics in water, *Tribology International*, 2014, Vol. 74, pp. 38-45.

[7] M. Inomoto, N.L. Okamoto, H. Inui, Compression of Single-Crystal Micropillars of the Γ Intermetallic Phase in the Fe-Zn System, *Advanced Materials Research*, 2014, Vol. 922, pp. 264-269.

[8] N.L. Okamoto, D. Kashioka, T. Hirato, H. Inui, Specimen- and grain-size dependence of compression deformation behavior in nanocrystalline copper, *International Journal of Plasticity*, 2014, Vol. 56, pp. 173-183.

[9] N.L. Okamoto, Y. Hasegawa, H. Inui, Plastic deformation of single crystals of Pt3Al with the L1(2) structure having a far Al-rich off-stoichiometric composition of Pt-29at.%Al, *Philosophical Magazine*, 2014, Vol. 94, No. 12, pp. 1327-1344.

[10] N.L. Okamoto, K. Tanaka, A. Yasuhara, H. Inui, Structure refinement of the delta(1p) phase in the Fe-Zn system by single-crystal X-ray diffraction combined with scanning transmission electron microscopy, *Acta Crystallographica Section B-Structural Science Crystal Engineering and Materials*, 2014, Vol. 70, No. 2, pp. 275-282.

[11] N.L. Okamoto, M. Inomoto, H. Adachi, H. Takebayashi, H. Inui, Micropillar compression deformation of single crystals of the intermetallic compound zeta-FeZn13, *Acta Materialia*, 2014, Vol. 65, pp. 229-239.

[12] 岸田 恭輔, 乾 晴行, 長周期積層構造を持つマグネシウム基金属間化合物の結晶構造 (特集 連続スライス SEM による医学生物学研究の最前線), 顕微鏡, 2014, Vol. 49, No. 3, pp. 181-189.

[13] T. Murakami, H. Mano, Y. Hibi, K. Matsuzaki, H. Inui, Friction and wear properties of alpha FeSi2-Si alloy, ReSi1.8 and MoSi2 in ethyl alcohol, *Tribology International*, 2014, Vol. 69, pp. 61-69.

[14] M. Inomoto, N.L. Okamoto, H. Inui, Compression of Single-Crystal Micropillars of the ζ Intermetallic Phase in the Fe-Zn System, *Materials Research Society Symposium Proceedings*, 2013, Vol. 1516, pp. 157-162.

[15] N.L. Okamoto, D. Kashioka, H. Inui, Investigation of Specimen- and Grain-Size Dependence of Yield Stress in Electrodeposited Nanocrystalline Copper through Micropillar Compression, *Materials Research Society Symposium Proceedings*, 2013, Vol. 1513, mrsf12.

[16] Y. Hasegawa, N.L. Okamoto, H. Inui, Compression Deformation of Single-Crystal Pt3Al with the L12 Structure, *Materials Research Society Symposium Proceedings*, 2013, Vol. 1516, pp. 177-182.

[17] N.L. Okamoto, D. Kashioka, H. Inui, Micropillar Compression Deformation of Fe-Zn Intermetallic Compounds in the Coating Layer of Galvannealed Steel, *Materials Research Society Symposium Proceedings*, 2013, Vol. 1516, pp. 283-288.

[18] K. Tanaka, S. Tsutsui, N.L. Okamoto, H. Inui, A.Q.R. Baron, Difference in Elastic Properties of CrB2 Determined by Microscopic and Macroscopic Measurements, *Materials Research Society Symposium Proceedings*, 2013, Vol. 1528, mrsf12.

[19] D. Han, K. Kishida, K. Shinoda, H. Inui, T. Uda, A comprehensive understanding of structure and site occupancy of Y in Y-doped BaZrO3, *Journal of Materials Chemistry A*, 2013, Vol. 1, No. 9, pp. 3027-3033.

[20] K. Yuge, K. Kishida, H. Inui, Y. Koizumi, K. Hagihara, T. Nakano, Cr segregation at C11(b)/C40 interface in MoSi2-based alloys: A first-principles study, *Intermetallics*, 2013, Vol. 42, pp. 165-169.

[21] D. Xiong, N.L. Okamoto, H. Inui, Reduced thermal conductivity in nanolamellar composite comprising half-Heusler and NiAs-type phases, *Scripta Materialia*, 2013, Vol. 69, No. 7, pp. 557-560.

[22] D. Xiong, N.L. Okamoto, H. Inui, Enhanced thermoelectric figure of merit in p-type Ag-doped ZnSb nanostructured with Ag3Sb, *Scripta Materialia*, 2013, Vol. 69, No. 5, pp. 397-400.

[23] N.L. Okamoto, D. Kashioka, M. Inomoto, H. Inui, H. Takebayashi, S. Yamaguchi, Compression deformability of Gamma and zeta Fe-Zn intermetallics to mitigate detachment of brittle intermetallic coating of galvannealed steels, *Scripta Materialia*, 2013, Vol. 69, No. 4, pp. 307-310.

[24] K. Kishida, H. Yokobayashi, H. Inui, The most stable crystal structure and the formation processes of an order-disorder (OD) intermetallic phase in the Mg-Al-Gd ternary system, *Philosophical Magazine*, 2013, Vol. 93, No. 21, pp. 2826-2846.

[25] K. Edalati, T. Daio, Z. Horita, K. Kishida, H. Inui, Evolution of lattice defects, disordered/ordered phase transformations and mechanical properties in Ni-Al-Ti intermetallics by high-pressure torsion, *Journal of Alloys and Compounds*, 2013, Vol. 563, pp. 221-228.

[26] 中本 貴之, 白川 信彦, 乾 晴行, 鋼系粉末の積層造形法における造形物の高性能化, 粉体および粉末冶金, 2013, Vol. 60, No. 11, pp. 460-466.

[27] 中本 貴之, 白川 信彦, 乾 晴行, 金属製インプラントの低弾性率化を目指したレーザ積層造形法による純チタン多孔体の作製 (特集 積層造形・ラピッドプロトタイピング・3D プリンティング・Additive Manufacturing(2)), レーザ加工学会誌, 2013, Vol. 20, No. 3, pp. 172-178.

[28] 中本 貴之, 白川 信彦, 乾 晴行, 鋼系粉末の積層造形法における造形物の高性能化 (特集 各種粉末に対する焼結技術と焼結機構およびその新しい展開), 粉体および粉末冶金：粉体粉末冶金協会誌, 2013, Vol. 60, No. 11, pp. 460-466.

[29] N.L. Okamoto, Y. Hasegawa, W. Hashimoto, H. Inui, Plastic deformation of single crystals of Pt3Al with the L12 structure, *Philosophical Magazine*, 2013, Vol. 93, No. 41277, pp. 60-81.

材料物性学講座 構造物性学分野

[1] K. Kashihara, Y. Komi, D. Terada, N. Tsuji, Stability of 4411 < 11 11 8 > Orientation in a 123 < 634 > Aluminum Single Crystal Processed by Accumulative Roll Bonding, *Materials Transactions*, 2014, Vol. 55, No. 11, pp. 1656-1661.

[2] Y.Z. Tian, Y. Bai, M.C. Chen, A. Shibata, D. Terada, N. Tsuji, Enhanced Strength and Ductility in an Ultrafine-Grained Fe-22Mn-0.6C Austenitic Steel Having Fully Recrystallized Structure, *Metallurgical and Materials Transactions A-Physical Metallurgy and Materials Science*, 2014, Vol. 45A, No. 12, pp. 5300-5304.

[3] Y.Z. Tian, L.J. Zhao, S. Chen, D. Terada, A. Shibata, N. Tsuji, Optimizing strength and ductility in Cu-Al alloy with recrystallized nanostructures formed by simple cold rolling and annealing, *Journal of Materials Science*, 2014, Vol. 49, No. 19, pp. 6629-6639.

[4] S. Gao, M. Chen, M. Joshi, A. Shibata, N. Tsuji, Yielding behavior and its effect on uniform elongation in IF steel with various grain sizes, *Journal of Materials Science*, 2014, Vol. 49, No. 19, pp. 6536-6542.

[5] A. Alhamidi, K. Edalati, Z. Horita, S. Hirosawa, K. Matsuda, D. Terada, Softening by severe plastic deformation and hardening by annealing of aluminum-zinc alloy: Significance of elemental and spinodal decompositions, *Materials*

Science and Engineering A-Structural Materials Properties Microstructure and Processing, 2014, Vol. 610, pp. 17-27.

[6] N. Park, L. Zhao, A. Shibata, N. Tsuji, Dynamic Ferrite Transformation Behaviors in 6Ni-0.1C Steel, *JOM*, 2014, Vol. 66, No. 5, pp. 765-773.

[7] K. Nakagawa, N. Tsuji, D. Terada, T. Nakano, K. Nizam, T. Kanadani, Aging Behavior of Ultra-Fine Grained Al-0.5%Si-0.5%Ge Alloy Fabricated by ARB Process, *Materials Transactions*, 2014, Vol. 55, No. 2, pp. 249-254.

[8] Y. Okitsu, N. Tsuji, Effect of Ferrite Grain Size on Dynamic Tensile Properties of Ultrafine Grained Low Carbon Steels with Various Chemical Compositions, *Materials Transactions*, 2014, Vol. 55, No. 1, pp. 78-84.

[9] S. Khamsuk, N. Park, S. Gao, D. Terada, H. Adachi, N. Tsuji, Mechanical Properties of Bulk Ultrafine Grained Aluminum Fabricated by Torsion Deformation at Various Temperatures and Strain Rates, *Materials Transactions*, 2014, Vol. 55, No. 1, pp. 106-113.

[10] S. Gao, M. Chen, S. Chen, N. Kamikawa, A. Shibata, N. Tsuji, Yielding Behavior and Its Effect on Uniform Elongation of Fine Grained IF Steel, *Materials Transactions*, 2014, Vol. 55, No. 1, pp. 73-77.

[11] 樫原 恵蔵, 寺田 大将, 辻 伸泰, 001〈100〉アルミニウム単結晶の繰返し重ね接合圧延における Dillamore 方位の形成, 軽金属, 2014, Vol. 64, No. 3, pp. 93-97.

[12] 牧 正志, 古原 忠, 辻 伸泰, 森戸 茂一, 宮本 吾郎, 柴田 曉伸, 鋼の加工熱処理の変遷と今後の動向, ふぇらむ, 2014, Vol. 100, No. 9, pp. 1062-1075.

[13] 足立 大樹, 宮嶋 陽司, 佐藤 眞直, 辻 伸泰, 結晶粒径の異なる 1100 アルミニウムにおける In-situ X 線回折法を用いた引張変形中の転位密度測定, 軽金属, 2014, Vol. 64, No. 10, pp. 463-469.

[14] 樫原 恵蔵, 寺田 大将, 辻 伸泰, 001〈100〉アルミニウム単結晶の繰返し重ね接合圧延における Dillamore 方位の形成, 軽金属, 2014, Vol. 64, No. 3, pp. 93-97.

[15] S. Gao, A. Shibata, M. Chen, N. Park, N. Tsuji, Correlation between Continuous/Discontinuous Yielding and Hall-Petch Slope in High Purity Iron, *Materials Transactions*, 2014, Vol. 55, No. 1, pp. 69-72.

[16] S. Chen, A. Shibata, S. Gao, N. Tsuji, Formation of Fully Annealed Nanocrystalline Austenite in Fe-Ni-C Alloy, *Materials Transactions*, 2014, Vol. 55, No. 1, pp. 223-226.

[17] J. Tokutomi, K. Hanazaki, N. Tsuji, J. Yanagimoto, Cross-Sectional Distributions of Mechanical Properties of Fine Cu-Sn Alloy Wire Manufactured by Continuous Rotary Draw Bending, *Materials Transactions*, 2013, Vol. 54, No. 9, pp. 1634-1641.

[18] N. Park, S. Khamsuk, A. Shibata, N. Tsuji, Dynamic Softening of Flow Stress during Dynamic Ferrite Transformation, *Recrystallization and Grain Growth V*, 2013, Vol. 753, pp. 510-513.

[19] R. Saha, R. Ueji, N. Tsuji, Nanocrystalline Twinning Induced Plasticity steel with superior mechanical properties fabricated by cold rolling and annealing, *Recrystallization and Grain Growth V*, 2013, Vol. 753, pp. 518-521.

[20] A. Shibata, S. Daido, D. Terada, N. Tsuji, Microstructures of Pearlite and Martensite Transformed from Ultrafine-Grained Austenite Fabricated through Cyclic Heat Treatment in Medium Carbon Steels, *Materials Transactions*, 2013, Vol. 54, No. 9, pp. 1570-1574.

[21] M. Tanaka, N. Kamikawa, N. Tsuji, Special Issue on Advanced Materials Science in Bulk Nanostructured Metals II PREFACE, *Materials Transactions*, 2013, Vol. 54, No. 9, pp. 1539-1539.

[22] M. Chen, D. Terada, A. Shibata, N. Tsuji, Identical Area Observations of Deformation-Induced Martensitic Transformation in SUS304 Austenitic Stainless Steel, *Materials Transactions*, 2013, Vol. 54, No. 3, pp. 308-313.

[23] Y. Takagawa, Y. Tsujiuchi, C. Watanabe, R. Monzen, N. Tsuji, Improvement in Mechanical Properties of a Cu-2.0mass%Ni-0.5mass%Si-0.1mass%Zr Alloy by Combining Both Accumulative Roll-Bonding and Cryo-Rolling with Aging, *Materials Transactions*, 2013, Vol. 54, No. 1, pp. 1-8.

[24] Y. Tsujiuchi, K. Kita, C. Watanabe, R. Monzen, N. Tsuji, Enhancement in Strength of a Cu-1.4 mass%Ni-0.25 mass%P-0.1 mass%Zr Alloy by Cryo-Rolling and Aging, *Journal of The Japan Institute of Metals*, 2013, Vol. 77, No. 2, pp. 55-58.

[25] A. Shibata, T. Nagoshi, M. Sone, Y. Higo, Micromechanical characterization of deformation behavior in ferrous lath martensite, *Journal of Alloys and Compounds*, 2013, Vol. 577, pp. S555-S558.

[26] H. Jafarian, E. Borhani, A. Shibata, N. Tsuji, Variant selection of martensite transformation from ultrafine-grained austenite in Fe-Ni-C alloy, *Journal of Alloys and Compounds*, 2013, Vol. 577, pp. S668-S672.

[27] Y.F. Sun, H. Fujii, N. Tsuji, Microstructure and mechanical properties of spot friction stir welded ultrafine grained 1050 Al and conventional grained 6061-T6 Al alloys, *Materials Science and Engineering A-Structural Materials Properties Microstructure and Processing*, 2013, Vol. 585, pp. 17-24.

[28] S. Hirosawa, T. Hamaoka, Z. Horita, S. Lee, K. Matsuda, D. Terada, Methods for Designing Concurrently Strengthened Severely Deformed Age-Hardenable Aluminum Alloys by Ultrafine-Grained and Precipitation Hardenings, *Metallur-*

gical and Materials Transactions A-Physical Metallurgy and Materials Science, 2013, Vol. 44A, No. 8, pp. 3921-3933.

[29] R. Saha, R. Ueji, N. Tsuji, Fully recrystallized nanostructure fabricated without severe plastic deformation in high-Mn austenitic steel, *Scripta Materialia*, 2013, Vol. 68, No. 10, pp. 813-816.

[30] N. Park, S. Khamsuk, A. Shibata, N. Tsuji, Occurrence of dynamic ferrite transformation in low-carbon steel above Ae(3), *Scripta Materialia*, 2013, Vol. 68, No. 7, pp. 538-541.

[31] N. Park, S. Khamsuk, A. Shibata, N. Tsuji, Effect of austenite grain size on kinetics of dynamic ferrite transformation in low carbon steel, *Scripta Materialia*, 2013, Vol. 68, No. 8, pp. 611-614.

[32] 辻内 喜成, 北 和久, 渡邊 千尋, 門前 亮一, 辻 伸泰, Enhancement in Strength of a Cu-1.4 mass%Ni-0.25 mass%P-0.1 mass%Zr Alloy by Cryo-Rolling and Aging, *Journal of The Japan Institute of Metals and Materials*, 2013, Vol. 77, No. 2, pp. 55-58.

[33] 渡邊 克己, 丸野 瞬, 松田 健二, 李 昇原, 堀田 善治, 寺田 大将, 才川 清二, 廣澤 渉一, HPT 加工後に時効した過剰 Mg 型 Al—Mg—Si 合金の時効挙動と組織観察, 軽金属, 2013, Vol. 63, No. 11, pp. 406-412.

[34] 辻内 喜成, 北 和久, 渡邊 千尋, 門前 亮一, 辻 伸泰, 極低温圧延と時効による Cu-1.4 mass%Ni-0.25 mass%P-0.1 mass%Zr 合金の強度向上, 日本金屬學會誌, 2013, Vol. 77, No. 2, pp. 55-58.

[35] K. Kashihara, Y. Tsujimoto, D. Terada, N. Tsuji, Texture evolution in 112 < 111 > aluminum single crystals processed by severe plastic deformation, *Materials Characterization*, 2013, Vol. 75, pp. 129-137.

[36] N. Park, A. Shibata, D. Terada, N. Tsuji, Flow stress analysis for determining the critical condition of dynamic ferrite transformation in 6Ni-0.1C steel, *Acta Materialia*, 2013, Vol. 61, No. 1, pp. 163-173.

材料機能学講座 磁性物理学分野

[1] T. Waki, S. Terazawa, Y. Tabata, K. Sato, A. Kondo, K. Kindo, H. Nakamura, Observation of two ferromagnetic phases in Fe3Mo3N, *Physical Review B*, 2014, Vol. 90, No. 1, p. 014416.

[2] T. Yamazaki, Y. Tabata, T. Waki, T.J. Sato, M. Matsuura, K. Ohoyama, M. Yokoyama, H. Nakamura, Novel Magnetic Chiral Structures and Unusual Temperature Hysteresis in the Metallic Helimagnet MnP, *Journal of The Physical Society of Japan*, 2014, Vol. 83, No. 5, p. 054711.

[3] Z. Liu, T. Waki, Y. Tabata, H. Nakamura, Mn-doping-induced itinerant-electron ferromagnetism in Cr2GeC, *Physical Review B*, 2014, Vol. 89, No. 5, p. 054435.

[4] Z. Liu, T. Waki, Y. Tabata, K. Yuge, H. Nakamura, I. Watanabe, Magnetic ground state of the Mn+1AX n-phase nitride Cr2GaN, *Physical Review B*, 2013, Vol. 88, No. 13, p. 134401.

[5] T. Koyama, Y. Maeda, T. Yamazaki, K. Ueda, T. Mito, T. Kohara, T. Waki, Y. Tabata, H. Tsunemi, M. Ito, H. Nakamura, Normal and Superconducting Properties of the Noncentrosymmetric Mo3Al2C, *Journal of The Physical Society of Japan*, 2013, Vol. 82, No. 7, p. 073709.

[6] T. Waki, D. Furusawa, Y. Tabata, C. Michioka, K. Yoshimura, A. Kondo, K. Kindo, H. Nakamura, Itinerant electron magnetism of etacarbides Co6M6C and Ni6M6C (M = Mo and W), *Journal of Alloys and Compounds*, 2013, Vol. 554, pp. 21-24.

材料機能学講座 材質制御学分野

[1] S. Yagi, T. Ichitsubo, Y. Shirai, S. Yanai, T. Doi, K. Murase, E. Matsubara, A concept of dual-salt polyvalent-metal storage battery, *Journal of Materials Chemistry A*, 2014, Vol. 2, No. 4, pp. 1144-1149.

[2] A. Kitada, Y. Kang, Y. Uchimoto, K. Murase, Room-Temperature Electrodeposition of Mg Metal from Amide Salts Dissolved in Glyme-Ionic Liquid Mixture, *Journal of The Electrochemical Society*, 2014, Vol. 161, No. 3, pp. D102-D106.

[3] A. Kitada, K. Nakamura, K. Fukami, K. Murase, AlCl3-dissolved Diglyme as Electrolyte for Room-Temperature Aluminum Electrodeposition, *Electrochemistry*, 2014, Vol. 82, No. 11, pp. 946-948.

[4] T. Ichitsubo, S. Yagi, R. Nakamura, Y. Ichikawa, S. Okamoto, K. Sugimura, T. Kawaguchi, A. Kitada, M. Oishi, T. Doi, E. Matsubara, A new aspect of Chevrel compounds as positive electrodes for magnesium batteries, *Journal of Materials Chemistry A*, 2014, Vol. 2, No. 36, pp. 14858-14866.

[5] R. Koda, A. Koyama, K. Fukami, N. Nishi, T. Sakka, T. Abe, A. Kitada, K. Murase, M. Kinoshita, Effect of cation species on surface-induced phase transition observed for platinum complex anions in platinum electrodeposition using nanoporous silicon, *Journal of Chemical Physics*, 2014, Vol. 141, No. 7, p. 074701.

[6] T. Sakka, D. Kozawa, K. Tsuchiya, N. Sugiman, G. Oye, K. Fukami, N. Nishi, Y.H. Ogata, Two-dimensional array of particles originating from dipole-dipole interaction as evidenced by potential curve measurements at vertical oil/water interfaces, *Physical Chemistry Chemical Physics*, 2014, Vol. 16, No. 32, pp. 16976-16984.

[7] G. Recio, D. Gallach, M. Manso Silvan, K. Fukami, R.J. Martin Palma, G. Rafael Castro, A. Munoz-Noval, Photoassisted Immersion Deposition of Cu Clusters onto Porous Silicon: A Langmuir-Hill Ligand-Locus Model Applied to the Growth Kinetics, *Journal of Physical Chemistry C*, 2014, Vol. 118, No. 27, pp. 14905-14912.

[8] T. Sakka, A. Tamura, A. Matsumoto, K. Fukami, N. Nishi, B. Thornton, Effects of pulse width on nascent laser-induced bubbles for underwater laser-induced breakdown spectroscopy, *Spec-*

trochimica Acta Part B-Atomic Spectroscopy, 2014, Vol. 97, pp. 94-98.

[9] T. Ichii, M. Negami, M. Fujimura, K. Murase, H. Sugimura, Structural Analysis of Ionic-liquid/Organic-monolayer Interface by Phase Modulation Atomic Force Microscopy Utilizing a Quartz Tuning Fork Sensor, *Electrochemistry*, 2014, Vol. 82, No. 5, pp. 380-384.

[10] A. Kitada, Y. Kang, Y. Uchimoto, K. Murase, Electrochemical Reactivity of magnesium ions with Sn-based binary alloys (Cu-Sn, Pb-Sn, and In-Sn), *Energy Technology/Battery-Joint Session (General) - 224th ECS Meeting*, 2014, Vol. 58, No. 36, pp. 75-80.

[11] A. Koyama, K. Fukami, T. Yamauchi, N. Nishi, T. Sakka, A. Kitada, K. Murase, Lateral Growth of Polypyrrole Electropolymerized along Hydrophobic Insulative Substrates, *ECS Electrochemistry Letters*, 2014, Vol. 3, No. 7, pp. G5-G7.

[12] 糟野 貴史, 北田 敦, 下川 公博, 邑瀬 邦明, 異種金属接触による銅電解精製時の Ag 溶解抑制, *Journal of MMIJ : Journal of the Mining and Materials Processing Institute of Japan*, 2014, Vol. 130, No. 2, pp. 65-69.

[13] M.U. Herrera, T. Ichii, K. Murase, H. Sugimura, Photochemical grafting of methyl groups on a Si(111) surface using a Grignard reagent, *Journal of Colloid and Interface Science*, 2013, Vol. 411, pp. 145-151.

[14] M. Herrera, T. Ichii, K. Murase, H. Sugimura, Vinylferrocene-Terminated Si(111) Prepared in Diethyl Ether and Dibutyl Ether Grafting Media, *Organic and Biological Electrochemistry Posters (General) - 222nd ECS Meeting/Prime 2012*, 2013, Vol. 50, No. 54, pp. 37-46.

[15] K. Murase, I. Sasaki, A. Kitada, Y. Uchimoto, T. Ichii, H. Sugimura, Enhanced Anodic Dissolution of Magnesium in Quaternary-Ammonium-Based Ionic Liquid Containing a Small Amount of Water, *Journal of The Electrochemical Society*, 2013, Vol. 160, No. 10, pp. D453-D458.

[16] A. Kitada, K. Yanase, T. Ichii, H. Sugimura, K. Murase, Potentiostatic Cu-Zn Alloying for Polymer Metallization Using Medium-Low Temperature Ionic Liquid Baths, *Journal of The Electrochemical Society*, 2013, Vol. 160, No. 9, pp. D417-D421.

[17] A. Kitada, N. Fukuda, T. Ichii, H. Sugimura, K. Murase, Lithiation behavior of single-phase Cu-Sn intermetallics and effects on their negative-electrode properties, *Electrochimica Acta*, 2013, Vol. 98, pp. 239-243.

[18] H. Sugimura, S. Mo, K. Yamashiro, T. Ichii, K. Murase, Photochemical Assembly of Gold Nanoparticle Arrays Covalently Attached to Silicon Surface Assisted by Localized Plasmon in the Nanoparticles, *Journal of Physical Chemistry C*, 2013, Vol. 117, No. 6, pp. 2480-2485.

[19] 西山 聖, 横田 裕貴, 山内 健, 坪川 紀夫, 小林 秀敏, 深見 一弘, 作花 哲夫, 尾形 幸生, Bio-TRIZ を導入した高分子ゲルバイオリアクターの開発, 高分子論文集, 2013, Vol. 70, No. 7, pp. 331-336.

材料機能学講座 機能構築学分野

[1] H.P. Mungse, O.P. Sharma, H. Sugimura, O.P. Khatri, Hydrothermal deoxygenation of graphene oxide in sub- and supercritical water, *RSC Advances*, 2014, Vol. 4, No. 43, pp. 22589-22595.

[2] H. Sugimura, N. Miki, A. Nakamura, T. Ichii, Reductive Nucleation of Palladium Nanoparticles on a Cycloolefin Polymer Surface Oxidized with Active Oxygen Species Generated by Vacuum Ultraviolet Excitation, *Chemistry Letters*, 2014, Vol. 43, No. 10, pp. 1557-1559.

[3] Y. Tu, T. Ichii, O.P. Khatri, H. Sugimura, Reductive patterning of graphene oxide by vacuum-ultraviolet irradiation in high vacuum, *Applied Physics Express*, 2014, Vol. 7, No. 7, p. 075101.

[4] T. Ichii, M. Negami, M. Fujimura, K. Murase, H. Sugimura, Structural Analysis of Ionic-liquid/Organic-monolayer Interface by Phase Modulation Atomic Force Microscopy Utilizing a Quartz Tuning Fork Sensor, *Electrochemistry*, 2014, Vol. 82, No. 5, pp. 380-384.

[5] M.U. Herrera, T. Ichii, K. Murase, H. Sugimura, Photochemical grafting of methyl groups on a Si(111) surface using a Grignard reagent, *Journal of Colloid and Interface Science*, 2013, Vol. 411, pp. 145-151.

[6] M. Herrera, T. Ichii, K. Murase, H. Sugimura, Vinylferrocene-Terminated Si(111) Prepared in Diethyl Ether and Dibutyl Ether Grafting Media, *Organic and Biological Electrochemistry Posters (General) - 222nd ECS Meeting/Prime 2012*, 2013, Vol. 50, No. 54, pp. 37-46.

[7] K. Murase, I. Sasaki, A. Kitada, Y. Uchimoto, T. Ichii, H. Sugimura, Enhanced Anodic Dissolution of Magnesium in Quaternary-Ammonium-Based Ionic Liquid Containing a Small Amount of Water, *Journal of The Electrochemical Society*, 2013, Vol. 160, No. 10, pp. D453-D458.

[8] A. Kitada, K. Yanase, T. Ichii, H. Sugimura, K. Murase, Potentiostatic Cu-Zn Alloying for Polymer Metallization Using Medium-Low Temperature Ionic Liquid Baths, *Journal of The Electrochemical Society*, 2013, Vol. 160, No. 9, pp. D417-D421.

[9] A. Kitada, N. Fukuda, T. Ichii, H. Sugimura, K. Murase, Lithiation behavior of single-phase Cu-Sn intermetallics and effects on their negative-electrode properties, *Electrochimica Acta*, 2013, Vol. 98, pp. 239-243.

[10] H. Sugimura, S. Mo, K. Yamashiro, T. Ichii, K. Murase, Photochemical Assembly of Gold Nanoparticle Arrays Covalently Attached to Silicon Surface Assisted by Localized Plasmon in the Nanoparticles, *Journal of Physical Chemistry C*, 2013, Vol. 117, No. 6, pp. 2480-2485.

先端材料物性学講座

[1] H. Kimizuka, S. Kurokawa, A. Yamaguchi, A. Sakai, S. Ogata, Two-Dimensional Ordering of Solute Nanoclusters at a Close-Packed Stacking Fault: Modeling and Experimental Analysis, *Scientific Reports*, 2014, Vol. 4, p. 7318.

[2] A. Takahashi, S. Kurokawa, A. Sakai, Molecular dynamics simulation of the break of magnesium nanowires, *Physica Status Solidi B-Basic Solid State Physics*, 2014, Vol. 251, No. 7, pp. 1363-1371.

[3] T. Sagisaka, S. Kurokawa, A. Sakai, K.-. Yamashita, M. Taguch, M.S. Asano, K.-. Sugiura, Conductance of Au/1,4-benzenedicarbothioamide/Au molecular junctions: A proposal for a potential linker, *Chemical Physics Letters*, 2014, Vol. 595, pp. 167-170.

[4] S. Kurokawa, A. Yamaguchi, A. Sakai, An Attempt to Image Chemical Ordering in Close-Packed Layer of Mg-Zn-Y 18R Long-Period Stacking-Ordered Structure by Scanning Tunneling Microscopy, *Materials Transactions*, 2013, Vol. 54, No. 7, pp. 1073-1076.

先端材料機能学講座

[1] K. Morishita, K. Nakajima, T. Fujii, M. Shiinoki, Near-net shaping of silicon for optical lens by one-shot pressing at temperature just below silicon melting point and improvement of infrared transmittance by primary recrystallization, *Materials Science Forum*, 2014, Vol. 783-786, pp. 2474-2479.

[2] 山根 功士朗, 杉山 明, 柳楽 知也, 吉矢 真人, 安田 秀幸, 田中 勇太, 佐藤 彰洋, 上杉 健太朗, 竹内 晃久, 鈴木 芳生, 本多 弘, 佐藤 健, 過共晶鋳鉄中のグラファイト成長に及ぼす Mg 量の影響とグラファイトの結晶学的特徴, 鋳造工学, 2014, Vol. 86, pp. 461-470.

[3] T. Yokoi, M. Yoshiya, H. Yasuda, Nonrandom Point Defect Configurations and Driving Force Transitions for Grain Boundary Segregation in Trivalent Cation Doped ZrO2, *Langmuir*, 2014, Vol. 30, No. 47, pp. 14179-14188.

[4] K. Nakajima, K. Morishita, R. Murai, High-speed growth of Si single bulk crystals by expanding low-temperature region in Si melt using noncontact crucible method, *Journal of Crystal Growth*, 2014, Vol. 405, pp. 44-51.

[5] H. Okuda, T. Horiuchi, S. Hifumi, M. Yamasaki, Y. Kawamura, S. Kimura, Microstructural Evolution of Long-Period Stacking Ordered Structures in Mg97Y2Zn1 Alloys Examined by In-Situ Small-Angle X-ray Scattering, *Metallurgical and Materials Transactions A-Physical Metallurgy and Materials Science*, 2014, Vol. 45A, No. 11, pp. 4780-4785.

[6] S. Ochiai, H. Okuda, N. Fujii, Tape Length-Dependence of Critical Current and n-Value in Coated Conductor with a Local Crack, *Materials Transactions*, 2014, Vol. 55, No. 9, pp. 1479-1487.

[7] J. Wernecke, H. Okuda, H. Ogawa, F. Siewer, M. Krumrey, Depth-Dependent Structural Changes in PS-b-P2VP Thin Films Induced by Annealing, *Macromolecules*, 2014, Vol. 47, No. 16, pp. 5719-5727.

[8] M. Kivambe, D.M. Powell, S. Castellanos, M.A. Jensen, A.E. Morishige, K. Nakajima, K. Morishita, R. Murai, T. Buonassisi, Minority-carrier lifetime and defect content of n-type silicon grown by the noncontact crucible method, *Journal of Crystal Growth*, 2014, Vol. 407, pp. 31-36.

[9] H. Okuda, T. Yamamoto, K. Takeshita, M. Hirai, K. Senoo, H. Ogawa, Y. Kitajima, Normalization of grazing-incidence small angle scattering of phospholipid alloy systems at the K absorption edge of phosphorous: A standard sample approach, *Japanese Journal of Applied Physics*, 2014, Vol. 53, No. 5, p. 05FH02.

[10] S. Ochiai, S. Kuboshima, H. Okuda, K. Morishita, E. Tsushima, Fracture behavior and fracture toughness of pitch-based carbon fiber with an artificial notch introduced by a focused ion beam, *Composite Interfaces*, 2014, Vol. 21, No. 4, pp. 265-279.

[11] H. Okuda, T. Horiuchi, M. Yamasaki, Y. Kawamura, S. Kohara, In situ measurements on stability of long-period stacking-ordered structures in Mg85Y9Zn6 alloys during heating examined by multicolor synchrotron radiation small-angle scattering, *Scripta Materialia*, 2014, Vol. 75, pp. 66-69.

[12] K. Nakajima, K. Morishita, R. Murai, N. Usami, Formation process of Si3N4 particles on surface of Si ingots grown using silica crucibles with Si3N4 coating by noncontact crucible method, *Journal of Crystal Growth*, 2014, Vol. 389, pp. 112-119.

[13] S. Ochiai, H. Okuda, S. Nagano, M. Sugano, S. Oh, H. Ha, K. Osamura, Relation of n-Value to Critical Current for Local Sections and Overall Sample in a SmBCO Coated Conductor Pulled in Tension, *Materials Transactions*, 2014, Vol. 55, No. 3, pp. 549-555.

[14] N. Ueshima, M. Yoshiya, H. Yasuda, T. Fukuda, T. Kakeshita, Impact of interplay between magnetic field, transformation strain, and coarsening on variant selection in L10-type FePd, *Journal of Applied Physics*, 2014, Vol. 115, p. 73501.

[15] G. Zeng, S.D. McDonald, C.M. Gourlay, K. Uesugi, Y. Terada, H. Yasuda, K. Nogita, Solidification of Sn-0.7Cu-0.15Zn Solder: In Situ Observation, *Metallurgical and Materials Transactions A*, 2014, Vol. 45, No. 2, pp. 918-926.

[16] 奥田 浩司, 放射光小中角散乱法による LPSO 構造の評価 (構造物性解明へ向けたミクロ マクロ計測の最前線), 薄膜・表面物理セミナー, 2014, Vol. 42, pp. 31-40.

[17] 泉田 勇輝, 奥田 浩司, 29pBD-1 有限サイズ熱源を使った線形不可逆熱機関の最大パワー時の仕事と効率 (29pBD 非平衡定常系 2(非平衡基礎論・分子機

械含む), 領域 11(物性基礎論・統計力学・流体物理・応用数学・社会経済物理)), 日本物理学会講演概要集, 2014, Vol. 69, No. 1, p. 353.

[18] H. Okuda, T. Horiuchi, T. Maruyama, M. Yamasaki, Y. Kawamura, K. Hagihara, S. Kohara, Development of Microstructures of Long-Period Stacking Ordered Structures in Mg85Y9Zn6 Alloys Annealed at 673 K (400 degrees C) Examined by Small-Angle X-Ray Scattering, *Metallurgical and Materials Transactions A-Physical Metallurgy and Materials Science*, 2014, Vol. 45A, No. 1, pp. 147-151.

[19] T. Yamamoto, H. Okuda, K. Takeshita, N. Usami, Y. Kitajima, H. Ogawa, Grazing-incidence small-angle X-ray scattering from Ge nanodots self-organized on Si(001) examined with soft X-rays, *Journal of Synchrotron Radiation*, 2014, Vol. 21, No. 1, pp. 161-164.

[20] 柳楽 知也, 安田 秀幸, 吉矢 真人, 放射光 X 線イメージングを利用した炭素鋼の凝固現象の解明, まてりあ, 2014, Vol. 53, No. 10, pp. 467-470.

[21] K. Nogita, H. Yasuda, S.D. McDonald, K. Uesugi, Real time synchrotron X-ray imaging for nucleation and growth of Cu6Sn5 in Sn-7Cu-0.05Ni high temperature lead-free solder alloys, *Advanced Materials Research*, 2013, Vol. 626, pp. 200-204.

[22] K. Nakajima, R. Murai, K. Morishita, K. Kutsukake, Growth of Si Single Bulk Crystals Inside Si Melts By the Noncontact Crucible Method Using Silica Crucibles Without Coating Si3N4 Particles, *2013 IEEE 39th Photovoltaic Specialists Conference (PVSC)*, 2013, pp. 174-176.

[23] C.M. Gourlay, T. Nagira, K. Uesugi, H. Yasuda, In-situ study of the altering globule packing-density during semisolid alloy deformation, *Solid State Phenomena*, 2013, Vol. 1192-193, pp. 185-190.

[24] S. Ochiai, H. Okuda, T. Arai, M. Sugano, K. Osamura, W. Prusseit, Influence of Copper Volume Fraction on Tensile Strain/Stress Tolerances of Critical Current in a Copper-Plated DyBCO-Coated Conductor, *Materials Transactions*, 2013, Vol. 54, No. 3, pp. 269-275.

[25] T. Nagira, H. Yokota, S. Morita, H. Yasuda, M. Yoshiya, C.M. Gourlay, A. Sugiyama, K. Uesugi, K. Umetani, Characterization of shear deformation based on in-situ observation of deformation in semi-solid Al-Cu alloys and water-particle mixtures, *ISIJ International*, 2013, Vol. 53, No. 7, pp. 1195-1201.

[26] N. Ueshima, T. Shikatani, M. Yoshiya, H. Yasuda, Effect of Spatial Distribution of Local Magnetization on Microstructure Formation in L10-type Ferromagnetic Alloys under External Magnetic Field, *Transactions of The Materials Research Society of Japan*, 2013, Vol. 38, No. 4, pp. 673-676.

[27] S. Fujii, M. Yoshiya, A. Yumura, Y. Miyauchi, M. Tada, H. Yasuda, Impact of Dynamic Interlayer Interactions on Thermal Conductivity of Ca3Co4O9, *Journal of Electronic Materials*, 2013, Vol. 43, No. 6, pp. 1905-1915.

[28] 山根 功士朗, 安田 秀幸, 杉山 明, 柳楽 知也, 吉矢 真人, 上杉 健太朗, 梅谷 啓二, 牛込 智章, 佐藤 彰洋, 時間分解 X 線イメージングによる Mg 添加過共晶 Fe-3.8C-3.1Si 合金の凝固形態の観察, 鋳造工学, 2013, Vol. 85, No. 11, pp. 760-770.

[29] K. Nogita, H. Yasuda, A. Prasad, S.D. McDonald, T. Nagira, N. Nakatsuka, K. Uesugi, D.H. StJohn, Real time synchrotron X-ray observations of solidification in hypoeutectic Al?Si alloys, *Materials Characterization*, 2013, Vol. 85, pp. 134-140.

[30] S. Ochiai, S. Kuboshima, H. Okuda, K. Morishita, T. Inoue, T. Ishikawa, M. Sato, Estimation of Fracture Toughness of SIC Fiber and Statistical Analysis of Change in Fracture Strength Distribution with Notch Size, *Materials Transactions*, 2013, Vol. 54, No. 10, pp. 1916-1924.

[31] Y.K. Zhang, J. Gao, M. Kolbe, S. Klein, C. Yang, H. Yasuda, D.M. Herlaach, C.-. Gandin, Phase selection and microstructure formation in undercooled Co?61.8 at.% Si melts under various containerless processing conditions, *Acta Materialia*, 2013, Vol. 61, No. 13, pp. 4861-4873.

[32] J. Fonseca, C. O'Sullivan, T. Nagira, H. Yasuda, C.M. Gourlay, In situ study of granular micromechanics in semi-solid carbon steels, *Acta Materialia*, 2013, Vol. 61, No. 11, pp. 4169-4179.

[33] K. Nakajima, R. Murai, K. Morishita, K. Kutsukake, Growth of Si single bulk crystals with low oxygen concentrations by the noncontact crucible method using silica crucibles without Si3N4 coating, *Journal of Crystal Growth*, 2013, Vol. 372, pp. 121-128.

[34] H. Okuda, T. Horiuchi, T. Tsukamoto, S. Ochiai, M. Yamasaki, Y. Kawamura, Evolution of long-period stacking order structures on annealing as-cast Mg85Y9Zn6 alloy ingot observed by synchrotron radiation small-angle scattering, *Scripta Materialia*, 2013, Vol. 68, No. 8, pp. 575-578.

[35] H. Okuda, S. Ochiai, A Review on Small- and Wide-Angle X-Ray Scattering Applied to the Precipitation Process in Metallic Alloys, *Metallurgical and Materials Transactions A-Physical Metallurgy and Materials Science*, 2013, Vol. 44A, No. 1, pp. 94-101.

電気工学専攻

先端電気システム論講座

[1] A. Kordonis, T. Hikihara, Direct Matrix Converter Space Vector Modulation and Dynamical Model Analysis towards Steady State Operation, *2014 International Conference on Information Science, Electronics and Electrical Engineering (ISEEE), Vols 1-3*, 2014, pp. 1628-1631.

[2] Y. Susuki, H. Hoshino, T. Hikihara, I. Mezic, Nonlinear Instability of a Network of Fixed-Speed Induction Generators, *2014 European Control Conference (ECC)*, 2014, pp. 1313-1318.

[3] A. Yao, T. Hikihara, Logic-memory device of a mechanical resonator, *Applied Physics Letters*, 2014, Vol. 105, No. 12, p. 123104.

[4] 縄田 信哉, 高橋 亮, 引原 隆士, 電力パケットによるエネルギー表現の漸近的性質, 電子情報通信学会論文誌 *A*, 2014, Vol. J97-A, No. 9, pp. 584-592.

[5] R. TAKAHASHI, K. UMENO, Performance Evaluation of CDMA Using Chaotic Spreading Sequence with Constant Power in Indoor Power Line Fading Channels, *IEICE Transactions on Fundamentals of Electronics, Communications and Computer Sciences*, 2014, Vol. E97.A, No. 7, pp. 1619-1622.

[6] Y. Susuki, I. Mezic, Nonlinear Koopman Modes and Power System Stability Assessment Without Models, *IEEE Transactions on Power Systems*, 2014, Vol. 29, No. 2, pp. 899-907.

[7] S. Miyatake, Y. Susuki, T. Hikihara, S. Itoh, K. Tanaka, Discharge characteristics of multicell lithium-ion battery with nonuniform cells, *Journal of Power Sources*, 2013, Vol. 241, pp. 736-743.

[8] Y. Susuki, R. Kazaoka, T. Hikihara, Physical Architecture and Model-Based Evaluation of Electric Power System with Multiple Homes, *IEICE Transactions on Fundamentals of Electronics Communications and Computer Sciences*, 2013, Vol. E96A, No. 8, pp. 1703-1711.

[9] Y. Yokoi, Y. Susuki, Energy Conversion and Phase Regulation in Transient States of Frequency Entrainment Described by van der Pot and Phase-Locked Loop Equations, *IEICE Transactions on Fundamentals of Electronics Communications and Computer Sciences*, 2013, Vol. E96A, No. 2, pp. 591-599.

[10] 南 政孝, 引原 隆士, 分散型電源の受動性に基づく目標値追従および系統連系制御手法：瞬時電圧低下の耐性について, 電気学会論文誌. *D*, 産業応用部門誌, 2013, Vol. 133, No. 7, pp. 685-691.

システム基礎論講座 自動制御工学分野

[1] Y. Ebihara, N. Sebe, Lower bound analysis of H ∞ performance achievable via decentralized LTI controllers, *International Journal of Robust and Nonlinear Control*, 2014, Vol. 24, No. 16, pp. 2423-2437.

[2] Y. Ebihara, D. Arzelier, F. Gouaisbaut, D. Peaucelle, Dominant pole analysis of stable time-delay positive systems, *IET Control Theory & Applications*, 2014, Vol. 8, No. 17, pp. 1963-1971.

[3] Y. Ebihara, D. Peaucelle, D. Arzelier, On the structure of generalized plant convexifying static H-infinity control problems, *Automatica*, 2014, Vol. 50, No. 6, pp. 1706-1714.

[4] J.H. Kim, T. Hagiwara, Computing the L-infinity[0, h)-induced norm of a compression operator via fast-lifting, *Systems & Control Letters*, 2014, Vol. 67, pp. 1-8.

[5] S. Tanaka, T. MITANI, Y. EBIHARA, An Efficient Beamforming Algorithm for Large-Scale Phased Arrays with Lossy Digital Phase Shifters, *IEICE Transactions on Communications*, 2014, Vol. E97.B, No. 4, pp. 783-790.

[6] Y. Ebihara, D. Peaucelle, D. Arzelier, LMI approach to linear positive system analysis and synthesis, *Systems & Control Letters*, 2014, Vol. 63, pp. 50-56.

[7] 島本 拓和, 蛯原 義雄, 萩原 朋道, 粒子群最適化手法に基づく太陽光発電装置の最大電力点追従制御と実機実験による検証, システム制御情報学会論文誌, 2014, Vol. 27, No. 6, pp. 237-245.

[8] J.H. Kim, T. Hagiwara, Quasi-finite-rank approximation of compression operators on L-infinity[0, h) with application to stability analysis of time-delay systems, *IET Control Theory and Applications*, 2014, Vol. 8, No. 2, pp. 77-85.

[9] T. Yamazaki, T. Hagiwara, Conversion of linear time-invariant time-delay feedback systems into delay-differential equations with commensurate delays, *International Journal of Systems Science*, 2014, Vol. 45, No. 8, pp. 1643-1656.

[10] K. Hirata, T. Hagiwara, I. Atsushi, Numerical Methods for Spectrum Computation of Monodromy Operators via Non-Causal Hold Discretization, *SICE Journal of Control, Measurement, and System Integration*, 2013, Vol. 6, No. 1, pp. 45-53.

[11] J. Tregouet, D. Peaucelle, D. Arzelier, Y. Ebihara, Periodic Memory State-Feedback Controller: New Formulation, Analysis, and Design Results, *IEEE Transactions on Automatic Control*, 2013, Vol. 58, No. 8, pp. 1986-2000.

[12] Y. Hosoe, T. Hagiwara, Robust stability analysis based on finite impulse response scaling for discrete-time linear time-invariant systems, *IET Control Theory and Applications*, 2013, Vol. 7, No. 11, pp. 1463-1471.

[13] Y. Hosoe, T. Hagiwara, Unified treatment of robust stability conditions for discrete-time systems through an infinite matrix framework, *Automatica*, 2013, Vol. 49, No. 5, pp. 1488-1493.

[14] Y. Ebihara, Periodically Time-Varying Memory State-Feedback for Robust H2 Control of Uncertain Discrete-Time Linear Systems, *Asian Journal of Control*, 2013, Vol. 15, No. 2, pp. 409-419.

[15] 松村 大気, 蛯原 義雄, 萩原 朋道, 重み付き l1 誘導ノルムを用いた離散時間結合非負システムの安定性解析, システム制御情報学会論文誌, 2013, Vol. 26, No. 10, pp. 355-364.

[16] 片山 啓, 細江 陽平, 萩原 朋道, 台車型倒立振子制御実験による非因果的周期時変スケーリングに基づくロバスト性能設計の有効性検証, システム制御情報学会論文誌, 2013, Vol. 26, No. 5, pp. 165-173.

[17] 松村 大気, 蛯原 義雄, 萩原 朋道, LMI を用いた離散時間非負システムの安定性と H ∞性能解析, システム制御情報学会論文誌, 2013, Vol. 26, No. 1, pp. 45-51.

生体医工学講座 複合システム論分野

[1] C.C. Yamamoto Noguchi, E. Furutani, S. Sumi, Mathematical Model of Glucose-Insulin Metabolism in Type 1 Diabetes Including Digestion and Absorption of Carbohydrates, *SICE Journal of Control, Measurement, and System Integration*, 2014, Vol. 7, No. 6, pp. 314-320.

[2] S. Tanaka, T. MITANI, Y. EBIHARA, An Efficient Beamforming Algorithm for Large-Scale Phased Arrays with Lossy Digital Phase Shifters, *IEICE Transactions on Communications*, 2014, Vol. E97.B, No. 4, pp. 783-790.

[3] S. Tanaka, Improved Exact Enumerative Algorithms for the Planted (l, d)-Motif Search Problem, *IEEE-ACM Transactions on Computational Biology and Bioinformatics*, 2014, Vol. 11, No. 2, pp. 361-374.

[4] R. Tsuneki, S. Doi, J. Inoue, Generation of slow phase-locked oscillation and variability of the interspike intervals in globally coupled neuronal oscillators, *Mathematical Biosciences and Engineering*, 2014, Vol. 11, No. 1, pp. 125-138.

[5] S. Tanaka, S. Sato, An exact algorithm for the precedence-constrained single-machine scheduling problem, *European Journal of Operational Research*, 2013, Vol. 229, No. 2, pp. 345-352.

[6] S. Tanaka, M. Araki, An exact algorithm for the single-machine total weighted tardiness problem with sequence-dependent setup times, *Computers & Operations Research*, 2013, Vol. 40, No. 1, pp. 344-352.

生体医工学講座 生体機能工学 分野

[1] S. Hamada, Voxel-based Analysis of Electrostatic Fields in Virtual-human Model Duke using Indirect Boundary Element Method with Fast Multipole Method, *CMES-Computer Modeling in Engineering & Sciences*, 2014, Vol. 102, No. 5, pp. 407-424.

[2] S. Okuhata, T. Kobayashi, Coherence and phase lag index analyses - A preliminary MEG/EEG sensor-level study on functional connectivities during the Sternberg memory task, *International Journal of Psychophysiology*, 2014, Vol. 94, No. 2, pp. 131-132.

[3] Y. Ito, D. Sato, K. Kamada, T. Kobayashi, Measurements of Magnetic Field Distributions With an Optically Pumped K-Rb Hybrid Atomic Magnetometer, *IEEE Transactions on Magnetics*, 2014, Vol. 50, No. 11, 4006903.

[4] N. Mizutani, K. Okano, K. Ban, S. Ichihara, A. Terao, T. Kobayashi, A plateau in the sensitivity of a compact optically pumped atomic magnetometer, *AIP Advances*, 2014, Vol. 4, No. 5, p. 057132.

[5] S. Nagahara, T. Kobayashi, Bloch Simulations towards Direct Detection of Oscillating Magnetic Fields using MRI with Spin-lock Sequence, *2013 35th Annual International Conference of The IEEE Engineering in Medicine and Biology Society (EMBC)*, 2013, pp. 1061-1064.

[6] T. Oida, T. Kobayashi, Free Induction Decay MR Signal Measurements toward Ultra-low Field MRI with an Optically Pumped Atomic Magnetometer, *2013 35th Annual International Conference of The IEEE Engineering in Medicine and Biology Society (EMBC)*, 2013, pp. 2615-2618.

[7] H. Kawaguchi, T. Kume, T. Kobayashi, A Background EEG Removal Method Combining PCA with Multivariate Empirical Mode Decomposition for Event-Related Potential Measurements, *IEEJ Transactions on Electrical and Electronic Engineering*, 2013, Vol. 8, No. S1, pp. S53-S60.

[8] T. Kobayashi, K. Akamatsu, H. Natsukawa, Cortical Neural Activities Associated with Binocular Rivalry: An EEG-fMRI Integrative Study, *2013 35th Annual International Conference of The IEEE Engineering in Medicine and Biology Society (EMBC)*, 2013, pp. 5414-5417.

[9] Y. Ito, H. Ohnishi, K. Kamada, T. Kobayashi, Rate-equation Approach to Optimal Density Ratio of K-Rb Hybrid Cells for Optically Pumped Atomic Magnetometers, *2013 35th Annual International Conference of The IEEE Engineering in Medicine and Biology Society (EMBC)*, 2013, pp. 3254-3257.

[10] S. Okuhata, T. Kusanagi, T. Kobayashi, Parietal EEG alpha suppression time of memory retrieval reflects memory load while the alpha power of memory maintenance is a composite of the visual process according to simultaneous and successive Sternberg memory tasks, *Neuroscience Letters*, 2013, Vol. 555, pp. 79-84.

[11] K. Kato, O. Miura, A. Shikoda, T. Kuroki, A. Ishikawa, T. Kobayashi, Event-related potentials affected by spatial frequencies of background visual pattern during a cognitive task, *IEEJ Transactions on Electrical and Electronic Engineering*, 2013, Vol. 8, No. 5, pp. 483-488.

[12] S. Nagahara, T. Oida, T. Kobayashi, An Explanation of Signal Changes in DW-fMRI: Monte Carlo

Simulation Study of Restricted Diffusion of Water Molecules Using 3D and Two-Compartment Cortical Cell Models, *IEICE Transactions on Information and Systems*, 2013, Vol. E96D, No. 6, pp. 1387-1393.

電磁工学講座 超伝導工学分野

[1] Y. Nagasaki, T. Nakamura, I. Funaki, Y. Ashida, H. Yamakawa, Experimental and numerical investigation of screening currents induced in a Bi-2223/Ag double pancake coil for space applications, *Superconductor Science & Technology*, 2014, Vol. 27, No. 11, p. 115005.

[2] T. Nakamura, Y. Takamura, N. Amemiya, K. Nakao, T. Izumi, Longitudinal inhomogeneity of DC current transport properties in Gd-system HTS tapes - Statistical approach for system design, *Cryogenics*, 2014, Vol. 63, pp. 17-24.

[3] Z. Jiang, K. Hamilton, N. Amemiya, R.A. Badcock, C.W. Bumby, Dynamic resistance of a high-Tc superconducting flux pump, *Applied Physics Letters*, 2014, Vol. 105, No. 11, p. 112601.

[4] Z. Jiang, M. Staines, N. J Long, R. A Badcock, C. Bumby, E. Talantsev, K. Hamilton, R. G Buckley, N. Amemiya, The scaling of transport AC losses in Roebel cables with varying strand parameters, *Superconductor Science and Technology*, 2014, Vol. 27, No. 7, p. 075007.

[5] Y. Iwata, S. Suzuki, K. Noda, T. Shirai, T. Murakami, T. Furukawa, T. Fujita, Y. Hara, K. Mizushima, S. Sato, S. Mori, K. Shouda, H. Arai, T. Fujimoto, T. Orikasa, S. Takayama, T. Ogitsu, T. Obana, N. Amemiya, Development of curved combined-function superconducting magnets for a heavy-ion rotating-gantry, *IEEE Transactions on Applied Superconductivity*, 2014, Vol. 24, No. 3, p. 4400505.

[6] S. Tokura, M. Hara, N. Kawaguchi, N. Amemiya, The behavior of nano- and micro-magnetic particles under a high magnetic field using a superconducting magnet, *IEEE Transactions on Applied Superconductivity*, 2014, Vol. 24, No. 3, p. 3700305.

[7] Y. Nagasaki, T. Nakamura, I. Funaki, Y. Ashida, H. Yamakawa, Numerical Investigation on Thermal Stability of Conduction-Cooled Bi-2223/Ag Coil Under AC Ripple Current for Space Applications, *IEEE Transactions on Applied Superconductivity*, 2014, Vol. 24, No. 3, pp. 4700305-5.

[8] T. Komeda, N. Amemiya, T. Tsukamoto, T. Nakamura, Z. Jiang, R.A. Badcock, C. Bumby, N.J. Long, M. Staines, R.G. Buckley, Experimental comparison of AC loss in REBCO Roebel cables consisting of six strands and ten strands, *IEEE Transactions on Applied Superconductivity*, 2014, Vol. 24, No. 3, p. 8200505.

[9] T. Nishimura, T. Nakamura, Q. Li, N. Amemiya, Y. Itoh, Potential for torque density maximization of HTS induction/synchronous motor by use of superconducting reluctance torque, *IEEE Transactions on Applied Superconductivity*, 2014, Vol. 24, No. 3, p. 5200504.

[10] K. Goda, N. Amemiya, T. Nakamura, Y. Mori, T. Ogitsu, T. Kurusu, M. Yoshimoto, A novel magnet design using coated conductor for spiral sector FFAG accelerators, *IEEE Transactions on Applied Superconductivity*, 2014, Vol. 24, No. 3, p. 4402605.

[11] Y. Sogabe, M. Nii, T. Tsukamoto, T. Nakamura, N. Amemiya, Electromagnetic field analyses of REBCO Roebel cables wound into coil configurations, *IEEE Transactions on Applied Superconductivity*, 2014, Vol. 24, No. 3, p. 4803005.

[12] S. Tokura, M. Hara, N. Kawaguchi, N. Amemiya, Contactless grasp of a magnetic particle in a fluid and its application to quantifications of forces affecting its behavior, *Journal of Magnetism and Magnetic Materials*, 2014, Vol. 353, pp. 82-89.

[13] N. Amemiya, T. Tsukamoto, M. Nii, T. Komeda, T. Nakamura, Z. Jiang, Alternating current loss characteristics of a Roebel cable consisting of coated conductors and a three-dimensional structure, *Superconductor Science and Technology*, 2014, Vol. 27, No. 3, p. 035007.

[14] Y. Iwata, K. Noda, T. Murakami, T. Shirai, T. Furukawa, T. Fujita, S. Mori, K. Mizushima, K. Shouda, T. Fujimoto, T. Ogitsu, T. Obana, N. Amemiya, T. Orikasa, S. Takami, S. Takayama, Development of a superconducting rotating-gantry for heavy-ion therapy, *Nuclear Instruments and Methods in Physics Research Section B: Beam Interactions With Materials and Atoms*, 2013, Vol. 317, No. Part B, pp. 793-797.

[15] Y. Nagasaki, T. Nakamura, I. Funaki, Y. Ashida, H. Yamakawa, Coupled-analysis of current transport performance and thermal behaviour of conduction-cooled Bi-2223/Ag double-pancake coil for magnetic sail spacecraft, *Physica C-Superconductivity and Its Applications*, 2013, Vol. 492, pp. 96-102.

[16] H. Shimura, T. Nakamura, H. Kitano, T. Nishimura, N. Amemiya, Y. Itoh, Calculated characteristics of HTS induction/synchronous machine below and above its critical temperature, *IEEE Transactions on Applied Superconductivity*, 2013, Vol. 23, No. 3, p. 5201705.

[17] N. Amemiya, K. Goda, H. Otake, T. Nakamura, T. Ogitsu, K. Koyanagi, T. Kurusu, Y. Mori, Y. Iwata, K. Noda, M. Yoshimoto, Progress of research and development of fundamental technologies for accelerator magnets using coated conductors, *IEEE Transactions on Applied Superconductivity*, 2013, Vol. 23, No. 3, p. 4601905.

[18] Y. Nagasaki, T. Nakamura, I. Funaki, Y. Ashida, H. Yamakawa, Conceptual Design of YBCO Coil With Large Magnetic Moment for Magnetic Sail Spacecraft, *IEEE Transactions on Applied Superconductivity*, 2013, Vol. 23, No. 3, pp. 4603405-4603405.

[19] O. Maruyama, T. Ohkuma, T. Masuda, Y.

Ashibe, S. Mukoyama, M. Yagi, T. Saitoh, T. Hasegawa, N. Amemiya, A. Ishiyama, N. Hayakawa, Development of 66 kV and 275 kV class REBCO HTS power cables, *IEEE Transactions on Applied Superconductivity*, 2013, Vol. 23, No. 3, p. 5401405.

[20] Z. Jiang, N.J. Long, M. Staines, R.A. Badcock, R.G. Buckley, E. Talantsev, N. Amemiya, The dependence of transport AC loss on temperature and DC parallel magnetic field in an eight-strand YBCO Roebel cable, *IEEE Transactions on Applied Superconductivity*, 2013, Vol. 23, No. 3, p. 5402604.

[21] S. Mukoyama, M. Yagi, T. Mitsuhashi, T. Nomura, J. Ten, R. Nakayama, T. Ohkuma, O. Maruyama, Y. Aoki, T. Saitoh, N. Amemiya, A. Ishiyama, N. Hayakawa, Status of a 275 kV class REBCO superconducting cable development, *IEEE Transactions on Applied Superconductivity*, 2013, Vol. 23, No. 3, p. 5402804.

[22] K. Koyanagi, S. Takayama, T. Tosaka, K. Tasaki, T. Kurusu, T. Yoshiyuki, N. Amemiya, T. Ogitsu, Development of saddle-shaped coils using coated conductors for accelerator magnets, *IEEE Transactions on Applied Superconductivity*, 2013, Vol. 23, No. 3, p. 4100404.

[23] K. Kajikawa, Y. Uchida, T. Nakamura, H. Kobayashi, T. Wakuda, K. Tanaka, Development of Stator Windings for Fully Superconducting Motor With MgB2 Wires, *IEEE Transactions on Applied Superconductivity*, 2013, Vol. 23, No. 3, pp. 5201604-5201604.

[24] H. Kitano, T. Nakamura, D. Sekiguchi, N. Amemiya, Y. Itoh, M. Yoshikawa, Y. Ohashi, N. Okumura, Controllability of HTS induction/synchronous machine for variable speed control, *IEEE Transactions on Applied Superconductivity*, 2013, Vol. 23, No. 3, p. 5202505.

[25] K. Kajikawa, H. Kuga, T. Inoue, K. Watanabe, Y. Uchida, T. Nakamura, T. Wakuda, K. Tanaka, Demonstration of Transfer of Liquid Helium Using a Pump System with MgB2 Wires, *Journal of Superconductivity and Novel Magnetism*, 2013, Vol. 26, No. 5, pp. 1537-1541.

[26] Z. Jiang, T. Komeda, N. Amemiya, N.J. Long, M. Staines, R.A. Badcock, C. Bumby, R.G. Buckley, Total AC loss measurements in a six strand Roebel cable carrying an AC current in an AC magnetic field, *Superconductor Science and Technology*, 2013, Vol. 26, No. 3, p. 35014.

[27] 中村 武恒, 高村 豊, 雨宮 尚之, 中尾 公一, 和泉 輝郎, Gd 系高温超電導テープ材における長手方向の不均一直流通電特性：システム設計のための統計学的検討, 低温工学, 2013, Vol. 48, No. 4, pp. 178-186.

[28] Q. Li, N. Amemiya, R. Nishino, T. Nakamura, T. Okuma, AC loss reduction of outer-diameter-fixed superconducting power transmission cables using narrow coated conductors, *Physica C: Superconductivity*, 2013, Vol. 484, pp. 217-222.

[29] N. Amemiya, R. Nishino, K. Takeuchi, M. Nii, T. Nakamura, M. Yagi, T. Okuma, Ac loss analyses of superconducting power transmission cables considering their three-dimensional geometries, *Physica C: Superconductivity*, 2013, Vol. 484, pp. 148-152.

電磁工学講座 電磁回路工学分野

[1] T. Matsushima, O. Wada, Reduction of common-mode excitation on a differential transmission line bend by imbalance control, *IEICE Communications Express*, 2014, pp. 295-299.

[2] N. Hirasawa, Y. Akiyama, F. Amemiya, A. Sugiura, Y. Kami, A Design Method for the Asymmetric Artificial Network With an Asymmetrical Transformer, *IEEE Transactions on Electromagnetic Compatibility*, 2014, pp. 903-911.

電磁工学講座 電磁エネルギー工学分野

[1] A. Furuya, J. Fujisaki, Y. Uehara, K. Shimizu, H. Oshima, T. Matsuo, Micromagnetic Hysteresis Model Dealing With Magnetization Flip Motion for Grain-Oriented Silicon Steel, *IEEE Transactions on Magnetics*, 2014, Vol. 50, No. 11, 7300604.

[2] S. Ito, T. Mifune, T. Matsuo, M. Suzuki, K. Kawano, Finite element analysis of a ferrite-core inductor with direct current bias current using an equivalent-circuit model of dynamic hysteretic properties, *Journal of Applied Physics*, 2014, Vol. 115, No. 17, p. 17A330.

[3] C. Lee, K. Miyata, C. Kaido, T. Matsuo, Phenomenological Hysteresis Modeling Based on Asymmetric Transition Probability of Magnetization, *IEEE Transactions on Magnetics*, 2014, Vol. 50, No. 4, 7300104.

[4] T. Oshima, Y. Uehara, K. Shimizu, K. Inagaki, A. Furuya, J. Fujisaki, M. Suzuki, K. Kawano, T. Mifune, T. Mifune, K. Watanabe, H. Igarashi, Experimental and Simulation Modeling Studies of Magnetic Properties of Ni-Zn Ferrite Cores under DC Bias, *J. Jpn Soc. Powder Powder Metall.*, 2014, Vol. 61, No. S1, pp. S238-S241.

[5] T. Matsuo, T. Mifune, Reduction of Unphysical Wave Reflection Arising from Space-Time Finite Integration Method, *IEEE Transactions on Magnetics*, 2014, Vol. 50, No. 2, pp. 7004204-180.

[6] J. Kitao, Y. Takeda, Y. Takahashi, K. Fujiwara, A. Ahagon, T. Matsuo, Loss Calculation Method Considering Hysteretic Property With Play Model in Finite Element Magnetic Field Analysis, *IEEE Transactions on Magnetics*, 2014, Vol. 50, No. 2, pp. 7009304-384.

[7] 岡本 吉史, 高橋 康人, 藤原 耕二, 阿波根 明, 美舩 健, 岩下 武史, 辺要素有限要素解析から得られる実対称線形方程式求解における ICCG 法の実用的実装の検討, 電気学会論文誌B（電力・エネルギー部門誌）, 2014, Vol. 134, No. 9, pp. 767-776.

[8] S. Ito, T. Mifune, T. Matsuo, K. Watanabe, H. Igarashi, K. Kawano, Y. Iijima, M. Suzuki, Y.

Uehara, A. Furuya, Equivalent Circuit Modeling of DC and AC Ferrite Magnetic Properties Using H-Input and B-Input Play Models, *IEEE Transactions on Magnetics*, 2013, Vol. 49, No. 5, pp. 1985-1988.

[9] M. Sudo, T. Mifune, T. Matsuo, C. Kaido, A Simplified Domain Structure Model Exhibiting the Pinning Field, *IEEE Transactions on Magnetics*, 2013, Vol. 49, No. 5, pp. 1829-1832.

[10] T. Sato, K. Watanabe, H. Igarashi, T. Matsuo, T. Mifune, K. Kawano, M. Suzuki, Y. Uehara, A. Furuya, 3-D Optimization of Ferrite Inductor Considering Hysteresis Loss, *IEEE Transactions on Magnetics*, 2013, Vol. 49, No. 5, pp. 2129-2132.

[11] J. Kitao, Y. Takahashi, K. Fujiwara, T. Mifune, T. Iwashita, Automatic Determination of Acceleration Factor Based on Residual and Functional in Shifted ICCG Method for 3-D Electromagnetic Field Analyses, *IEEE Transactions on Magnetics*, 2013, Vol. 49, No. 5, pp. 1741-1744.

[12] J. Kawahara, T. Mifune, T. Matsuo, Geometrical Formulation of 3-D Space-Time Finite Integration Method, *IEEE Transactions on Magnetics*, 2013, Vol. 49, No. 5, pp. 1693-1696.

[13] R. Mitsuoka, T. Mifune, T. Matsuo, C. Kaido, A Vector Play Model for Finite-Element Eddy-Current Analysis Using the Newton-Raphson Method, *IEEE Transactions on Magnetics*, 2013, Vol. 49, No. 5, pp. 1689-1692.

[14] T. Matsuo, T. Mifune, 3D and 4D space-time grids for electromagnetic field analysis using finite integration method, 日本シミュレーション学会論文誌, 2013, Vol. 4, No. 4, pp. 176-180.

[15] 仙波 和樹, 山田 隆, 岩下 武史, 中島 浩, 高橋 康人, 美舩 健, 実応用有限要素電磁場解析における折り畳み前処理を用いた反復解法の有効性, 電気学会論文誌. *D*, 産業応用部門誌, 2013, Vol. 133, No. 2, pp. 203-213.

電気システム論講座 電力システム分野

電波工学講座 宇宙電波工学分野

[1] A. Sugiyama, Y. Ueda, H. Takase, K. Yazaki, Pyrosequencing assessment of rhizosphere fungal communities from a soybean field, *Canadian Journal of Microbiology*, 2014, Vol. 60, No. 10, pp. 687-690.

[2] S. Mitani, H. Yamakawa, Satisficing Nonlinear Rendezvous Approach Under Control Magnitude and Direction Constraints, *Journal of Guidance Control and Dynamics*, 2014, Vol. 37, No. 2, pp. 497-512.

[3] Y. Ashida, H. Yamakawa, I. Funaki, H. Usui, Y. Kajimura, H. Kojima, Thrust Evaluation of Small-Scale Magnetic Sail Spacecraft by Three-Dimensional Particle-in-Cell Simulation, *Journal of Propulsion and Power*, 2014, Vol. 30, No. 1, pp. 186-196.

[4] S.Y. Li, Y. Omura, B. Lembege, X.H. Deng, H. Kojima, Y. Saito, S.F. Zhang, Geotail observation of counter directed ESWs associated with the separatrix of magnetic reconnection in the near-Earth magnetotail, *Journal of Geophysical Research-Space Physics*, 2014, Vol. 119, No. 1, pp. 202-210.

[5] Y. Nagasaki, T. Nakamura, I. Funaki, Y. Ashida, H. Yamakawa, Coupled-analysis of current transport performance and thermal behaviour of conduction-cooled Bi-2223/Ag double-pancake coil for magnetic sail spacecraft, *Physica C-Superconductivity and Its Applications*, 2013, Vol. 492, pp. 96-102.

[6] H. Koyanaka, Y. Ueda, K. Takeuchi, A.I. Kolesnikov, Effect of crystal structure of manganese dioxide on response for electrolyte of a hydrogen sensor operative at room temperature, *Sensors and Actuators B-Chemical*, 2013, Vol. 183, pp. 641-647.

[7] Y. Nagasaki, T. Nakamura, I. Funaki, Y. Ashida, H. Yamakawa, Conceptual Design of YBCO Coil With Large Magnetic Moment for Magnetic Sail Spacecraft, *IEEE Transactions on Applied Superconductivity*, 2013, Vol. 23, No. 3, pp. 4603405-4603405.

[8] K. Ueno, Y. Oshio, I. Funaki, H. Yamakawa, EXPERIMENTAL SIMULATION OF MAGNETOPLASMA SAIL FOR THRUST MEASUREMENT, *Fusion Science and Technology*, 2013, Vol. 63, No. 1T, pp. 392-394.

[9] I. Funaki, Y. Kajimura, Y. Ashida, H. Nishida, Y. Oshio, I. Shinohara, H. Yamakawa, THE USE OF DIPOLE PLASMA EQUILIBRIUM FOR MAGNETIC SAIL SPACECRAFT, *Fusion Science and Technology*, 2013, Vol. 63, No. 1T, pp. 168-171.

[10] Y. Ueda, Y. Tokuda, S. Fujimura, N. Nihei, T. Oka, Cesium Transfer from Granule Conglomerate, Asphalt, and Concrete Using Water-Containing Nanosized Air Bubbles, *Nanotechnology (General) - 222nd ECS Meeting/Prime 2012*, 2013, Vol. 50, No. 22, pp. 1-6.

[11] S.F. Fung, K. Hashimoto, H. Kojima, S.A. Boardsen, L.N. Garcia, H. Matsumoto, J.L. Green, B.W. Reinisch, Terrestrial myriametric radio burst observed by IMAGE and Geotail satellites, *Journal of Geophysical Research-Space Physics*, 2013, Vol. 118, No. 3, pp. 1101-1111.

[12] A. Morioka, Y. Miyoshi, S. Kurita, Y. Kasaba, V. Angelopoulos, H. Misawa, H. Kojima, J.P. McFadden, Universal time control of AKR: Earth is a spin-modulated variable radio source, *Journal of Geophysical Research-Space Physics*, 2013, Vol. 118, No. 3, pp. 1123-1131.

[13] Y. Ueda, Y. Tokuda, F. Shigeto, N. Nihei, T. Oka, Removal of radioactive Cs from gravel conglomerate using water containing air bubbles, *Water Science and Technology*, 2013, Vol. 67, No. 5, pp. 996-999.

[14] S. Mitani, H. Yamakawa, Continuous-Thrust Transfer with Control Magnitude and Direction Constraints Using Smoothing Techniques, *Journal of Guidance Control and Dynamics*, 2013, Vol. 36, No. 1, pp. 163-174.

[15] 山口 皓平, 山川 宏, 推力スイッチングによる帯電セイル宇宙機の軌道制御に関する研究, *Aerospace Technology Japan, The Japan Society For Aeronautical and Space Sciences*, 2013, Vol. 12, No. 0, pp. 79-88.

[16] S. Tsujii, M. Bando, H. Yamakawa, Spacecraft Formation Flying Dynamics and Control Using the Geomagnetic Lorentz Force, *Journal of Guidance Control and Dynamics*, 2013, Vol. 36, No. 1, pp. 136-148.

電波工学講座 マイクロ波エネルギー伝送分野

[1] S. Koyama, E. Narita, N. Shinohara, J. Miyakoshi, Effect of an Intermediate-Frequency Magnetic Field of 23 kHz at 2 mT on Chemotaxis and Phagocytosis in Neutrophil-Like Differentiated Human HL-60 Cells, *International Journal of Environmental Research and Public Health*, 2014, Vol. 11, No. 9, pp. 9650-9660.

[2] S. Tsubaki, M. Hiraoka, S. Hadano, H. Nishimura, K. Kashimura, T. Mitani, Functional group dependent dielectric properties of sulfated hydrocolloids extracted from green macroalgal biomass, *Carbohydrate Polymers*, 2014, Vol. 107, pp. 192-197.

[3] S. Horikoshi, T. Sumi, S. Ito, R. Dillert, K. Kashimura, N. Yoshikawa, M. Sato, N. Shinohara, Microwave-Driven Asbestos Treatment and Its Scale-up for Use after Natural Disasters, *Environmental Science & Technology*, 2014, Vol. 48, No. 12, pp. 6882-6890.

[4] Y. Huang, N. Shinohara, T. Mitani, A Constant Efficiency of Rectifying Circuit in an Extremely Wide Load Range, *IEEE Transactions on Microwave Theory and Techniques*, 2014, Vol. 62, No. 4, pp. 986-993.

[5] S. Tanaka, T. MITANI, Y. EBIHARA, An Efficient Beamforming Algorithm for Large-Scale Phased Arrays with Lossy Digital Phase Shifters, *IEICE Transactions on Communications*, 2014, Vol. E97.B, No. 4, pp. 783-790.

[6] K. Mizuno, E. Narita, M. Yamada, N. Shinohara, J. Miyakoshi, ELF Magnetic Fields do not Affect Cell Survival and DNA Damage Induced by Ultraviolet B, *Bioelectromagnetics*, 2014, Vol. 35, No. 2, pp. 108-115.

[7] T. Ishikawa, N. Shinohara, Study on Panel Gradient Estimation System for Panel-Structure Solar Power Satellite/Station, *2013 IEEE Wireless Power Transfer (WPT)*, 2013, pp. 143-146.

[8] T. Ishikawa, Y. Kubo, J. Yoshino, N. Shinohara, Study of Beam Forming for Microwave Power Transmission toward Solar Power Satellite with Advanced Phased Array System in Kyoto University, *2013 IEEE Antennas and Propagation Society International Symposium (APSURSI)*, 2013, pp. 2225-2226.

[9] N. Shinohara, Y. Kubo, H. Tonomura, Mid-Distance Wireless Power Transmission for Electric Truck via Microwaves, *Proceedings of 2013 Ursi International Symposium on Electromagnetic Theory (EMTS)*, 2013, pp. 841-843.

[10] N. Shinohara, Rectennas for microwave power transmission, *IEICE Electronics Express*, 2013, Vol. 10, No. 21, pp. 20132009-20132009.

[11] T. Matsumuro, Y. Ishikawa, N. Shinohara, Small-Size Large-Aperture Antenna Using Multilayered Spherical Dielectric Resonators, *2013 7th European Conference on Antennas and Propagation (EUCAP)*, 2013, pp. 3068-3072.

[12] N. Shinohara, Y. Kubo, H. Tonomura, Wireless Charging for Electric Vehicle with Microwaves, *2013 3rd International Electric Drives Production Conference (EDPC)*, 2013, pp. 398-401.

[13] N. Shinohara, Wireless Power Transmission Progress for Electric Vehicle in Japan, *2013 IEEE Radio and Wireless Symposium (RWS)*, 2013, pp. 109-111.

[14] K. Hatano, N. Shinohara, T. Seki, M. Kawashima, Development of MMIC Rectenna at 24GHz, *2013 IEEE Radio and Wireless Symposium (RWS)*, 2013, pp. 199-201.

[15] T. Sakurai, E. Narita, N. Shinohara, J. Miyakoshi, Alteration of gene expression by exposure to a magnetic field at 23 kHz is not detected in astroglia cells, *Journal of Radiation Research*, 2013, Vol. 54, No. 6, pp. 1005-1009.

[16] S. Tsubaki, K. Oono, T. Ueda, A. Onda, K. Yanagisawa, T. Mitani, J. Azuma, Microwave-assisted hydrolysis of polysaccharides over polyoxometalate clusters, *Bioresource Technology*, 2013, Vol. 144, pp. 67-73.

[17] N. Shinohara, Beam Control Technologies With a High-Efficiency Phased Array for Microwave Power Transmission in Japan, *Proceedings of The IEEE*, 2013, Vol. 101, No. 6, pp. 1448-1463.

[18] T. Sonobe, K. Hachiya, T. Mitani, N. Shinohara, H. Ohgaki, Delayed luminescence from ZnO ceramics upon microwave-induced plasma emission, *Journal of Physics and Chemistry of Solids*, 2013, Vol. 74, No. 6, pp. 837-840.

[19] M. Yanagawa, K. Kashimura, M. Hayashi, M. Sato, T. Mitani, N. Shinohara, K. Nagata, Control of Hot Spots for Continuous Microwave Iron Making - Effects of Ore-Carbon Mixture Rotations on Refractory and Pig Iron Production - , *International Journal of Materials Engineering and Technology*, 2013, Vol. 9, No. 2, pp. 119-134.

[20] K. Kashimura, J. Fukushima, T. Mitani, M. Sato, N. Shinohara, Metal Ti—Cr alloy powders nitriding under atmospheric pressure by microwave

heating, *Journal of Alloys and Compounds*, 2013, Vol. 550, pp. 239-244.

[21] K. Kashimura, N. Hasegawa, S. Suzuki, M. Hayashi, T. Mitani, N. Shinohara, K. Nagata, Effects of relative density on microwave heating of various carbon powder compacts microwave-metallic multi-particle coupling using spatially separated magnetic fields, *Journal of Applied Physics*, 2013, Vol. 113, No. 2, p. 024902.

[22] 篠原 真毅, 無線電力伝送の送電距離に対する理論と技術 (< 特集> ワイヤレスシステムを支える技術を融合するアンテナ・伝搬技術論文), 電子情報通信学会論文誌. *B*, 通信, 2013, Vol. 96, No. 9, pp. 881-893.

電波工学講座 電波科学シミュレーション分野

[1] Z. Hu, Y. Ebihara, H. Yang, H. Hu, B. Zhang, B. Ni, R. Shi, T.S. Trondsen, Hemispheric asymmetry of the structure of dayside auroral oval, *Geophysical Research Letters*, 2014, Vol. 41, No. 24, pp. 8696-8703.

[2] D. Summers, Y. Omura, S. Nakamura, C.A. Kletzing, Fine structure of plasmaspheric hiss, *Journal of Geophysical Research-Space Physics*, 2014, Vol. 119, No. 11, pp. 9134-9149.

[3] Y. Ebihara, T. Tanaka, T. Kikuchi, Counter equatorial electrojet and overshielding after substorm onset: Global MHD simulation study, *Journal of Geophysical Research-Space Physics*, 2014, Vol. 119, No. 9, pp. 7281-7296.

[4] T. Motoba, Y. Ebihara, A. Kadokura, A.T. Weatherwax, Fine-scale transient arcs seen in a shock aurora, *Journal of Geophysical Research-Space Physics*, 2014, Vol. 119, No. 8, pp. 6249-6255.

[5] Y. Nakayama, Y. Ebihara, T. Tanaka, Simulation of substorm-time acceleration of oxygen ions on azimuthally directed magnetic field lines in the near-Earth plasma sheet, *Journal of Geophysical Research-Space Physics*, 2014, Vol. 119, No. 8, pp. 6167-6176.

[6] B. Kakad, A. Kakad, Y. Omura, Nonlinear evolution of ion acoustic solitary waves in space plasmas: Fluid and particle-in-cell simulations, *Journal of Geophysical Research-Space Physics*, 2014, Vol. 119, No. 7, pp. 5589-5599.

[7] S. Yagitani, T. Habagishi, Y. Omura, Geotail observation of upper band and lower band chorus elements in the outer magnetosphere, *Journal of Geophysical Research-Space Physics*, 2014, Vol. 119, No. 6, pp. 4694-4705.

[8] T. Habagishi, S. Yagitani, Y. Omura, Nonlinear damping of chorus emissions at local half cyclotron frequencies observed by Geotail at L > 9, *Journal of Geophysical Research-Space Physics*, 2014, Vol. 119, No. 6, pp. 4475-4483.

[9] M. Shoji, Y. Omura, Spectrum characteristics of electromagnetic ion cyclotron triggered emissions and associated energetic proton dynamics, *Journal of Geophysical Research-Space Physics*, 2014, Vol. 119, No. 5, pp. 3480-3489.

[10] Y. Fukuda, M. Hirahara, K. Asamura, T. Sakanoi, Y. Miyoshi, T. Takada, A. Yamazaki, K. Seki, Y. Ebihara, Electron properties in inverted-V structures and their vicinities based on Reimei observations, *Journal of Geophysical Research-Space Physics*, 2014, Vol. 119, No. 5, pp. 3650-3663.

[11] S. Nakamura, Y. Omura, S. Machida, M. Shoji, M. Nose, V. Angelopoulos, Electromagnetic ion cyclotron rising tone emissions observed by THEMIS probes outside the plasmapause, *Journal of Geophysical Research-Space Physics*, 2014, Vol. 119, No. 3, pp. 1874-1886.

[12] M. Yamauchi, Y. Ebihara, H. Nilsson, I. Dandouras, Ion drift simulation of sudden appearance of sub-keV structured ions in the inner magnetosphere, *Annales Geophysicae*, 2014, Vol. 32, No. 2, pp. 83-90.

[13] B. Ni, J. Bortnik, Y. Nishimura, R.M. Thorne, W. Li, V. Angelopoulos, Y. Ebihara, A.T. Weatherwax, Chorus wave scattering responsible for the Earth's dayside diffuse auroral precipitation: A detailed case study, *Journal of Geophysical Research-Space Physics*, 2014, Vol. 119, No. 2, pp. 897-908.

[14] S.Y. Li, Y. Omura, B. Lembege, X.H. Deng, H. Kojima, Y. Saito, S.F. Zhang, Geotail observation of counter directed ESWs associated with the separatrix of magnetic reconnection in the near-Earth magnetotail, *Journal of Geophysical Research-Space Physics*, 2014, Vol. 119, No. 1, pp. 202-210.

[15] K. Sakaguchi, Y. Kasahara, M. Shoji, Y. Omura, Y. Miyoshi, T. Nagatsuma, A. Kumamoto, A. Matsuoka, Akebono observations of EMIC waves in the slot region of the radiation belts, *Geophysical Research Letters*, 2013, Vol. 40, No. 21, pp. 5587-5591.

[16] K.H. Lee, Y. Omura, L.C. Lee, Electron acceleration by Z-mode and whistler-mode waves, *Physics of Plasmas*, 2013, Vol. 20, No. 11, p. 112901.

[17] M. Shoji, Y. Omura, Triggering process of electromagnetic ion cyclotron rising tone emissions in the inner magnetosphere, *Journal of Geophysical Research-Space Physics*, 2013, Vol. 118, No. 9, pp. 5553-5561.

[18] Y. Omura, Q. Zhao, Relativistic electron microbursts due to nonlinear pitch angle scattering by EMIC triggered emissions, *Journal of Geophysical Research-Space Physics*, 2013, Vol. 118, No. 8, pp. 5008-5020.

[19] Y. Katoh, Y. Omura, Effect of the background magnetic field inhomogeneity on generation processes of whistler-mode chorus and broadband hiss-like emissions, *Journal of Geophysical Research-Space Physics*, 2013, Vol. 118, No. 7, pp. 4189-4198.

[20] D. Summers, R. Tang, Y. Omura, D. Lee, Parameter spaces for linear and nonlinear whistler-mode waves, *Physics of Plasmas*, 2013, Vol. 20, No. 7, p. 072110.

[21] A. Kakad, Y. Omura, B. Kakad, Experimental evidence of ion acoustic soliton chain formation and validation of nonlinear fluid theory, *Physics of Plasmas*, 2013, Vol. 20, No. 6, p. 062103.

[22] J. Kinrade, C.N. Mitchell, N.D. Smith, Y. Ebihara, A.T. Weatherwax, G.S. Bust, GPS phase scintillation associated with optical auroral emissions: First statistical results from the geographic South Pole, *Journal of Geophysical Research-Space Physics*, 2013, Vol. 118, No. 5, pp. 2490-2502.

[23] Y. Ebihara, T. Tanaka, Fundamental properties of substorm time energetic electrons in the inner magnetosphere, *Journal of Geophysical Research-Space Physics*, 2013, Vol. 118, No. 4, pp. 1589-1603.

[24] K. Yamaguchi, T. Matsumuro, Y. Omura, D. Nunn, Ray tracing of whistler-mode chorus elements: implications for generation mechanisms of rising and falling tone emissions, *Annales Geophysicae*, 2013, Vol. 31, No. 4, pp. 665-673.

[25] B. Grison, O. Santolik, N. Cornilleau-Wehrlin, A. Masson, M.J. Engebretson, J.S. Pickett, Y. Omura, P. Robert, R. Nomura, EMIC triggered chorus emissions in Cluster data, *Journal of Geophysical Research-Space Physics*, 2013, Vol. 118, No. 3, pp. 1159-1169.

[26] Y. Katoh, M. Kitahara, H. Kojima, Y. Omura, S. Kasahara, M. Hirahara, Y. Miyoshi, K. Seki, K. Asamura, T. Takashima, T. Ono, Significance of Wave-Particle Interaction Analyzer for direct measurements of nonlinear wave-particle interactions, *Annales Geophysicae*, 2013, Vol. 31, No. 3, pp. 503-512.

[27] Y. Nishimura, J. Bortnik, W. Li, R.M. Thorne, B. Ni, L.R. Lyons, V. Angelopoulos, Y. Ebihara, J.W. Bonnell, O. Le Contel, U. Auster, Structures of dayside whistler-mode waves deduced from conjugate diffuse aurora, *Journal of Geophysical Research-Space Physics*, 2013, Vol. 118, No. 2, pp. 664-673.

情報メディア工学講座 情報可視化分野

[1] 尾上 洋介, 久木元 伸如, 小山田 耕二, 可視化情報学会における会員満足度の因果関係分析, 可視化情報学会論文集, 2014, Vol. 34, No. 12, pp. 43-51.

[2] S. Nakada, Y. Ishikawa, T. Awaji, T. In, K. Koyamada, M. Watanobe, H. Okumura, Y. Nishida, S. Saitoh, An integrated approach to the heat and water mass dynamics of a large bay: High-resolution simulations of Funka Bay, Japan, *Journal of Geophysical Research-Oceans*, 2013, Vol. 118, No. 7, pp. 3530-3547.

[3] N. Sakamoto, N. Maeda, T. Kawamura, K. Koyamada, High-quality particle-based volume rendering for large-scale unstructured volume datasets, *Journal of Visualization*, 2013, Vol. 16, No. 2, pp. 153-162.

情報メディア工学講座 複合メディア分野

電子工学専攻

集積機能工学講座

[1] I. Kakeya, N. Hirayama, T. Nakagawa, Y. Omukai, M. Suzuki, Temperature and current dependencies of terahertz emission from stacks of intrinsic Josephson junctions with thin electrodes revealed by a high-resolution FT-IR spectrometer, *Physica C-Superconductivity and Its Applications*, 2013, Vol. 491, pp. 11-15.

[2] H. Kambara, I. Kakeya, M. Suzuki, Increase of superfluid density with growth of quasiparticle density of states probed by intrinsic tunneling spectroscopy in Bi1.9Pb0.1Sr2CaCu2O8+delta, *Physical Review B*, 2013, Vol. 87, No. 21, p. 214521.

電子物理工学講座 極微電子工学分野

[1] Ikeguchi R., Kakinoki R., Tsuji H., Yasuda T., Matsuda S., Periphheral nerve regeneration through a silicone chamber implanted with negative carbon ions:Possibility to clinical application, *Applied Surface Science*, 2014, No. 310, pp. 19-23.

[2] Takaoka G.H., Tsujinaka R., Takeuchi M., Ryuto H., Tsuji H., Messenchymal Stem Cell Adhesion on Metal and Polymeric Surfaces Modified by Oxygen Cluster Ion Irradiation, *Transaction of Materials Research Society of Japan*, 2014, Vol. Vol.39 , No. No.4, pp. 459-463.

[3] Tsuji H., Miyagawa G., Gotoh Y., Titanium Dioxide Thin Film Deposited on Ag-Nanoparticles Embedded Silica Glass and Its Phtocatalytic Properties, *Transaction of Materials Research Society of Japan*, 2014, Vol. Vol.39, No. No.4, pp. 465-468.

[4] Y. Ando, T. Hamasaki, T. Kurokawa, K. Ichiba, F. Yang, M. Novak, S. Sasaki, K. Segawa, Y. Ando, M. Shiraishi, Electrical Detection of the Spin Polarization Due to Charge Flow in the Surface State of the Topological Insulator Bi1.5Sb0.5Te1.7Se1.3, *Nano Letters*, 2014, Vol. 14, No. 11, pp. 6226-6230.

[5] G. Eguchi, K. Kuroda, K. Shirai, A. Kimura, M. Shiraishi, Surface Shubnikov-de Haas oscillations and nonzero Berry phases of the topological hole conduction in Tl1-xBi1+xSe2, *Physical Review B*, 2014, Vol. 90, No. 20, p. 201307.

[6] R. Ohshima, A. Sakai, Y. Ando, T. Shinjo, K. Kawahara, H. Ago, M. Shiraishi, Observation of spin-charge conversion in chemical-vapor - deposition-grown single-layer graphene, *Applied Physics Letters*, 2014, Vol. 105, p. 162410.

[7] T. Sasaki, Y. Ando, M. Kameno, T. Tahara, H. Koike, T. Oikawa, T. Suzuki, M. Shiraishi, Spin Transport in Nondegenerate Si with a Spin MOSFET Structure at Room Temperature, *Physical Review Applied*, 2014, Vol. 2, No. 3, p. 034005.

[8] R. Ikeguchi, R. Kakinoki, H. Tsuji, T. Yasuda, S. Matsuda, Peripheral nerve regeneration through a silicone chamber implanted with negative carbon ions: Possibility to clinical application, *Applied Surface Science*, 2014, Vol. 310, pp. 19-23.

[9] S. Hogyoku, S. Fujiwara, H. Tsuji, Y. Gotoh, Field ion microscope observation of tungsten surface processed in ethanol, *Nuclear Instruments & Methods in Physics Research Section B-Beam Interactions With Materials and Atoms*, 2014, Vol. 332, pp. 168-171.

[10] A. Tsukahara, Y. Ando, Y. Kitamura, H. Emoto, E. Shikoh, M.P. Delmo, T. Shinjo, M. Shiraishi, Self-induced inverse spin Hall effect in permalloy at room temperature, *Physical Review B*, 2014, Vol. 89, No. 23, p. 235317.

[11] M. Kameno, Y. Ando, T. Shinjo, H. Koike, T. Sasaki, T. Oikawa, T. Suzuki, M. Shiraishi, Spin drift in highly doped n-type Si, *Applied Physics Letters*, 2014, Vol. 104, No. 9, p. 092409.

[12] Y. Ueda, J. Abe, H. Murata, Y. Gotoh, O. Sakai, Control of work function of indium tin oxide: A surface treatment by atmospheric-pressure plasma layer on fabric-type electrodes, *Japanese Journal of Applied Physics*, 2014, Vol. 53, No. 3, p. 03DG03.

[13] Y. Gotoh, S. Taguchi, H. Tsuji, J. Ishikawa, S. Sakai, Emittance of compact microwave ion source for low energy application, *Review of Scientific Instruments*, 2014, Vol. 85, No. 2, p. 02A721.

[14] T. Sasaki, T. Suzuki, Y. Ando, H. Koike, T. Oikawa, Y. Suzuki, M. Shiraishi, Local magnetoresistance in Fe/MgO/Si lateral spin valve at room temperature, *Applied Physics Letters*, 2014, Vol. 104, No. 5, p. 052404.

[15] 後藤 康仁, 安友 佳樹, 辻 博司, 窒化ハフニウムフィールドエミッタアレイの低温における動作特性, *Journal of The Vacuum Society of Japan*, 2014, Vol. 57, No. 4, pp. 128-130.

[16] H. Emoto, Y. Ando, E. Shikoh, Y. Fuseya, T. Shinjo, M. Shiraishi, Conversion of pure spin current to charge current in amorphous bismuth, *Journal of Applied Physics*, 2014, Vol. 115, p. 17C507.

[17] Y. Gotoh, W. Ohue, H. Tsuji, Energy dependence of non-Rutherford proton elastic scattering spectrum for hafnium nitride thin film, *Nuclear Instruments & Methods in Physics Research Section B-Beam Interactions With Materials and Atoms*, 2013, Vol. 315, pp. 68-71.

[18] Ando Y., Ichiba K., Yamada S., Shikoh E., Shinjo T., Hamaya K., Shiraishi M., Giant enhancement of spin pumping efficiency from Fe3Si ferromagnet, *Physical Review B*, 2013, Vol. 88, p. 140406(R).

[19] Y. Gotoh, Y. Yasutomo, H. Tsuji, Vacuum frequency mixer with a field emitter array, *Journal*

of Vacuum Science & Technology B, 2013, Vol. 31, No. 5, p. 050601.

電子物理工学講座 応用量子物性分野

[1] Mohamed A., Masazumi F., Hideaki T., Shigeki T., Numerical simulations of nanodiamond nitrogen-vacancy centers coupled with tapered optical fibers as hybrid quantum nanophotonic devices, *Optics Express*, 2014, Vol. 22, pp. 20045-20059.

[2] Hideaki T., Kazutaka K., Yoshito T., Hideki F., Keiji S., Efficient optical coupling into a single plasmonic nanostructure using a fiber-coupled microspherical cavity, *Physical Review A*, 2014, Vol. 89, p. 021801(R).

[3] Ryo N., Hideaki T., Hideki F., Keiji S., Ultraviolet random lasing from a diamond nanoparticle film, *Applied Physics letters*, 2014, Vol. 105, p. 011112.

[4] Fang R., Hideaki T., Yoshito T., Hideki F., Keiji S., Two-photon excited fluorescence from a PIC-attached Au-coated tip via a thin tapered fiber under a weak CW excitation, *Optics Express*, 2013, Vol. 21, pp. 27759-27769.

電子物性工学講座 半導体物性工学分野

[1] T. Kimoto, K. Kawahara, H. Niwa, N. Kaji, J. Suda, Ion Implantation Technology in SiC for Power Device Applications, *2014 International Workshop on Junction Technology (IWJT)*, 2014, pp. 1-6.

[2] H. Tanaka, S. Mori, N. Morioka, J. Suda, T. Kimoto, Geometrical and band-structure effects on phonon-limited hole mobility in rectangular cross-sectional germanium nanowires, *Journal of Applied Physics*, 2014, Vol. 116, No. 23, p. 235701.

[3] T. Kobayashi, J. Suda, T. Kimoto, Impact of conduction type and doping density on thermal oxidation rate of SiC(0001), *Applied Physics Express*, 2014, Vol. 7, No. 12, p. 121301.

[4] T. Hayashi, T. Okuda, J. Suda, T. Kimoto, Decay curve analyses in carrier lifetime measurements of p- and n-type 4H-SiC epilayers, *Japanese Journal of Applied Physics*, 2014, Vol. 53, No. 11, p. 111301.

[5] N. Watanabe, T. Kimoto, J. Suda, Temperature dependence of optical absorption coefficient of 4H-and 6H-SiC from room temperature to 300 degrees C, *Japanese Journal of Applied Physics*, 2014, Vol. 53, No. 10, p. 108003.

[6] M. Yoshikawa, H. Seki, K. Inoue, Y. Nanen, T. Kimoto, Characterization of Inhomogeneity in Silicon Dioxide Films on 4H-Silicon Carbide Epitaxial Substrate Using a Combination of Fourier Transform Infrared and Cathodoluminescence Spectroscopy, *Applied Spectroscopy*, 2014, Vol. 68, No. 10, pp. 1176-1180.

[7] T. Okuda, T. Miyazawa, H. Tsuchida, T. Kimoto, J. Suda, Enhancement of carrier lifetime in lightly Al-doped p-type 4H-SiC epitaxial layers by combination of thermal oxidation and hydrogen annealing, *Applied Physics Express*, 2014, Vol. 7, No. 8, p. 085501.

[8] H. Okumura, T. Kimoto, J. Suda, Formation mechanism of threading-dislocation array in AlN layers grown on 6H-SiC (0001) substrates with 3-bilayer-high surface steps, *Applied Physics Letters*, 2014, Vol. 105, No. 7, p. 071603.

[9] H. Tanaka, S. Mori, N. Morioka, J. Suda, T. Kimoto, Phonon-Limited Electron Mobility in Rectangular Cross-Sectional Ge Nanowires, *IEEE Transactions on Electron Devices*, 2014, Vol. 61, No. 6, pp. 1993-1998.

[10] K. Kawahara, Xuan T.T., Nguyen T.S., E. Janzen, J. Suda, T. Kimoto, Quantitative comparison between Z(1/2) center and carbon vacancy in 4H-SiC, *Journal of Applied Physics*, 2014, Vol. 115, No. 14, p. 143705.

[11] G. Alfieri, T. Kimoto, Detection of minority carrier traps in p-type 4H-SiC, *Applied Physics Letters*, 2014, Vol. 104, No. 9, p. 092105.

[12] H. Miyake, T. Kimoto, J. Suda, Effect of ultrathin AIN spacer on electronic properties of GaN/SiC heterojunction bipolar transistors, *Japanese Journal of Applied Physics*, 2014, Vol. 53, No. 3, p. 034101.

[13] M. Horita, M. Noborio, T. Kimoto, J. Suda, 4H-SiC MISFETs With 4H-AlN Gate Insulator Isopolytypically Grown on 4H-SiC (11(2)overbar0), *IEEE Electron Device Letters*, 2014, Vol. 35, No. 3, pp. 339-341.

[14] K. Sato, K. Adachi, H. Okamoto, H. Yamaguchi, T. Kimoto, J. Suda, Fabrication of Electrostatically Actuated 4H-SiC Microcantilever Resonators by Using n/p/n Epitaxial Structures and Doping-selective Electrochemical Etching, *Silicon Carbide and Related Materials 2013, Pts 1 and 2*, 2014, Vol. 778-780, pp. 780-783.

[15] C. Kawahara, J. Suda, T. Kimoto, Identification of dislocations in 4H-SiC epitaxial layers and substrates using photoluminescence imaging, *Japanese Journal of Applied Physics*, 2014, Vol. 53, No. 2, p. 020304.

[16] N. Kaji, H. Niwa, J. Suda, T. Kimoto, Ultrahigh-Voltage (> 20 kV) SiC PiN Diodes with a Space-Modulated JTE and Lifetime Enhancement Process via Thermal Oxidation, *Silicon Carbide and Related Materials 2013, Pts 1 and 2*, 2014, Vol. 778-780, pp. 832-835.

[17] Y. Nanen, J. Suda, T. Kimoto, Designing of Quasi-Modulated Region in 4H-SiC Lateral RESURF MOSFETs, *Silicon Carbide and Related Materials 2013, Pts 1 and 2*, 2014, Vol. 778-780, pp. 943-946.

[18] H. Tanaka, N. Morioka, S. Mori, J. Suda, T. Kimoto, Quantum-confinement effects on conduction band structure of rectangular cross-sectional

GaAs nanowires, *Journal of Applied Physics*, 2014, Vol. 115, No. 5, p. 053713.

[19] G. Alfieri, T. Kimoto, Minority Carrier Transient Spectroscopy of As-grown, Electron Irradiated and Thermally Oxidized p-type 4H-SiC, *Silicon Carbide and Related Materials 2013, Pts 1 and 2*, 2014, Vol. 778-780, pp. 269-272.

[20] H. Yoshioka, T. Nakamura, J. Senzaki, A. Shimozato, Y. Tanaka, H. Okumura, T. Kimoto, Accurate characterization of interface state density of SiC MOS structures and the impacts on channel mobility, *Silicon Carbide and Related Materials 2013, Pts 1 and 2*, 2014, Vol. 778-780, pp. 418-423.

[21] H. Niwa, J. Suda, T. Kimoto, Temperature Dependence of Impact Ionization Coefficients in 4H-SiC, *Silicon Carbide and Related Materials 2013, Pts 1 and 2*, 2014, Vol. 778-780, pp. 461-466.

[22] N. Morioka, J. Suda, T. Kimoto, Etching-limiting process and origin of loading effects in silicon etching with hydrogen chloride gas, *Japanese Journal of Applied Physics*, 2014, Vol. 53, No. 1, p. 016502.

[23] 木本 恒暢, 固体物理の応用 高耐圧 SiC パワーデバイスの進展と課題, 固体物理, 2014, Vol. 49, No. 1, pp. 35-43.

[24] G. Alfieri, T. Kimoto, Ab initio prediction of SiC nanotubes with negative strain energy, *Applied Physics Letters*, 2014, Vol. 104, No. 3, p. 033107.

[25] H. Yoshioka, T. Nakamura, T. Kimoto, Characterization of very fast states in the vicinity of the conduction band edge at the SiO2/SiC interface by low temperature conductance measurements, *Journal of Applied Physics*, 2014, Vol. 115, No. 1, p. 014502.

[26] 篠倉 弘樹, 西 佑介, 岩田 達哉, NiO を用いた ReRAM のセミフォーミング後における抵抗スイッチング特性 (シリコン材料・デバイス), 電子情報通信学会技術研究報告 : 信学技報, 2014, Vol. 114, No. 360, pp. 129-134.

[27] 浅田 聡志, 奥田 貴史, 木本 恒暢, 4H-SiC BJT の電流増幅率の温度依存性 (シリコン材料・デバイス), 電子情報通信学会技術研究報告 : 信学技報, 2014, Vol. 114, No. 360, pp. 115-118.

[28] 篠倉 弘樹, 西 佑介, 岩田 達哉, NiO を用いた ReRAM のセミフォーミング後における抵抗スイッチング特性 (電子ディスプレイ), 電子情報通信学会技術研究報告 : 信学技報, 2014, Vol. 114, No. 359, pp. 129-134.

[29] 浅田 聡志, 奥田 貴史, 木本 恒暢, 4H-SiC BJT の電流増幅率の温度依存性 (電子ディスプレイ), 電子情報通信学会技術研究報告 : 信学技報, 2014, Vol. 114, No. 359, pp. 115-118.

[30] 木本 恒暢, 高効率電力変換用 SiC パワー半導体の進展, *OHM*, 2014, Vol. 101, No. 9, pp. 52-56.

[31] 前島 尚行, 松井 文彦, 堀田 昌宏, 松井 公佑, 大田 拓也, 石井 良, 藤田 將喜, 安田 馨, 松下 智裕, 大門 寛, 8aAK-10 2 次元光電子回折分光法による半導体ヘテロ接合界面の欠陥準位の検出 (8aAK 表面界面構造, 領域 9(表面・界面, 結晶成長)), 日本物理学会講演概要集, 2014, Vol. 69, No. 2, p. 643.

[32] 榊 裕之, 須田 淳, ココだけのハナシ (第 2 回) 助教授時代, 最初の 3 年間で論文は 1 編!, 応用物理, 2014, Vol. 83, No. 6, pp. 494-500.

[33] 細野 秀雄, 須田 淳, ココだけのハナシ (第 1 回) 鉄系超伝導と IGZO の 2 つが同時に来た!, 応用物理, 2014, Vol. 83, No. 4, pp. 252-257.

[34] 木本 恒暢, 須田 淳, 西 佑介, <大学の研究・動向>新しい材料・構造・概念がもたらす半導体デバイスの革新, *Cue :* 京都大学電気関係教室技術情報誌, 2014, Vol. 31, pp. 3-9.

[35] M. Kaneko, H. Okumura, R. Ishii, M. Funato, Y. Kawakami, T. Kimoto, J. Suda, Optical Properties of Highly Strained AlN Coherently Grown on 6H-SiC(0001), *Applied Physics Express*, 2013, Vol. 6, No. 6, p. 62604.

[36] 中澤 成哉, 南園 悠一郎, 須田 淳, 木本 恒暢, コンダクタンス法を用いた面方位の異なる SiC MOS 構造の界面準位の評価 (シリコン関連材料の作製と評価), 電子情報通信学会技術研究報告. *SDM,* シリコン材料・デバイス, 2013, Vol. 113, No. 351, pp. 101-105.

[37] 田中 一, 森 誠悟, 森岡 直也, 須田 淳, 木本 恒暢, 長方形断面 Ge ナノワイヤの電子移動度の断面形状およびサイズ依存性 (シリコン関連材料の作製と評価), 電子情報通信学会技術研究報告. *SDM,* シリコン材料・デバイス, 2013, Vol. 113, No. 351, pp. 91-96.

[38] 須田 淳, NE Selection パワー半導体 (第 4 回) 電力インフラを目指す SiC バイポーラ素子で耐圧 10kV 超, 日経エレクトロニクス, 2013, No. 1111, pp. 88-93.

[39] 細井 卓治, 東雲 秀司, 柏木 勇作, 保坂 重敏, 中村 亮太, 中野 佑紀, 浅原 浩和, 中村 孝, 木本 恒暢, 志村 考功, 渡部 平司, SiC パワー MOSFET 向け高誘電率ゲート絶縁膜技術 (SiC-MOS ゲートスタック技術の進展, ゲート絶縁薄膜, 容量膜, 機能膜及びメモリ技術), 電子情報通信学会技術研究報告. *SDM,* シリコン材料・デバイス, 2013, Vol. 113, No. 87, pp. 77-80.

[40] 須田 淳, NE Selection パワー半導体 (第 3 回)GaN パワー素子の開発が活発に ノーマリー・オフ動作にも道筋, 日経エレクトロニクス, 2013, No. 1109, pp. 96-100.

[41] 須田 淳, NE Selection パワー半導体 (第 2 回) 実用化が進む SiC パワー素子 エアコンや鉄道車両、産業機器に, 日経エレクトロニクス, 2013, No. 1105, pp. 84-91.

[42] 堀田 昌宏, 林 正典, 宇川 諒, 膝離断性骨軟骨炎に対する治療成績についての検討, *JOSKAS*, 2013, Vol. 38, No. 1, pp. 142-143.

[43] 須田 淳, NE Selection パワー半導体 (第 1 回)Si を超える SiC と GaN の性能 なぜパワー素子に向いているのか, 日経エレクトロニクス, 2013, No. 1103, pp. 90-95.

[44] 須田 淳, 炭化ケイ素を用いた超高耐圧バイポーラト

ランジスタの開発, 自動車技術, 2013, Vol. 67, No. 3, pp. 112-113.

[45] 細井 卓治, 東雲 秀司, 柏木 勇作, 保坂 重敏, 中村 亮太, 箕谷 周平, 中野 佑紀, 浅原 浩和, 中村 孝, 木本 恒暢, 志村 考功, 渡部 平司, AlON ゲート絶縁膜導入による SiC パワー MOSFET の高性能化及び信頼性向上 (IEDM 特集 (先端 CMOS テバイス・プロセス技術)), 電子情報通信学会技術研究報告. *SDM, シリコン材料・デバイス*, 2013, Vol. 112, No. 421, pp. 19-22.

電子物性工学講座 電子材料物性工学分野

[1] K. Suzuki, K. Kobayashi, A. Labuda, K. Matsushige, H. Yamada, Accurate formula for dissipative interaction in frequency modulation atomic force microscopy, *Applied Physics Letters*, 2014, Vol. 105, 233105.

[2] Y. Araki, K. Tsukamoto, R. Takagi, T. Miyashita, N. Oyabu, K. Kobayashi, H. Yamada, Direct Observation of the Influence of Additives on Calcite Hydration by Frequency Modulation Atomic Force Microscopy, *Crystal Growth & Design*, 2014, Vol. 14, pp. 6254-6260.

[3] N. Satoh, K. Kobayashi, S. Watanabe, T. Fujii, K. Matsushige, H. Yamada, Scanning near-field optical microscopy system based on frequency-modulation atomic force microscopy using a piezoelectric cantilever, *Japanese Journal of Applied Physics*, 2014, Vol. 53, No. 12, 125201.

[4] K. Umeda, K. Kobayashi, N. Oyabu, Y. Hirata, K. Matsushige, H. Yamada, Practical aspects of Kelvin-probe force microscopy at solid/liquid interfaces in various liquid media, *Journal of Applied Physics*, 2014, Vol. 116, No. 13, 134307.

[5] N. Satoh, S. Katori, K. Kobayashi, K. Matsushige, H. Yamada, Surface potential measurement of fullerene/copper phthalocyanine films on indium tin oxide electrode by Kelvin probe force microscopy, *Japanese Journal of Applied Physics*, 2014, Vol. 53, No. 5S1, 05FY03.

[6] S. Ido, H. Kimiya, K. Kobayashi, H. Kominami, K. Matsushige, H. Yamada, Immunoactive two-dimensional self-assembly of monoclonal antibodies in aqueous solution revealed by atomic force microscopy, *Nature Materials*, 2014, Vol. 13, No. 3, pp. 264-270.

[7] H. Adam, S. Rode, M. Schreiber, K. Kobayashi, H. Yamada, A. Kuhnle, Photothermal excitation setup for a modified commercial atomic force microscope, *Review of Scientific Instruments*, 2014, Vol. 85, No. 2, 023703.

[8] K. Suzuki, K. Kobayashi, N. Oyabu, K. Matsushige, H. Yamada, Molecular-scale investigations of structures and surface charge distribution of surfactant aggregates by three-dimensional force mapping, *The Journal of Chemical Physics*, 2014, Vol. 140, No. 5, 054704.

[9] K. Kimura, K. Kobayashi, K. Matsushige, H. Yamada, Imaging of Au nanoparticles deeply buried in polymer matrix by various atomic force microscopy techniques, *Ultramicroscopy*, 2013, Vol. 133, pp. 41-49.

[10] M. Hirose, E. Tsunemi, K. Kobayashi, H. Yamada, Influence of grain boundary on electrical properties of organic crystalline grains investigated by dual-probe atomic force microscopy, *Applied Physics Letters*, 2013, Vol. 103, No. 17, 173109.

[11] S. Sanna, S. Rode, R. Holscher, S. Klassen, C. Marutschke, K. Kobayashi, H. Yamada, W.G. Schmidt, A. Kuhnle, Charge compensation by long-period reconstruction in strongly polar lithium niobate surfaces, *Physical Review B - Condensed Matter and Materials Physics*, 2013, Vol. 88, No. 11, 115422.

[12] E. Tsunemi, K. Kobayashi, N. Oyabu, M. Hirose, Y. Takenaka, K. Matsushige, H. Yamada, Development of multi-environment dual-probe atomic force microscopy system using optical beam deflection sensors with vertically incident laser beams, *Review of Scientific Instruments*, 2013, Vol. 84, No. 8, 083701.

[13] M. Hirose, E. Tsunemi, K. Kobayashi, H. Yamada, Visualization of charge injection processes in polydiacetylene thin film grains by dual-probe atomic force microscopy, *Japanese Journal of Applied Physics*, 2013, Vol. 52, No. 8, 085201.

[14] M. Hattori, K. Noda, T. Nishi, K. Kobayashi, H. Yamada, K. Matsushige, Erratum: Investigation of electrical transport in anodized single TiO2 nanotubes (Applied Physics Letters (2013) 102 (043105)), *Applied Physics Letters*, 2013, Vol. 103, No. 3, 039901.

[15] K. Kobayashi, N. Oyabu, K. Kimura, S. Ido, K. Suzuki, T. Imai, K. Tagami, M. Tsukada, H. Yamada, Visualization of hydration layers on muscovite mica in aqueous solution by frequency-modulation atomic force microscopy, *Journal of Chemical Physics*, 2013, Vol. 138, No. 18, 184704.

[16] K. Umeda, K. Kobayashi, N. Oyabu, Y. Hirata, K. Matsushige, H. Yamada, Analysis of capacitive force acting on a cantilever tip at solid/liquid interfaces, *Journal of Applied Physics*, 2013, Vol. 113, 154311.

[17] K. Noda, Y. Wakatsuki, Y. Yamagishi, Y. Wada, T. Toyabe, K. Matsushige, Current Enhancement with Contact-Area-Limited Doping for Bottom-Gate, Bottom-Contact Organic Thin-Film Transistors, *Japanese Journal of Applied Physics*, 2013, Vol. 52, No. 2, p. 21602.

[18] S. Ido, K. Kimura, N. Oyabu, K. Kobayashi, M. Tsukada, K. Matsushige, H. Yamada, Beyond the helix pitch: Direct visualization of native DNA in aqueous solution, *ACS Nano*, 2013, Vol. 7, No. 2, pp. 1817-1822.

[19] A. Labuda, K. Kobayashi, K. Suzuki, H. Yamada, P. Grutter, Monotonic damping in nanoscopic hydration experiments, *Physical Review Letters*, 2013, Vol. 110, No. 6, 66102.

[20] M. Ito, K. Kobayashi, Y. Miyato, K. Matsushige, H. Yamada, Local potential profiling of operating carbon nanotube transistor using frequency-modulation high-frequency electrostatic force microscopy, *Applied Physics Letters*, 2013, Vol. 102, No. 1, 013115.

[21] M. Hattori, K. Noda, T. Nishi, K. Kobayashi, H. Yamada, K. Matsushige, Investigation of electrical transport in anodized single TiO₂ nanotubes, *Applied Physics Letters*, 2013, Vol. 102, No. 4, 043105.

[22] N. Satoh, E. Tsunemi, K. Kobayashi, K. Matsushige, H. Yamada, Multi-probe atomic force microscopy using piezo-resistive cantilevers and interaction between probes, *E-Journal of Surface Science and Nanotechnology*, 2013, Vol. 11, pp. 13-17.

量子機能工学講座 光材料物性工学分野

[1] T. Ozaki, Y. Takagi, J. Nishinaka, M. Funato, Y. Kawakami, Metalorganic vapor phase epitaxy of GaN and lattice-matched InGaN on ScAlMgO4(0001) substrates, *Applied Physics Express*, 2014, Vol. 7, p. 091001.

[2] R. Ishii, M. Funato, Y. Kawakami, Effects of strong electron-hole exchange and exciton-phonon interactionson the exciton binding energy of aluminum nitride, *Japanese Journal of Applied Physics*, 2014, Vol. 53, p. 091001.

[3] S. Ichikawa, Y. Iwata, M. Funato, S. Nagata, Y. Kawakami, High quality semipolar (1-102) AlGaN/AlN quantum wells with remarkably enhanced optical transition probabilities, *Applied Physics Letters*, 2014, Vol. 104, p. 252102.

[4] T. Oto, R.G. Banal, M. Funato, Y. Kawakami, Optical gain characteristics in Al-rich AlGaN/AlN quantum wells, *Applied Physics Letters*, 2014, Vol. 104, No. 18, p. 181102.

[5] M. Funato, Y. Hayashi, Y. Kawakami, Bistable nanofacet structures on vicinal AlN(0001) surfaces, *Journal of Applied Physics*, 2014, Vol. 115, No. 10, p. 103518.

[6] P.A. Favuzzi, R. Bardoux, T. Asano, Y. Kawakami, S. Noda, In plane manipulation of a dielectric nanobeam with gradient optical forces, *Optics Express*, 2013, Vol. 21, No. 24, pp. 29129-29139.

[7] M. Funato, Y.S. Kim, Y. Ochi, A. Kaneta, Y. Kawakami, T. Miyoshi, S. Nagahama, Optical Gain Spectra of a (0001) InGaN Green Laser Diode, *Applied Physics Express*, 2013, Vol. 6, No. 12, p. 122704.

[8] M. Funato, Y.S. Kim, T. Hira, A. Kaneta, Y. Kawakami, T. Miyoshi, S. Nagahama, Remarkably Suppressed Luminescence Inhomogeneity in a (0001) InGaN Green Laser Structure, *Applied Physics Express*, 2013, Vol. 6, No. 11, p. 111002.

[9] M. Kaneko, H. Okumura, R. Ishii, M. Funato, Y. Kawakami, T. Kimoto, J. Suda, Optical Properties of Highly Strained AlN Coherently Grown on 6H-SiC(0001), *Applied Physics Express*, 2013, Vol. 6, No. 6, p. 62604.

[10] R. Ishii, A. Kaneta, M. Funato, Y. Kawakami, Complete set of deformation potentials for AlN determined by reflectance spectroscopy under uniaxial stress, *Physical Review B*, 2013, Vol. 87, No. 23, p. 235201.

[11] Y. Hayashi, R.G. Banal, M. Funato, Y. Kawakami, Heteroepitaxy between wurtzite and corundum materials, *Journal of Applied Physics*, 2013, Vol. 113, No. 18, p. 183523.

[12] R.G. Banal, Y. Akashi, K. Matsuda, Y. Hayashi, M. Funato, Y. Kawakami, Crack-Free Thick AlN Films Obtained by NH3 Nitridation of Sapphire Substrates, *Japanese Journal of Applied Physics*, 2013, Vol. 52, No. 8, p. UNSP 08JB21.

[13] R. Ishii, M. Funato, Y. Kawakami, Huge electron-hole exchange interaction in aluminum nitride, *Physical Review B*, 2013, Vol. 87, No. 16, p. 161204.

[14] R. Bardoux, M. Funato, A. Kaneta, Y. Kawakami, A. Kikuchi, K. Kishino, Two-photon absorption induced anti-Stokes emission in single InGaN/GAN quantum-dot-like objects, *Physica Status Solidi-Rapid Research Letters*, 2013, Vol. 7, No. 5, pp. 344-347.

[15] X. Xu, M. Funato, Y. Kawakami, K. Okamoto, K. Tamada, Grain size dependence of surface plasmon enhanced photoluminescence, *Optics Express*, 2013, Vol. 21, No. 3, pp. 3145-3151.

[16] M. Funato, K. Matsuda, R.G. Banal, R. Ishii, Y. Kawakami, Strong optical polarization in nonpolar (1(1)over-bar00) AlxGa1-xN/AlN quantum wells, *Physical Review B*, 2013, Vol. 87, No. 4, p. 41306.

量子機能工学講座 光量子電子工学分野

[1] Y. Yi, T. Asano, Y. Tanaka, B. Song, S. Noda, Investigation of electric/magnetic local interaction between Si photonic-crystal nanocavities and Au meta-atoms, *Optics Letters*, 2014, Vol. 39, No. 19, pp. 5701-5704.

[2] T. Inoue, M. De Zoysa, T. Asano, S. Noda, Realization of dynamic thermal emission control, *Nature Materials*, 2014, Vol. 13, No. 10, pp. 928-931.

[3] M. Nishimoto, K. Ishizaki, K. Maekawa, Y. Liang, K. Kitamura, S. Noda, Fabrication of photonic crystal lasers by MBE air-hole retained growth, *Applied Physics Express*, 2014, Vol. 7, No. 9, p. 092703.

[4] J.G. Yun, D.H. Jung, H.J. Kim, W.S. Choi, B.Y. Hong, S. Noda, B.S. Song, Fabrication of diamond-like carbon-based two-dimensional photonic crystals, *Microelectronic Engineering*, 2014, Vol. 126, pp. 99-102.

[5] Y. Yang, C. Peng, Y. Liang, Z. Li, S. Noda, Three-dimensional coupled-wave theory for the guided

mode resonance in photonic crystal slabs: TM-like polarization, *Optics Letters*, 2014, Vol. 39, No. 15, pp. 4498-4501.

[6] K. Suzuki, K. Kitano, K. Ishizaki, S. Noda, Three-dimensional photonic crystals created by single-step multi-directional plasma etching, *Optics Express*, 2014, Vol. 22, No. 14, pp. 17099-17106.

[7] Y. Yang, C. Peng, Y. Liang, Z. Li, S. Noda, Analytical Perspective for Bound States in the Continuum in Photonic Crystal Slabs, *Physical Review Letters*, 2014, Vol. 113, No. 3, p. 037401.

[8] J. Upham, H. Inoue, Y. Tanaka, W. Stumpf, K. Kojima, T. Asano, S. Noda, Pulse capture without carrier absorption in dynamic Q photonic crystal nanocavities, *Optics Express*, 2014, Vol. 22, No. 13, pp. 15459-15466.

[9] K. Hirose, Y. Liang, Y. Kurosaka, A. Watanabe, T. Sugiyama, S. Noda, Watt-class high-power, high-beam-quality photonic-crystal lasers, *Nature Photonics*, 2014, Vol. 8, No. 5, pp. 406-411.

[10] S. Yamada, B. Song, S. Jeon, J. Upham, Y. Tanaka, T. Asano, S. Noda, Second-harmonic generation in a silicon-carbide-based photonic crystal nanocavity, *Optics Letters*, 2014, Vol. 39, No. 7, pp. 1768-1771.

[11] A. Oskooi, M. De Zoysa, K. Ishizaki, S. Noda, Experimental Demonstration of Quasi-resonant Absorption in Silicon Thin Films for Enhanced Solar Light Trapping, *ACS Photonics*, 2014, Vol. 1, No. 4, pp. 304-309.

[12] Y. Takahashi, S. Noda, Breakthroughs in Photonics 2013: A Microwatt-Threshold Raman Silicon Laser, *IEEE Photonics Journal*, 2014, Vol. 6, No. 2, pp. 0700105-5.

[13] T. Asano, T. Inoue, M. De Zoysa, S. Noda, Analysis of emissivity and absorptivity of two overlapping guided modes in two-dimensional periodic structures, *Physical Review A*, 2014, Vol. 89, No. 3, p. 033811.

[14] A. Oskooi, Y. Tanaka, S. Noda, Tandem photonic-crystal thin films surpassing Lambertian light-trapping limit over broad bandwidth and angular range, *Applied Physics Letters*, 2014, Vol. 104, No. 9, p. 091121.

[15] Y. Takahashi, T. Asano, D. Yamashita, S. Noda, Ultra-compact 32-channel drop filter with 100 GHz spacing, *Optics Express*, 2014, Vol. 22, No. 4, pp. 4692-4698.

[16] Y. Kawamoto, Y. Tanaka, K. Ishizaki, M. De Zoysa, T. Asano, S. Noda, Structural Optimization of Photonic Crystals for Enhancing Optical Absorption of Thin Film Silicon Solar Cell Structures, *IEEE Photonics Journal*, 2014, Vol. 6, No. 1, pp. 4700110-10.

[17] Y. Liang, T. Okino, K. Kitamura, C. Peng, K. Ishizaki, S. Noda, Mode stability in photonic-crystal surface-emitting lasers with large kappa L-1D, *Applied Physics Letters*, 2014, Vol. 104, No. 2, p. 021102.

[18] T. Inoue, M. De Zoysa, T. Asano, S. Noda, Filter-free nondispersive infrared sensing using narrow-bandwidth mid-infrared thermal emitters, *Applied Physics Express*, 2014, Vol. 7, No. 1, p. 012103.

[19] H. Sekoguchi, Y. Takahashi, T. Asano, S. Noda, Photonic crystal nanocavity with a Q-factor of similar to 9 million, *Optics Express*, 2014, Vol. 22, No. 1, pp. 916-924.

[20] K. Kitamura, T.T. Xu, S. Noda, Investigation of electric field enhancement between metal blocks at the focused field generated by a radially polarized beam, *Optics Express*, 2013, Vol. 21, No. 26, pp. 32217-32224.

[21] Y. Takahashi, Y. Inui, M. Chihara, T. Asano, R. Terawaki, S. Noda, High-Q resonant modes in a photonic crystal heterostructure nanocavity and applicability to a Raman silicon laser, *Physical Review B*, 2013, Vol. 88, No. 23, p. 235313.

[22] M. Banihashemi, T. Nakamura, T. Kojima, K. Kojima, S. Noda, V. Ahmadi, Far off-resonant coupling between photonic crystal microcavity and single quantum dot with resonant excitation, *Applied Physics Letters*, 2013, Vol. 103, No. 25, p. 251113.

[23] P.A. Favuzzi, R. Bardoux, T. Asano, Y. Kawakami, S. Noda, In plane manipulation of a dielectric nanobeam with gradient optical forces, *Optics Express*, 2013, Vol. 21, No. 24, pp. 29129-29139.

[24] Y. Tanaka, Y. Kawamoto, M. Fujita, S. Noda, Enhancement of broadband optical absorption in photovoltaic devices by band-edge effect of photonic crystals, *Optics Express*, 2013, Vol. 21, No. 17, pp. 20111-20118.

[25] K. Gondaira, K. Ishizaki, S. Noda, Influence of structural fluctuations on Q factor of nanocavities at the surface of three-dimensional photonic crystals, *Journal of The Optical Society of America B-Optical Physics*, 2013, Vol. 30, No. 6, pp. 1660-1664.

[26] Y. Takahashi, Y. Inui, M. Chihara, T. Asano, R. Terawaki, S. Noda, A micrometre-scale Raman silicon laser with a microwatt threshold, *Nature*, 2013, Vol. 498, No. 7455, pp. 470-474.

[27] T. Inoue, M. De Zoysa, T. Asano, S. Noda, Single-peak narrow-bandwidth mid-infrared thermal emitters based on quantum wells and photonic crystals, *Applied Physics Letters*, 2013, Vol. 102, No. 19, p. 191110.

[28] K. Ishizaki, K. Gondaira, Y. Ota, K. Suzuki, S. Noda, Nanocavities at the surface of three-dimensional photonic crystals, *Optics Express*, 2013, Vol. 21, No. 9, pp. 10590-10596.

[29] R. Konoike, Y. Sato, Y. Tanaka, T. Asano, S. Noda, Adiabatic transfer scheme of light between

strongly coupled photonic crystal nanocavities, *Physical Review B*, 2013, Vol. 87, No. 16, p. 165138.

[30] M. Nishimoto, K. Ishizaki, K. Maekawa, K. Kitamura, S. Noda, Air-Hole Retained Growth by Molecular Beam Epitaxy for Fabricating GaAs-Based Photonic-Crystal Lasers, *Applied Physics Express*, 2013, Vol. 6, No. 4, p. 042002.

[31] K. Ishizaki, M. Koumura, K. Suzuki, K. Gondaira, S. Noda, Realization of three-dimensional guiding of photons in photonic crystals, *Nature Photonics*, 2013, Vol. 7, No. 2, pp. 133-137.

[32] J. Upham, Y. Fujita, Y. Kawamoto, Y. Tanaka, B.S. Song, T. Asano, S. Noda, The capture, hold and forward release of an optical pulse from a dynamic photonic crystal nanocavity, *Optics Express*, 2013, Vol. 21, No. 3, pp. 3809-3817.

[33] T. Inoue, T. Asano, M. De Zoysa, A. Oskooi, S. Noda, Design of single-mode narrow-bandwidth thermal emitters for enhanced infrared light sources, *Journal of The Optical Society of America B-Optical Physics*, 2013, Vol. 30, No. 1, pp. 165-172.

[34] Y. Liang, C. Peng, K. Ishizaki, S. Iwahashi, K. Sakai, Y. Tanaka, K. Kitamura, S. Noda, Three-dimensional coupled-wave analysis for triangular-lattice photonic-crystal surface-emitting lasers with transverse-electric polarization, *Optics Express*, 2013, Vol. 21, No. 1, pp. 565-580.

量子機能工学講座 量子電磁工学分野

[1] T. Seki, M. Fujii, M. Kusakari, S. Nakagawa, T. Aoki, J. Matsuo, Analysis of liquid materials in low vacuum with Wet-SIMS, *Surface and Interface Analysis*, 2014, Vol. 46, No. 12-13, pp. 1133-1136.

[2] M. Fujii, S. Nakagawa, T. Seki, T. Aoki, J. Matsuo, Quantitative analysis of lipids with argon gas cluster ion beam secondary ion mass spectrometry, *Surface and Interface Analysis*, 2014, Vol. 46, No. 12-13, pp. 1129-1132.

[3] M. Fujii, M. Kusakari, K. Matsuda, N. Man, T. Seki, T. Aoki, J. Matsuo, Lipid compounds analysis with MeV-SIMS apparatus for biological applications, *Surface and Interface Analysis*, 2014, Vol. 46, No. S1, pp. 353-356.

[4] T. Seki, Y. Wakamatsu, S. Nakagawa, T. Aoki, A. Ishihara, J. Matsuo, Biomaterial imaging with MeV-energy heavy ion beams, *Nuclear Instruments & Methods in Physics Research Section B-Beam Interactions With Materials and Atoms*, 2014, Vol. 332, pp. 326-329.

[5] Y. Tamayama, K. Yasui, T. Nakanishi, M. Kitano, A linear-to-circular polarization converter with half transmission and half reflection using a single-layered metamaterial, *Applied Physics Letters*, 2014, Vol. 105, No. 2, pp. 021110-1-021110-5.

[6] J. Matsuo, S. Torii, K. Yamauchi, K. Wakamoto, M. Kusakari, S. Nakagawa, M. Fujii, T. Aoki, T. Seki, Novel SIMS system with focused massive cluster ion source for mass imaging spectrometry with high lateral resolution, *Applied Physics Express*, 2014, Vol. 7, No. 5, p. 056602.

[7] M. Fujii, S. Nakagawa, K. Matsuda, N. Man, T. Seki, T. Aoki, J. Matsuo, Study on the detection limits of a new argon gas cluster ion beam secondary ion mass spectrometry apparatus using lipid compound samples, *Rapid Communications in Mass Spectrometry*, 2014, Vol. 28, No. 8, pp. 917-920.

[8] H. Gnaser, M. Fujii, S. Nakagawa, T. Seki, T. Aoki, J. Matsuo, Prolific cluster emission in sputtering of phenylalanine by argon-cluster ion bombardment, *International Journal of Mass Spectrometry*, 2014, Vol. 360, No. 1, pp. 54-57.

[9] F. Miyamaru, H. Morita, Y. Nishiyama, T. Nishida, T. Nakanishi, M. Kitano, M.W. Takeda, Ultrafast optical control of group delay of narrow-band terahertz waves, *Scientific Reports*, 2014, Vol. 4, p. 4346.

[10] Y. Tamayama, K. Yasui, T. Nakanishi, M. Kitano, Electromagnetically induced transparency like transmission in a metamaterial composed of cut-wire pairs with indirect coupling, *Physical Review B*, 2014, Vol. 89, No. 7, pp. 075120-1-075120-7.

[11] 藤崎 広豊, 杉山 和彦, 今井 康貴, 北野 正雄, 30aCF-11 波長 176μm Ba^+ $^2S_{<}1/2>$-$^2D_{<}5/2>$時計遷移励起用光源の開発 (30aCF 量子エレクトロニクス (分光・光周波数標準), 領域 1(原子分子・量子エレクトロニクス・放射線)), 日本物理学会講演概要集, 2014, Vol. 69, No. 1, p. 219.

[12] 畑中 修平, 杉山 和彦, 三滝 雅俊, 今井 康貴, 北野 正雄, 30aCF-10 1 オクターブ光周波数コムによる Yb^+ 時計遷移の光周波数比計測システム (30aCF 量子エレクトロニクス (分光・光周波数標準), 領域 1(原子分子・量子エレクトロニクス・放射線)), 日本物理学会講演概要集, 2014, Vol. 69, No. 1, p. 219.

[13] 籾山 知哉, 杉山 和彦, 今井 康貴, 東谷 祥平, 北野 正雄, 30aCF-12 $Yb^{<}+2>S_{<}1/2>$-$^2F_{<}7/2>$時計遷移励起用レーザーシステムの開発 (30aCF 量子エレクトロニクス (分光・光周波数標準), 領域 1(原子分子・量子エレクトロニクス・放射線)), 日本物理学会講演概要集, 2014, Vol. 69, No. 1, p. 219.

[14] 北野 正雄, マイケル・ニールセン著, 高橋洋訳, オープンサイエンス革命, 紀伊國屋書店, 東京, 2013, 398p, 20×14cm, 本体 2,200 円, [専門〜一般向], ISBN978-4-314-01104-4, 日本物理學會誌, 2014, Vol. 69, No. 2, pp. 118-119.

[15] T. Uehara, K. Sugiyama, M. Kitano, Frequency Measurement of the 6S-8S Two-Photon Transition in Cesium, *2013 Conference on Lasers and Electro-Optics Pacific Rim (CLEO-PR)*, 2013, p. 161110.

[16] Y. Nakata, Y. Urade, T. Nakanishi, M. Kitano, Plane-wave scattering by self-complementary

metasurfaces in terms of electromagnetic duality and Babinet's principle, *Physical Review B*, 2013, Vol. 88, No. 20, pp. 205138-205138(8).

[17] T. Seki, S. Shitomoto, S. Nakagawa, T. Aoki, J. Matsuo, An electrostatic quadrupole doublet focusing system for MeV heavy ions in MeV-SIMS, *Nuclear Instruments & Methods in Physics Research Section B-Beam Interactions With Materials and Atoms*, 2013, Vol. 315, pp. 356-359.

[18] K. Dobashi, K. Inai, M. Saito, T. Seki, T. Aoki, J. Matsuo, Ultrafine Particle Removal Using Gas Cluster Ion Beam Technology, *IEEE Transactions on Semiconductor Manufacturing*, 2013, Vol. 26, No. 3, pp. 328-334.

[19] H. Gnaser, M. Fujii, S. Nakagawa, T. Seki, T. Aoki, J. Matsuo, Peptide dissociation patterns in secondary ion mass spectrometry under large argon cluster ion bombardment, *Rapid Communications in Mass Spectrometry*, 2013, Vol. 27, No. 13, pp. 1490-1496.

[20] M. Kitano, Mathematical structure of unit systems, *Journal of Mathematical Physics*, 2013, Vol. 54, No. 5, pp. 52901-052901-17.

[21] T. Aoki, T. Seki, J. Matsuo, Molecular dynamics simulation study of damage formation and sputtering with huge fluorine cluster impact on silicon, *Nuclear Instruments & Methods in Physics Research Section B-Beam Interactions With Materials and Atoms*, 2013, Vol. 303, pp. 170-173.

[22] Y. Tamayama, T. Nakanishi, M. Kitano, Observation of modulation instability in a nonlinear magnetoinductive waveguide, *Physical Review B*, 2013, Vol. 87, No. 19, pp. 195123-195123(6).

[23] T. Nakanishi, T. Otani, Y. Tamayama, M. Kitano, Storage of electromagnetic waves in a metamaterial that mimics electromagnetically induced transparency, *Physical Review B*, 2013, Vol. 87, No. 16, pp. 161110-161110(4).

[24] 北野 正雄, 誤解されているブラケット — 共役演算子をめぐって, 日本物理学会誌, 2013, Vol. 68, No. 4, pp. 239-241.

[25] 三滝 雅俊, 杉山 和彦, 北野 正雄, 28aBA-1 モード同期 Yb : KYW レーザーを用いた 1 オクターブ光周波数コムの周波数制御 II(量子エレクトロニクス (分光・光周波数標準), 領域 1(原子・分子, 量子エレクトロニクス, 放射線物理)), 日本物理学会講演概要集, 2013, Vol. 68, No. 2, p. 167.

[26] 北野 正雄, 誤解されているブラケット-共役演算子をめぐって, 日本物理學會誌, 2013, Vol. 68, No. 4, pp. 239-241.

[27] 三滝 雅俊, 杉山 和彦, 北野 正雄, 26pEE-9 モード同期 Yb:KYW レーザーを用いた 1 オクターブ光周波数コムの周波数制御 (26pEE 量子エレクトロニクス (精密測定, 極低温分子), 領域 1(原子・分子, 量子エレクトロニクス, 放射線物理)), 日本物理学会講演概要集, 2013, Vol. 68, No. 1, p. 200.

[28] 今井 康貴, 杉山 和彦, 西 達也, 北野 正雄, 26aEE-3 $^{<}$174>Yb^{+} の $^{2}S_{<}1/2>$-$^{2}D_{<}5/2>$遷移分光による振動サイドバンドの検出 (26aEE 量子エレクトロニクス (イオントラップ, 精密測定), 領域 1(原子・分子, 量子エレクトロニクス, 放射線物理)), 日本物理学会講演概要集, 2013, Vol. 68, No. 1, p. 186.

[29] 西 達也, 今井 康貴, 杉山 和彦, 北野 正雄, 26aEE-2 単一 $^{<}$171>$Yb^{+2}S_{<}1/2>$-$^{2}D_{<}3/2>$時計遷移の励起による量子跳躍の観測 (26aEE 量子エレクトロニクス (イオントラップ, 精密測定), 領域 1(原子・分子, 量子エレクトロニクス, 放射線物理)), 日本物理学会講演概要集, 2013, Vol. 68, No. 1, p. 186.

[30] 藤崎 広豊, 杉山 和彦, 今井 康貴, 原 好広, 北野 正雄, 28pBB-1 波長 1.76μm 外部共振器型半導体レーザーを用いた $Ba^{+}2^{S}_{<}1/2$->$2^{D}_{<}5/2$>時計遷移の量子跳躍観測 (量子エレクトロニクス (イオントラップ・光周波数標準), 領域 1(原子・分子, 量子エレクトロニクス, 放射線物理)), 日本物理学会講演概要集, 2013, Vol. 68, No. 2, p. 171.

[31] 今井 康貴, 杉山 和彦, 東谷 祥平, 西 達也, 北野 正雄, 28pBB-2 単一 $^{<}$171>$Yb^{<}$+2>$S_{<}1/2$->$^{2}D_{<}3/2$> 時計遷移の分光 (量子エレクトロニクス (イオントラップ・光周波数標準), 領域 1(原子・分子, 量子エレクトロニクス, 放射線物理)), 日本物理学会講演概要集, 2013, Vol. 68, No. 2, p. 172.

[32] Y. Yamamoto, K. Ichiki, T. Seki, T. Aoki, J. Matsuo, Ion-induced damage evaluation with Ar cluster ion beams, *Surface and Interface Analysis*, 2013, Vol. 45, No. 1, pp. 167-170.

[33] K. Ichiki, J. Tamura, T. Seki, T. Aoki, J. Matsuo, Development of gas cluster ion beam irradiation system with an orthogonal acceleration TOF instrument, *Surface and Interface Analysis*, 2013, Vol. 45, No. 1, pp. 522-524.

高機能材料工学講座 ナノプロセス工学分野

[1] G.H. Takaoka, M. Takeuchi, H. Ryuto, Kousuke I., Kyohei H., Interactions of fragment ions of tetradecane with solid surfaces, *Nuclear Instruments & Methods in Physics Research Section B-Beam Interactions With Materials and Atoms*, 2014, Vol. 341, p. 48.

[2] G.H. Takaoka, Takuya H., M. Takeuchi, H. Ryuto, Surface modification using ionic liquid ion beams, *Nuclear Instruments & Methods in Physics Research Section B-Beam Interactions With Materials and Atoms*, 2014, Vol. 341, p. 32.

[3] G.H. Takaoka, H. Ryuto, M. Takeuchi, H. Kobayashi, Irradiation effect of gas-hydrate cluster ions on solid surfaces, *Nuclear Instruments & Methods in Physics Research Section B-Beam Interactions With Materials and Atoms*, 2014, Vol. 326, pp. 190-194.

[4] H. Ryuto, Y. Ohmura, M. Nakagawa, M. Takeuchi, G.H. Takaoka, Interaction between water cluster ions and mica surface, *Journal of Vacuum Science & Technology A*, 2014, Vol. 32, No. 2, p. 02B109.

[5] M. Takeuchi, K. Hayashi, K. Imanaka, H. Ryuto, G.H. Takaoka, Low fragment polyatomic molecu-

lar ion source by using permanent magnets, *Review of Scientific Instruments*, 2014, Vol. 85, No. 2, p. 02A502.

[6] H. Ryuto, Y. Kakumoto, M. Takeuchi, G.H. Takaoka, Characteristics of acetone cluster ion beam for surface processing and modification, *Review of Scientific Instruments*, 2014, Vol. 85, No. 2, p. 02C301.

[7] H. Ryuto, F. Musumeci, A. Sakata, M. Takeuchi, G.H. Takaoka, Equipment to detect luminescence induced by cluster ion collision, *Review of Scientific Instruments*, 2014, Vol. 85, No. 2, p. 02C303.

[8] M. Takeuchi, T. Hamaguchi, H. Ryuto, G.H. Takaoka, Development of ionic liquid ion source with porous emitter for surface modification, *Nuclear Instruments & Methods in Physics Research Section B-Beam Interactions With Materials and Atoms*, 2013, Vol. 315, pp. 345-349.

[9] M. Takeuchi, T. Hamaguchi, H. Ryuto, G.H. Takaoka, Irradiation of ionic liquid ion beams on silicon and glass substrates, *Nuclear Instruments & Methods in Physics Research Section B-Beam Interactions With Materials and Atoms*, 2013, Vol. 315, pp. 234-239.

[10] H. Ryuto, Y. Kakumoto, S. Itozaki, M. Takeuchi, G.H. Takaoka, Acetone cluster ion beam irradiation on solid surfaces, *Nuclear Instruments & Methods in Physics Research Section B-Beam Interactions With Materials and Atoms*, 2013, Vol. 315, pp. 231-233.

[11] H. Ryuto, G. Ichihashi, M. Takeuchi, G.H. Takaoka, Surface reaction between water cluster ion and silicon substrate, *Nuclear Instruments & Methods in Physics Research Section B-Beam Interactions With Materials and Atoms*, 2013, Vol. 315, pp. 227-230.

[12] G.H. Takaoka, H. Ryuto, M. Takeuchi, G. Ichihashi, Surface processing using water cluster ion beams, *Nuclear Instruments & Methods in Physics Research Section B-Beam Interactions With Materials and Atoms*, 2013, Vol. 307, pp. 33-36.

[13] G.H. Takaoka, M. Takeuchi, H. Ryuto, R. Ueda, Production and irradiation of ionic liquid cluster ions, *Nuclear Instruments & Methods in Physics Research Section B-Beam Interactions With Materials and Atoms*, 2013, Vol. 307, pp. 257-259.

[14] H. Ryuto, G. Ichihashi, M. Takeuchi, G.H. Takaoka, Irradiation effects of water cluster ion beam on PMMA surface, *Vacuum*, 2013, Vol. 87, pp. 119-122.

先進電子材料工学講座

[1] N. Suzuki, K. Kaneko, S. Fujita, Growth of corundum-structured (InxGa1 − x)2O3 alloy thin films on sapphire substrates with buffer layers, *Journal of Crystal Growth*, 2014, Vol. 401, pp. 670-672.

[2] S. Fujita, K. Kaneko, Epitaxial growth of corundum-structured wide band gap III-oxide semiconductor thin films, *Journal of Crystal Growth*, 2014, Vol. 401, pp. 588-592.

[3] S. Fujita, K. Kaneko, T. Ikenoue, T. Kawaharamura, M. Furuta, Ultrasonic-assisted mist chemical vapor deposition of II-oxide and related oxide compounds, *physica status solidi (c)*, 2014, Vol. 11, No. 7-8, pp. 1225-1228.

[4] T. Uchida, T. Kawaharamura, K. Shibayama, T. Hiramatsu, H. Orita, S. Fujita, Mist chemical vapor deposition of aluminum oxide thin films for rear surface passivation of crystalline silicon solar cells, *Applied Physics Express*, 2014, Vol. 7, No. 2, p. 021303.

[5] S. Lee, K. Akaiwa, S. Fujita, Thermal stability of single crystalline alpha gallium oxide films on sapphire substrates, *physica status solidi (c)*, 2013, Vol. 10, No. 11, pp. 1592-1595.

[6] K. Kaneko, H. Ito, S. Lee, S. Fujita, Oriented growth of beta gallium oxide thin films on yttrium-stabilized zirconia substrates, *physica status solidi (c)*, 2013, Vol. 10, No. 11, pp. 1596-1599.

[7] K. Kaneko, I. Kakeya, S. Komori, S. Fujita, Band gap and function engineering for novel functional alloy semiconductors: Bloomed as magnetic properties at room temperature with alpha-(GaFe)(2)O-3, *Journal of Applied Physics*, 2013, Vol. 113, No. 23, p. 233901.

[8] T. Oshima, K. Kaminaga, A. Mukai, K. Sasaki, T. Masui, A. Kuramata, S. Yamakoshi, S. Fujita, A. Ohtomo, Formation of Semi-Insulating Layers on Semiconducting beta-Ga2O3 Single Crystals by Thermal Oxidation, *Japanese Journal of Applied Physics*, 2013, Vol. 52, No. 5, p. 51101.

[9] T. Kawaharamura, K. Mori, H. Orita, T. Shirahata, S. Fujita, T. Hirao, Effect of O3 and aqueous ammonia on crystallization of MgO thin film grown by mist chemical vapor deposition , *Japanese Journal of Applied Physics*, 2013, Vol. 52, No. 3R, p. 035501.

[10] K. Akaiwa, N. Suzuki, K. Kaneko, S. Fujita, Fabrication of Corundum-Structured α-(InFe)2O3 Alloy Films on Sapphire Substrates by Inserting α-Fe2O3 Buffer Layer, *MRS Proceedings*, 2013, Vol. 1494, mrsf12-1494-z13-32.

[11] N. Suzuki, K. Kaneko, S. Fujita, Growth of corundum-structured In2O3 thin films on sapphire substrates with Fe2O3 buffer layers, *Journal of Crystal Growth*, 2013, Vol. 364, pp. 30-33.

[12] K. Kaneko, K. Akaiwa, S. Fujita, Crystal Structure of Non-Doped and Sn-Doped α-(GaFe)2O3 Thin Films., *MRS Proceedings*, 2013, Vol. 1494, mrsf12-1494-z05-02.

材料化学専攻

機能材料設計学講座

[1] M. Sakakura, K. Yoshimura, T. Kurita, M. Shimizu, Y. Shimotsuma, N. Fukuda, K. Hirao, K. Miura, Condensation of Si-rich region inside soda-lime glass by parallel femtosecond laser irradiation, *Optics Express*, 2014, Vol. 22, No. 13, p. 16493.

[2] D. Tan, Y. Yamada, S. Zhou, Y. Shimotsuma, K. Miura, J. Qiu, Carbon nanodots with strong nonlinear optical response, *Carbon*, 2014, Vol. 69, pp. 638-640.

[3] M. Shiozawa, T. Watanabe, R. Imai, M. Umeda, T. Mine, Y. Shimotsuma, M. Sakakura, K. Miura, K. Watanabe, Simultaneous Multi-Bit Recording and Driveless Reading for Permanent Storage in Fused Silica, *Journal of Laser Micro Nanoengineering*, 2014, Vol. 9, No. 1, pp. 1-4.

[4] M. Sakakura, Y. Ishiguro, N. Fukuda, Y. Shimotsuma, K. Miura, Modulation of Crack Generation inside a LiF Single Crystal by Interference of Laser Induced Stress Waves, *Journal of Laser Micro Nanoengineering*, 2014, Vol. 9, No. 1, pp. 15-18.

[5] Y. Shimotsuma, T. Asai, M. Sakakura, K. Miura, Femtosecond-laser Nanostructuring in Glass, *Journal of Laser Micro Nanoengineering*, 2014, Vol. 9, No. 1, pp. 31-36.

[6] D. Tan, S. Zhou, Y. Shimotsuma, K. Miura, J. Qiu, Effect of UV irradiation on photoluminescence of carbon dots, *Optical Materials Express*, 2014, Vol. 4, No. 2, pp. 213-219.

[7] M. Sakakura, Y. Ishiguro, Y. Shimotsuma, N. Fukuda, K. Miura, Modulation of transient stress distributions for controlling femtosecond laser-induced cracks inside a single crystal, *Applied Physics A-Materials Science & Processing*, 2014, Vol. 114, No. 1, pp. 261-265.

[8] M. Sakakura, T. Kurita, M. Shimizu, K. Yoshimura, Y. Shimotsuma, N. Fukuda, K. Hirao, K. Miura, Shape control of elemental distributions inside a glass by simultaneous femtosecond laser irradiation at multiple spots, *Optics Letters*, 2013, Vol. 38, No. 23, pp. 4939-4942.

[9] M. Sakakura, Y. Ishiguro, N. Fukuda, Y. Shimotsuma, K. Miura, Modulation of laser induced-cracks inside a LiF single crystal by fs laser irradiation at multiple points, *Optics Express*, 2013, Vol. 21, No. 22, pp. 26921-26928.

[10] D. Tan, S. Zhou, B. Xu, P. Chen, Y. Shimotsuma, K. Miura, J. Qiu, Simple synthesis of ultra-small nanodiamonds with tunable size and photoluminescence, *Carbon*, 2013, Vol. 62, pp. 374-381.

[11] Y. Shimotsuma, K. Miura, H. Kazuyuki, Nanomodification of Glass Using fs Laser, *International Journal of Applied Glass Science*, 2013, Vol. 4, No. 3, pp. 182-191.

[12] M. Shiozawa, T. Watanabe, E. Tatsu, M. Umeda, T. Mine, Y. Shimotsuma, M. Sakakura, M. Nakabayashi, K. Miura, K. Watanabe, Simultaneous Multi-Bit Recording in Fused Silica for Permanent Storage, *Japanese Journal of Applied Physics*, 2013, Vol. 52, No. 9S2, p. 09LA01.

[13] H. Okamoto, K. Kasuga, Y. Kubota, N. Nishimura, H. Kawamoto, K. Miyauchi, Y. Shimotsuma, K. Miura, White emission of Yb^2+:fluoride glasses efficiently excited with near-UV light, *Optics Express*, 2013, Vol. 21, No. 19, p. 22043.

[14] T. Watanabe, M. Shiozawa, E. Tatsu, S. Kimura, M. Umeda, T. Mine, Y. Shimotsuma, M. Sakakura, M. Nakabayashi, K. Miura, K. Watanabe, A Driveless Read System for Permanently Recorded Data in Fused Silica, *Japanese Journal of Applied Physics*, 2013, Vol. 52, No. 9S2, p. 09LA02.

[15] A. Stone, H. Jain, V. Dierolf, M. Sakakura, Y. Shimotsuma, K. Miura, K. Hirao, Multilayer aberration correction for depth-independent three-dimensional crystal growth in glass by femtosecond laser heating, *Journal of The Optical Society of America B-Optical Physics*, 2013, Vol. 30, No. 5, pp. 1234-1240.

[16] S. Zhou, C. Li, G. Yang, G. Bi, B. Xu, Z. Hong, K. Miura, K. Hirao, J. Qiu, Self-Limited Nanocrystallization-Mediated Activation of Semiconductor Nanocrystal in an Amorphous Solid, *Advanced Functional Materials*, 2013, pp. 1-8.

[17] D. Tan, Y. Yamada, S. Zhou, Y. Shimotsuma, K. Miura, J. Qiu, Photoinduced luminescent carbon nanostructures with ultra-broadly tailored size, *Nanoscale*, 2013, pp. 1-7.

[18] 下間 靖彦, 三浦 清貴, 坂倉 政明, Laser Review 半永久型 3 次元光メモリの開発 (レーザー学会創立 40 周年記念) – (「超短パルスレーザープロセッシングの進展と産業応用へ向けた展望」特集号), レーザー研究, 2013, Vol. 41, No. 10, pp. 806-810.

無機材料化学講座 無機構造化学分野

[1] N. Morita, Y. Shimotsuma, M. Nishi, M. Sakakura, K. Miura, K. Hirao, Direct micro-carbonization inside polymer using focused femtosecond laser pulses, *Applied Physics Letters*, 2014, Vol. 105, No. 20, p. 201104.

[2] H. Itasaka, M. Nishi, Y. Shimotsuma, K. Miura, M. Watanabe, H. Jain, K. Hirao, Selective growth of gold nanostructures on locally amorphized silicon, *Journal of the Ceramic Society of Japan*, 2014, Vol. 122, No. 7, pp. 543-546.

[3] H. Itasaka, M. Nishi, K. Hirao, Role of solvent in direct growth of gold nanostructures at the interface between focused ion beam-amorphized silicon and Au-ion-containing solution, *Japanese*

Journal of Applied Physics, 2014, Vol. 53, No. 6, p. 06JF06.

[4] M. Shiozawa, T. Watanabe, E. Tatsu, M. Umeda, T. Mine, Y. Shimotsuma, M. Sakakura, M. Nakabayashi, K. Miura, K. Watanabe, Simultaneous Multi-Bit Recording in Fused Silica for Permanent Storage, *Japanese Journal of Applied Physics*, 2013, Vol. 52, No. 9S2, p. 09LA01.

[5] T. Watanabe, M. Shiozawa, E. Tatsu, S. Kimura, M. Umeda, T. Mine, Y. Shimotsuma, M. Sakakura, M. Nakabayashi, K. Miura, K. Watanabe, A Driveless Read System for Permanently Recorded Data in Fused Silica, *Japanese Journal of Applied Physics*, 2013, Vol. 52, No. 9S2, p. 09LA02.

[6] S. Zhou, C. Li, G. Yang, G. Bi, B. Xu, Z. Hong, K. Miura, K. Hirao, J. Qiu, Self-Limited Nanocrystallization-Mediated Activation of Semiconductor Nanocrystal in an Amorphous Solid, *Advanced Functional Materials*, 2013, pp. 1-8.

[7] A. Stone, H. Jain, V. Dierolf, M. Sakakura, Y. Shimotsuma, K. Miura, K. Hirao, Multilayer aberration correction for depth-independent three-dimensional crystal growth in glass by femtosecond laser heating, *Journal of The Optical Society of America B-Optical Physics*, 2013, Vol. 30, No. 5, pp. 1234-1240.

無機材料化学講座 応用固体化学分野

[1] T. Kawamoto, K. Fujita, I. Yamada, T. Matoba, S.J. Kim, P. Gao, X. Pan, S.D. Findlay, C. Tassel, H. Kageyama, A.J. Studer, J. Hester, T. Irifune, H. Akamatsu, K. Tanaka, Room-temperature polar ferromagnet ScFeO₃ transformed from a high-pressure orthorhombic perovskite phase, *Journal of the American Chemical Society*, 2014, Vol. 136, No. 43, pp. 15291-15299.

[2] S. Murai, Spectral and spatial tailoring of the luminescence by metallic nanoparticles, *Journal of The Ceramic Society of Japan*, 2014, Vol. 122, No. 1430, pp. 852-857.

[3] G. Bouilly, T. Yajima, T. Terashima, Y. Kususe, K. Fujita, C. Tassel, T. Yamamoto, K. Tanaka, Y. Kobayashi, H. Kageyama, Substrate-induced anion rearrangement in epitaxial thin films of LaSrCoO_{4-x}H_x, *CrystEngComm*, 2014, Vol. 16, No. 41, pp. 9669-9674.

[4] M. Nishijima, T. Ootani, Y. Kamimura, T. Sueki, S. Esaki, S. Murai, K. Fujita, K. Tanaka, K. Ohira, Y. Koyama, I. Tanaka, Accelerated discovery of cathode materials with prolonged cycle life for lithium-ion battery, *Nature Communications*, 2014, Vol. 5, 4553.

[5] T. Nakanishi, Y. Suzuki, Y. Doi, T. Seki, H. Koizumi, K. Fushimi, K. Fujita, Y. Hinatsu, H. Ito, K. Tanaka, Y. Hasegawa, Enhancement of Optical Faraday Effect of Nonanuclear Tb(III) Complexes, *Inorganic Chemistry*, 2014, Vol. 53, No. 14, pp. 7635-7641.

[6] Y. Nakatsuka, H. Akamatsu, S. Murai, K. Fujita, K. Tanaka, Superspin Glass Behavior of Amorphous FeO-SiO₂ Thin Films, *Japanese Journal of Applied Physics*, 2014, Vol. 53, No. 5, 05FB11.

[7] S. Yao, T. Sato, K. Kaneko, S. Murai, K. Fujita, K. Tanaka, Preparation of yttrium iron garnet thin films by mist chemical vapor deposition method and their magneto-optical properties, *Japanese Journal of Applied Physics*, 2014, Vol. 53, No. 5, 05FB17.

[8] H. Akamatsu, K. Fujita, T. Kuge, A. Sen Gupta, A. Togo, S. Lei, F. Xue, G. Stone, J.M. Rondinelli, L. Chen, I. Tanaka, V. Gopalan, K. Tanaka, Inversion symmetry breaking by oxygen octahedral rotations in the Ruddlesden-Popper NaRTiO₄ family, *Physical Review Letters*, 2014, Vol. 112, No. 18, 187602.

[9] Y. Kususe, H. Murakami, K. Fujita, I. Kakeya, M. Suzuki, S. Murai, K. Tanaka, Magnetic and transport properties of EuTiO₃ thin films doped with Nb, *Japanese Journal of Applied Physics*, 2014, Vol. 53, No. 5, 05FJ07.

[10] H. Hojo, K. Fujita, H. Ikeno, T. Matoba, T. Mizoguchi, I. Tanaka, T. Nakamura, Y. Takeda, T. Okane, K. Tanaka, Magnetic structures of FeTiO₃-Fe₂O₃ solid solution thin films studied by soft X-ray magnetic circular dichroism and ab initio multiplet calculations, *Applied Physics Letters*, 2014, Vol. 104, No. 11, 112408.

[11] Y. Zong, X. Meng, K. Fujita, K. Tanaka, Multi-color light emissions from mesoporous silica particles embedded with Ga₂O₃ nanocrystals, *Optical Materials Express*, 2014, Vol. 4, No. 3, pp. 518-524.

[12] 藤田 晃司, 村井 俊介, 材料戦略講座 先端機能性材料と光技術 (9) 貴金属を補完するプラズモニクス材料：ナノフォトニクス材料としての導電性セラミックス, セラミックス, 2014, Vol. 49, No. 6, pp. 508-514.

[13] 岡田 隆典, 田中 勝久, 田中 耕一郎, 材料戦略講座 先端機能性材料と光技術 (10) 光で操作するテラヘルツ機能性材料, セラミックス, 2014, Vol. 49, No. 7, pp. 600-603.

[14] 田中 勝久, 髙橋 雅英, 材料戦略講座 先端機能性材料と光技術 (1) 光と材料科学, セラミックス, 2014, Vol. 49, No. 1, pp. 58-61.

[15] 田中 勝久, 機能性ガラス (特集 先端セラミックス (2)), ペトロテック, 2014, Vol. 37, No. 3, pp. 165-168.

[16] S. Nakashima, K. Sugioka, K. Tanaka, K. Midorikawa, K. Mukai, Optical and magneto-optical properties in Fe-doped glasses irradiated with femtosecond laser, *Applied Physics B-Lasers and Optics*, 2013, Vol. 113, No. 3, pp. 451-456.

[17] Y. Akizuki, I. Yamada, K. Fujita, H. Akamatsu, T. Irifune, K. Tanaka,

AgCu₃V₄O₁₂: A novel perovskite containing mixed-valence silver ions, *Inorganic Chemistry*, 2013, Vol. 52, No. 24, pp. 13824-13826.

[18] Y. Akizuki, I. Yamada, K. Fujita, N. Nishiyama, T. Irifune, T. Yajima, H. Kageyama, K. Tanaka, A-site-ordered perovskite MnCu₃V₄O₁₂ with a 12-coordinated manganese(II), *Inorganic Chemistry*, 2013, Vol. 52, No. 19, pp. 11538-11543.

[19] H. Akamatsu, K. Fujita, Y. Nakatsuka, S. Mural, K. Tanaka, Magneto-optical properties of Eu²⁺-containing aluminoborosilicate glasses with ferromagnetic interactions, *Optical Materials*, 2013, Vol. 35, No. 11, pp. 1997-2000.

[20] X. Meng, A.V. Kildishev, K. Fujita, K. Tanaka, V.M. Shalaev, Wavelength-Tunable Spasing in the Visible, *Nano Letters*, 2013, Vol. 13, No. 9, pp. 4106-4112.

[21] X. Meng, K. Fujita, Y. Moriguchi, Y. Zong, K. Tanaka, Metal-Dielectric Core-Shell Nanoparticles: Advanced Plasmonic Architectures Towards Multiple Control of Random Lasers, *Advanced Optical Materials*, 2013, Vol. 1, No. 8, pp. 573-580.

[22] S. Murai, T. Matoba, C.T. Nelson, T. Komine, K. Fujita, X. Pan, K. Tanaka, Anisotropic growth of zinc oxide pillars on silver nanoparticles by oblique angle deposition, *Journal of The Ceramic Society of Japan*, 2013, Vol. 121, No. 1416, pp. 710-713.

[23] T. Kawamoto, K. Fujita, H. Akamatsu, T. Nakamura, T. Kinoshita, M. Mizumaki, N. Kawamura, M. Suzuki, Y. Kususe, S. Murai, K. Tanaka, Ferromagnetic amorphous oxides in the EuO-TiO₂ system studied by the Faraday effect in the visible region and the x-ray magnetic circular dichroism at the Eu M_{4,5} and L_{2,3} edges, *Physical Review B*, 2013, Vol. 88, No. 2, 024405.

[24] X. Meng, K. Fujita, Y. Moriguchi, Y. Zong, K. Tanaka, Metal-dielectric core-shell nanoparticles: Advanced plasmonic architectures towards multiple control of random laser, *Advanced Optical Materials*, 2013, Vol. 1, pp. 573-580.

[25] G. Lozano, D.J. Louwers, S.R.K. Rodriguez, S. Murai, O.T.A. Jansen, M.A. Verschuuren, J.G. Rivas, Plasmonics for solid-state lighting: enhanced excitation and directional emission of highly efficient light sources, *Light-Science & Applications*, 2013, Vol. 2, No. 5, p. e66.

[26] K. Tanaka, K. Fujita, Y. Maruyama, Y. Kususe, H. Murakami, H. Akamatsu, Y. Zong, S. Murai, Ferromagnetism induced by lattice volume expansion and amorphization in EuTiO₃ thin films, *Journal of Materials Research*, 2013, Vol. 28, No. 8, pp. 1031-1041.

[27] H. Akamatsu, Y. Kumagai, F. Oba, K. Fujita, K. Tanaka, I. Tanaka, Strong spin-lattice coupling through oxygen octahedral rotation in divalent europium perovskites, *Advanced Functional Materials*, 2013, Vol. 23, No. 15, pp. 1864-1872.

[28] Y. Moriguchi, X. Meng, K. Fujita, S. Murai, K. Tanaka, Synthesis of gold-silica core-shell nanoparticles with tunable shell thickness, *Funtai Oyobi Fummatsu Yakin/Journal of The Japan Society of Powder and Powder Metallurgy*, 2013, Vol. 60, No. 2, pp. 49-54.

[29] A. Winterstein, H. Akamatsu, D. Moencke, K. Tanaka, M.A. Schmidt, L. Wondraczek, Magnetic and magneto-optical quenching in (Mn2+, Sr2+) metaphosphate glasses, *Optical Materials Express*, 2013, Vol. 3, No. 2, pp. 184-193.

[30] X. Meng, U. Guler, A.V. Kildishev, K. Fujita, K. Tanaka, V.M. Shalaev, Unidirectional spaser in symmetry-broken plasmonic core-shell nanocavity, *Scientific Reports*, 2013, Vol. 3, 1241.

[31] S. Murai, M.A. Verschuuren, G. Lozano, G. Pirruccio, S.R.K. Rodriguez, J.G. Rivas, Hybrid plasmonic-photonic modes in diffractive arrays of nanoparticles coupled to light-emitting optical waveguides, *Optics Express*, 2013, Vol. 21, No. 4, pp. 4250-4262.

有機材料化学講座 有機反応化学分野

[1] M. Sada, M. Uchiyama, S. Matsubara, Design of Molecular Transformations Based on the Concerted Function of Two Zinc Atoms in Bis(iodozincio)methane, *Synlett*, 2014, Vol. 25, No. 20, pp. 2831-2841.

[2] N. Yoneda, A. Hotta, K. Asano, S. Matsubara, Asymmetric Oxy-Michael Addition to gamma-Hydroxy-alpha,beta-Unsaturated Carbonyls Using Formaldehyde as an Oxygen-Centered Nucleophile, *Organic Letters*, 2014, Vol. 16, No. 23, pp. 6264-6266.

[3] M. Hasegawa, T. Kurahashi, S. Matsubara, Rhodium(III) Porphyrin-catalyzed Reactions via Activation of Alkynes, *Chemistry Letters*, 2014, Vol. 43, No. 12, pp. 1937-1939.

[4] T. Inami, T. Kurahashi, S. Matsubara, Nickel-Catalyzed Reaction of Thioisatins and Alkynes: A Facile Synthesis of Thiochromones, *Organic Letters*, 2014, Vol. 16, No. 21, pp. 5660-5662.

[5] T. Kurahashi, Ni-Catalyzed C-C Bond Formation with alpha,beta-Unsaturated Carbonyl Compounds and Alkynes, *Bulletin of The Chemical Society of Japan*, 2014, Vol. 87, No. 10, pp. 1058-1070.

[6] R. Tombe, T. Iwamoto, T. Kurahashi, S. Matsubara, Regio- and Diastereoselective Nickel-Catalyzed Cycloaddition of Activated Cyclopropanes with Allenes, *Synlett*, 2014, Vol. 25, No. 16, pp. 2281-2284.

[7] T. Shiba, D. Kuroda, T. Kurahashi, S. Matsubara, Cobalt Porphyrin Catalyzed [3+2] Cy-

cloaddition of Cyclopropanes and Carbonyl Compounds, *Synlett*, 2014, Vol. 25, No. 14, pp. 2005-2008.

[8] R. Haraguchi, S. Matsubara, Preparation of the Zinc Enolate Equivalent of Amides by Zinciomethylation of Isocyanates: Catalytic Asymmetric Reformatsky-Type Reaction, *Synthesis-Stuttgart*, 2014, Vol. 46, No. 17, pp. 2272-2282.

[9] M. Sai, S. Matsubara, Lithium(1+)-Catalyzed Nazarov-Type Cyclization of 1-Arylbuta-2,3-dien-1-ols: Synthesis of Benzofulvene Derivatives, *Synlett*, 2014, Vol. 25, No. 14, pp. 2067-2071.

[10] 浅野 圭佑, フッ素原子一つで選択性が変わる, 化学, 2014, Vol. 69, No. 9, pp. 64-65.

[11] R. Nishibayashi, T. Kurahashi, S. Matsubara, Palladium Porphyrin Catalyzed Hydrogenation of Alkynes: Stereoselective Synthesis of cis-Alkenes, *Synlett*, 2014, Vol. 25, No. 9, pp. 1287-1290.

[12] K. Nakai, Y. Yoshida, T. Kurahashi, S. Matsubara, Nickel-Catalyzed Redox-Economical Coupling of Alcohols and Alkynes to Form Allylic Alcohols, *Journal of The American Chemical Society*, 2014, Vol. 136, No. 22, pp. 7797-7800.

[13] 松原 誠二郎, 環状化合物合成の新しい工夫, 現代化学, 2014, No. 519, pp. 46-49.

[14] T. Terada, T. Kurahashi, S. Matsubara, Diastereoselective Construction of Trans-Fused Octalone Framework via Ruthenium-Porphyrin-Catalyzed Cycloaddition, *Organic Letters*, 2014, Vol. 16, No. 10, pp. 2594-2597.

[15] Y. Fukata, T. Okamura, K. Asano, S. Matsubara, Asymmetric Isomerization of omega-Hydroxy-alpha,beta-Unsaturated Thioesters into beta-Mercaptolactones by a Bifunctional Aminothiourea Catalyst, *Organic Letters*, 2014, Vol. 16, No. 8, pp. 2184-2187.

[16] Y. Fukata, R. Miyaji, T. Okamura, K. Asano, S. Matsubara, Asymmetric Cycloetherifications by Bifunctional Aminothiourea Catalysts: The Importance of Hydrogen Bonding, *Synthesis-Stuttgart*, 2014, Vol. 45, No. 12, pp. 1627-1634.

[17] 浅野 圭佑, 有機分子触媒による軸不斉化合物のエナンチオ選択的合成, 有機合成化学協会誌, 2014, Vol. 72, No. 2, pp. 185-186.

[18] R. Miyaji, K. Asano, S. Matsubara, Asymmetric chroman synthesis via an intramolecular oxy-Michael addition by bifunctional organocatalysts, *Organic & Biomolecular Chemistry*, 2014, Vol. 12, No. 1, pp. 119-122.

[19] 倉橋 拓也, ポルフィリン金属触媒を用いた効率的分子変換法による医薬品合成, 上原記念生命科学財団研究報告集, 2014, Vol. 28, pp. 1-4.

[20] T. Ozawa, T. Kurahashi, S. Matsubara, [3+2] Cycloaddition of Aziridines and Alkenes Catalyzed by a Cationic Manganese Porphyrin, *Synlett*, 2013, Vol. 24, No. 20, pp. 2763-2767.

[21] W. Guan, S. Sakaki, T. Kurahashi, S. Matsubara, Theoretical Mechanistic Study of Novel Ni(0)-Catalyzed [6-2+2] Cycloaddition Reactions of Isatoic Anhydrides with Alkynes: Origin of Facile Decarboxylation, *Organometallics*, 2013, Vol. 32, No. 24, pp. 7564-7574.

[22] M. Hasegawa, T. Kurahashi, S. Matsubara, Dicationic platinum porphyrin catalyzed cycloisomerization of enynes, *Tetrahedron Letters*, 2013, Vol. 54, No. 46, pp. 6196-6198.

[23] S. Teranishi, T. Kurahashi, S. Matsubara, Cationic Iron(III) Porphyrin Catalyzed Dehydrative Friedel-Crafts Reaction of Alcohols with Arenes, *Synlett*, 2013, Vol. 24, No. 16, pp. 2148-2152.

[24] R. Wakabayashi, T. Kurahashi, S. Matsubara, Synthesis of Phenanthrenes by Cationic Chromium(III) Porphyrin-Catalyzed Dehydration Cycloaromatization, *Synlett*, 2013, Vol. 24, No. 17, pp. 2297-2301.

[25] T. Kuwano, T. Kurahashi, S. Matsubara, Iron Corrole-catalyzed [4+2] Cycloaddition of Dienes and Aldehydes, *Chemistry Letters*, 2013, Vol. 42, No. 10, pp. 1241-1243.

[26] T. Shiba, T. Kurahashi, S. Matsubara, Nickel-Catalyzed Decarbonylative Alkylidenation of Phthalimides with Trimethylsilyl-Substituted Alkynes, *Journal of The American Chemical Society*, 2013, Vol. 135, No. 37, pp. 13636-13639.

[27] Y. Fukata, K. Asano, S. Matsubara, Procedure-Controlled Enantioselectivity Switch in Organocatalytic 2-Oxazolidinone Synthesis, *Journal of The American Chemical Society*, 2013, Vol. 135, No. 33, pp. 12160-12163.

[28] R. Haraguchi, S. Matsubara, Catalytic Asymmetric Aldol-Type Reaction of Zinc Enolate Equivalent of Amides, *Organic Letters*, 2013, Vol. 15, No. 13, pp. 3378-3380.

[29] R. Miyaji, K. Asano, S. Matsubara, Asymmetric Indoline Synthesis via Intramolecular Aza-Michael Addition Mediated by Bifunctional Organocatalysts, *Organic Letters*, 2013, Vol. 15, No. 14, pp. 3658-3661.

[30] H. Katayama, S. Matsubara, Copper-catalyzed 1,4-Addition Reaction of Grignard Reagent to Enones Using Microflow System, *Chemistry Letters*, 2013, Vol. 42, No. 5, pp. 471-472.

[31] Y. Fukata, K. Asano, S. Matsubara, Asymmetric Synthesis of 1,3-Oxazolidines via Intramolecular Aza-Michael Addition by Bifunctional Organocatalysts, *Chemistry Letters*, 2013, Vol. 42, No. 4, pp. 355-357.

[32] R. Tombe, T. Kurahashi, S. Matsubara, Nickel-Catalyzed Cycloaddition of Vinylcyclopropanes to Imines, *Organic Letters*, 2013, Vol. 15, No. 8, pp. 1791-1793.

[33] K. Nakai, T. Kurahashi, S. Matsubara, Synthesis of Quinolones by Nickel-Catalyzed Cycloaddition

via Elimination of Nitrile, *Organic Letters*, 2013, Vol. 15, No. 4, pp. 856-859.

有機材料化学講座 天然物有機化学分野

[1] K. Semba, N. Bessho, T. Fujihara, J. Terao, Y. Tsuji, Copper-Catalyzed Borylative Allyl-Allyl Coupling Reaction, *Angewandte Chemie International Edition*, 2014, Vol. 53, No. 34, pp. 9007-9011.

[2] K. Okura, R. Tamura, K. Shigehara, E. Masai, M. Nakamura, Y. Otsuka, Y. Katayama, Y. Nakao, Synthesis of Polysubstituted Benzenes from 2-Pyrone-4,6-dicarboxylic Acid, *Chemistry Letters*, 2014, Vol. 43, No. 8, pp. 1349-1351.

[3] K. Semba, Y. Nakao, Arylboration of Alkenes by Cooperative Palladium/Copper Catalysis, *Journal of The American Chemical Society*, 2014, Vol. 136, No. 21, pp. 7567-7570.

[4] Y. Miyazaki, N. Ohta, K. Sernba, Y. Nakao, Intramolecular Aminocyanation of Alkenes by Cooperative Palladium/Boron Catalysis, *Journal of The American Chemical Society*, 2014, Vol. 136, No. 10, pp. 3732-3735.

[5] T. Fujihara, K. Semba, J. Terao, Y. Tsuji, Regioselective transformation of alkynes catalyzed by a copper hydride or boryl copper species, *Catalysis Science & Technology*, 2014, Vol. 4, No. 6, p. 1699.

[6] K. Semba, T. Fujihara, J. Terao, Y. Tsuji, Copper-Catalyzed Borylation of α-Alkoxy Allenes with Bis(pinacolato)diboron: Efficient Synthesis of 2-Boryl 1,3-Butadienes, *Angewandte Chemie International Edition*, 2013, Vol. 52, No. 47, pp. 12400-12403.

[7] K. Shimizu, Y. Minami, Y. Nakao, K. Ohya, H. Ikehira, T. Hiyama, Polyarylene Synthesis by Cross-Coupling with HOMSi Reagents, *Chemistry Letters*, 2013, Vol. 42, No. 1, pp. 45-47.

[8] Y. Minami, H. Yoshiyasu, Y. Nakao, T. Hiyama, Highly Chemoselective Carbon-Carbon sigma-Bond Activation: Nickel/Lewis Acid Catalyzed Polyfluoroarylcyanation of Alkynes, *Angewandte Chemie International Edition*, 2013, Vol. 52, No. 3, pp. 883-887.

[9] 中尾 佳亮, 不活性結合の触媒的変換による医薬品合成, 上原記念生命科学財団研究報告集, 2013, Vol. 27, pp. 1-3.

[10] 中尾 佳亮, 不飽和化合物のアルコキシシアノ化およびアミノシアノ化反応の開発, 旭硝子財団助成研究成果報告, 2013, pp. 1-3.

有機材料化学講座 材料解析化学分野

[1] 北川 文彦, 甲斐 美奈子, 大塚 浩二, アルカリ金属イオンおよびアンモニウムイオンの蛍光センシングのための量子ドットの作製, 分析化学, 2014, Vol. 63, No. 12, pp. 943-949.

[2] F. KITAGAWA, M. NOJIRI, K. SUEYOSHI, K. OTSUKA, Sensitivity Enhancement by Sweeping via Borate Complexation in Capillary Electrophoretic Analysis of Glycoproteins, *Chromatography*, 2014, Vol. 35, No. 3, pp. 125-129.

[3] T. KUBO, M. OKETANI, Y. TOMINAGA, T. NAITO, K. OTSUKA, Tunable Molecular Sieving in Gel Electrophoresis Using a Poly(ethylene glycol)-Based Hydrogel, *Chromatography*, 2014, Vol. 35, No. 2, pp. 81-86.

[4] T. Kawai, M. Watanabe, K. Uetani, Y. Fukushima, K. Sueyoshi, T. Kubo, F. Kitagawa, H. Yano, K. Otsuka, Hydrophilic interaction electrokinetic chromatography using bio-based nanofillers, *Electrophoresis*, 2014, Vol. 35, No. 15, pp. 2229-2236.

[5] Y. Fukushima, T. Naito, K. Sueyoshi, T. Kubo, F. Kitagawa, K. Otsuka, Quantitative Ligand Immobilization Using Alginate Hydrogel Formed in a Capillary: Application for Online Affinity Concentration, *Analytical Chemistry*, 2014, Vol. 86, No. 12, pp. 5977-5982.

[6] F. Kitagawa, K. Otsuka, Recent applications of on-line sample preconcentration techniques in capillary electrophoresis, *Journal of Chromatography A*, 2014, Vol. 1335, pp. 43-60.

[7] T. Kubo, J. Im, X. Wang, J.E. Whitten, K. Otsuka, M. Yan, Solvent induced nanostructure formation in polymer thin films: The impact of oxidation and solvent, *Colloids and Surfaces A-Physicochemical and Engineering Aspects*, 2014, Vol. 444, pp. 217-225.

[8] T. Kubo, K. Kuroda, Y. Tominaga, T. Naito, K. Sueyoshi, K. Hosoya, K. Otsuka, Effective determination of a pharmaceutical, sulpiride, in river water by online SPE-LC—MS using a molecularly imprinted polymer as a preconcentration medium, *Journal of Pharmaceutical and Biomedical Analysis*, 2014, Vol. 89, pp. 111-117.

[9] T. Kubo, Y. Murakami, Y. Tominaga, T. Naito, K. Sueyoshi, M. Yan, K. Otsuka, Development of a C60-fullerene bonded open-tubular capillary using a photo/thermal active agent for liquid chromatographic separations by π—π interactions, *Journal of Chromatography A*, 2014, Vol. 1323, pp. 174-178.

[10] T. Kubo, K. Hosoya, K. Otsuka, Molecularly Imprinted Adsorbents for Selective Separation and/or Concentration of Environmental Pollutants, *Analytical Sciences*, 2014, Vol. 30, No. 1, pp. 97-104.

[11] A. Kobayashi, T. Kubo, T. Sato, Y. Kitahara, S. Amita, M. Mori, S. Suzuki, K. Otsuka, K. Hosoya, Efficient total analyses for bromine type flame retardants by simple NICI-GC/MS, *Analytical Methods*, 2013, Vol. 5, No. 4, pp. 866-873.

[12] F. Kitagawa, T. Kawai, K. Otsuka, On-line Sample Preconcentration by Large-volume Sample Stacking with an Electroosmotic Flow Pump (LVSEP) in Microscale Electrophoresis, *Analytical Sciences*, 2013, Vol. 29, No. 12, pp. 1129-1139.

[13] T. Kubo, T. Tanigawa, Y. Tominaga, K. Hosoya, K. Otsuka, Rapid separations by LC using ion-exchange media based on spongy monoliths, *Journal of Separation Science*, 2013, Vol. 36, No. 17, pp. 2813-2818.

[14] T. Kawai, M. Ueda, Y. Fukushima, K. Sueyoshi, F. Kitagawa, K. Otsuka, Toward 10000-fold sensitivity improvement of oligosaccharides in capillary electrophoresis using large-volume sample stacking with an electroosmotic flow pump combined with field-amplified sample injection, *Electrophoresis*, 2013, Vol. 34, No. 16, pp. 2303-2310.

[15] Y. Tominaga, T. Kubo, K. Sueyoshi, K. Hosoya, K. Otsuka, Synthesis of poly(ethylene glycol)-based hydrogels and their swelling/shrinking response to molecular recognition, *Journal of Polymer Science Part A-Polymer Chemistry*, 2013, Vol. 51, No. 15, pp. 3153-3158.

[16] T. Kubo, K. Yasuda, Y. Tominaga, K. Otsuka, K. Hosoya, Antibacterial activities effectuated by co-continuous epoxy-based polymer materials, *Colloids and Surfaces B-Biointerfaces*, 2013, Vol. 107, pp. 53-58.

[17] K. Sueyoshi, Y. Hori, K. Otsuka, Inner surface modification of poly(dimethylsiloxane) microchannel with chitin for electrophoretic analysis of proteins, *Microfluidics and Nanofluidics*, 2013, Vol. 14, No. 6, pp. 933-941.

[18] K. Nii, K. Sueyoshi, K. Otsuka, M. Takai, Zone electrophoresis of proteins in poly(dimethylsiloxane) (PDMS) microchip coated with physically adsorbed amphiphilic phospholipid polymer, *Microfluidics and Nanofluidics*, 2013, Vol. 14, No. 6, pp. 951-959.

[19] T. Kubo, K. Yasuda, Y. Tominaga, K. Hosoya, K. Otsuka, Hybridization of a Macroporous Sponge and Spherical Microporous Adsorbents for High Throughput Separation of Ionic Solutes, *Analytical Sciences*, 2013, Vol. 29, No. 4, pp. 417-421.

[20] T. NAITO, A. YATSUHASHI, N. KAJI, T. ANDO, K. SATO, H. MORIYA, H. KITANO, T. YASUI, M. TOKESHI, Y. BABA, Parallel Real-Time PCR on a Chip for Genetic Tug-of-War (gTOW) Method, *Analytical Sciences*, 2013, Vol. 29, No. 3, pp. 367-371.

[21] Y. Watabe, T. Kubo, T. Tanigawa, Y. Hayakawa, K. Otsuka, K. Hosoya, Trace level determination of polycyclic aromatic hydrocarbons in river water with automated pretreatment HPLC, *Journal of Separation Science*, 2013, Vol. 36, No. 6, pp. 1128-1134.

[22] T. Naito, R. Arayanarakool, S. Le Gac, T. Yasui, N. Kaji, M. Tokeshi, A. van den Berg, Y. Baba, Temperature-driven self-actuated microchamber sealing system for highly integrated microfluidic devices, *Lab on A Chip*, 2013, Vol. 13, No. 3, pp. 452-458.

[23] F. Kitagawa, H. Sudaki, K. Sueyoshi, K. Otsuka, Open-tubular Electrochromatographic Chiral Separation of Amino Acids Using an Organic Nanocrystals Immobilized Capillary, *Analytical Sciences*, 2013, Vol. 29, No. 1, pp. 107-112.

[24] K. Sueyoshi, F. Kitagawa, K. Otsuka, Effect of a Low-conductivity Zone on Field-amplified Sample Stacking in Microchip Micellar Electrokinetic Chromatography, *Analytical Sciences*, 2013, Vol. 29, No. 1, pp. 133-138.

高分子材料化学講座 高分子機能物性分野

[1] K. Urayama, T. Saeki, S. Cong, S. Uratani, T. Takigawa, M. Murai, D. Suzuki, A simple feature of yielding behavior of highly dense suspensions of soft micro-hydrogel particles, *Soft Matter*, 2014, Vol. 10, No. 47, pp. 9486-9495.

[2] Y. Kondo, K. Urayama, M. Kidowaki, K. Mayumi, T. Takigawa, K. Ito, Applicability of a particularly simple model to nonlinear elasticity of slide-ring gels with movable cross-links as revealed by unequal biaxial deformation, *Journal of Chemical Physics*, 2014, Vol. 141, No. 13, p. 134906.

[3] J. Horinaka, Y. Urabayashi, X. Wang, T. Takigawa, Molecular weight between entanglements for K- and i-carrageenans in an ionic liquid, *International Journal of Biological Macromolecules*, 2014, Vol. 69, pp. 416-419.

[4] Y. Fuchigami, T. Takigawa, K. Urayama, Electrical Actuation of Cholesteric Liquid Crystal Gels, *ACS Macro Letters*, 2014, Vol. 3, No. 8, pp. 813-818.

[5] J. Horinaka, Y. Urabayashi, T. Takigawa, M. Ohmae, Entanglement network of chitin and chitosan in ionic liquid solutions, *Journal of Applied Polymer Science*, 2013, Vol. 130, No. 4, pp. 2439-2443.

[6] C. Katsuno, A. Konda, K. Urayama, T. Takigawa, M. Kidowaki, K. Ito, Pressure-Responsive Polymer Membranes of Slide-Ring Gels with Movable Cross-Links, *Advanced Materials*, 2013, Vol. 25, No. 33, pp. 4636-4640.

[7] Y. Sawa, K. Urayama, T. Takigawa, V. Gimenez-Pinto, B.L. Mbanga, F. Ye, J.V. Selinger, R.L.B. Selinger, Shape and chirality transitions in off-axis twist nematic elastomer ribbons, *Physical Review E*, 2013, Vol. 88, No. 2, p. 022502.

[8] K. Urayama, Switching shapes of nematic elastomers with various director configurations, *Reactive & Functional Polymers*, 2013, Vol. 73, No. 7, pp. 885-890.

[9] H. Higaki, T. Takigawa, K. Urayama, Nonuniform and Uniform Deformations of Stretched Nematic Elastomers, *Macromolecules*, 2013, Vol. 46, No. 13, pp. 5223-5231.

[10] Horinaka J., Yasuda R., Takigawa T., Some Remarks on Rheological Properties of Concentrated Solutions of Galactomannan, *Food Hydrocolloids*, 2013, Vol. 30, pp. 130-133.

[11] J. Horinaka, R. Yasuda, T. Takigawa, Some remarks on rheological properties of concentrated solutions of galactomannans, *Food Hydrocolloids*, 2013, Vol. 30, No. 1, pp. 130-133.

[12] 渕上 雄太, 瀧川 敏算, 浦山 健治, PA09 コレステリック液晶ゲルの電場応答特性 (ソフトマター, ポスター発表,2013 年日本液晶学会討論会), 日本液晶学会討論会講演予稿集, 2013, No. 2013, pp. PA09-1.

高分子材料化学講座 生体材料化学分野

[1] K. Kurihara, M. Ueda, I. Hara, E. Hara, K. Sano, A. Makino, E. Ozeki, F. Yamamoto, H. Saji, K. Togashi, S. Kimura, Chemotherapy and Radionuclide Therapy Using 90Y-DOTA-Lactosome after Percutaneous Ethanol Injection Therapy Compared with Using Doxorubicin and Pegylated liposomal doxorubicin, *European Journal of Nuclear Medicine and Molecular Imaging*, 2014, Vol. 41, pp. S318-S318.

[2] E. Hara, M. Ueda, A. Makino, I. Hara, E. Ozeki, S. Kimura, Factors Influencing in Vivo Disposition of Polymeric Micelles on Multiple Administrations, *ACS Medicinal Chemistry Letters*, 2014, Vol. 5, No. 8, pp. 873-877.

[3] E. Hara, M. Ueda, C.J. Kim, A. Makino, I. Hara, E. Ozeki, S. Kimura, Suppressive immune response of poly-(sarcosine) chains in peptide-nanosheets in contrast to polymeric micelles, *Journal of Peptide Science*, 2014, Vol. 20, No. 7, pp. 570-577.

[4] A. Uesaka, M. Ueda, T. Imai, J. Sugiyama, S. Kimura, Facile and Precise Formation of Unsymmetric Vesicles Using the Helix Dipole, Stereocomplex, and Steric Effects of Peptides, *Langmuir*, 2014, Vol. 30, No. 15, pp. 4273-4279.

[5] A. Uesaka, M. Ueda, A. Makino, T. Imai, J. Sugiyama, S. Kimura, Morphology Control between Twisted Ribbon, Helical Ribbon, and Nanotube Self-Assemblies with His-Containing Helical Peptides in Response to pH Change, *Langmuir*, 2014, Vol. 30, No. 4, pp. 1022-1028.

[6] A. Makino, E. Hara, I. Hara, E. Ozeki, S. Kimura, Size Control of Core-Shell-type Polymeric Micelle with a Nanometer Precision, *Langmuir*, 2014, Vol. 30, No. 2, pp. 669-674.

[7] R. Moritoh, T. Morita, S. Kimura, Photocurrent Generation by Helical Peptide Monolayers Integrating Light Harvesting and Charge-Transport Functions, *Biopolymers*, 2013, Vol. 100, No. 1, pp. 1-13.

[8] H. Uji, T. Morita, S. Kimura, Molecular direction dependence of single-molecule conductance of a helical peptide in molecular junction, *Physical Chemistry Chemical Physics*, 2013, Vol. 15, No. 3, pp. 757-760.

[9] M. Ohmae, Y. Fujita, J. Takada, S. Kimura, Synthesis of a Heparan Sulfate Disaccharide Fluoride for Detection of Heparanase Activity, *Chemistry Letters*, 2013, Vol. 42, No. 10, pp. 1168-1169.

[10] M. Ohmae, Y. Fujita, J. Takada, S. Kimura, Development of Novel Inhibitors Specific for Human Heparanase-1, *Chemistry Letters*, 2013, Vol. 42, No. 8, pp. 797-798.

[11] M. Ohmae, S. Koide, Y. Fujita, S. Kimura, Enzymatic polymerization to an alternating N-L-cysteinyl chitin derivative: a novel class of multivalent glycopeptidomimetics, *Carbohydrate Research*, 2013, Vol. 377, pp. 28-34.

[12] E. Hara, A. Makino, K. Kurihara, M. Sugai, A. Shimizu, I. Hara, E. Ozeki, S. Kimura, =T("Evasion from accelerated blood clearance of nanocarrier named as "Lactosome" induced by excessive administration of Lactosome"), *Biochimica Et Biophysica Acta-General Subjects*, 2013, Vol. 1830, No. 8, pp. 4046-4052.

[13] M. Ueda, A. Makino, T. Imai, J. Sugiyama, S. Kimura, Versatile peptide rafts for conjugate morphologies by self-assembling amphiphilic helical peptides, *Polymer Journal*, 2013, Vol. 45, No. 5, pp. 509-515.

[14] Y. Ishihara, S. Kimura, Four-Peptide-Nanotube Bundle Formation by Self-Assembling of Cyclic Tetra-beta-Peptide Using G-Quartet Motif, *Biopolymers*, 2013, Vol. 100, No. 2, pp. 141-147.

[15] F. Yamamoto, R. Yamahara, A. Makino, K. Kurihara, H. Tsukada, E. Hara, I. Hara, S. Kizaka-Kondoh, Y. Ohkubo, E. Ozeki, S. Kimura, Radiosynthesis and initial evaluation of F-18 labeled nanocarrier composed of poly(L-lactic acid)-block-poly(sarcosine) amphiphilic polydepsipeptide, *Nuclear Medicine and Biology*, 2013, Vol. 40, No. 3, pp. 387-394.

ナノマテリアル講座

[1] T. Xia, H. Shen, G. Chang, Y. Zhang, H. Shu, M. Oyama, Y. He, Facile and Rapid Synthesis of Ultrafine PtPd Bimetallic Nanoparticles and Their High Performance toward Methanol Electrooxidation, *Journal of Nanomaterials*, 2014, Vol. 2014, pp. 496249-7.

[2] X. Chen, X. Tian, B. Su, Z. Huang, X. Chen, M. Oyama, Au nanoparticles on citrate-functionalized graphene nanosheets with a high peroxidase-like performance, *Dalton Transactions*, 2014, Vol. 43, No. 20, pp. 7449-7454.

[3] X. Chen, Z. Cai, X. Chen, M. Oyama, Green synthesis of graphene-PtPd alloy nanoparticles with high electrocatalytic performance for ethanol oxidation, *Journal of Materials Chemistry A*, 2014, Vol. 2, No. 2, pp. 315-320.

[4] X. Chen, Z. Cai, X. Chen, M. Oyama, AuPd bimetallic nanoparticles decorated on graphene nanosheets: their green synthesis, growth mechanism and high catalytic ability in 4-nitrophenol reduction, *Journal of Materials Chemistry A*, 2014, Vol. 2, No. 16, pp. 5668-5674.

[5] H. Katsumi, K. Fukui, K. Sato, S. Maruyama, S. Yamashita, E. Mizumoto, K. Kusamori, M.

Oyama, M. Sano, T. Sakane, A. Yamamoto, Pharmacokinetics and preventive effects of platinum nanoparticles as reactive oxygen species scavengers on hepatic ischemia/reperfusion injury in mice, *Metallomics*, 2014, Vol. 6, No. 5, pp. 1050-1056.

[6] I. Fuks-Janczarek, K. Kobayashi, X.M. Chen, M. Oyama, A. Wojciechowski, M. Pepczynska, M. Chrunik, A. Majchrowski, L.R. Jaroszewicz, S. Klosowicz, I.V. Kityk, Nonlinear optical features of ¥delta-BiB_3O_6/PVA polymer nanocomposites deposited on aluminum-doped zinc oxide substrates containing Ag nanoparticles, *Physica E-Low-Dimensional Systems & Nanostructures*, 2014, Vol. 64, pp. 1-6.

[7] A.H. Reshak, S.T. Tan, F.Y. Naumar, A.A. Umar, M. Oyama, Z.A. Alahmed, H. Kamarudin, I.V. Kityk, Photoinduced Nonlinear Optical Second-Order Optical Effects in the Ag-ZnO Nanorods, *International Journal of Electrochemical Science*, 2014, Vol. 9, No. 11, pp. 6352-6358.

[8] A.A. Umar, E. Rahmi, A. Balouch, M.Y.A. Rahman, M.M. Salleh, M. Oyama, Highly-reactive AgPt nanofern composed of ¥001¥-faceted nanopyramidal spikes for enhanced heterogeneous photocatalysis application, *Journal of Materials Chemistry A*, 2014, Vol. 2, No. 41, pp. 17655-17665.

[9] S.K.M. Saad, A.A. Umar, Hong Q.N., C.F. Dee, M.M. Salleh, M. Oyama, Porous (001)-faceted Zn-doped anatase TiO_2 nanowalls and their heterogeneous photocatalytic characterization, *RSC Advances*, 2014, Vol. 4, No. 100, pp. 57054-57063.

[10] X. Chen, B. Su, Z. Cai, X. Chen, M. Oyama, PtPd nanodendrites supported on graphene nanosheets: A peroxidase-like catalyst for colorimetric detection of H_2O_2, *Sensors and Actuators B-Chemical*, 2014, Vol. 201, pp. 286-292.

[11] Y. Zhang, G. Chang, H. Shu, M. Oyama, X. Liu, Y. He, Synthesis of Pt-Pd bimetallic nanoparticles anchored on graphene for highly active methanol electro-oxidation, *Journal of Power Sources*, 2014, Vol. 262, pp. 279-285.

[12] S.T. Tan, A.A. Umar, A. Balouch, S. Nafisah, M. Yahaya, C.C. Yap, M.M. Salleh, I.V. Kityk, M. Oyama, Ag-ZnO Nanoreactor Grown on FTO Substrate Exhibiting High Heterogeneous Photocatalytic Efficiency, *ACS Combinatorial Science*, 2014, Vol. 16, No. 7, pp. 314-320.

[13] S.T. Tan, N.S. AlZayed, G. Lakshminarayana, F. Naumar, A.A. Umar, M. Oyama, G. Myronchuk, I.V. Kityk, Laser stimulated electrooptics in the Ag-ZnO nanorods, *Physica E-Low-Dimensional Systems & Nanostructures*, 2014, Vol. 61, pp. 23-27.

[14] X. Chen, G. Wu, Z. Cai, M. Oyama, X. Chen, Advances in enzyme-free electrochemical sensors for hydrogen peroxide, glucose, and uric acid, *Microchimica Acta*, 2014, Vol. 181, No. 7-8, pp. 689-705.

[15] X. Chen, X. Tian, L. Zhao, Z. Huang, M. Oyama, Nonenzymatic sensing of glucose at neutral pH values using a glassy carbon electrode modified with graphene nanosheets and Pt-Pd bimetallic nanocubes, *Microchimica Acta*, 2014, Vol. 181, No. 7-8, pp. 783-789.

[16] B. Su, Y. Jia, S. Zhang, X. Chen, M. Oyama, Synthesis of Palladium Nanoparticles on Citrate-functionalized Graphene Oxide with High Catalytic Activity for 4-Nitrophenol Reduction, *Chemistry Letters*, 2014, Vol. 43, No. 6, pp. 919-921.

[17] M. Oyama, X. Chen, X. Chen, Recent Nanoarchitectures in Metal Nanoparticle-Graphene Nanocomposite Modified Electrodes for Electroanalysis, *Analytical Sciences*, 2014, Vol. 30, No. 5, pp. 529-538.

[18] Rosy, S.K. Yadav, B. Agrawal, M. Oyama, R.N. Goyal, Graphene modified Palladium sensor for electrochemical analysis of norepinephrine in pharmaceuticals and biological fluids, *Electrochimica Acta*, 2014, Vol. 125, pp. 622-629.

[19] S.T. Tan, A.A. Umar, A. Balouch, M. Yahaya, C.C. Yap, M.M. Salleh, M. Oyama, ZnO nanocubes with (101) basal plane photocatalyst prepared via a low-frequency ultrasonic assisted hydrolysis process, *Ultrasonics Sonochemistry*, 2014, Vol. 21, No. 2, pp. 754-760.

[20] A.A. Umar, S. Nafisah, S.K.M. Saad, S.T. Tan, A. Balouch, M.M. Salleh, M. Oyama, Poriferous microtablet of anatase TiO_2 growth on an ITO surface for high-efficiency dye-sensitized solar cells, *Solar Energy Materials and Solar Cells*, 2014, Vol. 122, pp. 174-182.

[21] I.V. Kityk, X. Chen, M. Oyama, E. Gondek, P. Armatys, P. Karasinski, Laser stimulated light reflection reduction for silver nanoparticle-attached aluminum-doped zinc oxide substrate, *Physica E-Low-Dimensional Systems & Nanostructures*, 2014, Vol. 56, pp. 283-287.

[22] I.V. Kityk, J. Ebothe, N. Bercu, M.A. Aziz, M. Oyama, Role of Au nanoparticle aggregation in laser induced anisotropy of ITO transparent substrates, *Journal of Alloys and Compounds*, 2014, Vol. 585, pp. 393-397.

[23] M.A. Aziz, J. Kim, M. Oyama, Preparation of monodispersed carboxylate-functionalized gold nanoparticles using pamoic acid as a reducing and capping reagent, *Gold Bulletin*, 2014, Vol. 47, No. 1-2, pp. 127-132.

[24] X. Chen, Z. Cai, X. Chen, M. Oyama, Synthesis of bimetallic PtPd nanocubes on graphene with N,N-dimethylformamide and their direct use for methanol electrocatalytic oxidation, *Carbon*, 2014, Vol. 66, pp. 387-394.

[25] G. Chang, H. Shu, K. Ji, M. Oyama, X. Liu, Y. He, Gold nanoparticles directly modified glassy carbon electrode for non-enzymatic detection of glucose, *Applied Surface Science*, 2014, Vol. 288, pp. 524-529.

[26] 小山 宗孝, 金ナノ粒子修飾電極に関する研究の展開, 分析化学, 2014, Vol. 63, No. 9, pp. 707-713.

[27] J.N. Lekitima, K.I. Ozoemena, C.J. Jafta, N. Kobayashi, Y. Song, D. Tong, S. Chen, M. Oyama, High-performance aqueous asymmetric electrochemical capacitors based on graphene oxide/cobalt(II)-tetrapyrazinoporphyrazine hybrids, *Journal of Materials Chemistry A*, 2013, Vol. 1, No. 8, pp. 2821-2826.

[28] A. Balouch, A.A. Umar, S.T. Tan, S. Nafisah, S.K.M. Saad, M.M. Salleh, M. Oyama, Fibrous, ultra-small nanorod-constructed platinum nanocubes directly grown on the ITO substrate and their heterogeneous catalysis application, *RSC Advances*, 2013, Vol. 3, No. 43, pp. 19789-19792.

[29] X. Chen, Z. Cai, Z. Huang, M. Oyama, Y. Jiang, X. Chen, Non-enzymatic oxalic acid sensor using platinum nanoparticles modified on graphene nanosheets, *Nanoscale*, 2013, Vol. 5, No. 13, pp. 5779-5783.

[30] Y. Nakayama, M. Oyama, Electrocatalytic oxidation of water observed on a nano-gold/palladium electrode, *Chemical Communications*, 2013, Vol. 49, No. 45, pp. 5228-5230.

[31] S.K. Yadav, Rosy, M. Oyama, R.N. Goyal, A Biocompatible Nano Gold Modified Palladium Sensor for Determination of Dopamine in Biological Fluids, *Journal of the Electrochemical Society*, 2013, Vol. 161, No. 1, pp. H41-H46.

[32] C.J. Jafta, F. Nkosi, L. le Roux, M.K. Mathe, M. Kebede, K. Makgopa, Y. Song, D. Tong, M. Oyama, N. Manyala, S. Chen, K.I. Ozoemena, Manganese oxide/graphene oxide composites for high-energy aqueous asymmetric electrochemical capacitors, *Electrochimica Acta*, 2013, Vol. 110, pp. 228-233.

[33] X.M. Chen, M. Oyama, M. Reben, A. Wojciechowski, N. AlZayed, A.O. Fedorchuk, I.V. Kityk, Photoinduced enhancement of optical second harmonic generation in LiB_3O_5 nanocrystallites embedded between the Ag/ITO electrodes, *Journal of Materials Science-Materials in Electronics*, 2013, Vol. 24, No. 11, pp. 4204-4208.

[34] A. Balouch, A.A. Umar, A.A. Shah, M.M. Salleh, M. Oyama, Efficient Heterogeneous Catalytic Hydrogenation of Acetone to Isopropanol on Semihollow and Porous Palladium Nanocatalyst, *ACS Applied Materials & Interfaces*, 2013, Vol. 5, No. 19, pp. 9843-9849.

[35] Y. Zhang, H. Shu, G. Chang, K. Ji, M. Oyama, X. Liu, Y. He, Facile synthesis of palladium-graphene nanocomposites and their catalysis for electro-oxidation of methanol and ethanol, *Electrochimica Acta*, 2013, Vol. 109, pp. 570-576.

[36] S.T. Tan, A.A. Umar, M. Yahaya, M.M. Salleh, C.C. Yap, Hong-Quan N., C. Dee, E.Y. Chang, M. Oyama, Formation of a Multi-Arm Branched Nanorod of ZnO on the Si Surface via a Nanoseed-Induced Polytypic Crystal Growth Using the Hydrothermal Method, *Science of Advanced Materials*, 2013, Vol. 5, No. 7, pp. 803-809.

[37] E. Al-Harbi, M.A. Aziz, M. Oyama, A.M. El-Naggar, N. AlZayed, A. Wojciechowski, I.V. Kityk, Gold nanoparticles deposited on fluorine-doped tin oxide substrates as materials for laser operated optoelectronic devices, *Journal of Materials Science-Materials in Electronics*, 2013, Vol. 24, No. 7, pp. 2422-2425.

[38] X. Chen, Z. Cai, Z. Huang, M. Oyama, Y. Jiang, X. Chen, Ultrafine palladium nanoparticles grown on graphene nanosheets for enhanced electrochemical sensing of hydrogen peroxide, *Electrochimica Acta*, 2013, Vol. 97, pp. 398-403.

[39] M.A. Aziz, M. Oyama, Thermal-driven attachment of gold nanoparticles prepared with ascorbic acid onto indium tin oxide surfaces, *Journal of Nanoparticle Research*, 2013, Vol. 15, No. 5, p. 1618.

[40] D. Nakashima, F. Marken, M. Oyama, "Indirect Modification" of Glassy Carbon with Gold Nanoparticles Using Nonconducting Support Materials, *Electroanalysis*, 2013, Vol. 25, No. 4, pp. 975-982.

[41] A.A. Umar, M.Y.A. Rahman, S.K.M. Saad, M.M. Salleh, M. Oyama, Preparation of grass-like TiO_2 nanostructure thin films: Effect of growth temperature, *Applied Surface Science*, 2013, Vol. 270, pp. 109-114.

物質エネルギー化学専攻

エネルギー変換化学講座 エネルギー変換化学分野

[1] T. Kawamoto, K. Fujita, I. Yamada, T. Matoba, S.J. Kim, P. Gao, X. Pan, S.D. Findlay, C. Tassel, H. Kageyama, A.J. Studer, J. Hester, T. Irifune, H. Akamatsu, K. Tanaka, Room-temperature polar ferromagnet ScFeO₃ transformed from a high-pressure orthorhombic perovskite phase, *Journal of the American Chemical Society*, 2014, Vol. 136, No. 43, pp. 15291-15299.

[2] G. Bouilly, T. Yajima, T. Terashima, Y. Kususe, K. Fujita, C. Tassel, T. Yamamoto, K. Tanaka, Y. Kobayashi, H. Kageyama, Substrate-induced anion rearrangement in epitaxial thin films of LaSrCoO_{4-x}H_x, *CrystEngComm*, 2014, Vol. 16, No. 41, pp. 9669-9674.

[3] M. Takigawa, M. Horvatic, T. Waki, S. Kramer, C. Berthier, F. Levy, H. Sheikin, H. Kageyama, Y. Ueda, F. Mila, Incomplete Devil 's Staircase in the Magnetization Curve of SrCu2(BO3)2, *Physical Review Letters*, 2013, Vol. 110, pp. 067210-1.

[4] A. Kitada, G. Hasegawa, Y. Kobayashi, K. Miyazaki, T. Abe, K. Kanamori, K. Nakanishi, H. Kageyama, Hierarchically porous monoliths of oxygen-deficient anatase TiO2-x with electronic conductivity, *RSC Advances*, 2013, Vol. 3, No. 20, pp. 7205-7208.

[5] S. Kitagawa, K. Ishida, K. Nakano, T. Yajima, H. Kageyama, S-Wave Superconductivity in Superconducting BaTi2Sb2O Revealed by 121/123Sb-NMR/Nuclear Quadrupole Resonance Measurements, *Physical Review B*, 2013, Vol. 87, pp. 060510-1.

[6] K. Kohara, S. Yamamoto, L. Seinberg, T. Murakami, M. Tsujimoto, T. Ogawa, H. Kurata, H. Kageyama, M. Takano, Carboxylated SiO2-coated alpha-Fe nanoparticles: towards a versatile platform for biomedical applications, *Chemical Communications*, 2013, Vol. 49, No. 25, pp. 2563-2565.

[7] R. Horikoshi, Y. Funasako, T. Yajima, T. Mochida, Y. Kobayashi, H. Kageyama, Copper(II) Solvatochromic Complexes [Cu(acac)(N^N)(ligand)]BPh4 with Various Axial Ligands. Correlation between Coordination Geometries and d-d Transition Energies (acac = Acetylacetonato, N^N = 1,10-Phenanthoroline, 2,2 '-Bipyridyl), *Polyhedron*, 2013, Vol. 50, pp. 66-74.

[8] Y. Akizuki, I. Yamada, K. Fujita, N. Nishiyama, T. Irifune, T. Yajima, H. Kageyama, K. Tanaka, A-site-ordered perovskite MnCu₃V₄O₁₂ with a 12-coordinated manganese(II), *Inorganic Chemistry*, 2013, Vol. 52, No. 19, pp. 11538-11543.

[9] K. Nakano, T. Yajima, F. Takeiri, M.A. Green, J. Hester, Y. Kobayashi, H. Kageyama, T-c Enhancement by Aliovalent Anionic Substitution in Superconducting BaTi2(Sb1-xSnx)(2)O, *Journal of The Physical Society of Japan*, 2013, Vol. 82, No. 7, p. 74707.

[10] C. Tassel, L. Seinberg, N. Hayashi, S. Ganesanpotti, Y. Ajiro, Y. Kobayashi, H. Kageyama, Sr2FeO3 with Stacked Infinite Chains of FeO4 Square Planes, *Inorganic Chemistry*, 2013, Vol. 52, No. 10, pp. 6096-6102.

[11] R. Horikoshi, Y. Kobayashi, H. Kageyama, Illustrating Catalysis with Interlocking Building Blocks: Correlation between Structure of a Metallocene Catalyst and the Stereoregularity of Polypropylene, *Journal of Chemical Education*, 2013, Vol. 90, No. 5, pp. 620-622.

[12] T. Yajima, K. Nakano, F. Takeiri, Y. Nozaki, Y. Kobayashi, H. Kageyama, Two Superconducting Phases in the Isovalent Solid Solutions BaTi(2)Pn(2)O (Pn = As, Sb, and Bi), *Journal of The Physical Society of Japan*, 2013, Vol. 82, No. 3, p. 33705.

[13] R. Horikoshi, Discrete metal complexes from N-heterocyclic ferrocenes: Structural diversity by ligand design, *Coordination Chemistry Reviews*, 2013, Vol. 257, No. 3-4, pp. 621-637.

[14] T. Yajima, K. Nakano, F. Takeiri, J. Hester, T. Yamamoto, Y. Kobayashi, N. Tsuji, J. Kim, A. Fujiwara, H. Kageyama, Synthesis and Physical Properties of the New Oxybismuthides BaTi2Bi2O and (SrF)(2)Ti2Bi2O with a d(1) Square Net, *Journal of The Physical Society of Japan*, 2013, Vol. 82, No. 1, p. 13703.

基礎エネルギー化学講座 工業電気化学分野

[1] G. Hasegawa, T. Sato, K. Kanamori, K. Nakanishi, T. Abe, Synthesis and electrochemical performance of hierarchically porous N-doped TiO2 for Li-ion batteries, *New Journal of Chemistry*, 2014, Vol. 38, No. 4, pp. 1380-1384.

[2] Y. Ishihara, Kohei M., T. Fukutsuka, T. Abe, Lithium-Ion Transfer at the Interface between High Potential Negative Electrodes and Ionic Liquids, *Journal of the Electrochemical Society*, 2014, Vol. 161, No. 14, pp. A1939-A1942.

[3] Y. Ishihara, Kohei M., T. Fukutsuka, T. Abe, Kinetics of Lithium-Ion Transfer at the Interface between Li4Ti5O12 Thin Films and Organic Electrolytes, *ECS Electrochemistry Letters*, 2014, Vol. 3, No. 8, pp. A83-A86.

[4] Y. Miyahara, Kohei M., T. Fukutsuka, T. Abe, Catalytic Roles of Perovskite Oxides in Electrochemical Oxygen Reactions in Alkaline Media, *Journal of the Electrochemical Society*, 2014, Vol. 161, No. 6, pp. F694-F697.

[5] T. Fukutsuka, K. Asaka, A. Inoo, R. Yasui, Kohei M., T. Abe, K. Nishio, Y. Uchimoto, New Magnesium-ion Conductive Electrolyte Solution

Based on Triglyme for Reversible Magnesium Metal Deposition and Dissolution at Ambient Temperature, *Chemistry Letters*, 2014, Vol. 43, No. 11, pp. 1788-1790.

[6] Kohei M., Electrocatalysts and Triple-Phase Boundary for Anion-Exchange Membrane Fuel Cells, *Electrochemistry*, 2014, Vol. 82, No. 9, pp. 730-735.

[7] H. Nakagawa, Y. Domi, T. Doi, M. Ochida, S. Tsubouchi, T. Yamanaka, T. Abe, Z. Ogumi, In Situ Raman Study of Graphite Negative-Electrodes in Electrolyte Solution Containing Fluorinated Phosphoric Esters, *Journal of The Electrochemical Society*, 2014, Vol. 161, No. 4, pp. A480-A485.

[8] G. Hasegawa, M. Sannohe, Y. Ishihara, K. Kanamori, K. Nakanishi, T. Abe, New Li2FeSiO4-carbon monoliths with controlled macropores: effects of pore properties on electrode performance, *Physical Chemistry Chemical Physics*, 2013, Vol. 15, No. 22, pp. 8736-8743.

[9] A. Kitada, G. Hasegawa, Y. Kobayashi, K. Miyazaki, T. Abe, K. Kanamori, K. Nakanishi, H. Kageyama, Hierarchically porous monoliths of oxygen-deficient anatase TiO2-x with electronic conductivity, *RSC Advances*, 2013, Vol. 3, No. 20, pp. 7205-7208.

[10] S. Takeuchi, T. Fukutsuka, Kohei M., T. Abe, Electrochemical lithium ion intercalation into graphite electrode in propylene carbonate-based electrolytes with dimethyl carbonate and calcium salt, *Journal of Power Sources*, 2013, Vol. 238, pp. 65-68.

[11] S. Jeong, H. Song, S.I. Kim, T. Abe, W.S. Jeon, R. Yin, Y.S. Kim, A simple method of electrochemical lithium intercalation within graphite from a propylene carbonate-based solution, *Electrochemistry Communications*, 2013, Vol. 31, pp. 24-27.

[12] S. Takeuchi, T. Fukutsuka, Kohei M., T. Abe, Electrochemical preparation of a lithium—graphite-intercalation compound in a dimethyl sulfoxide-based electrolyte containing calcium ions, *Carbon*, 2013, Vol. 57, pp. 232-238.

[13] S. Maruyama, G. Zhuang, H. Wang, T. Fukutsuka, Kohei M., T. Abe, T. Doi, Z. Ogumi, Electrochemical properties of carbon nanofibers as the negative electrode in lithium-ion batteries, *Tanso*, 2013, Vol. 2013, No. 256, pp. 52-56.

[14] Kohei M., Y. Asada, T. Fukutsuka, T. Abe, L.A. Bendersky, Structural insights into ion conduction of layered double hydroxides with various proportions of trivalent cations, *Journal of Materials Chemistry A*, 2013, Vol. 1, No. 46, p. 14569.

[15] Kohei M., T. Fukutsuka, T. Abe, Z. Ogumi, Fabrication of Step-edge-decorated Graphite Electrodes with Platinum and Their Electrocatalytic Activities, *Chemistry Letters*, 2013, Vol. 42, No. 6, pp. 606-608.

基礎エネルギー化学講座 機能性材料化学分野

[1] Ken-ichi A., Ohgi T., Inverse calculation of three-dimensional solvation structure on an arbitrary surface from a force distribution measured by liquid AFM, *Journal of Physics: Conference Series*, 2014, Vol. 490, p. 012162.

[2] M. Saeki, A. Iwanade, C. Ito, I. Wakaida, B. Thornton, T. Sakka, H. Ohba, Development of a fiber-coupled laser-induced breakdown spectroscopy instrument for analysis of underwater debris in a nuclear reactor core, *Journal of Nuclear Science and Technology*, 2014, Vol. 51, pp. 930-938.

[3] B. Thornton, T. Sakka, T. Masamura, A. Tamura, T. Takahashi, A. Matsumoto, Long-Duration Nanosecond Single Pulse Lasers for Observation of Spectra from Bulk Liquids at High Hydrostatic Pressures, *Spectrochimica Acta Part B: Atomic Spectroscopy*, 2014, Vol. 97, p. 7—12.

[4] K. Kobayashi, Y. Liang, T. Sakka, T. Matsuoka, Molecular dynamics study of salt—solution interface: Solubility and surface charge of salt in water, *Journal of Chemical Physics*, 2014, Vol. 140, p. 144705.

[5] T. Jalkanen, V. Torres-Costa, E. Makila, M. Kaasalainen, R. Koda, T. Sakka, Y. Ogata, J. Salonen, Selective optical response of hydrolytically stable stratified Si rugate mirrors to liquid infiltration, *ACS Applied Materials & Interfaces*, 2014, Vol. 6, No. 4, p. 2884—2892.

[6] N. Nishi, J. Uchiyashiki, R. Oogami, T. Sakka, Ionic liquid structure at the electrified ionic liquid vertical bar Hg interface studied using in situ spectroscopic ellipsometry, *Thin Solid Films*, 2014, Vol. 571, pp. 735-738.

[7] T. Sakka, D. Kozawa, K. Tsuchiya, N. Sugiman, G. Oye, K. Fukami, N. Nishi, Y.H. Ogata, Two-dimensional array of particles originating from dipole-dipole interaction as evidenced by potential curve measurements at vertical oil/water interfaces, *Physical Chemistry Chemical Physics*, 2014, Vol. 16, No. 32, pp. 16976-16984.

[8] R. Koda, A. Koyama, K. Fukami, N. Nishi, T. Sakka, T. Abe, A. Kitada, K. Murase, M. Kinoshita, Effect of cation species on surface-induced phase transition observed for platinum complex anions in platinum electrodeposition using nanoporous silicon, *Journal of Chemical Physics*, 2014, Vol. 141, No. 7, p. 074701.

[9] T. Sakka, A. Tamura, A. Matsumoto, K. Fukami, N. Nishi, B. Thornton, Effects of pulse width on nascent laser-induced bubbles for underwater laser-induced breakdown spectroscopy, *Spectrochimica Acta Part B-Atomic Spectroscopy*, 2014, Vol. 97, pp. 94-98.

[10] A. Koyama, K. Fukami, T. Yamauchi, N. Nishi, T. Sakka, A. Kitada, K. Murase, Lateral Growth of Polypyrrole Electropolymerized along Hydrophobic Insulative Substrates, *ECS Electrochemistry Letters*, 2014, Vol. 3, No. 7, pp. G5-G7.

[11] 作花 哲夫, レーザー誘起ブレークダウン分光法による水中その場元素分析 (「レーザー誘起ブレークダウン分光法の産業応用に向けて」特集号), レーザー研究, 2014, Vol. 42, No. 12, pp. 878-882.

[12] 西 直哉, 科学奨励賞受賞者による Review イオン液体界面における構造とダイナミクスの多角的な界面分光法による研究, *C & I Commun : Colloid & Interface Communication : Newsletter From DCSC*, 2014, Vol. 39, No. 4, pp. 35-37.

[13] N. Nishi, Y. Hirano, T. Motokawa, T. Kakiuchi, Ultraslow relaxation of the structure at the ionic liquid vertical bar gold electrode interface to a potential step probed by electrochemical surface plasmon resonance measurements: asymmetry of the relaxation time to the potential-step direction, *Physical Chemistry Chemical Physics*, 2013, Vol. 15, No. 28, pp. 11615-11619.

[14] K. Amano, K. Suzuki, T. Fukuma, O. Takahashi, H. Onishi, The relationship between local liquid density and force applied on a tip of atomic force microscope: A theoretical analysis for simple liquids, *The Journal of Chemical Physics*, 2013, Vol. 139, No. 22, p. 224710.

[15] R. Koda, K. Fukami, T. Sakka, Y.H. Ogata, A Physical Mechanism for Suppression of Zinc Dendrites Caused by High Efficiency of the Electrodeposition within Confined Nanopores, *ECS Electrochemistry Letters*, 2013, Vol. 2, No. 2, pp. D9-D11.

[16] K. Motobayashi, K. Minami, N. Nishi, T. Sakka, M. Osawa, Hysteresis of Potential-Dependent Changes in Ion Density and Structure of an Ionic Liquid on a Gold Electrode: In Situ Observation by Surface-Enhanced Infrared Absorption Spectroscopy, *Journal of Physical Chemistry Letters*, 2013, Vol. 4, No. 18, pp. 3110-3114.

[17] B. Thornton, T. Sakka, T. Takahashi, A. Tamura, T. Masamura, A. Matsumoto, Spectroscopic Measurements of Solids Immersed in Water at High Pressure Using a Long-Duration Nanosecond Laser Pulse, *Applied Physics Express*, 2013, Vol. 6, No. 8, p. 082401.

[18] A. Tamura, T. Sakka, K. Fukami, Y.H. Ogata, Dynamics of cavitation bubbles generated by multi-pulse laser irradiation of a solid target in water, *Applied Physics A-Materials Science & Processing*, 2013, Vol. 112, No. 1, pp. 209-213.

[19] A. Matsumoto, A. Tamura, K. Fukami, Y.H. Ogata, T. Sakka, Single-Pulse Underwater Laser-Induced Breakdown Spectroscopy with Nongated Detection Scheme, *Analytical Chemistry*, 2013, Vol. 85, No. 8, pp. 3807-3811.

[20] H. Mishima, H. Oshima, S. Yasuda, K. Amano, M. Kinoshita, Entropic release of a big sphere from a cylindrical vessel, *Chemical Physics Letters*, 2013, Vol. 561-562, pp. 159-165.

[21] A. Munoz-Noval, K. Fukami, R.J. Martin-Palma, T. Sakka, M. Manso-Silvan, Y.H. Ogata, Surface Plasmon Resonance Study of Au Nanorod Structures Templated in Mesoporous Silicon, *Plasmonics*, 2013, Vol. 8, No. 1, pp. 35-40.

[22] K. Fukami, R. Koda, T. Sakka, Y. Ogata, M. Kinoshita, Electrochemical deposition of platinum within nanopores on silicon: Drastic acceleration originating from surface-induced phase transition, *Journal of Chemical Physics*, 2013, Vol. 138, No. 9, p. 094702.

[23] A. Matsumoto, A. Tamura, K. Fukami, Y.H. Ogata, T. Sakka, Two-dimensional space-resolved emission spectroscopy of laser ablation plasma in water, *Journal of Applied Physics*, 2013, Vol. 113, No. 5, p. 053302.

[24] 西山 聖, 横田 裕貴, 山内 健, 坪川 紀夫, 小林 秀敏, 深見 一弘, 作花 哲夫, 尾形 幸生, Bio-TRIZ を導入した高分子ゲルバイオリアクターの開発, 高分子論文集, 2013, Vol. 70, No. 7, pp. 331-336.

[25] H. Mishima, H. Oshima, S. Yasuda, K. Amano, M. Kinoshita, On the physics of multidrug efflux through a biomolecular complex, *The Journal of Chemical Physics*, 2013, Vol. 139, No. 20, p. 205102.

基礎物質化学講座 基礎炭化水素化学分野

[1] K. Okamoto, E. Tamura, K. Ohe, Stereoselective Construction of 1,3-Disilylcyclopentane Derivatives by Scandium-Catalyzed [3+2] Cycloaddition of Allylsilanes to beta-Silylenones, *Angewandte Chemie International Edition*, 2014, Vol. 53, No. 38, pp. 10195-10199.

[2] K. Miki, H. Hashimoto, T. Inoue, H. Matsuoka, H. Harada, M. Hiraoka, K. Ohe, Sonication-Induced Formation of Size-Controlled Self-Assemblies of Amphiphilic Janus-Type Polymers as Optical Tumor-Imaging Agents, *Small*, 2014, Vol. 10, No. 15, pp. 3119-3130.

[3] T. Shimbayashi, K. Okamoto, K. Ohe, Synthesis of Imidazoles and Pyrimidines Using Palladium-Catalyzed Decarboxylatiye Intramolecular Condensation of 1,2,4-Oxadiazol-5(4H)-ones, *Synlett*, 2014, Vol. 25, No. 13, pp. 1916-1920.

[4] K. Okamoto, T. Shimbayashi, E. Tamura, K. Ohe, Palladium-Catalyzed Aza-Wittig-Type Condensation of Isoxazol-5(4H)-ones with Aldehydes, *Chemistry-A European Journal*, 2014, Vol. 20, No. 6, pp. 1490-1494.

[5] K. Miki, T. Matsushita, Y. Inoue, Y. Senda, T. Kowada, K. Ohe, Electron-rich carbon nanorings as macrocyclic hosts for fullerenes, *Chemical Communications*, 2013, Vol. 49, No. 80, pp. 9092-9094.

[6] K. Okamoto, M. Watanabe, N. Sakata, M. Murai, K. Ohe, Copper-Catalyzed C-H Cyanation of Terminal Alkynes with Cyanogen Iodide, *Organic Letters*, 2013, Vol. 15, No. 22, pp. 5810-5813.

[7] K. Okamoto, E. Tamura, K. Ohe, Acid-Catalyzed Direct Conjugate Alkenylation of alpha,beta-Unsaturated Ketones, *Angewandte Chemie Inter-*

national Edition, 2013, Vol. 52, No. 40, pp. 10639-10643.

[8] K. Okamoto, M. Watanabe, A. Mashida, K. Miki, K. Ohe, Rhodium-Catalyzed Reaction of 2H-Azirines with Carbonyl-ene-yne Compounds Giving 1-Furyl-2-aza-1,3-dienes, *Synlett*, 2013, Vol. 24, No. 12, pp. 1541-1544.

[9] K. Miki, T. Inoue, K. Ohe, Metathesis Polymerization-Based Synthesis of Functionalized Polymers Aiming at Medicinal Application, *Journal of Synthetic Organic Chemistry Japan*, 2013, Vol. 71, No. 6, pp. 601-615.

[10] 三木 康嗣, 井上 達広, 大江 浩一, メタセシス重合を用いる医用応用を指向した機能性高分子材料, 有機合成化学協会誌, 2013, Vol. 71, No. 6, pp. 601-615.

[11] 三木 康嗣, 大江 浩一, 眞鍋 史乃, 石川 稔, ポリプレックス　Cremer-Pople モデル　動力学的溶解度と熱力学的溶解度　分配係数, 有機合成化学協会誌, 2013, Vol. 71, No. 6, pp. 643-643.

[12] 三木 康嗣, 両親媒性ブロックコポリマーを用いる腫瘍の可視化 (特集 イメージングと高分子), 高分子, 2013, Vol. 62, No. 6, pp. 312-314.

[13] 三木 康嗣, 両親媒性ブロックコポリマーを用いる腫瘍の可視化, 高分子, 2013, Vol. 62, No. 6, pp. 312-314.

基礎物質化学講座 励起物質化学分野

[1] T. Ito, R. Kurihara, N. Utsumi, Y. Hamaguchi, K. Tanabe, S. Nishimoto, Electron transport through 5-substituted pyrimidines in DNA: electron affinities of uracil and cytosine derivatives differently affect the apparent efficiencies, *Chemical Communications*, 2013, Vol. 49, No. 87, pp. 10281-10283.

[2] D. Kumar, B.A. Mishra, K.P.C. Shekar, A. Kumar, K. Akamatsu, E. Kusaka, T. Ito, Remarkable photocytotoxicity of a novel triazole-linked cationic porphyrin-beta-carboline conjugate, *Chemical Communications*, 2013, Vol. 49, No. 7, pp. 683-685.

[3] T. Ito, K. Akamatsu, K. Takeuchi, M. Satani, K. Tanabe, S. Nishimoto, Site-specific DNA oxidation by a dinuclear copper complex containing a photoisomerizable azobenzene ligand, *Inorganica Chimica Acta*, 2013, Vol. 408, pp. 230-234.

[4] K. Tanabe, T. Tsuda, T. Ito, S. Nishimoto, Probing DNA Mismatched and Bulged Structures by Using F-19 NMR Spectroscopy and Oligodeoxynucleotides with an F-19-Labeled Nucleobase, *Chemistry-A European Journal*, 2013, Vol. 19, No. 45, pp. 15133-15140.

[5] D. Kumar, B.A. Mishra, K.P.C. Shekar, A. Kumar, K. Akamatsu, R. Kurihara, T. Ito, Novel porphyrin-psoralen conjugates: synthesis, DNA interaction and cytotoxicity studies, *Organic & Biomolecular Chemistry*, 2013, Vol. 11, No. 39, pp. 6675-6679.

[6] E. Kusaka, T. Ito, K. Tanabe, S. Nishimoto, Enzyme-Catalyzed Conversion of Chemical Structures on the Surface of Gold Nanorods, *Bioconjugate Chemistry*, 2013, Vol. 24, No. 9, pp. 1435-1444.

[7] D. Kumar, K.P.C. Shekar, B. Mishra, R. Kurihara, M. Ogura, T. Ito, Cationic porphyrin-quinoxaline conjugate as a photochemically triggered novel cytotoxic agent, *Bioorganic & Medicinal Chemistry Letters*, 2013, Vol. 23, No. 11, pp. 3221-3224.

[8] K. Haruna, H. Iida, S. Nishimoto, K. Tanabe, Stepwise regulation of hole transport in DNA by control of triplex formation, *Bioorganic & Medicinal Chemistry*, 2013, Vol. 21, No. 10, pp. 2682-2686.

[9] K. Tanabe, T. Mizoe, M. Sugiura, K. Okada, S. Nishimoto, Chemical ligation of oligodeoxynucleotides by X-irradiation and its application to regulation of G-quadruplex formation, *Bioorganic & Medicinal Chemistry Letters*, 2013, Vol. 23, No. 7, pp. 2098-2100.

[10] H. Komatsu, K. Yoshihara, H. Yamada, Y. Kimura, A. Son, S. Nishimoto, K. Tanabe, Ruthenium Complexes with Hydrophobic Ligands That Are Key Factors for the Optical Imaging of Physiological Hypoxia, *Chemistry-A European Journal*, 2013, Vol. 19, No. 6, pp. 1971-1977.

触媒化学講座 触媒機能化学分野

[1] Y. Iwase, S. Sano, L. Mahardiani, R. Abe, Y. Kamiya, Bimodal cesium hydrogen salts of 12-tungstosilicic acid, CsxH4-xSiW12O40, as highly active solid acid catalysts for transesterification of glycerol tributyrate with methanol, *Journal of Catalysis*, 2014, Vol. 318, pp. 34-42.

[2] H. Homura, B. Ohtani, R. Abe, Facile Fabrication of Photoanodes of Tungsten(VI) Oxide on Carbon Microfiber Felts for Efficient Water Oxidation under Visible Light, *Chemistry Letters*, 2014, Vol. 43, No. 8, pp. 1195-1197.

[3] O. Tomita, B. Ohtani, R. Abe, Highly selective phenol production from benzene on a platinum-loaded tungsten oxide photocatalyst with water and molecular oxygen: selective oxidation of water by holes for generating hydroxyl radical as the predominant source of the hydroxyl group, *Catalysis Science & Technology*, 2014, Vol. 4, No. 11, pp. 3850-3860.

[4] J. Hirayama, R. Abe, Y. Kamiya, Combinational effect of Pt/SrTiO3:Rh photocatalyst and SnPd/Al2O3 non-photocatalyst for photocatalytic reduction of nitrate to nitrogen in water under visible light irradiation, *Applied Catalysis B-Environmental*, 2014, Vol. 144, pp. 721-729.

[5] Masanobu H., Kazunari D., Ryu A., Fabrication of an Efficient BaTaO2N Photoanode Harvesting a Wide Range of Visible Light for Water Splitting, *American Chemical Society*, 2013, Vol. 135, p. 10238 ― 10241.

[1] J. Terao, K. Homma, Y. Konoshima, R. Imoto, H. Masai, W. Matsuda, S. Seki, T. Fujihara, Y. Tsuji, Synthesis of functionalized insulated molecular wires by polymerization of an insulated pi-conjugated monomer, *Chemical Communications*, 2014, Vol. 50, No. 6, pp. 658-660.

[2] J. Terao, Y. Tsuji, New synthetic methods of pi-conjugated inclusion complexes with high conductivity, *Journal of Inclusion Phenomena and Macrocyclic Chemistry*, 2014, Vol. 80, No. 3-4, pp. 165-175.

[3] Y. Tani, T. Fujihara, J. Terao, Y. Tsuji, Copper-Catalyzed Regiodivergent Silacarboxylation of Allenes with Carbon Dioxide and a Silylborane, *Journal of The American Chemical Society*, 2014, Vol. 136, No. 51, pp. 17706-17709.

[4] J. Terao, Y. Konoshima, A. Matono, H. Masai, T. Fujihara, Y. Tsuji, Synthesis of an organic-soluble pi-conjugated [3]rotaxane via rotation of glucopyranose units in permethylated beta-cyclodextrin, *Beilstein Journal of Organic Chemistry*, 2014, Vol. 10, pp. 2800-2808.

[5] H. Masai, J. Terao, S. Makuta, Y. Tachibana, T. Fujihara, Y. Tsuji, Enhancement of Phosphorescence and Unimolecular Behavior in the Solid State by Perfect Insulation of Platinum-Acetylide Polymers, *Journal of The American Chemical Society*, 2014, Vol. 136, No. 42, pp. 14714-14717.

[6] T. Iwasaki, R. Imanishi, R. Shimizu, H. Kuniyasu, J. Terao, N. Kambe, Copper-Catalyzed Alkyl-Alkyl Cross-Coupling Reactions Using Hydrocarbon Additives: Efficiency of Catalyst and Roles of Additives, *Journal of Organic Chemistry*, 2014, Vol. 79, No. 18, pp. 8522-8532.

[7] T. Fujihara, Y. Horimoto, T. Mizoe, F.B. Sayyed, Y. Tani, J. Terao, S. Sakaki, Y. Tsuji, Nickel-Catalyzed Double Carboxylation of Alkynes Employing Carbon Dioxide, *Organic Letters*, 2014, Vol. 16, No. 18, pp. 4960-4963.

[8] J. Terao, T. Hosomi, H. Masai, W. Matsuda, S. Seki, T. Fujihara, Y. Tsuji, Synthesis and Redox Response of Insulated Molecular Wire Elongated through Iron Terpyridine Coordination Bonds, *Chemistry Letters*, 2014, Vol. 43, No. 8, pp. 1289-1291.

[9] K. Tatsumi, T. Fujihara, J. Terao, Y. Tsuji, Palladium-catalyzed formal arylacylation of allenes employing acid chlorides and arylboronic acids, *Chemical Communications*, 2014, Vol. 50, No. 62, pp. 8476-8479.

[10] K. Semba, N. Bessho, T. Fujihara, J. Terao, Y. Tsuji, Copper-Catalyzed Borylative Allyl-Allyl Coupling Reaction, *Angewandte Chemie International Edition*, 2014, Vol. 53, No. 34, pp. 9007-9011.

[11] J. Terao, K. Homma, Y. Konoshima, M. Taniguchi, M. Kiguchi, Y. Komoto, M. Horikawa, Y. Naito, T. Fujihara, Y. Tsuji, Molecular Wiring Method Based on Polymerization or Copolymerization of an Insulated pi-Conjugated Monomer, *Bulletin of The Chemical Society of Japan*, 2014, Vol. 87, No. 8, pp. 871-873.

[12] J. Terao, Y. Chiba, T. Fujihara, Y. Tsuji, Encapsulation by Cyclic Porphyrin Dimers Using Various Interaction Modes, *Chemistry Letters*, 2014, Vol. 43, No. 8, pp. 1374-1376.

[13] H. Masai, J. Terao, Y. Tsuji, Insulated pi-conjugated metallopolymers, *Tetrahedron Letters*, 2014, Vol. 55, No. 30, pp. 4035-4043.

[14] T. Fujihara, Y. Tsuji, TRANSITION METAL-CATALYZED SYNTHESIS OF pi-CONJUGATED CYCLIC ESTERS AND AMIDES FROM ALKYNES AND CARBONYL REAGENTS, *Heterocycles*, 2014, Vol. 89, No. 6, pp. 1343-1367.

[15] K. Nogi, T. Fujihara, J. Terao, Y. Tsuji, Cobalt-catalyzed carboxylation of propargyl acetates with carbon dioxide, *Chemical Communications*, 2014, Vol. 50, No. 86, pp. 13052-13055.

[16] C. Cong, T. Fujihara, J. Terao, Y. Tsuji, Iron oxide catalyzed reduction of acid chlorides to aldehydes with hydrosilanes, *Catalysis Communications*, 2014, Vol. 50, pp. 25-28.

[17] T. Suzuki, Y. Sakano, T. Iwai, S. Iwashita, Y. Miura, R. Katoono, H. Kawai, K. Fujiwara, Y. Tsuji, T. Fukushima, Electrochromic and unique chiroptical properties of helically deformed tetraarylquinodimethanes generated from lesshindered dicationic precursors upon reduction, *Pure and Applied Chemistry*, 2014, Vol. 86, No. 4, pp. 507-516.

[18] T. Fujihara, K. Semba, J. Terao, Y. Tsuji, Regioselective transformation of alkynes catalyzed by a copper hydride or boryl copper species, *Catalysis Science & Technology*, 2014, Vol. 4, No. 6, p. 1699.

[19] H. Masai, J. Terao, S. Seki, S. Nakashima, M. Kiguchi, K. Okoshi, T. Fujihara, Y. Tsuji, Synthesis of One-Dimensional Metal-Containing Insulated Molecular Wire with Versatile Properties Directed toward Molecular Electronics Materials, *Journal of The American Chemical Society*, 2014, Vol. 136, No. 5, pp. 1742-1745.

[20] T. Fujihara, T. Nishida, J. Terao, Y. Tsuji, Synthesis and characterization of ruthenium(II) complexes with dendritic N-heterocyclic carbene ligands, *Inorganica Chimica Acta*, 2014, Vol. 409, pp. 174-178.

[21] F.B. Sayyed, Y. Tsuji, S. Sakaki, The crucial role of a Ni(I) intermediate in Ni-catalyzed carboxylation of aryl chloride with CO2: a theoretical study, *Chemical Communications*, 2013, Vol. 49, No. 91, pp. 10715-10717.

[22] K. Semba, T. Fujihara, J. Terao, Y. Tsuji, Copper-Catalyzed Borylation of α-Alkoxy Allenes with Bis(pinacolato)diboron: Efficient Synthesis of 2-Boryl 1,3-Butadienes, *Angewandte*

Chemie International Edition, 2013, Vol. 52, No. 47, pp. 12400-12403.

[23] T. Fujihara, C. Cong, J. Terao, Y. Tsuji, Palladium-Catalyzed Reduction of Carboxylic Acids to Aldehydes with Hydrosilanes in the Presence of Pivalic Anhydride, *Advanced Synthesis & Catalysis*, 2013, Vol. 355, No. 17, pp. 3420-3424.

[24] T. Fujihara, K. Tatsumi, J. Terao, Y. Tsuji, Palladium-Catalyzed Formal Hydroacylation of Allenes Employing Acid Chlorides and Hydrosilanes, *Organic Letters*, 2013, Vol. 15, No. 9, pp. 2286-2289.

[25] K. Semba, M. Shinomiya, T. Fujihara, J. Terao, Y. Tsuji, Highly Selective Copper-Catalyzed Hydroboration of Allenes and 1,3-Dienes, *Chemistry-A European Journal*, 2013, Vol. 19, No. 22, pp. 7125-7132.

[26] J. Terao, A. Wadahama, A. Matono, T. Tada, S. Watanabe, S. Seki, T. Fujihara, Y. Tsuji, Design principle for increasing charge mobility of pi-conjugated polymers using regularly localized molecular orbitals, *Nature Communications*, 2013, Vol. 4, p. 1691.

[27] Y. Tsuji, Carbon dioxide as a carbon source in transition-metal catalyzed carbon-carbon bond formation, *Abstracts of Papers of The American Chemical Society*, 2013, Vol. 245, pp. 87-CATL.

[28] A. Ghaderi, T. Iwasaki, A. Fukuoka, J. Terao, N. Kambe, Nickel-Catalyzed Coupling of Thiomethyl-Substituted 1,3-Benzothiazoles with Secondary Alkyl Grignard Reagents, *Chemistry-A European Journal*, 2013, Vol. 19, No. 9, pp. 2951-2955.

触媒化学講座 触媒設計工学分野

[1] T. Matsui, M. Komoto, H. Muroyama, K. Eguchi, Interfacial Stability between Air Electrode and Ceria-Based Electrolyte under Cathodic Polarization in Solid Oxide Fuel Cells, *Fuel Cells*, 2014, Vol. 14, No. 6, pp. 1022-1027.

[2] V. Singh, H. Muroyama, T. Matsui, K. Eguchi, Performance and Stability of Solid Oxide Electrolysis Cell for CO2 Reduction under Various Operating Conditions, *Electrochemistry*, 2014, Vol. 82, No. 10, pp. 839-844.

[3] Y. Lee, H. Muroyama, T. Matsui, K. Eguchi, Degradation of nickel-yttria-stabilized zirconia anode in solid oxide fuel cells under changing temperature and humidity conditions, *Journal of Power Sources*, 2014, Vol. 262, pp. 451-456.

[4] V. Singh, H. Muroyama, T. Matsui, K. Eguchi, Performance Comparison between Ni-SDC and Ni-YSZ Cermet Electrodes for Carbon Dioxide Electrolysis on Solid Oxide Electrolysis Cell, *Solid State Ionic Devices 10*, 2014, Vol. 64, No. 2, pp. 53-64.

[5] J. Yang, H. Muroyama, T. Matsui, K. Eguchi, Development of a direct ammonia-fueled molten hydroxide fuel cell, *Journal of Power Sources*, 2014, Vol. 245, pp. 277-282.

[6] Y. Lee, H. Sumi, H. Muroyama, T. Matsui, K. Eguchi, Influence of Ni-Oxide Anode Thickness on Performance Stability in Internal Reforming of Methane for Solid Oxide Fuel Cells, *Journal of The Electrochemical Society*, 2013, Vol. 160, No. 6, pp. F579-F584.

[7] T. Matsui, Y. Mikami, H. Muroyama, K. Eguchi, Influence of (La,Sr)MnO3+delta cathode composition on cathode/electrolyte interfacial structure during long-term operation of solid oxide fuel cells, *Journal of Power Sources*, 2013, Vol. 242, pp. 790-796.

[8] T. Matsui, Y. Mikami, H. Muroyama, K. Eguchi, Impact of Chemical Composition of Strontium-doped Lanthanum Manganite Cathode on Microstructural Change and Performance During Long-term Operation of SOFCs, *Solid Oxide Fuel Cells 13 (SOFC-Xiii)*, 2013, Vol. 57, No. 1, pp. 1683-1690.

[9] J. Yang, H. Muroyama, T. Matsui, K. Eguchi, Effect of porous interlayer on the long-term stability of (La0.8Sr0.2)(0.97)MnO3 cathode for solid oxide fuel cells, *Journal of Power Sources*, 2013, Vol. 236, pp. 192-199.

[10] S. Suzuki, H. Muroyama, T. Matsui, K. Eguchi, Influence of CO2 dissolution into anion exchange membrane on fuel cell performance, *Electrochimica Acta*, 2013, Vol. 88, pp. 552-558.

物質変換科学講座 合成反応設計分野

[1] S. Hashimoto, S. Nakatsuka, M. Nakamura, T. Hatakeyama, Construction of a Highly Distorted Benzene Ring in a Double Helicene, *Angewandte Chemie International Edition*, 2014, Vol. 53, No. 51, pp. 14074-14076.

[2] S. Hashimoto, T. Ikuta, K. Shiren, S. Nakatsuka, J. Ni, M. Nakamura, T. Hatakeyama, Triplet-Energy Control of Polycyclic Aromatic Hydrocarbons by BN Replacement: Development of Ambipolar Host Materials for Phosphorescent Organic Light-Emitting Diodes, *Chemistry of Materials*, 2014, Vol. 26, No. 21, pp. 6265-6271.

[3] T. Iwamoto, Z. Slanina, N. Mizorogi, J. Guo, T. Akasaka, S. Nagase, H. Takaya, N. Yasuda, T. Kato, S. Yamago, Partial Charge Transfer in the Shortest Possible Metallofullerene Peapod, La@C-82 subset of[11]Cycloparaphenylene, *Chemistry-A European Journal*, 2014, Vol. 20, No. 44, pp. 14403-14409.

[4] H. Takaya, K. Isozaki, Y. Haga, K. Ogata, T. Naota, Synthesis and Self-assembling Properties of Pt-Complex-bound Oligo(glutamic acid)s, *Chemistry Letters*, 2014, Vol. 43, No. 7, pp. 1167-1169.

[5] T. Ochiai, K. Isozaki, S. Nishiyama, K. Miki, Enhancement of self-assembly of large ($>$ 10 nm) gold nanoparticles on an ITO substrate, *Applied Physics Express*, 2014, Vol. 7, No. 6, p. 065001.

[6] M.P. Alvarez, P.M. Burrezo, T. Iwamoto, L. Qiu, M. Kertesz, M. Taravillo, V.G. Baonza, J.T.L. Navarrete, S. Yamago, J. Casado, Chameleon-like behaviour of cyclo[n] paraphenylenes in complexes with C-70: on their impressive electronic and structural adaptability as probed by Raman spectroscopy, *Faraday Discussions*, 2014, Vol. 173, pp. 157-171.

[7] Mamoru F., Chao L., Takahiro I., Eiichi K., Shigeru Y., Tetsuro M., Properties of Triplet-Excited [n]Cycloparaphenylenes (n = 8—12): Excitation Energies Lower than Those of Linear Oligomers and Polymers, *The Journal of Physical Chemistry A*, 2014, Vol. 25, No. 118, pp. 4527-4532.

[8] F. Pincella, Y. Song, T. Ochiai, K. Isozaki, K. Sakamoto, K. Miki, Square-centimeter-scale 2D-arrays of Au@Ag core-shell nanoparticles towards practical SERS substrates with enhancement factor of 10(7), *Chemical Physics Letters*, 2014, Vol. 605, pp. 115-120.

[9] F. Pincella, K. Isozaki, K. Miki, A visible light-driven plasmonic photocatalyst, *Light-Science & Applications*, 2014, Vol. 3, No. 1, p. e133.

[10] 磯崎 勝弘, 三木 一司, 金ナノ粒子二次元配列を利用した可視光駆動型光触媒, *C & I Commun : Colloid & Interface Communication : Newsletter From DCSC*, 2014, Vol. 39, No. 1, pp. 36-38.

[11] 高谷　光, 中村　正治, 磯﨑　勝弘, アミノ酸／ペプチド超分子で操る金属集積, 高分子, 2014, Vol. 63, No. 4, pp. 231-232.

[12] E. Kayahara, T. Kouyama, T. Kato, H. Takaya, N. Yasuda, S. Yamago, Isolation and Characterization of the Cycloparaphenylene Radical Cation and Dication, *Angewandte Chemie International Edition*, 2013, Vol. 52, No. 51, pp. 13722-13726.

[13] E. Kayahara, T. Iwamoto, H. Takaya, T. Suzuki, M. Fujitsuka, T. Majima, N. Yasuda, N. Matsuyama, S. Seki, S. Yamago, Synthesis and physical properties of a ball-like three-dimensional pi-conjugated molecule, *Nature Communications*, 2013, Vol. 4, p. 2694.

[14] T. Iwamoto, Y. Watanabe, H. Takaya, T. Haino, N. Yasuda, S. Yamago, Size- and Orientation-Selective Encapsulation of C-70 by Cycloparaphenylenes, *Chemistry-A European Journal*, 2013, Vol. 19, No. 42, pp. 14061-14068.

[15] T. Ochiai, K. Isozaki, F. Pincella, T. Taguchi, K. Nittoh, K. Miki, Plasmon-Resonant Optics on an Indium—Tin-Oxide Film for Exciting a Two-Photon Photochromic Reaction, *Applied Physics Express*, 2013, Vol. 6, No. 10, p. 102001.

[16] S. Kawamura, M. Nakamura, Ligand-controlled Iron-catalyzed Cross Coupling of Benzylic Chlorides with Aryl Grignard Reagents, *Chemistry Letters*, 2013, Vol. 42, No. 2, pp. 183-185.

[17] R. Sakamoto, D. Hijikata, K. Isozaki, N. Yonezawa, A. Okamoto, Bis(1-benzoyl-7-methoxynaphthalen-2-yl) terephthalate, *Acta Crystallographica Section E-Structure Reports Online*, 2013, Vol. E69, p. o557.

[18] D. Hijikata, R. Sakamoto, K. Isozaki, N. Yonezawa, A. Okamoto, 1,8-Bis(4-fluorobenzoyl)naphthalen-2,7-diyl dimethanesulfonate, *Acta Crystallographica Section E-Structure Reports Online*, 2013, Vol. E69, p. 0544.

[19] S. Mouri, D. Hijikata, K. Isozaki, N. Yonezawa, A. Okamoto, [2,7-Diethoxy-8-(4-fluorobenzoyl)naphthalen-1-yl](4-fluorophenyl) methanone, *Acta Crystallographica Section E-Structure Reports Online*, 2013, Vol. E69, p. o637.

[20] S. Azuma, M. Ota, A. Ishida, K. Isozaki, H. Takaya, M. Nakamura, T. Sasamori, N. Tokitoh, K. Kuramochi, K. Tsubaki, Dimerization Reactions of 2-Bromo-3,5,6-trimethyl-1,4-benzoquinone, *Chemistry Letters*, 2013, Vol. 42, No. 12, pp. 1531-1533.

[21] S. Mohri, S. Yoshikawa, K. Isozaki, N. Yonezawa, A. Okamoto, Head-to-tail square-shaped cyclic hydrogen bonds leading to dimeric aggregates: 1,8-dibenzoyl-2,7-dihydroxynaphthalene and a comparison with its analogous benzoylnaphthalene, *Acta Crystallographica Section C-Crystal Structure Communications*, 2013, Vol. C69, pp. 1541-1544.

[22] 高谷　光, 磯﨑　勝弘, 中村　正治, メタル化アミノ酸／ペプチドを用いる金属集積制御と機能開拓—自己組織化による人工酵素合成を目指して—, 生命化学研究レター, 2013, Vol. 42, No. 7, pp. 10-18.

物質変換科学講座 構造有機化学分野

[1] T. Kushida, C. Camacho, A. Shuto, S. Irle, M. Muramatsu, T. Katayama, S. Ito, Y. Nagasawa, H. Miyasaka, E. Sakuda, N. Kitamura, Z. Zhou, A. Wakamiya, S. Yamaguchi, Constraint-induced structural deformation of planarized triphenylboranes in the excited state, *Chemical Science*, 2014, Vol. 5, No. 4, pp. 1296-1304.

[2] S. Aoyagi, N. Hoshino, T. Akutagawa, Y. Sado, R. Kitaura, H. Shinohara, K. Sugimoto, R. Zhang, Y. Murata, A cubic dipole lattice of water molecules trapped inside carbon cages, *Chemical Communications*, 2014, Vol. 50, No. 5, pp. 524-526.

[3] E.E. Maroto, M. Izquierdo, M. Murata, S. Filippone, K. Komatsu, Y. Murata, N. Martin, Catalytic stereodivergent functionalization of H-2@C-60, *Chemical Communications*, 2014, Vol. 50, No. 6, pp. 740-742.

[4] Chaolumen, H. Enno, M. Murata, A. Wakamiya, Y. Murata, Dibenzo[a,f]perylene Bisimide: Effects of Introducing Two Fused Rings, *Chemistry-An Asian Journal*, 2014, Vol. 9, No. 11, pp. 3136-3140.

[5] T. Katayama, A. Jinno, E. Takeuchi, S. Ito, M. Endo, A. Wakamiya, Y. Murata, Y. Ogomi, S.

Hayase, H. Miyasaka, Inhomogeneous Deactivation with UV Excitation in Submicron Grains of Lead Iodide Perovskite-based Solar Cell as Revealed by Femtosecond Transient Absorption Microscopy, *Chemistry Letters*, 2014, Vol. 43, No. 10, pp. 1656-1658.

[6] K.S.K. Goh, M. Jimenez-Ruiz, M.R. Johnson, S. Rols, J. Ollivier, M.S. Denning, S. Mamone, M.H. Levitt, X. Lei, Y. Li, N.J. Turro, Y. Murata, A.J. Horsewill, Symmetry-breaking in the endofullerene H2O@C-60 revealed in the quantum dynamics of ortho and para-water: a neutron scattering investigation, *Physical Chemistry Chemical Physics*, 2014, Vol. 16, No. 39, pp. 21330-21339.

[7] S. Fuse, K. Matsumura, A. Wakamiya, H. Masui, H. Tanaka, S. Yoshikawa, T. Takahashi, Elucidation of the Structure-Property Relationship of p-Type Organic Semiconductors through Rapid Library Construction via a One-Pot, Suzuki-Miyaura Coupling Reaction, *ACS Combinatorial Science*, 2014, Vol. 16, No. 9, pp. 494-499.

[8] J. Lee, B. Kim, J.E. Kwon, J. Kim, D. Yokoyama, K. Suzuki, H. Nishimura, A. Wakamiya, S.Y. Park, J. Park, Excimer formation in organic emitter films associated with a molecular orientation promoted by steric hindrance, *Chemical Communications*, 2014, Vol. 50, No. 91, pp. 14145-14148.

[9] M. Satou, K. Uchinaga, A. Wakamiya, Y. Murata, Thiazole-fused Benzothiadiazole as a Key Skeleton for T-Shaped Electron-accepting Building Blocks, *Chemistry Letters*, 2014, Vol. 43, No. 8, pp. 1386-1388.

[10] Y. Yamada, T. Nakamura, M. Endo, A. Wakamiya, Y. Kanemitsu, Photocarrier Recombination Dynamics in Perovskite CH3NH3PbI3 for Solar Cell Applications, *Journal of The American Chemical Society*, 2014, Vol. 136, No. 33, pp. 11610-11613.

[11] A. Wakamiya, H. Nishimura, T. Fukushima, F. Suzuki, A. Saeki, S. Seki, I. Osaka, T. Sasamori, M. Murata, Y. Murata, H. Kaji, On-Top π-Stacking of Quasiplanar Molecules in Hole-Transporting Materials: Inducing Anisotropic Carrier Mobility in Amorphous Films, *Angewandte Chemie International Edition*, 2014, Vol. 53, No. 23, pp. 5800-5804.

[12] R. Zhang, T. Futagoishi, M. Murata, A. Wakamiya, Y. Murata, Synthesis and Structure of an Open-Cage Thiafullerene C69S: Reactivity Differences of an Open-Cage C-70 Tetraketone Relative to Its C-60 Analogue, *Journal of The American Chemical Society*, 2014, Vol. 136, No. 23, pp. 8193-8196.

[13] Y. Hashikawa, M. Murata, A. Wakamiya, Y. Murata, Synthesis of Open-Cage Ketolactam Derivatives of Fullerene C-60 Encapsulating a Hydrogen Molecule, *Organic Letters*, 2014, Vol. 16, No. 11, pp. 2970-2973.

[14] A. Wakamiya, M. Endo, T. Sasamori, N. Tokitoh, Y. Ogomi, S. Hayase, Y. Murata, Reproducible Fabrication of Efficient Perovskite-based Solar Cells: X-ray Crystallographic Studies on the Formation of CH3NH3PbI3 Layers, *Chemistry Letters*, 2014, Vol. 43, No. 5, pp. 711-713.

[15] L. Garbuio, Y. Li, S. Antonello, J.A. Gascon, R.G. Lawler, X. Lei, Y. Murata, N.J. Turro, F. Maran, Interaction of H-2@C-60 and Nitroxide through Conformationally Constrained Peptide Bridges, *Photochemistry and Photobiology*, 2014, Vol. 90, No. 2, pp. 439-447.

[16] Y. Yamada, T. Nakamura, M. Endo, A. Wakamiya, Y. Kanemitsu, Near-band-edge optical responses of solution-processed organic-inorganic hybrid perovskite CH3NH3PbI3 on mesoporous TiO2 electrodes, *Applied Physics Express*, 2014, Vol. 7, No. 3, p. 032302.

[17] Y. Morinaka, M. Nobori, M. Murata, A. Wakamiya, T. Sagawa, S. Yoshikawa, Y. Murata, Synthesis and photovoltaic properties of acceptor materials based on the dimerization of fullerene C-60 for use in efficient polymer solar cells, *Chemical Communications*, 2013, Vol. 49, No. 35, pp. 3670-3672.

[18] A. Wakamiya, T. Murakami, S. Yamaguchi, Benzene-fused BODIPY and fully-fused BODIPY dimer: impacts of the ring-fusing at the b bond in the BODIPY skeleton, *Chemical Science*, 2013, Vol. 4, No. 3, pp. 1002-1007.

[19] J.Y.-. Chen, Y. Li, M. Frunzi, X. Lei, Y. Murata, R.G. Lawler, N.J. Turro, Nuclear spin isomers of guest molecules in H-2@C-60, H2O@C-60 and other endofullerenes, *Philosophical Transactions of The Royal Society A-Mathematical Physical and Engineering Sciences*, 2013, Vol. 371, No. 1998, pp. 20110628-20110628.

[20] H. Shimogawa, H. Mori, A. Wakamiya, Y. Murata, Impacts of Dibenzo- and Dithieno-fused Structures at the b, g Bonds in the BODIPY Skeleton, *Chemistry Letters*, 2013, Vol. 42, No. 9, pp. 986-988.

[21] R. Zhang, M. Murata, A. Wakamiya, Y. Murata, Synthesis and X-ray Structure of Endohedral Fullerene C-60 Dimer Encapsulating a Water Molecule in Each C-60 Cage, *Chemistry Letters*, 2013, Vol. 42, No. 8, pp. 879-881.

[22] S. Hitosugi, R. Iizuka, T. Yamasaki, R. Zhang, Y. Murata, H. Isobe, Assessment of Fullerene Derivatives as Rolling Journals in a Finite Carbon Nanotube Bearing, *Organic Letters*, 2013, Vol. 15, No. 13, pp. 3199-3201.

[23] T. Futagoishi, M. Murata, A. Wakamiya, T. Sasamori, Y. Murata, Expansion of Orifices of Open C-60 Derivatives and Formation of an Open C59S Derivative by Reaction with Sulfur, *Organic Letters*, 2013, Vol. 15, No. 11, pp. 2750-2753.

[24] K. Mitsudo, J. Harada, Y. Tanaka, H. Mandai, C. Nishioka, H. Tanaka, A. Wakamiya, Y. Murata, S. Suga, Synthesis of Hexa(furan-2-yl)benzenes and Their pi-Extended Derivatives, *Journal of Or-*

ganic Chemistry, 2013, Vol. 78, No. 6, pp. 2763-2768.

[25] Y. Morinaka, S. Sato, A. Wakamiya, H. Nikawa, N. Mizorogi, F. Tanabe, M. Murata, K. Komatsu, K. Furukawa, T. Kato, S. Nagase, T. Akasaka, Y. Murata, X-ray observation of a helium atom and placing a nitrogen atom inside He@C-60 and He@C-70, *Nature Communications*, 2013, Vol. 4, p. 1554.

物質変換科学講座 遷移金属錯体化学分野

[1] Y. Lin, Y. Nakajima, F. Ozawa, Reduction of an Fe(I) mesityl complex induced by pi-acid ligands, *Dalton Transactions*, 2014, Vol. 43, No. 24, pp. 9032-9037.

[2] M. Wakioka, Y. Nakamura, Y. Hihara, F. Ozawa, S. Sakaki, Effects of PAr_3 Ligands on Direct Arylation of Heteroarenes with Isolated $[Pd(2,6\text{-}Me_2C_6H_3)(\mu\text{-}O_2CMe)(PAr_3)]_4$ Complexes, *Organometallics*, 2014, Vol. 33, No. 21, pp. 6247-6252.

[3] Y. Lin, N. Ichihara, Y. Nakajima, F. Ozawa, Disproportionation of Bis(phosphaethenyl)pyridine Iron(1) Bromide Induced by tBuNC, *Organometallics*, 2014, Vol. 33, No. 22, pp. 6700-6703.

[4] K. Takeuchi, A. Minami, Y. Nakajima, F. Ozawa, Synthesis and Structures of Nickel Complexes with a PN-Chelate Phosphaalkene Ligand, *Organometallics*, 2014, Vol. 33, No. 19, pp. 5365-5370.

[5] Y. Chang, Y. Nakajima, H. Tanaka, K. Yoshizawa, F. Ozawa, Mechanism of N-H Bond Cleavage of Aniline by a Dearomatized PNP-Pincer Type Phosphaalkene Complex of Iridium(I), *Organometallics*, 2014, Vol. 33, No. 3, pp. 715-721.

[6] M. Wakioka, N. Ichihara, Y. Kitano, F. Ozawa, A Highly Efficient Catalyst for the Synthesis of Alternating Copolymers with Thieno[3,4-c]pyrrole-4,6-dione Units via Direct Arylation Polymerization, *Macromolecules*, 2014, Vol. 47, No. 2, pp. 626-631.

[7] M. Wakioka, Y. Nakamura, Y. Hihara, F. Ozawa, S. Sakaki, Factors Controlling the Reactivity of Heteroarenes in Direct Arylation with Arylpalladium Acetate Complexes, *Organometallics*, 2013, Vol. 32, No. 15, pp. 4423-4430.

[8] Y. Chang, Y. Nakajima, H. Tanaka, K. Yoshizawa, F. Ozawa, Facile N-H Bond Cleavage of Ammonia by an Iridium Complex Bearing a Non-innocent PNP-Pincer Type Phosphaalkene Ligand, *Journal of The American Chemical Society*, 2013, Vol. 135, No. 32, pp. 11791-11794.

[9] Y. Nakajima, Y. Okamoto, Y. Chang, F. Ozawa, Synthesis, Structures, and Reactivity of Ruthenium Complexes with PNP-pincer Type Phosphaalkene Ligands, *Organometallics*, 2013, Vol. 32, No. 10, pp. 2918-2925.

[10] Y. Chang, Y. Nakajima, F. Ozawa, A Bis(phosphaethenyl)pyridine Complex of Iridium(I): Synthesis and Catalytic Application to N-Alkylation of Amines with Alcohols, *Organometallics*, 2013, Vol. 32, No. 7, pp. 2210-2215.

[11] M. Okazaki, W. Taniwaki, K. Miyagi, M. Takano, S. Kaneko, F. Ozawa, Lewis Acid Chemistry of a Cationic [CCH] Subunit in a Bisdisphenoidal Eight-Atom Tetrairon-Tetracarbon Cluster, *Organometallics*, 2013, Vol. 32, No. 6, pp. 1951-1957.

[12] M. Wakioka, Y. Kitano, F. Ozawa, A Highly Efficient Catalytic System for Polycondensation of 2,7-Dibromo-9,9-dioctylfluorene and 1,2,4,5-Tetrafluorobenzene via Direct Arylation, *Macromolecules*, 2013, Vol. 46, No. 2, pp. 370-374.

同位体利用化学講座

[1] H. Matsumura, N. Matsuda, Y. Kasugai, A. Toyoda, H. Yashima, S. Sekimoto, H. Iwase, K. Oishi, Y. Sakamoto, H. Nakashima, A. Leveling, D. Boehnlein, G. Lauten, N. Mokhov, K. Vaziri, Material Activation Benchmark Experiments at the NuMI Hadron Absorber Hall in Fermilab, *Nuclear Data Sheets*, 2014, Vol. 120, pp. 219-221.

[2] H. Nakashima, N. Mokhov, Y. Kasugai, N. Matsuda, Y. Iwamoto, Y. Sakamoto, D. Boehnlein, A. Leveling, K. Vaziri, R. Coleman, D. Jensen, E. Ramberg, A. Soha, T. Sanami, H. Matsumura, M. Hagiwara, A. Toyoda, H. Iwase, H. Hirayama, T. Nakamura, S. Sekimoto, H. Yashima, T. Kajimoto, N. Shigyo, K. Ishibashi, N. Nakao, N. Kinoshita, K. Oishi, H.S. Lee, K. Niita, Research activities on JASMIN: Japanese and American Study of Muon Interaction and Neutron detection, *Progress in Nuclear Science and Technology*, 2014, Vol. 4, pp. 191-196.

[3] Y. Kasamatsu, K. Toyomura, N. Shiohara, T. Yokokita, Y. Komori, A. Kino, T. Yoshimura, N. Takahashi, H. Haba, Y. Kudou, H. Kikunaga, T. Mitsugashira, T. Ohtsuki, K. Takamiya, A. Shinohara, Coprecipitation Behaviors of Zr, Hf, and Th with Sm Hydroxide for Chemical Study of Element 104, Rf, *Journal of Nuclear and Radiochemical Science*, 2014, Vol. 14, No. 2, pp. 7-11.

[4] H. Matsumura, S. Sekimoto, H. Yashima, A. Toyoda, N. Matsuda, K. Oishi, K. Bessho, Y. Sakamoto, H. Nakashima, D. Boehnlein, G. Lauten, A. Leveling, N. Mokhov, K. Vaziri, Radionuclides in the Cooling Water Systems for the NuMI Beamline and the Antiproton Production Target Station at Fermilab, *Progress in Nuclear Science and Technology*, 2014, Vol. 4, pp. 372-375.

[5] A. Toyoda, H. Matsumura, K. Masumoto, S. Sekimoto, H. Yashima, N. Matsuda, Y. Kasugai, Y. Sakamoto, H. Nakashima, G. Lauten, A. Leveling, N. Mokhov, K. Vaziri, K. Oishi, M. Kuroyanagi, F. Nobuhara, K. Takahashi, Comparison of Activity among Fluorescent Lamps and Light Emitting Diodes Lamps Exposed to Secondary Particles in

Accelerator Rooms, *Progress in Nuclear Science and Technology*, 2014, Vol. 4, pp. 384-387.

[6] K. Oishi, K. Kosako, Y. Kasugai, N. Matsuda, H. Yashima, S. Sekimoto, H. Matsumura, A. Toyoda, H. Iwase, N. Mokhov, A. Leveling, D. Boehnlein, K. Vaziri, H. Nakashima, Y. Sakamoto, Measurement and analysis of neutron and photon dose rate in concrete shield of 120-GeV proton accelerator facility, *Progress in Nuclear Science and Technology*, 2014, Vol. 4, pp. 197-200.

[7] N. Matsuda, Y. Kasugai, H. Matsumura, H. Iwase, A. Toyoda, H. Yashima, S. Sekimoto, K. Oishi, Y. Sakamoto, H. Nakashima, T. Nakamura, D. Boehnlein, G. Lauten, A. Leveling, N. Mokhov, K. Vaziri, Activation detector measurements at the hadron absorber of the NuMI neutrino beamline at Fermilab, *Progress in Nuclear Science and Technology*, 2014, Vol. 4, pp. 337-340.

[8] H. Yashima, S. Sekimoto, K. Ninomiya, Y. Kasamatsu, T. Shima, N. Takahashi, A. Shinohara, H. Matsumura, D. Satoh, Y. Iwamoto, M. Hagiwara, K. Nishiizumi, M.W. Caffee, S. Shibata, MEASUREMENTS OF THE NEUTRON ACTIVATION CROSS SECTIONS FOR BI AND COAT 386 MeV, *Radiation Protection Dosimetry*, 2014, Vol. 161, No. 1-4, pp. 139-143.

[9] Y. Shibahara, T. Kubota, T. Fujii, S. Fukutani, T. Ohta, K. Takamiya, R. Okumura, S. Mizuno, H. Yamana, Analysis of cesium isotope compositions in environmental samples by thermal ionization mass spectrometry-1. A preliminary study for source analysis of radioactive contamination in Fukushima prefecture, *Journal of Nuclear Science and Technology*, 2014, Vol. 51, No. 5, pp. 575-579.

[10] S. Nakamura, A. Kimura, F. Kitatani, M. Ohta, K. Furutaka, S. Goko, K. Hara, H. Harada, K. Hirose, T. Kin, M. Koizumi, M. Oshima, Y. Toh, K. Kino, F. Hiraga, T. Kamiyama, Y. Kiyanagi, T. Katabuchi, M. Mizumoto, M. Igashira, J. Hori, T. Fujii, S. Fukutani, K. Takamiya, Cross Section Measurements of the Radioactive 107Pd and Stable 105,108Pd Nuclei at J-PARC/MLF/ANNRI, *Nuclear Data Sheets*, 2014, Vol. 119, pp. 143-146.

[11] S. Sekimoto, H. Suzuki, H. Yashima, K. Ninomiya, Y. Kasamatsu, T. Shima, N. Takahashi, A. Shinohara, H. Matsumura, M. Hagiwara, K. Nishiizumi, M.W. Caffee, S. Shibata, Measurements of Cross Sections for Neutron-induced Reactions on Chromium and Yttrium Targets at 197 MeV, *Nuclear Data Sheets*, 2014, Vol. 119, pp. 197-200.

[12] H. Harada, M. Ohta, A. Kimura, K. Furutaka, K. Hirose, K. Hara, T. Kin, F. Kitatani, M. Koizumi, S. Nakamura, M. Oshima, Y. Toh, M. Igashira, T. Katabuchi, M. Mizumoto, K. Kino, Y. Kiyanagi, T. Fujii, S. Fukutani, J. Hori, K. Takamiya, Capture Cross-section Measurement of 241Am(n,γ) at J-PARC/MLF/ANNRI, *Nuclear Data Sheets*, 2014, Vol. 119, pp. 61-64.

[13] H. Tanaka, Y. Sakurai, M. Suzuki, S. Masunaga, K. Takamiya, A. Maruhashi, K. Ono, Development of a simple and rapid method of precisely identifying the position of B-10 atoms in tissue: an improvement in standard alpha autoradiography, *Journal of Radiation Research*, 2014, Vol. 55, No. 2, pp. 373-380.

[14] M. Tanigaki, R. Okumura, K. Takamiya, N. Sato, H. Yoshino, H. Yamana, Development of a carborne γ-ray survey system, KURAMA, *Nuclear Instruments & Methods in Physics Research Section A-Accelerators Spectrometers Detectors and Associated Equipment*, 2013, Vol. 726, pp. 162-168.

[15] S. Sekimoto, Y. Saito, D. Ito, Y. Homura, M. Ebihara, Y. Kawabata, Attempts for simultaneous observation of image and elemental component in a pottery sample using neutrons, *Physics Procedia*, 2013, Vol. 43, pp. 352-359.

[16] S. Sekimoto, M. Ebihara, Accurate Determination of Chlorine, Bromine, and Iodine in Sedimentary Rock Reference Samples by Radiochemical Neutron Activation Analysis and a Detailed Comparison with Inductively Coupled Plasma Mass Spectrometry Literature Data, *Analytical Chemistry*, 2013, Vol. 85, No. 13, pp. 6336-6341.

[17] S. Sekimoto, T. Omoto, H. Joto, T. Utsunomiya, H. Yashima, K. Ninomiya, K. Welten, M. Caffee, Y. Matsushi, H. Matsuzaki, R. Nakagaki, T. Shima, N. Takahashi, A. Shinohara, H. Matsumura, D. Satoh, Y. Iwamoto, M. Hagiwara, K. Nishiizumi, S. Shibata, Measurements of cross sections for production of light nuclides by 300 MeV-proton bombardment of Cu and Y, *Nuclear Instruments and Method in Physics Research B*, 2013, Vol. 294, pp. 475-478.

[18] T. Ohta, Y. Mahara, T. Kubota, T. Abe, H. Matsueda, T. Tokunaga, S. Sekimoto, K. Takamiya, S. Fukutani, H. Matsuzaki, Separation and measurement of 129I and 127I in pre-nuclear-era marine algae with ultra-low 129I/127I isotopic ratios, *Nuclear Instruments and Method in Physics Research B*, 2013, Vol. 294, pp. 559-562.

融合物質エネルギー化学講座 融合有機化学分野

融合物質エネルギー化学講座 分子プローブ合成分野

[1] H. Nagai, K. Nishiyama, Y. Seino, Y. Kimura, Y. Tabata, M. Okamoto, Fascia implantation with fibroblast growth factor on vocal fold paralysis, *American Journal of Otolaryngology*, 2013, Vol. 34, No. 4, pp. 331-336.

[2] H. Komatsu, K. Yoshihara, H. Yamada, Y. Kimura, A. Son, S. Nishimoto, K. Tanabe, Ruthenium Complexes with Hydrophobic Ligands That Are Key Factors for the Optical Imaging of Physiological Hypoxia, *Chemistry-A European Journal*, 2013, Vol. 19, No. 6, pp. 1971-1977.

分子工学専攻

生体分子機能化学講座

[1] N. Tsutsumi, T. Kimura, K. Arita, M. Ariyoshi, H. Ohnishi, T. Yamamoto, X. Zuo, K. Maenaka, E.Y. Park, N. Kondo, M. Shirakawa, H. Tochio, Z. Kato, The structural basis for receptor recognition of human interleukin-18, *Nature Communications*, 2014, Vol. 5, p. 5340.

[2] T. Sugi, Y. Ohtani, Y. Kumiya, R. Igarashi, M. Shirakawa, High-throughput optical quantification of mechanosensory habituation reveals neurons encoding memory in Caenorhabditis elegans, *Proceedings of The National Academy of Sciences of The United States of America*, 2014, Vol. 111, No. 48, pp. 17236-17241.

[3] Takeshi K., Naotaka T., Kyohei A., Mariko A., Hidenori O., Naomi K., Masahiro S., Zenichiro K., Hidehito T., Purification, crystallization and preliminary X-ray crystallographic analysis of human IL-18 and its extracellular complexes, *Acta Crystallographica. Section F, Structural Biology Communications*, 2014, Vol. 70, No. pt 10, pp. 1351-1356.

[4] S. Sotoma, Y. Yoshinari, R. Igarashi, A. Yamazaki, S. Yoshimura, H. Tochio, M. Shirakawa, Y. Harada, Effective production of fluorescent nanodiamonds containing negatively-charged nitrogen-vacancy centers by ion irradiation, *Diamond and Related Materials*, 2014, Vol. 49, pp. 33-38.

[5] T. Entani, K. Kubo, S. Isogai, Y. Fukao, M. Shirakawa, A. Isogai, S. Takayama, Ubiquitin-proteasome-mediated degradation of S-RNase in a solanaceous cross-compatibility reaction, *Plant Journal*, 2014, Vol. 78, No. 6, pp. 1014-1021.

[6] E. Walinda, D. Morimoto, K. Sugase, T. Konuma, H. Tochio, M. Shirakawa, Solution Structure of the Ubiquitin-associated (UBA) Domain of Human Autophagy Receptor NBR1 and Its Interaction with Ubiquitin and Polyubiquitin, *Journal of Biological Chemistry*, 2014, Vol. 289, No. 20, pp. 13890-13902.

[7] T. Yamamoto, N. Tsutsumi, H. Tochio, H. Ohnishi, K. Kubota, Z. Kato, M. Shirakawa, N. Kondo, Functional assessment of the mutational effects of human IRAK4 and MyD88 genes, *Molecular immunology*, 2014, Vol. 58, No. 1, pp. 66-76.

[8] A.C. Berkyurek, I. Suetake, K. Arita, K. Takeshita, A. Nakagawa, M. Shirakawa, S. Tajima, The DNA Methyltransferase Dnmt1 Directly Interacts with the SET and RING Finger-associated (SRA) Domain of the Multifunctional Protein Uhrf1 to Facilitate Accession of the Catalytic Center to Hemi-methylated DNA, *Journal of Biological Chemistry*, 2014, Vol. 289, No. 1, pp. 379-386.

[9] Y. Takaoka, Y. Kioi, A. Morito, J. Otani, K. Arita, E. Ashihara, M. Ariyoshi, H. Tochio, M. Shirakawa, I. Hamachi, Quantitative comparison of protein dynamics in live cells and in vitro by in-cell F-19-NMR, *Chemical Communications*, 2013, Vol. 49, No. 27, pp. 2801-2803.

[10] J. Otani, H. Kimura, J. Sharif, T.A. Endo, Y. Mishima, T. Kawakami, H. Koseki, M. Shirakawa, I. Suetake, S. Tajima, Cell Cycle-Dependent Turnover of 5-Hydroxymethyl Cytosine in Mouse Embryonic Stem Cells, *PLOS ONE*, 2013, Vol. 8, No. 12, p. e82961.

[11] D.S.S. Hembram, T. Haremaki, J. Hamatsu, J. Inoue, H. Kamoshida, T. Ikeya, M. Mishima, T. Mikawa, N. Hayashi, M. Shirakawa, Y. Ito, An in-cell NMR study of monitoring stress-induced increase of cytosolic Ca2+ concentration in HeLa cells, *Biochemical and Biophysical Research Communications*, 2013, Vol. 438, No. 4, pp. 653-659.

[12] Y. Hori, T. Norinobu, M. Sato, K. Arita, M. Shirakawa, K. Kikuchi, Development of Fluorogenic Probes for Quick No-Wash Live-Cell Imaging of Intracellular Proteins, *Journal of The American Chemical Society*, 2013, Vol. 135, No. 33, pp. 12360-12365.

[13] J. Danielsson, K. Inomata, S. Murayama, H. Tochio, L. Lang, M. Shirakawa, M. Oliveberg, Pruning the ALS-Associated Protein SOD1 for in-Cell NMR, *Journal of the American Chemical Society*, 2013, Vol. 135, No. 28, pp. 10266-10269.

[14] N. Iwaya, H. Takasu, N. Goda, M. Shirakawa, T. Tanaka, D. Hamada, H. Hiroaki, MIT domain of Vps4 is a Ca2+-dependent phosphoinositide-binding domain, *Journal of Biochemistry*, 2013, Vol. 153, No. 5, pp. 473-481.

[15] J. Otani, K. Arita, T. Kato, M. Kinoshita, H. Kimura, I. Suetake, S. Tajima, M. Ariyoshi, M. Shirakawa, Structural Basis of the Versatile DNA Recognition Ability of the Methyl-CpG Binding Domain of Methyl-CpG Binding Domain Protein 4, *Journal of Biological Chemistry*, 2013, Vol. 288, No. 9, pp. 6351-6362.

[16] M. Unoki, A. Masuda, N. Dohmae, K. Arita, M. Yoshimatsu, Y. Iwai, Y. Fukui, K. Ueda, R. Hamamoto, M. Shirakawa, H. Sasaki, Y. Nakamura, Lysyl 5-Hydroxylation, a Novel Histone Modification, by Jumonji Domain Containing 6 (JMJD6), *Journal of Biological Chemistry*, 2013, Vol. 288, No. 9, pp. 6053-6062.

[17] J. Hamatsu, D. O'Donovan, T. Tanaka, T. Shirai, Y. Hourai, T. Mikawa, T. Ikeya, M. Mishima, W. Boucher, B.O. Smith, E.D. Laue, M. Shirakawa, Y. Ito, High-Resolution Heteronuclear Multidimensional NMR of Proteins in Living Insect Cells Using a Baculovirus Protein Expression System, *Journal of The American Chemical Society*, 2013, Vol. 135, No. 5, pp. 1688-1691.

[18] T. Muraoka, K. Adachi, M. Ui, S. Kawasaki, N. Sadhukhan, H. Obara, H. Tochio, M. Shirakawa,

K. Kinbara, A Structured Monodisperse PEG for the Effective Suppression of Protein Aggregation, *Angewandte Chemie International Edition*, 2013, Vol. 52, No. 9, pp. 2430-2434.

[19] Y. Han, H. Yokota, M. Ariyoshi, Y. Tsunaka, T. Iwasa, R. Yokokawa, R. Hiramatsu, D. Chiba, T. Ono, Y. Harada, Characterization of SRA-Methylated DNA Complexes Dynamics Related to Chromatin Structure Regulation, *Biophysical Journal*, 2013, Vol. 104, No. 2, pp. 255A-255A.

[20] Y. Hattori, K. Furuita, I. Ohki, T. Ikegami, H. Fukada, M. Shirakawa, T. Fujiwara, C. Kojima, Utilization of lysine C-13-methylation NMR for protein-protein interaction studies, *Journal of Biomolecular NMR*, 2013, Vol. 55, No. 1, pp. 19-31.

[21] Y. Mishima, M. Watanabe, T. Kawakami, C.D. Jayasinghe, J. Otani, Y. Kikugawa, M. Shirakawa, H. Kimura, O. Nishimura, S. Aimoto, S. Tajima, I. Suetake, Hinge and Chromoshadow of HP1 alpha Participate in Recognition of K9 Methylated Histone H3 in Nucleosomes, *Journal of Molecular Biology*, 2013, Vol. 425, No. 1, pp. 54-70.

分子理論化学講座

[1] H. Nakano, J. Noguchi, T. Mochida, H. Sato, Theoretical Studies on the Electronic States and Liquid Structures of Ferrocenium-Based Ionic Liquids, *The Journal of Physical Chemistry A*, 2014, Vol. 119, No. 21, pp. 5181-5188.

[2] T. Wada, H. Nakano, H. Sato, Solvatochromic Shift of Brooker 's Merocyanine: Hartree-Fock Exchange in Time Dependent Density Functional Calculation and Hydrogen Bonding Effect, *Journal of Chemical Theory and Computation*, 2014, Vol. 10, No. 10, pp. 4535-4547.

[3] K. Kido, K. Kasahara, H. Sato, S. Sakaki, A molecular level study of selective cation capture by a host—guest mechanism for 25,26,27,28-tetramethoxycalix[4]arene in MClO , *Molecular Simulation*, 2014, Vol. 41, No. 10-12, pp. 881-891.

[4] K. Kasahara, H. Sato, Development of three-dimensional site-site Smoluchowski-Vlasov equation and application to electrolyte solutions, *The Journal of Chemical Physics*, 2014, Vol. 140, No. 24, 244110.

[5] T. Inagaki, S. Aono, H. Nakano, T. Yamamoto, Like-Charge Attraction of Molecular Cations in Water: Subtle Balance between Interionic Interactions and Ionic Solvation Effect, *Journal of Physical Chemistry B*, 2014, Vol. 118, No. 20, pp. 5499-5508.

[6] N. Uchida, T. Sato, J. Kuwabara, Y. Nishimura, T. Kanbara, Delayed Fluorescence Behaviors of Aminopyridine Oligomers: Azacalix[n](2,6)pyridines (n=3 and 4) and Their Linear Analog, *Chemistry Letters*, 2014, Vol. 43, No. 4, pp. 459-461.

[7] T. Sato, E. Lijnen, A. Ceulernans, Jahn-Teller Instability of Icosahedral [W@Au-12](-), *Journal of Chemical Theory and Computation*, 2014, Vol. 10, No. 2, pp. 613-622.

[8] K. Suda, M. Terazima, H. Sato, Y. Kimura, Excitation Wavelength Dependence of Excited State Intramolecular Proton Transfer Reaction of 4 ′-N,N-Diethylamino-3-hydroxyflavone in Room Temperature Ionic Liquids Studied by Optical Kerr Gate Fluorescence Measurement, *The Journal of Physical Chemistry B*, 2013, Vol. 117, No. 41, pp. 12567-12582.

[9] Y. Matsumura, K. Iida, H. Sato, Theoretical study on the ionization of aniline in aqueous solutions, *Chemical Physics Letters*, 2013, Vol. 584, pp. 103-107.

[10] S. Hayaki, Y. Kimura, H. Sato, Ab Initio Study on an Excited-State Intramolecular Proton-Transfer Reaction in Ionic Liquid, *Journal of Physical Chemistry B*, 2013, Vol. 117, No. 22, pp. 6759-6767.

[11] K. Hirano, H. Sato, A theoretical study on the electronic structure of PYP chromophore in low barrier hydrogen bonding model, *Chemical Physics*, 2013, Vol. 419, pp. 163-166.

[12] H. Sato, A modern solvation theory: quantum chemistry and statistical chemistry, *Physical Chemistry Chemical Physics*, 2013, Vol. 15, No. 20, pp. 7450-7465.

[13] T. Sato, M. Uejima, N. Iwahara, N. Haruta, K. Shizu, K. Tanaka, Vibronic coupling density and related concepts, *XXIST International Symposium on The Jahn-Teller Effect 2012*, 2013, Vol. 428, p. 012010.

[14] N. Haruta, T. Sato, N. Iwahara, K. Tanaka, Vibronic couplings in cycloadditions to fullerenes, *XXIST International Symposium on The Jahn-Teller Effect 2012*, 2013, Vol. 428, p. 012003.

[15] H. Nakano, T. Yamamoto, Accurate and Efficient Treatment of Continuous Solute Charge Density in the Mean-Field QM/MM Free Energy Calculation, *Journal of Chemical Theory and Computation*, 2013, Vol. 9, No. 1, pp. 188-203.

量子機能化学講座

[1] M. Uejima, T. Sato, D. Yokoyama, K. Tanaka, J. Park, Quantum yield in blue-emitting anthracene derivatives: vibronic coupling density and transition dipole moment density, *Physical Chemistry Chemical Physics*, 2014, Vol. 16, No. 27, pp. 14244-14256.

[2] J. Ohshita, M. Nakashima, D. Tanaka, Y. Morihara, H. Fueno, K. Tanaka, Preparation of a D-A polymer with disilanobithiophene as a new donor component and application to high-voltage bulk heterojunction polymer solar cells, *Polymer Chemistry*, 2014, Vol. 5, No. 2, pp. 346-349.

[3] Y. Kameoka, M. Uebe, A. Ito, T. Sato, K. Tanaka, Fluorescent triphenylamine derivative: Theoret-

ical design based on reduced vibronic coupling, *Chemical Physics Letters*, 2014, Vol. 615, pp. 44-49.

[4] Y. Shoji, S. Kaneda, H. Fueno, K. Tanaka, K. Tamao, D. Hashizume, T. Matsuo, An Isolable Diborane(4) Compound with Terminal B-H Bonds: Structural Characteristics and Electronic Properties, *Chemistry Letters*, 2014, Vol. 43, No. 10, pp. 1587-1589.

[5] T. Maegawa, Y. Irie, H. Fueno, K. Tanaka, K. Naka, Synthesis and Polymerization of a para-Disubstituted T8-caged Hexaisobutyl-POSS Monomer, *Chemistry Letters*, 2014, Vol. 43, No. 10, pp. 1532-1534.

[6] D. Sakamaki, A. Ito, T. Matsumoto, K. Tanaka, Electronic structure of tetraaza[1.1.1.1]o,p,o,p-cyclophane and its oxidized states, *RSC Advances*, 2014, Vol. 4, No. 74, pp. 39476-39483.

[7] N. Haruta, T. Sato, K. Tanaka, Regioselectivity in multiple cycloadditions to fullerene C-60: vibronic coupling density analysis, *Tetrahedron*, 2014, Vol. 70, No. 21, pp. 3510-3513.

[8] Y. Kameoka, T. Sato, T. Koyama, K. Tanaka, T. Kato, Pseudo Jahn-Teller origin of distortion in [6]cycloparaphenylene, *Chemical Physics Letters*, 2014, Vol. 598, pp. 69-74.

[9] M. Kobayashi, N. Hayakawa, K. Nakabayashi, T. Matsuo, D. Hashizume, H. Fueno, K. Tanaka, K. Tamao, Highly Coplanar (E)-1,2-Di(1-naphthyl)disilene Involving a Distinct CH-pi Interaction with the Perpendicularly Oriented Protecting Eind Group, *Chemistry Letters*, 2014, Vol. 43, No. 4, pp. 432-434.

[10] M. Uejima, T. Sato, K. Tanaka, H. Kaji, Vibronic coupling density analysis for the chain-length dependence of reorganization energies in oligofluorenes: a comparative study with oligothiophenes, *Physical Chemistry Chemical Physics*, 2013, Vol. 15, No. 33, pp. 14006-14016.

[11] N. Iwahara, T. Sato, K. Tanaka, H. Kaji, Vibronic couplings in C-60 derivatives for organic photovoltaics, *Chemical Physics Letters*, 2013, Vol. 590, pp. 169-174.

[12] A. Ito, R. Kurata, D. Sakamaki, S. Yano, Y. Kono, Y. Nakano, K. Furukawa, T. Kato, K. Tanaka, Redox Modulation of para-Phenylenediamine by Substituted Nitronyl Nitroxide Groups and Their Spin States, *Journal of Physical Chemistry A*, 2013, Vol. 117, No. 48, pp. 12858-12867.

[13] N. Iwahara, T. Sato, K. Tanaka, T. Tanaka, Vibronically induced activation mechanism in photocatalysis of highly dispersed vanadium oxide supported on silica, V2O5/SiO2: Evidence in phosphorescence spectra, *Chemical Physics Letters*, 2013, Vol. 584, pp. 63-66.

[14] N. Haruta, T. Sato, K. Tanaka, M. Baron, Reaction mechanism in the mechanochemical synthesis of dibenzophenazine: application of vibronic coupling density analysis, *Tetrahedron Letters*, 2013, Vol. 54, No. 44, pp. 5920-5923.

[15] D. Sakamaki, A. Ito, K. Furukawa, T. Kato, K. Tanaka, Meta-Para-Linked Octaaza[1(8)]cyclophanes and Their Polycationic States, *Journal of Organic Chemistry*, 2013, Vol. 78, No. 7, pp. 2947-2956.

応用反応化学講座 触媒反応化学分野

[1] H. Masai, T. Tanimoto, S. Okumura, K. Teramura, S. Matsumoto, T. Yanagida, Y. Tokuda, T. Yoko, Correlation between preparation conditions and the photoluminescence properties of Sn2+ centers in ZnO-P2O5 glasses, *Journal of Materials Chemistry C*, 2014, Vol. 2, No. 12, pp. 2137-2143.

[2] Y. Hitomi, K. Aoki, R. Miyachi, J. Ohyama, M. Kodera, T. Tanaka, F. Sugihara, Gold Nanoparticles Coated with Manganese-Porphyrin That Effectively Shorten the Longitudinal Relaxation Time of Water Molecules Depending on the Particle Size, *Chemistry Letters*, 2014, Vol. 43, No. 12, pp. 1901-1903.

[3] K. Sato, S. Yagi, S. Zaitsu, G. Kitayama, Y. Kayada, K. Teramura, Y. Takita, K. Nagaoka, Inhibition of Ammonia Poisoning by Addition of Platinum to Ru/alpha-Al2O3 for Preferential CO Oxidation in Fuel Cells, *ChemSusChem*, 2014, Vol. 7, No. 12, pp. 3264-3267.

[4] Y. Masui, J. Wang, K. Teramura, T. Kogure, T. Tanaka, M. Onaka, Unique structural characteristics of tin hydroxide nanoparticles-embedded montmorillonite (Sn-Mont) demonstrating efficient acid catalysis for various organic reactions, *Microporous and Mesoporous Materials*, 2014, Vol. 198, pp. 129-138.

[5] L. Deng, T. Shishido, K. Teramura, T. Tanaka, Effect of reduction method on the activity of Pt-Sn/Si02 for dehydrogenation of propane, *Catalysis Today*, 2014, Vol. 232, pp. 33-39.

[6] L. Deng, H. Miura, T. Shishido, S. Hosokawa, K. Teramura, T. Tanaka, Dehydrogenation of Propane over Silica-Supported Platinum-Tin Catalysts Prepared by Direct Reduction: Effects of Tin/Platinum Ratio and Reduction Temperature, *ChemCatChem*, 2014, Vol. 6, No. 9, pp. 2680-2691.

[7] H. Asakura, T. Shishido, S. Fuchi, K. Teramura, T. Tanaka, Local Structure of Pr, Nd, and Sm Complex Oxides and Their X-ray Absorption Near Edge Structure Spectra, *Journal of Physical Chemistry C*, 2014, Vol. 118, No. 36, pp. 20881-20888.

[8] A. Yamamoto, J. Ohyama, K. Teramura, T. Shishido, T. Tanaka, Effect of a crystalline phase of TiO2 photocatalysts on the photodeposition of Rh metal nanoparticles, *Catalysis Today*, 2014, Vol. 232, pp. 165-170.

[9] S. Furukawa, T. Shishido, K. Teramura, T. Tanaka, Selective Aerobic Oxidation of Primary

Alcohols to Aldehydes over Nb2O5 Photocatalyst with Visible Light, *ChemPhysChem*, 2014, Vol. 15, No. 13, pp. 2665-2667.

[10] K. Teramura, H. Tsuneoka, K. Ogura, T. Sugimoto, T. Shishido, T. Tanaka, Photoactivation of Molecular Oxygen by an Iron(III) Porphyrin with a Magnesium Aluminum Layered Double Hydroxide for the Aerobic Epoxidation of Cyclohexene, *ChemCatChem*, 2014, Vol. 6, No. 8, pp. 2276-2281.

[11] K. Teramura, Z. Wang, S. Hosokawa, Y. Sakata, T. Tanaka, A Doping Technique that Suppresses Undesirable H-2 Evolution Derived from Overall Water Splitting in the Highly Selective Photocatalytic Conversion of CO2 in and by Water, *Chemistry-A European Journal*, 2014, Vol. 20, No. 32, pp. 9906-9909.

[12] T. Kitano, T. Hayashi, T. Uesaka, T. Shishido, K. Teramura, T. Tanaka, Effect of High-Temperature Calcination on the Generation of Bronsted Acid Sites on WO3/Al2O3, *ChemCatChem*, 2014, Vol. 6, No. 7, pp. 2011-2020.

[13] Z. Wang, K. Teramura, T. Shishido, T. Tanaka, Characterization of Cu Nanoparticles on TiO2 Photocatalysts Fabricated by Electroless Plating Method, *Topics in Catalysis*, 2014, Vol. 57, No. 10-13, pp. 975-983.

[14] H. Asakura, T. Shishido, K. Teramura, T. Tanaka, Local Structure and La L-1 and L-3-Edge XANES Spectra of Lanthanum Complex Oxides, *Inorganic Chemistry*, 2014, Vol. 53, No. 12, pp. 6048-6053.

[15] S. Hosokawa, Y. Masuda, T. Nishimura, K. Wada, R. Abe, M. Inoue, Catalytic Properties of Mn-Modified Hexagonal YbFeO3: Noble-metal-free Combustion Catalysts, *Chemistry Letters*, 2014, Vol. 43, No. 6, pp. 874-876.

[16] J. Zhang, J. Teo, X. Chen, H. Asakura, T. Tanaka, K. Teramura, N. Yan, A Series of NiM (M = Ru, Rh, and Pd) Bimetallic Catalysts for Effective Lignin Hydrogenolysis in Water, *ACS Catalysis*, 2014, Vol. 4, No. 5, pp. 1574-1583.

[17] T. Kitano, T. Shishido, K. Teramura, T. Tanaka, Acid property of Nb2O5/Al2O3 prepared by impregnation method by using niobium oxalate solution: Effect of pH on the structure and acid property, *Catalysis Today*, 2014, Vol. 226, pp. 97-102.

[18] 細川 三郎, 有機溶媒中でのソルボサーマル反応を利用した金属酸化物ナノ結晶の合成 (特集 特殊環境場を利用した材料合成), 触媒, 2014, Vol. 56, No. 1, pp. 8-13.

[19] 寺村 謙太郎, 山本 旭, 山添 誠司, 吸着分子の固体表面上での光活性化から始まる光触媒反応とその反応機構解明 (特集 光触媒反応機構に関する最新の研究動向), 触媒, 2014, Vol. 56, No. 2, pp. 114-119.

[20] H. Duan, N. Yan, R. Yu, C. Chang, G. Zhou, H. Hu, H. Rong, Z. Niu, J. Mao, H. Asakura, T. Tanaka, P.J. Dyson, J. Li, Y. Li, Ultrathin rhodium nanosheets, *Nature Communications*, 2014, Vol. 5, p. 3093.

[21] A. Yamamoto, Y. Mizuno, K. Teramura, T. Shishido, T. Tanaka, Effects of reaction temperature on the photocatalytic activity of photo-SCR of NO with NH3 over a TiO2 photocatalyst, *Catalysis Science & Technology*, 2013, Vol. 3, No. 7, pp. 1771-1775.

[22] H. Masai, Y. Yamada, Y. Suzuki, K. Teramura, Y. Kanemitsu, T. Yoko, Narrow Energy Gap between Triplet and Singlet Excited States of Sn2+ in Borate Glass, *Scientific Reports*, 2013, Vol. 3, p. 3541.

[23] N. Iwahara, T. Sato, K. Tanaka, T. Tanaka, Vibronically induced activation mechanism in photocatalysis of highly dispersed vanadium oxide supported on silica, V2O5/SiO2: Evidence in phosphorescence spectra, *Chemical Physics Letters*, 2013, Vol. 584, pp. 63-66.

[24] P. Boron, L. Chmielarz, J. Gurgul, K. Latka, T. Shishido, J. Krafft, S. Dzwigaj, BEA zeolite modified with iron as effective catalyst for N2O decomposition and selective reduction of NO with ammonia, *Applied Catalysis B-Environmental*, 2013, Vol. 138, pp. 434-445.

[25] S. Kitano, N. Murakami, T. Ohno, Y. Mitani, Y. Nosaka, H. Asakura, K. Teramura, T. Tanaka, H. Tada, K. Hashimoto, H. Kominami, Bifunctionality of Rh3+ Modifier on TiO2 and Working Mechanism of Rh3+/TiO2 Photocatalyst under Irradiation of Visible Light, *Journal of Physical Chemistry C*, 2013, Vol. 117, No. 21, pp. 11008-11016.

[26] T. Kitano, S. Okazaki, T. Shishido, K. Teramura, T. Tanaka, Bronsted acid generation of alumina-supported molybdenum oxide calcined at high temperatures: Characterization by acid-catalyzed reactions and spectroscopic methods, *Journal of Molecular Catalysis A-Chemical*, 2013, Vol. 371, pp. 21-28.

[27] 田中 庸裕, 26pXB-2 固体触媒・二次電池材料と界面化学 (26pXB 領域 8, 領域 3, 領域 4, 領域 7, 領域 9, 領域 10 合同シンポジウム:元素戦略が促進する分野融合と物理, 領域 8(強相関系:高温超伝導, 強相関 f 電子系など)), 日本物理学会講演概要集, 2013, Vol. 68, No. 1, p. 582.

[28] 田中 庸裕, 26pXB-2 固体触媒・二次電池材料と界面化学 (26pXB 領域 8, 領域 3, 領域 4, 領域 7, 領域 9, 領域 10 合同シンポジウム:元素戦略が促進する分野融合と物理, 領域 4(半導体, メゾスコピック系・局在)), 日本物理学会講演概要集, 2013, Vol. 68, No. 1, p. 746.

[29] 田中 庸裕, 山田 淳夫, 江原 正博, 触媒・電池材料グループが目指すもの, ぶんせき, 2013, No. 461, pp. 282-286.

[30] 和田 健司, 三浦 大樹, 細川 三郎, 井上 正志, グリーン有機分子変換プロセスを指向したセリア担持ルテニウム触媒の開発, *Journal of the Japan Petroleum Institute*, 2013, Vol. 56, No. 2, pp. 69-79.

[31] X. Yuan, G. Sun, H. Asakura, T. Tanaka, X. Chen, Y. Yuan, G. Laurenczy, Y. Kou, P.J. Dyson, N. Yan, Development of Palladium Surface-Enriched Heteronuclear Au-Pd Nanoparticle Dehalogenation Catalysts in an Ionic Liquid, *Chemistry-A European Journal*, 2013, Vol. 19, No. 4, pp. 1227-1234.

[32] S. Furukawa, Y. Ohno, T. Shishido, K. Teramura, T. Tanaka, Reaction Mechanism of Selective Photooxidation of Amines over Niobium Oxide: Visible-Light-Induced Electron Transfer between Adsorbed Amine and Nb2O5, *Journal of Physical Chemistry C*, 2013, Vol. 117, No. 1, pp. 442-450.

[33] 細川 三郎, 久井 一駿, 和田 健司, 井上 正志, 阿部 竜, グリコサーマル合成した $Y_3Ga_5O_{<}12>$の焼成過程における構造変化, 希土類, 2013, No. 62, pp. 154-155.

[34] 田中 庸裕, TRANSITION, 觸媒, 2013, Vol. 55, No. 3, p. 123.

[35] T. Nishimura, S. Hosokawa, Y. Masuda, K. Wada, M. Inoue, Synthesis of metastable rare-earth-iron mixed oxide with the hexagonal crystal structure, *Journal of Solid State Chemistry*, 2013, Vol. 197, pp. 402-407.

[36] M. Fukada, K. Shibata, T. Imai, S. Yamazoe, S. Hosokawa, T. Wada, Fabrication of lead-free piezoelectric NaNbO3 ceramics at low temperature using NaNbO3 nanoparticles synthesized by solvothermal method, *Journal of The Ceramic Society of Japan*, 2013, Vol. 121, No. 1409, pp. 116-119.

応用反応化学講座 光有機化学分野

[1] T. Umeyama, Y. Watanabe, T. Miyata, H. Imahori, Synthesis of Thienothiadiazole-Benzothiadiazole Alternating Copolymers and Their Application to Bulk Heterojunction Solar Cells, *Chemistry Letters*, 2014, Vol. 43, No. 12, pp. 1876-1878.

[2] Y. Matano, Y. Hayashi, H. Nakano, H. Imahori, N,S,P-Hybrid Donor-pi-Acceptor Organic Dyes for Dye-Sensitized Solar Cell: Synthesis, Optical Properties, and Photovoltaic Performances, *Heteroatom Chemistry*, 2014, Vol. 25, No. 6, pp. 533-547.

[3] R. Tao, T. Umeyama, K. Kurotobi, H. Imahori, Effects of Alkyl Chain Length and Substituent Pattern of Fullerene Bis-Adducts on Film Structures and Photovoltaic Properties of Bulk Heterojunction Solar Cells, *ACS Applied Materials & Interfaces*, 2014, Vol. 6, No. 19, pp. 17313-17322.

[4] G. Murugadoss, G. Mizuta, S. Tanaka, H. Nishino, T. Umeyama, H. Imahori, S. Ito, Double functions of porous TiO2 electrodes on CH3NH3PbI3 perovskite solar cells: Enhancement of perovskite crystal transformation and prohibition of short circuiting, *Apl Materials*, 2014, Vol. 2, No. 8, p. 081511.

[5] T. Umeyama, H. Imahori, Design and control of organic semiconductors and their nanostructures for polymer-fullerene-based photovoltaic devices, *Journal of Materials Chemistry A*, 2014, Vol. 2, No. 30, pp. 11545-11560.

[6] S. Zhou, Y. Hashida, S. Kawakami, J. Mihara, T. Umeyama, H. Imahori, T. Murakami, F. Yamashita, M. Hashida, Preparation of immunostimulatory single-walled carbon nanotube/CpG DNA complexes and evaluation of their potential in cancer immunotherapy, *International Journal of Pharmaceutics*, 2014, Vol. 471, No. 1-2, pp. 214-223.

[7] B. Mukherjee, S. Gupta, A. Peterson, H. Imahori, A. Manivannan, V.(. Subramanian, A Unique Architecture Based on 1D Semiconductor, Reduced Graphene Oxide, and Chalcogenide with Multifunctional Properties, *Chemistry-A European Journal*, 2014, Vol. 20, No. 33, pp. 10456-10465.

[8] T. Murakami, H. Nakatsuji, N. Morone, J.E. Heuser, F. Ishidate, M. Hashida, H. Imahori, Mesoscopic Metal Nanoparticles Doubly Functionalized with Natural and Engineered Lipidic Dispersants for Therapeutics, *ACS Nano*, 2014, Vol. 8, No. 7, pp. 7370-7376.

[9] Y. Matano, H. Ohkubo, T. Miyata, Y. Watanabe, Y. Hayashi, T. Umeyama, H. Imahori, Phosphole- and Benzodithiophene- Based Copolymers: Synthesis and Application in Organic Photovoltaics, *European Journal of Inorganic Chemistry*, 2014, Vol. 2014, No. 10, pp. 1620-1624.

[10] M.J. Bird, O.G. Reid, A.R. Cook, S. Asaoka, Y. Shibano, H. Imahori, G. Rumbles, J.R. Miller, Mobility of Holes in Oligo- and Polyfluorenes of Defined Lengths, *Journal of Physical Chemistry C*, 2014, Vol. 118, No. 12, pp. 6100-6109.

[11] H. Hakola, A.P. Perros, P. Myllyperkio, K. Kurotobi, H. Lipsanen, H. Imahori, H. Lemmetyinen, N.V. Tkachenko, Photo-induced electron transfer at nanostructured semiconductor-zinc porphyrin interface, *Chemical Physics Letters*, 2014, Vol. 592, pp. 47-51.

[12] M. Yamamoto, Y. Takano, Y. Matano, K. Stranius, N.V. Tkachenko, H. Lemmetyinen, H. Imahori, Slow Charge Recombination and Enhanced Photoelectrochemical Properties of Diazaporphyrin-Fullerene Linked Dyad, *Journal of Physical Chemistry C*, 2014, Vol. 118, No. 4, pp. 1808-1820.

[13] Y. Hashida, H. Tanaka, S. Zhou, S. Kawakami, F. Yamashita, T. Murakami, T. Umeyama, H. Imahori, M. Hashida, Photothermal ablation of tumor cells using a single-walled carbon nanotube-peptide composite, *Journal of Controlled Release*, 2014, Vol. 173, pp. 59-66.

[14] K. Kohara, S. Yamamoto, L. Seinberg, T. Murakami, M. Tsujimoto, T. Ogawa, H. Kurata, H. Kageyama, M. Takano, Carboxylated SiO2-coated alpha-Fe nanoparticles: towards a versatile platform for biomedical applications, *Chem-*

ical Communications, 2013, Vol. 49, No. 25, pp. 2563-2565.

[15] V. Manninen, M. Niskanen, T.I. Hukka, F. Pasker, S. Claus, S. Hoeger, J. Baek, T. Umeyama, H. Imahori, H. Lemmetyinen, Conjugated donor-acceptor (D-A) copolymers in inverted organic solar cells - a combined experimental and modelling study, *Journal of Materials Chemistry A*, 2013, Vol. 1, No. 25, pp. 7451-7462.

[16] S. Mathew, T. Murakami, H. Nakatsuji, H. Okamoto, N. Morone, J.E. Heuser, M. Hashida, H. Imahori, Exclusive Photothermal Heat Generation by a Gadolinium Bis(naphthalocyanine) Complex and Inclusion into Modified High-Density Lipoprotein Nanocarriers for Therapeutic Applications, *ACS Nano*, 2013, Vol. 7, No. 10, pp. 8908-8916.

[17] T. Umeyama, Y. Watanabe, E. Douvogianni, H. Imahori, Effect of Fluorine Substitution on Photovoltaic Properties of Benzothiadiazole-Carbazole Alternating Copolymers, *Journal of Physical Chemistry C*, 2013, Vol. 117, No. 41, pp. 21148-21157.

[18] Y. Matano, Y. Hayashi, K. Suda, Y. Kimura, H. Imahori, Synthesis of 2-Alkenyl- and 2-Alkynyl-benzo[b]phospholes by Using Palladium-Catalyzed Cross-Coupling Reactions, *Organic Letters*, 2013, Vol. 15, No. 17, pp. 4458-4461.

[19] K. Kurotobi, K. Kawamoto, Y. Toude, Y. Fujimori, Y. Kinjo, S. Ito, Y. Matano, H. Imahori, Synthesis and Photovoltaic Properties of Phenylethynyl-substituted Diazaporphyrin, *Chemistry Letters*, 2013, Vol. 42, No. 7, pp. 725-726.

[20] T. Umeyama, J. Baek, N. Tezuka, K. Morita, H. Imahori, Incorporation of Graphene to Fullerene Clusters and Fullerene-Nanotube Composites and Their Photoelectrochemical Properties, *ECS Journal of Solid State Science and Technology*, 2013, Vol. 2, No. 10, pp. M3001-M3007.

[21] Y. Maeda, J. Higo, Y. Amagai, J. Matsui, K. Ohkubo, Y. Yoshigoe, M. Hashimoto, K. Eguchi, M. Yamada, T. Hasegawa, Y. Sato, J. Zhou, J. Lu, T. Miyashita, S. Fukuzumi, T. Murakami, K. Tohji, S. Nagase, T. Akasaka, Helicity-Selective Photoreaction of Single-Walled Carbon Nanotubes with Organosulfur Compounds in the Presence of Oxygen, *Journal of The American Chemical Society*, 2013, Vol. 135, No. 16, pp. 6356-6362.

[22] T. Murakami, M. Nakatani, M. Kokubo, H. Nakatsuji, M. Inada, H. Imahori, M. Yudasaka, S. Iijima, K. Tsuchida, Mechanism of Cell Interactions with Water-Dispersed Carbon Nanohorns, *Nanoscience and Nanotechnology Letters*, 2013, Vol. 5, No. 3, pp. 402-407.

[23] H. Hayashi, A.S. Touchy, Y. Kinjo, K. Kurotobi, Y. Toude, S. Ito, H. Saarenpaa, N.V. Tkachenko, H. Lemmetyinen, H. Imahori, Triarylamine-Substituted Imidazole- and Quinoxaline-Fused PushPull Porphyrins for Dye-Sensitized Solar Cells, *ChemSusChem*, 2013, Vol. 6, No. 3, pp. 508-517.

[24] S. Ye, A. Kathiravan, H. Hayashi, Y. Tong, Y. Infahsaeng, P. Chabera, T. Pascher, A.P. Yartsev, S. Isoda, H. Imahori, V. Sundstrom, Role of Adsorption Structures of Zn-Porphyrin on TiO2 in Dye-Sensitized Solar Cells Studied by Sum Frequency Generation Vibrational Spectroscopy and Ultrafast Spectroscopy, *Journal of Physical Chemistry C*, 2013, Vol. 117, No. 12, pp. 6066-6080.

[25] T. Umeyama, H. Imahori, Photofunctional Hybrid Nanocarbon Materials, *Journal of Physical Chemistry C*, 2013, Vol. 117, No. 7, pp. 3195-3209.

[26] Y. Matano, H. Ohkubo, Y. Honsho, A. Saito, S. Seki, H. Imahori, Synthesis and Charge-Carrier Transport Properties of Poly(phosphole P-alkanesulfonylimide)s, *Organic Letters*, 2013, Vol. 15, No. 4, pp. 932-935.

[27] J. Li, T. Murakami, M. Higuchi, Metallosupramolecular Polymers: Versatile DNA Binding and Their Cytotoxicity, *Journal of Inorganic and Organometallic Polymers and Materials*, 2013, Vol. 23, No. 1, pp. 119-125.

応用反応化学講座 光反応化学分野

[1] T. Hidemori, T. Nakayama, Y. Matsumi, T. Kinugawa, A. Yabushita, M. Ohashi, T. Miyoshi, S. Irei, A. Takami, N. Kaneyasu, A. Yoshino, R. Suzuki, Y. Yumoto, S. Hatakeyama, Characteristics of atmospheric aerosols containing heavy metals measured on Fukue Island, Japan, *Atmospheric Environment*, 2014, Vol. 97, pp. 447-455.

[2] E. Kayahara, T. Iwamoto, H. Takaya, T. Suzuki, M. Fujitsuka, T. Majima, N. Yasuda, N. Matsuyama, S. Seki, S. Yamago, Synthesis and physical properties of a ball-like three-dimensional pi-conjugated molecule, *Nature Communications*, 2013, Vol. 4, p. 2694.

分子材料科学講座 無機分子材料分野

[1] T. Minami, Y. Tokuda, H. Masai, Y. Ueda, Y. Ono, S. Fujimura, T. Yoko, Structural analysis of alkali cations in mixed alkali silicate glasses by 23Na and 133Cs MAS NMR, *J. Asian Ceram. Soc*, 2014, Vol. 2, pp. 333-338.

[2] Y. Tokuda, H. Matsuki, Y. Ueda, H. Masai, T. Yoko, Crystal Growth of ZnO Microneedles in Water Containing Microbubbles, *New J. Glass Ceram*, 2014, Vol. 4, pp. 49-54.

[3] T. Yanagida, Y. Fujimoto, H. Masai, Scintillation and dosimeter properties of 40Li2O-40B2O3-20SiO2 glass with different Sn concentrations, *Physics and Chemistry of Glasses-European Journal of Glass Science and Technology Part B*, 2014, Vol. 55, No. 6, pp. 274-279.

[4] Y. Fujimoto, T. Yanagida, Y. Futami, H. Masai, Fluorescence and radiation response properties

of Ce3+-doped CaO-Al2O3-B2O3 glass, *Japanese Journal of Applied Physics*, 2014, Vol. 53, No. 5, p. 05FK05.

[5] H. Masai, Y. Hino, T. Yanagida, Y. Fujimoto, T. Yoko, Energy Transfer from Sn2+ to RE3+ Cations in ZnO-P2O5 Glass, *Bulletin of The Chemical Society of Japan*, 2014, Vol. 87, No. 4, pp. 556-563.

[6] 上田 義勝, 徳田 陽明, 二瓶 直登, 矢島 豊, 矢吹 隆夫, 微細気泡水を用いた切り花の鮮度保持効果について, 混相流, 2014, Vol. 28, No. 3, pp. 340-344.

[7] H. Masai, T. Fujiwara, S. Matsumoto, Y. Tokuda, T. Yoko, Emission property of Sn2+-doped ZnO-P2O5 glass, *Journal of Non-Crystalline Solids*, 2014, Vol. 383, pp. 184-187.

[8] H. Masai, Preparation of rare-earth-free oxide glass phosphors, *Journal of Ceramic Society of Japan*, 2013, Vol. 121.0, pp. 150-155.

[9] H. Masai, H. Miyata, T. Tanimoto, Y. Tokuda, T. Yoko, Preparation of Sn-Doped Zinc Phosphate Amorphous Thin Film and its Emission Properties, *Journal of American Ceramics Society*, 2013, Vol. 96.0, pp. 382-384.

[10] H. Masai, Y. Hino, T. Yanagida, Y. Fujimoto, K. Fukuda, T. Yoko, Excitation light source dependence of emission in Sn2+-Ce3+ codoped ZnO-P2O5 glasses, *Journal of Applied Physics*, 2013, Vol. 114.0, p. 83502.0.

[11] Y. Ueda, Y. Tokuda, H. Goto, T. Kobayashi, Y. Ono, Removal of radioactive Cs from nonwoven cloth with less waste solution using aqueous sodium metasilicate, *J. Soc. Remed. Radioact. Contam. Environ*, 2013, Vol. 1, No. 3, pp. 191-195.

[12] H. Masai, R. Shirai, T. Miyazaki, K. Yoshida, T. Fujiwara, Y. Tokuda, T. Yoko, 31P NMR and IR Study of Highly Water-stable SrO-BaO-Nb2O5-P2O5 Glass and Glass - ceramics, *Chemistry Letters*, 2013, Vol. 42, pp. 1305-1307.

[13] H. Masai, R. Shirai, K. Yoshida, Y. Takahashi, R. Ihara, T. Fujiwara, Y. Tokuda, T. Yoko, Fabrication of Sr0.5Ba0.5Nb2O6 Nanocrystallite-Precipitated Transparent Phosphate Glass - Ceramics, *Journal of American Ceramics Society*, 2013, Vol. 96, pp. 3576-3583.

[14] H. Masai, H. Miyata, T. Tanimoto, S. Matsumoto, Y. Tokuda, T. Yoko, Preparation of Sn-Doped Zinc Phosphate Amorphous Thin Film and its Emission Properties, *Journal of American Ceramics Society*, 2013, Vol. 96, pp. 382-384.

[15] H. Masai, T. Tanimoto, T. Fujiwara, S. Matsumoto, Y. Tokuda, T. Yoko, Localized Sn2+ emission center independent of the optical basicity of zinc phosphate glass, *Chemistry Letters*, 2013, Vol. 42, pp. 132-134.

[16] H. Masai, R. Shirai, K. Yoshida, Y. Takahashi, R. Ihara, T. Fujiwara, Y. Tokuda, T. Yoko, 31PNMR and IR Study of Highly Water-stable SrO-BaO-Nb2O5-P2O5 Glass and Glass-ceramics, *Chemistry Letters*, 2013, Vol. 42.0, pp. 1305-1307.

[17] H. Masai, Y. Yamada, Y. Suzuki, K. Teramura, Y. Kanemitsu, T. Yoko, Narrow Energy Gap between Triplet and Singlet Excited States of Sn2+ in Borate Glass, *Scientific Reports*, 2013, Vol. 3.0, p. 3541.0.

分子材料科学講座 分子レオロジー分野

[1] Y. Matsumiya, H. Watanabe, Dielectric and Viscoelastic Behavior of Low-M Linear Polyisoprene Blended in Long Matrix, *Nihon Reoroji Gakkaishi*, 2014, Vol. 42, No. 4, pp. 235-244.

[2] Y. Masubuchi, H. Watanabe, Origin of Stress Overshoot under Start-up Shear in Primitive Chain Network Simulation, *ACS Macro Letters*, 2014, Vol. 3, No. 11, pp. 1183-1186.

[3] A. Lee, H. Watanabe, Y. Matsumiya, K. Choi, K.H. Ahn, S.J. Lee, Dielectric Characterization of Pigment Inks for Electrohydrodynamic Jet Printing, *Industrial & Engineering Chemistry Research*, 2014, Vol. 53, No. 44, pp. 17445-17453.

[4] E. van Ruymbeke, V. Shchetnikava, Y. Matsumiya, H. Watanabe, Dynamic Dilution Effect in Binary Blends of Linear Polymers with Well-Separated Molecular Weights, *Macromolecules*, 2014, Vol. 47, No. 21, pp. 7653-7665.

[5] M. Langeloth, Y. Masubuchi, M.C. Boehm, F. Mueller-Plathe, Reptation and constraint release dynamics in bidisperse polymer melts, *Journal of Chemical Physics*, 2014, Vol. 141, No. 19, p. 194904.

[6] Y. Matsumiya, Y. Masubuchi, T. Inoue, O. Urakawa, C. Liu, E. van Ruymbeke, H. Watanabe, Dielectric and Viscoelastic Behavior of Star-Branched Polyisoprene: Two Coarse-Grained Length Scales in Dynamic Tube Dilation, *Macromolecules*, 2014, Vol. 47, No. 21, pp. 7637-7652.

[7] Y. Masubuchi, Y. Matsumiya, H. Watanabe, Test of Orientation/Stretch-Induced Reduction of Friction via Primitive Chain Network Simulations for Polystyrene, Polyisoprene, and Poly(n-butyl acrylate), *Macromolecules*, 2014, Vol. 47, No. 19, pp. 6768-6775.

[8] M. Nishikawa, K. Ogawa, Y. Umeki, K. Mohri, Y. Kawasaki, H. Watanabe, N. Takahashi, E. Kusuki, R. Takahashi, Y. Takahashi, Y. Takakura, Injectable, self-gelling, biodegradable, and immunomodulatory DNA hydrogel for antigen delivery, *Journal of Controlled Release*, 2014, Vol. 180, pp. 25-32.

[9] Y. Masubuchi, T. Yaoita, Y. Matsumiya, H. Watanabe, G. Ianniruberto, G. Marrucci, Stretch/orientation Induced Acceleration in Stress Relaxation in Coarse-grained Molecular Dynamics Simulations, *Nihon Reoroji Gakkaishi*, 2013, Vol. 41, No. 1, pp. 35-37.

[10] H. Watanabe, Y. Matsumiya, E. van Ruymbeke, Component Relaxation Times in Entangled Binary Blends of Linear Chains: Reptation/CLF along Partially or Fully Dilated Tube, *Macromolecules*, 2013, Vol. 46, No. 23, pp. 9296-9312.

[11] Y. Matsumiya, K. Kumazawa, M. Nagao, O. Urakawa, H. Watanabe, Dielectric Relaxation of Monodisperse Linear Polyisoprene: Contribution of Constraint Release, *Macromolecules*, 2013, Vol. 46, No. 15, pp. 6067-6080.

[12] Q. Huang, N.J. Alvarez, Y. Matsumiya, H.K. Rasmussen, H. Watanabe, O. Hassager, Extensional Rheology of Entangled Polystyrene Solutions Suggests Importance of Nematic Interactions, *ACS Macro Letters*, 2013, Vol. 2, No. 8, pp. 741-744.

[13] Y. Matsumiya, H. Watanabe, A. Takano, Y. Takahashi, Uniaxial Extensional Behavior of (SIS)(p)-Type Multiblock Copolymer Systems: Structural Origin of High Extensibility, *Macromolecules*, 2013, Vol. 46, No. 7, pp. 2681-2695.

[14] 畝山 多加志, 増渕 雄一, 26pXZC-6 からみあい高分子の多数鎖スリップスプリングモデルの構築 (26pXZC 高分子・ゲル, 領域 12(ソフトマター物理, 化学物理, 生物物理)), 日本物理学会講演概要集, 2013, Vol. 68, No. 1, p. 424.

分子材料科学講座 有機分子材料分野

[1] L. Lei, M. Tanishima, A. Goto, H. Kaji, Y. Yamaguchi, H. Komatsu, T. Jitsukawa, M. Miyamoto, Systematic Study on Alkyl Iodide Initiators in Living Radical Polymerization with Organic Catalysts, *Macromolecules*, 2014, Vol. 47, No. 19, pp. 6610-6618.

[2] H. Ohkuma, T. Nakagawa, K. Shizu, T. Yasuda, C. Adachi, Thermally Activated Delayed Fluorescence from a Spiro-diazafluorene Derivative, *Chemistry Letters*, 2014, Vol. 43, No. 7, pp. 1017-1019.

[3] H. Tanaka, K. Shizu, H. Nakanotani, C. Adachi, Dual Intramolecular Charge-Transfer Fluorescence Derived from a Phenothiazine-Triphenyltriazine Derivative, *Journal of Physical Chemistry C*, 2014, Vol. 118, No. 29, pp. 15985-15994.

[4] A. Wakamiya, H. Nishimura, T. Fukushima, F. Suzuki, A. Saeki, S. Seki, I. Osaka, T. Sasamori, M. Murata, Y. Murata, H. Kaji, On-Top π-Stacking of Quasiplanar Molecules in Hole-Transporting Materials: Inducing Anisotropic Carrier Mobility in Amorphous Films, *Angewandte Chemie International Edition*, 2014, Vol. 53, No. 23, pp. 5800-5804.

[5] F. Suzuki, Y. Nishiyama, H. Kaji, Clarification of Isomeric Structures and the Effect of Intermolecular Interactions in Blue-Emitting Aluminum Complex Alq_3 Using First-Principles Al^{27} NMR Calculations, *Chemical Physics Letters*, 2014, Vol. 605, pp. 1-4.

[6] G. Hayase, K. Kanamori, K. Abe, H. Yano, A. Maeno, H. Kaji, K. Nakanishi, Polymethylsilsesquioxane-Cellulose Nanofiber Biocomposite Aerogels with High Thermal Insulation, Bendability, and Superhydrophobicity, *ACS Applied Materials & Interfaces*, 2014, Vol. 6, No. 12, pp. 9466-9471.

[7] T. Takahashi, K. Shizu, T. Yasuda, K. Togashi, C. Adachi, Donor-acceptor-structured 1,4-diazatriphenylene Derivatives Exhibiting Thermally Activated Delayed Fluorescence: Design and Synthesis, Photophysical Properties and OLED Characteristics, *Science and Technology of Advanced Materials*, 2014, Vol. 15, No. 3, 034202.

[8] M. Uejima, T. Sato, M. Detani, A. Wakamiya, F. Suzuki, H. Suzuki, T. Fukushima, K. Tanaka, Y. Murata, C. Adachi, H. Kaji, A Designed Fluorescent Anthracene Derivative: Theory, Calculation, Synthesis, and Characterization, *Chemical Physics Letters*, 2014, Vol. 602, pp. 80-83.

[9] L. Lei, M. Tanishima, A. Goto, H. Kaji, Living Radical Polymerization via Organic Superbase Catalysis, *Polymers*, 2014, Vol. 6, No. 3, pp. 860-872.

[10] M. Uejima, T. Sato, K. Tanaka, H. Kaji, Enhancement of Fluorescence in Anthracene by Chlorination: Vibronic Coupling and Transition Dipole Moment Density Analysis, *Chemical Physics*, 2014, Vol. 430, pp. 47-55.

[11] M. Tanishima, A. Goto, L. Lei, A. Ohtsuki, H. Kaji, A. Nomura, Y. Tsujii, Y. Yamaguchi, H. Komatsu, M. Miyamoto, Macromolecular Architectures Designed by Living Radical Polymerization with Organic Catalysts, *Polymers*, 2014, Vol. 6, No. 2, pp. 311-326.

[12] S. Hirata, K. Totani, T. Watanabe, H. Kaji, M. Vacha, Relationship between Room Temperature Phosphorescence and Deuteration Position in a Purely Aromatic Compound, *Chemical Physics Letters*, 2014, Vol. 591, pp. 119-125.

[13] T. Asakura, K. Yazawa, K. Horiguchi, F. Suzuki, Y. Nishiyama, K. Nishimura, H. Kaji, Difference in the Structures of Alanine Tri- and Tetra-Peptides with Antiparallel β-Sheet Assessed by X-Ray Diffraction, Solid-State NMR and Chemical Shift Calculations by GIPAW, *Biopolymers*, 2014, Vol. 101, No. 1, pp. 13-20.

[14] M. Uejima, T. Sato, K. Tanaka, H. Kaji, Vibronic Coupling Density Analysis for the Chain-Length Dependence of Reorganization Energies in Oligofluorenes: a Comparative Study with Oligothiophenes, *Physical Chemistry Chemical Physics*, 2013, Vol. 15, No. 33, pp. 14006-14016.

[15] A. Shuto, T. Kushida, T. Fukushima, H. Kaji, S. Yamaguchi, π-Extended Planarized Triphenylboranes with Thiophene Spacers, *Organic Letters*, 2013, Vol. 15, No. 24, pp. 6234-6237.

[16] N. Iwahara, T. Sato, K. Tanaka, H. Kaji, Vibronic Couplings in C_{60} Derivatives for Organic Pho-

tovoltaics, *Chemical Physics Letters*, 2013, Vol. 590, pp. 169-174.

[17] G. Hayase, K. Kanamori, G. Hasegawa, A. Maeno, H. Kaji, K. Nakanishi, A Superamphiphobic Macroporous Silicone Monolith with Marshmallow-like Flexibility, *Angewandte Chemie International Edition*, 2013, Vol. 52, No. 41, pp. 10788-10791.

[18] T. Asakura, Y. Suzuki, K. Yazawa, A. Aoki, Y. Nishiyama, K. Nishimura, F. Suzuki, H. Kaji, Determination of Accurate ^{1}H Positions of (Ala-Gly)n as a Sequential Peptide Model of Bombyx mori Silk Fibroin before Spinning (Silk I), *Macromolecules*, 2013, Vol. 46, No. 19, pp. 8046-8050.

[19] F. Suzuki, T. Fukushima, M. Fukuchi, H. Kaji, Refined Structure Determination of Blue-Emitting Tris(8-hydroxyquinoline) Aluminum(III) (Alq_3) by the Combined Use of Cross-Polarization/Magic-Angle Spinning ^{13}C Solid-State NMR and First-Principles Calculation, *Journal of Physical Chemistry C*, 2013, Vol. 117, No. 37, pp. 18809-18817.

[20] S. Hirata, K. Totani, J. Zhang, T. Yamashita, H. Kaji, S.R. Marder, T. Watanabe, C. Adachi, Efficient Persistent Room Temperature Phosphorescence in Organic Amorphous Materials under Ambient Conditions, *Advanced Functional Materials*, 2013, Vol. 23, No. 27, pp. 3386-3397.

[21] A. Gotou, A. Ohtsuki, H. Ohfuji, M. Tanishima, H. Kaji, Reversible Generation of a Carbon-Centered Radical from Alkyl Iodide Using Organic Salts and Their Application as Organic Catalysts in Living Radical Polymerization, *Journal of the American Chemical Society*, 2013, Vol. 135, No. 30, pp. 11131-11139.

[22] S. Hirata, K. Totani, H. Kaji, M. Vacha, T. Watanabe, C. Adachi, Reversible Thermal Recording Media Using Time-Dependent Persistent Room Temperature Phosphorescence, *Advanced Optical Materials*, 2013, Vol. 1, No. 6, pp. 438-442.

[23] G. Hayase, K. Kanamori, M. Fukuchi, H. Kaji, K. Nakanishi, Facile Synthesis of Marshmallow-like Macroporous Gels Usable under Harsh Conditions for the Separation of Oil and Water, *Angewandte Chemie International Edition*, 2013, Vol. 52, No. 7, pp. 1986-1989.

[24] A. Ohtsuki, A. Goto, H. Kaji, Visible-Light-Induced Reversible Complexation Mediated Living Radical Polymerization of Methacrylates with Organic Catalysts, *Macromolecules*, 2013, Vol. 46, No. 1, pp. 96-102.

[25] Y. Nishiyama, T. Fukushima, M. Fukuchi, S. Fujimura, H. Kaji, Sensitivity Boosting in Solid-State NMR of Thin Organic Semiconductors by a Paramagnetic Dopant of Copper Phthalocyanine, *Chemical Physics Letters*, 2013, Vol. 556, pp. 195-199.

高分子化学専攻

先端機能高分子講座

[1] J. Kim, J. Jung, M.D. Phan, K.H. Kwon, B.J. Ree, S. Nakayama, H. Kim, K. Shin, H. Matsuoka, M. Ree, Self-Assembly Behaviors of a Well-Defined Amphiphilic Brush Polymer at the Air-Water Interface, *Science of Advanced Materials*, 2014, Vol. 6, No. 11, pp. 2445-2452.

[2] K. Miki, H. Hashimoto, T. Inoue, H. Matsuoka, H. Harada, M. Hiraoka, K. Ohe, Sonication-Induced Formation of Size-Controlled Self-Assemblies of Amphiphilic Janus-Type Polymers as Optical Tumor-Imaging Agents, *Small*, 2014, Vol. 10, No. 15, pp. 3119-3130.

[3] T. Terashima, S. Nishioka, Y. Koda, M. Takenaka, M. Sawamoto, Arm-Cleavable Microgel Star Polymers: A Versatile Strategy for Direct Core Analysis and Functionalization, *Journal of The American Chemical Society*, 2014, Vol. 136, No. 29, pp. 10254-10257.

[4] A. Ghosh, S. Yusa, H. Matsuoka, Y. Saruwatari, Chain Length Dependence of Non-Surface Activity and Micellization Behavior of Cationic Amphiphilic Diblock Copolymers, *Langmuir*, 2014, Vol. 30, No. 12, pp. 3319-3328.

[5] S. Shrivastava, H. Matsuoka, Photoresponsive Block Copolymer: Synthesis, Characterization, and Surface Activity Control, *Langmuir*, 2014, Vol. 30, No. 14, pp. 3957-3966.

[6] H. Matsuoka, T. Onishi, A. Ghosh, pH-responsive non-surface-active/surface-active transition of weakly ionic amphiphilic diblock copolymers, *Colloid and Polymer Science*, 2014, Vol. 292, No. 4, pp. 797-806.

[7] K. Kimishima, K. Saijo, T. Koga, T. Hashimoto, Time-Resolved High-Resolution SAXS Studies of OOT Process and Mechanism from Hex-Cylinder to BCC-Sphere in a Polystyrene-block-polyisoprene Diblock Copolymer, *Macromolecules*, 2013, Vol. 46, No. 22, pp. 9032-9044.

[8] M. Harada, M. Yamada, Y. Kimura, K. Saijo, Influence of the organization of water-in-ionic liquid microemulsions on the size of silver particles during photoreduction, *Journal of Colloid and Interface Science*, 2013, Vol. 406, pp. 94-104.

[9] Nguyen-Dung T., Ta-Phuong H., M. Mochizuki, K. Saijo, H. Hasegawa, S. Sasaki, S. Sakurai, Higher-order crystalline structures of poly(oxyethylene) in poly(D,L-lactide)/poly(oxyethylene) blends, *Polymer*, 2013, Vol. 54, No. 17, pp. 4653-4659.

[10] P. Piyapakorn, T. Akagi, M. Hachisuka, T. Onishi, H. Matsuoka, M. Akashi, Structural Analysis of Unimer Nanoparticles Composed of Hydrophobized Poly(amino acid)s, *Macromolecules*, 2013, Vol. 46, No. 15, pp. 6187-6194.

[11] H. Kammiyada, A. Konishi, M. Ouchi, M. Sawamoto, Ring-Expansion Living Cationic Polymerization via Reversible Activation of a Hemiacetal Ester Bond, *ACS Macro Letters*, 2013, Vol. 2, No. 6, pp. 531-534.

[12] N. Sota, K. Saijo, H. Hasegawa, T. Hashimoto, Y. Amemiya, K. Ito, Directed Self-Assembly of Block Copolymers into Twin BCC-Sphere: Phase Transition Process from Aligned Hex-Cylinder to BCC-Sphere Induced by a Temperature Jump between the Two Equilibrium Phases, *Macromolecules*, 2013, Vol. 46, No. 6, pp. 2298-2316.

[13] N. Onishi, T. Aoki, T. Kaneko, M. Teraguchi, N. Sano, T. Masuda, M. Shiotsuki, F. Sanda, Helix-sense-selective Polymerization of Achiral Acetylene Monomer Catalyzed by Rh Zwitterionic Complexes with Tethered Chiral Amino and Ether Groups, *Chemistry Letters*, 2013, Vol. 42, No. 3, pp. 278-280.

[14] K. Saijo, G. Shin, T. Hashimoto, Y. Amemiya, K. Ito, Strain-Phase-Resolved Dynamic SAXS Studies of BCC-Spherical Domains in Block Copolymers under LAOS: Creation of Twinned BCC-Sphere and Their Dynamic Response, *Macromolecules*, 2013, Vol. 46, No. 4, pp. 1549-1562.

[15] Y. Zhao, K. Saijo, T. Hashimoto, Order-Disorder Transition of Nanocomposites: Polystyrene-block-Poly(methyl methacrylate) with Palladium Nanoparticles, *Macromolecules*, 2013, Vol. 46, No. 3, pp. 957-970.

[16] N. Onishi, M. Shiotsuki, T. Masuda, N. Sano, F. Sanda, Polymerization of Phenylacetylenes Using Rhodium Catalysts Coordinated by Norbornadiene Linked to a Phosphino or Amino Group, *Organometallics*, 2013, Vol. 32, No. 3, pp. 846-853.

[17] K. Mita, H. Okumura, K. Kimura, T. Isaki, M. Takenaka, T. Kanaya, Simultaneous small- and wide-angle X-ray scattering studies on the crystallization dynamics of poly(4-methylpentene-1) from melt, *Polymer Journal*, 2013, Vol. 45, No. 1, pp. 79-86.

[18] M. Takenaka, Analysis of structures of rubber-filler systems with combined scattering methods, *Polymer Journal*, 2013, Vol. 45, No. 1, pp. 10-19.

[19] A. Ghosh, S. Yusa, H. Matsuoka, Y. Saruwatari, Effect of Chain Length and Salt on the Temperature-Responsive Cationic Amphiphilic Diblock Copolymer, *J. Chem.Biol.Interfaces*, 2013, Vol. 1, No. 1, pp. 41-48.

高分子合成講座 機能高分子合成分野

[1] B.A. San Jose, T. Ashibe, N. Tada, S. Yorozuya, K. Akagi, Helicity Control of π-Stacked Assemblies of Oligo(para-phenylene) Derivatives using Photoresponsive Chiral Moieties at Terminal Sites , *Advanced Functional Materials*, 2014, Vol. 24, No. 39, pp. 6166-6171.

[2] B.A. SanJose, J. Yan, K. Akagi, Dynamic Switching of the Circularly Polarized Luminescence of Disubstituted Polyacetylene by Selective Transmission through a Thermotropic Chiral Nematic Liquid Crystal, *Angewandte Chemie International Edition*, 2014, Vol. 53, No. 40, pp. 10641-10644.

[3] K. Watanabe, K. Akagi, (REVIEW)Helically assembled π-conjugated polymers with circularly polarized luminescence , *Science and Technology of Advanced Materials*, 2014, Vol. 15, pp. 44203-44224.

[4] K. Watanabe, K. Akagi, Helically assembled pi-conjugated polymers with circularly polarized luminescence, *Science and Technology of Advanced Materials*, 2014, Vol. 15, No. 4, p. 044203.

[5] S. Ahn, K. Yabumoto, Y. Jeong, K. Akagi, Low bandgap poly(thienylenemethine) derivatives bearing terarylene moieties in the side chains, *Polym. Chem.*, 2014, Vol. 5, No. 24, pp. 6977-6989.

[6] J. Park, M. Goh, K. Akagi, Helical Nylons and Polyphthalamides Synthesized by Chiral Interfacial Polymerizations between Chiral Nematic Liquid Crystal and Water Layers, *Macromolecules*, 2014, Vol. 47, No. 9, pp. 2784-2795.

[7] J. Bu, K. Watanabe, H. Hayasaka, K. Akagi, Photochemically colour-tuneable white fluorescence illuminants consisting of conjugated polymer nanospheres, *Nature Communications*, 2014, Vol. 5, p. 3799.

[8] S. Matsushita, B. Yan, S. Yamamoto, Y.S. Jeong, K. Akagi, Helical Carbon and Graphite Films Prepared from Helical Poly(3,4-ethylenedioxythiophene) Films Synthesized by Electrochemical Polymerization in Chiral Nematic Liquid Crystals, *Angewandte Chemie International Edition*, 2014, Vol. 53, No. 6, pp. 1659-1663.

[9] 赤木 和夫, 教科書から一歩進んだ身近な製品の化学 : 常温で世界一電気を良く流す高分子, 化学と教育, 2014, Vol. 62, No. 11, pp. 556-557.

[10] B.A.S. Jose, K. Akagi, Liquid Crystalline Polyacetylene Derivatives with Advanced Electrical and Optical Properties, *Polymer Chemistry*, 2013, No. 4, pp. 5144-5161.

[11] S. Matsushita, Y.S. Jeong, K. Akagi, Electrochromism-driven linearly and circularly polarised dichroism of poly(3,4-ethylenedioxythiophene) derivatives with chirality and liquid crystallinity, *Chemical Communications*, 2013, Vol. 49, No. 19, pp. 1883-1890.

[12] K. Watanabe, K. Suda, K. Akagi, Hierarchically self-assembled helical aromatic conjugated polymers, *Journal of Materials Chemistry C*, 2013, Vol. 1, No. 16, pp. 2797-2805.

[13] K. Bi, A. Weathers, S. Matsushita, M.T. Pettes, M. Goh, K. Akagi, L. Shi, Iodine doping effects on the lattice thermal conductivity of oxidized polyacetylene nanofibers, *Journal of Applied Physics*, 2013, Vol. 114, No. 19, p. 194302.

[14] H.J. Yoo, S.Y. Lee, N. You, D.S. Lee, H. Yeo, Y.M. Choi, M. Goh, J. Park, K. Akagi, J.W. Cho, Dispersion and magnetic field-induced alignment of functionalized carbon nanotubes in liquid crystals, *Synthetic Metals*, 2013, Vol. 181, pp. 10-17.

[15] T. Mori, K. Akagi, Superhelix Structure in Helical Conjugated Polymers Synthesized in an Asymmetric Reaction Field, *Macromolecules*, 2013, Vol. 46, No. 17, pp. 6699-6711.

高分子合成講座 高分子生成論分野

[1] T. Terashima, S. Nishioka, Y. Koda, M. Takenaka, M. Sawamoto, Arm-Cleavable Microgel Star Polymers: A Versatile Strategy for Direct Core Analysis and Functionalization, *Journal of The American Chemical Society*, 2014, Vol. 136, No. 29, pp. 10254-10257.

[2] M. Totani, T. Ando, K. Terada, T. Terashima, I.Y. Kim, C. Ohtsuki, C. Xi, K. Kuroda, M. Tanihara, Utilization of star-shaped polymer architecture in the creation of high-density polymer brush coatings for the prevention of platelet and bacteria adhesion, *Biomaterials Science*, 2014, Vol. 2, No. 9, pp. 1172-1185.

[3] S. Lee, M. Ouchi, M. Sawamoto, Functionalization at the Central Position of Vinyl Polymer Chains: Highly Associable Multipoint Hydrogen Bonds for Complementary Self-Assemblies, *Macromolecular Rapid Communications*, 2014, Vol. 35, No. 4, pp. 431-436.

[4] T. Terashima, T. Sugita, K. Fukae, M. Sawamoto, Synthesis and Single-Chain Folding of Amphiphilic Random Copolymers in Water, *Macromolecules*, 2014, Vol. 47, No. 2, pp. 589-600.

[5] M. Artar, T. Terashima, M. Sawamoto, E.W. Meijer, A.R.A. Palmans, Understanding the Catalytic Activity of Single-Chain Polymeric Nanoparticles in Water, *Journal of Polymer Science Part A-Polymer Chemistry*, 2014, Vol. 52, No. 1, pp. 12-20.

[6] T. Terashima, Functional Star Polymers via Living Radical Polymerization-Designer Functional Nanospaces, *Kobunshi Ronbunshu*, 2013, Vol. 70, No. 8, pp. 432-448.

[7] S. Lee, M. Ouchi, M. Sawamoto, Chain Center-Functionalized Amphiphilic Block Polymers: Complementary Hydrogen Bond Self-Assembly in Aqueous Solution, *Journal of Polymer Science Part A-Polymer Chemistry*, 2013, Vol. 51, No. 21, pp. 4498-4504.

[8] Y. Ogura, T. Terashima, M. Sawamoto, Synchronized Tandem Catalysis of Living Radical Polymerization and Transesterification: Methacrylate Gradient Copolymers with Extremely Broad Glass Transition Temperature, *ACS Macro Letters*, 2013, Vol. 2, No. 11, pp. 985-989.

[9] J. Lutz, M. Ouchi, D.R. Liu, M. Sawamoto, Sequence-Controlled Polymers, *Science*, 2013, Vol. 341, No. 6146, pp. 628-+.

[10] A. Kusumaatmaja, T. Ando, K. Terada, S. Hirohara, T. Nakashima, T. Kawai, T. Terashima, M. Tanihara, Synthesis and photoproperties of Eu(III)-bearing star polymers as luminescent materials, *Journal of Polymer Science Part A-Polymer Chemistry*, 2013, Vol. 51, No. 12, pp. 2527-2535.

[11] H. Kammiyada, A. Konishi, M. Ouchi, M. Sawamoto, Ring-Expansion Living Cationic Polymerization via Reversible Activation of a Hemiacetal Ester Bond, *ACS Macro Letters*, 2013, Vol. 2, No. 6, pp. 531-534.

[12] K. Nishizawa, M. Ouchi, M. Sawamoto, Phosphine-Ligand Decoration toward Active and Robust Iron Catalysts in LRP, *Macromolecules*, 2013, Vol. 46, No. 9, pp. 3342-3349.

[13] M.A.J. Gillissen, T. Terashima, E.W. Meijer, A.R.A. Palmans, I.K. Voets, Sticky Supramolecular Grafts Stretch Single Polymer Chains, *Macromolecules*, 2013, Vol. 46, No. 10, pp. 4120-4125.

[14] K. Tanaka, H. Okada, W. Ohashi, J. Jeon, K. Inafuku, Y. Chujo, Hypoxic condition-selective upconversion via triplet—triplet annihilation based on POSS-core dendrimer complexes, *Bioorganic & Medicinal Chemistry*, 2013, Vol. 21, No. 10, pp. 2678-2681.

[15] 大内 誠, 寺島 崇矢, 澤本 光男, 精密ラジカル重合の展開反応制御と機能性分子鎖の精密構築, 高分子, 2013, Vol. 62, No. 5, pp. 252-255.

[16] 寺島 崇矢, リビングラジカル重合による機能性星型ポリマー：ナノ機能空間の構築, 高分子論文集, 2013, Vol. 70, No. 8, pp. 432-448.

[17] 大内 誠, 寺島 崇矢, 澤本 光男, 金属触媒リビングラジカル重合：触媒の高活性化・高耐性化・高機能化, 觸媒, 2013, Vol. 55, No. 2, pp. 58-64.

[18] 大内 誠, 寺島 崇矢, 澤本 光男, 金属触媒リビングラジカル重合：触媒の高活性化・高耐性化・高機能化 (特集 リビングラジカル重合の最近の動向), 触媒, 2013, Vol. 22, No. 2, pp. 58-64.

[19] 寺島 崇矢, リビングラジカル重合による機能性星型ポリマー：ナノ機能空間の構築 (高分子科学・工学のニューウェーブ：2013), 高分子論文集, 2013, Vol. 70, No. 8, pp. 432-448.

[20] 大内 誠, 寺島 崇矢, 澤本 光男, 高分子科学最近の進歩 精密ラジカル重合の展開 反応制御と機能性分子鎖の精密構築, 高分子, 2013, Vol. 62, No. 5, pp. 252-255.

高分子合成講座 重合化学分野

[1] J.M.I. Ludlow, M. Tominaga, Y. Chujo, A. Schultz, X. Lu, T. Xie, K. Guo, C.N. Moorefield, C. Wesdemiotis, G.R. Newkome, Self-assembly of a family of suprametallomacrocycles: revisiting an o-carborane bisterpyridyl building block, *Dalton Transactions*, 2014, Vol. 43, No. 25, pp. 9604-9611.

[2] J. Jeon, K. Tanaka, Y. Chujo, Synthesis of sulfonic acid-containing POSS and its filler effects for enhancing thermal stabilities and lowering melting temperatures of ionic liquids, *Journal of Materials Chemistry A*, 2014, Vol. 2, No. 3, pp. 624-630.

[3] K. Tanaka, T. Hiraoka, F. Ishiguro, J. Jeon, Y. Chujo, Adamantane ionic liquids, *RSC Advances*, 2014, Vol. 4, No. 53, pp. 28107-28110.

[4] R. Yoshii, A. Hirose, K. Tanaka, Y. Chujo, Functionalization of Boron Diiminates with Unique Optical Properties: Multicolor Tuning of Crystallization-Induced Emission and Introduction into the Main Chain of Conjugated Polymers, *Journal of The American Chemical Society*, 2014, Vol. 136, No. 52, pp. 18131-18139.

[5] M. Tominaga, H. Naito, Y. Morisaki, Y. Chujo, Colour-tunable aggregation-induced emission of trifunctional o-carborane dyes, *New Journal of Chemistry*, 2014, Vol. 38, No. 12, pp. 5686-5690.

[6] T. Matsumoto, Y. Onishi, K. Tanaka, H. Fueno, K. Tanaka, Y. Chujo, Synthesis of conjugated polymers containing gallium atoms and evaluation of conjugation through four-coordinate gallium atoms, *Chemical Communications*, 2014, Vol. 50, No. 99, pp. 15740-15743.

[7] A. Hirose, K. Tanaka, K. Tamashima, Y. Chujo, Synthesis of dual-emissive organometallic complexes containing heterogeneous metal elements, *Tetrahedron Letters*, 2014, Vol. 55, No. 47, pp. 6477-6481.

[8] H. Okada, K. Tanaka, Y. Chujo, Preparation of environmentally resistant conductive silica-based polymer hybrids containing tetrathiafulvalene-tetracyanoquinodimethane charge-transfer complexes, *Polymer Journal*, 2014, Vol. 46, No. 11, pp. 800-805.

[9] M. Tominaga, Y. Morisaki, H. Naito, Y. Chujo, Synthesis and characterization of an alternating copolymer with 1,2-disubstituted and 9,12-disubstituted o-carborane units, *Polymer Journal*, 2014, Vol. 46, No. 10, pp. 740-744.

[10] Y. Morisaki, T. Nakano, Y. Chujo, Synthesis and Photoluminescence Behaviors of Anthracene-Layered Polymers, *Journal of Polymer Science Part A-Polymer Chemistry*, 2014, Vol. 52, No. 19, pp. 2815-2821.

[11] Y. Morisaki, N. Kawakami, S. Shibata, Y. Chujo, Through-Space Conjugated Molecular Wire Comprising Three pi-Electron Systems, *Chemistry-An Asian Journal*, 2014, Vol. 9, No. 10, pp. 2891-2895.

[12] H. Okada, K. Tanaka, Y. Chujo, Microwave-driven enzyme deactivation using imidazolium salt-presenting silica nanoparticles, *Bioorganic & Medicinal Chemistry Letters*, 2014, Vol. 24, No. 19, pp. 4622-4625.

[13] H. Yeo, M. Hirose, K. Tanaka, Y. Chujo, Construction of multi-N-heterocycle-containing organic solvent-soluble polymers with 1,3,4,6,9b-pentaazaphenalene, *Polymer Journal*, 2014, Vol. 46, No. 10, pp. 688-693.

[14] K. Tanaka, H. Yamane, K. Mitamura, S. Watase, K. Matsukawa, Y. Chujo, Transformation of Sulfur to Organic-Inorganic Hybrids Employed by POSS Networks and Their Application for the Modulation of Refractive Indices, *Journal of Polymer Science Part A-Polymer Chemistry*, 2014, Vol. 52, No. 18, pp. 2588-2595.

[15] R. Yoshii, A. Nagai, K. Tanaka, Y. Chujo, Boron-Ketoiminate-Based Polymers: Fine-Tuning of the Emission Color and Expression of Strong Emission Both in the Solution and Film States, *Macromolecular Rapid Communications*, 2014, Vol. 35, No. 15, pp. 1315-1319.

[16] J. Jeon, K. Tanaka, Y. Chujo, Light-driven artificial enzymes for selective oxidation of guanosine triphosphate using water-soluble POSS network polymers, *Organic & Biomolecular Chemistry*, 2014, Vol. 12, No. 33, pp. 6500-6506.

[17] H. Okada, K. Tanaka, W. Ohashi, Y. Chujo, Photo-triggered molecular release based on autodegradable polymer-containing organic-inorganic hybrids, *Bioorganic & Medicinal Chemistry*, 2014, Vol. 22, No. 13, pp. 3435-3440.

[18] R. Yoshii, A. Hirose, K. Tanaka, Y. Chujo, Boron Diiminate with Aggregation-Induced Emission and Crystallization-Induced Emission-Enhancement Characteristics, *Chemistry-A European Journal*, 2014, Vol. 20, No. 27, pp. 8320-8324.

[19] Y. Morisaki, K. Inoshita, Y. Chujo, Planar-Chiral Through-Space Conjugated Oligomers: Synthesis and Characterization of Chiroptical Properties, *Chemistry-A European Journal*, 2014, Vol. 20, No. 27, pp. 8386-8390.

[20] H. Okada, K. Tanaka, Y. Chujo, Regulation of responsiveness of phosphorescence toward dissolved oxygen concentration by modulating polymer contents in organic-inorganic hybrid materials, *Bioorganic & Medicinal Chemistry*, 2014, Vol. 22, No. 12, pp. 3141-3145.

[21] R. Yoshii, H. Yamane, K. Tanaka, Y. Chujo, Synthetic Strategy for Low-Band Gap Oligomers and Homopolymers Using Characteristics of Thiophene-Fused Boron Dipyrromethene, *Macromolecules*, 2014, Vol. 47, No. 11, pp. 3755-3760.

[22] M. Tominaga, H. Naito, Y. Morisaki, Y. Chujo, Control of the Emission Behaviors of Trifunctional o-Carborane Dyes, *Asian Journal of Organic Chemistry*, 2014, Vol. 3, No. 5, pp. 624-631.

[23] Y. Morisaki, M. Tominaga, T. Ochiai, Y. Chujo, o-Carborane- based Biphenyl and p-Terphenyl Derivatives, *Chemistry-An Asian Journal*, 2014, Vol. 9, No. 5, pp. 1247-1251.

[24] Y. Morisaki, N. Kawakami, T. Nakano, Y. Chujo, Synthesis and Properties of a Through-space-conjugated Dimer, *Chemistry Letters*, 2014, Vol. 43, No. 4, pp. 426-428.

[25] R. Yoshii, K. Tanaka, Y. Chujo, Conjugated Polymers Based on Tautomeric Units: Regulation of Main-Chain Conjugation and Expression of Aggregation Induced Emission Property via Boron-Complexation, *Macromolecules*, 2014, Vol. 47, No. 7, pp. 2268-2278.

[26] R. Yoshii, H. Yamane, A. Nagai, K. Tanaka, H. Taka, H. Kita, Y. Chujo, pi-Conjugated Polymers Composed of BODIPY or Aza-BODIPY Derivatives Exhibiting High Electron Mobility and Low Threshold Voltage in Electron-Only Devices, *Macromolecules*, 2014, Vol. 47, No. 7, pp. 2316-2323.

[27] Y. Kajiwara, K. Tanaka, Y. Chujo, Enhancement of dye dispersibility in silica hybrids through local heating induced by the Imidazolium group under microwave irradiation, *Polymer Journal*, 2014, Vol. 46, No. 3, pp. 195-199.

[28] Y. Morisaki, M. Gon, T. Sasamori, N. Tokitoh, Y. Chujo, Planar Chiral Tetrasubstituted [2.2]Paracyclophane: Optical Resolution and Functionalization, *Journal of The American Chemical Society*, 2014, Vol. 136, No. 9, pp. 3350-3353.

[29] K. Tanaka, W. Ohashi, H. Okada, Y. Chujo, Production of three radical cations from a single photon using a photo acid generator, *Tetrahedron Letters*, 2014, Vol. 55, No. 9, pp. 1635-1639.

[30] Y. Morisaki, Y. Tsuji, Y. Chujo, Synthesis of cyclic compounds consisting of face-to-face p-oligophenyls, *Tetrahedron Letters*, 2014, Vol. 55, No. 9, pp. 1631-1634.

[31] M. Morisue, H. Fukui, M. Shimizu, K. Inoshita, Y. Morisaki, Y. Chujo, Chirality induction in binuclear phthalocyanine tweezers, *Tetrahedron Letters*, 2014, Vol. 55, No. 1, pp. 271-274.

[32] K. Tanaka, Y. Chujo, Design of functionalized nanoparticles for the applications in nanobiotechnology, *Advanced Powder Technology*, 2014, Vol. 25, No. 1, pp. 101-113.

[33] Y. Morisaki, N. Kawakami, T. Nakano, Y. Chujo, Energy-Transfer Properties of a [2.2]Paracyclophane-Based Through-Space Dimer, *Chemistry - A European Journal*, 2013, Vol. 19, No. 52, pp. 17715-17718.

[34] K. Tanaka, T. Matsumoto, K. Nakamura, S. Kawabe, Y. Chujo, Preparation of flexible conductive films based on polymer composites with tetrathiafulvalene nanowires, *Synthetic Metals*, 2013, Vol. 180, pp. 49-53.

[35] J. Jeon, K. Tanaka, Y. Chujo, Rational design of polyhedral oligomeric silsesquioxane fillers for simultaneous improvements of thermomechanical properties and lowering refractive indices of polymer films, *Journal of Polymer Science Part A: Polymer Chemistry*, 2013, Vol. 51, No. 17, pp. 3583-3589.

[36] K. Tanaka, Y. Chujo, Chemicals-Inspired Biomaterials: Developing Biomaterials Inspired by Material Science Based on POSS, *Bulletin of the Chemical Society of Japan*, 2013, Vol. 86, pp. 1231-1239.

[37] M. Tominaga, Y. Morisaki, Y. Chujo, Luminescent Polymer Consisting of 9,12-Linked , *Macromolecular Rapid Communications*, 2013, Vol. 34, No. 17, pp. 1357-1362.

[38] H. Okada, Y. Kajiwara, K. Tanaka, Y. Chujo, Rapid heat generation under microwave irradiation by imidazolium-presenting silica nanoparticles, *Colloids and Surfaces A: Physicochemical and Engineering Aspects*, 2013, Vol. 428, pp. 65-69.

[39] Y. Tsuji, Y. Morisaki, Y. Chujo, Construction of aromatic-ring-layered structures using a terphenylene-layered polymer as the scaffold, *Polymer Chemistry*, 2013, Vol. 4, No. 20, p. 5361.

[40] Y. Kajiwara, A. Nagai, K. Tanaka, Y. Chujo, Efficient simultaneous emission from RGB-emitting organoboron dyes incorporated into organic—inorganic hybrids and preparation of white light-emitting materials, *Journal of Materials Chemistry C*, 2013, Vol. 1, No. 29, pp. 4437-4444.

[41] J. Jeon, K. Tanaka, Y. Chujo, POSS fillers for modulating the thermal properties of ionic liquids, *RSC Advances*, 2013, Vol. 3, No. 7, p. 2422.

[42] K. Tanaka, H. Okada, W. Ohashi, J. Jeon, K. Inafuku, Y. Chujo, Hypoxic condition-selective upconversion via triplet—triplet annihilation based on POSS-core dendrimer complexes, *Bioorganic & Medicinal Chemistry*, 2013, Vol. 21, No. 10, pp. 2678-2681.

[43] Y. Morisaki, M. Gon, Y. Chujo, Conjugated microporous polymers consisting of tetrasubstituted [2.2]Paracyclophane junctions, *Journal of Polymer Science Part A: Polymer Chemistry*, 2013, Vol. 51, No. 10, pp. 2311-2316.

[44] Y. Tokoro, K. Tanaka, Y. Chujo, Synthesis of Dibenzo[b,f]silepins with a Benzoquinolyl Ligand, *Organic Letters*, 2013, Vol. 15, pp. 2366-2369.

[45] K. Tanaka, H. Yamane, R. Yoshii, Y. Chujo, Efficient light absorbers based on thiophene-fused boron dipyrromethene (BODIPY) dyes, *Bioorganic & Medicinal Chemistry*, 2013, Vol. 21, No. 10, pp. 2715-2719.

[46] R. Yoshii, A. Nagai, K. Tanaka, Y. Chujo, Highly Emissive Boron Ketoiminate Derivatives as a New Class of Aggregation-Induced Emission Fluorophores, *Chemistry - A European Journal*, 2013, Vol. 19, No. 14, pp. 4506-4512.

[47] R. Yoshii, A. Nagai, K. Tanaka, Y. Chujo, Highly near-infrared emissive boron di(iso)indomethene-based polymer: Drastic change from deep-red to near-infrared emission via quantitative polymer reaction, *Journal of Polymer Science Part A: Polymer Chemistry*, 2013, Vol. 51, No. 8, pp. 1726-1733.

[48] K. Tanaka, K. Tamashima, A. Nagai, T. Okawa, Y. Chujo, Facile Modulation of Optical Properties of Diketonate-Containing Polymers by Regulating Complexation Ratios with Boron, *Macromolecules*, 2013, Vol. 46, pp. 2969-2975.

[49] Y. Tokoro, H. Yeo, K. Tanaka, Y. Chujo, Synthesis and tuning of optical properties of conjugated polymers involving benzo[h]quinoline-based neutral pentacoordinate organosilicon complexes in the main chain, *Polymer Chemistry*, 2013, Vol. 4, No. 20, p. 5237.

[50] H. Yeo, K. Tanaka, Y. Chujo, Effective Light-Harvesting Antennae Based on BODIPY-Tethered Cardo Polyfluorenes via Rapid Energy Transferring and Low Concentration Quenching, *Macromolecules*, 2013, Vol. 46, pp. 2599-2605.

[51] K. Tanaka, Y. Chujo, Unique properties of amphiphilic POSS and their applications, *Polymer Journal*, 2013, pp. 247-254.

[52] T. Matsumoto, K. Tanaka, Y. Chujo, Synthesis and Optical Properties of Stable Gallafluorene Derivatives: Investigation of Their Emission via Triplet States, *Journal of the American Chemical Society*, 2013, Vol. 135, No. 11, pp. 4211-4214.

[53] Y. Morisaki, R. Kato, Y. Chujo, Synthesis of Enantiopure P-Stereogenic Diphosphacrowns using P-Stereogenic Secondary Phosphines, *The Journal of Organic Chemistry*, 2013, Vol. 78, pp. 2769-2774.

[54] K. Tanaka, T. Matsumoto, Y. Chujo, Synthesis of highly transparent conductive films with strong absorption in near-infrared region based on tetrathiafulvalene-tethered pendant-type polymers, *Synthetic Metals*, 2013, Vol. 163, pp. 13-18.

[55] N. Kitamura, K. Tanaka, Y. Chujo, Heat-initiated detection for reduced glutathione with 19F NMR probes based on modified gold nanoparticles, *Bioorganic & Medicinal Chemistry Letters*, 2013, Vol. 23, No. 1, pp. 281-286.

[56] Y. Morisaki, S. Ueno, Y. Chujo, [2.2]paracyclophane-based through-space conjugated polymers with fluorescence quenchers, *Journal of Polymer Science Part A: Polymer Chemistry*, 2013, Vol. 51, No. 2, pp. 334-339.

高分子物性講座 高分子機能学分野

[1] Y. Ie, M. Karakawa, S. Jinnai, H. Yoshida, A. Saeki, S. Seki, S. Yamamoto, H. Ohkita, Y. Aso, Electron-donor function of methanofullerenes in donor-acceptor bulk heterojunction systems, *Chemical Communications*, 2014, Vol. 50, No. 31, pp. 4123-4125.

[2] Y. Wang, H. Ohkita, H. Benten, S. Ito, Near-IR Sensitization of Polymer Solar Cells Incorporating Low-Bandgap Small Molecule, *Trans.Mat.Res.Soc.Japan*, 2014, Vol. 39, No. 4, pp. 439-442.

[3] H.D. Kim, H. Ohkita, H. Benten, S. Ito, Ternary Blend Hybrid Solar Cells Incorporating Wide and Narrow Bandgap Polymers, *ACS Applied Materials & Interfaces*, 2014, Vol. 6, No. 20, pp. 17551-17555.

[4] D. Mori, H. Benten, I. Okada, H. Ohkita, S. Ito, Highly efficient charge-carrier generation and collection in polymer/polymer blend solar cells with a power conversion efficiency of 5.7%, *Energy & Environmental Science*, 2014, Vol. 7, No. 9, pp. 2939-2943.

[5] Y. Wang, H. Benten, S. Ohara, D. Kawamura, H. Ohkita, S. Ito, Measurement of Exciton Diffusion in a Well-Defined Donor/Acceptor Heterojunction based on a Conjugated Polymer and Cross-Linked Fullerene Derivative, *ACS Applied Materials & Interfaces*, 2014, Vol. 6, No. 16, pp. 14108-14115.

[6] Y. Tamai, K. Tsuda, H. Ohkita, H. Benten, S. Ito, Charge-carrier generation in organic solar cells using crystalline donor polymers, *Physical Chemistry Chemical Physics*, 2014, Vol. 16, No. 38, pp. 20338-20346.

[7] H. Xu, H. Ohkita, T. Hirata, H. Benten, S. Ito, Near-IR dye sensitization of polymer blend solar cells, *Polymer*, 2014, Vol. 55, No. 12, pp. 2856-2860.

[8] Y. Wang, B. Zheng, Y. Tamai, H. Ohkita, H. Benten, S. Ito, Dye Sensitization in the Visible Region for Low-Bandgap Polymer Solar Cells, *Journal of The Electrochemical Society*, 2014, Vol. 161, No. 7, pp. D3093-D3096.

[9] S. Yamamoto, H. Yasuda, H. Ohkita, H. Benten, S. Ito, S. Miyanishi, K. Tajima, K. Hashimoto, Charge Generation and Recombination in Fullerene-Attached Poly(3-hexylthiophene)-Based Diblock Copolymer Films, *Journal of Physical Chemistry C*, 2014, Vol. 118, No. 20, pp. 10584-10589.

[10] T. Fukasawa, M. Hashimoto, S. Nagamine, H. Aoki, H. Shinto, S. Ito, M. Ohshima, Fabrication of ICG Dye-containing Particles by Growth of Polymer/Salt Aggregates and Measurement of Photoacoustic Signals, *Chemistry Letters*, 2014, Vol. 43, No. 4, pp. 495-497.

[11] Y. Tamai, H. Ohkita, H. Benten, S. Ito, Triplet Exciton Dynamics in Fluorene-Amine Copolymer Films, *Chemistry of Materials*, 2014, Vol. 26, No. 8, pp. 2733-2742.

[12] T. Fukasawa, H. Shinto, H. Aoki, S. Ito, M. Ohshima, Size-dependent effect of gold nanospheres on the acoustic pressure pulses from laser-irradiated suspensions, *Advanced Powder Technology*, 2014, Vol. 25, No. 2, pp. 733-738.

[13] D. Mori, H. Benten, I. Okada, H. Ohkita, S. Ito, Low-Bandgap Donor/Acceptor Polymer Blend Solar Cells with Efficiency Exceeding 4%, *Advanced Energy Materials*, 2014, Vol. 4, No. 3, pp. 1301006-n/a.

[14] 伊藤 紳三郎, 大北 英生, 辨天 宏明, 2. 過渡吸収分光法による有機薄膜太陽電池の光電変換機構の解明, *Electrochemistry*, 2014, Vol. 82, No. 2, pp. 124-129.

[15] Y. Tamai, Y. Matsuura, H. Ohkita, H. Benten, S. Ito, One-Dimensional Singlet Exciton Diffusion in Poly(3-hexylthiophene) Crystalline Domains, *Journal of Physical Chemistry Letters*, 2014, Vol. 5, No. 2, pp. 399-403.

[16] H. Xu, H. Ohkita, H. Benten, S. Ito, Open-circuit voltage of ternary blend polymer solar cells, *Japanese Journal of Applied Physics*, 2014, Vol. 53, No. 1, p. 01AB10.

[17] S. Ito, T. Hirata, D. Mori, H. Benten, L. Lee, H. Ohkita, Development of Polymer Blend Solar Cells Composed of Conjugated Donor and Acceptor Polymers, *Journal of Photopolymer Science and Technology*, 2013, Vol. 26, No. 2, pp. 175-180.

[18] M. Ide, Y. Koizumi, A. Saeki, Y. Izumiya, H. Ohkita, S. Ito, S. Seki, Near-Infrared Absorbing Thienoisoindigo-Based Copolymers for Organic Photovoltaics, *Journal of Physical Chemistry C*, 2013, Vol. 117, No. 51, pp. 26859-26870.

[19] M. Nakai, T. Funabiki, C. Ohtsuki, M. Harada, A. Ichimura, R. Tanaka, T. Nishioka, I. Kinoshita, M. Mikuriya, J. Guo, H. Benten, H. Ohkita, S. Ito, M. Obata, Y. Nakabayashi, S. Yano, Syntheses, structures, and photochemical properties of (mu(3)-O) tris bis(mu-carboxylato) trimanganese complexes with naphthylacetate ligands with relevance to artificial solar energy-harvesting systems, *Inorganica Chimica Acta*, 2013, Vol. 406, pp. 130-137.

[20] S. Ito, T. Hirata, D. Mori, H. Benten, H. Ohkita, S. Honda, Near-Infrared Dye Sensitization of Polymer/Polymer Thin-Film Solar Cells, *Molecular Crystals and Liquid Crystals*, 2013, Vol. 578, No. 1, pp. 19-25.

[21] H. Shinto, T. Fukasawa, H. Aoki, S. Ito, M. Ohshima, Acoustic pressure pulses from laser-irradiated suspensions containing gold nanospheres in water: Experimental and theoretical study, *Colloids and Surfaces A-Physicochemical and Engineering Aspects*, 2013, Vol. 430, pp. 51-57.

[22] H.D. Kim, H. Ohkita, H. Benten, S. Ito, Dye Sensitization in Polymer/ZnO/Dye Ternary Hybrid Solar Cells, *Chemistry Letters*, 2013, Vol. 42, No. 8, pp. 825-827.

[23] Y. Tamai, H. Ohkita, J. Shimada, H. Benten, S. Ito, S. Yamanaka, K. Hisada, K. Tani, K. Kubono, T. Shinmyozu, Dynamical Excimer Formation in Rigid Carbazolophane via Charge Transfer State, *Journal of Physical Chemistry A*, 2013, Vol. 117, No. 33, pp. 7776-7785.

[24] S. Yamamoto, H. Ohkita, H. Benten, S. Ito, S. Yamamoto, D. Kitazawa, J. Tsukamoto, Efficient Charge Generation and Collection in Amorphous

Polymer-Based Solar Cells, *Journal of Physical Chemistry C*, 2013, Vol. 117, No. 22, pp. 11514-11521.

[25] M. Osaka, H. Benten, L. Lee, H. Ohkita, S. Ito, Development of highly conductive nanodomains in poly(3-hexylthiophene) films studied by conductive atomic force microscopy, *Polymer*, 2013, Vol. 54, No. 14, pp. 3443-3447.

[26] H. Xu, T. Wada, H. Ohkita, H. Benten, S. Ito, Dye sensitization of polymer/fullerene solar cells incorporating bulky phthalocyanines, *Electrochimica Acta*, 2013, Vol. 100, pp. 214-219.

[27] H. Aoki, K. Mori, T. Takahashi, S. Ito, Quantitative analysis of end-to-end distance of single polymer chain in ultra-thin film by super-resolution fluorescence imaging, *Chemical Physics*, 2013, Vol. 419, pp. 54-58.

[28] M. Takase, T. Narita, W. Fujita, M.S. Asano, T. Nishinaga, H. Benten, K. Yoza, K. Muellen, Pyrrole-Fused Azacoronene Family: The Influence of Replacement with Dialkoxybenzenes on the Optical and Electronic Properties in Neutral and Oxidized States, *Journal of The American Chemical Society*, 2013, Vol. 135, No. 21, pp. 8031-8040.

[29] Y. Tamai, H. Ohkita, H. Benten, S. Ito, Singlet Fission in Poly(9,9 '-di-n-octylfluorene) Films, *Journal of Physical Chemistry C*, 2013, Vol. 117, No. 20, pp. 10277-10284.

[30] Y. Morisaki, S. Ueno, Y. Chujo, [2.2]paracyclophane-based through-space conjugated polymers with fluorescence quenchers, *Journal of Polymer Science Part A: Polymer Chemistry*, 2013, Vol. 51, No. 2, pp. 334-339.

高分子物性講座 高分子力学分野

[1] M. Yokota, Y. Kobayashi, J. Morita, H. Suzuki, Y. Hashimoto, Y. Sasaki, K. Akiyoshi, K. Moriyama, Therapeutic Effect of Nanogel-Based Delivery of Soluble FGFR2 with S252W Mutation on Craniosynostosis, *PLOS ONE*, 2014, Vol. 9, No. 7, p. e101693.

高分子物性講座 生体機能高分子分野

[1] H. Fujii, M. Shin-Ya, S. Takeda, Y. Hashimoto, S. Mukai, S. Sawada, T. Adachi, K. Akiyoshi, T. Miki, O. Mazda, Cycloamylose-nanogel drug delivery system-mediated intratumor silencing of the vascular endothelial growth factor regulates neovascularization in tumor microenvironment, *Cancer Science*, 2014, Vol. 105, No. 12, pp. 1616-1625.

[2] K. Katagiri, K. Ohta, K. Sako, K. Inumaru, K. Hayashi, Y. Sasaki, K. Akiyoshi, Development and Potential Theranostic Applications of a Self-Assembled Hybrid of Magnetic Nanoparticle Clusters with Polysaccharide Nanogels, *ChemPlusChem*, 2014, Vol. 79, No. 11, pp. 1631-1637.

[3] I. Kong, A. Sato, S. Sato, T. Nochi, E.J. Park, Y. Yuki, H. Takahashi, S. Sawada, D.E. Briles, M. Yamamoto, K. Akiyoshi, H. Kiyono, Nanogel-based pneumococcal surface protein A (PspA) intranasal vaccine: the effective delivery system of antigen across the nasal mucosal barrier, *Allergy*, 2014, Vol. 69, pp. 618-618.

[4] D. Muraoka, N. Harada, T. Hayashi, Y. Tahara, F. Momose, S. Sawada, S. Mukai, K. Akiyoshi, H. Shiku, Nanogel-Based Immunologically Stealth Vaccine Targets Macrophages in the Medulla of Lymph Node and Induces Potent Antitumor Immunity, *ACS Nano*, 2014, Vol. 8, No. 9, pp. 9209-9218.

[5] M. Yokota, Y. Kobayashi, J. Morita, H. Suzuki, Y. Hashimoto, Y. Sasaki, K. Akiyoshi, K. Moriyama, Therapeutic Effect of Nanogel-Based Delivery of Soluble FGFR2 with S252W Mutation on Craniosynostosis, *PLOS ONE*, 2014, Vol. 9, No. 7, p. e101693.

[6] S. Mukai, T. Koyama, K. Tsujii, S. Deguchi, Anomalous long-range repulsion between silica surfaces induced by density inhomogeneities in supercritical ethanol, *Soft Matter*, 2014, Vol. 10, No. 35, pp. 6645-6650.

[7] Y. Maegawa, S. Mochizuki, Y. Sanada, K. Akiyoshi, K. Sakurai, Dual-sugar Nanogel Comprising beta-1,3-Glucan and Cholesterol-bearing Dextran for Protein Delivery Targeting Antigen Presenting Cells, *Chemistry Letters*, 2014, Vol. 43, No. 5, pp. 652-654.

[8] Y. Sekine, K. Okazaki, T. Ikeda-Fukazawa, M. Ichikawa, K. Yoshikawa, S. Mukai, K. Akiyoshi, Microrheology of polysaccharide nanogel-integrated system, *Colloid and Polymer Science*, 2014, Vol. 292, No. 2, pp. 325-331.

[9] H. Takahashi, Y. Tahara, S. Sawada, K. Akiyoshi, Cationic amphiphilic polysaccharide nanoballs: protein stabilization and intracellular delivery by nano-encapsulation, *Biomaterials Science*, 2013, Vol. 1, No. 8, pp. 842-849.

[10] M. Gao, S. Toita, S. Sawada, K. Akiyoshi, B.T. Stokke, Cyclodextrin triggered dimensional changes of polysaccharide nanogel integrated hydrogels at nanometer resolution, *Soft Matter*, 2013, Vol. 9, No. 21, pp. 5178-5185.

[11] S. Takeda, H. Takahashi, S. Sawada, Y. Sasaki, K. Akiyoshi, Amphiphilic nanogel of enzymatically synthesized glycogen as an artificial molecular chaperone for effective protein refolding, *RSC Advances*, 2013, Vol. 3, No. 48, pp. 25716-25718.

[12] M. Itoh, H. Kato, T. Suganami, K. Konuma, Y. Marumoto, S. Terai, H. Sakugawa, S. Kanai, M. Hamaguchi, T. Fukaishi, S. Aoe, K. Akiyoshi, Y. Komohara, M. Takeya, I. Sakaida, Y. Ogawa, Hepatic Crown-Like Structure: A Unique Histological Feature in Non-Alcoholic Steatohepatitis in Mice and Humans, *PLOS ONE*, 2013, Vol. 8, No. 12, p. e82163.

[13] E.H. Hayakawa, E. Mochizuki, T. Tsuda, K.

Akiyoshi, H. Matsuoka, S. Kuwabata, The Effect of Hydrophilic Ionic Liquids 1-Ethyl-3-Methylimidazolium Lactate and Choline Lactate on Lipid Vesicle Fusion, *PLOS ONE*, 2013, Vol. 8, No. 12, p. e85467.

[14] Y. Tahara, S. Kosuge, S. Sawada, Y. Sasaki, K. Akiyoshi, Nanogel bottom-up gel biomaterials for protein delivery: Photopolymerization of an acryloyl-modified polysaccharide nanogel macromonomer, *Reactive & Functional Polymers*, 2013, Vol. 73, No. 7, pp. 958-964.

[15] A. Tamura, G. Ikeda, J. Seo, K. Tsuchiya, H. Yajima, Y. Sasaki, K. Akiyoshi, N. Yui, Molecular logistics using cytocleavable polyrotaxanes for the reactivation of enzymes delivered in living cells, *Scientific Reports*, 2013, Vol. 3, p. 2252.

[16] K. Katagiri, K. Ohta, K. Koumoto, K. Kurosu, Y. Sasaki, K. Akiyoshi, Templated nucleation of hybrid iron oxide nanoparticles on polysaccharide nanogels, *Colloid and Polymer Science*, 2013, Vol. 291, No. 6, pp. 1375-1380.

[17] N. Morimoto, M. Yamazaki, J. Tamada, K. Akiyoshi, Polysaccharide-Hair Cationic Polypeptide Nanogels: Self-Assembly and Enzymatic Polymerization of Amylose Primer-Modified Cholesteryl Poly(L-lysine), *Langmuir*, 2013, Vol. 29, No. 24, pp. 7509-7514.

[18] I.G. Kong, A. Sato, Y. Yuki, T. Nochi, H. Takahashi, S. Sawada, M. Mejima, S. Kurokawa, K. Okada, S. Sato, D.E. Briles, J. Kunisawa, Y. Inoue, M. Yamamoto, K. Akiyoshi, H. Kiyono, Nanogel-Based PspA Intranasal Vaccine Prevents Invasive Disease and Nasal Colonization by Streptococcus pneumoniae, *Infection and Immunity*, 2013, Vol. 81, No. 5, pp. 1625-1634.

[19] Y. Yuki, T. Nochi, I.G. Kong, H. Takahashi, S. Sawada, K. Akiyoshi, H. Kiyono, Nanogel-based antigen-delivery system for nasal vaccines, *Biotechnology and Genetic Engineering Reviews*, 2013, Vol. 29, No. 1, pp. 61-72.

[20] M. Takeo, T. Mori, T. Niidome, S. Sawada, K. Akiyoshi, Y. Katayama, A polyion complex nanogel, *Journal of Colloid and Interface Science*, 2013, Vol. 390, No. 1, pp. 78-84.

[21] N. Morimoto, S. Hirano, H. Takahashi, S. Loethen, D.H. Thompson, K. Akiyoshi, Self-Assembled pH-Sensitive Cholesteryl Pullulan Nanogel As a Protein Delivery Vehicle, *Biomacromolecules*, 2013, Vol. 14, No. 1, pp. 56-63.

高分子物性講座 高分子分子論分野

[1] T. Oohashi, K. Inoue, Y. Nakamura, Second and third virial coefficients of low-molecular-weight polyisoprene in 1,4-dioxane, *Polymer Journal*, 2014, Vol. 46, No. 10, pp. 699-703.

[2] D. Ida, Dilute solution properties of semiflexible star and ring polymers, *Polymer Journal*, 2014, Vol. 46, No. 7, pp. 399-404.

[3] R. Tsubouchi, D. Ida, T. Yoshizaki, H. Yamakawa, Scattering Function of Wormlike Rings, *Macromolecules*, 2014, Vol. 47, No. 4, pp. 1449-1454.

[4] S. Kiyonaka, T. Kajimoto, R. Sakaguchi, D. Shinmi, M. Omatsu-Kanbe, H. Matsuura, H. Imamura, T. Yoshizaki, I. Hamachi, T. Morii, Y. Mori, Genetically encoded fluorescent thermosensors visualize subcellular thermoregulation in living cells, *Nature Methods*, 2013, Vol. 10, No. 12, pp. 1232-1238.

[5] K. Inoue, S. Yamamoto, Y. Nakamura, Dilute Solution Properties of a Polymacromonomer Consisting of a Polystyrene Main Chain with Polyisoprene Side Chains. Relation of Molecular Parameters to Polymer Segment Interactions, *Macromolecules*, 2013, Vol. 46, No. 21, pp. 8664-8670.

[6] H. Yamakawa, T. Yoshizaki, D. Ida, A picture of dilute solution behavior of polymers through polyelectrolyte simulation, *Journal of Chemical Physics*, 2013, Vol. 139, No. 20, p. 204902.

[7] M. Osa, H. Shiraki, U. Morinaga, T. Yoshizaki, Effects of surfactants on cloud points in aqueous poly(N-isopropylacrylamide) solutions, *Polymer Journal*, 2013, Vol. 45, No. 6, pp. 681-684.

[8] Y. Hatanaka, Y. Nakamura, Dilute solution properties of polymacromonomer consisting of polybutadiene backbone and polystyrene side chains, *Polymer*, 2013, Vol. 54, No. 5, pp. 1538-1542.

高分子物性講座 基礎物理化学分野

[1] H. Kojima, F. Tanaka, C. Scherzinger, W. Richtering, Temperature dependent phase behavior of PNIPAM microgels in mixed water/methanol solvents, *Journal of Polymer Science Part B-Polymer Physics*, 2013, Vol. 51, No. 14, pp. 1100-1111.

[2] H. Kojima, F. Tanaka, Nonlinear depression of the lower critical solution temperatures in aqueous solutions of thermo-sensitive random copolymers, *Journal of Polymer Science Part B-Polymer Physics*, 2013, Vol. 51, No. 14, pp. 1112-1123.

[3] Qiu X., T. Koga, F. Tanaka, F.M. Winnik, New insights into the effects of molecular weight and end group on the temperature-induced phase transition of poly(N-isopropylacrylamide) in water, *Science China-Chemistry*, 2013, Vol. 56, No. 1, pp. 56-64.

高分子設計講座 高分子物質科学分野

[1] J. Wernecke, H. Okuda, H. Ogawa, F. Siewer, M. Krumrey, Depth-Dependent Structural Changes in PS-b-P2VP Thin Films Induced by Annealing, *Macromolecules*, 2014, Vol. 47, No. 16, pp. 5719-5727.

[2] H. Okuda, T. Yamamoto, K. Takeshita, M. Hirai, K. Senoo, H. Ogawa, Y. Kitajima, Normalization of grazing-incidence small angle scattering of phospholipid alloy systems at the K absorption edge of phosphorous: A standard sample

approach, *Japanese Journal of Applied Physics*, 2014, Vol. 53, No. 5, p. 05FH02.

[3] T. Yamamoto, H. Okuda, K. Takeshita, N. Usami, Y. Kitajima, H. Ogawa, Grazing-incidence small-angle X-ray scattering from Ge nanodots self-organized on Si(001) examined with soft X-rays, *Journal of Synchrotron Radiation*, 2014, Vol. 21, No. 1, pp. 161-164.

[4] H. Asakawa, K. Nishida, T. Kanaya, M. Tosaka, Giant single crystal of isotactic polypropylene showing near-equilibrium melting temperature, *Polymer Journal*, 2013, Vol. 45, No. 3, pp. 287-292.

高分子設計講座 高分子材料設計分野

[1] K. Sakakibara, T. Fujisawa, J.P. Hill, K. Ariga, Conformational interchange of a carbohydrate by mechanical compression at the air-water interface, *Physical Chemistry Chemical Physics*, 2014, Vol. 16, No. 22, pp. 10286-10294.

[2] Y. Mori, T. Chen, T. Fujisawa, S. Kobashi, K. Ohno, S. Yoshida, Y. Tago, Y. Komai, Y. Hata, Y. Yoshioka, From cartoon to real time MRI: in vivo monitoring of phagocyte migration in mouse brain, *Scientific Reports*, 2014, Vol. 4, p. 6997.

[3] C. Lin, K. Ohno, N. Clarke, K.I. Winey, R.J. Composto, Macromolecular Diffusion through a Polymer Matrix with Polymer-Grafted Chained Nanoparticles, *Macromolecules*, 2014, Vol. 47, No. 15, pp. 5357-5364.

[4] Y. Huang, T. Morinaga, Y. Tai, Y. Tsujii, K. Ohno, Immobilization of Semisoft Colloidal Crystals Formed by Polymer-Brush-Afforded Hybrid Particles, *Langmuir*, 2014, Vol. 30, No. 25, pp. 7304-7312.

[5] K. Ohno, Y. Huang, T. Okubo, Drying dissipative structures of spindle-shaped hematite particles coated with polymer brush, *Colloid and Polymer Science*, 2014, Vol. 292, No. 5, pp. 1143-1151.

[6] K. Ohno, Y. Huang, A. Tsuchida, T. Okubo, Colloidal crystallization of spindle-shaped hematite particles coated with polymer brush in deionized aqueous suspension, *Colloid and Polymer Science*, 2014, Vol. 292, No. 3, pp. 723-731.

[7] Y. Nakamura, K. Nakanishi, S. Yamago, Y. Tsujii, K. Takahashi, T. Morinaga, T. Sato, Controlled Polymerization of Protic Ionic Liquid Monomer by ARGET-ATRP and TERP, *Macromolecular Rapid Communications*, 2014, Vol. 35, No. 6, pp. 642-648.

[8] M. Tanishima, A. Goto, L. Lei, A. Ohtsuki, H. Kaji, A. Nomura, Y. Tsujii, Y. Yamaguchi, H. Komatsu, M. Miyamoto, Macromolecular Architectures Designed by Living Radical Polymerization with Organic Catalysts, *Polymers*, 2014, Vol. 6, No. 2, pp. 311-326.

[9] S. Yamago, Y. Yahata, K. Nakanishi, S. Konishi, E. Kayahara, A. Nomura, A. Goto, Y. Tsujii, Synthesis of Concentrated Polymer Brushes via Surface-Initiated Organotellurium-Mediated Living Radical Polymerization, *Macromolecules*, 2013, Vol. 46, No. 17, pp. 6777-6785.

高分子設計講座 高分子制御合成分野

[1] M. Tosaka, Strain-Induced Crystallization of Cross-Linked Rubber, *Kobunshi Ronbunshu*, 2014, Vol. 71, No. 11, pp. 493-500.

[2] S. Hashimoto, S. Nakatsuka, M. Nakamura, T. Hatakeyama, Construction of a Highly Distorted Benzene Ring in a Double Helicene, *Angewandte Chemie International Edition*, 2014, Vol. 53, No. 51, pp. 14074-14076.

[3] T. Hirao, M. Tosaka, S. Yamago, T. Haino, Supramolecular Fullerene Polymers and Networks Directed by Molecular Recognition between Calix[5]arene and C-60, *Chemistry-A European Journal*, 2014, Vol. 20, No. 49, pp. 16138-16146.

[4] S. Hashimoto, T. Ikuta, K. Shiren, S. Nakatsuka, J. Ni, M. Nakamura, T. Hatakeyama, Triplet-Energy Control of Polycyclic Aromatic Hydrocarbons by BN Replacement: Development of Ambipolar Host Materials for Phosphorescent Organic Light-Emitting Diodes, *Chemistry of Materials*, 2014, Vol. 26, No. 21, pp. 6265-6271.

[5] T. Iwamoto, Z. Slanina, N. Mizorogi, J. Guo, T. Akasaka, S. Nagase, H. Takaya, N. Yasuda, T. Kato, S. Yamago, Partial Charge Transfer in the Shortest Possible Metallofullerene Peapod, La@C-82 subset of[11]Cycloparaphenylene, *Chemistry-A European Journal*, 2014, Vol. 20, No. 44, pp. 14403-14409.

[6] M. Fujitsuka, S. Tojo, T. Iwamoto, E. Kayahara, S. Yamago, T. Majima, Radical Ions of Cycloparaphenylenes: Size Dependence Contrary to the Neutral Molecules, *Journal of Physical Chemistry Letters*, 2014, Vol. 5, No. 13, pp. 2302-2305.

[7] M. Pena Alvarez, P. Mayorga Burrezo, M. Kertesz, T. Iwamoto, S. Yamago, J. Xia, R. Jasti, J.T. Lopez Navarrete, M. Taravillo, V.G. Baonza, J. Casado, Properties of Sizeable [n]Cycloparaphenylenes as Molecular Models of Single-Wall Carbon Nanotubes Elucidated by Raman Spectroscopy: Structural and Electron-Transfer Responses under Mechanical Stress, *Angewandte Chemie International Edition*, 2014, Vol. 53, No. 27, pp. 7033-7037.

[8] M.P. Alvarez, P.M. Burrezo, T. Iwamoto, L. Qiu, M. Kertesz, M. Taravillo, V.G. Baonza, J.T.L. Navarrete, S. Yamago, J. Casado, Chameleon-like behaviour of cyclo[n] paraphenylenes in complexes with C-70: on their impressive electronic and structural adaptability as probed by Raman spectroscopy, *Faraday Discussions*, 2014, Vol. 173, pp. 157-171.

[9] M. Fujitsuka, C. Lu, T. Iwamoto, E. Kayahara, S. Yamago, T. Majima, Properties of Triplet-Excited [n]Cycloparaphenylenes (n=8-12): Excitation Energies Lower than Those of Linear Oligomers and Polymers, *Journal of Physical*

Chemistry A, 2014, Vol. 118, No. 25, pp. 4527-4532.

[10] T. Iwamoto, E. Kayahara, N. Yasuda, T. Suzuki, S. Yamago, Synthesis, Characterization, and Properties of [4]Cyclo-2,7-pyrenylene: Effects of Cyclic Structure on the Electronic Properties of Pyrene Oligomers, *Angewandte Chemie International Edition*, 2014, Vol. 53, No. 25, pp. 6430-6434.

[11] Mamoru F., Chao L., Takahiro I., Eiichi K., Shigeru Y., Tetsuro M., Properties of Triplet-Excited [n]Cycloparaphenylenes (n = 8—12): Excitation Energies Lower than Those of Linear Oligomers and Polymers, *The Journal of Physical Chemistry A*, 2014, Vol. 25, No. 118, pp. 4527-4532.

[12] T. Kameda, T. Nemoto, T. Ogawa, M. Tosaka, H. Kurata, A.K. Schaper, Evidence of alpha-helical coiled coils and beta-sheets in hornet silk, *Journal of Structural Biology*, 2014, Vol. 185, No. 3, pp. 303-308.

[13] Y. Nakamura, K. Nakanishi, S. Yamago, Y. Tsujii, K. Takahashi, T. Morinaga, T. Sato, Controlled Polymerization of Protic Ionic Liquid Monomer by ARGET-ATRP and TERP, *Macromolecular Rapid Communications*, 2014, Vol. 35, No. 6, pp. 642-648.

[14] S. Yamago, E. Kayahara, T. Iwamoto, Organoplatinum-Mediated Synthesis of Cyclic pi-Conjugated Molecules: Towards a New Era of Three-Dimensional Aromatic Compounds, *Chemical Record*, 2014, Vol. 14, No. 1, pp. 84-100.

[15] E. Kayahara, V.K. Patel, S. Yamago, Synthesis and Characterization of [5]Cycloparaphenylene, *Journal of The American Chemical Society*, 2014, Vol. 136, No. 6, pp. 2284-2287.

[16] 森本 積, 茅原 栄一, 山子 茂, 舟橋 正浩, 松原 浩, Pauson-Khand 型反応　Franck-Condon 状態　有機電界発光素子　虚数振動, 有機合成化学協会誌, 2014, Vol. 72, No. 9, pp. 1047-1047.

[17] Y. Nakamura, T. Arima, S. Yamago, Modular Synthesis of Mid-Chain-Functionalized Polymers by Photoinduced Diene- and Styrene-Assisted Radical Coupling Reaction of Polymer-End Radicals, *Macromolecules*, 2014, Vol. 47, No. 2, pp. 582-588.

[18] A. Kermagoret, Y. Nakamura, M. Bourguignon, C. Detrembleur, C. Jerome, S. Yamago, A. Debuigne, Expanding the Scope of Controlled Radical Polymerization via Cobalt-Tellurium Radical Exchange Reaction, *ACS Macro Letters*, 2014, Vol. 3, No. 1, pp. 114-118.

[19] 登阪 雅聡, 架橋ゴムの伸長結晶化, 高分子論文集, 2014, Vol. 71, No. 11, pp. 493-500.

[20] E. Kayahara, T. Kouyama, T. Kato, H. Takaya, N. Yasuda, S. Yamago, Isolation and Characterization of the Cycloparaphenylene Radical Cation and Dication, *Angewandte Chemie International Edition*, 2013, Vol. 52, No. 51, pp. 13722-13726.

[21] M. Tosaka, M. Noda, K. Ito, K. Senoo, K. Aoyama, N. Ohta, Strain- and temperature-induced polymorphism of poly(dimethylsiloxane), *Colloid and Polymer Science*, 2013, Vol. 291, No. 11, pp. 2719-2724.

[22] E. Kayahara, T. Iwamoto, H. Takaya, T. Suzuki, M. Fujitsuka, T. Majima, N. Yasuda, N. Matsuyama, S. Seki, S. Yamago, Synthesis and physical properties of a ball-like three-dimensional pi-conjugated molecule, *Nature Communications*, 2013, Vol. 4, p. 2694.

[23] T. Iwamoto, Y. Watanabe, H. Takaya, T. Haino, N. Yasuda, S. Yamago, Size- and Orientation-Selective Encapsulation of C-70 by Cycloparaphenylenes, *Chemistry-A European Journal*, 2013, Vol. 19, No. 42, pp. 14061-14068.

[24] S. Yamago, Y. Yahata, K. Nakanishi, S. Konishi, E. Kayahara, A. Nomura, A. Goto, Y. Tsujii, Synthesis of Concentrated Polymer Brushes via Surface-Initiated Organotellurium-Mediated Living Radical Polymerization, *Macromolecules*, 2013, Vol. 46, No. 17, pp. 6777-6785.

[25] S. Yamago, T. Arima, Y. Nakamura, Synthesis of structurally well defined mid-chain functionalized polymers by sucessive TERP and radical coupling reaction, *Abstracts of Papers of The American Chemical Society*, 2013, Vol. 246, p. 59_POLY.

[26] Y. Nakamura, S. Yamago, Organotellurium-mediated living radical polymerization under photoirradiation by a low-intensity light-emitting diode, *Beilstein Journal of Organic Chemistry*, 2013, Vol. 9, pp. 1607-1612.

[27] M. Fujitsuka, T. Iwamoto, E. Kayahara, S. Yamago, T. Majima, Enhancement of the Quinoidal Character for Smaller [n]Cycloparaphenylenes Probed by Raman Spectroscopy, *ChemPhysChem*, 2013, Vol. 14, No. 8, pp. 1570-1572.

[28] G. Nishikawa, M. Yamamoto, A.M. Afifi, J. Lee, H. Yamane, Y. Kawahara, M. Tsuji, Structure of Melt-Electrospun Poly(L-lactic acid)/Poly(D-lactic acid) Blend Fibers, *SEN'I Gakkaishi*, 2013, Vol. 69, No. 6, pp. 118-124.

[29] E. Kayahara, T. Iwamoto, T. Suzuki, S. Yamago, Selective Synthesis of [6]-, [8]-, and [10]Cycloparaphenylenes, *Chemistry Letters*, 2013, Vol. 42, No. 6, pp. 621-623.

[30] S. Yamago, E. Kayahara, T. Iwamoto, Syntheses and properties of cycloparaphenylenes and their derivatives, *Abstracts of Papers of The American Chemical Society*, 2013, Vol. 245, p. 207_PMSE.

[31] H. Asakawa, K. Nishida, T. Kanaya, M. Tosaka, Giant single crystal of isotactic polypropylene showing near-equilibrium melting temperature, *Polymer Journal*, 2013, Vol. 45, No. 3, pp. 287-292.

[32] S. Yamago, Y. Nakamura, Recent progress in the use of photoirradiation in living radical polymer-

ization, *Polymer*, 2013, Vol. 54, No. 3, pp. 981-994.

[33] 登阪 雅聡, 妹尾 政宣, プラズモン共鳴の異方性を示す金ナノ粒子/PDMS コンポジット (特集 高分子材料), 材料, 2013, Vol. 62, No. 1, pp. 13-17.

医用高分子講座 生体材料学分野

[1] H. Tanaka, S. Yamaguchi, J. Jo, I. Aoki, Y. Tabata, T. Takahashi, Synthesis of a dextran-based bone tracer for in vivo magnetic resonance and optical imaging by two orthogonal coupling reactions, *RSC Advances*, 2014, Vol. 4, No. 15, pp. 7561-7565.

[2] H.M. Khattab, M. Ono, W. Sonoyama, Y. Oida, S. Shinkawa, Y. Yoshioka, K. Maekawa, Y. Tabata, K. Sugama, W. Sebald, T. Kuboki, The BMP2 antagonist inhibitor L51P enhances the osteogenic potential of BMP2 by simultaneous and delayed synergism, *Bone*, 2014, Vol. 69, pp. 165-173.

[3] T. Matsuzaki, T. Matsushita, Y. Tabata, T. Saito, T. Matsumoto, K. Nagai, R. Kuroda, M. Kurosaka, Intra-articular administration of gelatin hydrogels incorporating rapamycin-micelles reduces the development of experimental osteoarthritis in a murine model, *Biomaterials*, 2014, Vol. 35, No. 37, pp. 9904-9911.

[4] J. Lam, S. Lu, E.J. Lee, J.E. Trachtenberg, V.V. Meretoja, R.L. Dahlin, J. van den Beucken, Y. Tabata, M.E. Wong, J.A. Jansen, A.G. Mikos, F.K. Kasper, Osteochondral Defect Repair Using Bilayered Hydrogels Encapsulating Both Chondrogenically and Osteogenically Pre-differentiated Mesenchymal Stem Cells in a Rabbit Model, *Tissue Engineering Part A*, 2014, Vol. 20, pp. S98-S99.

[5] S. Lu, J. Lam, J.E. Trachtenberg, E.J. Lee, H. Seyednejad, J. van den Beucken, Y. Tabata, M.E. Wong, J.A. Jansen, A.G. Mikos, F.K. Kasper, Dual Growth Factor Delivery from Bilayered Hydrogel Composites for Spatially-Guided Osteochondral Tissue Repair In Vivo, *Tissue Engineering Part A*, 2014, Vol. 20, pp. S8-S8.

[6] M. Komura, H. Komura, Y. Otani, Y. Tabata, Optimal Amount Of Basic Fibroblast Growth Factor (b-fgf) In Gelatin Sponges Incorporating beta-tricalcium Phosphate (tcp) With Chondrocytes, *Tissue Engineering Part A*, 2014, Vol. 20, pp. S127-S127.

[7] J. Seo, T. Yamaga, N. Tsuzuki, K. Yamada, S. Haneda, H. Furuoka, Y. Tabata, N. Sasaki, Minimally invasive proximal interphalangeal joint arthrodesis using a locking compression plate and tissue engineering in horses: A pilot study, *Canadian Veterinary Journal-Revue Veterinaire Canadienne*, 2014, Vol. 55, No. 11, pp. 1050-1056.

[8] T. Nakagawa, K. Kumakawa, S. Usami, N. Hato, K. Tabuchi, M. Takahashi, K. Fujiwara, A. Sasaki, S. Komune, T. Sakamoto, H. Hiraumi, N. Yamamoto, S. Tanaka, H. Tada, M. Yamamoto, A. Yonezawa, T. Ito-Ihara, T. Ikeda, A. Shimizu, Y. Tabata, J. Ito, A randomized controlled clinical trial of topical insulin-like growth factor-1 therapy for sudden deafness refractory to systemic corticosteroid treatment, *BMC Medicine*, 2014, Vol. 12, No. 1, p. 219.

[9] A. Hussain, K. Bessho, K. Takahashi, Y. Tabata, Magnesium calcium phosphate/beta-tricalcium phosphate incorporation into gelatin scaffold: an in vitro comparative study, *Journal of Tissue Engineering and Regenerative Medicine*, 2014, Vol. 8, No. 11, pp. 919-924.

[10] N. Mohan, P.D. Nair, Y. Tabata, A 3D biodegradable protein based matrix for cartilage tissue engineering and stem cell differentiation to cartilage (vol 20, pg 49, 2009), *Journal of Materials Science-Materials in Medicine*, 2014, Vol. 25, No. 11, pp. 2603-2603.

[11] M. Murakami, T. Saito, Y. Tabata, Controlled release of sphingosine-1-phosphate agonist with gelatin hydrogels for macrophage recruitment, *Acta Biomaterialia*, 2014, Vol. 10, No. 11, pp. 4723-4729.

[12] S. Lu, J. Lam, J.E. Trachtenberg, E.J. Lee, H. Seyednejad, J.J.J.P. van den Beucken, Y. Tabata, M.E. Wong, J.A. Jansen, A.G. Mikos, F.K. Kasper, Dual growth factor delivery from bilayered, biodegradable hydrogel composites for spatially-guided osteochondral tissue repair, *Biomaterials*, 2014, Vol. 35, No. 31, pp. 8829-8839.

[13] Y.S. Kikkawa, T. Nakagawa, L. Ying, Y. Tabata, H. Tsubouchi, A. Ido, J. Ito, Growth factor-eluting cochlear implant electrode: impact on residual auditory function, insertional trauma, and fibrosis, *Journal of Translational Medicine*, 2014, Vol. 12, No. 1, p. 280.

[14] G. Ruan, T. Zhang, L. Li, X. Zhang, Y. Shen, Y. Tabata, J. Gao, Hepatic-Targeted Gene Delivery Using Cationic Mannan Vehicle, *Molecular Pharmaceutics*, 2014, Vol. 11, No. 10, pp. 3322-3329.

[15] K. Nakajima, J. Fujita, M. Matsui, S. Tohyama, Y. Kishino, M. Okada, A. Hirano, T. Seki, Y. Tabata, K. Fukuda, Gelatin-hydrogel Blended Cardiomyocytes Ameliorate Cardiac Function Post Myocardial Infarction, *Journal of Cardiac Failure*, 2014, Vol. 20, No. 10, pp. S183-S183.

[16] J. Lam, K. Kim, S. Lu, Y. Tabata, D.W. Scott, A.G. Mikos, F.K. Kasper, A factorial analysis of the combined effects of hydrogel fabrication parameters on the in vitro swelling and degradation of oligo(poly(ethylene glycol) fumarate) hydrogels, *Journal of Biomedical Materials Research Part A*, 2014, Vol. 102, No. 10, pp. 3477-3487.

[17] A. Kimura, Y. Kabasawa, Y. Tabata, K. Aoki, K. Ohya, K. Omura, Gelatin Hydrogel as a Carrier of Recombinant Human Fibroblast Growth Factor-2 During Rat Mandibular Distraction, *Journal of Oral and Maxillofacial Surgery*, 2014, Vol. 72, No. 10, pp. 2015-2031.

[18] M. Benkhoucha, N. Molnarfi, I. Dunand-Sauthier,

D. Merkler, G. Schneiter, S. Bruscoli, C. Riccardi, Y. Tabata, H. Funakoshi, T. Nakamura, W. Reith, M. Santiago-Raber, P.H. Lalive, Hepatocyte Growth Factor Limits Autoimmune Neuroinflammation via Glucocorticoid-Induced Leucine Zipper Expression in Dendritic Cells, *Journal of Immunology*, 2014, Vol. 193, No. 6, pp. 2743-2752.

[19] J. Lam, S. Lu, E.J. Lee, J.E. Trachtenberg, V.V. Meretoja, R.L. Dahlin, J.J.J.P. van den Beucken, Y. Tabata, M.E. Wong, J.A. Jansen, A.G. Mikos, F.K. Kasper, Osteochondral defect repair using bilayered hydrogels encapsulating both chondrogenically and osteogenically pre-differentiated mesenchymal stem cells in a rabbit model, *Osteoarthritis and Cartilage*, 2014, Vol. 22, No. 9, pp. 1291-1300.

[20] T. Saito, Y. Tabata, Hypoxia-induced angiogenesis is increased by the controlled release of deferoxiamine from gelatin hydrogels, *Acta Biomaterialia*, 2014, Vol. 10, No. 8, pp. 3641-3649.

[21] C. Ozaki, S. Somamoto, S. Kawabata, Y. Tabata, Effect of an artificial silk elastin-like protein on the migration and collagen production of mouse fibroblasts, *Journal of Biomaterials Science-Polymer Edition*, 2014, Vol. 25, No. 12, pp. 1266-1277.

[22] K. Omata, T. Matsuno, K. Asano, Y. Hashimoto, Y. Tabata, T. Satoh, Enhanced bone regeneration by gelatin-beta-tricalcium phosphate composites enabling controlled release of bFGF, *Journal of Tissue Engineering and Regenerative Medicine*, 2014, Vol. 8, No. 8, pp. 604-611.

[23] S.S. Chang, H. Yokomise, N. Matsuura, M. Gotoh, Y. Tabata, Novel therapeutic approach for pulmonary emphysema using gelatin microspheres releasing basic fibroblast growth factor in a canine model, *Surgery Today*, 2014, Vol. 44, No. 8, pp. 1536-1541.

[24] A. Hokugo, T. Saito, A. Li, K. Sato, Y. Tabata, R. Jarrahy, Stimulation of bone regeneration following the controlled release of water-insoluble oxysterol from biodegradable hydrogel, *Biomaterials*, 2014, Vol. 35, No. 21, pp. 5565-5571.

[25] M. Yamamoto, S. Rafii, S.Y. Rabbany, Scaffold biomaterials for nano-pathophysiology, *Advanced Drug Delivery Reviews*, 2014, Vol. 74, pp. 104-114.

[26] N. Tsuzuki, S. Nakao, J. Seo, K. Yamada, S. Haneda, H. Furuoka, Y. Tabata, N. Sasaki, Effect of Biodegradable Gelatin beta-Tri Calcium Phosphate Sponges Containing Mesenchymal Stem Cells and Bone Morphogenetic Protein-2 on Equine Bone Defect, *Journal of Equine Veterinary Science*, 2014, Vol. 34, No. 7, pp. 903-910.

[27] L.A. Kinard, R.L. Dahlin, A.M. Henslee, P.P. Spicer, C. Chu, Y. Tabata, J.J.J.P. van den Beucken, J.A. Jansen, S. Young, M.E. Wong, F.K. Kasper, A.G. Mikos, Tissue response to composite hydrogels for vertical bone augmentation in the rat, *Journal of Biomedical Materials Research Part A*, 2014, Vol. 102, No. 7, pp. 2079-2088.

[28] N. Tsuzuki, N. Oshita, J. Seo, K. Yamada, S. Haneda, H. Furuoka, Y. Tabata, N. Sasaki, Effect of Platelet-Rich Plasma-Incorporated Gelatin Hydrogel Microspheres and Subchondral Drilling on Equine Cartilage Defects, *Journal of Equine Veterinary Science*, 2014, Vol. 34, No. 6, pp. 820-824.

[29] Y. Itani, S. Asamura, M. Matsui, Y. Tabata, N. Isogai, Evaluation of Nanofiber-Based Polyglycolic Acid Scaffolds for Improved Chondrocyte Retention and In Vivo Bioengineered Cartilage Regeneration, *Plastic and Reconstructive Surgery*, 2014, Vol. 133, No. 6, pp. 805E-813E.

[30] G. Tan, Y. Tabata, Chondroitin-6-sulfate attenuates inflammatory responses in murine macrophages via suppression of NF-kappa B nuclear translocation, *Acta Biomaterialia*, 2014, Vol. 10, No. 6, pp. 2684-2692.

[31] H. Furuya, Y. Tabata, K. Kaneko, Bone Regeneration for Murine Femur Fracture by Gelatin Hydrogels Incorporating Basic Fibroblast Growth Factor with Different Release Profiles, *Tissue Engineering Part A*, 2014, Vol. 20, No. 9-10, pp. 1531-1541.

[32] H. Kiso, K. Takahashi, K. Saito, Y. Togo, H. Tsukamoto, B. Huang, M. Sugai, A. Shimizu, Y. Tabata, A.N. Economides, H.C. Slavkin, K. Bessho, Interactions between BMP-7 and USAG-1 (Uterine Sensitization-Associated Gene-1) Regulate Supernumerary Organ Formations, *PLOS ONE*, 2014, Vol. 9, No. 5, p. e96938.

[33] M. Kawago, T. Yoshimasu, Y. Tabata, M. Yamamoto, Y. Hirai, T. Kinoshita, Y. Okamura, Intrapleural administration of gelatin-embedded, sustained-release basic fibroblast growth factor for the regeneration of emphysematous lungs in rats, *Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery*, 2014, Vol. 147, No. 5, pp. 1644-1649.

[34] G. Ruan, Y. Chen, X. Yao, A. Du, G. Tang, Y. Shen, Y. Tabata, J. Gao, Macrophage mannose receptor-specific gene delivery vehicle for macrophage engineering, *Acta Biomaterialia*, 2014, Vol. 10, No. 5, pp. 1847-1855.

[35] M. Ikeda, T. Uemura, K. Takamatsu, M. Okada, K. Kazuki, Y. Tabata, Y. Ikada, H. Nakamura, Acceleration of peripheral nerve regeneration using nerve conduits in combination with induced pluripotent stem cell technology and a basic fibroblast growth factor drug delivery system, *Journal of Biomedical Materials Research Part A*, 2014, Vol. 102, No. 5, pp. 1370-1378.

[36] J. Seo, N. Tsuzuki, S. Haneda, K. Yamada, H. Furuoka, Y. Tabata, N. Sasaki, Osteoinductivity of gelatin/beta-tricalcium phosphate sponges loaded with different concentrations of mesenchymal stem cells and bone morphogenetic protein-2 in an equine bone defect model, *Veterinary Research Communications*, 2014, Vol. 38, No. 1, pp. 73-80.

[37] J. Lam, S. Lu, V.V. Meretoja, Y. Tabata, A.G. Mikos, F.K. Kasper, Generation of osteochondral

tissue constructs with chondrogenically and osteogenically predifferentiated mesenchymal stem cells encapsulated in bilayered hydrogels, *Acta Biomaterialia*, 2014, Vol. 10, No. 3, pp. 1112-1123.

[38] J. Nakano, A. Marui, H. Muranaka, H. Masumoto, H. Noma, Y. Tabata, A. Ido, H. Tsubouchi, T. Ikeda, R. Sakata, Effects of hepatocyte growth factor in myocarditis rats induced by immunization with porcine cardiac myosin, *Interactive Cardiovascular and Thoracic Surgery*, 2014, Vol. 18, No. 3, pp. 300-307.

[39] N. Hakuba, Y. Tabata, N. Hato, T. Fujiwara, K. Gyo, Gelatin Hydrogel With Basic Fibroblast Growth Factor for Tympanic Membrane Regeneration, *Otology & Neurotology*, 2014, Vol. 35, No. 3, pp. 540-544.

[40] A. Gaowa, T. Horibe, M. Kohno, K. Sato, H. Harada, M. Hiraoka, Y. Tabata, K. Kawakami, Combination of hybrid peptide with biodegradable gelatin hydrogel for controlled release and enhancement of anti-tumor activity in vivo, *Journal of Controlled Release*, 2014, Vol. 176, pp. 1-7.

[41] M. Komura, H. Komura, K. Konishi, T. Ishimaru, K. Hoshi, T. Takato, Y. Tabata, T. Iwanaka, Promotion of tracheal cartilage growth by intratracheal injection of basic fibroblast growth factor (b-FGF), *Journal of Pediatric Surgery*, 2014, Vol. 49, No. 2, pp. 296-300.

[42] T.A. El Kader, S. Kubota, T. Nishida, T. Hattori, E. Aoyama, D. Janune, E.S. Hara, M. Ono, Y. Tabata, T. Kuboki, M. Takigawa, The regenerative effects of CCN2 independent modules on chondrocytes in vitro and osteoarthritis models in vivo, *Bone*, 2014, Vol. 59, pp. 180-188.

[43] Y. Hu, P. Miao, B. Huang, T. Zhang, Z. Hu, Y. Tabata, J. Gao, Reversal of Tumor Growth by Gene Modification of Mesenchymal Stem Cells Using Spermine-Pullulan/DNA Nanoparticles, *Journal of Biomedical Nanotechnology*, 2014, Vol. 10, No. 2, pp. 299-308.

[44] Y. Sugamori, M. Honma, G. Kato, Y. Tamura, Y. Furuya, H. Yasuda, Y. Tabata, N. Udagawa, K. Ohya, H. Suzuki, K. Aoki, RANKL-binding peptides increased bone formation in a murine calvarial defect model., *Journal of Bone and Mineral Research*, 2014, Vol. 29, pp. S274-S275.

[45] Y. Kim, H. Furuya, Y. Tabata, Enhancement of bone regeneration by dual release of a macrophage recruitment agent and platelet-rich plasma from gelatin hydrogels, *Biomaterials*, 2014, Vol. 35, No. 1, pp. 214-224.

[46] T. Zhang, B. Huang, Z. Yuan, Y. Hu, Y. Tabata, J. Gao, Gene recombinant bone marrow mesenchymal stem cells as a tumor-targeted suicide gene delivery vehicle in pulmonary metastasis therapy using non-viral transfection, *Nanomedicine-Nanotechnology Biology and Medicine*, 2014, Vol. 10, No. 1, pp. 257-267.

[47] W. Zhang, J. Liu, Y. Tabata, J. Meng, H. Xu, The effect of serum in culture on RNAi efficacy through modulation of polyplexes size, *Biomaterials*, 2014, Vol. 35, No. 1, pp. 567-577.

[48] N. Yamada, W. Kim, T. Yoshida, Y. Oka, T. Ikeda, H. Fujiwara, A. Nishida, K. Matsuda, Y. Tabata, M. Kawata, T. Kubo, Effect of Gelatin beta-tricalcium Phosphate Sponge with Platelet-rich Plasma on Bone Regeneration in Massive Ulna Defects, *Journal of Medical and Biological Engineering*, 2013, Vol. 33, No. 6, pp. 545-551.

[49] Y. Nakamura, H. Ishikawa, K. Kawai, Y. Tabata, S. Suzuki, Enhanced wound healing by topical administration of mesenchymal stem cells transfected with stromal cell-derived factor-1, *Biomaterials*, 2013, Vol. 34, No. 37, pp. 9393-9400.

[50] J. Seo, T. Tanabe, N. Tsuzuki, S. Haneda, K. Yamada, H. Furuoka, Y. Tabata, N. Sasaki, Effects of bilayer gelatin/beta-tricalcium phosphate sponges loaded with mesenchymal stem cells, chondrocytes, bone morphogenetic protein-2, and platelet rich plasma on osteochondral defects of the talus in horses, *Research in Veterinary Science*, 2013, Vol. 95, No. 3, pp. 1210-1216.

[51] M. Kumagai, A. Marui, Y. Tabata, T. Takeda, M. Yamamoto, A. Yonezawa, S. Tanaka, S. Yanagi, T. Ito-Ihara, T. Ikeda, T. Murayama, S. Teramukai, T. Katsura, K. Matsubara, K. Kawakami, M. Yokode, A. Shimizu, R. Sakata, Safety and Efficacy of Sustained Release of Basic Fibroblast growth Factor Using Biodegradable Gelatin Hydrogel in Patients With Critical Limb Ischemia, *Circulation*, 2013, Vol. 128, No. 22, p. 16154.0.

[52] K. Tsuchiya, N. Nitta, A. Sonoda, H. Otani, M. Takahashi, K. Murata, M. Shiomi, Y. Tabata, S. Nohara, Atherosclerotic imaging using 4 types of superparamagnetic iron oxides: New possibilities for mannan-coated particles, *European Journal of Radiology*, 2013, Vol. 82, No. 11, pp. 1919-1925.

[53] S. Gunji, K. Obama, M. Matsui, Y. Tabata, Y. Sakai, A novel drug delivery system of intraperitoneal chemotherapy for peritoneal carcinomatosis using gelatin microspheres incorporating cisplatin, *Surgery*, 2013, Vol. 154, No. 5, pp. 991-999.

[54] T. Matsuo, H. Masumoto, S. Tajima, A. Marui, K. Minakata, T. Ikeda, Y. Tabata, R. Sakata, J.K. Yamashita, Efficiently Piled-Up Cardiac Tissue-Like Sheets With Pluripotent Stem Cell-Derived Cells Robustly Promotes Cell Engraftment and Ameliorates Cardiac Dysfunction After Myocardial Infarction, *Circulation*, 2013, Vol. 128, No. 22, p. 11283.0.

[55] N. Miura, M. Shimizu, W. Shinoda, S. Tsuno, R. Sato, X. Wang, J. Jo, Y. Tabata, J. Hasegawa, Human RGM249-Derived Small RNAs Potentially Regulate Tumor Malignancy, *Nucleic Acid Therapeutics*, 2013, Vol. 23, No. 5, pp. 332-343.

[56] K. Ohno, C. Mori, T. Akashi, S. Yoshida, Y. Tago, Y. Tsujii, Y. Tabata, Fabrication of Contrast Agents for Magnetic Resonance Imaging from Polymer-Brush-Afforded Iron Oxide Magnetic

Nanoparticles Prepared by Surface-Initiated Living Radical Polymerization, *Biomacromolecules*, 2013, Vol. 14, No. 10, pp. 3453-3462.

[57] N. Tsuzuki, J.P. Seo, S. Haneda, K. Yamada, H. Furuoka, Y. Tabata, N. Sasaki, Bioengineered osteochondral precursor for treatment of osteochondritis dissecans in a Thoroughbred filly, *Australian Veterinary Journal*, 2013, Vol. 91, No. 10, pp. 411-415.

[58] J. Seo, N. Tsuzuki, S. Haneda, K. Yamada, H. Furuoka, Y. Tabata, N. Sasaki, Comparison of allogeneic platelet lysate and fetal bovine serum for in vitro expansion of equine bone marrow-derived mesenchymal stem cells, *Research in Veterinary Science*, 2013, Vol. 95, No. 2, pp. 693-698.

[59] S. Tajima, Y. Tabata, Preparation and functional evaluation of cell aggregates incorporating gelatin microspheres with different degradabilities, *Journal of Tissue Engineering and Regenerative Medicine*, 2013, Vol. 7, No. 10, pp. 801-811.

[60] L.A. Kinard, C. Chu, Y. Tabata, F.K. Kasper, A.G. Mikos, Bone Morphogenetic Protein-2 Release from Composite Hydrogels of Oligo(poly(ethylene glycol) fumarate) and Gelatin, *Pharmaceutical Research*, 2013, Vol. 30, No. 9, pp. 2332-2343.

[61] T.M. Matsuo, H. Masumoto, S. Tajima, A. Marui, T. Ikeda, Y. Tabata, R. Sakata, J.K. Yamashita, An efficient piling up of pluripotent stem cell-derived cardiac tissue-like sheets that robustly promotes cell engraftment and ameliorates cardiac dysfunction after myocardial infarction, *European Heart Journal*, 2013, Vol. 34, pp. 280-281.

[62] T. Okamoto, S. Okamoto, Y. Fujimoto, Y. Tabata, S. Uemoto, Suppression of acute rejection by administration of prostaglandin E-2 receptor subtype 4 agonist in rat organ transplantation models, *Journal of Surgical Research*, 2013, Vol. 183, No. 2, pp. 852-859.

[63] K. Asano, T. Matsuno, Y. Tabata, T. Satoh, Preparation of Thermoplastic Poly(L-Lactic Acid) Membranes for Guided Bone Regeneration, *International Journal of Oral & Maxillofacial Implants*, 2013, Vol. 28, No. 4, pp. 973-981.

[64] M. Komura, H. Komura, Y. Otani, Y. Kanamori, T. Iwanaka, K. Hoshi, T. Tsuyoshi, Y. Tabata, The Junction Between Hyaline Cartilage and Engineered Cartilage in Rabbits, *Laryngoscope*, 2013, Vol. 123, No. 6, pp. 1547-1551.

[65] K. Kim, J. Lam, S. Lu, P.P. Spicer, A. Lueckgen, Y. Tabata, M.E. Wong, J.A. Jansen, A.G. Mikos, F.K. Kasper, Osteochondral tissue regeneration using a bilayered composite hydrogel with modulating dual growth factor release kinetics in a rabbit model, *Journal of Controlled Release*, 2013, Vol. 168, No. 2, pp. 166-178.

[66] F. Kitagawa, S. Takei, T. Imaizumi, Y. Tabata, Chondrogenic Differentiation of Immortalized Human Mesenchymal Stem Cells on Zirconia Microwell Substrata, *Tissue Engineering Part C-Methods*, 2013, Vol. 19, No. 6, pp. 438-448.

[67] L. Peng, Z. Mao, X. Qi, X. Chen, N. Li, Y. Tabata, J. Gao, Transplantation of bone-marrow-derived mesenchymal and epidermal stem cells contribute to wound healing with different regenerative features, *Cell and Tissue Research*, 2013, Vol. 352, No. 3, pp. 573-583.

[68] Y. Wang, H. Orbay, C. Huang, M. Tobita, H. Hyakusoku, M. Myamoto, Y. Tabata, H. Mizuno, Preclinical Efficacy of Slow-Release bFGF in Ischemia-Reperfusion Injury in a Dorsal Island Skin Flap Model, *Journal of Reconstructive Microsurgery*, 2013, Vol. 29, No. 5, pp. 341-346.

[69] Y. Chen, G. Ruan, X. Yao, L. Li, Y. Hu, Y. Tabata, J. Gao, Co-transfection Gene Delivery of Dendritic Cells Induced Effective Lymph Node Targeting and Anti-tumor Vaccination, *Pharmaceutical Research*, 2013, Vol. 30, No. 6, pp. 1502-1512.

[70] N. Nitta, S. Ohta, A. Sonoda, S. Watanabe, H. Otani, Y. Tomozawa, A. Nitta-Seko, K. Tsuchiya, K. Mukaisho, M. Takahashi, K. Murata, Y. Tabata, Evaluation of the embolic effect and degradability of gelatin microspheres and gelpart particles, *Minimally Invasive Therapy & Allied Technologies*, 2013, Vol. 22, No. 3, pp. 157-164.

[71] S. Kawabata, K. Asano, A. Miyazawa, T. Satoh, Y. Tabata, Electrodeposition of pronectin for titanium to augment gingival epithelium adhesion, *Journal of Tissue Engineering and Regenerative Medicine*, 2013, Vol. 7, No. 5, pp. 348-352.

[72] T. Ishimoto, T. Nakano, Y. Umakoshi, M. Yamamoto, Y. Tabata, Degree of biological apatite c-axis orientation rather than bone mineral density controls mechanical function in bone regenerated using recombinant bone morphogenetic protein-2, *Journal of Bone and Mineral Research*, 2013, Vol. 28, No. 5, pp. 1170-1179.

[73] Y. Iwasaki, K. Katayama, M. Yoshida, M. Yamamoto, Y. Tabata, Comparative physicochemical properties and cytotoxicity of polyphosphoester ionomers with bisphosphonates, *Journal of Biomaterials Science-Polymer Edition*, 2013, Vol. 24, No. 7, pp. 882-895.

[74] T. Furuya, M. Hashimoto, M. Koda, A. Murata, A. Okawa, M. Dezawa, D. Matsuse, Y. Tabata, K. Takahashi, M. Yamazaki, Treatment with basic fibroblast growth factor-incorporated gelatin hydrogel does not exacerbate mechanical allodynia after spinal cord contusion injury in rats, *Journal of Spinal Cord Medicine*, 2013, Vol. 36, No. 2, pp. 134-139.

[75] N. Sasaki, S. Nishii, K. Yamada, H. Huruoka, Y. Tabata, Effect of Gelatin Hydrogel Sheet Containing Basic Fibroblast Growth Factor on Proximal Sesamoid Bone Transverse Fracture Healing in the Horse, *Journal of Equine Veterinary Science*, 2013, Vol. 33, No. 3, pp. 210-214.

[76] W. Tsuji, T. Inamoto, R. Ito, N. Morimoto, Y.

Tabata, M. Toi, Simple and longstanding adipose tissue engineering in rabbits, *Journal of Artificial Organs*, 2013, Vol. 16, No. 1, pp. 110-114.

[77] H. Negoro, A. Kanematsu, M. Matsuo, H. Okamura, Y. Tabata, O. Ogawa, Development of Diurnal Micturition Pattern in Mice After Weaning, *Journal of Urology*, 2013, Vol. 189, No. 2, pp. 740-746.

[78] S. Somamoto, Y. Tabata, Effect of ProNectin F derivatives on cell attachment and proliferation, *Acta Biomaterialia*, 2013, Vol. 9, No. 2, pp. 5194-5200.

[79] T. Ishimaru, M. Komura, H. Komura, Y. Otani, H. Komuro, M. Sugiyma, K. Terawaki, K. Suzuki, Y. Tabata, T. Iwanaka, Slow release of basic fibroblast growth factor (b-FGF) promotes growth of tracheal cartilage, *Journal of Pediatric Surgery*, 2013, Vol. 48, No. 2, pp. 288-292.

[80] H. Kohara, K. Watanabe, T. Shintou, T. Nomoto, M. Okano, T. Shirai, T. Miyazaki, Y. Tabata, The use of fluorescent indoline dyes for side population analysis, *Biomaterials*, 2013, Vol. 34, No. 4, pp. 1024-1032.

[81] H. Negoro, T. Okinami, A. Kanematsu, M. Imamura, Y. Tabata, O. Ogawa, Role of Rev-erb alpha domains for transactivation of the connexin43 promoter with Sp1, *FEBS Letters*, 2013, Vol. 587, No. 1, pp. 98-103.

[82] H. Sekiguchi, M. Ii, K. Jujo, T. Thorne, A. Ito, E. Klyachko, H. Hamada, J.A. Kessler, Y. Tabata, M. Kawana, M. Asahi, N. Hagiwara, D.W. Losordo, Estradiol promotes neural stem cell differentiation into endothelial lineage and angiogenesis in injured peripheral nerve, *Angiogenesis*, 2013, Vol. 16, No. 1, pp. 45-58.

[83] T. Hayashi, S. Wakao, M. Kitada, T. Ose, H. Watabe, Y. Kuroda, K. Mitsunaga, D. Matsuse, T. Shigemoto, A. Ito, H. Ikeda, H. Fukuyama, H. Onoe, Y. Tabata, M. Dezawa, Autologous mesenchymal stem cell-derived dopaminergic neurons function in parkinsonian macaques, *Journal of Clinical Investigation*, 2013, Vol. 123, No. 1, pp. 272-284.

[84] J. Jo, X. Lin, T. Nakahara, I. Aoki, T. Saga, Y. Tabata, Preparation of Polymer-Based Magnetic Resonance Imaging Contrast Agent to Visualize Therapeutic Angiogenesis, *Tissue Engineering Part A*, 2013, Vol. 19, No. 1-2, pp. 30-39.

医用高分子講座 組織修復材料学分野

[1] M. Toda, Y. Arima, H. Takiguchi, H. Iwata, Surface plasmon field-enhanced fluorescence spectroscopy apparatus with a convergent optical system for point-of-care testing, *Analytical Biochemistry*, 2014, Vol. 467, pp. 47-53.

[2] N.M. Luan, H. Iwata, Long-Term Allogeneic Islet Graft Survival in Prevascularized Subcutaneous Sites Without Immunosuppressive Treatment, *American Journal of Transplantation*, 2014, Vol. 14, No. 7, pp. 1533-1542.

[3] I.T. Hoffecker, H. Iwata, Manipulation of Cell Sorting Within Mesenchymal Stromal Cell-Islet Cell Multicellular Spheroids, *Tissue Engineering Part A*, 2014, Vol. 20, No. 11-12, pp. 1643-1653.

[4] N. Takemoto, X. Liu, K. Takii, Y. Teramura, H. Iwata, Transplantation of Co-aggregates of Sertoli Cells and Islet Cells Into Liver Without Immunosuppression, *Transplantation*, 2014, Vol. 97, No. 3, pp. 287-293.

[5] S. Deno, N. Takemoto, H. Iwata, Introduction of antioxidant-loaded liposomes into endothelial cell surfaces through DNA hybridization, *Bioorganic & Medicinal Chemistry*, 2014, Vol. 22, No. 1, pp. 350-357.

[6] T. Nakaji-Hirabayashi, K. Kato, H. Iwata, In Vivo Study on the Survival of Neural Stem Cells Transplanted into the Rat Brain with a Collagen Hydrogel That Incorporates Laminin-Derived Polypeptides, *Bioconjugate Chemistry*, 2013, Vol. 24, No. 11, pp. 1798-1804.

[7] N. Kitamura, R. Nakai, H. Kohda, K. Furuta-Okamoto, H. Iwata, Labeling of islet cells with iron oxide nanoparticles through DNA hybridization for highly sensitive detection by MRI, *Bioorganic & Medicinal Chemistry*, 2013, Vol. 21, No. 22, pp. 7175-7181.

[8] J. Chang, S. Fujita, H. Tonami, K. Kato, H. Iwata, S. Hsu, Cell orientation and regulation of cell-cell communication in human mesenchymal stem cells on different patterns of electrospun fibers, *Biomedical Materials*, 2013, Vol. 8, No. 5, p. 055002.

[9] Y. Furukawa, A. Shimada, K. Kato, H. Iwata, K. Torimitsu, Monitoring neural stem cell differentiation using PEDOT-PSS based MEA, *Biochimica Et Biophysica Acta-General Subjects*, 2013, Vol. 1830, No. 9, pp. 4329-4333.

[10] S. Konagaya, K. Kato, T. Nakaji-Hirabayashi, H. Iwata, Selective and rapid expansion of human neural progenitor cells on substrates with terminally anchored growth factors, *Biomaterials*, 2013, Vol. 34, No. 25, pp. 6008-6014.

[11] Nguyen M.L., H. Iwata, Inhibition of instant blood-mediated inflammatory responses by co-immobilization of sCR1 and heparin on islets, *Biomaterials*, 2013, Vol. 34, No. 21, pp. 5019-5024.

[12] T. Kodama, H. Iwata, Comparison of bare metal and statin-coated coils on rates of intra-aneurysmal tissue organization in a rat model of aneurysm, *Journal of Biomedical Materials Research Part B-Applied Biomaterials*, 2013, Vol. 101B, No. 4, pp. 656-662.

[13] K. Sakurai, I.T. Hoffecker, H. Iwata, Long term culture of cells patterned on glass via membrane-tethered oligonucleotides, *Biomaterials*, 2013, Vol. 34, No. 2, pp. 361-370.

[1] T. Fukasawa, M. Hashimoto, S. Nagamine, H. Aoki, H. Shinto, S. Ito, M. Ohshima, Fabrication of ICG Dye-containing Particles by Growth of Polymer/Salt Aggregates and Measurement of Photoacoustic Signals, *Chemistry Letters*, 2014, Vol. 43, No. 4, pp. 495-497.

[2] T. Fukasawa, H. Shinto, H. Aoki, S. Ito, M. Ohshima, Size-dependent effect of gold nanospheres on the acoustic pressure pulses from laser-irradiated suspensions, *Advanced Powder Technology*, 2014, Vol. 25, No. 2, pp. 733-738.

[3] H. Shinto, T. Fukasawa, H. Aoki, S. Ito, M. Ohshima, Acoustic pressure pulses from laser-irradiated suspensions containing gold nanospheres in water: Experimental and theoretical study, *Colloids and Surfaces A-Physicochemical and Engineering Aspects*, 2013, Vol. 430, pp. 51-57.

[4] H. Aoki, K. Mori, T. Takahashi, S. Ito, Quantitative analysis of end-to-end distance of single polymer chain in ultra-thin film by super-resolution fluorescence imaging, *Chemical Physics*, 2013, Vol. 419, pp. 54-58.

合成・生物化学専攻

有機設計学講座

[1] T. Ohmura, T. Torigoe, M. Suginome, Iridium-catalysed borylation of sterically hindered C(sp(3))-H bonds: remarkable rate acceleration by a catalytic amount of potassium tert-butoxide, *Chemical Communications*, 2014, Vol. 50, No. 48, pp. 6333-6336.

[2] Y. Nagata, T. Nishikawa, M. Suginom, Poly(quinoxaline-2,3-diyl)s Bearing (S)-3-Octyloxymethyl Side Chains as an Efficient Amplifier of Alkane Solvent Effect Leading to Switch of Main-Chain Helical Chirality, *Journal of The American Chemical Society*, 2014, Vol. 136, No. 45, pp. 15901-15904.

[3] T. Yamamoto, Y. Akai, M. Suginome, Chiral Palladacycle Catalysts Generated on a Single-Handed Helical Polymer Skeleton for Asymmetric Arylative Ring Opening of 1,4-Epoxy-1,4-dihydronaphthalene, *Angewandte Chemie International Edition*, 2014, Vol. 53, No. 47, pp. 12785-12788.

[4] Y. Nagata, T. Nishikawa, M. Suginome, Chirality-switchable circularly polarized luminescence in solution based on the solvent-dependent helix inversion of poly(quinoxaline-2,3-diyl)s, *Chemical Communications*, 2014, Vol. 50, No. 69, pp. 9951-9953.

[5] Y. Nagata, T. Kuroda, K. Takagi, M. Suginome, Ether solvent-induced chirality inversion of helical poly(quinoxaline-2,3-diyl)s containing L-lactic acid derived side chains, *Chemical Science*, 2014, Vol. 5, No. 12, pp. 4953-4956.

[6] Y. Nagata, K. Takagi, M. Suginome, Solid Polymer Films Exhibiting Handedness-Switchable, Full-Color-Tunable Selective Reflection of Circularly Polarized Light, *Journal of The American Chemical Society*, 2014, Vol. 136, No. 28, pp. 9858-9861.

[7] M. Daini, A. Yamamoto, M. Suginome, Nickel-Catalyzed Cyclizative trans-Carboboration of Alkynes through Activation of Boron-Chlorine Bonds by Using Organometallic Reagents as Donors of Organic Groups, *Asian Journal of Organic Chemistry*, 2013, Vol. 2, No. 11, pp. 968-976.

[8] T. Ohmura, T. Torigoe, M. Suginome, Functionalization of Tetraorganosilanes and Permethyloligosilanes at a Methyl Group on Silicon via Iridium-Catalyzed C(sp(3))-H Borylation, *Organometallics*, 2013, Vol. 32, No. 21, pp. 6170-6173.

[9] T. Yamamoto, T. Adachi, M. Suginome, Complementary Induction of Right- and Left-Handed Helical Structures by the Positioning of Chiral Groups on the Monomer Units: Introduction of (-)-Menthol as Side Chains of Poly(quinoxaline-2,3-diyl)s, *ACS Macro Letters*, 2013, Vol. 2, No. 9, pp. 790-793.

[10] Y. Nagata, T. Yamada, T. Adachi, Y. Akai, T. Yamamoto, M. Suginome, Solvent-Dependent Switch of Helical Main-Chain Chirality in Sergeants-and-Soldiers-Type Poly(quinoxaline-2,3-diyl)s: Effect of the Position and Structures of the "Sergeant" Chiral Units on the Screw-Sense Induction, *Journal of The American Chemical Society*, 2013, Vol. 135, No. 27, pp. 10104-10113.

[11] T. Ohmura, A. Kijima, Y. Komori, M. Suginome, Cycloaddition-based Formal C-H Alkynylation of Isoindoles Leading to the Synthesis of Air-stable Fluorescent 1,3-Dialkynylisoindoles, *Organic Letters*, 2013, Vol. 15, No. 14, pp. 3510-3513.

[12] T. Ohmura, K. Oshima, M. Suginome, Synthesis of Cyclic Alkenylborates via Silaboration of Alkynes Followed by Hydrolysis for Utilization in External-Base-Free Cross Coupling, *Organometallics*, 2013, Vol. 32, No. 9, pp. 2870-2873.

[13] M. Koyanagi, N. Eichenauer, H. Ihara, T. Yamamoto, M. Suginome, Anthranilamide-masked o-Iodoarylboronic Acids as Coupling Modules for Iterative Synthesis of ortho-Linked Oligoarenes, *Chemistry Letters*, 2013, Vol. 42, No. 5, pp. 541-543.

[14] K. Nakada, M. Daini, M. Suginome, Palladium-catalyzed Carboboration: Borylative Coupling of Alkynes with Alkenes through Activation of Boron-Chlorine Bonds, *Chemistry Letters*, 2013, Vol. 42, No. 5, pp. 538-540.

合成化学講座 有機合成化学分野

[1] A. Nagaki, K. Akahori, Y. Takahashi, J. Yoshida, Flow Microreactor Synthesis of Fluorine-Containing Block Copolymers, *Journal of Flow Chemistry*, 2014, Vol. 4, No. 4, pp. 168-172.

[2] A. Nagaki, S. Tokuoka, J. Yoshida, Flash generation of alpha-(trifluoromethyl) vinyllithium and application to continuous flow three-component synthesis of alpha-trifluoromethylamides, *Chemical Communications*, 2014, Vol. 50, No. 95, pp. 15079-15081.

[3] 清水 章弘, 野上 敏材, 吉田 潤一, 4. キノンを基本骨格とする正極活物質を用いる有機二次電池, *Electrochemistry*, 2014, Vol. 82, No. 8, pp. 688-693.

[4] A. Nagaki, D. Yamada, S. Yamada, M. Doi, D. Ichinari, Y. Tomida, N. Takabayashi, J. Yoshida, Generation and Reactions of Pyridyllithiums via Br/Li Exchange Reactions Using Continuous Flow Microreactor Systems, *Australian Journal of Chemistry*, 2013, Vol. 66, No. 2, pp. 199-207.

[5] Y. Ashikari, T. Nokami, J. Yoshida, Integration of electrooxidative cyclization and chemical oxidation via alkoxysulfonium ions. Synthesis of exocyclic ketones from alkenes with cyclization, *Organic & Biomolecular Chemistry*, 2013, Vol. 11, No. 20, pp. 3322-3331.

[6] A. Nagaki, D. Ichinari, J. Yoshida, Reactions of organolithiums with dialkyl oxalates. A flow microreactor approach to synthesis of functionalized alpha-keto esters, *Chemical Communications*, 2013, Vol. 49, No. 31, pp. 3242-3244.

[7] T. Nokami, T. Watanabe, K. Terao, K. Soga, K. Ohata, J. Yoshida, Multiple Alkylation of Thiophene Derivatives with Simple and Extended Diarylcarbenium Ion Pools, *Electrochemistry*, 2013, Vol. 81, No. 5, pp. 399-401.

[8] K. Asano, Y. Uesugi, J. Yoshida, Pauson-Khand Reactions in a Photochemical Flow Microreactor, *Organic Letters*, 2013, Vol. 15, No. 10, pp. 2398-2401.

[9] A. Nagaki, Y. Uesugi, H. Kim, J. Yoshida, Synthesis of Functionalized Aryl Fluorides Using Organolithium Reagents in Flow Microreactors, *Chemistry-An Asian Journal*, 2013, Vol. 8, No. 4, pp. 705-708.

[10] T. Morofuji, A. Shimizu, J. Yoshida, Electrochemical C-H Amination: Synthesis of Aromatic Primary Amines via N-Arylpyridinium Ions, *Journal of The American Chemical Society*, 2013, Vol. 135, No. 13, pp. 5000-5003.

[11] A. Giovine, B. Musio, L. Degennaro, A. Falcicchio, A. Nagaki, J. Yoshida, R. Luisi, Synthesis of 1,2,3,4-Tetrahydroisoquinolines by Microreactor-Mediated Thermal Isomerization of Laterally Lithiated Arylaziridines, *Chemistry-A European Journal*, 2013, Vol. 19, No. 6, pp. 1872-1876.

合成化学講座 有機金属化学分野

[1] T. Miura, T. Tanaka, K. Matsumoto, M. Murakami, One-Pot Synthesis of 2,5-Dihydropyrroles from Terminal Alkynes, Azides, and Propargylic Alcohols by Relay Actions of Copper, Rhodium, and Gold, *Chemistry - A European Journal*, 2014, Vol. 20, No. 49, pp. 16078-16082.

[2] T. Miura, T. Nakamuro, C. Liang, M. Murakami, Synthesis of trans-Cycloalkenes via Enantioselective Cyclopropanation and Skeletal Rearrangement, *Journal of the American Chemical Society*, 2014, Vol. 136, No. 45, pp. 15905-15908.

[3] L. Liu, A. Zhang, R. Zhao, F. Li, T. Meng, N. Ishida, M. Murakami, W. Zhao, Asymmetric Synthesis of Planar Chiral Ferrocenes by Enantioselective Intramolecular C-H Arylation of N-(2-Haloaryl)ferrocenecarboxamides, *Organic Letters*, 2014, Vol. 16, No. 20, pp. 5336-5338.

[4] T. Miura, T. Nakamuro, K. Hiraga, M. Murakami, The stereoselective synthesis of alpha-amino aldols starting from terminal alkynes, *Chemical Communications*, 2014, Vol. 50, No. 72, pp. 10474-10477.

[5] A. Yada, S. Fujita, M. Murakami, Enantioselective Insertion of a Carbenoid Carbon into a C-C Bond To Expand Cyclobutanols to Cyclopentanols, *Journal of The American Chemical Society*, 2014, Vol. 136, No. 20, pp. 7217-7220.

[6] T. Miura, Y. Funakoshi, T. Tanaka, M. Murakami, Direct Production of Enaminones from Terminal Alkynes via Rhodium-Catalyzed Reaction of Formamides with N-Sulfonyl-1,2,3-triazoles, *Organic Letters*, 2014, Vol. 16, No. 10, pp. 2760-2763.

[7] N. Ishida, W. Ikemoto, M. Murakami, Cleavage of C-C and C-Si sigma-Bonds and Their Intramolecular Exchange, *Journal of The American Chemical Society*, 2014, Vol. 136, No. 16, pp. 5912-5915.

[8] T. Miura, Y. Nishida, M. Murakami, Construction of Homoallylic Alcohols from Terminal Alkynes and Aldehydes with Installation of syn-Stereochemistry, *Journal of The American Chemical Society*, 2014, Vol. 136, No. 17, pp. 6223-6226.

[9] M. Murakami, Special Issue Celebrating 40 Years of the Mukaiyama Aldol Reaction: Introductory Remarks, *Chemical Record*, 2014, Vol. 14, No. 1, pp. 12-13.

[10] T. Miura, Y. Funakoshi, M. Murakami, Intramolecular Dearomatizing [3+2] Annulation of alpha-Imino Carbenoids with Aryl Rings Furnishing 3,4-Fused Indole Skeletons, *Journal of The American Chemical Society*, 2014, Vol. 136, No. 6, pp. 2272-2275.

[11] L. Ding, N. Ishida, M. Murakami, K. Morokuma, sp(3)-sp(2) vs sp(3)-sp(3) C-C Site Selectivity in Rh-Catalyzed Ring Opening of Benzocyclobutenol: A DFT Study, *Journal of The American Chemical Society*, 2014, Vol. 136, No. 1, pp. 169-178.

[12] N. Ishida, S. Sawano, M. Murakami, Stereospecific ring expansion from orthocyclophanes with central chirality to metacyclophanes with planar chirality, *Nature Communications*, 2014, Vol. 5, p. 3111.

[13] 矢田 陽, パラジウム触媒を用いたハロゲン化アリールによるカルボニル化合物の直接的な β-アリール化反応, 有機合成化学協会誌, 2014, Vol. 72, No. 10, pp. 1156-1157.

[14] N. Ishida, Y. Shimamoto, T. Yano, M. Murakami, 1,5-Rhodium Shift in Rearrangement of N-Arenesulfonylazetidin-3-ols into Benzosultams, *Journal of The American Chemical Society*, 2013, Vol. 135, No. 51, pp. 19103-19106.

[15] N. Ishida, Y. Nakanishi, M. Murakami, Reactivity Change of Cyclobutanols towards Isocyanates: Rhodium Favors C-Carbamoylation over O-Carbamoylation, *Angewandte Chemie International Edition*, 2013, Vol. 52, No. 45, pp. 11875-11878.

[16] T. Miura, T. Tanaka, A. Yada, M. Murakami, Doyle-Kirmse Reaction Using Triazoles Leading to One-pot Multifunctionalization of Terminal Alkynes, *Chemistry Letters*, 2013, Vol. 42, No. 10, pp. 1308-1310.

[17] N. Ishida, D. Necas, Y. Shimamoto, M. Murakami, Construction of Indole Skeletons by Sequential Actions of Sunlight and Rhodium on

alpha-Aminoacetophenones, *Chemistry Letters*, 2013, Vol. 42, No. 9, pp. 1076-1078.

[18] T. Miura, T. Tanaka, K. Hiraga, S.G. Stewart, M. Murakami, Stereoselective Synthesis of 2,3-Dihydropyrroles from Terminal Alkynes, Azides, and alpha,beta-Unsaturated Aldehydes via N-Sulfonyl-1,2,3-triazoles, *Journal of The American Chemical Society*, 2013, Vol. 135, No. 37, pp. 13652-13655.

[19] C. Li, T. Yano, N. Ishida, M. Murakami, Pyridine-Directed Palladium-Catalyzed Phosphonation of C(sp(2))-H Bonds, *Angewandte Chemie International Edition*, 2013, Vol. 52, No. 37, pp. 9801-9804.

[20] T. Miura, Y. Nishida, M. Morimoto, M. Murakami, Enantioselective Synthesis of Anti Homoallylic Alcohols from Terminal Alkynes and Aldehydes Based on Concomitant Use of a Cationic Iridium Complex and a Chiral Phosphoric Acid, *Journal of The American Chemical Society*, 2013, Vol. 135, No. 31, pp. 11497-11500.

[21] T. Miura, K. Hiraga, T. Biyajima, T. Nakamuro, M. Murakami, Regiocontrolled Synthesis of Polysubstituted Pyrroles Starting from Terminal Alkynes, Sulfonyl Azides, and Allenes, *Organic Letters*, 2013, Vol. 15, No. 13, pp. 3298-3301.

[22] T. Matsuda, T. Goya, L. Liu, Y. Sakurai, S. Watanuki, N. Ishida, M. Murakami, Azulenophenanthrenes from 2,2-Di(arylethynyl)biphenyls through CC Bond Cleavage of a Benzene Ring, *Angewandte Chemie International Edition*, 2013, Vol. 52, No. 25, pp. 6492-6495.

[23] M. Morimoto, Y. Nishida, T. Miura, M. Murakami, Nickel-catalyzed [2+2+2] Cycloaddition Reaction of Isocyanates with 1,3-Dienes, *Chemistry Letters*, 2013, Vol. 42, No. 5, pp. 550-552.

[24] Y. Masuda, M. Hasegawa, M. Yamashita, K. Nozaki, N. Ishida, M. Murakami, Oxidative Addition of a Strained C-C Bond onto Electron-Rich Rhodium(I) at Room Temperature, *Journal of The American Chemical Society*, 2013, Vol. 135, No. 19, pp. 7142-7145.

[25] T. Miura, T. Tanaka, T. Biyajima, A. Yada, M. Murakami, One-Pot Procedure for the Introduction of Three Different Bonds onto Terminal Alkynes through N-Sulfonyl-1,2,3-Triazole Intermediates, *Angewandte Chemie International Edition*, 2013, Vol. 52, No. 14, pp. 3883-3886.

[26] Y. Shimamoto, H. Sunaba, N. Ishida, M. Murakami, Regioselective Construction of Indene Skeletons by Palladium-Catalyzed Annulation of Alkynylborates with o-Iodophenyl Ketones, *European Journal of Organic Chemistry*, 2013, Vol. 2013, No. 8, pp. 1421-1424.

合成化学講座 機能化学分野

[1] K. Hirai, P. Falcaro, S. Kitagawa, S. Furukawa, Host-Guest Metal-Organic Frameworks for Photonics, *Metal-Organic Frameworks For Photonics Applications*, 2014, Vol. 157, pp. 167-186.

[2] K. Kongpatpanich, S. Horike, M. Sugimoto, S. Kitao, M. Seto, S. Kitagawa, A porous coordination polymer with a reactive diiron paddlewheel unit, *Chemical Communications*, 2014, Vol. 50, No. 18, pp. 2292-2294.

[3] R. Babarao, C.J. Coghlan, D. Rankine, W.M. Bloch, G.K. Gransbury, H. Sato, S. Kitagawa, C.J. Sumby, M.R. Hill, C.J. Doonan, Does functionalisation enhance CO2 uptake in interpenetrated MOFs? An examination of the IRMOF-9 series, *Chemical Communications*, 2014, Vol. 50, No. 24, pp. 3238-3241.

[4] P. Ramaswamy, R. Matsuda, W. Kosaka, G. Akiyama, H.J. Jeon, S. Kitagawa, Highly proton conductive nanoporous coordination polymers with sulfonic acid groups on the pore surface, *Chemical Communications*, 2014, Vol. 50, No. 9, pp. 1144-1146.

[5] J. Duan, M. Higuchi, R. Krishna, T. Kiyonaga, Y. Tsutsumi, Y. Sato, Y. Kubota, M. Takata, S. Kitagawa, High CO2/N-2/O-2/CO separation in a chemically robust porous coordination polymer with low binding energy, *Chemical Science*, 2014, Vol. 5, No. 2, pp. 660-666.

[6] W. Chen, S. Horike, M. Inukai, S. Kitagawa, Study on a 2D layer coordination framework showing order-to-disorder phase transition by ionothermal synthesis, *Polym J*, 2014, Vol. 47, pp. 141-145.

[7] D. Umeyama, S. Horike, C. Tassel, H. Kageyama, Y. Higo, K. Hagi, N. Ogiwara, S. Kitagawa, Pressure-induced amorphization of a dense coordination polymer and its impact on proton conductivity, *Apl Materials*, 2014, Vol. 2, No. 12, p. 124401.

[8] T. Uemura, R. Nakanishi, T. Kaseda, N. Uchida, S. Kitagawa, Controlled Cyclopolymerization of Difunctional Vinyl Monomers in Coordination Nanochannels, *Macromolecules*, 2014, Vol. 47, No. 21, pp. 7321-7326.

[9] C.R. Kim, T. Uemura, S. Kitagawa, Fabrication of Ceria Nanoparticles Incorporated in Porous Coordination Polymer, *Chemistry Letters*, 2014, Vol. 43, No. 11, pp. 1749-1751.

[10] G. Akiyama, R. Matsuda, H. Sato, S. Kitagawa, Catalytic Glucose Isomerization by Porous Coordination Polymers with Open Metal Sites, *Chemistry-An Asian Journal*, 2014, Vol. 9, No. 10, pp. 2772-2777.

[11] R. Haldar, R. Matsuda, S. Kitagawa, S.J. George, T.K. Maji, Amine-Responsive Adaptable Nanospaces: Fluorescent Porous Coordination Polymer for Molecular Recognition, *Angewandte Chemie International Edition*, 2014, Vol. 53, No. 44, pp. 11772-11777.

[12] K. Kobayashi, T. Kikuchi, S. Kitagawa, K. Tanaka, Selective Generation of Formamides

through Photocatalytic CO2 Reduction Catalyzed by Ruthenium Carbonyl Compounds, *Angewandte Chemie International Edition*, 2014, Vol. 53, No. 44, pp. 11813-11817.

[13] K. Hirai, J. Reboul, N. Morone, J.E. Heuser, S. Furukawa, S. Kitagawa, Diffusion-Coupled Molecular Assembly: Structuring of Coordination Polymers Across Multiple Length Scales, *Journal of The American Chemical Society*, 2014, Vol. 136, No. 42, pp. 14966-14973.

[14] J.N. Behera, J. Bhattacharjee, S. Horike, S.R. Marri, P.P. Dahiya, Synthesis and characterization of robust three-dimensional chiral metal sulfates, *RSC Advances*, 2014, Vol. 4, No. 92, pp. 50435-50442.

[15] C.R. Kim, T. Uemura, S. Kitagawa, Sol—gel synthesis of nanosized titanium oxide in a porous coordination polymer, *Microporous and Mesoporous Materials*, 2014, Vol. 195, pp. 31-35.

[16] D. Aravena, Z. Arcis Castillo, M. Carmen Munoz, A.B. Gaspar, K. Yoneda, R. Ohtani, A. Mishima, S. Kitagawa, M. Ohba, J. Antonio Real, E. Ruiz, Guest Modulation of Spin-Crossover Transition Temperature in a Porous Iron(II) Metal-Organic Framework: Experimental and Periodic DFT Studies, *Chemistry-A European Journal*, 2014, Vol. 20, No. 40, pp. 12864-12873.

[17] T. Wakaoka, K. Hirai, K. Murayama, Y. Takano, H. Takagi, S. Furukawa, S. Kitagawa, Confined synthesis of CdSe quantum dots in the pores of metal-organic frameworks, *Journal of Materials Chemistry C*, 2014, Vol. 2, No. 35, pp. 7173-7175.

[18] H. Inaba, N.J.M. Sanghamitra, T. Fukai, T. Matsumoto, K. Nishijo, S. Kanamaru, F. Arisaka, S. Kitagawa, T. Ueno, Intracellular Protein Delivery System with Protein Needle-GFP Construct, *Chemistry Letters*, 2014, Vol. 43, No. 9, pp. 1505-1507.

[19] S. Furukawa, J. Reboul, S. Diring, K. Sumida, S. Kitagawa, Structuring of metal-organic frameworks at the mesoscopic/macroscopic scale, *Chemical Society Reviews*, 2014, Vol. 43, No. 16, pp. 5700-5734.

[20] V. Martinez-Martinez, R. Sola Llano, S. Furukawa, Y. Takashima, I. Lopez Arbeloa, S. Kitagawa, Enhanced Phosphorescence Emission by Incorporating Aromatic Halides into an Entangled Coordination Framework Based on Naphthalenediimide, *ChemPhysChem*, 2014, Vol. 15, No. 12, pp. 2517-2521.

[21] N.J.M. Sanghamitra, H. Inaba, F. Arisaka, D.O. Wang, S. Kanamaru, S. Kitagawa, T. Ueno, Plasma membrane translocation of a protein needle based on a triple-stranded beta-helix motif, *Molecular Biosystems*, 2014, Vol. 10, No. 10, pp. 2677-2683.

[22] K. Kongpatpanich, S. Horike, M. Sugimoto, T. Fukushima, D. Umeyama, Y. Tsutsumi, S. Kitagawa, Synthesis and Porous Properties of Chromium Azolate Porous Coordination Polymers, *Inorg Chem*, 2014, Vol. 53, No. 18, pp. 9870-9875.

[23] H.'. Zhou, S. Kitagawa, Metal-Organic Frameworks (MOFs), *Chemical Society Reviews*, 2014, Vol. 43, No. 16, pp. 5415-5418.

[24] S. Horike, W. Chen, T. Itakura, M. Inukai, D. Umeyama, H. Asakura, S. Kitagawa, Order-to-disorder structural transformation of a coordination polymer and its influence on proton conduction, *Chem Commun*, 2014, Vol. 50, No. 71, pp. 10241-10243.

[25] H.J. Jeon, R. Matsuda, P. Kanoo, H. Kajiro, L. Li, H. Sato, Y. Zheng, S. Kitagawa, The densely fluorinated nanospace of a porous coordination polymer composed of perfluorobutyl-functionalized ligands, *Chemical Communications*, 2014, Vol. 50, No. 74, pp. 10861-10863.

[26] M. Nakahama, J. Reboul, K. Kamei, S. Kitagawa, S. Furukawa, Fibrous Architectures of Porous Coordination Polymers-Alumina Composites Fabricated by Coordination Replication, *Chemistry Letters*, 2014, Vol. 43, No. 7, pp. 1052-1054.

[27] K. Kishida, Y. Watanabe, S. Horike, Y. Watanabe, Y. Okumura, Y. Hijikata, S. Sakaki, S. Kitagawa, DRIFT and Theoretical Studies of Ethylene/Ethane Separation on Flexible and Microporous [Cu-2(2,3-pyrazinedicarboxylate)2(pyrazine)](n), *European Journal of Inorganic Chemistry*, 2014, Vol. 2014, No. 17, pp. 2747-2752.

[28] W. Kosaka, K. Yamagishi, R. Matsuda, S. Kitagawa, M. Takata, H. Miyasaka, Coordination Programming in the Design of Porous Coordination Polymers: Tuning of the Electronic Activity of Frameworks for Selective Nitrogen Monoxide Trapping, *Chemistry Letters*, 2014, Vol. 43, No. 6, pp. 890-892.

[29] K. Kishida, S. Horike, Y. Watanabe, M. Tahara, Y. Inubushi, S. Kitagawa, Structural Optimization of Interpenetrated Pillared-Layer Coordination Polymers for Ethylene/Ethane Separation, *Chemistry-An Asian Journal*, 2014, Vol. 9, No. 6, pp. 1643-1647.

[30] L. Li, R. Matsuda, I. Tanaka, H. Sato, P. Kanoo, H.J. Jeon, M.L. Foo, A. Wakamiya, Y. Murata, S. Kitagawa, A Crystalline Porous Coordination Polymer Decorated with Nitroxyl Radicals Catalyzes Aerobic Oxidation of Alcohols, *Journal of The American Chemical Society*, 2014, Vol. 136, No. 21, pp. 7543-7546.

[31] H. Tabe, S. Abe, T. Hikage, S. Kitagawa, T. Ueno, Porous Protein Crystals as Catalytic Vessels for Organometallic Complexes, *Chemistry-An Asian Journal*, 2014, Vol. 9, No. 5, pp. 1373-1378.

[32] M. Inukai, S. Horike, W. Chen, D. Umeyama, T. Itakura, S. Kitagawa, Template-directed proton conduction pathways in a coordination framework, *Journal of Materials Chemistry A*, 2014, Vol. 2, No. 27, pp. 10404-10409.

[33] M. Kondo, S. Furukawa, K. Hirai, T. Tsuruoka, J. Reboul, H. Uehara, S. Diring, Y. Sakata, O. Sakata, S. Kitagawa, Trapping of a Spatial Transient State During the Framework Transformation of a Porous Coordination Polymer, *Journal of The American Chemical Society*, 2014, Vol. 136, No. 13, pp. 4938-4944.

[34] T. Uemura, Supramolecular Approaches towards Ordered Polymer Materials, *Chemistry-A European Journal*, 2014, Vol. 20, No. 6, pp. 1482-1489.

[35] C.M. Doherty, D. Buso, A.J. Hill, S. Furukawa, S. Kitagawa, P. Falcaro, Using Functional Nano- and Microparticles for the Preparation of Metal-Organic Framework Composites with Novel Properties, *Accounts of Chemical Research*, 2014, Vol. 47, No. 2, pp. 396-405.

[36] 植村 卓史, 多孔性配位高分子の合成と性質, 京都大学化学研究所スーパーコンピュータシステム研究成果報告書, 2014, Vol. 2014, pp. 91-91.

[37] 植村 卓史, MOF の細孔空間を活用した高分子合成, ゼオライト, 2014, Vol. 31, No. 3, pp. 71-77.

[38] 北川 進, 黒田 一幸, 瀬戸山 亨, 座談会 超空間を設計する化学, 現代化学, 2014, No. 523, pp. 24-29.

[39] 佐藤 弘志, 北川 進, 無数の微細な穴をもつ多孔性材料による一酸化炭素分離, 配管技術, 2014, Vol. 56, No. 9, pp. 1-4.

[40] 犬飼 宗弘, 北川 進, 多孔性配位高分子の化学 (ヘッドライン:隙間の化学), 化学と教育, 2014, Vol. 62, No. 3, pp. 112-115.

[41] 植村 卓史, 北川 進, 新化学モーターの開発, パリティ, 2014, Vol. 29, No. 2, pp. 40-43.

[42] M.L. Foo, R. Matsuda, S. Kitagawa, Functional Hybrid Porous Coordination Polymers, *Chemistry of Materials*, 2014, Vol. 26, No. 1, pp. 310-322.

[43] 堀毛 悟史, 北川 進, 魚谷 信夫, 多孔性錯体の開発動向およびガス分離機能 (特集 金属-有機骨格体の工学的利用 (MOF)), 分離技術, 2014, Vol. 44, No. 4, pp. 224-229.

[44] 犬飼 宗弘, 北川 進, 多孔性配位高分子の化学 (隙間の化学), 化学と教育, 2014, Vol. 62, No. 3, pp. 112-115.

[45] H. Sato, W. Kosaka, R. Matsuda, A. Hori, Y. Hijikata, R.V. Belosludov, S. Sakaki, M. Takata, S. Kitagawa, Self-Accelerating CO Sorption in a Soft Nanoporous Crystal, *Science*, 2014, Vol. 343, No. 6167, pp. 167-170.

[46] M. Maekawa, T. Miyazaki, K. Sugimoto, T. Okubo, T. Kuroda-Sowa, M. Munakata, S. Kitagawa, Preparations and structural diversity of copper(I) ethylene adducts with related 3,6-bis(2-pyridyl)-1,2,4,5-tetrazine ligands, *Inorganica Chimica Acta*, 2014, Vol. 410, pp. 46-53.

[47] 堀毛 悟史, 配位高分子のダイナミクスの理解と制御による機能創製, *Bulletin of Japan Society of Coordination Chemistry*, 2014, No. 63, pp. 38-45.

[48] 市井 智章, 有川 敬, 佐藤 弘志, 北川 進, 田中 耕一郎, 8pPSB-36 一次元チャネル構造を持つ多孔性配位高分子に吸着された水分子の凝集状態 (8pPSB 領域 12 ポスターセッション, 領域 12(ソフトマター物理・化学物理・生物物理)), 日本物理学会講演概要集, 2014, Vol. 69, No. 2, p. 212.

[49] M. Maekawa, T. Miyazaki, K. Sugimoto, T. Okubo, T. Kuroda-Sowa, M. Munakata, S. Kitagawa, Structural diversity among copper(I) ethylene adducts of 3,6-bis(2-pyridyl)-1,2,4,5-tetrazine, *Dalton Transactions*, 2013, Vol. 42, No. 12, pp. 4258-4266.

[50] W. Kosaka, K. Yamagishi, H. Yoshida, R. Matsuda, S. Kitagawa, M. Takata, H. Miyasaka, CO2 superabsorption in a paddlewheel-type Ru dimer chain compound: gate-open performance dependent on inter-chain interactions, *Chemical Communications*, 2013, Vol. 49, No. 16, pp. 1594-1596.

[51] S. Horike, M. Sugimoto, K. Kongpatpanich, Y. Hijikata, M. Inukai, D. Umeyama, S. Kitao, M. Seto, S. Kitagawa, Fe2+-based layered porous coordination polymers and soft encapsulation of guests via redox activity, *Journal of Materials Chemistry A*, 2013, Vol. 1, No. 11, pp. 3675-3679.

[52] Y. Mito-Oka, S. Horike, Y. Nishitani, T. Masumori, M. Inukai, Y. Hijikata, S. Kitagawa, Siloxane D4 capture by hydrophobic microporous materials, *Journal of Materials Chemistry A*, 2013, Vol. 1, No. 27, pp. 7885-7888.

[53] K. Kishida, S. Horike, K. Kongpatpanich, S. Kitagawa, Soft 2D Layer Porous Coordination Polymers with 1,2-Di(4-pyridyl)ethane, *Australian Journal of Chemistry*, 2013, Vol. 66, No. 4, pp. 464-469.

[54] S. Horike, D. Umeyama, S. Kitagawa, Ion Conductivity and Transport by Porous Coordination Polymers and Metal-Organic Frameworks, *Accounts of Chemical Research*, 2013, Vol. 46, No. 11, pp. 2376-2384.

[55] T. Uemura, T. Kaseda, S. Kitagawa, Controlled Synthesis of Anisotropic Polymer Particles Templated by Porous Coordination Polymers, *Chemistry of Materials*, 2013, Vol. 25, No. 18, pp. 3772-+.

[56] D. Umeyama, S. Horike, M. Inukai, S. Kitagawa, Integration of Intrinsic Proton Conduction and Guest-Accessible Nanospace into a Coordination Polymer, *Journal of The American Chemical Society*, 2013, Vol. 135, No. 30, pp. 11345-11350.

[57] J. Duan, M. Higuchi, S. Horike, M.L. Foo, K.P. Rao, Y. Inubushi, T. Fukushima, S. Kitagawa, High CO2/CH4 and C-2 Hydrocarbons/CH4 Selectivity in a Chemically Robust Porous Coordination Polymer, *Advanced Functional Materials*, 2013, Vol. 23, No. 28, pp. 3525-3530.

[58] M.L. Foo, S. Horike, J. Duan, W. Chen, S. Kitagawa, Tuning the Dimensionality of Inorganic Connectivity in Barium Coordination Polymers via Biphenyl Carboxylic Acid Ligands, *Crystal*

Growth & Design, 2013, Vol. 13, No. 7, pp. 2965-2972.

[59] S. Furukawa, Y. Sakata, S. Kitagawa, Control over Flexibility of Entangled Porous Coordination Frameworks by Molecular and Mesoscopic Chemistries, *Chemistry Letters*, 2013, Vol. 42, No. 6, pp. 570-576.

[60] Y. Hijikata, S. Horike, M. Sugimoto, M. Inukai, T. Fukushima, S. Kitagawa, Pore Design of Two-Dimensional Coordination Polymers toward Selective Adsorption, *Inorganic Chemistry*, 2013, Vol. 52, No. 7, pp. 3634-3642.

[61] S. Horike, D. Umeyama, M. Inukai, S. Kitagawa, Anhydrous proton conductive coordination frameworks and application for solid electrolyte, *Abstracts of Papers of The American Chemical Society*, 2013, Vol. 245, pp. ?-?.

[62] G. Distefano, H. Suzuki, M. Tsujimoto, S. Isoda, S. Bracco, A. Comotti, P. Sozzani, T. Uemura, S. Kitagawa, Highly ordered alignment of a vinyl polymer by host-guest cross-polymerization, *Nature Chemistry*, 2013, Vol. 5, No. 4, pp. 335-341.

[63] M. Tsotsalas, P. Hejcik, K. Sumida, Z. Kalay, S. Furukawa, S. Kitagawa, Impact of Molecular Clustering inside Nanopores on Desorption Processes, *Journal of The American Chemical Society*, 2013, Vol. 135, No. 12, pp. 4608-4611.

[64] S. Horike, Y. Kamitsubo, M. Inukai, T. Fukushima, D. Umeyama, T. Itakura, S. Kitagawa, Postsynthesis Modification of a Porous Coordination Polymer by LiCl To Enhance H+ Transport, *Journal of The American Chemical Society*, 2013, Vol. 135, No. 12, pp. 4612-4615.

[65] M.M. Deshmukh, M. Ohba, S. Kitagawa, S. Sakaki, Absorption of CO2 and CS2 into the Hofmann-Type Porous Coordination Polymer: Electrostatic versus Dispersion Interactions, *Journal of The American Chemical Society*, 2013, Vol. 135, No. 12, pp. 4840-4849.

[66] R. Ohtani, S. Kitagawa, M. Ohba, Coordination pillared layers using a dinuclear Mn(V) complex as a secondary building unit, *Polyhedron*, 2013, Vol. 52, pp. 591-597.

[67] T. Uemura, G. Washino, N. Yanai, S. Kitagawa, Controlled Encapsulation of Photoresponsive Macromolecules in Porous Coordination Polymer, *Chemistry Letters*, 2013, Vol. 42, No. 3, pp. 222-223.

[68] K.P. Rao, M. Higuchi, J. Duan, S. Kitagawa, pH-Dependent Interpenetrated, Polymorphic, Cd2+- and BTB-based Porous Coordination Polymers with Open Metal Sites, *Crystal Growth & Design*, 2013, Vol. 13, No. 3, pp. 981-985.

[69] R. Ohtani, M. Arai, H. Ohba, A. Hori, M. Takata, S. Kitagawa, M. Ohba, Modulation of the Interlayer Structures and Magnetic Behavior of 2D Spin-Crossover Coordination Polymers [Fe-II(L)(2)Pt-II(CN)(4)], *European Journal of Inorganic Chemistry*, 2013, Vol. 2013, No. 5-6, pp. 738-744.

[70] J. Chen, Q. Fan, S. Kitagawa, Synthesis, structures and adsorption properties of two new magnesium coordination polymers, *Solid State Sciences*, 2013, Vol. 16, pp. 29-33.

[71] Y. Sakata, S. Furukawa, M. Kondo, K. Hirai, N. Horike, Y. Takashima, H. Uehara, N. Louvain, M. Meilikhov, T. Tsuruoka, S. Isoda, W. Kosaka, O. Sakata, S. Kitagawa, Shape-Memory Nanopores Induced in Coordination Frameworks by Crystal Downsizing, *Science*, 2013, Vol. 339, No. 6116, pp. 193-196.

[72] S. Noro, Y. Hijikata, M. Inukai, T. Fukushima, S. Horike, M. Higuchi, S. Kitagawa, T. Akutagawa, T. Nakamura, Highly Selective CO2 Adsorption Accompanied with Low-Energy Regeneration in a Two-Dimensional Cu(II) Porous Coordination Polymer with Inorganic Fluorinated PF6- Anions, *Inorganic Chemistry*, 2013, Vol. 52, No. 1, pp. 280-285.

[73] M. Meilikhov, S. Furukawa, K. Hirai, R.A. Fischer, S. Kitagawa, Binary Janus Porous Coordination Polymer Coating for Sensor Devices with Tunable Analyte Affinity, *Angewandte Chemie International Edition*, 2013, Vol. 52, No. 1, pp. 341-345.

[74] N.J.M. Sanghamitra, H. Inaba, S. Kitagawa, T. Ueno, Inorganic Design of Protein Assemblies as Supramolecular Platforms, *Journal of Inorganic and Organometallic Polymers and Materials*, 2013, Vol. 23, No. 1, pp. 50-60.

[75] R. Ohtani, M. Arai, A. Hori, M. Takata, S. Kitao, M. Seto, S. Kitagawa, M. Ohba, Modulation of Spin-Crossover Behavior in an Elongated and Flexible Hofmann-Type Porous Coordination Polymer, *Journal of Inorganic and Organometallic Polymers and Materials*, 2013, Vol. 23, No. 1, pp. 104-110.

[76] 植村 卓史, ホスト-ゲスト共重合によるビニル高分子の完全配向制御, 旭硝子財団助成研究成果報告, 2013, pp. 1-3.

[77] 植村 卓史, 結晶性金属錯体ナノ空間が拓く新しい高分子化学, 日本結晶学会誌, 2013, Vol. 55, No. 1, pp. 75-80.

[78] 堀毛 悟史, 北川 進, 技術シーズ 多孔性金属錯体が生み出す研究開発テーマとその可能性, 研究開発リーダー, 2013, Vol. 10, No. 9, pp. 36-41.

[79] 植村 卓史, 金属錯体ナノ空間を用いた高分子合成制御 (特集 ナノ空間：吸着状態解析から新機能開拓まで), 触媒, 2013, Vol. 55, No. 6, pp. 370-375.

[80] 北川 進, 小さな空間のサイエンスとテクノロジー, 学士会会報, 2013, Vol. 2013, No. 5, pp. 52-57.

[81] 樋口 雅一, 清長 友和, 北川 進, 多孔性配位高分子によるガス吸着やバイオマテリアル応用, ナノ学会会報, 2013, Vol. 11, No. 2, pp. 51-54.

[82] 魚谷 信夫, 堀毛 悟史, 小林 浩和, 多孔性錯体材料

(PCP) を用いた新しい CO 分離・変換の化学, ゼオライト, 2013, Vol. 30, No. 3, pp. 73-84.

合成化学講座 物理有機化学分野

[1] S. Yokoyama, T. Hirose, K. Matsuda, Phototriggered formation and disappearance of surface-confined self-assembly composed of photochromic 2-thienyl-type diarylethene: a cooperative model at the liquid/solid interface, *Chemical Communications*, 2014, Vol. 50, No. 45, pp. 5964-5966.

[2] M. Yamamoto, R. Ueda, T. Terui, K. Imazu, K. Tamada, T. Sakano, K. Matsuda, H. Ishii, Y. Noguchi, Wavelength dependence and multiple-induced states in photoresponses of copper phthalocyanine-doped gold nanoparticle single-electron device, *Japanese Journal of Applied Physics*, 2014, Vol. 53, No. 1S, p. 01AC02.

[3] T. Fukaminato, T. Hirose, T. Doi, M. Hazama, K. Matsuda, M. Irie, Molecular Design Strategy toward Diarylethenes That Photoswitch with Visible Light, *Journal of The American Chemical Society*, 2014, Vol. 136, No. 49, pp. 17145-17154.

[4] M. Irie, T. Fulcaminato, K. Matsuda, S. Kobatake, Photochromism of Diarylethene Molecules and Crystals: Memories, Switches, and Actuators, *Chemical Reviews*, 2014, Vol. 114, No. 24, pp. 12174-12277.

[5] S. Nishio, K. Higashiguchi, K. Matsuda, The Effect of Cyano Substitution on the Fluorescence Behavior of 1,2-Bis(pyridylphenyl)ethene, *Asian Journal of Organic Chemistry*, 2014, Vol. 3, No. 6, pp. 686-690.

[6] N. Ito, T. Hirose, K. Matsuda, Facile Photochemical Synthesis of 5,10-Disubstituted [5]Helicenes by Removing Molecular Orbital Degeneracy, *Organic Letters*, 2014, Vol. 16, No. 9, pp. 2502-2505.

[7] S. Nishizawa, J. Hasegawa, K. Matsuda, Theoretical Investigation of the Dependence of Exchange Interaction on Dihedral Angle between Two Aromatic Rings in a Wire Unit, *Chemistry Letters*, 2014, Vol. 43, No. 4, pp. 530-532.

[8] T. Hirose, Y. Inoue, J. Hasegawa, K. Higashiguchi, K. Matsuda, Investigation on CD Inversion at Visible Region Caused by a Tilt of the pi-Conjugated Substituent: Theoretical and Experimental Approaches by Using an Asymmetric Framework of Diarylethene Annulated Isomer, *Journal of Physical Chemistry A*, 2014, Vol. 118, No. 6, pp. 1084-1093.

[9] Y. Noguchi, M. Yamamoto, H. Ishii, R. Ueda, T. Terui, K. Imazu, K. Tamada, T. Sakano, K. Matsuda, Photoresponses in Gold Nanoparticle Single-Electron Transistors with Molecular Floating Gates, *Japanese Journal of Applied Physics*, 2013, Vol. 52, No. 11R, p. 110102.

[10] T. Hirose, K. Matsuda, Photoswitching of chiral supramolecular environments and photoinduced lower critical solution temperature transitions in aqueous media following a supramolecular approach, *Organic & Biomolecular Chemistry*, 2013, Vol. 11, No. 6, pp. 873-880.

[11] T. Sakano, Y. Imaizumi, T. Hirose, K. Matsuda, Formation of Two-dimensionally Ordered Diarylethene Annulated Isomer at the Liquid/HOPG Interface upon In Situ UV Irradiation, *Chemistry Letters*, 2013, Vol. 42, No. 12, pp. 1537-1539.

[12] S. Nishizawa, J. Hasegawa, K. Matsuda, Theoretical Investigation of the beta Value of the pi-Conjugated Molecular Wires by Evaluating Exchange Interaction between Organic Radicals, *Journal of Physical Chemistry C*, 2013, Vol. 117, No. 49, pp. 26280-26286.

[13] R. Hayakawa, K. Higashiguchi, K. Matsuda, T. Chikyow, Y. Wakayama, Photoisomerization-Induced Manipulation of Single-Electron Tunneling for Novel Si-Based Optical Memory, *ACS Applied Materials & Interfaces*, 2013, Vol. 5, No. 21, pp. 11371-11376.

[14] M. Shinomiya, K. Higashiguchi, K. Matsuda, Evaluation of the beta Value of the Phenylene Ethynylene Unit by Probing the Exchange Interaction between Two Nitronyl Nitroxides, *Journal of Organic Chemistry*, 2013, Vol. 78, No. 18, pp. 9282-9290.

[15] M. Inoue, K. Higashiguchi, K. Matsuda, Photocontrol of Solvent Responsiveness of Structural Colored Balloons, *Langmuir*, 2013, Vol. 29, No. 23, pp. 7047-7051.

[16] R. Hayakawa, K. Higashiguchi, K. Matsuda, T. Chikyow, Y. Wakayama, Optically and Electrically Driven Organic Thin Film Transistors with Diarylethene Photochromic Channel Layers, *ACS Applied Materials & Interfaces*, 2013, Vol. 5, No. 9, pp. 3625-3630.

[17] S. Nishizawa, J. Hasegawa, K. Matsuda, Theoretical investigation of the beta value of the phenylene and phenylene ethynylene units by evaluating exchange interaction between organic radicals, *Chemical Physics Letters*, 2013, Vol. 555, pp. 187-190.

生物化学講座 生物有機化学分野

[1] T. Tamura, I. Hamachi, Recent Progress in Design of Protein-based Fluorescent Biosensors and Their Cellular Applications, *ACS Chemical Biology*, 2014, Vol. 9, pp. 2708-2717.

[2] K. Yamaura, K. Kuwata, T. Tamura, Y. Kioi, Y. Takaoka, S. Kiyonaka, I. Hamachi, Live Cell Off-target Identification of Lapatinib Using Ligand-Directed Tosyl Chemistry, *Chem. Commun.*, 2014, Vol. 50, No. 91, pp. 14097-14100.

[3] A. Nakamura, K. Takigawa, Y. Kurishita, K. Kuwata, M. Ishida, Y. Shimoda, I. Hamachi, S. Tsukiji, Hoechst Tagging: a Modular Strategy to Design Synthetic Fluorescent Probes for Live-cell Nucleus Imaging, *Chem. Commun.*, 2014, Vol. 50, No. 46, pp. 6149-6152.

[4] R. Ochi, T. Nishida, M. Ikeda, I. Hamachi, Design of Peptide-based Bolaamphiphile Exhibiting Heat-set Hydrogelation Via Retro-Diels-Alder Reaction, *J. Mater. Chem. B*, 2014, Vol. 2, No. 11, pp. 1464-1469.

[5] T. Yoshii, K. Mizusawa, Y. Takaoka, I. Hamachi, Intracellular Protein-responsive Supramolecules:Protein Sensing and In-cell Construction of Inhibitor Assay System, *J. Am. Chem. Soc.*, 2014, Vol. 136, No. 47, pp. 16635-16642.

[6] T. Miki, S. Fujishima, K. Komatsu, K. Kuwata, S. Kiyonaka, I. Hamachi, LDAI-based Chemical Labeling of Intact Membrane Proteins and its Pulse-Chase Analysis under Live Cell Conditions, *Chemistry & Biology*, 2014, Vol. 21, No. 8, pp. 1013-1022.

[7] S. Tsukiji, I. Hamachi, Ligand-directed tosyl chemistry for in situ native protein labeling and engineering in living systems: from basic properties to applications, *Current Opinion in Chemical Biology*, 2014, Vol. 21, pp. 136-143.

[8] I. Takahira, H. Fuchida, S. Tabata, N. Shindo, S. Uchinomiya, I. Hamachi, A. Ojida, Design of a Binuclear Ni(II)—iminodiacetic Acid (IDA) Complex for Selective Recognition and Covalent Labeling of His-tag Fused Proteins, *Bioorg. Med. Chem. Lett.*, 2014, Vol. 24, No. 13, pp. 2855-2858.

[9] T. Yoshii, M. Ikeda, I. Hamachi, Two-Photon-Responsive Supramolecular Hydrogel for Controlling Materials Motion in Micrometer Space, *Angewandte Chemie International Edition*, 2014, Vol. 53, No. 28, pp. 7264-7267.

[10] M. Ikeda, T. Tanida, T. Yoshii, K. Kurotani, S. Onogi, K. Urayama, I. Hamachi, Installing Logic-gate Responses to a Variety of Biological Substances in Supramolecular Hydrogel—enzyme Hybrids, *Nat. Chem.*, 2014, Vol. 6, No. 6, pp. 511-518.

[11] S. Uchinomiya, A. Ojida, I. Hamachi, Peptide Tag/Probe Pairs Based on the Coordination Chemistry for Protein Labeling, *Inorganic Chemistry*, 2014, Vol. 53, No. 4, pp. 1816-1823.

[12] I. Takashima, M. Kinoshita, R. Kawagoe, S. Nakagawa, M. Sugimoto, I. Hamachi, A. Ojida, Design of Ratiometric Fluorescent Probes Based on Arene-Metal Ion Contact and Their Application to Cd(II) and Hydrogen Sulfide Imaging in Living Cell , *Chem. - A Euro. J.*, 2014, Vol. 20, No. 8, pp. 2184-2192.

[13] Y. Takaoka, Y. Kioi, A. Morito, J. Otani, K. Arita, E. Ashihara, M. Ariyoshi, H. Tochio, M. Shirakawa, I. Hamachi, Quantitative comparison of protein dynamics in live cells and in vitro by in-cell F-19-NMR, *Chemical Communications*, 2013, Vol. 49, No. 27, pp. 2801-2803.

[14] S. Uchinomiya, H. Nonaka, S. Wakayama, A. Ojida, I. Hamachi, In-cell covalent labeling of reactive His-tag fused proteins, *Chemical Communications*, 2013, Vol. 49, No. 44, pp. 5022-5024.

[15] K. Matsuo, Y. Kioi, R. Yasui, Y. Takaoka, T. Miki, S. Fujishima, I. Hamachi, One-step construction of caged carbonic anhydrase I using a ligand-directed acyl imidazole-based protein labeling method, *Chemical Science*, 2013, Vol. 4, No. 6, pp. 2573-2580.

[16] R. Ochi, K. Kurotani, M. Ikeda, S. Kiyonaka, I. Hamachi, Supramolecular hydrogels based on bola-amphiphilic glycolipids showing color change in response to glycosidases, *Chemical Communications*, 2013, Vol. 49, No. 21, pp. 2115-2117.

[17] S. Kiyonaka, T. Kajimoto, R. Sakaguchi, D. Shinmi, M. Omatsu-Kanbe, H. Matsuura, H. Imamura, T. Yoshizaki, I. Hamachi, T. Morii, Y. Mori, Genetically encoded fluorescent thermosensors visualize subcellular thermoregulation in living cells, *Nature Methods*, 2013, Vol. 10, No. 12, pp. 1232-1238.

[18] Y. Takaoka, Y. Fukuyama, K. Matsuo, I. Hamachi, Disassembly-driven Turn-on Sensing of Enzyme Activity by Substrate-based Fluorescent Nanoprobe, *Chemistry Letters*, 2013, Vol. 42, No. 11, pp. 1426-1428.

[19] M.I. Melhorn, A.S. Brodsky, J. Estanislau, J.A. Khoory, B. Illigens, I. Hamachi, Y. Kurishita, A.D. Fraser, A. Nicholson-Weller, E. Dolmatova, H.S. Duffy, I.C. Ghiran, CR1-mediated ATP Release by Human Red Blood Cells Promotes CR1 Clustering and Modulates the Immune Transfer Process, *J. Biol. Chem.*, 2013, Vol. 288, No. 43, pp. 31139-31153.

[20] K. Matsuo, R. Kamada, K. Mizusawa, H. Imai, Y. Takayama, M. Narazaki, T. Matsuda, Y. Takaoka, I. Hamachi, Specific Detection and Imaging of Enzyme Activity by Signal Amplifiable Self- Assembling 19F-MRI Probes, *Chem. - A Euro. J.*, 2013, Vol. 19, No. 38, pp. 12875-12883.

[21] T. Hayashi, Y. Sun, T. Tamura, K. Kuwata, Z. Song, Y. Takaoka, I. Hamachi, Semisynthetic Lectin-Dimethylaminopyridine Conjugates for Labeling and Profiling Glycoproteins on Live Cell Surfaces, *J. Am. Chem. Soc.*, 2013, Vol. 135, No. 33, pp. 12252-12258.

[22] M. Ishida, H. Watanabe, K. Takigawa, Y. Kurishita, C. Oki, A. Nakamura, I. Hamachi, S. Tsukiji, Synthetic Self-Localizing Ligands That Control The Spatial Location of Proteins in Living Cells, *J. Am. Chem. Soc.*, 2013, Vol. 135, No. 34, pp. 12684-12689.

[23] N.T. Vu, Y. Moriwaki, J.M.M. Caaveiro, T. Terada, H. Tsutsumi, I. Hamachi, K. Shimizu, K. Tsumoto, Selective Binding of Antimicrobial Porphyrins to the Heme-receptor IsdH-NEAT3 of Staphylococcus Aureus, *Protein Science*, 2013, Vol. 22, No. 7, pp. 942-953.

[24] T. Tamura, Y. Kioi, T. Miki, S. Tsukiji, I. Hamachi, Fluorophore Labeling of Native FKBP12 by Ligand-Directed Tosyl Chemistry Allows Detection of Its Molecular Interactions in Vitro and in Living Cells, *Journal of The Ameri-*

can Chemical Society, 2013, Vol. 135, No. 18, pp. 6782-6785.

[25] Y. Takaoka, A. Ojida, I. Hamachi, Protein Organic Chemistry and Applications for Labeling and Engineering in Live-Cell Systems, *Angewandte Chemie International Edition*, 2013, Vol. 52, No. 15, pp. 4088-4106.

[26] Y. Kurishita, I. Hamachi, Selective Labeling and Imaging of Protein Using Metal Complex, *Coordination Chemistry in Protein Cages*, 2013, pp. 223-239.

[27] Y. Moriwaki, T. Terada, J.M.M. Caaveiro, Y. Takaoka, I. Hamachi, K. Tsumoto, K. Shimizu, Heme Binding Mechanism of Structurally Similar Iron-Regulated Surface Determinant Near Transporter Domains of Staphylococcus aureus Exhibiting Different Affinities for Heme , *Biochemistry*, 2013, Vol. 52, pp. 8866-8877.

生物化学講座 分子生物化学分野

[1] Y. Yamada, H. Kinoshita, K. Kuwahara, Y. Nakagawa, Y. Kuwabara, T. Minami, C. Yamada, J. Shibata, K. Nakao, K. Cho, Y. Arai, S. Yasuno, T. Nishikimi, K. Ueshima, S. Kamakura, M. Nishida, S. Kiyonaka, Y. Mori, T. Kimura, K. Kangawa, K. Nakao, Inhibition of N-type Ca2+ channels ameliorates an imbalance in cardiac autonomic nerve activity and prevents lethal arrhythmias in mice with heart failure, *Cardiovascular Research*, 2014, Vol. 104, No. 1, pp. 183-193.

[2] Y. Jang, M.H. Lee, J. Lee, J. Jung, S.H. Lee, D. Yang, B.W. Kim, H. Son, B. Lee, S. Chang, Y. Mori, U. Oh, TRPM2 mediates the lysophosphatidic acid-induced neurite retraction in the developing brain, *Pflugers Archiv-European Journal of Physiology*, 2014, Vol. 466, No. 10, pp. 1987-1998.

[3] N. Takahashi, S. Hamada-Nakahara, Y. Itoh, K. Takemura, A. Shimada, Y. Ueda, M. Kitamata, R. Matsuoka, K. Hanawa-Suetsugu, Y. Senju, M.X. Mori, S. Kiyonaka, D. Kohda, A. Kitao, Y. Mori, S. Suetsugu, TRPV4 channel activity is modulated by direct interaction of the ankyrin domain to PI(4,5)P-2, *Nature Communications*, 2014, Vol. 5, p. 4994.

[4] X. Qian, T. Numata, K. Zhang, C. Li, J. Hou, Y. Mori, X. Fang, Transient Receptor Potential Melastatin 2 Protects Mice against Polymicrobial Sepsis by Enhancing Bacterial Clearance, *Anesthesiology*, 2014, Vol. 121, No. 2, pp. 336-351.

[5] M.X. Mori, Bridge between the channel and FRET of PtdIns(4,5)P-2 sensor, *Channels*, 2014, Vol. 8, No. 4, pp. 292-293.

[6] H. Nishimune, J.A. Stanford, Y. Mori, ROLE OF EXERCISE IN MAINTAINING THE INTEGRITY OF THE NEUROMUSCULAR JUNCTION, *Muscle & Nerve*, 2014, Vol. 49, No. 3, pp. 315-324.

[7] K. Itsuki, Y. Imai, H. Hase, Y. Okamura, R. Inoue, M.X. Mori, PLC-mediated PI(4,5)P-2 hydrolysis regulates activation and inactivation of TRPC6/7 channels, *Journal of General Physiology*, 2014, Vol. 143, No. 2, pp. 183-201.

[8] T. Miyake, H. Shirakawa, A. Kusano, S. Sakimoto, M. Konno, T. Nakagawa, Y. Mori, S. Kaneko, TRPM2 contributes to LPS/IFN gamma-induced production of nitric oxide via the p38/JNK pathway in microglia, *Biochemical and Biophysical Research Communications*, 2014, Vol. 444, No. 2, pp. 212-217.

[9] D. Kozai, Y. Kabasawa, M. Ebert, S. Kiyonaka, F.Y. Otani, T. Numata, N. Takahashi, Y. Mori, T. Ohwada, Transnitrosylation Directs TRPA1 Selectivity in N-Nitrosamine Activators, *Molecular Pharmacology*, 2014, Vol. 85, No. 1, pp. 175-185.

[10] Y. Nakamura, X. Shi, T. Numata, Y. Mori, R. Inoue, C. Lossin, T.Z. Baram, S. Hirose, Novel HCN2 Mutation Contributes to Febrile Seizures by Shifting the Channel's Kinetics in a Temperature-Dependent Manner, *PLOS ONE*, 2013, Vol. 8, No. 12, p. e80376.

[11] S. Kiyonaka, T. Kajimoto, R. Sakaguchi, D. Shinmi, M. Omatsu-Kanbe, H. Matsuura, H. Imamura, T. Yoshizaki, I. Hamachi, T. Morii, Y. Mori, Genetically encoded fluorescent thermosensors visualize subcellular thermoregulation in living cells, *Nature Methods*, 2013, Vol. 10, No. 12, pp. 1232-1238.

[12] T. Yonemitsu, C. Kuroki, N. Takahashi, Y. Mori, Y. Kanmura, H. Kashiwadani, Y. Ootsuka, T. Kuwaki, TRPA1 detects environmental chemicals and induces avoidance behavior and arousal from sleep, *Scientific Reports*, 2013, Vol. 3, p. 3100.

[13] T. Yonemitsu, N. Takahashi, Y. Mori, Y. Kanmura, T. Kuwaki, Avoidance of environmental gas irritants mediated by TRPA1, *FASEB Journal*, 2013, Vol. 27, pp. ?-?.

[14] M. Ronjat, S. Kiyonaka, M. Barbado, M. De Waard, Y. Mori, Nuclear life of the voltage-gated Cacnb4 subunit and its role in gene transcription regulation, *Channels*, 2013, Vol. 7, No. 2, pp. 119-125.

[15] Y. Fujiwara, T. Kurokawa, K. Takeshita, A. Nakagawa, H.P. Larsson, Y. Okamura, Gating of the designed trimeric/tetrameric voltage-gated H+ channel, *The Journal of Physiology*, 2013, Vol. 591, No. 3, pp. 627-640.

生物化学講座 生体認識化学分野

[1] T. Willer, K. Inamori, D. Venzke, C. Harvey, G. Morgensen, Y. Hara, D.B.V.d. Bernabé, L. Yu, K.M. Wright, K.P. Campbell, The glucuronyltransferase B4GAT1 is required for initiation of LARGE-mediated α-dystroglycan functional glycosylation, *eLife*, 2014, Vol. 3, pp. 1-24.

[2] Y. Endo, S. Noguchi, Y. Hara, Y.K. Hayashi, K. Motomura, S. Miyatake, N. Murakami, S. Tanaka, S. Yamashita, R. Kizu, M. Bamba, Y.-. Goto, N. Matsumoto, I. Nonaka, I. Nishino, Dominant mu-

tations in ORAI1 cause tubular aggregate myopathy with hypocalcemia via constitutive activation of store-operated Ca2+ channels, *Human Molecular Genetics*, 2014, Vol. 24, No. 3, pp. 637-648.

[3] R. Omura, K. Nagao, N. Kobayashi, K. Ueda, H. Saito, Direct detection of ABCA1-dependent HDL formation based on lipidation-induced hydrophobicity change in apoA-I, *Journal of Lipid Research*, 2014, Vol. 55, pp. 2423-2431.

[4] K. Inamori, T. Willer, Y. Hara, D. Venzke, M.E. Anderson, N.F. Clarke, P. Guicheney, C.G. Bönnemann, S.A. Moore, K.P. Campbell, Endogenous Glucuronyltransferase Activity of LARGE or LARGE2 Required for Functional Modification of α-Dystroglycan in Cells and Tissues, *Journal of Biological Chemistry*, 2014, Vol. 289, pp. 28138-28148.

[5] Y. Kobayashi, A. Harada, B. Furuta, H. Asou, U. Kato, M. Umeda, The role of NADRIN, a Rho GTPase-activating protein, in the morphological differentiation of astrocytes, *Journal of Biochemistry*, 2013, Vol. 153, No. 4, pp. 389-398.

[6] J. Ikenouchi, M. Hirata, S. Yonemura, M. Umeda, Sphingomyelin clustering is essential for the formation of microvilli, *Journal of Cell Science*, 2013, Vol. 126, No. 16, pp. 3585-3592.

[7] E. Adachi, A. Kosaka, K. Tsuji, C. Mizuguchi, H. Kawashima, A. Shigenaga, K. Nagao, K. Akaji, A. Otaka, H. Saito, The extreme N-terminal region of human apolipoprotein A-I has a strong propensity to form amyloid fibrils, *FEBS Letters*, 2013, Vol. 588, pp. 389-394.

[8] K. Nagao, M. Hata, K. Tanaka, Y. Takechi, D. Nguyen, P. Dhanasekaran, S. Lund-Katz, M.C. Phillips, H. Saito, The roles of C-terminal helices of human apolipoprotein A-I in formation of high-density lipoprotein particles, *Biochimica Et Biophysica Acta-Molecular and Cell Biology of Lipids*, 2013, Vol. 1841, pp. 80-87.

[9] S. Pujals, H. Miyamae, S. Afonin, T. Murayama, H. Hirose, I. Nakase, K. Taniuchi, M. Umeda, K. Sakamoto, A.S. Ulrich, S. Futaki, Curvature Engineering: Positive Membrane Curvature Induced by Epsin N-Terminal Peptide Boosts Internalization of Octaarginine, *ACS Chemical Biology*, 2013, Vol. 8, No. 9, pp. 1894-1899.

[10] A. Matsuda, K. Nagao, M. Matsuo, N. Kioka, K. Ueda, 24(S)-hydroxycholesterol is actively eliminated from neuronal cells by ABCA1, *Journal of Neurochemistry*, 2013, Vol. 126, No. 1, pp. 93-101.

[11] M. Ishigami, Y. Tominaga, K. Nagao, Y. Kimura, M. Matsuo, N. Kioka, K. Ueda, ATPase activity of nucleotide binding domains of human MDR3 in the context of MDR1, *Biochimica Et Biophysica Acta-Molecular and Cell Biology of Lipids*, 2013, Vol. 1831, No. 4, pp. 683-690.

[12] K. Nagao, M. Maeda, N.B. Manucat, K. Ueda, Cyclosporine A and PSC833 inhibit ABCA1 function via direct binding, *Biochimica Et Biophysica Acta-Molecular and Cell Biology of Lipids*, 2013, Vol. 1831, No. 2, pp. 398-406.

[13] U. Kato, H. Inadome, M. Yamamoto, K. Emoto, T. Kobayashi, M. Umeda, Role for Phospholipid Flippase Complex of ATP8A1 and CDC50A Proteins in Cell Migration, *Journal of Biological Chemistry*, 2013, Vol. 288, No. 7, pp. 4922-4934.

生物化学講座 生物化学工学分野

[1] S. Jun, A. Hirata, T. Kanai, T.J. Santangelo, T. Imanaka, K.S. Murakami, The X-ray crystal structure of the euryarchaeal RNA polymerase in an open-clamp configuration, *Nature Communications*, 2014, Vol. 5, p. 5132.

[2] A. Kishimoto, A. Kita, T. Ishibashi, H. Tomita, Y. Yokooji, T. Imanaka, H. Atomi, K. Miki, Crystal structure of phosphopantothenate synthetase from Thermococcus kodakarensis, *Proteins-Structure Function and Bioinformatics*, 2014, Vol. 82, No. 9, pp. 1924-1936.

[3] T. Hiyama, T. Sato, T. Imanaka, H. Atomi, The tryptophan synthase beta-subunit paralogs TrpB1 and TrpB2 in Thermococcus kodakarensis are both involved in tryptophan biosynthesis and indole salvage, *FEBS Journal*, 2014, Vol. 281, No. 14, pp. 3113-3125.

[4] W. Fukuda, Y. Chino, S. Araki, Y. Kondo, H. Imanaka, T. Kanai, H. Atomi, T. Imanaka, Polymorphobacter multimanifer gen. nov., sp nova, a polymorphic bacterium isolated from antarctic white rock, *International Journal of Systematic and Evolutionary Microbiology*, 2014, Vol. 64, No. Pt 6, pp. 2034-2040.

[5] R. Hidese, R. Nishikawa, L. Gao, M. Katano, T. Imai, S. Kato, T. Kanai, H. Atomi, T. Imanaka, S. Fujiwara, Different roles of two transcription factor B proteins in the hyperthermophilic archaeon Thermococcus kodakarensis, *Extremophiles*, 2014, Vol. 18, No. 3, pp. 573-588.

[6] H. Tomita, Y. Yokooji, T. Ishibashi, T. Imanaka, H. Atomi, An Archaeal Glutamate Decarboxylase Homolog Functions as an Aspartate Decarboxylase and Is Involved in beta-Alanine and Coenzyme A Biosynthesis, *Journal of Bacteriology*, 2014, Vol. 196, No. 6, pp. 1222-1230.

[7] T. Awano, A. Wilming, H. Tomita, Y. Yokooji, T. Fukui, T. Imanaka, H. Atomi, Characterization of Two Members among the Five ADP-Forming Acyl Coenzyme A (Acyl-CoA) Synthetases Reveals the Presence of a 2-(Imidazol-4-yl)Acetyl-CoA Synthetase in Thermococcus kodakarensis, *Journal of Bacteriology*, 2014, Vol. 196, No. 1, pp. 140-147.

反応生命化学講座

化学工学専攻

化学工学基礎講座 移動現象論分野

[1] A. Lamberg, T. Taniguchi, Freezing of stressed bilayers and vesicles, *Soft Matter*, 2014, Vol. 10, No. 2, pp. 257-261.

[2] H. Shinto, T. Fukasawa, K. Yoshisue, M. Tezuka, M. Orita, Cell membrane disruption induced by amorphous silica nanoparticles in erythrocytes, lymphocytes, malignant melanocytes, and macrophages, *Advanced Powder Technology*, 2014, Vol. 25, No. 6, pp. 1872-1881.

[3] A. Hamid, J. Molina-Lopez, R. Yamamoto, Direct numerical simulations of sedimenting spherical particles at non-zero Reynolds number, *RSC Adv.*, 2014, Vol. 4, No. 96, pp. 53681-53693.

[4] S. Yasuda, R. Yamamoto, Synchronized Molecular-Dynamics Simulation via Macroscopic Heat and Momentum Transfer: An Application to Polymer Lubrication, *Physical Review X*, 2014, Vol. 4, No. 4, pp. 041011-041011.

[5] S. Yasuda, R. Yamamoto, Multiscale simulation for thermo-hydrodynamic lubrication of a polymeric liquid between parallel plates, *Molecular Simulation*, 2014, pp. 1-4.

[6] A. Lamberg, T. Taniguchi, Coarse-Grained Computational Studies of Supported Bilayers: Current Problems and Their Root Causes, *Journal of Physical Chemistry B*, 2014, Vol. 118, No. 36, pp. 10643-10652.

[7] A. Hamid, J. Molina-Lopez, R. Yamamoto, Simulation studies of microstructure of colloids in sedimentation, *Molecular Simulation*, 2014, pp. 1-6.

[8] M. Karzar-Jeddi, R. Tuinier, T. Taniguchi, T. Fan, Stochastic interactions of two Brownian hard spheres in the presence of depletants, *Journal of Chemical Physics*, 2014, Vol. 140, No. 21, p. 214906.

[9] C. Shih, R. Yamamoto, Dynamic electrophoresis of charged colloids in an oscillating electric field, *Physical Review E*, 2014, Vol. 89, No. 6, p. 062317.

[10] J. Molina-Lopez, R. Yamamoto, Diffusion of colloidal particles in swimming suspensions, *Molecular Physics*, 2014, Vol. 112, No. 9-10, pp. 1389-1397.

[11] T. Fukasawa, M. Hashimoto, S. Nagamine, H. Aoki, H. Shinto, S. Ito, M. Ohshima, Fabrication of ICG Dye-containing Particles by Growth of Polymer/Salt Aggregates and Measurement of Photoacoustic Signals, *Chemistry Letters*, 2014, Vol. 43, No. 4, pp. 495-497.

[12] T. Fukasawa, H. Shinto, H. Aoki, S. Ito, M. Ohshima, Size-dependent effect of gold nanospheres on the acoustic pressure pulses from laser-irradiated suspensions, *Advanced Powder Technology*, 2014, Vol. 25, No. 2, pp. 733-738.

[13] 新戸 浩幸, 混相流における毛管架橋力の重要性, 混相流, 2014, Vol. 28, No. 4, pp. 458-465.

[14] A. Hamid, J. Molina-Lopez, R. Yamamoto, Sedimentation of non-Brownian spheres at high volume fractions, *Soft Matter*, 2013, Vol. 9, No. 42, pp. 10056-10068.

[15] K. Yoshimoto, T. Taniguchi, Large-Scale Simulations of Directed Self-Assembly with Simplified Model, *Journal of Photopolymer Science and Technology*, 2013, Vol. 26, No. 6, pp. 809-816.

[16] J. Molina-Lopez, R. Yamamoto, Direct numerical simulations of rigid body dispersions. I. Mobility/friction tensors of assemblies of spheres, *Journal of Chemical Physics*, 2013, Vol. 139, No. 23, p. 234105.

[17] Y. Sakuma, T. Taniguchi, T. Kawakatsu, M. Imai, Tubular Membrane Formation of Binary Giant Unilamellar Vesicles Composed of Cylinder and Inverse-Cone-Shaped Lipids, *Biophysical Journal*, 2013, Vol. 105, No. 9, pp. 2074-2081.

[18] H. Shinto, T. Fukasawa, H. Aoki, S. Ito, M. Ohshima, Acoustic pressure pulses from laser-irradiated suspensions containing gold nanospheres in water: Experimental and theoretical study, *Colloids and Surfaces A-Physicochemical and Engineering Aspects*, 2013, Vol. 430, pp. 51-57.

[19] H. Shinto, T. Hirata, T. Fukasawa, S. Fujii, H. Maeda, M. Okada, Y. Nakamura, T. Furuzono, Effect of interfacial serum proteins on melanoma cell adhesion to biodegradable poly(l-lactic acid) microspheres coated with hydroxyapatite, *Colloids and Surfaces B: Biointerfaces*, 2013, Vol. 108, pp. 8-15.

[20] R. Tatsumi, R. Yamamoto, Propagation of hydrodynamic interactions between particles in a compressible fluid, *Physics of Fluids*, 2013, Vol. 25, No. 4, p. 046101.

[21] J. Molina-Lopez, Y. Nakayama, R. Yamamoto, Hydrodynamic interactions of self-propelled swimmers, *Soft Matter*, 2013, Vol. 9, No. 19, pp. 4923-4936.

[22] A. Hamid, R. Yamamoto, Direct numerical simulations of anisotropic diffusion of spherical particles in sedimentation, *Physical Review E*, 2013, Vol. 87, No. 2, p. 022310.

[23] H. Mizuno, R. Yamamoto, General Constitutive Model for Supercooled Liquids: Anomalous Transverse Wave Propagation, *Physical Review Letters*, 2013, Vol. 110, No. 9, p. 095901.

[24] T. Murashima, S. Yasuda, T. Taniguchi, R. Yamamoto, Multiscale Modeling for Polymeric Flow: Particle-Fluid Bridging Scale Methods, *Journal of the Physical Society of Japan*, 2013, Vol. 82, No. 1, p. 012001.

[25] R. Tatsumi, R. Yamamoto, Velocity relaxation of a particle in a confined compressible fluid, *The Journal of Chemical Physics*, 2013, Vol. 138, No. 18, p. 184905.

[26] A. Hamid, R. Yamamoto, Anisotropic Velocity Fluctuations and Particle Diffusion in Sedimentation, *Journal of the Physical Society of Japan*, 2013, Vol. 82, No. 2, p. 024004.

[27] A. Hamid, R. Yamamoto, Sedimentation at finite peclet number: Direct numerical simulation, *AIP Conference Proceedings*, 2013, Vol. 1581, pp. 444-447.

[28] 松岡 佑樹, 藤﨑 和也, 太田 賢, 深澤 智典, 新戸 浩幸, 狭間隙部へのシリカ粒子－液状エポキシ樹脂分散系の充過程に及ぼす粒子体積分率と表面改質剤の影響, 粉体工学会誌, 2013, Vol. 50, No. 8, pp. 552-560.

化学工学基礎講座 界面制御工学分野

[1] F. Khoerunnisa, A. Morelos-Gomez, H. Tanaka, T. Fujimori, D. Minami, R. Kukobat, T. Hayashi, S.Y. Hong, Y.C. Choi, M. Miyahara, M. Terrones, M. Endo, K. Kaneko, Metal-semiconductor transition like behavior of naphthalene-doped single wall carbon nanotube bundles, *Faraday Discussions*, 2014, Vol. 173, pp. 145-156.

[2] H. Tanaka, S. Ohsaki, S. Hiraide, D. Yamamoto, S. Watanabe, M.T. Miyahara, Adsorption-Induced Structural Transition of ZIF-8: A Combined Experimental and Simulation Study, *Journal of Physical Chemistry C*, 2014, Vol. 118, No. 16, pp. 8445-8454.

[3] T. Hanafusa, Y. Mino, S. Watanabe, M.T. Miyahara, Controlling self-assembled structure of Au nanoparticles by convective self-assembly with liquid-level manipulation, *Advanced Powder Technology*, 2014, Vol. 25, No. 2, pp. 811-815.

[4] M.T. Miyahara, R. Numaguchi, T. Hiratsuka, K. Nakai, H. Tanaka, Fluids in nanospaces: molecular simulation studies to find out key mechanisms for engineering, *Adsorption-Journal of The International Adsorption Society*, 2014, Vol. 20, No. 2-3, pp. 213-223.

[5] 渡邉 哲, 稲田 洪太郎, 宮原 稔, 移流集積過程におけるメニスカス形状変化のシミュレーション解析, 粉体工学会誌, 2014, Vol. 51, No. 5, pp. 355-362.

[6] R. Numaguchi, H. Tanaka, S. Watanabe, M.T. Miyahara, Dependence of adsorption-induced structural transition on framework structure of porous coordination polymers, *Journal of Chemical Physics*, 2014, Vol. 140, No. 4, p. 044707.

[7] S. Watanabe, M.T. Miyahara, Particulate pattern formation and its morphology control by convective self-assembly, *Advanced Powder Technology*, 2013, Vol. 24, No. 6, pp. 897-907.

[8] M. Ito, H. Nishihara, K. Yamamoto, H. Itoi, H. Tanaka, A. Maki, M.T. Miyahara, S.J. Yang, C.R. Park, T. Kyotani, Reversible Pore Size Control of Elastic Microporous Material by Mechanical Force, *Chemistry-A European Journal*, 2013, Vol. 19, No. 39, pp. 13009-13016.

[9] D. Yamamoto, T. Maki, S. Watanabe, H. Tanaka, M.T. Miyahara, K. Mae, Synthesis and adsorption properties of ZIF-8 nanoparticles using a micromixer, *Chemical Engineering Journal*, 2013, Vol. 227, pp. 145-150.

[10] Y. Wang, Y. Mino, S. Watanabe, D. Li, X. Zhang, Formation of Regular Stripes of Chemically Converted Graphene on Hydrophilic Substrates, *ACS Applied Materials & Interfaces*, 2013, Vol. 5, No. 13, pp. 6176-6181.

[11] H. Tanaka, T. Hiratsuka, N. Nishiyama, K. Mori, M.T. Miyahara, Capillary condensation in mesoporous silica with surface roughness, *Adsorption-Journal of The International Adsorption Society*, 2013, Vol. 19, No. 2-4, pp. 631-641.

[12] M.T. Miyahara, H. Tanaka, Determination of phase equilibria in confined systems by open pore cell Monte Carlo method, *Journal of Chemical Physics*, 2013, Vol. 138, No. 8, p. 084709.

[13] R. Numaguchi, H. Tanaka, S. Watanabe, M.T. Miyahara, Simulation study for adsorption-induced structural transition in stacked-layer porous coordination polymers: Equilibrium and hysteretic adsorption behaviors, *Journal of Chemical Physics*, 2013, Vol. 138, No. 5, p. 054708.

[14] 渡邉 哲, 平塚 龍将, 朝日 優介, 田中 あすみ, 前 一廣, 宮原 稔, マイクロリアクタを用いた SiO_2@Au コアシェル複合ナノ粒子の流通式合成プロセスの開発, 粉体工学会誌, 2013, Vol. 50, No. 7, pp. 478-484.

化学工学基礎講座 反応工学分野

[1] R. Ashida, S. Nagaya, K. Miura, Y. Kubota, Y. Nishibata, A. Kotani, Co-pyrolysis Behavior of Low-grade Coal and Binder Using High Temperature Solvent Fractionation, *ISIJ International*, 2014, Vol. 54, No. 11, pp. 2432-2438.

[2] X. Li, R. Ashida, M. Makino, A. Nishida, H. Yao, K. Miura, Enhancement of Gasification Reactivity of Low-Rank Coal through High-Temperature Solvent Treatment, *Energy & Fuels*, 2014, Vol. 28, No. 9, pp. 5690-5695.

[3] X. LI, X. ZHU, L. XIAO, R. ASHIDA, K. MIURA, G. LUO, H. YAO, Degradative solvent extraction of demineralized and ion-exchanged low-rank coals, *Journal of Fuel Chemistry and Technology*, 2014, Vol. 42, No. 8, pp. 897-904.

[4] A. Kousoku, R. Ashida, A. Miyasato, M. Miyake, K. Miura, Experimental Study of Gas-Phase Pyrolysis Reaction of Benzene to Investigate the Early Stage of Coke Formation, *Journal of Chemical Engineering of Japan*, 2014, Vol. 47, No. 5, pp. 406-415.

[5] H. Fujitsuka, R. Ashida, M. Kawase, K. Miura, Examination of Low-Temperature Oxidation of Low-Rank Coals, Aiming at Understanding Their

Self-Ignition Tendency, *Energy & Fuels*, 2014, Vol. 28, No. 4, pp. 2402-2407.

[6] 蘆田 隆一, 高島 健人, 三浦 孝一, 奥山 憲幸, 濱口 眞基, 宍戸 貴洋, 溶剤抽出フラクショネーション法による構造分析を用いた石炭・粘結材のコークス化挙動予測の試み, *Tetsu-to-Hagane*, 2014, Vol. 100, No. 2, pp. 127-133.

[7] H. Fujitsuka, R. Ashida, K. Miura, Upgrading and dewatering of low rank coals through solvent treatment at around 350 degrees C and low temperature oxygen reactivity of the treated coals, *Fuel*, 2013, Vol. 114, pp. 16-20.

化学システム工学講座 分離工学分野

[1] N. Sano, K. Taniguchi, H. Tamon, Gas Flow Rate in the Gas-Injected Arc-in-Water Method as a Critical Factor to Synthesize High-Dispersion Pd-Ni Alloy Nanoparticles in Single-Walled Carbon Nanohornsk, *Journal of Chemical Engineering of Japan*, 2014, Vol. 47, No. 11, pp. 821-826.

[2] C. Poonjarernsilp, N. Sano, N. Sawangpanich, T. Charinpanitkul, H. Tamon, Effect of Fe/Fe2O3 loading on the catalytic activity of sulfonated single-walled carbon nanohorns for the esterification of palmitic acid, *Green Chemistry*, 2014, Vol. 16, No. 12, pp. 4936-4943.

[3] N. Sano, Y. Iwasaki, H. Tamon, Purification of Pt-Loaded Carbon Nanoparticles by Dielectrophoresis, *Journal of Chemical Engineering of Japan*, 2014, Vol. 47, No. 6, pp. 471-477.

[4] N. Sano, S. Matsuoka, H. Tamon, Purification of titanate nanotubes using a mesh-stacked dielectrophoretic separator equipped with carbon nanotube electrodes, *Chemical Engineering Science*, 2014, Vol. 108, pp. 188-193.

[5] N. Sano, T. Nakamura, H. Tamon, T. Suntornlohanakul, C. Poonjarernsilp, T. Charinpanitkul, Fabrication of carbon nanotube film directly grown on conductive stainless steel film and application to dielectrophoretic nanoparticle capture, *Journal of Applied Physics*, 2014, Vol. 115, No. 15, p. 154302.

[6] N. Sano, S. Yamamoto, H. Tamon, Cr as a key factor for direct synthesis of multi-walled carbon nanotubes on industrial alloys, *Chemical Engineering Journal*, 2014, Vol. 242, pp. 278-284.

[7] C. Poonjarernsilp, N. Sano, H. Tamon, Hydrothermally sulfonated single-walled carbon nanohorns for use as solid catalysts in biodiesel production by esterification of palmitic acid, *Applied Catalysis B-Environmental*, 2014, Vol. 147, pp. 726-732.

[8] N. Sano, H. Tamon, Submerged arc discharge technique to explore novel non-carbon nanotubes: Syntheses of nanotubes from ZnO and $BaTiO_3$, *Japanese Journal of Applied Physics*, 2014, Vol. 53, No. 4, p. 048002.

[9] N. Sano, T. Suntornlohanakul, C. Poonjarernsilp, H. Tamon, T. Charinpanitkul, Controlled Syntheses of Various Palladium Alloy Nanoparticles Dispersed in Single-Walled Carbon Nanohorns by One-Step Formation Using an Arc Discharge Method, *Industrial & Engineering Chemistry Research*, 2014, Vol. 53, No. 12, pp. 4732-4738.

[10] N. Sano, K. Taniguchi, H. Tamon, Hydrogen Storage in Porous Single-Walled Carbon Nanohorns Dispersed with Pd-Ni Alloy Nanoparticles, *Journal of Physical Chemistry C*, 2014, Vol. 118, No. 7, pp. 3402-3408.

[11] H. Tamon, T. Akatsuka, H. Mori, N. Sano, Synthesis of Zeolite Monolith with Hierarchical Micro/Macropores by Ice-Templating and Steam-Assisted Crystallization, *Chemical Engineering Transactions*, 2013, Vol. 32, pp. 2059-2064.

[12] N. Sano, K. Iwase, H. Tamon, In-Situ Estimation of Selective Capture of Tungsten Carbide Particles from Mixture with Diatomite Particles by Mesh-Stacked Dielectrophoresis Separator, *Journal of Chemical Engineering of Japan*, 2013, Vol. 46, No. 8, pp. 535-540.

[13] N. Sano, T. Kodama, H. Tamon, Direct synthesis of carbon nanotubes on stainless steel electrode for enhanced catalyst efficiency in a glucose fuel cell, *Carbon*, 2013, Vol. 55, pp. 365-368.

[14] K. Kraiwattanawong, N. Sano, H. Tamon, Capacitive performance of binder-free carbon/carbon composite cryogels, *Microporous and Mesoporous Materials*, 2013, Vol. 165, pp. 228-233.

化学システム工学講座 粒子工学分野

[1] M. Kobayakawa, A. Fujimoto, M. Sakata, M. Yasuda, S. Matsusaka, Numerical and theoretical study of particle saltation on an obliquely oscillating plate, *Advanced Powder Technology*, 2014, Vol. 25, No. 6, pp. 1854-1859.

[2] M. Kobayakawa, M. Yasuda, S. Matsusaka, Microscopic analysis of saltation of particles on an obliquely oscillating plate, *Advanced Powder Technology*, 2014, Vol. 25, No. 6, pp. 1845-1853.

[3] T. Horio, M. Yasuda, S. Matsusaka, Effect of particle shape on powder flowability of microcrystalline cellulose as determined using the vibration shear tube method, *International Journal of Pharmaceutics*, 2014, Vol. 473, No. 1-2, pp. 572-578.

[4] 水谷 慈, 武田 紘一, 安田 正俊, 松坂 修二, 振動と外部電場を用いた 2 段階システムによる摩擦帯電粒子の特性評価, 粉体工学会誌, 2013, Vol. 50, No. 12, pp. 832-839.

[5] 松坂 修二, 久保 恒太, 水谷 慈, 安田 正俊, 振動平板上の粒子の接触帯電と動的挙動の解析, 静電気学会誌, 2013, Vol. 37, No. 6, pp. 273-278.

[6] 水谷 慈, 安田 正俊, 松坂 修二, 振動移流および振動誘発型吸気による微粒子気泡流動層の動的解析, 化学工学論文集, 2013, Vol. 39, No. 5, pp. 420-425.

[7] 松坂 修二, 伊與田 淳平, 水谷 慈, 安田 正俊, 振動と外部電場を利用した粒子の摩擦帯電の特性評価と制御,

粉体工学会誌, 2013, Vol. 50, No. 9, pp. 632-639.

[8] T. Horio, M. Yasuda, S. Matsusaka, Measurement of flowability of lubricated powders by the vibrating tube method, *Drug Development and Industrial Pharmacy*, 2013, Vol. 39, No. 7, pp. 1063-1069.

[9] P. Bunchatheeravate, J. Curtis, Y. Fujii, S. Matsusaka, Prediction of particle charging in a dilute pneumatic conveying system, *AIChE Journal*, 2013, Vol. 59, No. 7, pp. 2308-2316.

[10] 劉 奕宏, 松坂 修二, ドライアイス粒子の形成と表面洗浄への応用, エアロゾル研究, 2013, Vol. 28, No. 2, pp. 155-162.

[11] M. Kobayakawa, M. Yasuda, S. Matsusaka, Analysis of behavior of small agglomerated particles on two-dimensional vibrating plate, *Powders and Grains 2013/ AIP Conference Proceedings*, 2013, Vol. 1542, pp. 991-994.

[12] M. Mizutani, M. Yasuda, S. Matsusaka, Characterization of particle electrostatic charging in vibration and electric field, *Chemical Engineering Transactions*, 2013, Vol. 32, pp. 2083-2088.

[13] S. Matsusaka, M. Kobayakawa, M. Mizutani, M. Imran, M. Yasuda, Bubbling behavior of a fluidized bed of fine particles caused by vibration-induced air inflow, *Scientific Reports*, 2013, Vol. 3, p. 1190.

化学システム工学講座 材料プロセス工学分野

[1] H. Shinto, T. Fukasawa, K. Yoshisue, M. Tezuka, M. Orita, Cell membrane disruption induced by amorphous silica nanoparticles in erythrocytes, lymphocytes, malignant melanocytes, and macrophages, *Advanced Powder Technology*, 2014, Vol. 25, No. 6, pp. 1872-1881.

[2] R. Miyamoto, S. Yasuhara, H. Shikuma, M. Ohshima, Preparation of Micro/NanoCellular Polypropylene Foam With Crystal Nucleating Agents, *Polymer Engineering and Science*, 2014, Vol. 54, No. 9, pp. 2075-2085.

[3] S. Tengsuwan, M. Ohshima, Environmentally benign electroless nickel plating using supercritical carbon-dioxide on hydrophilically modified acrylonitrile-butadiene-styrene, *Applied Surface Science*, 2014, Vol. 311, pp. 189-200.

[4] K. Yoshimoto, K. Fukawatase, M. Ohshima, Y. Naka, S. Maeda, S. Tanaka, S. Morita, H. Aoyama, S. Mimotogi, Optimization of directed self-assembly hole shrink process with simplified model, *Journal of Micro-Nanolithography MEMS and MOEMS*, 2014, Vol. 13, No. 3, p. 031305.

[5] A. Ito, T. Semba, K. Taki, M. Ohshima, Effect of the Molecular Weight between Crosslinks of Thermally Cured Epoxy Resins on the CO2-Bubble Nucleation in a Batch Physical Foaming Process, *Journal of Applied Polymer Science*, 2014, Vol. 131, No. 12, pp. 40407-n/a.

[6] D. Kohlhoff, M. Ohshima, Influence of polyethylene disperse domain on cell morphology of polystyrene-based blend foams, *Journal of Cellular Plastics*, 2014, Vol. 50, No. 3, pp. 241-261.

[7] T. Fukasawa, M. Hashimoto, S. Nagamine, H. Aoki, H. Shinto, S. Ito, M. Ohshima, Fabrication of ICG Dye-containing Particles by Growth of Polymer/Salt Aggregates and Measurement of Photoacoustic Signals, *Chemistry Letters*, 2014, Vol. 43, No. 4, pp. 495-497.

[8] P. Gong, M. Ohshima, Effect of Interfacial Tension on the Cell Structure of Poly(methyl methacrylate)/Bisphenol A Polycarbonate Blends Foamed with CO2, *Journal of Applied Polymer Science*, 2014, Vol. 131, No. 5, pp. 39228-n/a.

[9] T. Fukasawa, H. Shinto, H. Aoki, S. Ito, M. Ohshima, Size-dependent effect of gold nanospheres on the acoustic pressure pulses from laser-irradiated suspensions, *Advanced Powder Technology*, 2014, Vol. 25, No. 2, pp. 733-738.

[10] P. Gong, T. Taniguchi, M. Ohshima, Nanoporous structure of the cell walls of polycarbonate foams, *Journal of Materials Science*, 2014, Vol. 49, No. 6, pp. 2605-2617.

[11] K. Taki, Y. Watanabe, H. Ito, M. Ohshima, Effect of Oxygen Inhibition on the Kinetic Constants of the UV-Radical Photopolymerization of Diurethane Dimethacrylate/Photoinitiator Systems, *Macromolecules*, 2014, Vol. 47, No. 6, pp. 1906-1913.

[12] S. Nagamine, K. Kosaka, S. Tohyama, M. Ohshima, Silica nanofiber with hierarchical pore structure templated by a polymer blend nanofiber and surfactant micelle , *Materials Research Bulletin*, 2014, Vol. 50, pp. 108-112.

[13] S. Tengsuwan, M. Ohshima, Supercritical carbon dioxide-assisted electroless nickel plating on polypropylene -The effect of copolymer blend morphology on metal-polymer adhesion, *The Journal of Supercritical Fluids*, 2014, No. 85, pp. 123-134.

[14] S. Nagamine, K. Kosaka, S. Tohyama, M. Ohshima, Silca nanofiber with hierarchical pore structure templated by a polymer blend nanofiber and surfactant micelle, *Materials Research Bulletin*, 2014, No. 50, pp. 108-112.

[15] M. Fasihi, H. Garmabi, S.R. Ghaffarian, M. Ohshima, Preparation of highly dispersed expanded graphite/polypropylene nanocomposites via low temperature processing, *Journal of Applied Polymer Science*, 2013, Vol. 130, No. 3, pp. 1834-1839.

[16] R. Okaji, K. Taki, S. Nagamine, M. Ohshima, Preparation of a unique, multihollow-core honeycomb structure via the unidirectional freezing of a binary solvent system, *Journal of Applied Polymer Science*, 2013, Vol. 130, No. 1, pp. 526-534.

[17] H. Shinto, T. Fukasawa, H. Aoki, S. Ito,

M. Ohshima, Acoustic pressure pulses from laser-irradiated suspensions containing gold nanospheres in water: Experimental and theoretical study, *Colloids and Surfaces A-Physicochemical and Engineering Aspects*, 2013, Vol. 430, pp. 51-57.

[18] H. Shinto, T. Hirata, T. Fukasawa, S. Fujii, H. Maeda, M. Okada, Y. Nakamura, T. Furuzono, Effect of interfacial serum proteins on melanoma cell adhesion to biodegradable poly(l-lactic acid) microspheres coated with hydroxyapatite, *Colloids and Surfaces B: Biointerfaces*, 2013, Vol. 108, pp. 8-15.

[19] R.W. Sharudin, M. Ohshima, Preparation of microcellular thermoplastic elastomer foams from polystyrene-b-ethylene-butylene-b-polystyrene (SEBS) and their blends with polystyrene, *Journal of Applied Polymer Science*, 2013, Vol. 128, No. 4, pp. 2245-2254.

[20] K. Taki, K. Hosokawa, S. Takagi, H. Mabuchi, M. Ohshima, Rapid Production of Ultralow Dielectric Constant Porous Polyimide Films via CO2-tert-Amine Zwitterion-Induced Phase Separation and Subsequent Photopolymerization, *Macromolecules*, 2013, Vol. 46, No. 6, pp. 2275-2281.

[21] S. Nagamine, A. Tanaka, S. Ishimaru, M. Ohshima, Fabrication of carbon-core/TiO2-sheath nanofibers from poly (vinyl alcohol)/TiO2 nanofibers by iodine-vapor treatment and carbonization: effect of carbonization temperature, *Asia-Pacific Journal of Chemical Engineering*, 2013, Vol. 8, No. 2, pp. 278-282.

[22] R. Okaji, S. Sakashita, K. Tazumi, K. Taki, S. Nagamine, M. Ohshima, Interconnected pores on the walls of a polymeric honeycomb monolith structure created by the unidirectional freezing of a binary polymer solution, *Journal of Materials Science*, 2013, Vol. 48, No. 5, pp. 2038-2045.

[23] Y. Hikima, Junko M., Toshimasa H., Wavenumber Dependence of FT-IR Image of Molecular Orientation in Banded Spherulites of Poly(3-Hydroxy Butyrate) and Poly (L- Lactic Acid), *Macromolecules*, 2013, Vol. 46, No. 4, pp. 1582-1590.

[24] 松岡 佑樹, 藤﨑 和也, 太田 賢, 深澤 智典, 新戸 浩幸, 狭間隙部へのシリカ粒子ー液状エポキシ樹脂分散系の充過程に及ぼす粒子体積分率と表面改質剤の影響, 粉体工学会誌, 2013, Vol. 50, No. 8, pp. 552-560.

[25] M. Fujino, T. Taniguchi, Y. Kawaguchi, M. Ohshima, Mathematical models and numerical simulations of a thermally expandable microballoon for plastic foaming, *Chemical Engineering Scinece*, 2013, No. 104, pp. 220-227.

[26] O. Boondamnoen, A. Rashid, S. Cayjuljit, M. Ohshima, A. Ariffin, Comparison of mechanical, morphological and swelling properties of WNRL/PS and NRv/PS blends, *Journal of Elastomers and Plastics*, 2013, Vol. 45, No. 6, pp. 523-535.

化学システム工学講座 プロセスシステム工学分野

[1] I. Ahmad, M. Kano, S. Hasebe, H. Kitada, N. Murata, Prediction of Molten Steel Temperature in Steel Making Process with Uncertainty by Integrating Gray-Box Model and Bootstrap Filter, *Journal of Chemical Engineering of Japan*, 2014, Vol. 47, No. 11, pp. 827-834.

[2] X. Li, R. Ashida, M. Makino, A. Nishida, H. Yao, K. Miura, Enhancement of Gasification Reactivity of Low-Rank Coal through High-Temperature Solvent Treatment, *Energy & Fuels*, 2014, Vol. 28, No. 9, pp. 5690-5695.

[3] H. Nakagawa, M. Kano, S. Hasebe, T. Miyano, T. Watanabe, N. Wakiyama, Verification of model development technique for NIR-based real-time monitoring of ingredient concentration during blending, *International Journal of Pharmaceutics*, 2014, Vol. 471, No. 1-2, pp. 264-275.

[4] I. Ahmad, M. Kano, S. Hasebe, H. Kitada, N. Murata, Gray-box modeling for prediction and control of molten steel temperature in tundish, *Journal of Process Control*, 2014, Vol. 24, No. 4, pp. 375-382.

[5] I. Ahmad, H. Mabuchi, M. Kano, S. Hasebe, Y. Inoue, H. Uegaki, Data-Based Ground Fault Diagnosis of Power Cable Systems, *SICE Journal of Control, Measurement, and System Integration*, 2013, Vol. 6, No. 4, pp. 290-297.

[6] T. Okura, I. Ahmad, M. Kano, S. Hasebe, H. Kitada, N. Murata, High-Performance Prediction of Molten Steel Temperature in Tundish through Gray-Box Model, *ISIJ International*, 2013, Vol. 53, No. 1, pp. 76-80.

[7] T. Wakabayashi, S. Hasebe, Design of heat integrated distillation column by using H-xy and T-xy diagrams, *Computers & Chemical Engineering*, 2013, Vol. 56, pp. 174-183.

[8] S. Kim, M. Kano, S. Hasebe, A. Takinami, T. Seki, Long-Term Industrial Applications of Inferential Control Based on Just-In-Time Soft-Sensors: Economical Impact and Challenges, *Industrial & Engineering Chemistry Research*, 2013, Vol. 52, No. 35, pp. 12346-12356.

[9] S. Kim, R. Okajima, M. Kano, S. Hasebe, Development of soft-sensor using locally weighted PLS with adaptive similarity measure, *Chemometrics and Intelligent Laboratory Systems*, 2013, Vol. 124, pp. 43-49.

[10] J.R. Alcantara-Avila, S. Hasebe, M. Kano, New Synthesis Procedure To Find the Optimal Distillation Sequence with Internal and External Heat Integrations, *Industrial & Engineering Chemistry Research*, 2013, Vol. 52, No. 13, pp. 4851-4862.

[11] H. Nakagawa, M. Kano, S. Hasebe, T. Suzuki, N. Wakiyama, Real-time monitoring of lubrication properties of magnesium stearate using NIR spectrometer and thermal effusivity sensor, *International Journal of Pharmaceutics*, 2013, Vol. 441, No. 1-2, pp. 402-413.

[12] 若林 敏祐, 長谷部 伸治, 可逆蒸留線と操作軌跡線を用いた内部熱交換型蒸留塔の適性判断, 化学工学論文集, 2013, Vol. 39, No. 6, pp. 493-502.

環境プロセス工学講座

[1] Y. Muranaka, T. Suzuki, H. Sawanishi, I. Hasegawa, K. Mae, Effective Production of Levulinic Acid from Biomass through Pretreatment Using Phosphoric Acid, Hydrochloric Acid, or Ionic Liquid, *Industrial & Engineering Chemistry Research*, 2014, Vol. 53, No. 29, pp. 11611-11621.

[2] Jun M., Kazuhiro M., Hiroyuki N., Fenton-Cu2+ system for phenol mineralization, *Journal of Environmental Chemical Engineering*, 2014, Vol. 2, No. 3, pp. 1275-1280.

[3] Y. Muranaka, A. Iwai, I. Hasegawa, K. Mae, Selective production of valuable chemicals from biomass by two-step conversion combining preoxidation and hydrothermal degradation, *Chemical Engineering Journal*, 2013, Vol. 234, pp. 189-194.

[4] D. Yamamoto, T. Maki, S. Watanabe, H. Tanaka, M.T. Miyahara, K. Mae, Synthesis and adsorption properties of ZIF-8 nanoparticles using a micromixer, *Chemical Engineering Journal*, 2013, Vol. 227, pp. 145-150.

[5] N. Aoki, T. Fukuda, N. Maeda, K. Mae, Design of confluence and bend geometry for rapid mixing in microchannels, *Chemical Engineering Journal*, 2013, Vol. 227, pp. 198-202.

[6] T. Maki, J. Kitada, K. Mae, Preparation and Control of the Size Distribution of Zirconia Nanoparticles in a Concentric-Axle Dual-Pipe Microreactor, *Chemical Engineering & Technology*, 2013, Vol. 36, No. 6, pp. 1027-1032.

[7] T. Fukuda, M. Sawada, T. Maki, K. Mae, Basic Design Concept of a Microreactor for Isothermal Operation Including Heat Conductivity, *Chemical Engineering & Technology*, 2013, Vol. 36, No. 6, pp. 968-974.

[8] I. Hasegawa, T.H. Khoo, K. Mae, Direct saccharification of lignocellulosic biomass by hydrolysis with formic acid solution, *Green Processing and Synthesis*, 2013, Vol. 2, No. 2, pp. 143-149.

[9] 渡邉 哲, 平塚 龍将, 朝日 優介, 田中 あすみ, 前 一廣, 宮原 稔, マイクロリアクタを用いた SiO_2@Au コアシェル複合ナノ粒子の流通式合成プロセスの開発, 粉体工学会誌, 2013, Vol. 50, No. 7, pp. 478-484.

環境安全工学講座

[1] Jun M., Kazuhiro M., Hiroyuki N., Fenton-Cu2+ system for phenol mineralization, *Journal of Environmental Chemical Engineering*, 2014, Vol. 2, No. 3, pp. 1275-1280.

[2] 中川 浩行, 本田 由治, 酒井 伸一, UV/O3 処理装置を用いた水中の 1,4-ジオキサンの分解, 環境と安全, 2013, Vol. 4, No. 3, pp. 171-176.

[3] 中川 浩行, 人見 文隆, 窒素の形態変化に着目した発酵乾燥汚泥の熱分解挙動, 日本エネルギー学会誌, 2013, Vol. 92, No. 2, pp. 174-180.